宮城県文化財調査報告書第234集

北小松遺跡

―田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書―

第１分冊　本文編

平成26年3月

宮城県教育委員会

宮城県文化財調査報告書第234集

北小松遺跡

―田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書―

第一分冊　平成二十六年三月　宮城県教育委員会

北 小 松 遺 跡

―田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書―

第１分冊　本文編

北小松遺跡（平成21年度調査）　出土土器

SK44 土坑墓

SK44 土坑墓　埋葬人骨（埋設土器取り上げ後）

埋設土器（右：土坑墓、左：土器埋設遺構）

独鈷石

サメ歯装着具

序　　文

平成23年３月11日に発生した東日本大震災から３年がたち、私たちは震災からの地域の復興へ取り組んでおります。復興には、安全で災害に強いまちづくり、産業の振興、人々の暮らしの再生に加えて、先人たちが苦難を克服し築き上げてきた文化を再認識し継承していくことも不可欠です。

地域において守り伝えられてきた文化財は、現代を生きる私たちと過去や未来を生きる人々､そして地域でともに生きる人々を結びつけるものであります。震災以降、自己と他者、そして地域との結びつきが重要視されているなかで、文化財を保存し活用する取り組みにより、身近な地域の個性豊かな風土や歴史的な価値を再発見し、人々と地域がより密接に結びついた、より豊かで魅力ある社会が形成されていくものと期待されます。

本書は、平成21年度に大崎市田尻西部地区におけるほ場整備事業に伴う工事に先立って実施した北小松遺跡の発掘調査報告書です。今回の調査では、埋葬された人骨を伴う墓域や、当時の人々の居住施設、その周囲に捨てられた当時の生活道具などを数多く発見し、縄文時代の終わり頃に水辺に営まれたムラの様子をより明確にする貴重な成果が得られました。こうした成果が広く県民の皆様や各地の研究者に活用され、地域の歴史解明の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、遺跡の保存に理解を示され、発掘調査に際しては多大なるご協力をいただいた関係機関の方々、さらに実際の調査にあたられた皆様に対し、厚く御礼申し上げる次第です。

平成26年３月

宮城県教育委員会

教育長　髙　橋　　仁

例　　言

1．本書は、宮城県北部地方振興事務所と江合川沿岸土地改良区との協議に基づき実施した、経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う北小松遺跡の発掘調査のうち、平成21年度に実施した発掘調査の成果をとりまとめたものである。

2．発掘調査は、宮城県教育委員会が主体となり、宮城県教育庁文化財保護課が担当した。

3．発掘調査および資料整理・報告書の作成に際しては、以下の方々および機関からご指導・ご協力を賜った（五十音順、敬称略）。

會田容弘　赤田昌倫　阿子島 香　足立 望　市川健夫　内山幸子　江川達也　太田有香
大場亜弥　岡村道雄　鹿納晴尚　鹿又喜隆　神田和彦　日下和寿　高妻洋成　古賀日香理
小林和貴　小林 克　佐川正敏　佐々木 理　佐藤信行　菅原弘樹　鈴木敏彦　鈴木三男
須藤 隆　早田 勉　富岡直人　中沢祐一　中島経夫　西本豊弘　根岸 洋　秦 昭繁　早瀬亮介
藤沼邦彦　藤原二郎　本多貴之　松本秀明　宮腰哲雄　宮本 毅　八木勝枝　柳田俊雄
山田しょう　湯淺健太　吉川純子　吉川昌伸　渡辺丈彦
文化庁　大崎市教育委員会　東北歴史博物館

4．本書の第２図は、国土交通省国土地理院発行の数値地図25000（地図画像）『荒谷』『高清水』『古川』『小牛田』を使用した。

5．図版１（第３分冊）は、「国土画像情報（カラー空中写真）　国土交通省」（昭和50年撮影：CTO-75-27, C5C-5-9, C6B-6-9）を一部加工して転載した。

6．本書で使用した測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第Ｘ系による。なお、方位は座標北を表している。

7．本書で使用した遺構略号は以下の通りである。

SA：柱列跡　SB：掘立柱建物跡　SD：溝跡　SE：井戸跡　SK：土坑墓（埋葬犬骨を含む）、土坑
SX：集石遺構、土器埋設遺構、焼け面、自然流路跡　P：柱穴、小穴

8．遺構図版にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下の通りである。

遺構：1/10、1/20、1/60　調査区：1/100、1/200

9．測量データの変換業務は、（株）CUBICに委託して行った。

10．土色の記述にあたっては、『新版　標準土色帖　1996年版』（小山・竹原　1996）を用いている。

11．遺物図版にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下の通りである。遺物写真図版についても同様の縮尺である。

土器：1/3　土製品：2/3、1/3　骨角牙製品：2/3　木製品：2/3、1/3、1/4

12．石器・石製品の縮尺は原則として以下の通りである。遺物写真図版についても同様の縮尺である。

剥片石器：2/3　石斧、板状石器：1/2　礫石器、石錘：1/3
円盤状石製品、石棒・石刀、石冠、独鈷石：1/2　その他石製品：2/3

13．遺物の実測図で、赤色顔料の付着が顕著な部分は赤色、アスファルトまたはタール状の黒色の付

着物や炭化物の付着が顕著な部分は灰色または茶色で示した。また、石器・石製品の一部にみられる磨面については、加工の痕跡が明瞭な部分のみ擦痕で表現し、それ以外を白色で示した。

14. 遺物の実測図で、土器および土製品の一部をCUBIC社製「遺物くんCubic」を用いて作成した。また、土製品と石器・石製品の一部の三次元測定および３Ｄ処理を（株）CUBICに委託して行った。

15. 遺物の写真撮影は、（株）アートプロフィールに委託して行った。

16. 土器・土製品の観察表で、文様内の充塡要素については（　）で記した。

17. 石器・石製品の観察表で、「被熱」「加熱処理」「変形」「自然面」「付着物」の各項目における「０」は「なし」を意味し、「－」は「判別不能」を意味する。うち、「被熱」「自然面」の各項目においては痕跡のあるものを「１」とした。「付着物」においては赤色顔料の付着を「R」、黒色物質の付着を「B」としている。

18. 石器・石製品の石材鑑定は、一部を東北大学東北アジア研究センターの宮本 毅氏に依頼した。

19. 骨角牙製品の素材同定は、岡山理科大学（富岡直人氏）に委託した。

20. 本書の一部は、それぞれ以下の個人・研究機関に依頼し、玉稿を賜った（敬称略）。

地形・地質：松本秀明（東北学院大学）　第１分冊付章１

古環境復元：吉川昌伸・吉川純子（古代の森研究舎）　第１分冊付章２

動物遺存体（考察）：富岡直人（岡山理科大学）　第１分冊付章３

サメ歯装着具の木質部の同定：鈴木三男・小林和貴（東北大学植物園）　第２分冊第５章

サメ歯装着具の膠着物の分析：宮腰哲雄・本多貴之ほか（明治大学）　第２分冊第６章

遺物付着の黒色物質の分析：高妻洋成ほか（奈良文化財研究所）　第２分冊第７章

遺物のマイクロX線CT撮影：東北大学総合学術博物館（佐々木 理・柳田俊雄ほか）
第２分冊第８章

石器・石製品の機能等分析：鹿又喜隆（東北大学）　第２分冊第９章

21. 自然科学的分析について、それぞれ以下の機関・個人に委託して行い、その成果を本書に収録した（敬称略）。

埋葬人骨の鑑定：鈴木敏彦（東北大学）　第２分冊第１章

動物遺存体：岡山理科大学（富岡直人、中島経夫ほか）　第２分冊第２～４章

花粉・珪藻分析（平成19・20年度発掘調査分を含む）：古代の森研究舎
第２分冊第13・16～19章

樹種・種実同定（平成19・20年度発掘調査分を含む）：古代の森研究舎
第２分冊第14・15・18・20・21章

放射性炭素年代測定：（株）加速器分析研究所　第２分冊第10～12章

食性分析（人骨）：（株）加速器分析研究所　第２分冊第12章

火山灰分析：（株）火山灰考古学研究所　第２分冊第23章

火山灰分析（平成20年度発掘調査分）：（株）パレオ・ラボ　第２分冊第22章

22. 遺構・遺物の保存処理・復元は、それぞれ以下の機関に委託して行った。

埋葬犬骨（SK55）、漆器の一部：東北歴史博物館

土器の一部：（株）東都文化財研究所

23. 本書の遺構・遺物の整理作業は、生田和宏・青山隼人（平成22・23年度）、伊藤啓之・久保井裕之（平成22年度）、小野章太郎（平成23～25年度）、武田裕光・大坂 拓・西村 力（平成24年度）、濵中一道（平成25年度）が主に担当した。

24. 本書の図版は、小野章太郎・濵中一道・生田和宏・大坂 拓・遠藤友美・遠山寛美・中島敦子・古川史佳・湯元文子・浅野明美・熊谷亮介が主に作成した。

25. 本書の執筆・編集は、調査担当者との協議の後に小野章太郎が行った。編集にあたっては、古川史佳（第１分冊）・遠山寛美（第２分冊）・中島敦子（第３分冊）がこれを補助した。

26. 本遺跡の調査成果については、現地説明会や宮城県遺跡調査成果発表会、宮城県文化財調査報告書第226集『北小松遺跡』などでその内容の一部を公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合には、本書がこれらに優先する。

27. 発掘調査の記録類や出土遺物は、宮城県教育委員会が保管している。

調　査　要　項

遺跡名：北小松遺跡（宮城県遺跡地名表登載番号No. 38005）　遺跡略号：UO

所在地：宮城県大崎市田尻小松ほか

調査原因：経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う発掘調査

調査主体：宮城県教育委員会

調査担当：宮城県教育庁文化財保護課

調査員：生田和宏　西村 力　伊藤啓之　青山隼人

天野順陽　佐藤貴志　菊地逸夫　豊村幸宏　久保井裕之　山口 淳　尾形祐之

小野章太郎　村上裕次　初鹿野博之　古田和誠

調査期間：平成21年５月11日～12月14日、平成22年２月１・２日

調査面積：約2,170m^2

調査協力：宮城県北部地方振興事務所　江合川沿岸土地改良区　大崎市教育委員会

（株）渡辺工務店

目　　次

第１分冊　本文編

巻頭写真

序　　文

例　　言

調査要項

目　　次

第１章　遺跡の概要 ……1

第１節　遺跡の位置と自然環境 ……1

第２節　歴史的環境 ……1

第２章　調査に至る経緯と調査方法 ……5

第１節　調査に至る経緯 ……5

第２節　調査の方法と経過 ……6

第３章　周辺の地形と基本層序 ……11

第１節　発掘調査区周辺の地形 ……11

第２節　基本層序 ……11

第３節　Ⅵ層（遺物包含層）の分布と区分 ……12

第４章　縄文時代の遺構と遺物 ……15

第１節　D区 ……15

１．C丘陵頂部の遺構群 ……15

(1) 掘立柱建物跡 ……15

(2) 柱列跡 ……30

(3) 埋葬犬骨 ……33

(4) 土坑 ……33

(5) 焼け面 ……33

(6) その他の遺構から出土した遺物 ……35

２．C丘陵南斜面の遺構群と遺物包含層 ……39

A．遺構 ……39

(1) 柱列跡 ……39

(2) 集石遺構 ……42

(3) 土坑墓 ……69

(4) 埋葬犬骨 ……94

(5) 土坑、ピット……96
(6) 自然流路跡……96
(7) その他の出土遺物 ……100
B. 遺物包含層 ……101
(1) 堆積状況と分布範囲 ……101
(2) 土器 ……102
(3) 土製品 ……153
(4) 石器・石製品 ……153
(5) 骨角牙製品 ……189
(6) 木製品 ……192
C. Ⅴ層～Ⅰ層ほかから出土した縄文時代の遺物 ……193
3．C丘陵北斜面の遺構と遺物包含層 ……197
A. 遺構……197
(1) 柱列跡 ……197
(2) 集石遺構 ……197
(3) 土器埋設遺構 ……207
(4) 土坑 ……211
(5) その他の遺構等から出土した遺物 ……212
B. 遺物包含層 ……216
(1) 堆積状況と分布範囲 ……216
(2) 土器 ……217
(3) 土製品 ……265
(4) 石器・石製品 ……271
(5) 骨角牙製品 ……288
(6) 木製品 ……290
C. Ⅳ層～Ⅰ層ほかから出土した縄文時代の遺物 ……292
第２節　G区 ……295
1．C丘陵北斜面の遺物包含層 ……295
(1) b包含層 ……295
(2) c包含層 ……298
2．B丘陵南斜面の遺構と遺物包含層 ……306
(1) 自然流路跡 ……306
(2) 遺物包含層 ……306
3．その他の地点から出土した遺物……313

第５章　古代以降の遺構と遺物 ……314
(1) 掘立柱建物跡 ……314
(2) 柱列跡 ……314
(3) 井戸跡 ……318
(4) 土坑 ……318
(5) 溝跡 ……319
第６章　総括 ……321
第１節　C丘陵突端部遺物包含層から出土した遺物 ……322
１．土器・土製品 ……322
(1) 出土土器の分類 ……322
(2) 遺物包含層出土土器 ……329
(3) 晩期中葉から末葉の土器の変遷 ……338
(4) 土製品 ……346
２．石器・石製品 ……350
(1) 出土石器・石製品の分類 ……351
(2) 石材 ……362
(3) 素材剥片の生産 ……368
(4) 剥片石器の製作・使用 ……370
(5) 礫石器 ……374
(6) 石製品 ……376
３．骨角牙製品 ……378
(1) 各器種の特徴 ……378
(2) サメ歯装着具 ……380
第２節　C丘陵突端部周辺の遺構 ……384
１．遺構の時期と特徴 ……384
(1) 掘立柱建物跡・柱列跡 ……384
(2) 土坑墓 ……386
(3) 埋葬犬骨 ……388
(4) 土器埋設遺構 ……388
(5) 集石遺構 ……389
(6) 遺物包含層 ……393
２．D区（C丘陵突端部）における各時期の集落の様相 ……395
(1) Ⅰ期（後期末葉）……395
(2) Ⅱ期（大洞BC式） ……395
(3) Ⅲ期（大洞C1式～大洞C2式古段階） ……395

(4) Ⅳ期（大洞C2式新段階）……395
(5) Ⅴ期（大洞A式）……396
(6) Ⅵ期（大洞A'式）……396
第３節　まとめ ……404
註
引用文献
付　　表　平成21年度発掘調査状況一覧
付　章 ……413
１．北小松遺跡周辺の地形・地質の特徴と洪水堆積層……松本秀明（東北学院大学）　415
２．北小松遺跡の古環境復元　―主に縄文時代晩期の植生と食物利用および堆積環境―
……吉川昌伸・吉川純子（古代の森研究舎）　423
３．北小松遺跡における動物と縄文人……富岡直人（岡山理科大学）　433
報告書抄録

図　目　次（第１分冊）

第１図　北小松遺跡の位置 ……1
第２図　北小松遺跡の位置と周辺の遺跡 ……2
第３図　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う発掘調査対象範囲 ……5
第４図　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）調査区配置図 ……7
第５図　平成21年度調査区の位置と遺物包含層の分布 ……9
第６図　基本層序模式図（D-60区、G-12区）……11
第７図　D区南北断面模式図 ……12
第８図　D区（C丘陵突端部）平面図 ……16
第９図　丘陵頂部遺構群平面図 ……17
第10図　D-77区平面図・断面図（SB106A・B建物跡）……19
第11図　D-78区平面図・断面図（SB107・108建物跡ほか）……20
第12図　D-79区平面図（SB109・110・111・112・113・114建物跡ほか）……22
第13図　D-79区断面図 ……23
第14図　D-80区平面図（SB115・116・117・118・119・120・201・202・203建物跡）……26
第15図　D-80区断面図 ……27
第16図　掘立柱建物跡出土遺物 ……27
第17図　D-59区平面図・断面図 ……31
第18図　SA204柱列跡出土遺物 ……32
第19図　SK63埋葬犬骨出土遺物 ……32
第20図　D-53区平面図・断面図 ……34
第21図　C丘陵頂部土坑出土遺物 ……35
第22図　C丘陵頂部ピット出土遺物 ……36
第23図　C丘陵頂部ピット出土遺物（柱材）……37
第24図　C丘陵頂部遺構確認面ほか出土遺物 ……37
第25図　C丘陵南斜面（西側）平面図 ……40
第26図　C丘陵南斜面（東側）平面図 ……41
第27図　D-55区東側（SA42柱列跡）平面図・断面図 …42
第28図　SA42柱列跡出土遺物 ……42
第29図　SX43集石遺構平面図・断面図 ……43
第30図　SX43集石遺構出土石器（1）……45
第31図　SX43集石遺構出土石器（2）……46
第32図　SX43集石遺構出土石器（3）……47
第33図　SX43集石遺構出土石器（4）……48
第34図　SX43集石遺構出土石器（5）……49
第35図　SX43集石遺構出土石器（6）……50
第36図　SX43集石遺構出土石器（7）……51
第37図　SX43集石遺構出土石器（8）……52
第38図　SX43集石遺構出土石器（9）……53
第39図　SX43集石遺構出土石器（10）……54
第40図　SX43集石遺構出土石器（11）……55
第41図　SX43集石遺構出土石器（12）……56
第42図　SX43集石遺構出土石器（13）・石製品（1）……57
第43図　SX43集石遺構出土石製品（2）……58
第44図　SX43集石遺構出土石製品（3）……59

第45図　SX43集石遺構出土石製品（4）　……60
第46図　SX43集石遺構出土石製品（5）　……61
第47図　SX43集石遺構出土石製品（6）　……62
第48図　SX43集石遺構出土土器・土製品（1）　……63
第49図　SX43集石遺構出土土製品（2）……64
第50図　SX50集石遺構平面図・断面図 ……65
第51図　SX50集石遺構出土遺物（1）……66
第52図　SX50集石遺構出土遺物（2）……67
第53図　D-56・57・74・75区平面図　……68
第54図　D-57・74区断面図　……69
第55図　SK44土坑墓平面図 ……70
第56図　SK44土坑墓断面図 ……71
第57図　SK44土坑墓埋設土器 ……72
第58図　SK44土坑墓出土遺物 ……73
第59図　SK46土坑墓平面図・断面図 ……74
第60図　SK46土坑墓出土遺物 ……75
第61図　SK44・46・47・48・49土坑墓、SX50集石遺構平面図……76
第62図　SK47・48・49土坑墓断面図 ……77
第63図　SK47・48土坑墓出土遺物 ……78
第64図　SK51・52・53・55土坑墓平面図・断面図 ……79
第65図　SK51土坑墓出土遺物 ……79
第66図　SK53土坑墓平面図、断面図 ……81
第67図　SK53土坑墓出土遺物 ……82
第68図　SK54土坑墓平面図・出土遺物 ……82
第69図　SK56・57・58・59土坑墓平面図 ……84
第70図　SK57土坑墓出土遺物 ……84
第71図　SK60土坑墓平面図・断面図、出土遺物 ……86
第72図　SK60・61・76・77・78土坑墓平面図・断面図……87
第73図　SK67・68・69・70土坑墓平面図、SK土坑墓断面図、出土遺物……90
第74図　SK71・72・73土坑墓平面図、出土遺物 ……92
第75図　SK75土坑墓平面図 ……94
第76図　SK74土坑墓平面図 ……94
第77図　SK55埋葬犬骨平面図・断面図 ……95
第78図　D-54区（SK80埋葬犬骨）平面図・断面図……97
第79図　D-68区（SK41・93土坑）平面図・断面図、SK41土坑出土遺物……99
第80図　C丘陵南斜面遺構群遺構確認面出土遺物 ……100
第81図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（1）……104
第82図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（2）……105
第83図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（3）……106
第84図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（4）……107
第85図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（5）……108
第86図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（6）……109
第87図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（7）……110
第88図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（8）……111
第89図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（9）……112
第90図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（10）……113
第91図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（11）……114
第92図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（12）……115
第93図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（13）……116
第94図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（14）……117
第95図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（15）……118
第96図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（16）……119
第97図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（17）……120
第98図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（18）……121
第99図　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（19）……122
第100図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（20）……123
第101図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（21）……124
第102図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（22）……125
第103図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（23）……126
第104図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（24）……127
第105図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（25）……128
第106図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（26）……129

第107図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（27）……130
第108図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（28）……131
第109図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（29）……132
第110図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（30）……133
第111図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（31）……134
第112図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（32）……135
第113図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（33）……136
第114図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（34）……137
第115図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（35）……138
第116図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（36）……139
第117図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（37）……140
第118図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（38）……141
第119図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（39）……142
第120図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（1）……143
第121図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（2）……144
第122図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（3）……145
第123図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（4）……146
第124図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（5）……147
第125図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（6）……148
第126図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（7）……149
第127図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（8）……150
第128図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（9）……151
第129図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（10）……152
第130図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（1）……154
第131図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（2）……155
第132図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（3）……156
第133図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（4）……157
第134図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（5）……158
第135図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（6）……159
第136図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（7）……160
第137図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（8）……161
第138図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（9）……162
第139図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）……164
第140図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）……165
第141図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）……166
第142図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（4）……167
第143図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（5）……168
第144図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（6）……169
第145図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（7）……170
第146図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（8）……171
第147図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（9）……172
第148図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（10）……173
第149図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（11）……174
第150図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（12）……175
第151図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（13）……176
第152図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（14）……177
第153図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（15）……178
第154図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（16）……179
第155図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（17）……180
第156図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（18）……181
第157図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（1）……182

第158図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（2）……183
第159図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（3）……184
第160図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（4）……185
第161図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（5）……186
第162図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（6）……187
第163図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（7）……188
第164図 C丘陵南斜面a包含層出土骨角牙製品（1）……190
第165図 C丘陵南斜面a包含層出土骨角牙製品（2）……191
第166図 C丘陵突端部南斜面Ⅴ層、Ⅰ層ほか出土土器……193
第167図 C丘陵突端部南斜面Ⅰ層出土土製品 ……194
第168図 C丘陵突端部南斜面Ⅰ層ほか出土石器・石製品（1）……195
第169図 C丘陵突端部南斜面Ⅰ層ほか出土石器・石製品（2）……196
第170図 C丘陵北斜面調査区（西側）平面図 ……198
第171図 C丘陵北斜面調査区（西側）断面図 ……199
第172図 C丘陵北斜面調査区（東側）平面図・断面図……200
第173図 D-58区（SA206柱列跡ほか）平面図・断面図、出土遺物……201
第174図 SX91集石遺構平面図・断面図、遺物組成表……202
第175図 SX91集石遺構出土石器（1）……203
第176図 SX91集石遺構出土石器（2）……204
第177図 SX91集石遺構出土石器（3）……205
第178図 SX91集石遺構出土石器（4）……206
第179図 SX85・86・87・88・89土器埋設遺構平面図……208
第180図 SX86・87・89土器埋設遺構断面図……209
第181図 SX86・87土器埋設遺構埋設土器、出土遺物……209
第182図 SX88・89土器埋設遺構埋設土器……210
第183図 SK92土坑平面図・断面図……212
第184図 SK92土坑出土遺物1 ……213
第185図 SK92土坑出土遺物2 ……214
第186図 C丘陵突端部北斜面ピット出土遺物 ……215
第187図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（1）……219
第188図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（2）……220
第189図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（3）……221
第190図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（4）……222
第191図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（5）……223
第192図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（6）……224
第193図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（7）……225
第194図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器（8）……226
第195図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（1）……227
第196図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（2）……228
第197図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（3）……229
第198図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（4）……230
第199図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（5）……231
第200図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（6）……232
第201図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（7）……233
第202図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（8）……234
第203図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（9）……235
第204図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（10）……236
第205図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（11）……237
第206図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（12）……238
第207図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（13）……239
第208図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（14）……240
第209図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（15）……241
第210図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（16）……242

第211図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（17）……243
第212図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（18）……244
第213図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（19）……245
第214図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（20）……246
第215図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（21）……247
第216図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（22）……248
第217図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（23）……249
第218図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（24）……250
第219図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（25）……251
第220図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（26）……252
第221図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（27）……253
第222図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（28）……254
第223図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（29）……255
第224図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（30）……256
第225図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（31）……257
第226図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（32）……258
第227図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（33）……259
第228図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（34）……260
第229図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（35）……261
第230図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（36）……262
第231図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（37）……263
第232図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（38）……264
第233図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（39）……265
第234図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（1）……266
第235図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（2）……267
第236図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（3）……268
第237図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（4）……269
第238図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（5）……270
第239図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（6）……271
第240図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）……273
第241図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）……274
第242図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）……275
第243図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（1）……276
第244図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（2）……277
第245図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（3）……278
第246図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（4）……279
第247図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（5）……280
第248図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（6）……281
第249図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（7）……282
第250図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（8）……283
第251図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（9）……284
第252図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（10）……285
第253図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（11）……286
第254図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（12）……287
第255図 C丘陵北斜面a包含層出土骨角牙製品（1）……289
第256図 C丘陵北斜面a包含層出土骨角牙製品（2）……290
第257図 C丘陵北斜面a包含層出土木製品……291
第258図 C丘陵突端部北斜面Ⅳ層ほか出土土器・土製品……292
第259図 C丘陵突端部北斜面Ⅳ層出土石器・石製品……293
第260図 C丘陵突端部北斜面Ⅰ層ほか出土石器・石製品……294

第261図 G-28・29区（C丘陵北斜面b包含層）平面図・断面図……296
第262図 G-28・29区（C丘陵北斜面b包含層）出土土器（1）……297
第263図 G-28・29区（C丘陵北斜面b包含層）出土土器（2）・土製品……298
第264図 G-28・29区（C丘陵北斜面b包含層）出土石器・石製品 ……299
第265図 G-20・21区（C丘陵北斜面c包含層）平面図・断面図 ……300
第266図 G-22・34区（C丘陵北斜面c包含層）平面図・断面図 ……301
第267図 G-20・21・22・34区（C丘陵北斜面c包含層）出土土器（1） ……302
第268図 G-20・21・22・34区（C丘陵北斜面c包含層）出土土器（2） ……303
第269図 G-20・21・22・34区（C丘陵北斜面c包含層）出土土器（3）・土製品 ……304
第270図 G-20・21・22・34区（C丘陵北斜面c包含層）出土石器 ……305
第271図 G-10・11・12区（B丘陵南斜面b包含層）平面図・断面図 ……307
第272図 G-13・14区（B丘陵南斜面b包含層）平面図・断面図 ……308
第273図 SX209・210自然流路跡出土遺物……309
第274図 G-10・11・12・13・14区（B丘陵南斜面b包含層）出土土器（1） ……310
第275図 G-10・11・12・13・14区（B丘陵南斜面b包含層）出土土器（2） ……311
第276図 G-10・11・12・13・14区（B丘陵南斜面b包含層）出土土器（3）・土製品・石器、G-15区出土石器、G-16区出土土製品 ……312
第277図 D-53・78・79区遺構配置図 ……315
第278図 SE1054井戸跡、SD1055溝跡断面図 ……315
第279図 SB1060建物跡、SA1061・1062柱列跡平面図……316
第280図 SA1063・1064柱列跡、SK1052土坑ほか平面図・断面図……317
第281図 土器の分類基準図（類型1）（1） ……324
第282図 土器の分類基準図（類型1）（2） ……325
第283図 土器の分類基準図（類型２）（1）……326
第284図 土器の分類基準図（類型２）（2）……327
第285図 D-61区西側深堀区（C北a包含層）層位別出土土器（1）Ⅵh層、Ⅵg層 ……340
第286図 D-61区西側深堀区（C北a包含層）層位別出土土器（2）Ⅵg層、Ⅵf層 ……341
第287図 D-61区西側深堀区（C北a包含層）層位別出土土器（3）Ⅵf層、Ⅵe層、Ⅵd層 ……342
第288図 D-61区西側深堀区（C北a包含層）層位別出土土器（4）Ⅵd層、Ⅵc層、Ⅵb層、Ⅵa層 ……343
第289図 時期別の土器の大きさ（深鉢・鉢・浅鉢・皿）……345
第290図 石器の分類基準図（1）……354
第291図 石器の分類基準図（2）……355
第292図 C丘陵突端部遺物包含層　器種別石材組成（1）……366
第293図 C丘陵突端部遺物包含層　器種別石材組成（2）……367
第294図 D-68区およびD-61区西出土自然石の大別層群石材組成 ……368
第295図 自然石および石核の石材別重量組成 ……368
第296図 石鏃　大別層群別類型出現頻度 ……371
第297図 石鏃　類型別石材組成 ……371
第298図 石鏃の大きさ・形状 ……372
第299図 不定形石器　大別層群別類型出現頻度 ……373
第300図 不定形石器　類型別石材組成 ……373
第301図 礫石器の大きさ・形状 ……375
第302図 円盤状石製品の大きさ・形状 ……376
第303図 サメ歯列の出土事例 ……381
第304図 サメ歯装着具（09B141）の復元模式図 ……382
第305図 土坑墓の方向 ……387
第306図 SX43集石遺構　遺物組成 ……390
第307図 SX43集石遺構　器種別石材組成 ……390
第308図 SX43集石遺構　重量分布 ……390
第309図 SX43集石遺構　礫石器および自然石の大きさ・形状 ……391
第310図 SX43集石遺構　円磨度 ……391
第311図 SX43集石遺構　石棒類の風化差 ……391
第312図 SX91集石遺構　遺物組成 ……392
第313図 SX91集石遺構　器種別石材組成 ……392
第314図 SX91集石遺構　円磨度 ……392
第315図 SX91集石遺構　重量分布 ……392
第316図 SX91集石遺構　礫石器および自然石の大きさ・形状 ……392
第317図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布　Ⅰ期、Ⅱ期 ……397
第318図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布　Ⅲ期、Ⅳ期 ……398
第319図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布　Ⅴ期、Ⅵa期 ……399
第320図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布　Ⅵb期 ……400
第321図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布　Ⅵc期 ……401

表　目　次（第１分冊）

第１表　遺跡地名表 ……3
第２表　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）調査年度と調査面積 ……6
第３表　D区（C丘陵突端部）におけるⅥ層の細分 ……13
第４表　C丘陵頂部建物跡一覧 ……30
第５表　D-59区土層観察表 ……32
第６表　SX43集石遺構　器種組成 ……44
第７表　SX43集石遺構　器種別石材組成 ……44
第８表　C丘陵頂部・南斜面　土坑墓一覧 ……98
第９表　土坑一覧 ……100
第10表　C丘陵南斜面a包含層　大別層群別の各類型出現頻度 ……330
第11表　C丘陵突端部北斜面遺物包含層　大別層群別の各類型出現頻度 ……334
第12表　C丘陵突端部遺物包含層の時期 ……337
第13表　D-61区西側深堀区　層位別の各類型出現頻度 ……344
第14表　石器・石製品　地区別出土状況 ……350
第15表　石器・石製品　C丘陵突端部遺物包含層の大別層群別器種組成 ……351
第16表　石器・石製品　類型別出現頻度（C丘陵突端部遺物包含層のみ） ……352
第17表　大別層群別石材組成（トゥール）……362
第18表　大別層群別石材組成（礫石器）……362
第19表　大別層群別石材組成（剥片・石核）　点数 ……363
第20表　大別層群別石材組成（剥片・石核）重量（g） ……363
第21表　C丘陵突端部遺物包含層　器種別石材組成（1） ……364
第22表　C丘陵突端部遺物包含層　器種別石材組成（2） ……365
第23表　大別層群別の剥片・石核各属性の出現頻度 …369
第24表　加熱処理痕跡のある石器の出現頻度 ……370
第25表　礫石器の転用 ……374
第26表　骨角牙製品　大別層群別出土状況 ……379
第27表　骨角牙製品　器種別素材 ……379
第28表　掘立柱建物跡の時期 ……385
第29表　埋葬人骨の頭部の位置 ……387
第30表　土坑墓の特徴 ……387
第31表　SX43集石遺構　器種組成 ……390
第32表　SX91集石遺構　器種組成 ……392
第33表　C丘陵突端部における主要遺構の変遷 ……396

第２分冊　分析編

目　　次

第１章　北小松遺跡出土人骨について……鈴木敏彦（東北大学）　1

第２章　北小松遺跡平成21年度発掘調査出土動物遺存体の分析
……富岡直人・太田有香・足立望・江川達也（岡山理科大学）　13

第３章　北小松遺跡出土イヌ遺存体（埋葬犬）
……古賀日香理・富岡直人（岡山理科大学）　73

第４章　北小松遺跡から出土したコイ科魚類咽頭歯遺存体
……中島経夫（岡山理科大学）　87

第５章　北小松遺跡から出土したサメ歯装着具の木質部について
……小林和貴・鈴木三男（東北大学植物園）　93

第６章　北小松遺跡出土サメ歯装着具の膠着物の科学分析
……本多貴之・湯淺健太・宮腰哲雄（明治大学大学院理工学研究科応用科学専攻）　97

第７章　北小松遺跡出土遺物の黒色物質の材料調査
……赤田昌倫・高妻洋成（奈良文化財研究所）　103

第８章　マイクロＸ線CT可視化法による北小松遺跡出土中空動物形土製品およびサメ歯装着具の内部構造
……佐々木 理・柳田俊雄・鹿納晴尚（東北大学総合学術博物館）　107

第９章　北小松遺跡出土石器の機能と色……鹿又喜隆（東北大学）　111

第10章　北小松遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）(1)
……（株）加速器分析研究所　131

第11章　北小松遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）(2)
……（株）加速器分析研究所　135

第12章　北小松遺跡ほかにおける放射性炭素年代（AMS測定）及び炭素・窒素安定同位体分析　……（株）加速器分析研究所　141

第13章　北小松遺跡周辺の縄文時代晩期から平安時代の植生史と堆積環境
……吉川昌伸（古代の森研究舎）　153

第14章　北小松遺跡周辺より産出した木材及び種実……吉川純子（古代の森研究舎）　165

第15章　北小松遺跡周辺より出土した大型植物化石……吉川純子（古代の森研究舎）　173

第16章　北小松遺跡E-25区の縄文時代晩期の植生と堆積環境
……吉川昌伸（古代の森研究舎）　181

第17章　北小松遺跡E-1区とF-10区の縄文時代の花粉と珪藻化石
…… 吉川昌伸（古代の森研究舎）　191
第18章　北小松遺跡の縄文時代の植物化石……吉川昌伸・吉川純子（古代の森研究舎）　199
第19章　北小松遺跡D-58・59・61区の縄文時代後・晩期の花粉・珪藻化石
…… 吉川昌伸（古代の森研究舎）　211
第20章　北小松遺跡（平成21年度調査）から出土した木材と種実（1）
…… 吉川純子（古代の森研究舎）　225
第21章　北小松遺跡（平成21年度調査）から出土した木材と種実（2）
…… 吉川純子（古代の森研究舎）　229
第22章　北小松遺跡E-25区Ⅵ層から検出された白色物　……藤根 久（パレオ・ラボ）　233
第23章　北小松遺跡出土の火山灰分析 ……（株）火山灰考古学研究所　235

第３分冊　写真図版編

目　　次

写真図版

図版１　北小松遺跡周辺空中写真 ……1
図版２　北小松遺跡ほか遠景 ……2
図版３　北小松遺跡遠景 ……3
図版４　遺跡遠景、D-77区 ……4
図版５　D-78区 ……5
図版６　D-79区 ……6
図版７　D-80区 ……7
図版８　D-59区 ……8
図版９　D-53区 ……9
図版10　D-54区 ……10
図版11　D-68・69区 ……11
図版12　D-55区 ……12
図版13　D-56・57・74・75区全景 ……13
図版14　D-56区　土坑墓群 ……14
図版15　SK44土坑墓 ……15
図版16　SK46土坑墓、D-56区東側全景、SX50集石遺構 ……16
図版17　SK53土坑墓、SK55埋葬犬骨 ……17
図版18　D-57区　土坑墓群、SK60土坑墓 ……18
図版19　SK54・56・57・58・59・61・76・77・78土坑墓 ……19
図版20　D-57区　遺物包含層 ……20
図版21　SK67・72・73・74・75土坑墓 ……21
図版22　SK68・69・70・71土坑墓 ……22
図版23　D-58区 ……23
図版24　D-58区　土器埋設遺構 ……24
図版25　SX91集石遺構、SA206柱列跡、D-64区 ……25
図版26　D-60区 ……26
図版27　D-61区西Ⅵa、Ⅵb層 ……27
図版28　D-61区西Ⅵc、Ⅵd層 ……28
図版29　D-61区西Ⅵe層 ……29
図版30　D-61区西Ⅵf層 ……30
図版31　D-61区西Ⅵg層（1）……31
図版32　D-61区西Ⅵg層（2）……32
図版33　D-61区西Ⅵh層 ……33
図版34　D-61区西壁、D-61拡張区 ……34
図版35　D-62・63・65区 ……35
図版36　G-28・29区 ……36
図版37　G-20・21・22・34区……37
図版38　G-10・11・12・13区 ……38
図版39　G-13・14区……39
図版40　C丘陵南斜面土坑墓群　埋設土器 ……40
図版41　C丘陵北斜面土器埋設遺構群　埋設土器 ……41
図版42　C丘陵南斜面a包含層　出土土器 ……42
図版43　C丘陵南斜面a包含層　南３層群、南2B層群出土土器 ……43
図版44　C丘陵南斜面a包含層　南2A層群、南１層群出土土器 ……44
図版45　C丘陵北斜面a包含層　出土土器 ……45
図版46　C丘陵北斜面a包含層　北５層群、北３層群出土土器 ……46
図版47　C丘陵北斜面a包含層　北2A層群、北1A層群出土土器 ……47
図版48　SX43集石遺構　出土遺物 ……48
図版49　SX43集石遺構　石器・礫石器 ……49
図版50　SX43集石遺構　石製品 ……50
図版51　SX43集石遺構　剥片・石核、石器石材 ……51
図版52　SX43集石遺構　自然石、土器・土製品 ……52
図版53　SX50・91集石遺構　出土石器 ……53
図版54　C丘陵突端部遺物包含層　出土石器 ……54
図版55　石製品 ……55
図版56　土製品・骨角牙製品 ……56
図版57　C丘陵頂部遺構群　出土遺物（1）……57
図版58　C丘陵頂部遺構群　出土遺物（2）……58
図版59　SX43集石遺構　出土石器・石製品（1）……59
図版60　SX43集石遺構　出土石器・石製品（2）……60
図版61　SX43集石遺構　出土石器・石製品（3）……61
図版62　SX43集石遺構　出土石器・石製品（4）……62
図版63　SX43集石遺構　出土石器・石製品（5）……63
図版64　SX43集石遺構　出土石器・石製品（6）……64
図版65　SX43集石遺構　出土石器・石製品（7）……65
図版66　SX43集石遺構　出土石器・石製品（8）……66
図版67　SX43集石遺構　出土石器・石製品（9）……67
図版68　SX43集石遺構　出土石器・石製品（10）……68
図版69　SX43集石遺構　出土土器・土製品 ……69
図版70　C丘陵南斜面遺構群　出土遺物（1）……70
図版71　C丘陵南斜面遺構群　出土遺物（2）……71
図版72　C丘陵南斜面遺構群　出土遺物（3）……72
図版73　C丘陵南斜面遺構群　出土遺物（4）……73
図版74　C丘陵南斜面遺構群　出土遺物（5）……74
図版75　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（1）……75
図版76　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（2）……76

図版77　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（3）……77
図版78　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（4）……78
図版79　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（5）……79
図版80　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（6）……80
図版81　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（7）……81
図版82　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（8）……82
図版83　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（9）……83
図版84　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（10）……84
図版85　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（11）……85
図版86　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（12）……86
図版87　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（13）……87
図版88　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（14）……88
図版89　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（15）……89
図版90　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（16）……90
図版91　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（17）……91
図版92　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（18）……92
図版93　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（19）……93
図版94　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（20）……94
図版95　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（21）……95
図版96　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（22）……96
図版97　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（23）……97
図版98　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（24）……98
図版99　C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（25）……99
図版100 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（26）……100
図版101 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（27）……101
図版102 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（28）……102
図版103 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（29）……103
図版104 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（30）……104
図版105 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（1）……105
図版106 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（2）……106
図版107 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（3）……107
図版108 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（4）……108
図版109 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（5）……109
図版110 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（6）……110
図版111 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（7）……110
図版112 C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（1）……112
図版113 C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（2）……113
図版114 C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（3）……114
図版115 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）……115
図版116 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）……116
図版117 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）……117
図版118 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（4）……118
図版119 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（5）……119
図版120 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（6）……120
図版121 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（7）……121
図版122 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（8）……122
図版123 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（9）……123

図版124 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（10） ……124
図版125 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（1） ……125
図版126 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（2） ……126
図版127 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（3） ……127
図版128 C丘陵南斜面a包含層　出土骨角牙製品 ……128
図版129 C丘陵突端部南斜面Ⅴ層、Ⅰ層ほか　出土土器・土製品 ……129
図版130 C丘陵南斜面Ⅰ層ほか　出土石器・石製品 ……130
図版131 SX91集石遺構　出土石器（1）……131
図版132 SX91集石遺構　出土石器（2）……132
図版133 SX91集石遺構　出土石器（3）……133
図版134 C丘陵北斜面遺構群　出土遺物（1） ……134
図版135 C丘陵北斜面遺構群　出土遺物（2） ……135
図版136 C丘陵北斜面遺構群　出土遺物（3） ……136
図版137 C丘陵北斜面遺構群　出土遺物（4） ……137
図版138 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（1） ……138
図版139 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（2） ……139
図版140 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（3） ……140
図版141 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（4） ……141
図版142 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（5） ……142
図版143 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（6） ……143
図版144 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（1） ……144
図版145 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（2） ……145
図版146 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（3） ……146
図版147 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（4） ……147
図版148 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（5） ……148
図版149 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（6） ……149
図版150 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（7） ……150
図版151 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（8） ……151
図版152 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（9） ……152
図版153 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（10） ……153
図版154 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（11） ……154
図版155 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（12） ……155
図版156 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（13） ……156
図版157 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（14） ……157
図版158 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（15） ……158
図版159 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（16） ……159
図版160 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（17） ……160
図版161 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（18） ……161
図版162 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（19） ……162
図版163 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（20） ……163
図版164 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（21） ……164
図版165 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（22） ……165
図版166 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（23） ……166
図版167 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（24） ……167
図版168 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（25） ……168
図版169 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（26） ……169
図版170 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（27） ……170
図版171 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（28） ……171
図版172 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（29） ……172
図版173 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（30） ……173
図版174 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土土器（31） ……174

図版175 C丘陵北斜面a包含層　出土土製品（1）
……175
図版176 C丘陵北斜面a包含層　出土土製品（2）
……176
図版177 C丘陵北斜面a包含層　出土土製品（3）
……177
図版178 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品
（1）……178
図版179 C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品
（2）……179
図版180 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（1）……180
図版181 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（2）……181
図版182 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（3）……182
図版183 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（4）……183
図版184 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（5）……184
図版185 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（6）……185
図版186 C丘陵北斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品
（7）・木製品 ……186
図版187 C丘陵北斜面a包含層　出土骨角牙製品 ……187
図版188 C丘陵突端部北斜面Ⅳ・Ⅰ層ほか　出土土器・土
製品・石器・石製品 ……188
図版189 C丘陵北斜面b包含層　出土土器（1）……189
図版190 C丘陵北斜面b包含層　出土土器（2）・土製品・
石器・石製品 ……190
図版191 C丘陵北斜面c包含層　出土土器（1）……191
図版192 C丘陵北斜面c包含層　出土土器（2）……192
図版193 C丘陵北斜面c包含層　出土土器（3）・土製品・
石器、SX209・210自然流路跡　出土土器・石器
……193
図版194 B丘陵南斜面b包含層　出土土器（1）……194
図版195 B丘陵南斜面b包含層　出土土器（2）・土製品・
石器……195

第１章　遺跡の概要

第１節　遺跡の位置と自然環境

北小松遺跡は、大崎市田尻小松ほかに所在し（第１・２図）、江合川と鳴瀬川の沖積作用で形成された東西約13km、南北約17kmの大崎平野（大崎低地）の北部に位置する。大崎低地を囲むように、南は鹿島台丘陵（三本木丘陵）、北は清滝丘陵（築館丘陵）がそれぞれ東へ延びる。遺跡の位置する大崎低地の東縁部は、低い小丘陵が点在しており、北西から延びる清滝丘陵も低くなり、末端部では断続的となっている。大崎低地は、現河道および旧河道沿いに自然堤防が形成され、これらの間に後背湿地が広がっている（宮城県企画部　1989）。

第１図　北小松遺跡の位置

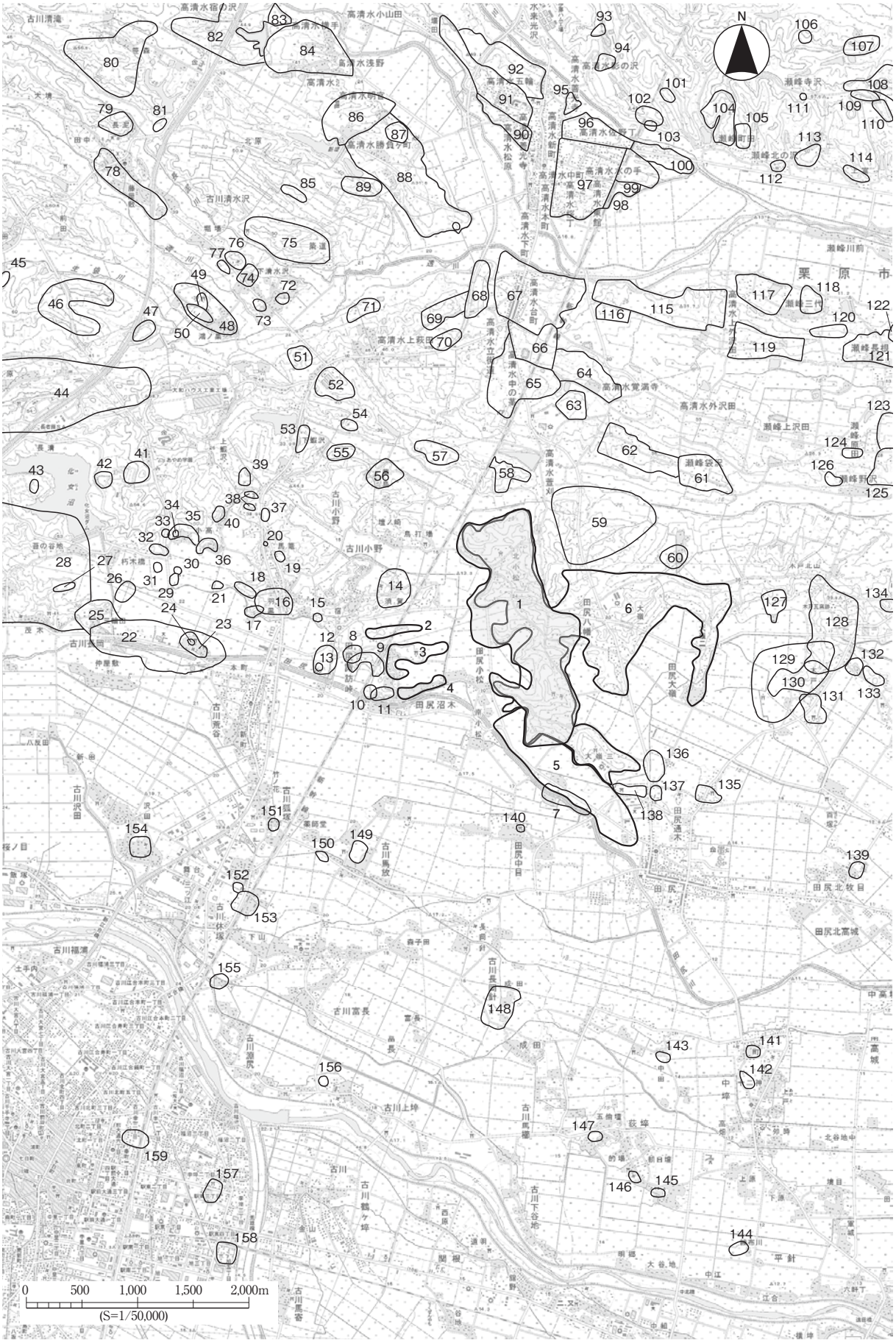
遺跡は、清滝丘陵の末端部近くの樹枝状に延びる低丘陵の裾部と、その西側に広がる後背湿地に位置する。標高は約13.4～49.7mで、現況は宅地や水田・畑地等として利用されている。遺跡の南側は、東流する田尻川によって形成された自然堤防が東西に延びる。また、遺跡の西側に広がる後背湿地は、大崎沼とよばれる沼地があったと伝えられている（田尻町史編さん委員会　1982）など、本遺跡の周辺域にはかつて湖沼域が広がっていたとみられる。

なお、遺跡の位置する清滝丘陵の周辺域に縄文時代の貝塚が出現するのは、海岸線が最も内奥に入り込んだ縄文時代早期末から前期初頭である（須藤・富岡編　1995）。この時期に海岸線は本遺跡から約10km南東にあったとされる。その後、海岸線の後退とともに清滝丘陵周辺の湖沼域が淡水化するとともに、数多くの後背湿地や湖沼が形成されるようになる。本遺跡周辺で多くの集落が営まれるようになる縄文時代晩期には、本遺跡から約20km南東まで海岸線が後退する。

また、遺跡の位置する丘陵には、新第三紀鮮新世の瀬峰層が分布する。瀬峰層は凝灰質砂岩・同質シルト岩・凝灰岩等からなり、箟岳以北の低平丘陵地一帯および、北上川・迫川・江合川・鳴瀬川に沿った沖積平野に残丘状に残された小丘陵を構成しつつ分布する。また、低地には、細粒灰色低地土壌および、細粒グライ土壌、グライ土壌、低位泥炭土壌が分布している（宮城県企画部　前掲）。

第２節　歴史的環境

北小松遺跡は1953年（昭和28）に発見され、『宮城県史１』の遺跡地名表には縄文時代晩期の大洞BC～A'式土器が出土する遺跡として紹介された（伊東　1957）。また1957年（昭和32）の開田工事では、泥炭層や貝層から、抜歯の施された人骨やシジミ・タニシ等の淡水産貝類、多数の縄文土器や石器、動物遺存体が発見されている（興野　1959、田尻町史編さん委員会　1982、高橋　1986）。この地点は、地元の方々からの聞き取りによると、遺跡標柱の西側に位置する微高地の南側



第２図　北小松遺跡の位置と周辺の遺跡

第１表　遺跡地名表（番号は第２図に対応）

番号	遺跡名	立地	種　別	時　代	番号	遺跡名	立地	種　別	時　代
1	**北小松遺跡**	丘陵、沖積平野	集落・散布地	縄文・弥生・古代・中世	81	北見遺跡	丘陵麓	散布地	古代
2	愛宕山遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代	82	西手取遺跡	段丘	集落・塚	縄文早・前・平安・中世・近世
3	諏訪遺跡	丘陵	集落・散布地	縄文・弥生・古代	83	館山館跡	丘陵	城館	中世
4	宮沼遺跡	丘陵	散布地	縄文・弥生・古代	84	西横手遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代・中世・近世
5	団子山西遺跡	沖積平野	集落	縄文・古墳～近世	85	外沢窯跡	丘陵斜面	窯跡	平安
6	新田柵跡	丘陵	古墳・城柵・集落	縄文・弥生・古墳・古代・中世	86	明官遺跡	段丘	散布地	古代
7	神明遺跡	沖積平野	散布地	古代	87	勝負ヶ町遺跡	丘陵	散布地	古代
8	沼木館跡	丘陵	城館	中世	88	上経ヶ埼遺跡	段丘	塚	不明
9	日向前横穴墓群	丘陵麓	横穴墓群	古墳・平安	89	生深町遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文
10	筒水横穴墓群	丘陵	横穴墓群	古墳	90	長福寺遺跡	段丘	散布地	古代
11	大隅館跡	丘陵	城館	中世	91	五輪遺跡	段丘	散布地	縄文・古墳
12	天神山遺跡	丘陵	散布地	古代	92	袖山遺跡	段丘	散布地	古代・近世
13	天神西横穴墓群	丘陵麓	横穴墓群	古墳後	93	二本石遺跡	丘陵	経塚	中世
14	小野館跡	丘陵	城館	中世	94	折木山遺跡	丘陵	寺院？	古代
15	一貫寺遺跡	丘陵	散布地	奈良	95	一本松遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代
16	羽黒遺跡	丘陵	散布地	古墳	96	佐野遺跡	段丘	散布地	古墳・奈良・平安・中世・近世
17	小野横穴墓群（羽黒支群）	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・奈良	97	高清水城跡	段丘	散布地・城館	古代・中世
18	小野横穴墓群（白山支群）	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・奈良	98	東館遺跡	段丘	集落	弥生～平安
19	小野横穴墓群（馬籠支群）	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後	99	筒の池遺跡	段丘	散布地	縄文・古墳中・後・古代
20	小野馬籠一里塚	丘陵	一里塚	近世	100	大寺遺跡	段丘	散布地	縄文・弥生後・古墳前・中・古代・中世
21	いもり塚周辺遺跡	丘陵麓	散布地	縄文晩	101	影の沢コド山遺跡	丘陵	散布地	奈良
22	権現山遺跡	丘陵	集落・屋敷跡	古代・中世	102	新庄館跡（新城館）	丘陵	城館・散布地	平安・中世
23	新江川遺跡	丘陵	散布地	縄文晩	103	下折木遺跡	丘陵麓	集落	平安
24	稲荷塚古墳	丘陵	円墳	古墳後	104	薬沢東遺跡	丘陵	集落	縄文・古代
25	三輪田遺跡	丘陵	官衙・寺院？	奈良・平安	105	町田遺跡	丘陵	散布地	古代
26	朽木橋遺跡	沖積平野	散布地	古代	106	空堤遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文前
27	岩井堂横穴墓群	丘陵	横穴墓群	古代	107	寺沢遺跡	丘陵	集落・塚	古代・中世
28	国史跡　宮沢遺跡	丘陵	官衙	縄文晩・弥生・奈良・平安	108	岩石Ⅰ遺跡	丘陵	集落・塚	縄文前・中・古墳・古代・中世・近世
29	小野横穴墓群（岩崎支群）	丘陵麓	横穴墓群	古墳後・奈良	109	蒲盛遺跡	丘陵	墓	古代
30	岩崎古墳群	丘陵尾根	円墳	古墳	110	岩石Ⅱ遺跡	丘陵	散布地	縄文中
31	新中山遺跡	沖積平野	塚	不明	111	県指定　瀬峰一里塚遺跡	丘陵	塚	近世
32	小野横穴墓群(朽木橋支群)	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・奈良	112	北ノ沢遺跡	丘陵	散布地	古代
33	姥沢遺跡	丘陵	散布地	奈良・平安	113	寺浦遺跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・古代
34	小野横穴墓群	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・古代	114	杉ノ壇遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代・中世
35	小高遺跡	丘陵斜面	窯跡	古代	115	外沢田Ａ遺跡	段丘	散布地	古代・近世
36	小野横穴墓群（小高支群）	丘陵麓	横穴墓群	古墳後・奈良	116	北甚六原遺跡	段丘	散布地	縄文・古代・中世・近世
37	馬場遺跡	沖積平野	散布地	縄文・古代	117	中三代遺跡	丘陵	集落	古代
38	新田古墳群	丘陵	円墳・方墳	古墳	118	三代遺跡	丘陵	散布地	古代・中世
39	横沢窯跡	丘陵	窯跡・散布地	古代・近世・近代	119	外沢田Ｂ遺跡	段丘	集落	古代・近世
40	小野横穴墓群（新田支群）	丘陵斜面	円墳・横穴墓	古墳・古代	120	町史跡　王壇遺跡	丘陵	塚・散布地	古墳？・古代
41	嵐山遺跡	丘陵	散布地	縄文	121	長根遺跡	丘陵	散布地	古代
42	上蝦沢遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文	122	荒町遺跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・古代・中世
43	長者原Ｄ遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文	123	神田遺跡	丘陵	集落	古代
44	化女沼遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文	124	野沢遺跡	丘陵	散布地	古代
45	畑谷地遺跡	丘陵	散布地	縄文	125	四ツ壇原遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代
46	畑谷地塚群	丘陵尾根	塚		126	諏訪神社遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代
47	十八引沢遺跡	丘陵麓	散布地	縄文晩・古代	127	北山遺跡	丘陵	散布地	縄文・奈良
48	鴻ノ巣館跡	丘陵	城館	近世	128	国史跡　木戸瓦窯跡	丘陵	窯跡	奈良
49	鴻ノ巣遺跡	丘陵斜面	散布地	奈良・平安	129	木戸遺跡	丘陵	集落・散布地	弥生・古代・中世・近世
50	城内窯跡	丘陵	窯跡	古代	130	木戸館跡	丘陵	城館・散布地	平安・中世
51	下沢田遺跡	丘陵斜面	散布地	奈良	131	金鋳神遺跡	丘陵	集落	奈良・平安
52	一ノ坪遺跡	丘陵斜面	散布地	古代	132	泉谷崎畑遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文・古代
53	通揚窯跡	丘陵斜面	窯跡	近世	133	北久保遺跡	丘陵斜面	散布地	古代
54	下蝦沢遺跡	丘陵斜面	散布地	弥生	134	六月坂遺跡	丘陵	散布地	古代
55	下蝦沢Ｂ遺跡	丘陵斜面	散布地	弥生	135	通木城跡	丘陵	集落・城館	古代・中世
56	華島遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文晩・古代	136	通木田中前遺跡	沖積平野	散布地	古代
57	大窪遺跡	丘陵	散布地	縄文前・中	137	通木山崎遺跡	自然堤防	散布地	平安
58	萱刈遺跡	丘陵	散布地・道路・土塁	古代・中世・近世？	138	お椀子山遺跡	自然堤防	散布地	縄文晩・古墳前・古代
59	天狗堂遺跡	丘陵斜面	集落	縄文・奈良・平安	139	百塚原東遺跡	沖積平野	散布地	古代
60	大嶺遺跡	丘陵	散布地	平安	140	忠全寺跡	自然堤防	寺院	
61	袋沢遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代	141	町遺跡	自然堤防	散布地	古代
62	北原Ａ遺跡	段丘	散布地	縄文・古代・中世・近世	142	十二神遺跡	自然堤防	散布地	古代・中世
63	北原Ｂ遺跡	段丘	散布地	古代	143	中田遺跡	自然堤防	散布地	古代
64	覚満寺遺跡	段丘	寺院・散布地	縄文・古代・中世・近世	144	練布川遺跡	自然堤防	散布地	古代
65	中ノ茎遺跡	段丘	集落	縄文・古代・中世・近世	145	山王遺跡	自然堤防	散布地	古代
66	仰ヶ返り地蔵前遺跡	段丘	集落	縄文・古代・中世・近世	146	谷陽院遺跡	自然堤防	散布地	古代
67	観音沢遺跡	段丘	集落	縄文・古墳・奈良～中世	147	的場遺跡	自然堤防	散布地	古代
68	向野遺跡	段丘	集落・散布地	縄文・古代・中世	148	成田遺跡	自然堤防	散布地	平安
69	台町西遺跡	段丘	集落・塚	古代	149	馬放Ａ遺跡	沖積平野	散布地	奈良・平安
70	松ノ木沢田遺跡	段丘	集落・塚	縄文・古代・中世	150	馬放Ｂ遺跡	沖積平野	散布地	古代
71	萩田遺跡	段丘	集落	縄文晩・弥生・古代～近世	151	稲荷遺跡	沖積平野	散布地	古代
72	堀崎遺跡	丘陵斜面	散布地	古代	152	休塚館跡	自然堤防	城館	中世
73	梅女遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文・古代	153	御館跡	自然堤防	城館	近世
74	市ヶ坂館跡	丘陵	城館	中世	154	沢田城跡	自然堤防	城館	中世
75	北山遺跡	丘陵	散布地・円墳・塚	古墳後・古代・近世	155	渕尻遺跡	自然堤防	散布地	古墳中
76	新寺館跡	丘陵斜面	城館	近世	156	上埣遺跡	沖積平野	散布地	古代
77	堀場遺跡	丘陵	散布地	古代	157	季埣城跡	自然堤防	城館	中世
78	藤屋敷遺跡	丘陵	集落	平安	158	谷地館跡	自然堤防	城館	中世
79	長泥遺跡	丘陵麓	散布地	古代	159	留沼遺跡	自然堤防	集落	古墳前・中
80	笹森遺跡	丘陵	散布地	縄文前					

の水田付近にあたるといわれる。最近の発掘調査の結果、この一帯は、縄文時代に湖沼が広がり、その沿岸部にあたる低丘陵や微高地上に縄文時代早期から晩期の集落があったこと、特に晩期後葉頃には近接して多くの集落が営まれたことなどが明らかとなっている（宮城県教育委員会　2008・2010・2011）。なお、遺跡の位置する丘陵上には新田柵跡、遺跡西側の丘陵上には愛宕山遺跡や諏訪遺跡、宮沼遺跡など、南を東流する田尻川によって形成された自然堤防上には団子山西遺跡、神明遺跡などが分布する（第２図）。

周辺の遺跡を概観すると、本遺跡と同じ丘陵上には、長根貝塚や国史跡中沢目貝塚、国指定重要文化財の遮光器土偶が出土した恵比須田遺跡などが位置する。長根貝塚では、丘陵尾根上で中期後葉の竪穴住居跡を検出し、また、前期から中期にかけての貝層を検出した（伊東ほか　1969）。中沢目貝塚では後期末から晩期前葉の貝層を検出し、土器や石器、動物遺存体等の分析から当時の物質文化や生業活動の様相が明らかとなった（須藤編　1984、須藤・富岡編　1995）。

本遺跡の近隣にも縄文時代の遺跡が多く点在し（第２図）、国史跡宮沢遺跡では、1974～1976年（昭和49～51）の東北自動車道建設工事に伴う発掘調査で縄文時代晩期後葉の土坑１基と遺物包含層１箇所を検出している（宮城県教育委員会　1980）。また、本遺跡の西側に隣接する宮沼遺跡では、1996年（平成８）年に町道拡幅工事に伴う発掘調査が行われ、縄文時代晩期の土器がわずかに出土した。

古墳時代以降の遺跡では、本遺跡の西側の丘陵上には日向前横穴古墳群があり、1978年（昭和53）の東北新幹線建設工事に伴う発掘調査で多賀城創建以前の横穴古墳を１基検出している（宮城県教育委員会　1981）。また、本遺跡の位置する丘陵上には、『続日本紀』天平９年（737）条に記載のある「新田柵」に推定されている新田柵跡が位置する。新田柵跡は、各種公共事業や国庫補助事業に伴う発掘調査が20年以上にわたって行われてきており、大型の掘立柱建物跡や門跡、材木塀跡、築地・土塁状遺構などを検出し官衙的空間の様相が明らかとなってきている（大崎市教育委員会　2011など）。

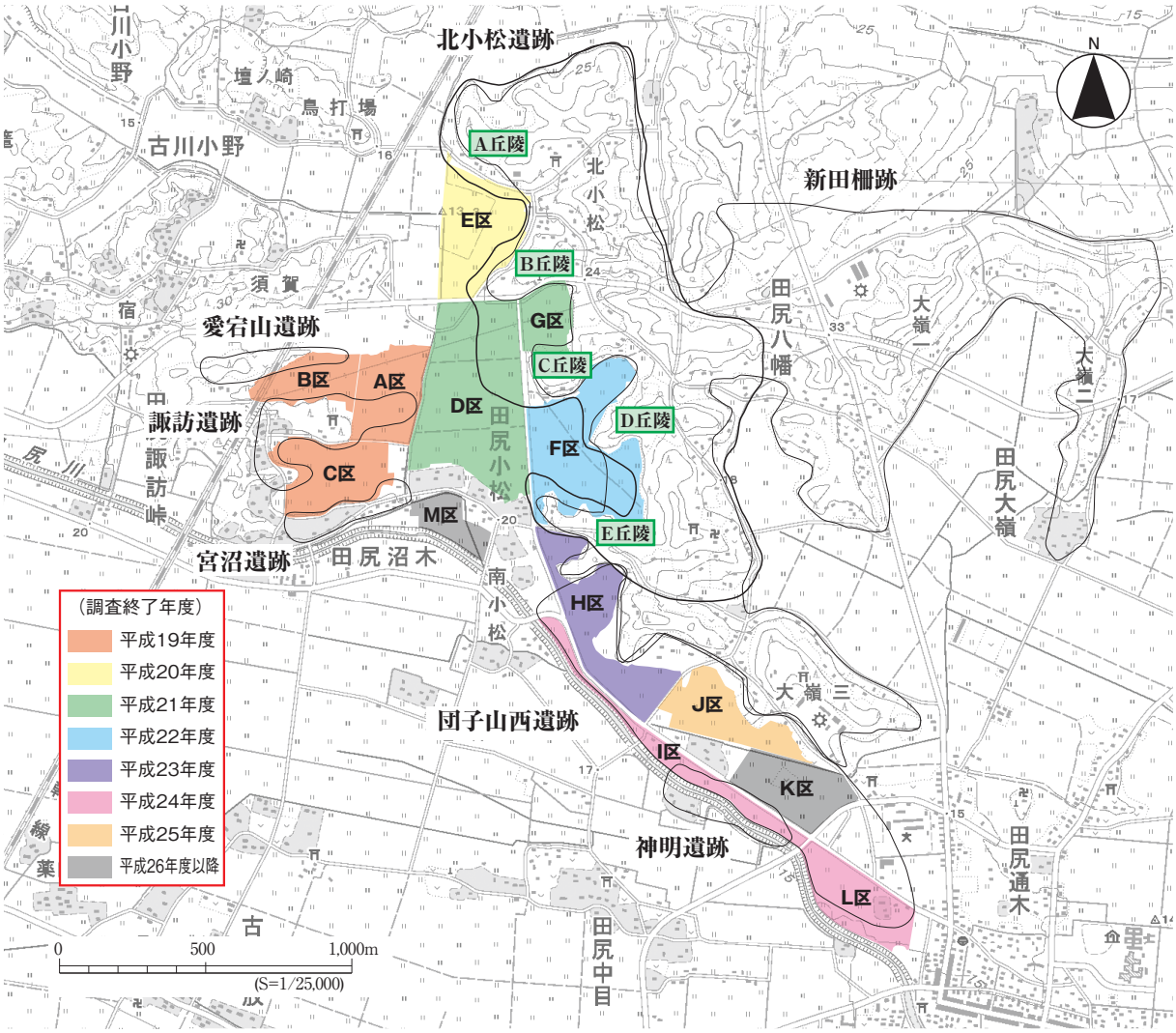
第２章　調査に至る経緯と調査方法

第１節　調査に至る経緯

本調査は、経営体育成基盤整備事業（ほ場整備）に伴うものである。遺跡の範囲や遺構面の深度を確認するために、平成16年度に宮城県教育委員会と田尻町教育委員会がそれぞれ、平成17年度に田尻町教育委員会が確認調査を実施した（第２表）。これらの調査の結果、本報告に関わる範囲では、西へ延びる丘陵末端部の微高地の周辺に縄文時代晩期中葉から弥生時代前期の遺物包含層が形成され、微高地上には集落が営まれていた可能性が判明した（宮城県教育委員会　2005）。

確認調査の結果をもとに、ほ場整備に伴う工事による遺跡への影響を少なくするため、設計の変更などの協議を経て、平成19年度から本発掘調査を実施することとなった（第３図、第２表）。

本発掘調査は、平成19年度にほ場整備対象地区の西側丘陵裾部にあたる、愛宕山遺跡・諏訪遺跡・宮沼遺跡（A～C区とD区の一部）を調査し、平成20年度に東側丘陵裾部にあたる、北小松遺跡（D区の一部、E区、F区の一部）の調査を実施した。これらの調査の結果、1）調査対象範囲の大部分を占める丘陵裾部および沖積地の基本層序はⅠ～Ⅹ層に大別され、うちⅥ層の黒色粘土層に縄文時代晩



第３図　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う発掘調査対象範囲

第２表　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）　調査年度と調査面積

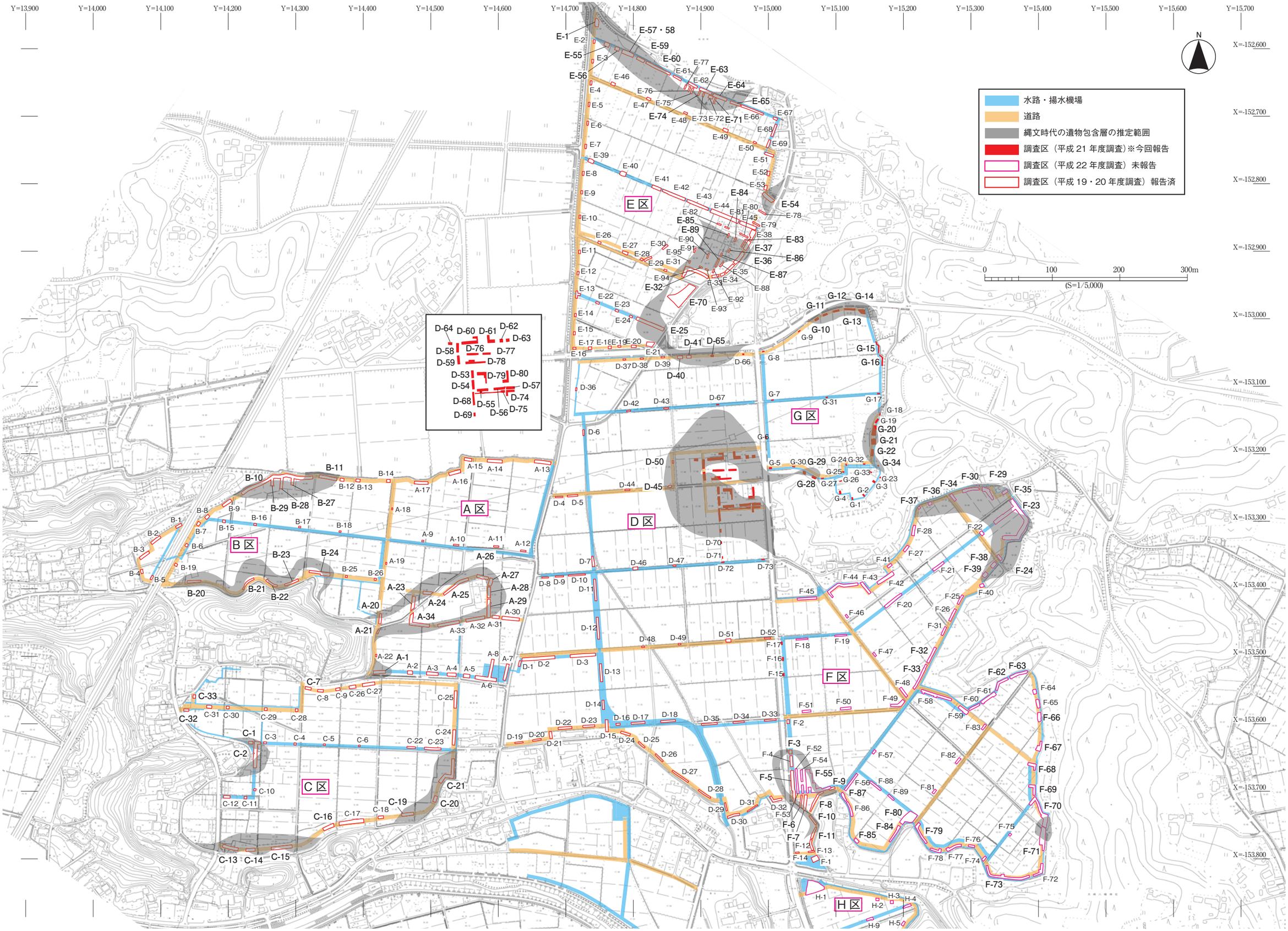
調査年度	調査内容	遺　跡　名	調　査　地　点	調査面積	調査主体	報　告　書
平成 16 年度	範囲確認	北小松遺跡	D 区	670㎡	宮城県教育委員会	宮城県教育委員会 2005（宮文報第 202 集）
	範囲確認	北小松遺跡、諏訪遺跡、新田柵跡、団子山西遺跡、神明遺跡	A 区、B 区、C 区、F 区、H 区、I 区、J 区、K 区	5,745㎡	田尻町教育委員会	
平成 17 年度	範囲確認	北小松遺跡、新田柵跡	E 区、F 区、G 区	1,655㎡	田尻町教育委員会	
平成 19 年度	本発掘・確認	愛宕山遺跡、諏訪遺跡、宮沼遺跡	A 区（1 ～ 34 区）、B 区（1 ～ 29 区）、C 区（1 ～ 33 区）、D 区（1 ～ 35 区）	7,961㎡	宮城県教育委員会	宮城県教育委員会 2007（宮文報第 216 集）、宮城県教育委員会 2010（宮文報第 223 集）
平成 20 年度	本発掘・確認	北小松遺跡	D 区（36 ～ 52 区）、E 区（1 ～ 95 区）、F 区（1 ～ 14 区）	5,472㎡	宮城県教育委員会	宮城県教育委員会 2011（宮文報第 226 集）
平成 21 年度	本発掘・確認	北小松遺跡	D 区（53 ～ 80 区）、F 区（15 ～ 17 区）、G 区（1 ～ 34 区）	2,170㎡	宮城県教育委員会	本書（宮文報第 234 集）
平成 22 年度	本発掘・確認	北小松遺跡	F 区（18 ～ 89 区）、H 区（1 ～ 10 区）	7,000㎡	宮城県教育委員会	
平成 23 年度	本発掘・確認	団子山西遺跡	H 区（12 ～ 27 区）、I 区（1 ～ 5 区）	8,090㎡	宮城県教育委員会	
平成 24 年度	本発掘・確認	団子山西遺跡、神明遺跡	I 区（6 ～ 19 区）、L 区（1 ～ 15 区）	9,280㎡	宮城県教育委員会	
平成 25 年度	本発掘・確認	団子山西遺跡	J 区（1 ～ 24 区）、L 区（16・17 区）	3,520㎡	宮城県教育委員会	

期を中心とした遺物包含層が形成されること、2）低丘陵や微高地などの現在の地形は、縄文時代晩期頃の地形をおおよそ反映したものであり、丘陵の周囲には湿地や沼地、湖沼が広がっていたこと、3）遺構は竪穴状遺構や集石遺構、土器の一括廃棄土坑などを検出し、これらは低丘陵上および丘陵裾部の微高地および緩斜面につくられ、丘陵の突端部に多くみられること、4）遺物包含層は丘陵裾部から湿地部にかけての斜面に形成され、調査対象範囲の大部分に点在していること、5）出土した遺物には、縄文土器や土製品、石器・石製品、木製品、骨角牙製品、動植物遺存体などがあること、6）遺物は、縄文時代早期末葉から弥生時代前期まで多くの時期のものが出土しているが、晩期後葉から末葉のものが主体であること、7）遺物の出土状況から、縄文時代晩期中葉以前は小規模な集落が点在する状況がみられるが、晩期後葉から末葉にかけて集落の規模と数が増加し広範囲にわたって形成されるようになること、8）縄文時代の遺物包含層の上層には、砂や植物を部分的に含むグライ化した粘土層（Ⅵ層）やスクモ層（Ⅱ～Ⅳ層、Ⅴ層の一部）が形成され、弥生時代前期以降の大規模洪水の後に湿地化していること、などが判明した（宮城県教育委員会　2008・2010・2011）。

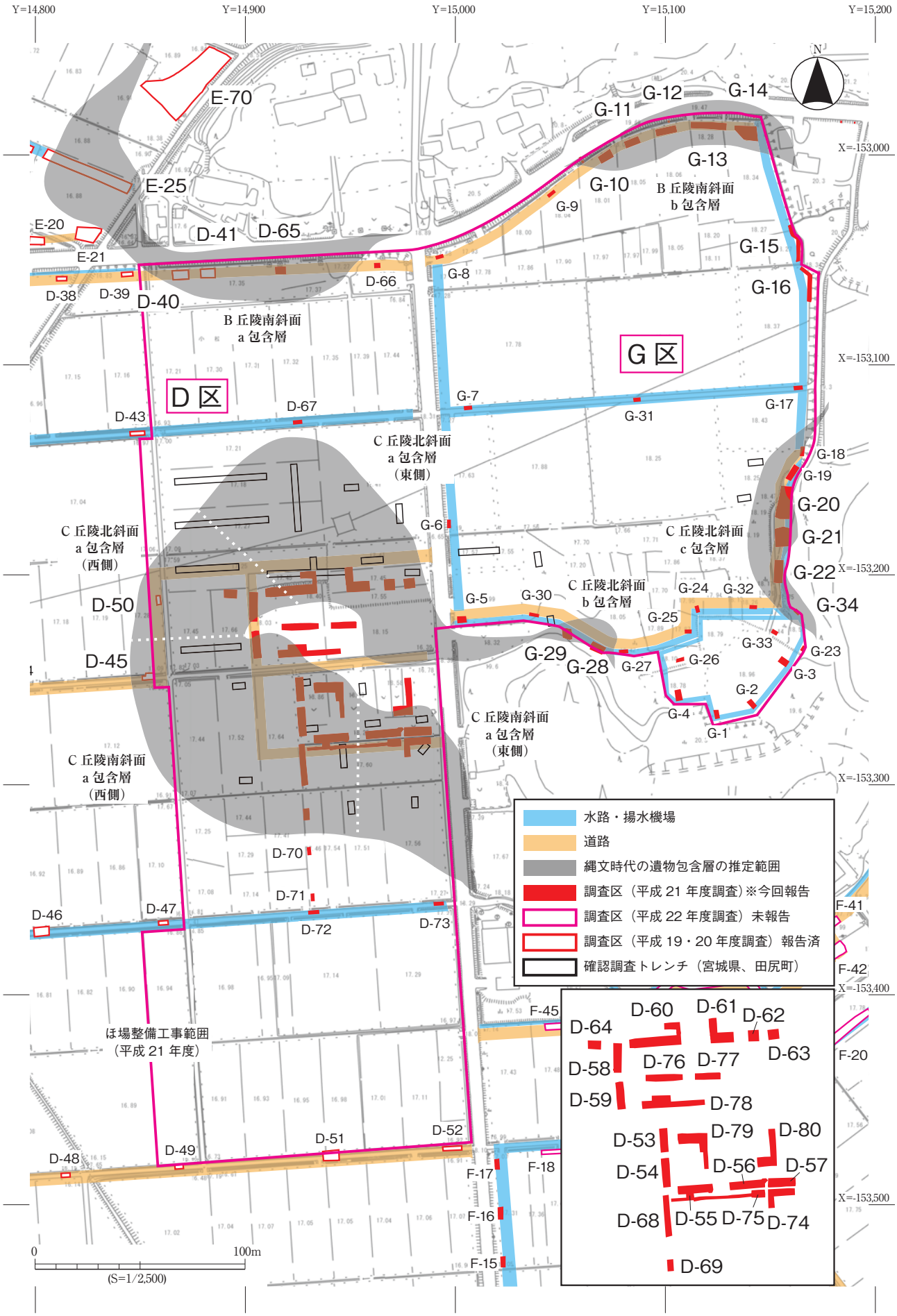
平成21年度は前年度に引き続き、ほ場整備対象地区の東側丘陵裾部にあたる、北小松遺跡が発掘調査の対象となった。D区東側とF区の一部、G区がこれにあたる（第３図）。ほ場整備事業が実施される範囲（約92,400㎡）のうち、水路予定地が本発掘調査、農道予定地等が確認調査の対象となった（第４・５図）。

第２節　調査の方法と経過

発掘調査は、平成21年５月11日から同年12月14日まで、および平成22年２月１・２日に実施した。調査はG区から着手し、３箇所の遺物包含層などを検出した。G区の調査終了後に、６月18日からD区の調査に着手し、柱列や土坑墓（ヒト・イヌ）、集石遺構、土器埋設遺構、遺物包含層２箇所などを検出した。調査の成果がある程度判明した９月５日には現地説明会を開催し、約210名の参加があった。D区の調査が進展するにつれて、人骨を伴う土坑墓を多く検出し、また遺物包含層が２m以上堆積している箇所が判明するなど、遺跡の重要性が高まってきた。このため、事業者側と遺構の保存について協議を重ねた結果、D区の土坑墓や遺物包含層が厚く堆積している範囲を保護するため、農道およびパイプラインの設計が変更された。これに伴い追加の確認調査を実施するとともに、保護



第４図　経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）　調査区配置図



第５図　平成21年度調査区の位置と遺物包含層の分布

される部分については、遺跡の解明に必要な調査を実施した後に土嚢や山砂を用いて慎重に埋め戻し作業を行った。11月16日からは、低丘陵上の集落の様相を解明することを目的として、水田および畑予定地部分の確認調査を実施し、掘立柱建物跡や土坑、遺物包含層などを検出した。12月９日には航空写真撮影を行い、12月14日までにD区の調査を終了した。

その後、田面および水路部分の追加工事および次年度のほ場整備対象範囲内における先行工事の必要性が生じたため、工事に先立ち、確認調査を平成22年２月１・２日に実施した。この調査では、G区の南側（G-1～4区）およびF区の西側（F-15～17区）を調査したが、遺構・遺物は検出されなかった。

平成21年度の発掘調査区の総数は64箇所で、調査面積は2,170m^2（本発掘調査：60m^2、確認調査：2,110m^2）である。

これまでの調査結果から、遺構・遺物の検出面は黒色粘土層（Ⅵ層）であることが判明しているため、縄文時代の遺構確認作業はⅥ層を遺構確認面として実施し、遺物包含層の分布や堆積状況、遺構・遺物の分布状況を把握した。また、古代以降の遺構確認作業は、水成堆積層であるⅤ層を遺構確認面として実施した。縄文時代の遺物包含層は、本発掘調査区では原則としてすべて精査し、確認調査区では必要性が認められた場合に一部を掘り下げて内容を確認した。また、Ⅵ層の分布状況を把握するために、ハンドオーガーを用いたボーリング調査を適宜実施し、確認深度や層の堆積状況などを記録した。

遺構等の平面図実測に際しては、ほ場整備事業に伴い設置した２級基準点を測量原点とし、電子平板による測量作業を行った。２級基準点の国家座標（世界測地系第Ｘ系）は以下の通りである。

基Ⅱ-1: X=-152982.635　Y=15149.952　標高値: 19.604m

基Ⅱ-4: X=-153411.328　Y=15010.645　標高値: 17.798m

測量した遺構等の図化作業は、福井コンピュータ社製の測量計算CADシステム「BLUETREND Field com」を用いた。なお、平成22年度以降の発掘調査では、遺構等図化作業においてCUBIC社製の遺構実測支援システム「遺構くんCubic」を使用することとなり、前者で作成した測量・図化データのすべてを「遺構くんCubic」で運用可能なデータに変換する作業を実施している。遺構の一部は縮尺1/5および1/10で作図し、断面図は縮尺1/5～1/20で作図した。

遺構等の写真撮影はデジタル一眼レフカメラ（撮像素子サイズ：23.6×15.8mm、有効画素数：12.3メガピクセル）を用いて撮影し、重要度が高いものについては６×７cm判カラーリバーサル・モノクロフィルムを併用した。

第３章　周辺の地形と基本層序

第１節　発掘調査区周辺の地形

北小松遺跡が位置する丘陵は、大崎平野の北に位置する清滝丘陵の末端部に位置し、低く断続的になっているところの一つである。本遺跡はこの低丘陵の西端部に位置し、小丘陵が西や南に樹枝状に延びる地形となっている。ほ場整備に伴う北小松遺跡の発掘調査では、西へ延びる小丘陵上および丘陵裾部に集落や遺物包含層が形成されることが判明してきている。これらの西へ延びる小丘陵は大きく５本に分けることができ、北からA丘陵、B丘陵、C丘陵、D丘陵、E丘陵と呼称する（第３図）。

平成21年度における発掘調査対象範囲は、北小松遺跡と新田柵跡が位置する低丘陵から西へ延びる小丘陵のうち、B丘陵の南側およびC丘陵の周囲である（第５図）。現況は、標高16.9～19.0mのほぼ平坦な地形で大部分が水田として利用されており、丘陵裾部や後背湿地で構成される。また、C丘陵の西延長線上は標高18.0～18.6m微高地となっており、畑地として利用されている。この微高地はC丘陵末端部の一部であり、過去の開田工事により一部が削平されている。

第２節　基本層序

平成21年度調査区は、過去の調査と同様に以下のように大別される（第６図）。

第Ⅰ層：表土層

第Ⅱ層：スクモ層。主に低地部に分布する。層厚約６～32cm。

第Ⅲ層：灰白色火山灰（十和田Aテフラ、To-a）層。主に低地部に分布する。層厚約４～16cm。

第Ⅳ層：スクモ層。C丘陵北斜面の西側包含層では、この下位に灰黄褐色粘土～シルト層が堆積し、縄文時代の遺物が流れ込んでいる。層厚約8～174cm。

第Ⅴ層：オリーブ灰色粘土～砂層。水成堆積層。層中にスクモ層が形成される地点があることから、洪水による水位の上昇が複数回繰り返されたものと推測される（付章１）。層厚約11～270cm以上。

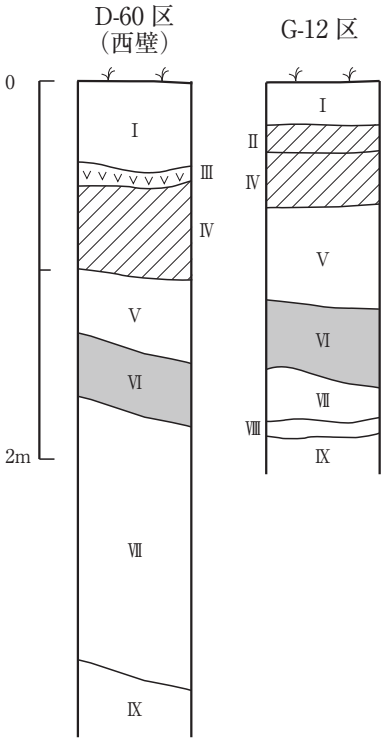
第Ⅵ層：主に黒色を呈する粘土～砂層。縄文時代～弥生時代前期の遺物包含層はこの層中に形成される。層厚約10～200cm。

第Ⅶ層：主に褐灰色を呈する粘土～砂層。無遺物層。

第Ⅷ層：シルト～砂層。Ⅵ・Ⅶ層とⅨ層の漸移層。

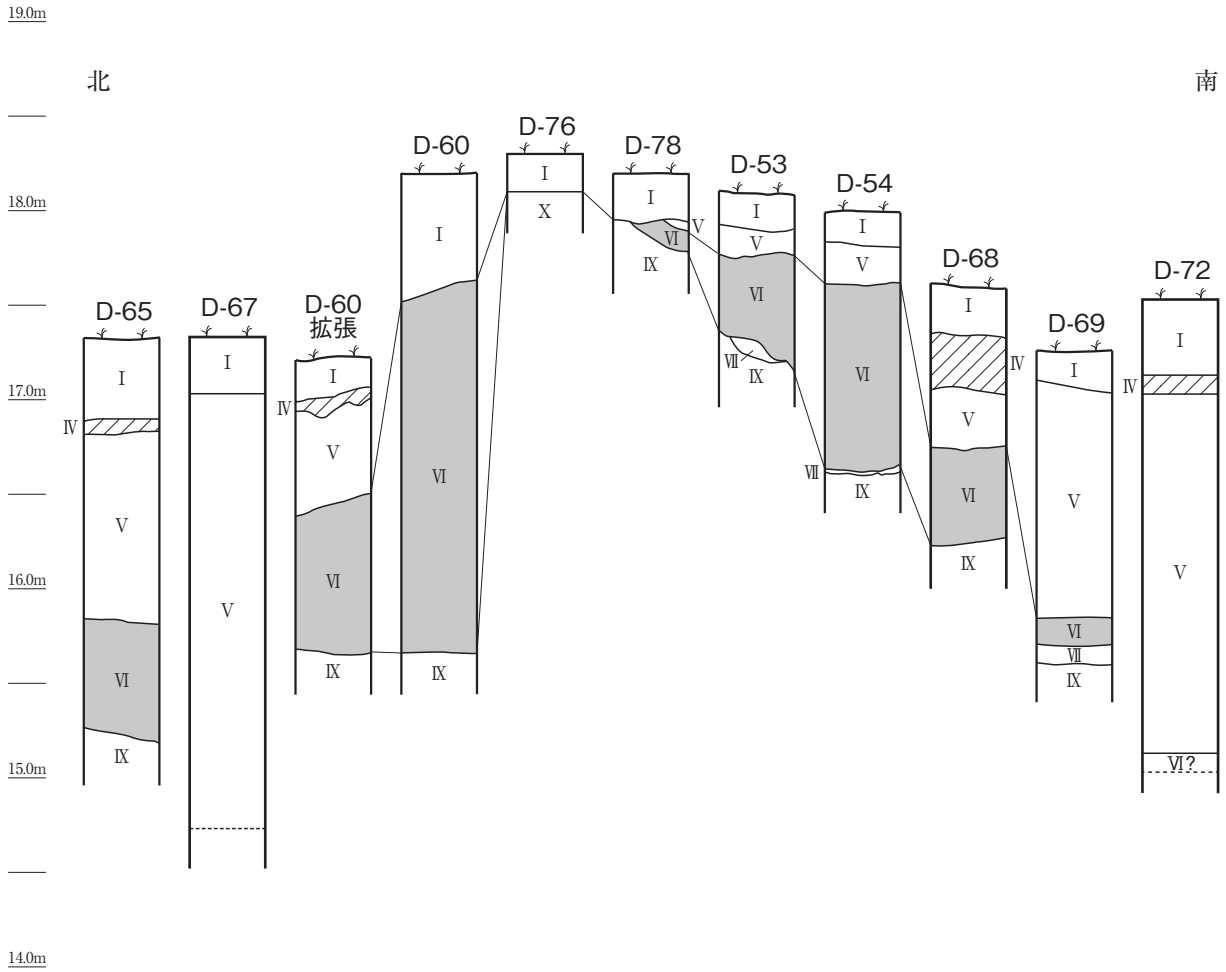
第Ⅸ層：黄褐色粘土～砂層

第Ⅹ層：基盤の凝灰岩層



第６図　基本層序模式図
（D-60区、G-12区）

遺構・遺物を多く検出したD区の南北断面について柱状図を



第７図　D区南北断面模式図

用いて第７図に示した。D区は、B丘陵裾部（南斜面）からC丘陵の南側の低地部（後背湿地）まで広範囲にわたる。北から、D-65区がB丘陵裾部、D-67区が丘陵間の低地部、D-60区がC丘陵裾部（北斜面）、D-76・78区がC丘陵頂部、D-53・54区がC丘陵裾部（南斜面）、D-68・69・72区がC丘陵裾部～低地部におおよそ位置づけられる。C丘陵頂部では後世の削平によりX層が露出しているが、丘陵頂部および裾部では、Ⅸ層が地山となる。また、C丘陵南斜面ではⅦ層が確認される。Ⅵ層は丘陵裾部に形成され、一部で厚く堆積し微高地状になり、遺構が残される。Ⅴ層はほぼ全域に確認され、低丘陵をのみ込むほどの大規模な洪水層であったと推定される。Ⅳ層は丘陵裾部の末端から低地部にかけて見られる。大規模洪水の後に水位が低下し、湿地になったと考えられる。なお、Ⅲ層で確認される灰白色火山灰は湿地のなかでも水が集まる場所に集積し、また丘陵頂部でも小規模な窪みに集積する。

第３節　Ⅵ層（遺物包含層）の分布と区分

第Ⅵ層はおもに黒色を呈する粘土～砂層であり、本遺跡周辺の丘陵裾部に発達する。層厚は10～200㎝（平成19～21年度調査）あり、この層の一部に縄文時代の遺物包含層が形成される。これまでの調査成果から、遺物包含層は現水田を囲む丘陵裾部に点在することが判明している（第４図）。

第３表　D区（C丘陵突端部）におけるⅥ層の細分　（⇔: 同一層、≒: 近似層）

C 丘陵南斜面

南斜面（西側）										南斜面（東側）	大別層群			
D-59 区		D-53 区		D-54 区		D-68 区		D-55 区		D-56・57・74・75 区	層名	細分層	特　徴	時　期
		Ⅵa	⇔	Ⅵa	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	Ⅵa	南１層群		地山粒・ブロックを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層。再堆積か	晩期末葉
		Ⅵb	⇔	Ⅵb	⇔	Ⅵa	⇔	Ⅵa	⇔	Ⅵb	南２層群	2A	スクモを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層	晩期末葉
Ⅵa	⇔	⇔	⇔	Ⅵc	≒	Ⅵb	⇔	Ⅵb				2B	砂・地山粒を含む黒色～黒褐色を呈する粘土層。上層に比べてスクモが少なくなる	晩期中葉～後葉
Ⅵb											南３層群		地山粒・ブロックを含む黒色～黒褐色を呈する粘土層	晩期中葉
Ⅵc	≒	Ⅵc	⇔	Ⅵd	≒	Ⅵc	≒	Ⅵc	⇔	Ⅵc				
										Ⅵd				
										Ⅵe				
								Ⅵd						
										Ⅵf	南４層群	4A	貝を含む黒褐色粘土層（東側のみに堆積する）	晩期前葉
										Ⅵg				
										Ⅵh				
										Ⅵi		4B	砂が多く混じる黒色粘土質シルト層（東側のみに堆積する）	
										Ⅵj				
										Ⅵk				
Ⅵd											南５層群			
Ⅵe										Ⅵl			砂が多く混じる黒色～褐灰色を呈する粘土～粘土質シルト層	後期末葉
Ⅵf	⇔	Ⅵd	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	Ⅵm				
Ⅵg										Ⅵn				

※上記以外の調査区におけるⅥ層は以下の大別層群に対応する。

南１層群：D-80 区Ⅵa 層　南 2A 層群：D-69 区Ⅵ層、D-79 区Ⅵa 層、D-80 区Ⅵb・Ⅵc 層

南 2B 層群：D-78 区Ⅵa 層、D-79 区Ⅵb 層　南３層群：D-78 区Ⅵb 層、D-80 区Ⅵd 層

C 丘陵北斜面

北斜面（西側）						北斜面（東側）							大別層群			
D-64 区		D-58 区		D-60 区（西）		D-60 区（中央・東）		D-61 区		D-62 区		D-63 区	層名	細分層	特　徴	時　期
Ⅵa	⇔	Ⅵa	⇔	Ⅵ1	≒	≒	≒	≒	≒	Ⅵa	⇔	Ⅵa	北１層群	1A	スクモを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層	晩期末葉
												Ⅵb				
												Ⅵc				
												Ⅵd				
										Ⅵb	⇔	Ⅵe		1B	黒色～黒褐色を呈する粘土質シルト層	晩期末葉
										Ⅵc						
										Ⅵd						
										Ⅵe						
						Ⅵa							北２層群	2A	地山粒・ブロックを含む黒褐色砂～シルト層（D-60・61 区の斜面部のみに堆積する）	晩期後葉～末葉
						Ⅵb										
						Ⅵc	⇔	Ⅵa								
						Ⅵd	⇔	Ⅵb						2B	地山粒・ブロックを含む黒色砂質シルト層（D-60・61 区の斜面部のみに堆積する）	
						Ⅵe	≒	Ⅵc					北３層群		地山粒・ブロックを含む黒色～黒褐色を呈する砂～シルト層（D-60・61 区の斜面部のみに堆積する）	晩期後葉
						Ⅵf										
						Ⅵg	⇔	Ⅵd								
Ⅵb	⇔	Ⅵb	≒	≒	≒	Ⅵh	≒	Ⅵe					北４層群		砂が混じる黒色～灰黄褐色を呈するシルト層	晩期中葉
						Ⅵi										
						Ⅵj										
						Ⅵk										
						Ⅵl										
						Ⅵm	≒	Ⅵf					北５層群		砂が混じる黒色～黒褐色を呈するシルト～粘土層（D-60・61 区のみに堆積する）	晩期中葉
						Ⅵn	≒	Ⅵg								
						Ⅵo	≒	Ⅵh								
		Ⅵc											北６層群		砂が混じる黒褐色～灰黄褐色を呈するシルト～粘土層（西側のみに堆積する）	晩期前葉
		Ⅵd														
Ⅵc	⇔	Ⅵe														

本遺跡の西側では、愛宕山遺跡の位置する丘陵の南斜面１箇所、諏訪遺跡の位置する丘陵の北斜面１箇所、突端部３箇所、宮沼遺跡の位置する丘陵の北斜面２箇所で検出している。出土遺物は、諏訪遺跡の位置する丘陵突端部１箇所（C-2区周辺）で晩期前葉から中葉が主体となる以外、すべて晩期後葉のものが主体となる（宮城県教育委員会　2010）。

本遺跡では、A丘陵の南斜面１箇所、B丘陵の北斜面２箇所、突端部１箇所、南斜面２箇所、C丘陵の北斜面２箇所、突端部１箇所、C丘陵とD丘陵の間の基部に１箇所、E丘陵の基部に１箇所、突端部に１箇所検出している。出土遺物は、A丘陵南斜面で前期初頭から前期前葉および中期末葉が主体となり、E丘陵突端部で前期初頭から前葉が主体となる以外は、晩期中葉から後葉のものが主体

となる（宮城県教育委員会　2011）。

今回報告する遺物包含層は、B丘陵南斜面２箇所、C丘陵北斜面２箇所、突端部１箇所である。便宜上、それぞれの丘陵突端部からa包含層、b包含層、c包含層と呼称する（第５図）。これらのうち、C丘陵突端部に形成される遺物包含層は、他の遺物包含層に比べて推定面積、層厚、遺物量いずれにおいても本遺跡周辺では最大の遺物包含層と推定される。このように遺構・遺物量が大きいため、遺構・遺物の分布範囲やこれらの内容の把握を十分に行う必要があり、結果として計21調査区を設定し、調査を実施した。

C丘陵突端部の遺物包含層は丘陵頂部に位置するD-76・77区を除く、19調査区で検出した。Ⅵ層は土色や土性、含有物などの特徴から１つの調査区で最大16層に細分される。なお、調査区によりⅥ層の堆積状況が異なるため、各調査区における細分層名（Ⅵa、Ⅵb、Ⅵc、……）は共通の細分層を表しているものではない。また、丘陵先端部をD-58区とD-59区にまたがるように検出し、遺物包含層はこれを基点として南斜面と北斜面に大きく二分される。さらに、Ⅵ層の堆積状況からそれぞれの斜面で、便宜上西側包含層と東側包含層の２つに細分した。これらは、土性や土色、含有物などⅥ層の細分層の特徴から、南斜面で５つ、北斜面で６つの大別層群に分類し、南２・４層群、北１・２層群については含有物の差異などからそれぞれ２層に細分した（第３表）。遺物は、南北斜面ともに後期末葉から晩期末葉までのものが出土しているが、晩期中葉以降に広範囲に出土する傾向が見られる。

なお、B丘陵南斜面１箇所およびC丘陵北斜面２箇所（いずれもG区）では、それぞれ複数の調査区を設定し調査を実施しているが、細分層名はそれぞれの地点で同一である。

第４章　縄文時代の遺構と遺物

平成21年度は、D区の北東側とF区の一部、G区全体を調査し、計65箇所の調査区を設定した（第５図）。各調査区の調査概要については付表にまとめた。

検出した遺構のほとんどが縄文時代晩期のものであり、掘立柱建物跡19棟、柱列跡３条、土坑墓27基、埋葬犬骨３基、土器埋設遺構５基、集石遺構３基、土坑17基、自然流路跡３条、焼け面２箇所、ピットが多数ある。

遺物は、遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）で326箱に相当する量が出土している。縄文時代早期末葉から弥生時代前期まで遺物の時期が広範にわたるが、大部分は縄文時代後期末葉から縄文時代晩期末葉で、なかでも晩期中葉から末葉の時期の遺物が特に多く見られる。

本章では、縄文時代に検出した遺構・遺物について、遺物包含層の検出地点ごとに記述する。

第１節　D区

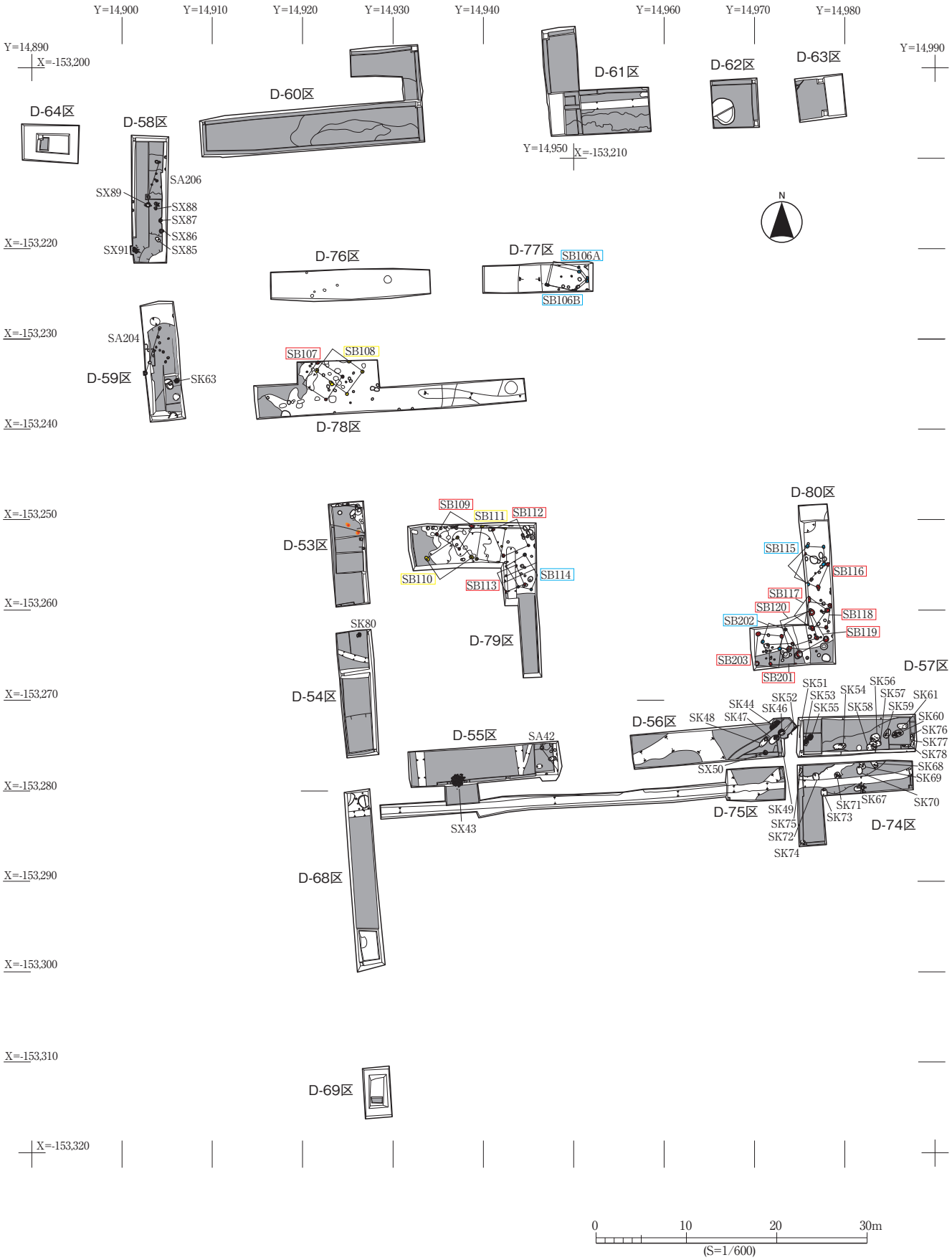
D区は平成19年度から調査を行っており、平成21年度に調査した範囲では、B丘陵南斜面（D-65区）およびC丘陵突端部（D-53区など）の２箇所で遺構や遺物包含層を検出した。うち、D-65区については、遺物包含層のみの検出で遺物量が少なく（２箱）、また同じ包含層に位置する調査区（D-41区）が既に報告されており（宮城県教育委員会　2011）、出土層位や遺物の内容がD-41区と同様であるため、本報告では詳述しない。したがって、本節ではC丘陵突端部のみを対象として、検出した遺構・遺物について記述し、また、地形区分から丘陵頂部と南斜面、北斜面の３箇所に分けて記述する。

１．C丘陵頂部の遺構群

C丘陵突端部付近の丘陵頂部にあたる範囲をD-53（一部）・58（一部）・59・76・77・78・79・80区で検出した。この区域で検出した遺構には、掘立柱建物跡19棟（建て替えを含む）、柱列跡１条、埋葬犬骨（土坑墓）１基、土坑14基、焼け面２箇所の他に、ピット（柱穴や小穴）が多数ある（第８図）。これらのほとんどは縄文時代晩期の遺構である。

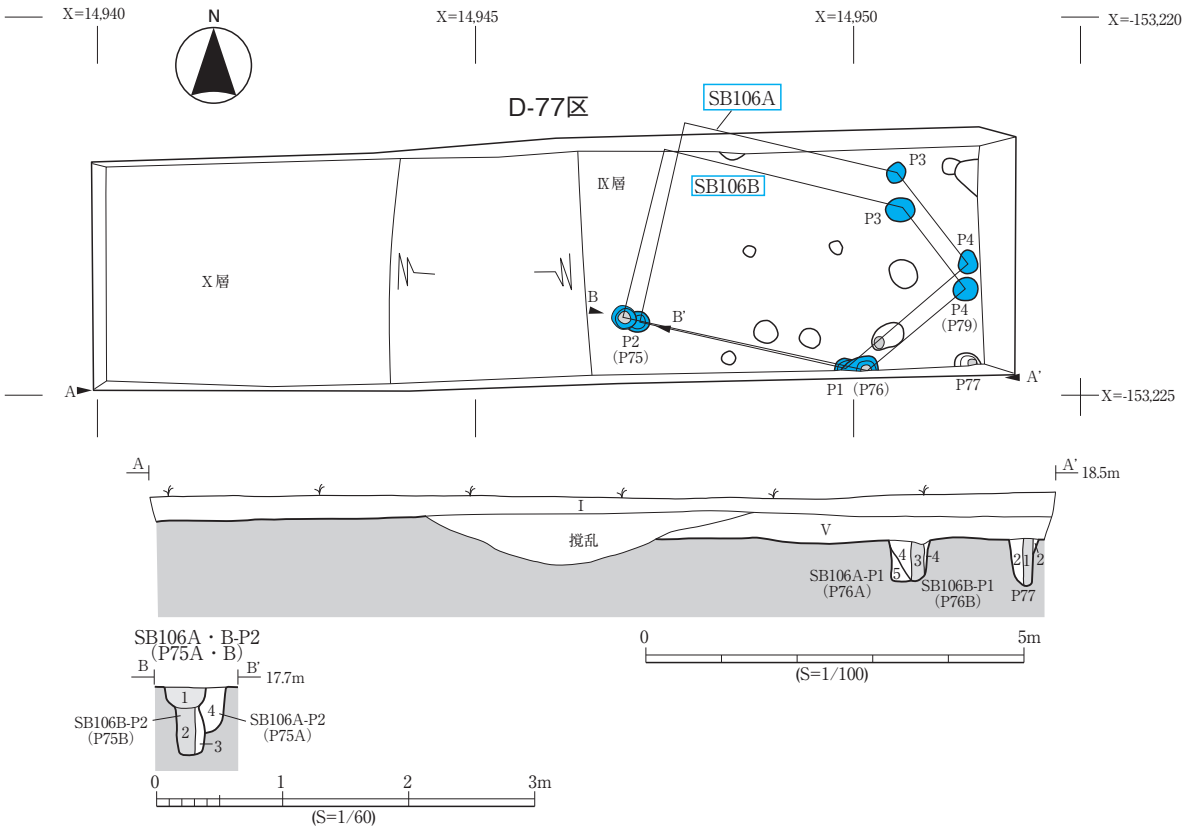
（1）掘立柱建物跡

D-53・59・77～80区で多数の柱穴を検出し、19棟の掘立柱建物跡を確認した（第９図）。柱穴は丘陵頂部で多く検出された。ただし、丘陵頂部にあたる部分は耕作地であり、遺構等の範囲確認のために土地所有者および耕作者の方々のご協力を得て調査を実施したため、広範囲を調査することができなかった。したがって、建物跡については全体の構成を認識できたものは少ない。それぞれの建物跡の柱穴の組み合わせは、柱穴の位置、規模、重複関係、埋土の特徴などを考慮して行った。本遺跡とほぼ同じ時期の遺跡である蔵王町鍛冶沢遺跡で検出した掘立柱建物跡の検出事例（宮城県教育委員会　2010）から、これらの建物跡は４～６本の柱で構成されると考えられるが、調査区の制限から確定的なものではない。なお、個々の建物跡の諸属性については第４表にまとめた。



第８図　D区（C丘陵突端部）　平面図

第９図　丘陵頂部遺構群　平面図



調査区 / 遺構	層 序		土 色	土 性	特 徴
P77	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量 【柱痕跡】
		2	褐灰色（10YR5/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック多量 【掘方埋土】
SB106-P1 (P76A・B)		3	褐灰色（10YR4/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量 【柱痕跡】
		4	明青灰色（10BG7/1）	粘土	褐灰色（10YR4/1）粘土ブロック少量 【掘方埋土（新）】
		5	黒褐色（10YR3/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量 【掘方埋土（旧）】
SB106-P2 (P75A・B)	B-B'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック多量、炭化物粒少量 【柱抜取穴】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土	【柱痕跡】
		3	黒色（10YR2/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量 【掘方埋土（新）】
		4	褐灰色（10YR5/1）	粘土	地山（Ⅸ層）ブロック多量 【掘方埋土（旧）】

第10図　D-77区　平面図・断面図（SB106A・B建物跡）

【SB106A・B建物跡】

［位置］D-77区西側（第10図）

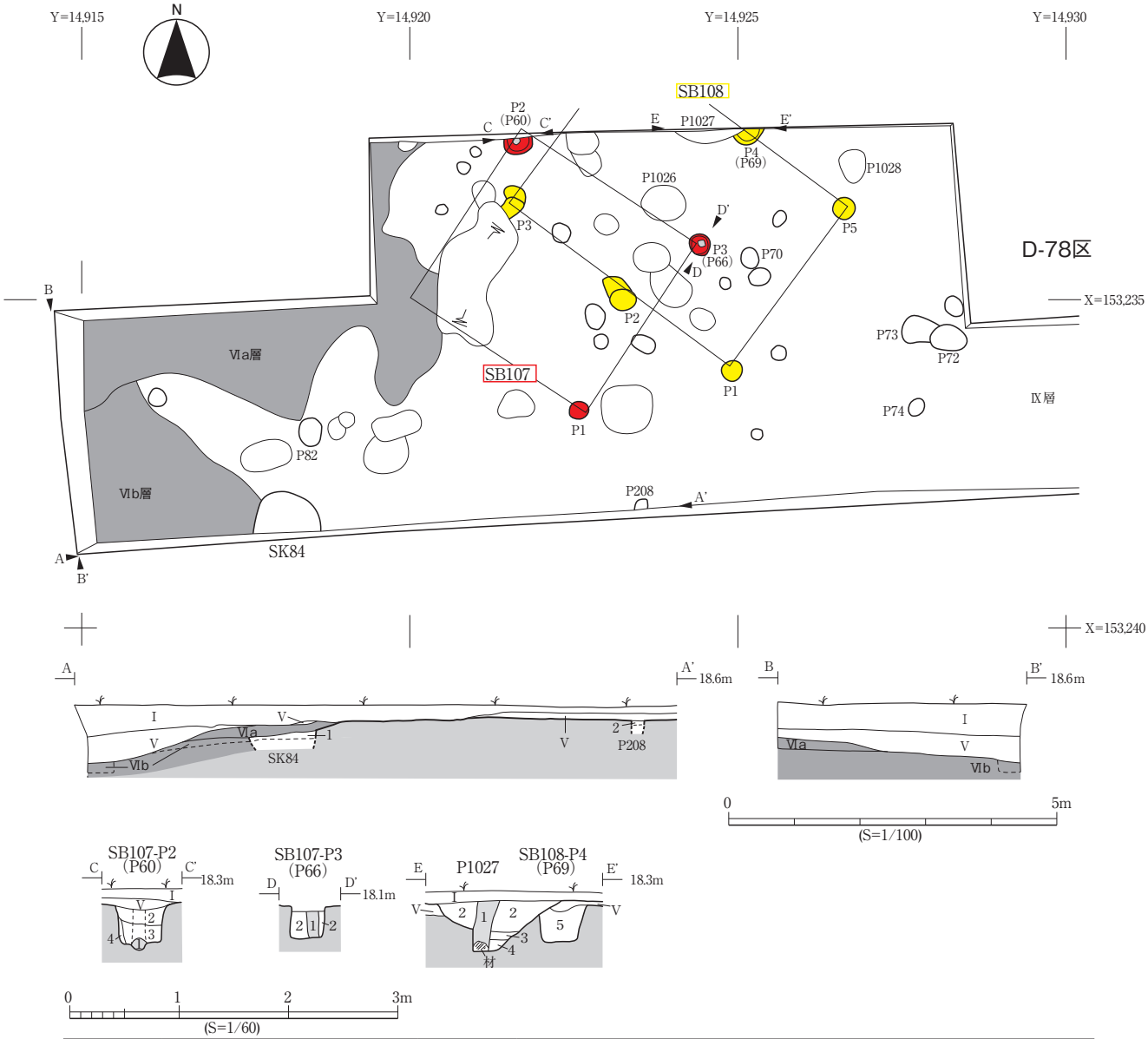
［検出面］Ⅸ層

［重複］建て替えが一度（A→B）認められる。

［規模・構造］いずれも５本の柱で構成され、東が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。A建物跡は南側柱列で約2.8m、東側柱列で約2.7m、張出部の長さが約1.2mある。B建物跡は南側柱列で3.3m、東側柱列で約2.2m、張出部の長さが約1.1mある。

［方向］A建物跡は南側柱列で見ると、東で13°南に偏する。B建物跡は南側柱列で見ると、東で12°南に偏する。

［柱穴］それぞれ４箇所で確認した。A建物跡は直径28～32cmの円形で、残存する深さが35～53cmある。埋土は地山（Ⅸ層）ブロックを少量含む黒褐色～褐灰色粘土である（第10図）。B建物跡は直径23～54cmの円形や楕円形で、残存する深さが54cmある。埋土は地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒褐色～褐灰色粘土で（第10図）、柱痕跡を２箇所、柱抜取穴を１箇所で確認した。柱痕跡



調査区 / 遺構	層 序		土 色	土 性	特 徴
D-78 区	A-A' B-B'	Ⅵ a	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック多量
		Ⅵ b	黒褐色（10YR2/2）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量
SK84		1	黒色（10YR2/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂少量、炭化物粒少量 【堆積土】
P208		2	褐灰色（10YR4/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）多量 【堆積土】
SB107-P2 (P60)	C-C'	1	黒褐色（10YR3/2）	シルト	【柱痕跡】
		2	灰黄褐色（10YR4/2）	砂質シルト	小礫（Ⅹ層）多量、炭化物粒少量 【掘方埋土】
		3	灰黄褐色（10YR4/2）	砂	【掘方埋土】
		4	褐色（10YR4/4）	粘土質シルト	【掘方埋土】
SB107-P3 (P66)	D-D'	1	黒褐色（10YR3/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）中量 【柱痕跡】
		2	褐灰色（10YR4/1）	砂質シルト	小礫（Ⅹ層）多量、炭化物粒少量 【掘方埋土】
P1027	E-E'	1	灰黄褐色（10YR4/2）	シルト	【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR2/2）	シルト	粘土（Ⅴ層）ブロック多量 【掘方埋土】
		3	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	粘土（Ⅴ層）ブロック少量 【掘方埋土】
		4	黒褐色（10YR2/2）	シルト	粘土（Ⅴ層）ブロック多量 【掘方埋土】
SB108-P4 (P69)		5	褐灰色（10YR4/1）	砂質シルト	小礫（Ⅹ層）多量 【掘方埋土】

第11図　D-78区　平面図・断面図（SB107・108建物跡ほか）

は直径16～18cmの円形を呈する。

［出土遺物］B建物跡（P4）で、雲形文の施された注口土器（第16図１）などが出土している。

【SB107建物跡】

［位置］D-78区西側（第11図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB108建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。北側柱列で3.2m、東側柱列で約3.2mある。

［方向］北側柱列で見ると、東で29°南に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。残る１箇所はⅥa層（南2B層群）に覆われるものとみられる。直径30～46cmの円形で、残存する深さが28～42cmある。埋土はＸ層起源の小礫を多く含む褐灰色～灰黄褐色シルトで（第11図）、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径13～14cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器鉢（第16図２）や台部（同図３）、剥片などが出土している。

【SB108建物跡】

［位置］D-78区西側（第11図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB107建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］桁行２間、梁行１間の、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。桁行は南側柱列で総長約4.2m、梁行は東側柱列で約3.0mある。桁行の柱間寸法は東から約2.0m、約2.2mある。

［方向］南側柱列で見ると、東で37°南に偏する。

［柱穴］５箇所で確認した。直径29～48cmの円形で、残存する深さが33cmある。埋土はＸ層起源の小礫を多く含む黒褐色～褐灰色砂質シルトである（第11図）。P2、P3で柱穴がほぼ同じ位置で重複しており、建て替えが一度行われた可能性がある。

［出土遺物］縄文土器が出土している。

【SB109建物跡】

［位置］D-79区西側（第12図）

［検出面］Ⅵb層（南2B層群）

［重複］SB110建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

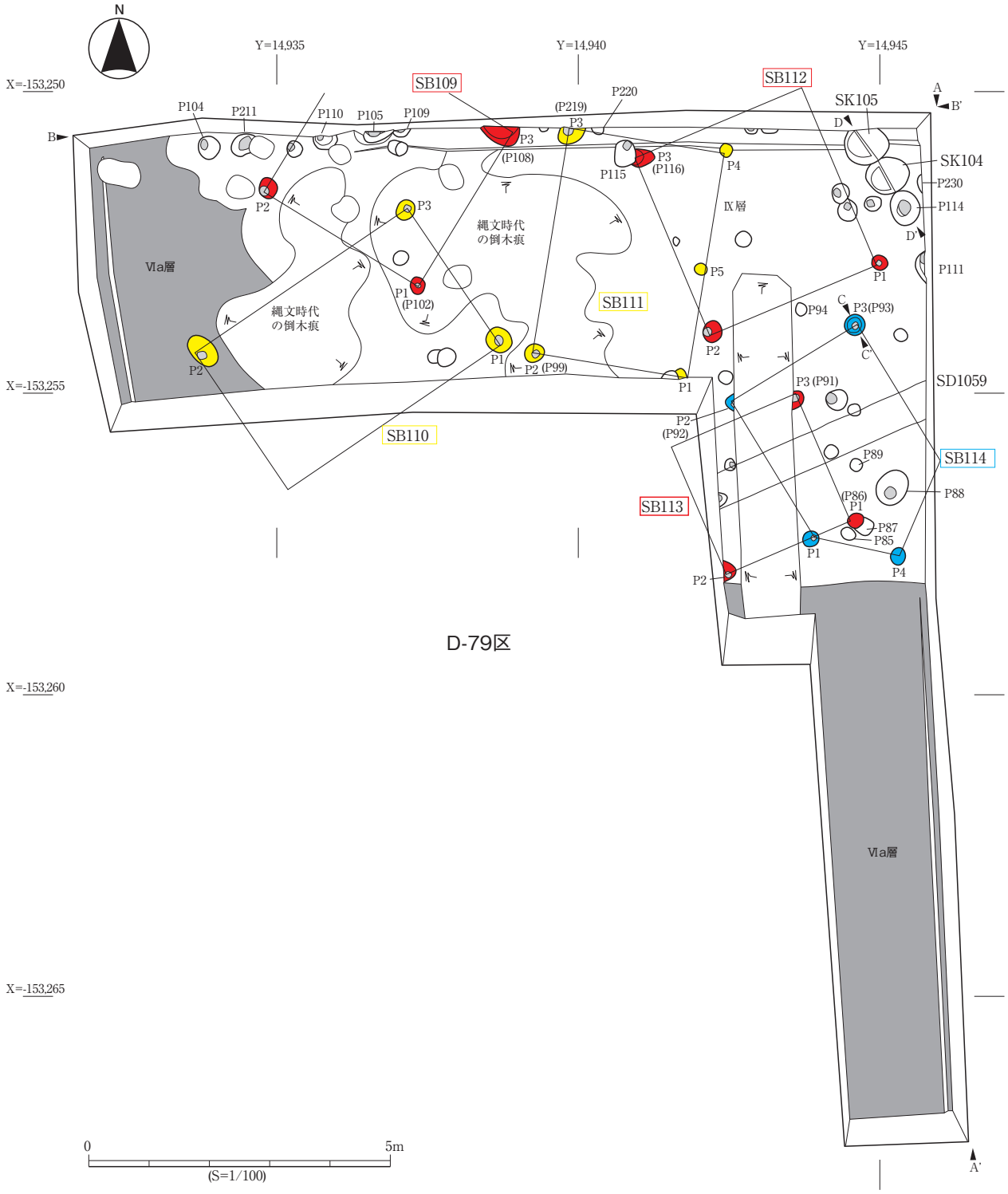
［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.0m、東側柱列で約3.0mある。

［方向］南側柱列で見ると、東で31°南に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径30～64cmの円形や楕円形で、残存する深さが24cmある。埋土はＸ層起源の小礫を多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径10～17cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器深鉢（第16図４）などが出土している。

【SB110建物跡】



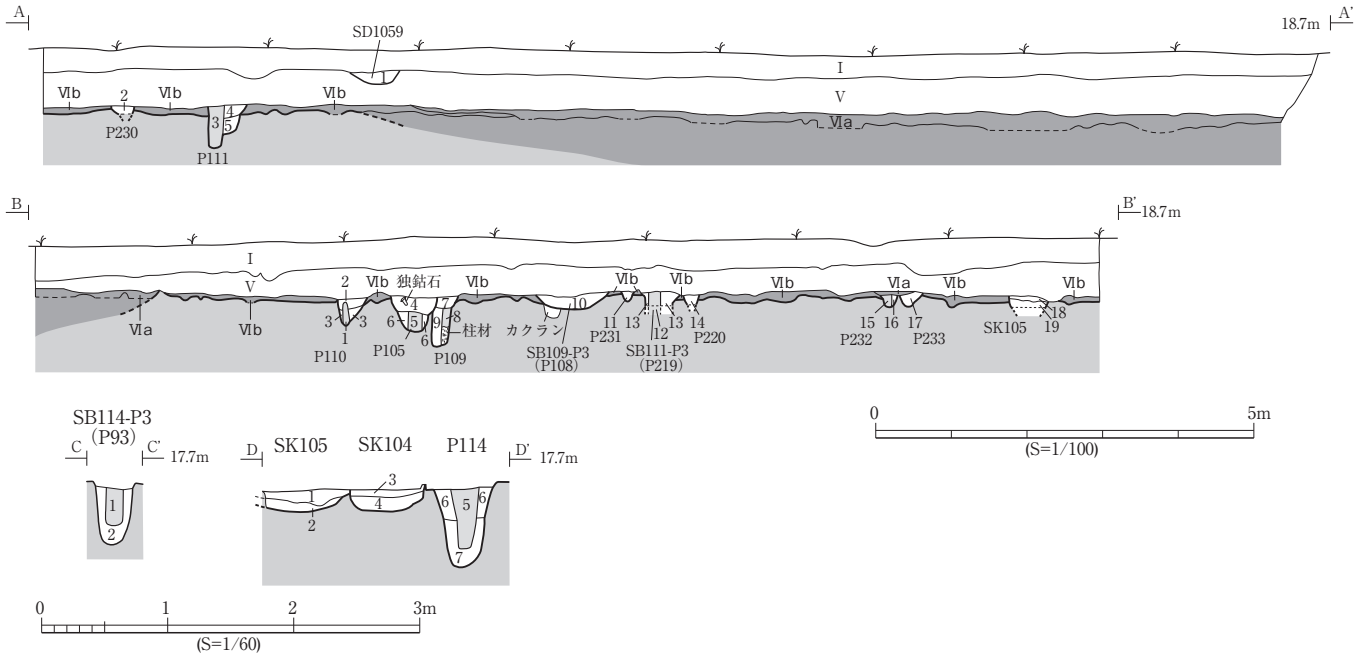
第12図　D-79区　平面図（SB109・110・111・112・113・114建物跡ほか）

［位置］D-79区西側（第12図）

［検出面］Ⅵa層（南2A層群）

［重複］SB109建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］桁行推定２間、梁行１間の、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。桁行は北側柱列で総長4.2m、梁行は東側柱列で2.7mある。



調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
D-79 区	A-A' B-B'	Ⅵ a	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	粗砂少量、植物少量
		Ⅵ b	黒褐色（10YR3/1）	シルト	粗砂多量、植物少量
SD1059	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	シルト	粘土（Ⅴ層）小ブロック少量 【堆積土】
P230		2	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【堆積土】
P111		3	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		4	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
		5	黒色（10YR2/1）	シルト	砂・小礫（Ⅹ層）やや多量 【掘方埋土】
P110	B-B'	1	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
		3	黒褐色（10YR3/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）多量、植物少量 【掘方埋土】
P105		4	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量、炭化物粒少量、植物少量 【柱抜取穴】
		5	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		6	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
P109		7	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒少量、炭化物粒少量、植物やや多量 【柱抜取穴】
		8	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		9	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
SB109-P3 (P108)		10	黒褐色（10YR3/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量 【掘方埋土】
P231		11	黒褐色（10YR3/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量 【掘方埋土】
SB111-P3 (P219)		12	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		13	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
P220		14	黒褐色（10YR3/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量 【掘方埋土】
P232		15	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【柱痕跡】
		16	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【掘方埋土】
P233		17	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物やや多量 【堆積土】
SK105		18	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、植物少量 【堆積土】
		19	黒褐色（10YR3/1）	シルト	砂・小礫（Ⅹ層）多量 【堆積土】
SB114-P3 (P93)	C-C'	1	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	植物やや多量 【柱痕跡】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量、植物少量 【掘方埋土】
SK105	D-D'	1	B-B' 18 に同じ		
		2	B-B' 19 に同じ		
SK104		3	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	砂少量、植物少量 【堆積土】
		4	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	砂・小礫（Ⅹ層）少量、植物少量 【堆積土】
P114		5	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	植物やや多量 【柱痕跡】
		6	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量、植物少量 【掘方埋土】
		7	褐灰色（10YR4/1）	砂質シルト	小礫（Ⅹ層）多量 【掘方埋土】

第13図　D-79区　断面図

［方向］北側柱列で見ると、東で36°北に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径34～60cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を３箇所で確認した。柱痕跡は直径13～18cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器が出土している。

【SB111建物跡】

［位置］D-79区東側（第12図）

［検出面］Ⅵb層（南2B層群）

［重複］SB112建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］桁行２間、梁行１間の、南北に長い平面長方形を呈する建物跡である。桁行は西側柱列で総長3.7m、梁行は北側柱列で約2.6mある。桁行の柱間寸法は東側柱列で、南から約1.8m、約2.0mある。

［方向］西側柱列で見ると、北で８°東に偏する。

［柱穴］５箇所で確認した。直径20～48cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径14～18cmの円形を呈する。

［出土遺物］石棒が出土している。

【SB112建物跡】

［位置］D-79区東側（第12図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB111建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。西側柱列で約3.1m、南側柱列で3.1mある。

［方向］西側柱列で見ると、北で23°西に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径27～40cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を２箇所、柱抜取穴を１箇所で確認した。柱痕跡は直径10～15cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器などが出土している。

【SB113建物跡】

［位置］D-79区東側（第12図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB114建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で約2.3m、東側柱列で約2.3mある。

［方向］南側柱列で見ると、東で23°北に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径28～32cmの円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色粘土質シルトで、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径11～15cmの円形を

呈する。

［出土遺物］剥片などが出土している。

【SB114建物跡】

［位置］D-79区東側（第12図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB113建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］５本の柱で構成され、南が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。西側柱列で約2.6m、北側柱列で約2.4m、張出部の長さが約1.0mある。

［方向］西側柱列で見ると、北で31°西に偏する。

［柱穴］４箇所で確認した。直径26～35cmの円形で、残存する深さが50cmある。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を３箇所で確認した。柱痕跡は直径９～13cmの円形を呈する。

［出土遺物］剥片などが出土している。

【SB115建物跡】

［位置］D-80区北側（第14図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB116建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］５本の柱で構成され、北が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.9m、北側柱列で約2.7m、張出部の長さが約1.3mある。

［方向］東側柱列で見ると、北で39°東に偏する。

［柱穴］４箇所で確認した。直径38～47cmの円形や楕円形を呈する。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトである。

［出土遺物］縄文土器などが出土している。

【SB116建物跡】

［位置］D-80区北側（第14図）

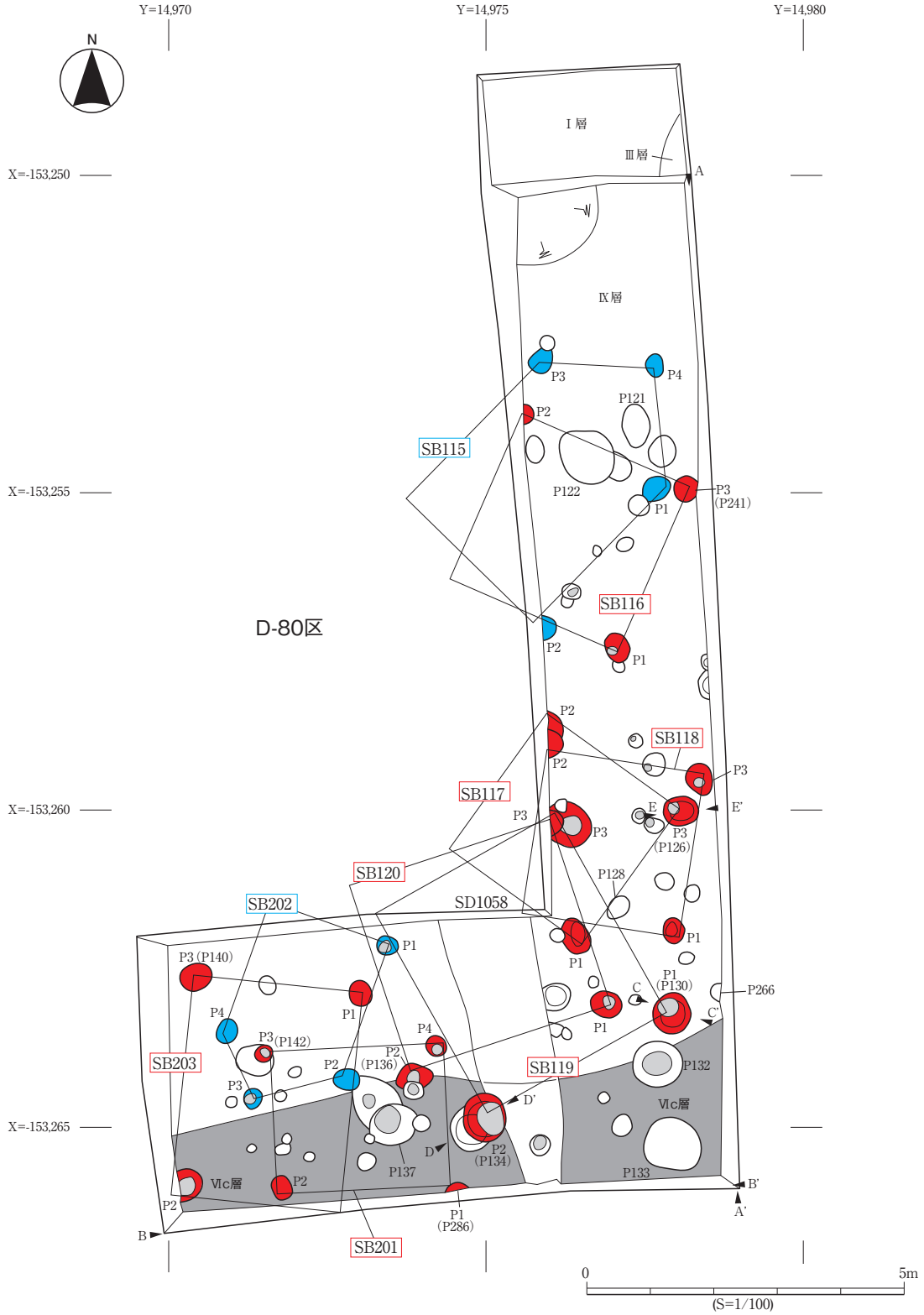
［検出面］Ⅸ層

［重複］SB115建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で約2.8m、東側柱列で約2.8mある。

［方向］東側柱列で見ると、北で25°東に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径33～48cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を１箇所で確認した。柱痕跡は直径17cmの



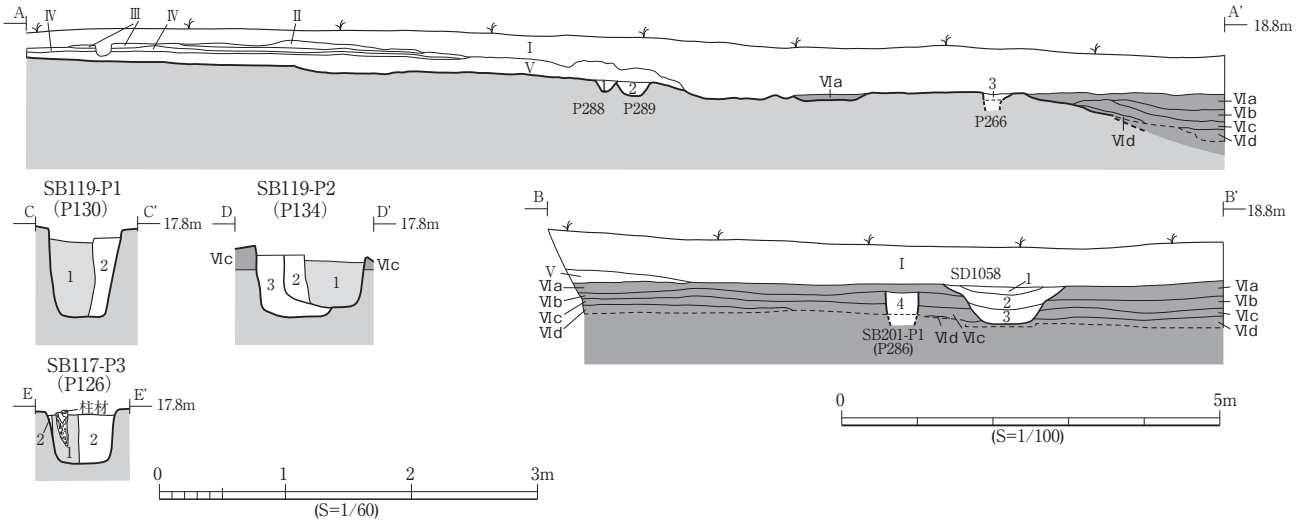
第14図　D-80区　平面図（SB115・116・117・118・119・120・201・202・203建物跡）

円形を呈する。

［出土遺物］出土していない。

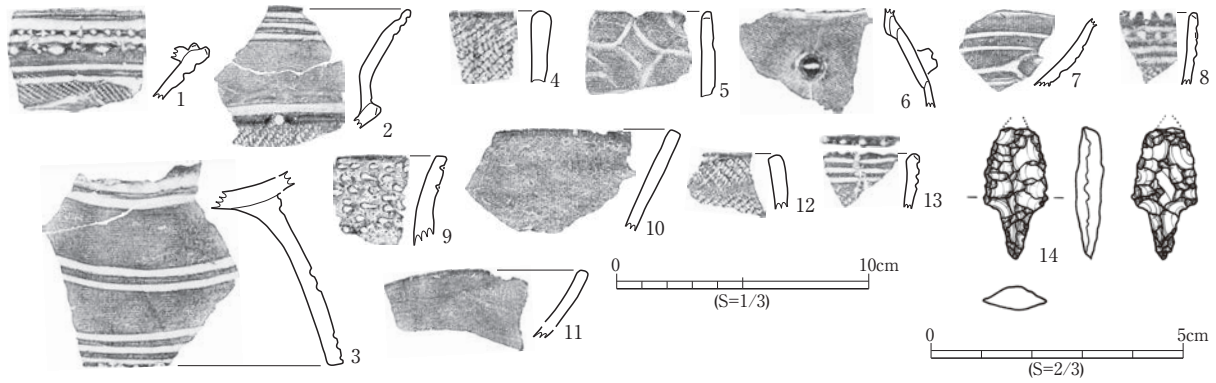
【SB117建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）



調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
D-80 区	A-A' B-B'	Ⅵa	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）小ブロックやや多量、粘土小ブロック少量、砂わずか、炭化物粒やや多量、植物少量
		Ⅵb	黒褐色（10YR3/1）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック・粘土小ブロック少量、砂やや多量
		Ⅵc	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒わずか、スクモ・砂・炭化物粒少量。
		Ⅵd	黒色（10YR2/1）	シルト質粘土	砂やや多量。
P288	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）ブロックやや多量、礫（Ⅹ層）中量、炭化物粒少量 【掘方埋土】
P289		2	黒褐色（10YR3/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）ブロックわずか 【掘方埋土】
P266		3	黒褐色（10YR2/3）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）ブロックわずか 【掘方埋土】
SD1058	B-B'	1	暗褐色（10YR3/3）	シルト質砂	小礫（Ⅹ層）多量、黒色粘土（Ⅵ層）ブロック中量 【堆積土】
		2	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）・砂中量 【堆積土】
		3	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・小礫（Ⅹ層）中量 【堆積土】
SB201-P1 (P286)		4	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック少量、砂やや多量 【掘方埋土】
SB119-P1 (P130)	C-C'	1	黒色（2.5Y2/1）	粘土	小礫（Ⅹ層）・砂多量、炭化物粒・植物中量 【柱痕跡】
		2	黒褐色（2.5Y3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック中量、小礫（Ⅹ層）・砂多量、植物中量 【掘方埋土】
SB119-P2 (P134)	D-D'	1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・砂・植物中量 【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・砂中量 【掘方埋土（新）】
		3	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・小礫（Ⅹ層）・砂多量、植物中量 【掘方埋土（古）】
SB117-P3 (P126)	E-E'	1	黒色（2.5Y2/1）	粘土	小礫（Ⅹ層）・砂多量、炭化物粒少量 【柱痕跡】
		2	黒褐色（2.5Y3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、礫中量、小礫（Ⅹ層）・砂多量、炭化物粒中量 【掘方埋土】

第15図　D-80区　断面図



No.	器種	類型1	類型2	区・遺構 / 層	特徴	写真図版	登録
1	注口土器	-	Ⅶ	D-77・SB106B-P4 (P79) / 堆積土	平行沈線文＋ヘラ刻目、ヘラ刻目＋短沈線による刻目、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文 RL	57-1	Po3018
2	鉢	D1	ⅩⅡa	D-78・SB107-P2 (P60) / 堆積土	平縁。平行沈線文、沈線文、刻み。縄文 LR。口縁部内面沈線	57-2	Po3025
3	台部	-	ⅩⅡx	D-78・SB107-P2 (P60) / 堆積土	平行沈線文	57-3	Po3026
4	深鉢	A1	ⅩⅣa1	D-79・SB109-P2 (P108) / 堆積土	平縁。縄文 LR	57-4	Po3079
5	深鉢	A1d	Ⅲo	D-80・SB117-P3 (P126) / 掘方埋土	平縁＋ヘラ刻目。三叉文	57-5	Po3108
6	壺	-	-	D-80・SB119-P2 (P134) / 掘方埋土	沈線文、貼瘤（頂部短沈線）	57-6	Po3123
7	注口土器か	-	Ⅲo	D-80・SB119-P2 (P134) / 柱痕跡	三叉文、平行沈線文	57-7	Po3119
8	鉢	A1d	Ⅴ	D-80・SB119-P2 (P134) / 掘方埋土	平縁＋ヘラ刻目。列点文、平行沈線文。縄文 RL	57-8	Po3121
9	鉢か	C1	-	D-80・SB119-P2 (P134) / 掘方埋土	平縁。刺突文	57-9	Po3120
10	深鉢	A1	ⅩⅤ	D-80・SB119-P2 (P134) / 掘方埋土	平縁	57-10	Po3122
11	Ⅲ	A1	ⅩⅤ	D-80・SB119-P1 (P130) / 掘方埋土	平縁	57-11	Po3112
12	鉢	A1	ⅩⅣa2	D-80・SB119-P1 (P130) / 掘方埋土	平縁。羽状縄文 RL/LR	57-12	Po3111
13	鉢	A1d	ⅩⅡx	D-80・SB120-P2 (P136) / 柱痕跡	平縁＋ヘラ刻目。平行沈線文。縄文原体不明	57-13	Po3124

No.	器種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
14	石鏃	Ⅰa2A	D-80・SB201-P3 (P142) / 掘方埋土	珪質頁岩 A	25.5	12.4	4.6	1.30	尖頭部欠	0	0	0	0	B		57-14	S13184

第16図　掘立柱建物跡　出土遺物

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB118・119・120建物跡と重複し、SB118建物跡より古い。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.5m、北側柱列で約2.3mある。

［方向］東側柱列で見ると、北で37°東に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径56～58cmの楕円形で、残存する深さが41cmある。埋土はＸ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第15図）、柱痕跡を１箇所、柱抜取穴を１箇所で確認した。柱痕跡は直径19cmの円形を呈し、P3で柱材が残存していた。この柱材について放射性炭素年代測定を実施したところ、^{14}C年代が2,390±20yrBPとなり、晩期後葉から弥生時代への移行期に当たる年代値が得られた（分析編第11章）。

［出土遺物］三叉文の施された深鉢（第16図５）や剥片などが出土している。

【SB118建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB117・119・120建物跡と重複し、SB117建物跡よりも新しい。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。北側柱列で約2.5m、東側柱列で約2.4mある。

［方向］北側柱列で見ると、東で14°南に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径43～52cmの円形である。埋土はＸ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色～灰黄褐色粘土質シルトで、柱痕跡を１箇所、柱抜取穴を１箇所で確認した。柱痕跡は直径18cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器などが出土している。

【SB119建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅵc層（南2A層群）

［重複］SB117・118・120・201・202建物跡と重複し、SB120建物跡より古い。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.3m、東側柱列で3.3mある。

［方向］南側柱列で見ると、東で33°北に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径66～77cmの円形で、残存する深さが48～70cmある。埋土はＸ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒褐色粘土質シルトで（第15図）、柱痕跡を３箇所で確認した。柱痕跡は直径30～51cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器深鉢（第16図10）や列点文の施された鉢（同図８）、鉢（同図９・12）、皿（同

図11)、壺（同図６）、三叉文の施された注口土器（同図７）、磨石、剥片などが出土している。

【SB120建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅵc層（南2A層群）

［重複］SB117・118・119・201・202建物跡と重複し、SB119建物跡よりも新しい。

［規模・構造］４本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.3m、東側柱列で約3.0mある。

［方向］南側柱列で見ると、東で21°北に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径40～59cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径22～23cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器鉢（第16図13）などが出土している。

【SB201建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］SB119・120・202・203建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。北側柱列で2.7m、西側柱列で約2.2mある。

［方向］北側柱列で見ると、東で１°北に偏する。

［柱穴］４箇所で確認した。直径28～37cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第15図)、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径16～17cmの円形を呈する。

［出土遺物］石鏃（第16図14）や剥片などが出土している。

【SB202建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅸ層

［重複］SB119・120・201・203建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］５本の柱で構成され、南が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.2m、南側柱列で約2.1m、張出部の長さが約0.8mある。

［方向］東側柱列で見ると、北で26°東に偏する。

［柱穴］４箇所で確認した。直径34～41cmの円形や楕円形を呈する。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は

第４表　C丘陵頂部　建物跡一覧

遺構名	間数		平面形	平面規模							方向		柱穴掘方			柱痕跡径(cm)	柱抜取穴(個)	備考(出土遺物など)	挿図番号	
				桁行			梁行			張出長(m)	角度	計測柱列	規模(cm)		平面形				平面	断面
	桁行	梁行		総長(m)	計測柱列	柱間寸法(m)	総長(m)	計測柱列	柱間寸法(m)				直径	深度						
SB106A	1	1	五角形(東張出)	2.8	南	2.8	2.7	東	2.7	1.2	E-13-S	南	28-32	35-53	円形	-	0	縄文土器注口土器	10	10
SB106B	1	1	五角形(東張出)	3.3	南	3.3	2.2	東	2.2	1.1	E-12-S	南	23-54	54	円形、楕円形	16-18	1		10	10
SB107	1	1	正方形	3.2	北	3.2	3.2	東	3.2	-	E-29-S	北	30-46	28-42	円形	13-14	0	縄文土器鉢・台付鉢、剥片	11	11
SB108	2	1	長方形(東西棟)	4.2	南	2.0+2.2	3.0	東	3.0	-	E-37-S	南	29-48	33	円形	-	0	建て替え１か	11	11
SB109	1	1	正方形	3.0	南	3.0	3.0	東	3.0	-	E-31-S	南	30-64	24	円形、楕円形	10-17	0	縄文土器深鉢	12	13
SB110	(2)	1	長方形(東西棟)	4.2	北	4.2(２間分)	2.7	東	2.7	-	E-36-N	北	34-60	-	円形、楕円形	13-18	0	縄文土器	12	-
SB111	2	1	長方形(南北棟)	3.7	西	1.8+2.0(東側柱列)	2.6	北	2.6	-	N-8-E	西	20-48	-	円形、楕円形	14-18	0	石棒	12	13
SB112	1	1	正方形	3.1	西	3.1	3.1	南	3.1	-	N-23-W	西	27-40	-	円形、楕円形	10-15	1	縄文土器	12	-
SB113	1	1	正方形	2.3	南	2.3	2.3	東	2.3	-	E-23-N	南	28-32	-	円形	11-15	0	剥片	12	-
SB114	1	1	五角形(南張出)	2.6	西	2.6	2.4	北	2.4	1.0	N-31-W	西	26-35	50	円形	9-13	0	剥片	12	13
SB115	1	1	五角形(北張出)	2.9	東	2.9	2.7	北	2.7	1.3	N-39-E	東	38-47	-	円形、楕円形	-	0	縄文土器	14	-
SB116	1	1	正方形	2.8	東	2.8	2.8	北	2.8	-	N-25-E	東	33-48	-	円形、楕円形	17	0		14	-
SB117	1	1	正方形	2.5	東	2.5	2.3	北	2.3	-	N-37-E	東	56-58	41	楕円形	19	1	柱材１。縄文土器深鉢、剥片	14	15
SB118	1	1	正方形	2.5	北	2.5	2.4	東	2.4	-	E-14-S	北	43-52	-	円形	18	1	縄文土器	14	-
SB119	1	1	正方形	3.3	南	3.3	3.3	東	3.3	-	E-33-N	南	66-77	48-70	円形	30-51	0	縄文土器浅鉢・皿・注口土器、磨石、剥片	14	15
SB120	1	1	正方形	3.3	南	3.3	3.0	東	3.0	-	E-21-N	南	40-59	-	円形、楕円形	22-23	0	縄文土器鉢	14	15
SB201	1	1	長方形	2.7	北	2.7	2.2	西	2.2	-	E-1-N	北	28-37	-	円形、楕円形	16-17	0	石鏃、剥片	14	-
SB202	1	1	五角形(南張出)	2.2	東	2.2	2.1	南	2.1	0.8	N-26-E	東	34-41	-	円形、楕円形	19-21	0		14	-
SB203	1	1	長方形	3.3	西	3.3	2.6	北	2.6	-	N-3-E	西	42-54	-	円形、楕円形	32	0	剥片	14	-

※間数の（数値）は推定。

直径19～21cmの円形を呈する。

［出土遺物］縄文土器などが出土している。

【SB203建物跡】

［位置］D-80区南側（第14図）

［検出面］Ⅵc層（南2A層群）

［重複］SB119・120・201・202建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

［規模・構造］４本の柱で構成され、南北に長い平面長方形を呈する建物跡である。西側柱列で約3.3m、北側柱列で約2.6mある。

［方向］西側柱列で見ると、北で３°東に偏する。

［柱穴］３箇所で確認した。直径42～54cmの円形や楕円形である。埋土はⅩ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を１箇所で確認した。柱痕跡は直径32cmの円形を呈する。

［出土遺物］剥片などが出土している。

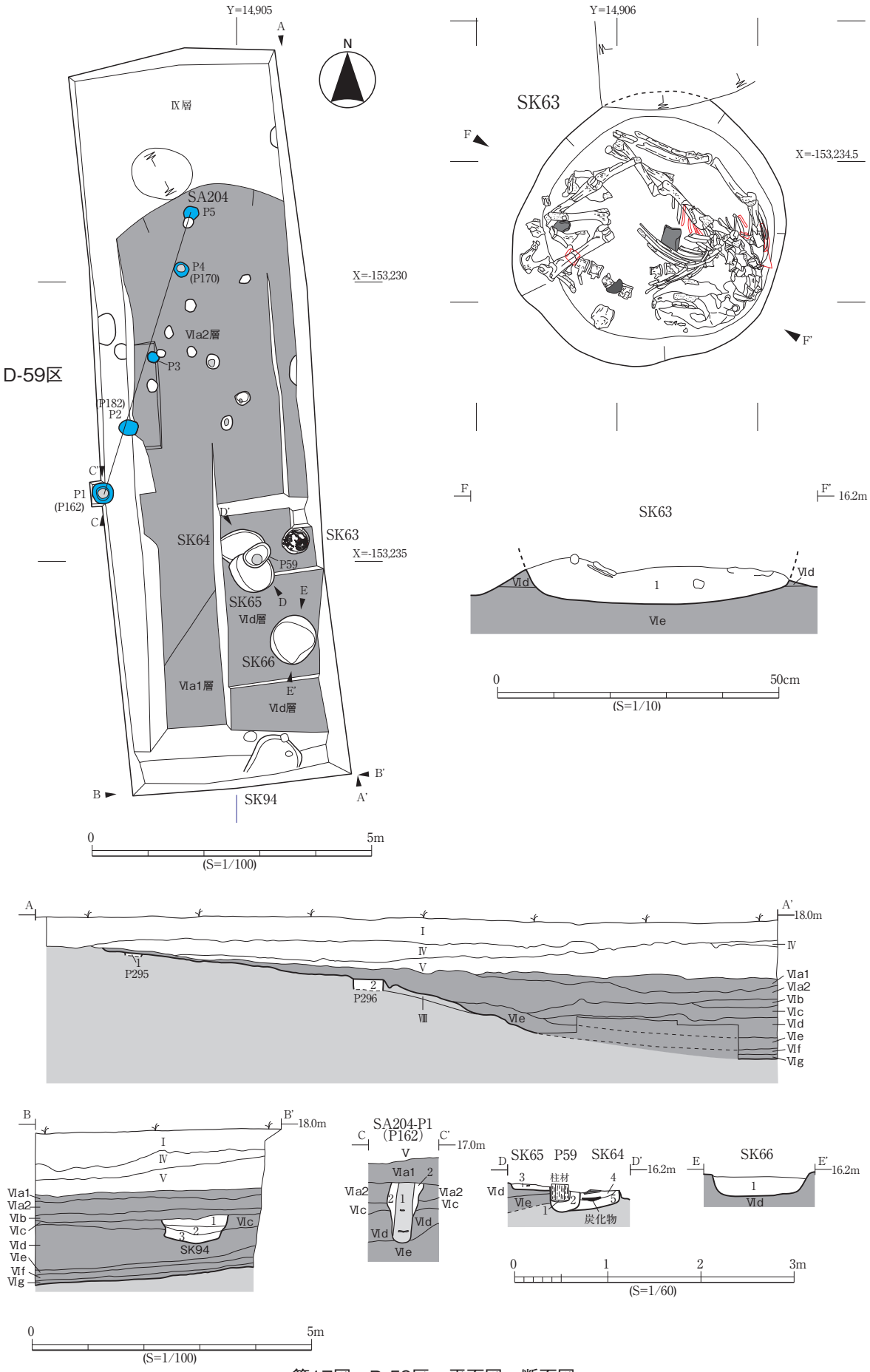
（2）柱列跡

柱列跡はD-59区の１箇所で確認した。

【SA204柱列跡】

［位置］D-59区北側（第17図）

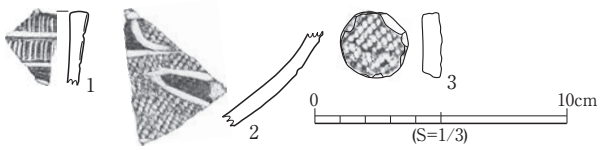
［検出面］Ⅵa2層（南2B層群）



第17図　D-59区　平面図・断面図

第５表　D-59 区　土層観察表

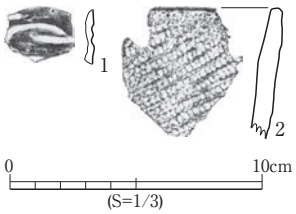
調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　　徴
D-59 区	A-A' B-B'	Ⅵ a1	黒色（10YR2/1）	砂質シルト	砂粒少量、炭化物粒わずか、植物やや多量
		Ⅵ a2	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	砂粒少量、炭化物粒わずか、植物やや多量
		Ⅵ b	灰黄褐色（10YR4/2）	砂質シルト	砂粒やや多量、炭化物粒・植物わずか
		Ⅵ c	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	炭化物粒・植物わずか
		Ⅵ d	緑灰色（5G5/1）	シルト質粘土	
		Ⅵ e	暗褐色（10YR3/4）	砂質シルト	スクモ多量、砂粒やや多量
		Ⅵ f	褐灰色（10YR5/1）	砂	砂わずか
		Ⅵ g	黒褐色（10YR3/2）	シルト質砂	砂粒多量
P295	A-A'	1	灰黄褐色（10YR4/2）	砂質シルト	【堆積土】
P296		2	灰黄褐色（10YR4/2）	砂質シルト	【堆積土】
SK94	B-B'	1	黒褐色（10YR2/1）	粘土質シルト	炭化物粒やや多量　【堆積土】
		2	褐灰色（10YR4/1）	粘土質シルト	シルト質粘土（Ⅵ d 層）小ブロック主体、炭化物粒やや多量　【堆積土】
		3	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	シルト質粘土（Ⅵ d 層）ブロック多量　【埋土】
SA204-P1 (P162)	C-C'	1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	シルト質粘土（Ⅵ d 層）粒・炭化物粒中量　【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR3/1）	シルト	シルト質粘土（Ⅵ d 層）ブロック・小礫少量、炭化物粒中量　【掘方埋土】
P59	D-D'	1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	【柱痕跡】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロック多量　【掘方埋土】
SK65		3	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量　【堆積土】
SK64		4	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・炭化物粒中量　【堆積土】
		5	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、炭化物粒中量　【堆積土】
SK66	E-E'	1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	【堆積土】
SK63	F-F'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	植物中量　【埋土】



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1f	Ⅰ c	D-59・SA204-P2 (P182) / 堆積土	平縁＋突起。帯状文（櫛歯状刻目）、沈線文	57-15	Po1394
2	浅鉢か	-	Ⅶ	D-59・SA204-P4 (P170) / 堆積土	雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	57-16	Po1392

No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
3	円盤状土製品	D-59・SA204-P2 (P182) / 堆	長さ 26.5mm、幅 26.6mm、厚さ 7.9mm。縄文 LR 末端部強調。剥離→研磨	57-17	CO1395

第18図　SA204柱列跡　出土遺物



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	不明	-	Ⅲ o	D-59・SK63 / 埋土	三叉文	57-18	Po1277
2	深鉢	A1	XⅣ a1	D-59・SK63 / 埋土	平縁。縄文 LR	57-19	Po1276

第19図　SK63埋葬犬骨　出土遺物

［重複］なし。

［規模・構造］南北４間以上の柱列跡である。総長約5.3mあり、柱間寸法は南から約1.3m、約1.3m、約1.7m、約1.0mある。

［方向］北で28°東に偏する。

［柱穴］５箇所で確認した。直径22～40cmの円形や楕円形で、残存する深さが64cmある。埋土はＸ層起源の小礫や地山（Ⅸ層）ブロックを少量含む黒褐色シルトで（第17図、第５表）、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径16～19cmの円形を呈する。

［出土遺物］帯状文の施された深鉢（第18図１）や雲形文の施された浅鉢（同図２）、円盤状土製品（同図３）などが出土している。

(3) 埋葬犬骨

埋葬犬骨（土坑墓）はD-59区で１基検出した。１体のみ埋葬されている。なお、土坑墓（ヒト、イヌ）について諸属性を第８表にまとめた。

【SK63埋葬犬骨】

［位置］D-59区南側（第17図）

［検出面］Ⅵd層（南５層群）

［重複］なし。

［規模］平面形は直径50cmの円形である。残存する深さは８cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁が緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

［埋土］１層確認した。土器や動植物遺存体を含む黒褐色粘土質シルトで埋め戻されている（第17図、第５表）。

［埋葬遺体］老犬が１体埋葬されている。左側を上にした姿勢で、頭部は背側に反転している。頭部は南に位置し東で４°北に偏している。椎骨が東から西へ並ぶ。前肢は後肢に向けて進展している。後肢の状態は不明である（埋葬骨の詳細については分析編第３章を参照）。

［出土遺物］縄文土器深鉢（第19図２）や三叉文の施された土器（同図１）、磨石、石核、剥片が出土している。

(4) 土坑

土坑はD-53区で７基、D-59区で４基、D-78区で１基、D-79区で２基の、計14基検出した。検出面は14基のうち11基がⅥ層であり、大別層群別にみると南１層群で４基、南2A層群で１基、南2B層群で１基、南３層群で２基、南５層群で３基検出している。平面形は円形や楕円形、不整円形で、直径0.3mから長径1.0m以上のものまである。断面形は、多くが深さ0.2m以下の浅い皿形である。堆積土はすべて自然堆積土である。なお、諸属性を第９表にまとめ、出土した遺物を第21図に示した。

(5) 焼け面

焼け面はD-53区で２箇所検出した。

【SX99焼け面】

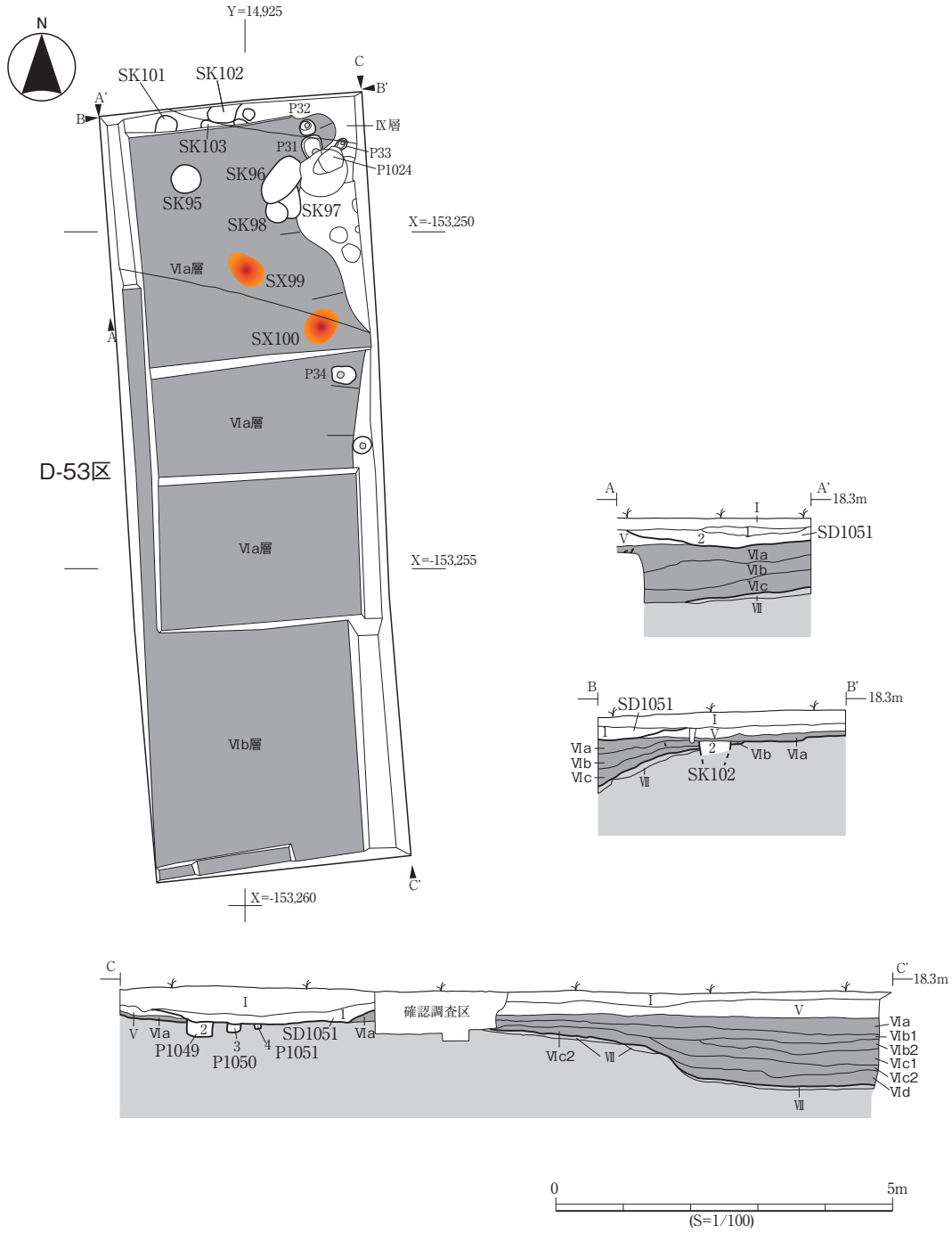
［位置］D-53区北側（第20図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

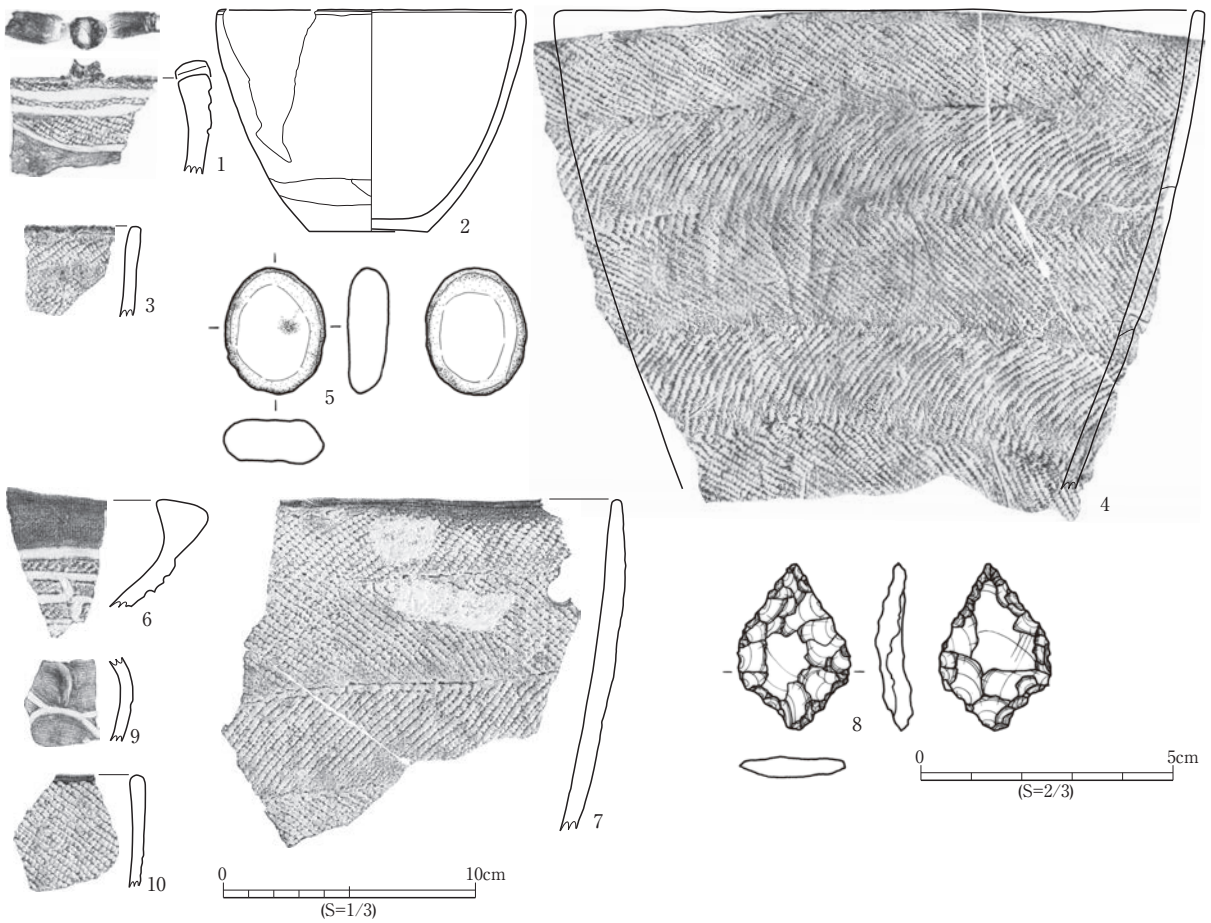
［規模］平面形は、長径0.6×短径0.4mの楕円形である。

［出土遺物］遺物は出土していない。



調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　　徴
D-53 区	A-A' B-B' C-C'	Ⅵ a	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、凝灰岩（X 層）粒多量、スクモ少量
		Ⅵ b	黒色（10YR1.7/1）	粘土	地山（Ⅸ層）大ブロックやや多量、凝灰岩（X 層）粒少量、スクモ多量
		(Ⅵ b1)	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・スクモ多量
		(Ⅵ b2)	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・スクモ・炭化物粒多量
		Ⅵ c	黒色（10YR1.7/1）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック・スクモ少量
		(Ⅵ c1)	黒褐色（10YR3/1）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック多量、植物多量
		(Ⅵ c2)	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、炭化物粒わずか
		Ⅵ d	黒色（10YR2/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量
SD1051	A-A'	1	黒褐色（10YR2/2）	シルト	粘土（Ⅴ層）小ブロック多量　【堆積土】
		2	黒褐色（10YR3/2）	粘土質シルト	粘土（Ⅴ層）小ブロック少量　【堆積土】
SD1051	B-B'	1	A-A' 2 に同じ		
SK102		2	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂多量、スクモ中量　【堆積土】
SD1051	C-C'	1	A-A' 2 に同じ		
P1049		2	灰黄褐色（10YR4/2）	シルト	地山（Ⅸ層）ブロック多量　【掘方埋土】
P1050		3	黒褐色（10YR3/2）	シルト	地山（Ⅸ層）ブロック多量　【掘方埋土】
P1051		4	褐灰色（10YR4/1）	シルト	【堆積土】

第20図　D-53区　平面図・断面図



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1e	Ⅱ a	D-59・SK64 / 堆積土	平縁 + 球状突起（頂部刻み）。入組帯状文（縄文）。縄文 RL	57-20	Po1278
2	鉢	A1	X V	D-59・SK64 / 堆積土	口径（12.0cm）、器高 8.8cm、底径 4.7cm。平縁。底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ、かるい上げ底。羽状縄文 LR/RL	57-22	Po1281
3	深鉢	A1	X Ⅳ a1	D-59・SK64 / 堆積土	平縁。縄文 LR	57-27	Po1279
4	深鉢	A1	X Ⅳ a2	D-59・SK64 / 堆積土	口径（25.6cm）。平縁。羽状縄文 RL/LR。外面炭化物付着	57-29	Po1280
6	深鉢	A1	Ⅱ a	D-59・SK65 / 堆積土	平縁。入組帯状文（縄文）。縄文 LR。口唇部肥厚	57-26	Po1283
7	深鉢	A1	X Ⅳ a2	D-59・SK65 / 堆積土 + Ⅵ d・e	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調。補修孔 1	57-25	Po1282
9	注口土器か	-	Ⅲ o	D-59・SK66 / 1	三叉文	57-28	Po1285
10	深鉢	A1	X Ⅳ a1	D-59・SK66 / 1	平縁。縄文 RL	57-30	Po1284

No.	器種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	磨石	-	D-59・SK64 / 堆積土	安山岩質凝灰岩	50.6	39.1	17.6	20.87	完形	0	0	0	1	0		57-23	S6274
8	石鏃	Ⅰ b2B	D-59・SK65 / 堆積土	碧玉 A	32.3	21.5	3.8	2.40	完形	0	0	0	0	0		57-24	S6278

第21図　C丘陵頂部土坑　出土遺物

【SX100焼け面】

［位置］D-53区北側（第20図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

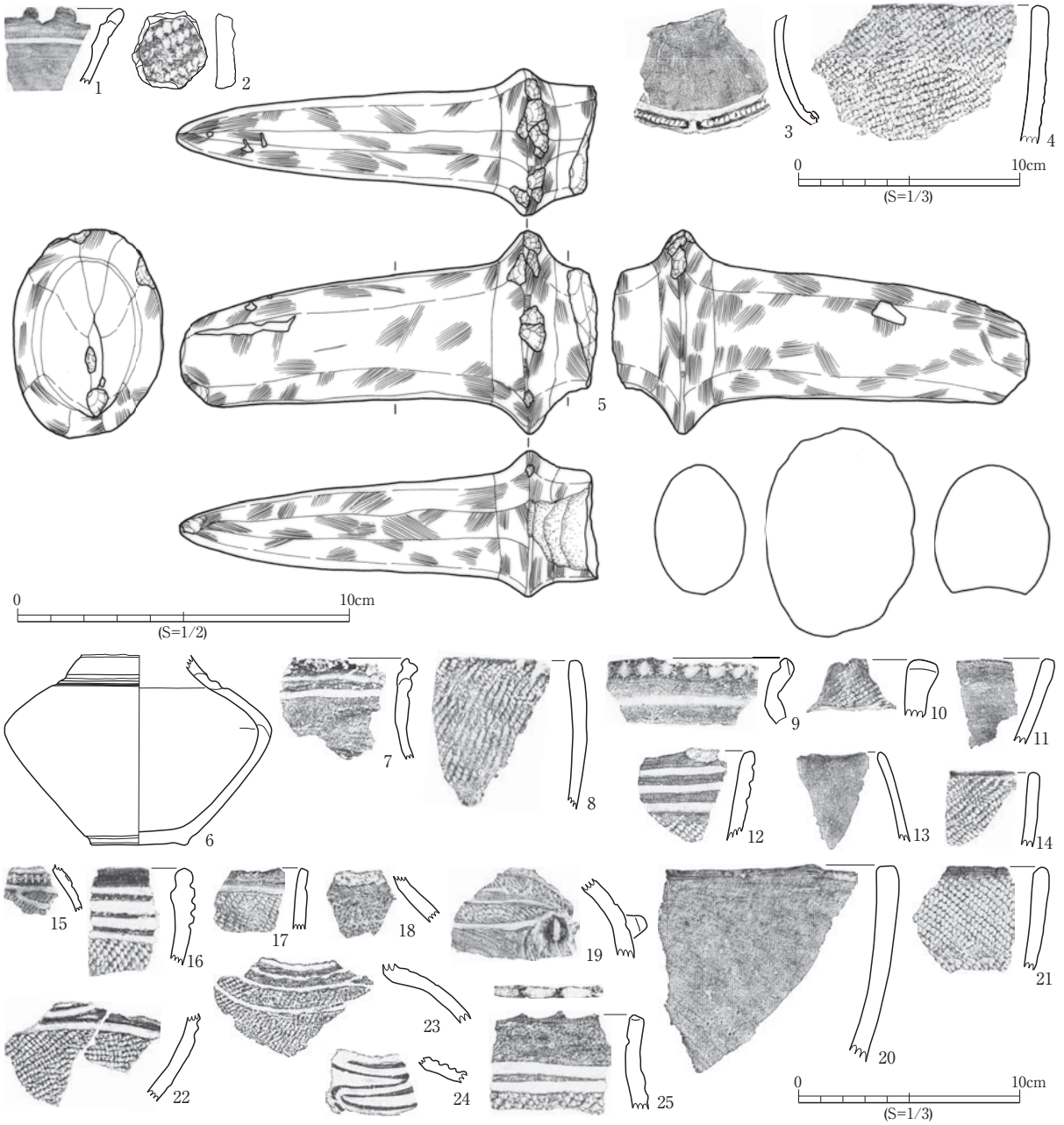
［重複］なし。

［規模］平面形は、長径0.6×短径0.5mの楕円形である。

［出土遺物］出土していない。

(6) その他の遺構から出土した遺物

C丘陵頂部で確認したピットで、建物や柱列の柱穴として捉えられなかったものから出土した遺物を第22・23図にまとめて提示した。遺物が出土したピットの位置については第10～12・14・

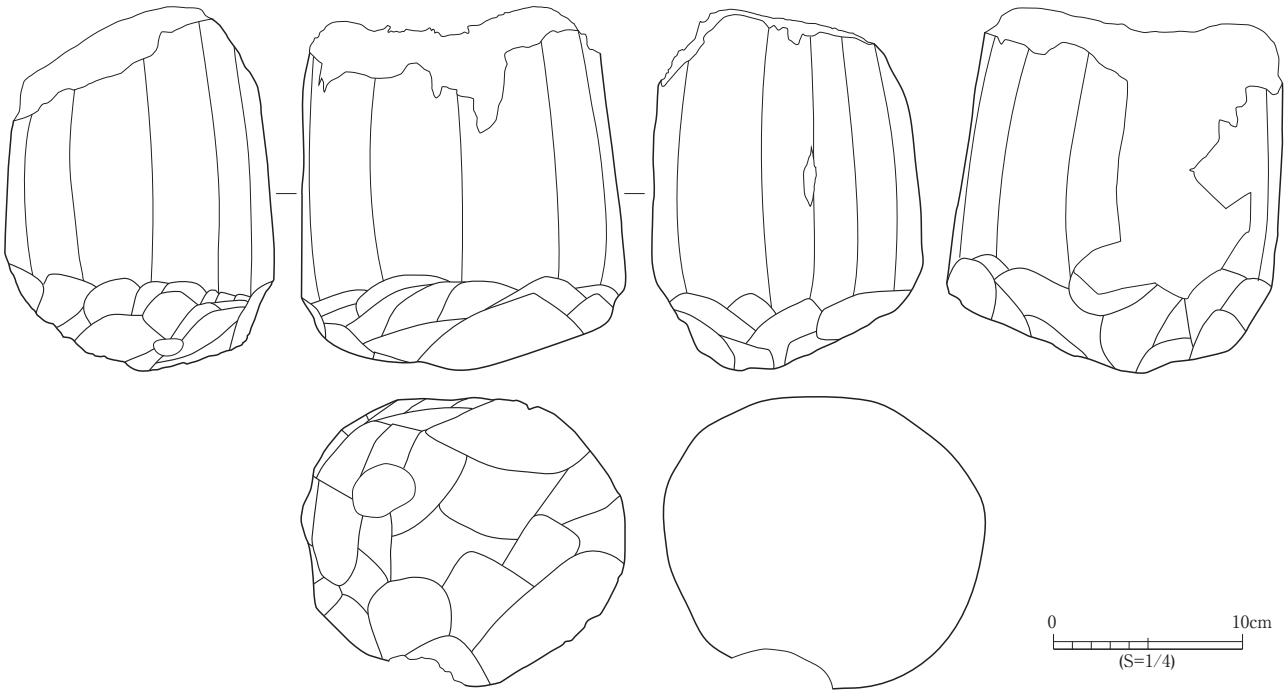


No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1df	XⅢ	D-79・P104 / 堆積土	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。沈線文。口縁部内面沈線	57-32	Po3077
3	壺	-	Ⅸd	D-79・P94 / 堆	π字文 + 二個一対の貼瘤 + 刺突列	57-31	Po3076
4	深鉢	A1	XⅣa1	D-79・P110 / 掘方埋土	平縁。縄文 LR	57-34	Po3082
6	壺	-	XⅡx	D-80・P121 / 掘方埋土	体部最大径 12.1cm、底径 4.2cm。平行沈線文。底部付近ミガキによる無文帯。底部ナデ、かるい上げ底。縄文 LR	57-37	Po3105
7	壺	-	XⅡx	D-80・P122 / 掘方埋土	平縁 + 山形突起か + 口縁端部沈線。平行沈線文。口縁部内面沈線	57-36	Po3107
8	深鉢	A1	XⅣa1	D-80・P122 / 掘方埋土	平縁。縄文 LR	57-38	Po3106
9	深鉢	B1cd	XⅡx	D-80・P128 / 掘方埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文	57-39	Po3109
10	深鉢	A1f	XⅢ	D-80・P132 / 掘方埋土	平縁か + 山形突起（頂部刻み）。沈線文。縄文 LR	57-40	Po3114
11	鉢	A1	XⅤ	D-80・P132 / 掘方埋土	平縁	57-41	Po3115
12	深鉢	A1f	XⅡx	D-80・P133 / 掘方埋土	平縁 + 突起。平行沈線文。縄文 LR	57-42	Po3118
13	注口土器	C1	XⅤ	D-80・P133 / 掘方埋土	平縁	57-43	Po3117
14	深鉢	A1	XⅣa1	D-80・P133 / 掘方埋土	平縁。縄文 LR	57-44	Po3116
15	壺	-	Ⅶ	D-59・P56 / 堆積土	平行沈線文 + 櫛歯状刻目。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	57-45	Po1388
16	浅鉢	A1	XⅡx	D-59・P56 / 柱痕跡	平縁 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	57-46	Po1389
17	鉢	A1f	XⅢ	D-59・P57 / 柱痕跡	平縁 + 突起。沈線文。縄文 LR+R 附加条。外面炭化物付着	57-47	Po1390
18	鉢か	-	XⅣa3	D-59・P57 / 柱痕跡	撚縄文（オオバコか）	57-48	Po1391
19	壺	-	Ⅱa	D-59・P59 / 掘方埋土	入組帯状文（縄文）+ 貼瘤（頂部刻み）。前々段多条縄文 RL	57-49	Po1287
20	浅鉢	A1	XⅤ	D-59・P59 / 掘方埋土	平縁	57-55	Po1286
21	深鉢	A1	XⅣa2	D-59・P59 / 掘方埋土	平縁。羽状縄文 RL/LR	57-50	Po1288
22	浅鉢	-	Ⅸo?	D-53 南・P31 / 堆積土	π字文か。縄文 LR	57-51	Po170
23	壺	-	XⅡx	D-53 南・P32 / 掘方埋土	平行沈線文。縄文 LR	57-52	Po171
24	壺	-	X	D-53 北・P33 / 堆積土	工字文	57-53	Po173
25	深鉢	A2	XⅡx	D-53 北・P33 / 柱痕跡	波状縁。平行沈線文。縄文 LR。内面沈線	57-54	Po172

No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
2	円盤状土製品	D-79・P109 / 堆	長さ 35.4mm、幅 33.8mm、厚さ 8.7mm。縄文 LR。剥離	57-33	CO3080

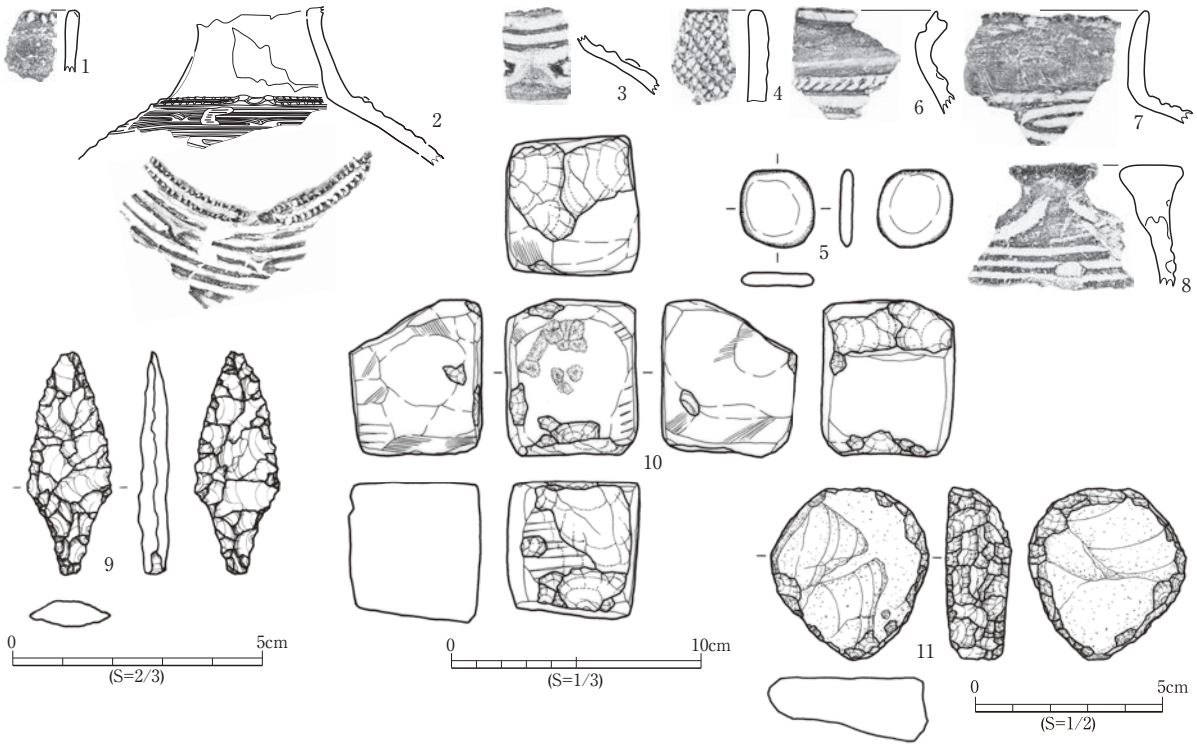
No.	器　種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	独鈷石	-	D-79・P105 / 柱抜取穴	安山岩	61.3	125.5	43.7	270.34	一部欠	0	0	0	0	0		57-35	S13116

第22図　C丘陵頂部ピット　出土遺物



No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	柱材	D-59・P59	底面径 6.2cm。丸柱。底面 18.9 × 17.4cm・側面面取り	58-1	W04

第23図　C丘陵頂部ピット　出土遺物（柱材）



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	X V	D-78 / 確認面	平縁 + ヘラ刻目	58-5	Po3024
2	壺	H1	Ⅸ a+ X	D-79 / 確認面	平縁。工字文 + ヘラ刻目 + 二個一対の貼瘤 4 単位。π 字文（逆さ表現）2 段、平行沈線文か	58-6	Po3085
3	台部か	-	X	D-79 / 確認面	平行沈線文、工字文	58-7	Po3074
4	深鉢	A1	X Ⅳ a1	D-79 / 確認面	平縁。縄文 RL	58-8	Po3084
6	深鉢	B2c	X Ⅱ a	D-80 / 確認面	波状縁 + 波底部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。口縁部内面沈線	58-10	Po3113
7	壺	C1	X	D-80 / 確認面	平縁。流水工字文	58-11	Po3088
8	鉢（四脚付か）	A1ce	Ⅸ a	D-80 / 確認面	平縁か + 山形突起（円盤状飾り）+ 突起間沈線。連続弧状沈線文、π 字文。口縁部内面沈線	58-12	Po3102

No.	器　種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	磨石	-	D-79・P1029 / 堆積土	凝灰岩	31.0	29.9	5.2	7.92	完形	0	0	0	1	0		58-9	S13113
9	石鏃	Ⅰ a2A	D-80 / 確認面	珪質頁岩 A	44.6	16.7	5.8	3.54	尖頭部欠	0	0	0	0	B		58-13	S13201
10	敲石	-	D-80 / 確認面	凝灰岩	59.0	51.8	54.1	298.65	一部欠	0	0	磨石→	0	0	立方体に成形	58-14	S13207
11	円盤状石製品	Ⅰ b	D-80 / 確認面	安山岩	44.9	41.2	16.2	36.44	完形	0	0	0	1	0		58-15	S13208

第24図　C丘陵頂部遺構確認面ほか　出土遺物

17・20図に示している。また、丘陵頂部で遺構が多く出土した範囲における、遺構確認面等から出土した遺物についても第24図にまとめて提示した。

主なものを取り上げると、D-79区では、P94からπ字文の施された壺（第22図３）が、P105の柱抜取穴から独鈷石（同図５）が出土し、また、遺構確認面で工字文とπ字文の施された壺（第24図２）が出土している。D-80区では、遺構確認面で工字文の施された壺（第24図７）やπ字文の施された鉢（同図８）が出土した。鉢は南斜面の土坑墓に埋設される鉢と類似しており、四脚付きとみられる。また、同じく遺構確認面で石鏃（第24図９）や円盤状石製品（同図11）、立方体に成形された敲石（同図10）が出土している。D-59区では、P56から雲形文の施された壺（第22図15）が、P59の掘方埋土から入組帯状文に貼瘤の付く壺（同図19）が出土した。また、P59では柱材（第23図）が残存しており、放射性炭素年代測定を実施したところ、^{14}C年代が2,840±20yrBPという値が得られ、縄文時代晩期前葉から中葉頃と推定されている（分析編第11章）。D-53区では、P31からπ字文の施された浅鉢（第22図22）が、P33から工字文の施された壺（同図24）が出土した。

写真１　現地説明会のようす

２．C丘陵南斜面の遺構と遺物包含層

C丘陵突端部付近の南斜面は遺物包含層（Ⅵ層）が広がっており、このⅥ層の堆積により丘陵裾部は微高地を形成している。周囲に広がる湖沼の水位の上昇・下降に伴い、この微高地上に遺構が形成される時期が存在する。微高地上の遺構は、D-54・55・56・57・68・74・75区で検出し、柱列跡１条、集石遺構２基、土坑墓27基、埋葬犬骨（土坑墓）２基、土坑２基、自然流路跡１条の他に、ピットが多数ある（第25・26図）。これらは、遺構検出面の層準や堆積土の特徴、および出土遺物から、すべて縄文時代晩期の遺構とみられる。

ここでは、C丘陵南斜面で検出した遺構と、これらの遺構が形成される遺物包含層について記述する。

A．遺　構

(1) 柱列跡

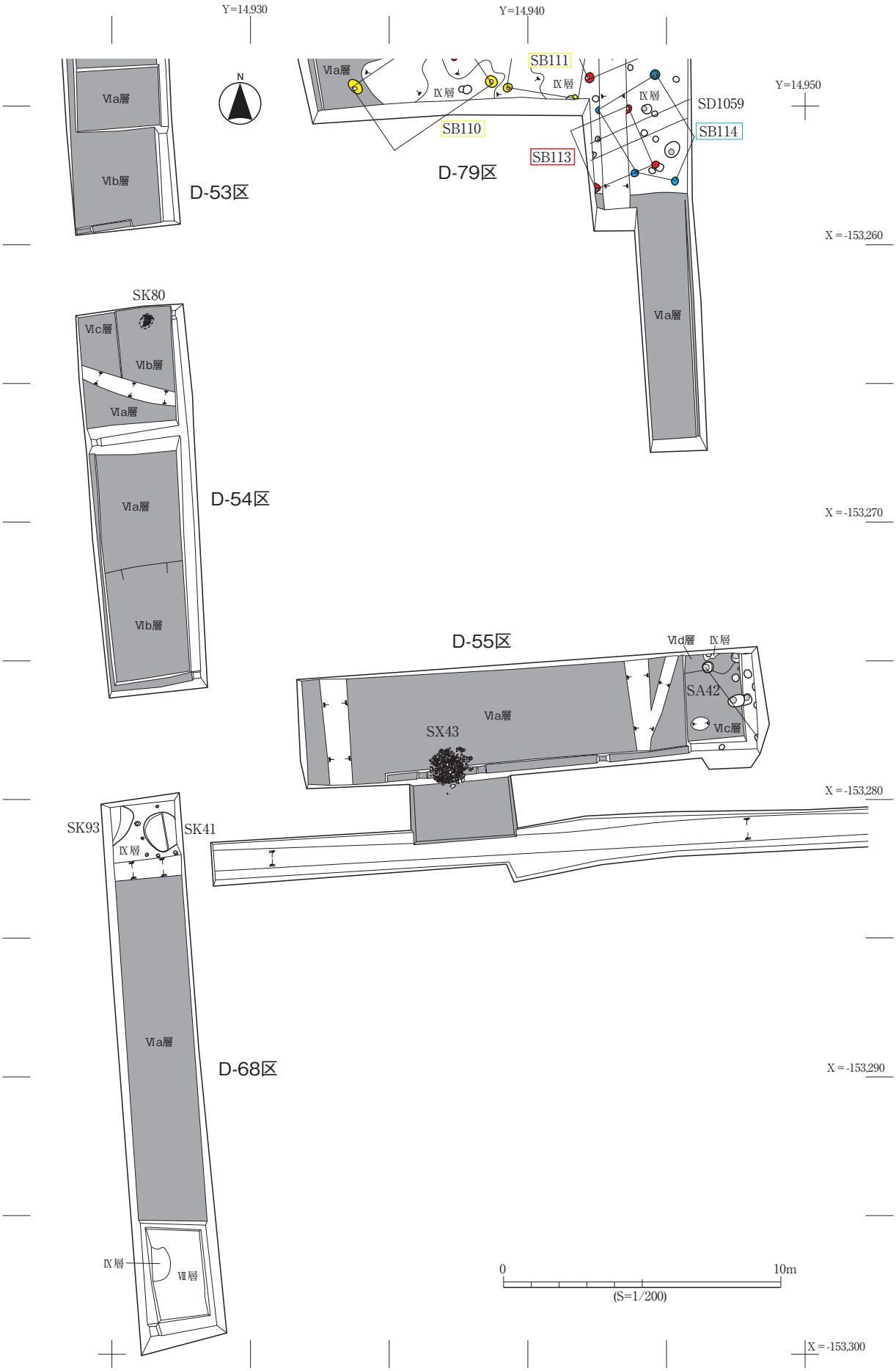
柱列跡はD-55区の１箇所で確認した。

写真２　D-55区東側　作業風景

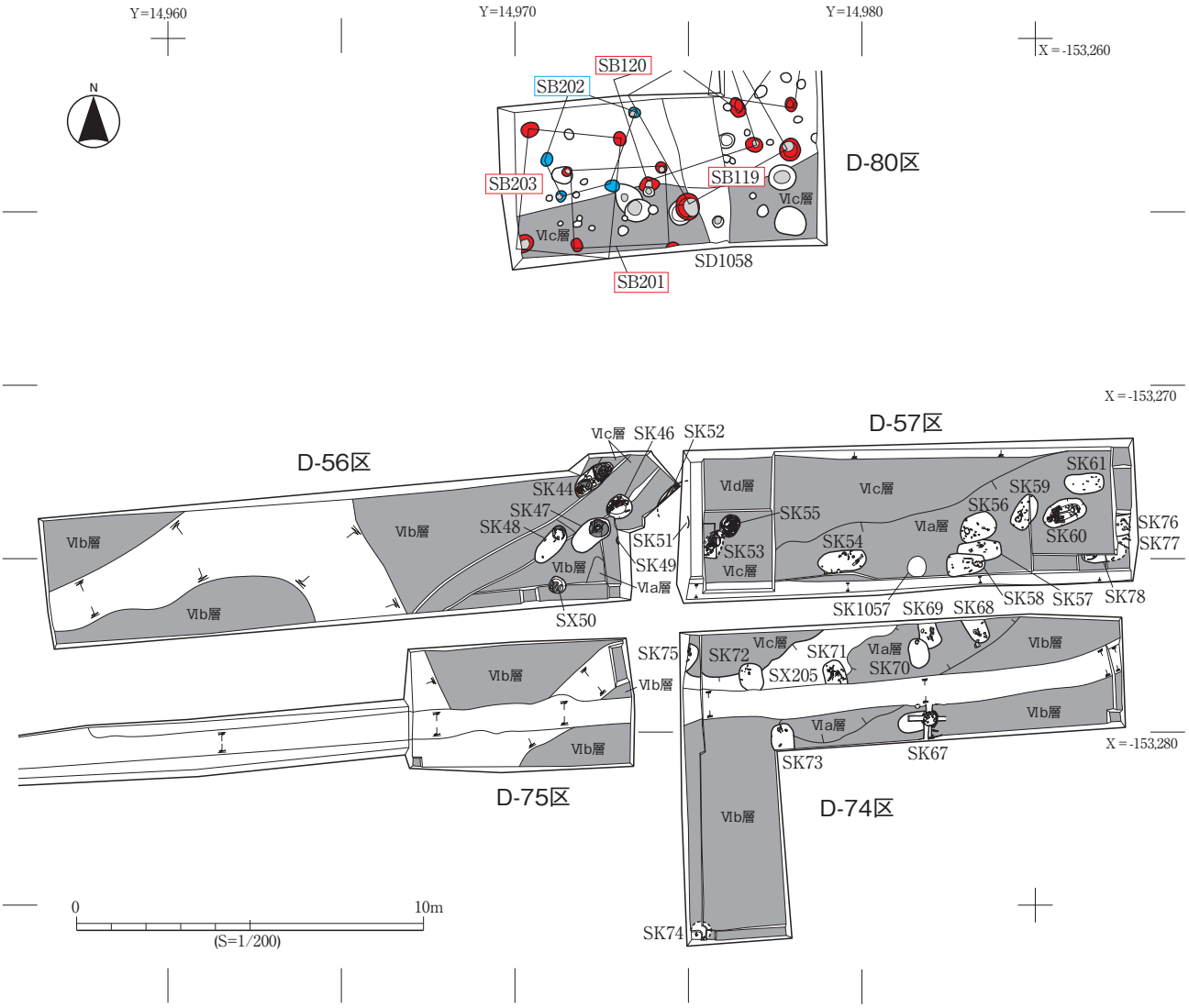
写真３　D-56区東側　作業風景

写真４　SK55埋葬犬骨　取り上げ作業風景

写真５　SK60土坑墓　取り上げ作業風景



第25図　C丘陵南斜面（西側）　平面図



第26図　C丘陵南斜面（東側）　平面図

【SA42柱列跡】

［位置］D-55区東側（第27図）

［検出面］Ⅵc層（南３層群）

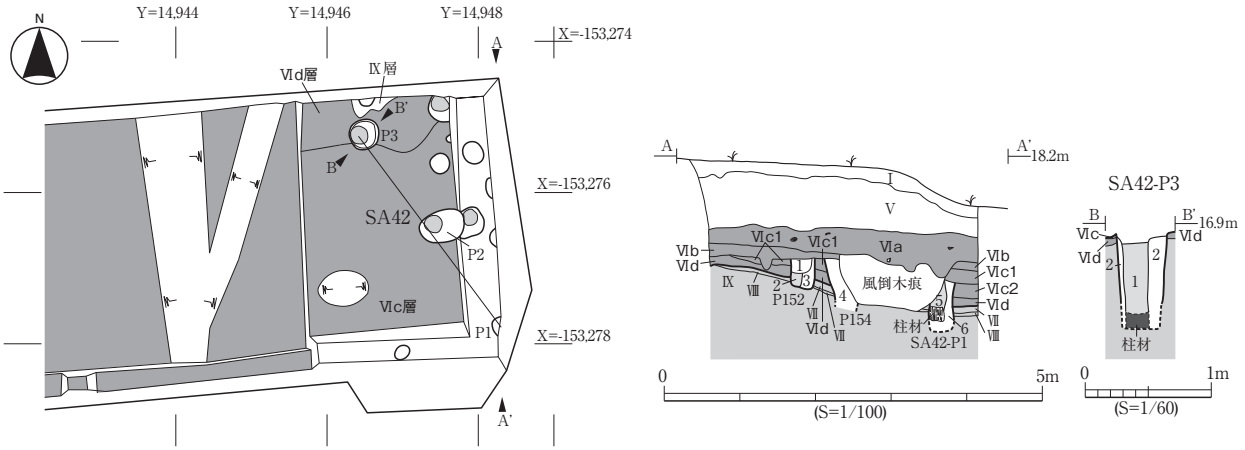
［重複］なし。

［規模・構造］南北２間以上の柱列跡である。総長約3.2mあり、柱間寸法は南から約1.6m、1.5mある。

［方向］北で37°西に偏する。

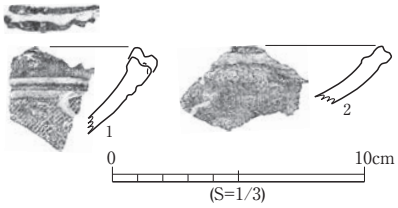
［柱穴］２箇所で確認した。直径42～61cmの円形や楕円形で、残存する深さが75～95cmある。埋土は地山（Ⅸ層）ブロックを多く含む黒色～褐灰色粘土質シルトで、柱痕跡を２箇所で確認した。柱痕跡は直径24～25cmの円形を呈し、２箇所（P1、P3）で柱材が残存する。P3の柱材について放射性炭素年代測定を実施したところ、^{14}C年代が2,900±20yrBPとなり、縄文時代晩期前葉頃に当たる年代値が得られた（分析編第11章）。

［出土遺物］縄文土器浅鉢（第28図２）や雲形文の施された皿（同図１）、剥片が出土している。



調査区 / 遺構	層	序	土 色	土 性	特 徴
D-55 区	A-A'	Ⅵ a	黒色（10YR2/1）	粘土	最上部に粘土（Ⅴ層）中ブロックやや多量、粗砂多量、小礫（Ⅹ層）少量、スクモ多量、炭化物わずか
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	粘土	砂多量、スクモわずか、炭化物わずか
		Ⅵ c1	黒褐色（2.5Y3/1）	粘土質シルト	地山小ブロック（Ⅸ層）・粗砂少量、炭化物わずか
		Ⅵ c2	黄灰色（2.5Y4/1）	粘土質シルト	地山ブロック多量、炭化物少量、スクモわずか
		Ⅵ d	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	粗砂少量
P152		1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山ブロック（Ⅸ層）・砂少量、炭化物わずか 【柱抜取穴】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	砂少量、炭化物わずか 【柱痕跡】
		3	黒褐色（2.5Y3/1）	粘土質シルト	地山ブロック（Ⅸ層）多量 【掘方埋土】
P154		4	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	地山小ブロック（Ⅸ層）少量、炭化物わずか 【掘方埋土】
SA42-P1		5	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山ブロック（Ⅸ層）・砂少量、炭化物少量 【柱痕跡】
		6	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	砂少量 【掘方埋土】
SA42-P3	B-B'	1	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	地山ブロック（Ⅸ層）少量 【柱痕跡】
		2	褐灰色（10YR4/1）	粘土質シルト	地山ブロック（Ⅸ層）多量 【掘方埋土】

第27図　D-55区東側（SA42柱列跡）　平面図・断面図



No.	器種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特 徴	写真図版	登録
1	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	D-55 東・SA42-P3 / 掘方埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	70-1	Po767
2	浅鉢	A1c	XⅢ	D-55 東・SA42-P3 / 柱痕跡	平縁 + 口縁端部沈線。沈線文。口縁部内面沈線	70-2	Po766

第28図　SA42柱列跡　出土遺物

（2）集石遺構

石器等が人為的に一箇所に集められた遺構を集石遺構と呼称する。D-55区とD-56区でそれぞれ１基ずつ検出した。D-55区で検出したSX43集石遺構では、石器・石製品の他に自然石や土器・土製品、自然木が1,000点以上集積され、D-56区で検出したSX50集石遺構では、石器のみ６点が集積されている。また、SX43では確認できなかった土坑状の掘り込みが見られるなど、両者で集積の方法や、集積された遺物の種類・量に大きな差異が認められる。

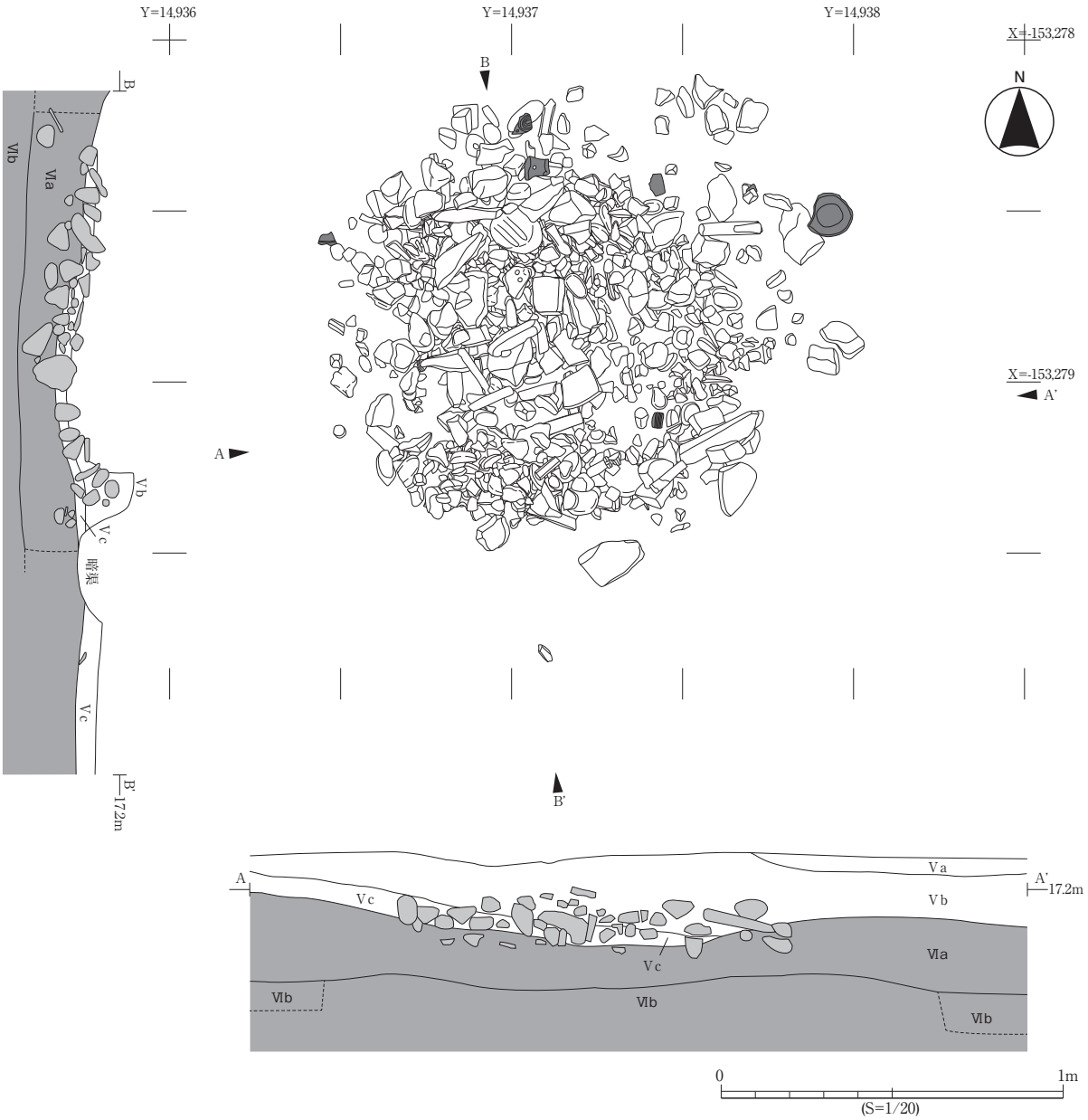
【SX43集石遺構】

［位置］D-55区西側（第29・53図）

［検出面］Ⅵa層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模・構造］掘り込みはない。南端部が暗渠でわずかに影響を受けているが、遺物の分布は、長径



調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
D-55 区	A-A' B-B'	Ⅴa	褐灰色（10YR6/1）	粘土	
		Ⅴb	褐灰色（10YR4/1）	粘土	
		Ⅴc	灰黄褐色（10YR6/2）	粘土	
		Ⅵa	黒色（10YR2/1）	粘土	最上部に粘土（Ⅴ層）中ブロックやや多量、粗砂多量、小礫（X層）少量、スクモ多量、炭化物わずか
		Ⅵb	黒色（10YR2/1）	粘土	砂多量、スクモわずか、炭化物わずか

第29図　SX43集石遺構　平面図・断面図

約1.5m、短径約1.3mの円形を呈する。直上を洪水堆積層であるⅤ層に覆われていることから、洪水の影響により一部の遺物が原位置から離れたものとみられ、本来の範囲よりやや広がっている。

［遺物集積の特徴］遺物は基本層のⅤb層下部からⅥa層にかけて分布する。特にⅤc層からⅥa層上面にかけて集中しており、Ⅵa層上面に遺構が形成されたと推定される。洪水堆積層と考えられているⅤc層およびⅤb層は、遺構の形成後に集積された遺物の間に入り込んだものとみられる。また、遺物は周辺部を除き、重なり合うように集積されている。断面では最大で５重の重なりが確認できた。

第６表　SX43集石遺構　器種組成

種別	器種	三次元位置計測	その他取り上げ	計
石器	石箆	1		1
	打製石斧	1		1
	磨製石斧	9	2	11
	不定形石器	3		3
	剥片	19	35	54
	石核	14	3	17
	計	47	40	87
礫石器	石皿	52	8	60
	磨石	102	39	141
	凹石	8		8
	砥石	3		3
	敲石	1		1
	計	166	47	213
石製品	円盤状石製品	3		3
	石錘	2		2
	石冠	4	2	6
	独鈷石	7		7
	石棒	25	13	38
	石刀	40	35	75
	線刻礫	1		1
	不明石製品	1	5	6
	計	83	55	138
自然石	石材	61	17	78
	礫（奇石）	30		30
	礫	331	335	666
	計	422	352	774
土器	深鉢	16	23	39
	鉢	9	14	23
	台付鉢		1	1
	四脚付鉢	1	1	2
	浅鉢	3	5	8
	壺		1	1
	注口土器	2	3	5
	袖珍土器浅鉢	1		1
	器種不明	2	3	5
	計	34	51	85
土製品	土偶	4	1	5
	土版	1	1	2
	有孔土製品	1		1
	計	6	2	8
自然木	-	1		1
総計		759	547	1306

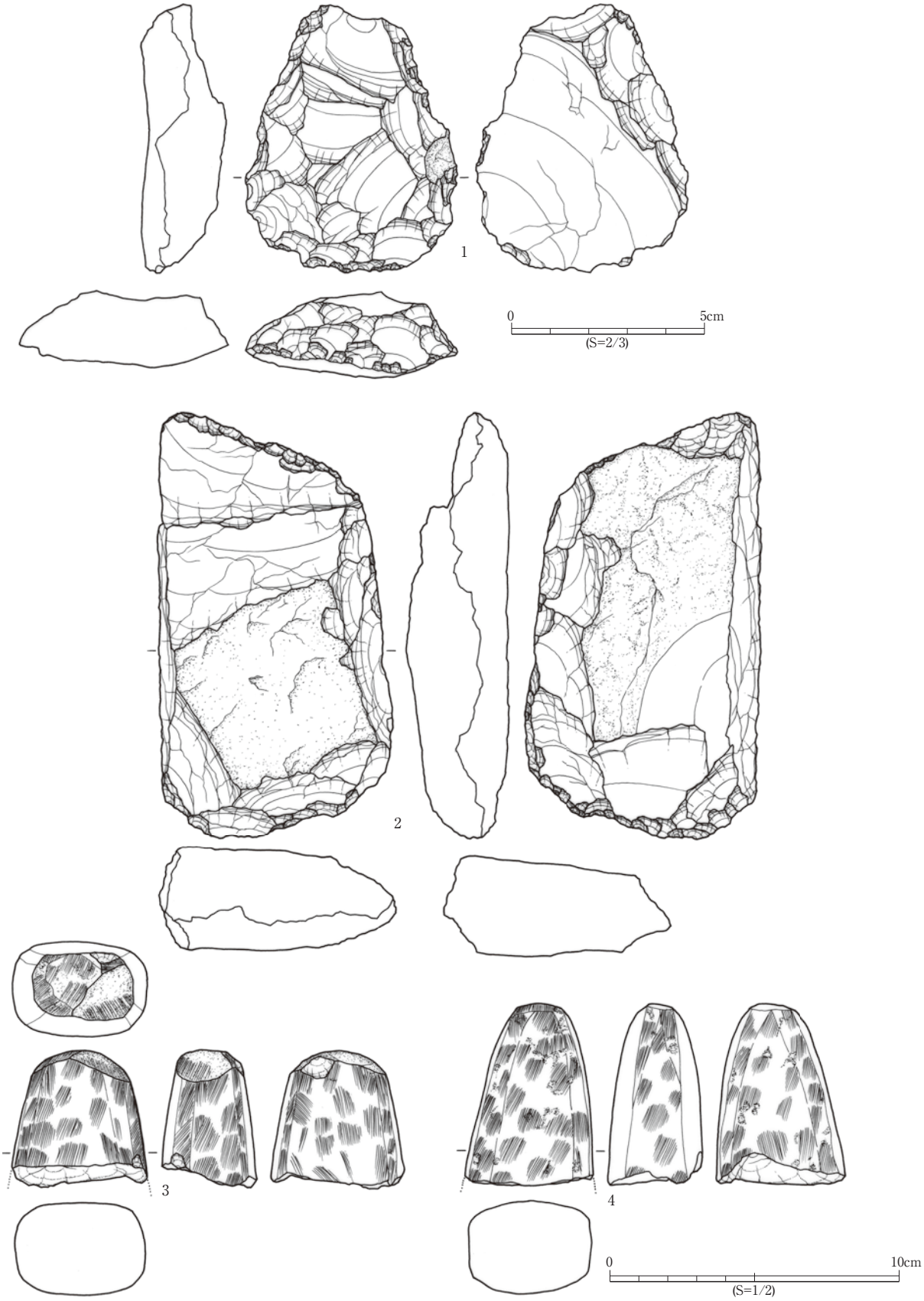
これらから、本来は相当の高まりをもつ遺構であったと推定される。なお、Ｖ層中に包含される遺物の一部を遺構確認の段階で掘り上げているため、分布がやや希薄になっている箇所がある。

［出土遺物］出土した位置を記録して取り上げた遺物は、No.１～770（うち欠番11点）の759点あり、その他に取り上げた遺物が547点ある。

集積された遺物には、石器、礫石器、石製品、自然石、土器、土製品、自然木がある（第30～49図）。これらの内訳を第６表に示した。全体の約６割が自然石で構成され、次いで礫石器が多い。石器類や石製品は完形のものが少なく、破片が主体となる。種類別に見ると、石器ではトゥールが少なく、剥片・石核が多く集積される。トゥールでは磨製石斧が主体となり、遺物包含層等で多く出土する剥片石器はわずかで、石鏃や石錐、石匙などの定形的な剥片石器は石箆１点のみにとどまる。礫石器では磨石が最も多く、次いで石皿も多く集積される。石製品では石棒類が主体となる。また、独鈷石（７点）や石冠（６点）が出土しているが、これは遺物包含層等から出土した点数よりも多い。自然石では剥片石器や

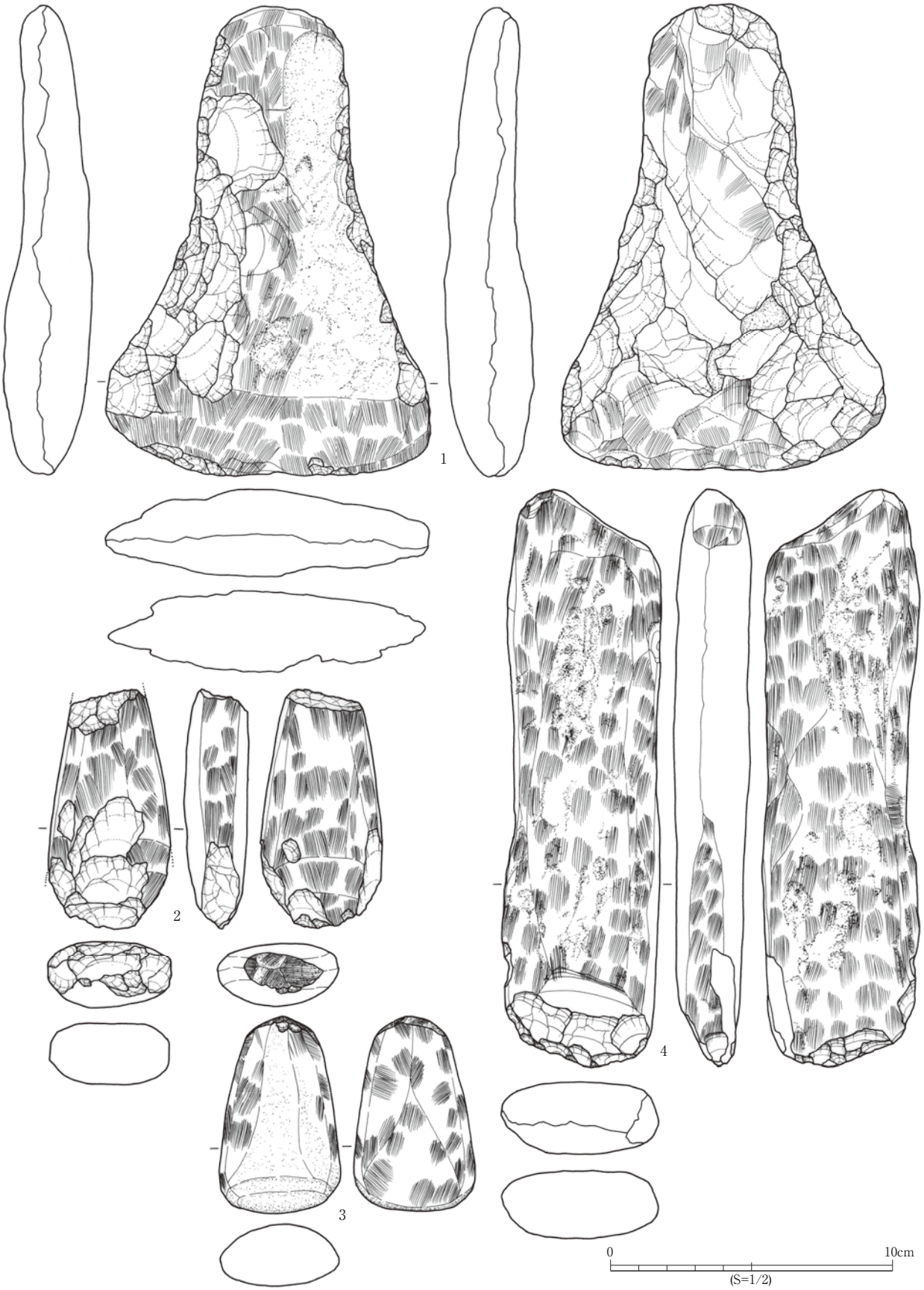
第７表　SX43集石遺構　器種別石材組成

種別	器種	珪質頁岩A	珪質頁岩B	頁岩	珪質凝灰岩A	珪質凝灰岩B	凝灰岩	安山岩質凝灰岩	デイサイト質凝灰岩	碧玉A	碧玉B1	碧玉B2	碧玉C	玉髄	流紋岩	粘板岩	千枚岩	片岩	玄武岩	安山岩	玄武岩質安山岩	デイサイト	ホルンフェルス	花崗岩	斑岩	珪化木	軽石	泥岩	凝灰質泥岩	砂岩	凝灰質砂岩	礫岩	総計
石器	石箆					1																											1
	打製石斧																						1										1
	磨製石斧															1				4		1	1							4			11
	不定形石器			2						1																							3
	剥片	2	1	1		3				2	5					39				1													54
	石核	3	1	2		1	1				8				1																		17
	計	5	2	5		5	1			3	13				1	40				5		1	2							4			87
礫石器	石皿			1			3	1								12		1		32	1	2	5						1	1			60
	磨石						46	7	2							2			1	59	1	14	3	1			4					1		141
	凹石						1													4		1	2											8
	砥石																						1				1			1				3
	敲石																			1														1
	計			1			50	8	2							14		1	1	96	2	17	11	1			5		1	2	1		213
石製品	円盤状石製品						3																										3
	石錘						2																										2
	石冠															1				3								2					6
	独鈷石															3				4													7
	石棒						1									33							3			1							38
	石刀															73							1			1							75
	線刻礫						1																										1
	不明石製品															4				1		1											6
	計						7									114				8		1	4			2		2					138
自然石	石材	4	4	4							20	2	3		1	28		1		2			4			5							78
	礫（奇石）			2	1	1	5	1							2	2	1			10		2	1					1			1		30
	礫	8		36		6	115	65	30		1	1	1	2	4					290	6	68	7		1		21				3	1	666
	計	12	4	42	1	7	120	66	30		21	3	4	2	7	30	1	1		302	6	70	12		1	5	21	1			4	1	774
総　計		17	6	48	1	12	178	74	32	3	34	3	4	2	8	198	1	2	1	411	8	89	29	1	1	7	26	3	1	6	5	1	1212



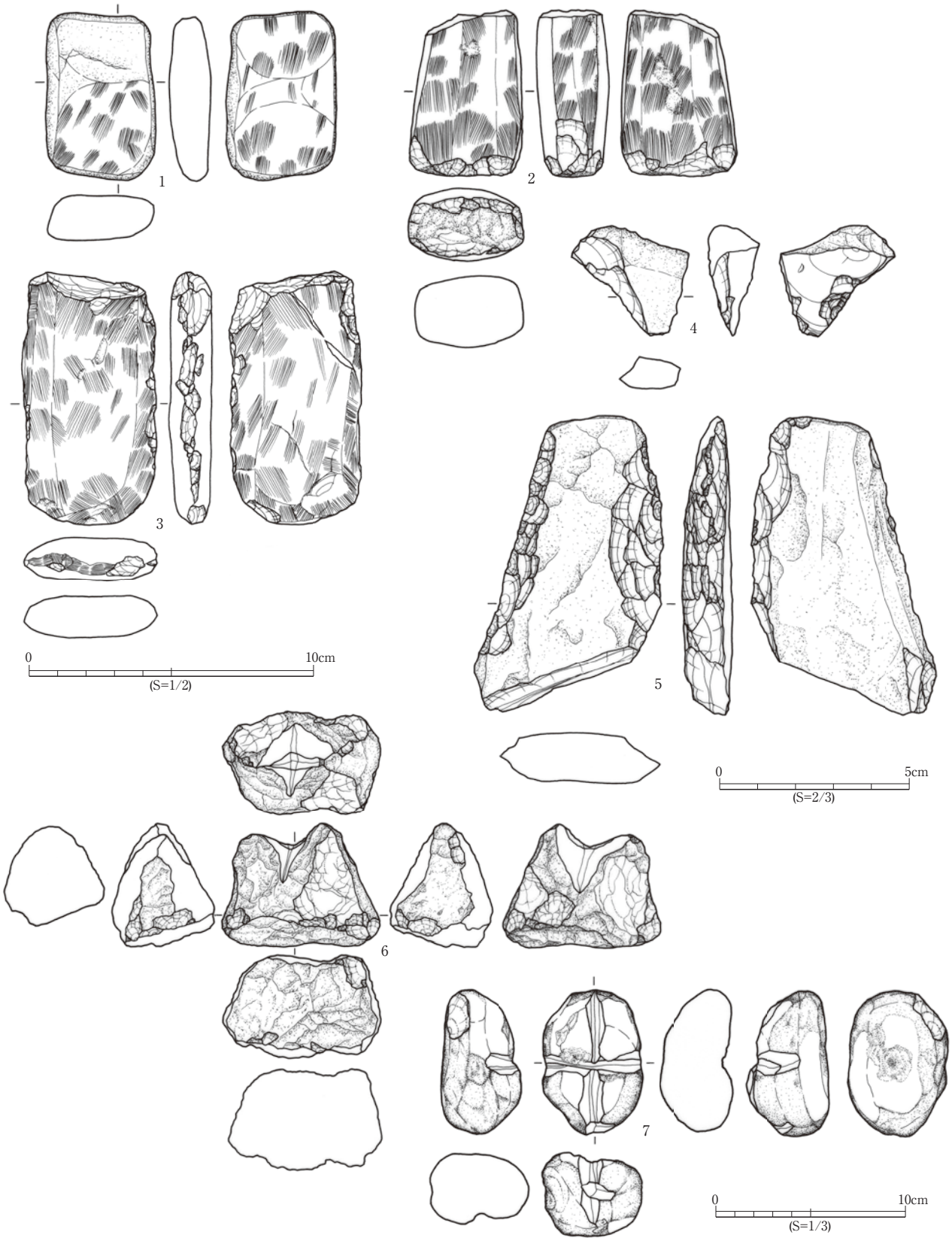
No.	種別	類型	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石器	Ⅰb	石篦	珪質凝灰岩B	69.4	53.7	19.7	78.55	-	-	完形	0	0	0	1	0			59-1	SX43-757
2	石器	-	打製石斧	ホルンフェルス	147.0	78.8	34.0	472.80	-	-	一部欠	0	0	石皿→	1	0			59-2	SX43-765
3	石器	Ⅰb1	磨製石斧	砂岩	49.2	46.8	32.7	100.25	-	-	基部	0	0	0	0	0			59-3	SX43-314
4	石器	Ⅰa1	磨製石斧	安山岩	63.7	44.3	32.2	127.43	-	-	基部	0	0	0	0	0			59-4	SX43-661

第30図　SX43集石遺構　出土石器（1）



No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石器	磨製石斧	Ⅱ	砂岩	165.0	114.0	28.8	519.99	-	-	完形	0	0	0	1	0			59-5	SX43-1006
2	石器	磨製石斧	Ⅰ	砂岩	84.6	43.7	22.5	138.84	-	-	基部・刃部欠	0	0	0	0	0			59-6	SX43-450
3	石器	磨製石斧	-	安山岩	69.2	42.6	21.7	96.33	-	-	完形	0	0	0	1	0		未成品か模造品	59-7	SX43-163
4	石器	磨製石斧	Ⅰ b2	粘板岩	204.2	54.6	25.5	451.25	-	-	完形	0	0	0	0	0			60-1	SX43-543

第31図　SX43集石遺構　出土石器（2）

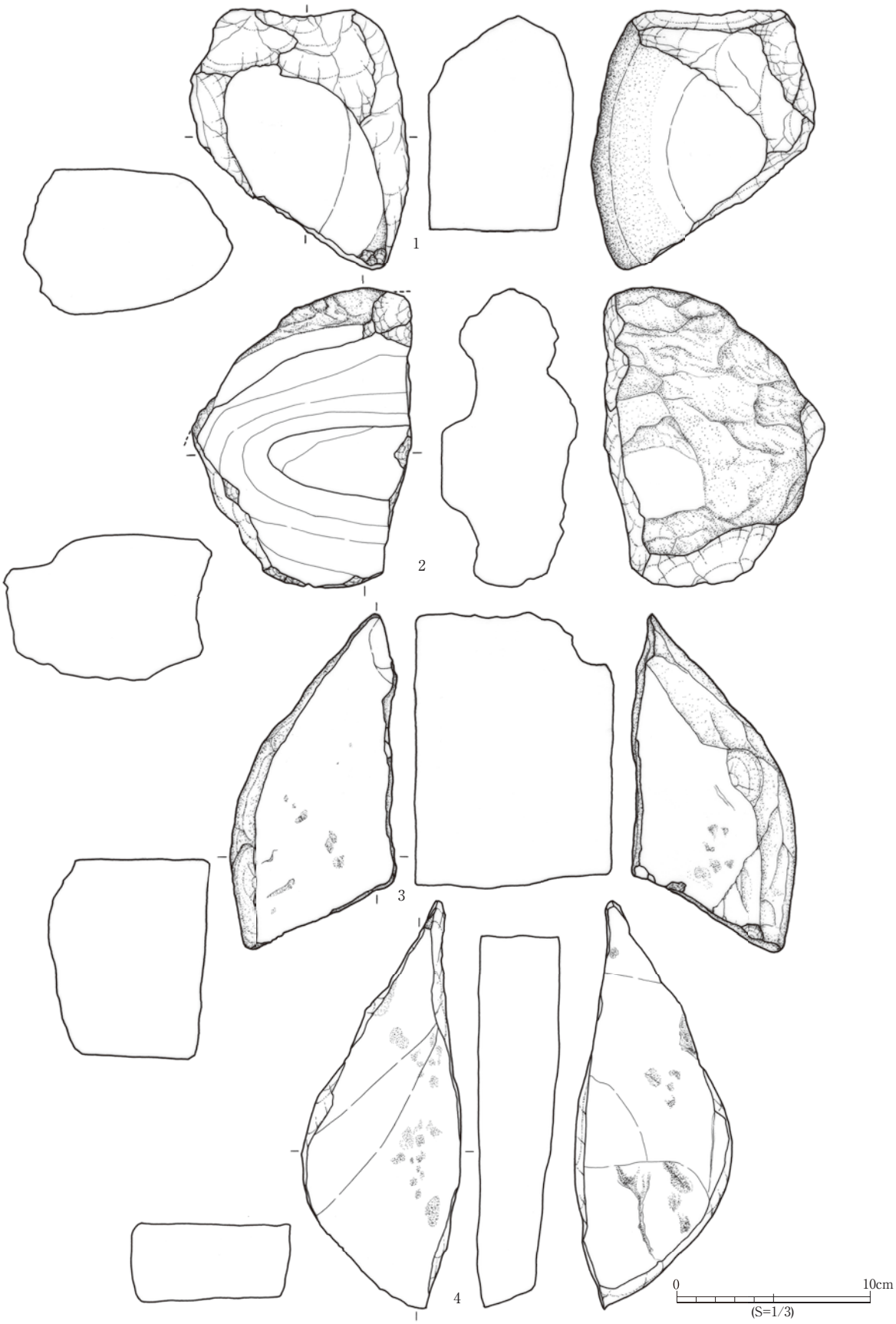


No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	-	安山岩	57.8	37.7	15.5	63.27	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0		磨製石斧の模造品か	60-2	SX43-501
2	礫石器	敲石	-	安山岩	57.2	40.1	25.0	108.80	-	-	完形	0	0	磨製石斧→	0	0			60-3	SX43-683
3	石製品	不明石製品	-	粘板岩	87.9	46.4	14.6	100.36	-	-	一部欠	0	0	0	0	0			60-4	SX43-1011
4	石器	不定形石器	Ⅲ d	碧玉 A	30.7	30.2	13.5	7.57	-	-	完形	0	0	0	1	0			60-5	SX43-595
5	石器	不定形石器	Ⅲ c	頁岩	50.9	31.4	27.0	60.20	-	-	一部欠	0	0	0	1	0			60-6	SX43-650
6	石製品	石錘	-	凝灰岩	65.1	81.9	52.0	259.61	-	-	完形	0	0	0	1	0			60-7	SX43-149
7	石製品	石錘	-	凝灰岩	76.0	53.2	42.5	128.07	-	-	完形	0	0	凹石→磨石→	1	0			60-8	SX43-590

第32図　SX43集石遺構　出土石器（3）

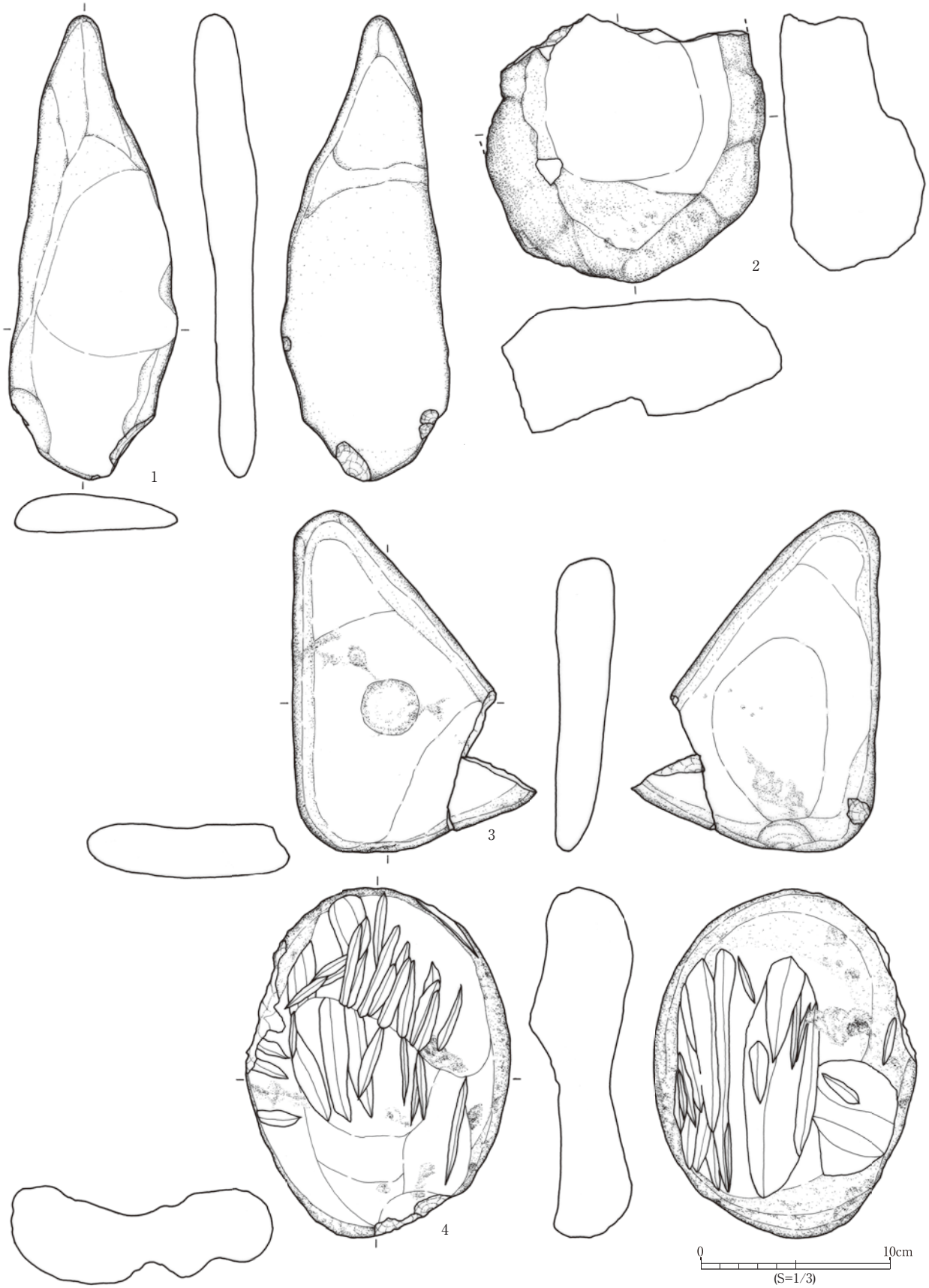
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1a	礫石器	石皿	-	安山岩	40.0	40.7	42.2	61.95	円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0	174+250+523		60-9	SX43-174
1b	礫石器	石皿	-	安山岩	57.0	67.6	40.0	130.47	円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			60-9	SX43-250
1c	礫石器	石皿	-	安山岩	43.5	57.2	47.1	110.48	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			60-9	SX43-523
2	礫石器	石皿	-	安山岩	101.2	77.2	72.1	879.00	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			60-10	SX43-201
3	礫石器	石皿	-	安山岩	93.0	49.1	32.0	195.11	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			60-11	SX43-533
4	礫石器	石皿	-	安山岩	97.8	84.8	36.7	435.01	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			60-12	SX43-381
5	礫石器	石皿	-	安山岩	116.2	89.9	41.1	582.78	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			60-13	SX43-91
6a	礫石器	石皿	-	安山岩	103.4	57.0	16.1	91.48	円礫	-	破片	0	0	0	1	0	151+153		61-1	SX43-151
6b	礫石器	石皿	-	安山岩	106.5	58.5	16.0	35.49	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-1	SX43-153
7	礫石器	石皿	-	砂岩	75.0	59.1	34.0	275.70	亜角礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-2	SX43-131
8a	礫石器	石皿	-	凝灰岩	52.9	86.1	23.1	112.04	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0	247+593+1004	凹痕あり	61-3	SX43-247
8b	礫石器	石皿	-	凝灰岩	74.5	61.4	20.7	77.86	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0		凹痕あり	61-3	SX43-593
8c	礫石器	石皿	-	凝灰岩	51.9	44.0	19.5	34.96	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-3	SX43-1004

第33図　SX43集石遺構　出土石器（4）



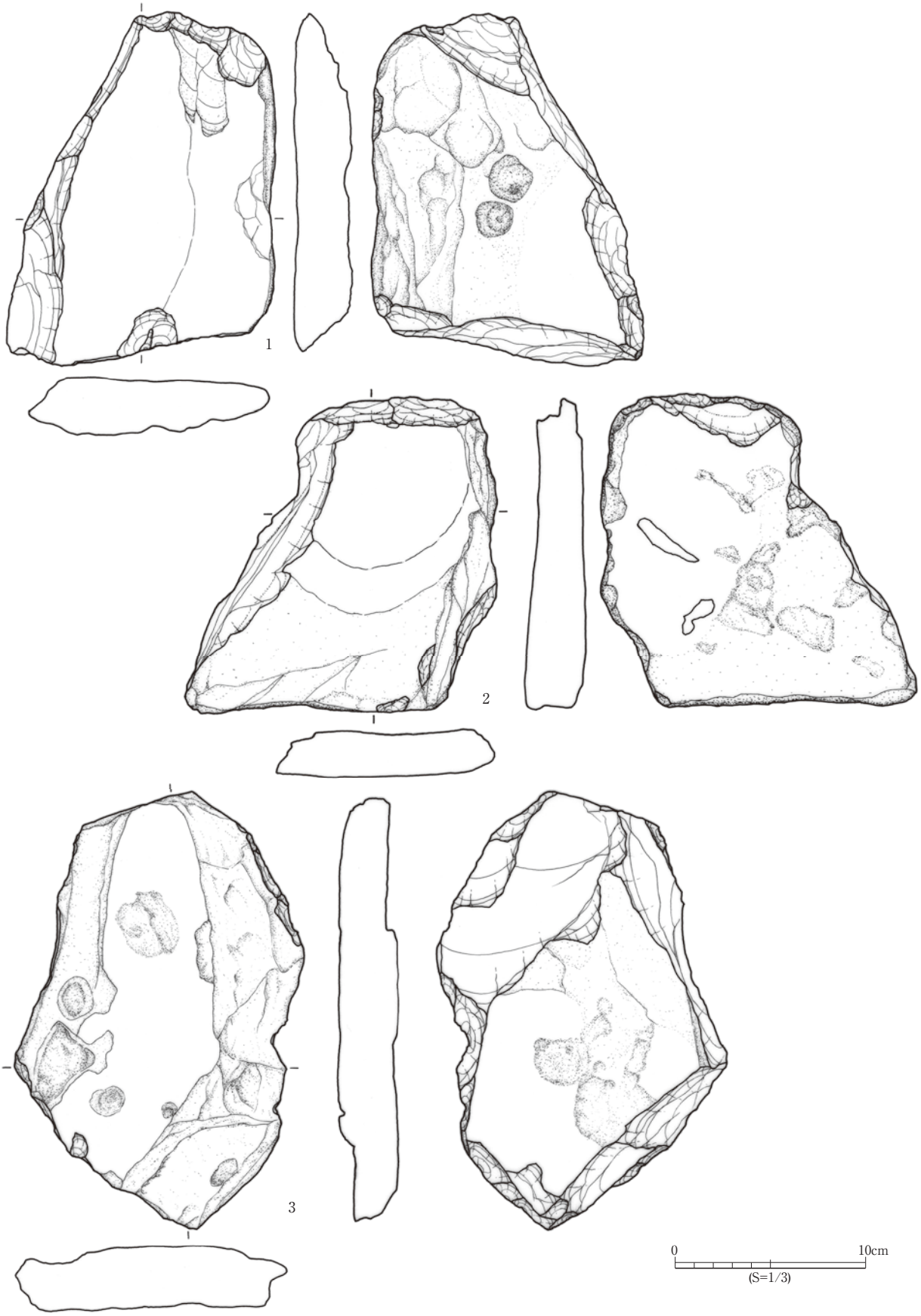
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	-	安山岩	121.5	109.6	75.8	1,522.00	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-4	SX43-173
2	礫石器	石皿	-	安山岩	161.0	110.9	74.5	1,425.00	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-5	SX43-120
3	礫石器	石皿	-	安山岩	136.9	84.8	113.9	2,160.00	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-6	SX43-124
4	礫石器	石皿	-	安山岩	213.0	84.1	40.8	892.00	円礫	-	破片	0	0	0	1	0			61-7	SX43-32

第34図　SX43集石遺構　出土石器（5）



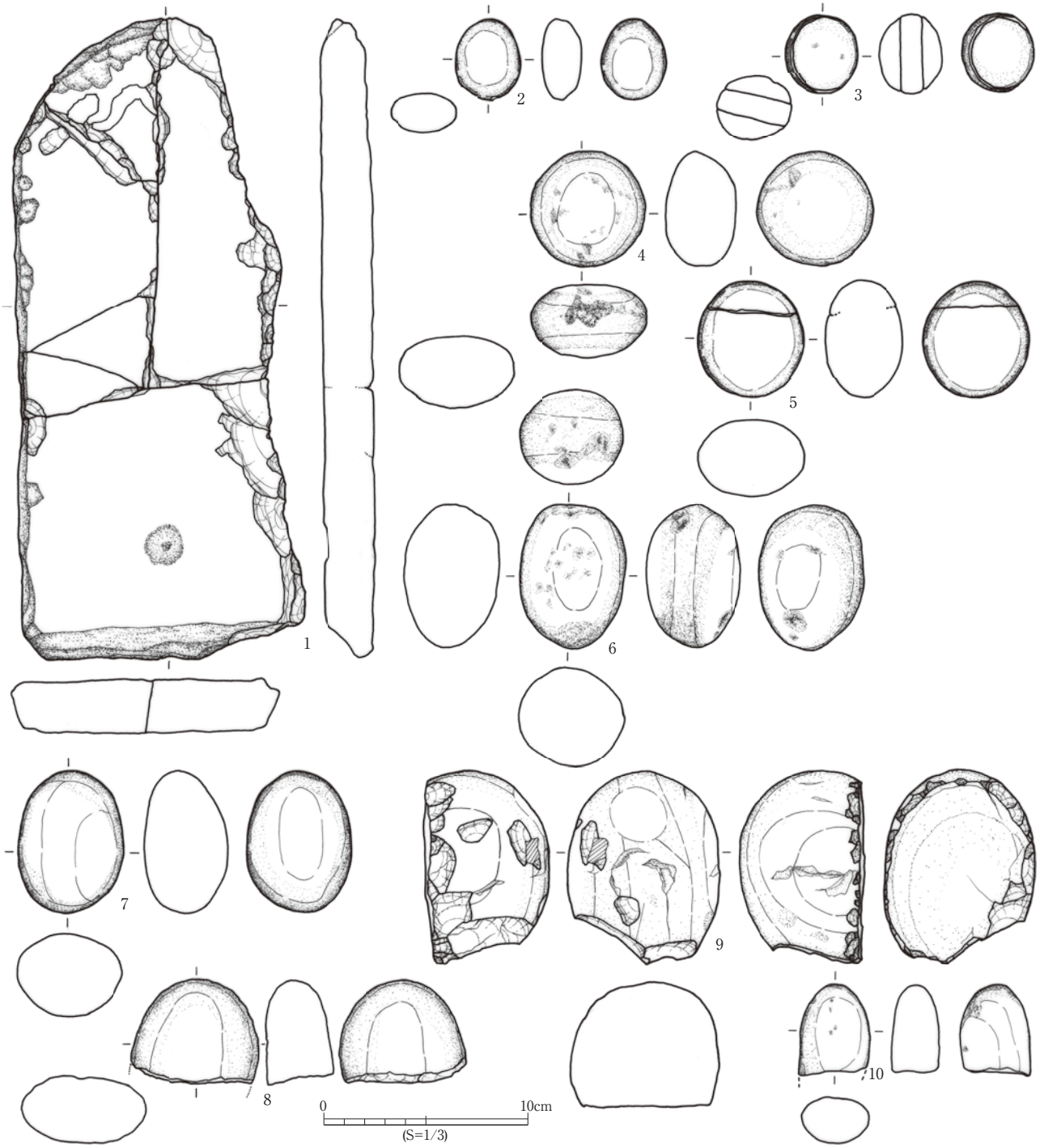
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	-	安山岩	244.0	87.2	28.2	709.00	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			61-8	SX43-60
2	礫石器	石皿	-	凝灰質泥岩	142.2	145.6	70.3	1,858.00	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			62-1	SX43-54
3a	礫石器	石皿	-	安山岩	182.0	111.4	30.7	853.00	超円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0	272+1346		62-2	SX43-272
3b	礫石器	石皿	-	安山岩	40.2	44.7	20.1	35.96	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			62-2	SX43-1346
4	礫石器	石皿	-	安山岩質凝灰岩	184.0	142.8	63.9	1,308.00	超円礫	-	完形	0	0	砥石→	1	0			62-3	SX43-139

第35図　SX43集石遺構　出土石器（6）



No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	-	片岩	177.0	136.7	30.7	777.00	亜円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0		凹痕あり	62-4	SX43-239
2	礫石器	石皿	-	粘板岩	164.0	144.0	31.5	1,146.00	亜円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			63-1	SX43-48
3	礫石器	石皿	-	粘板岩	229.0	142.0	31.0	1,282.00	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			63-5	SX43-715

第36図　SX43集石遺構　出土石器（7）

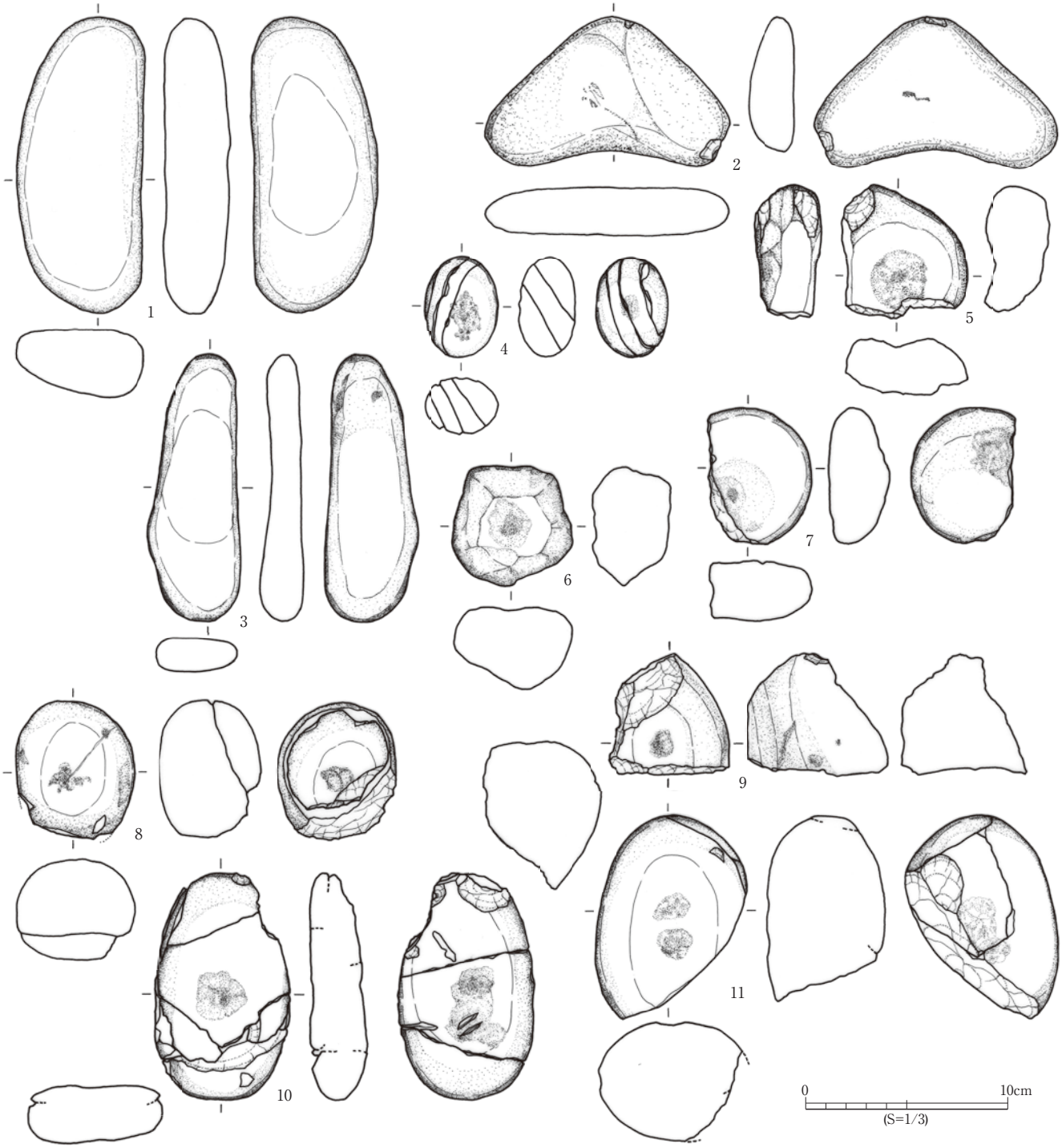


No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1a	礫石器	石皿	-	粘板岩	136.5	138.2	25.5	790.00	亜円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0	111+116+117+426 +431+432+S3526		63-6	SX43-111
1b	礫石器	石皿	-	粘板岩	180.0	69.6	24.6	497.54	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-6	SX43-116
1c	礫石器	石皿	-	粘板岩	192.0	64.4	25.1	439.02	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-6	SX43-117
1d	礫石器	石皿	-	粘板岩	31.2	57.3	3.2	7.32	亜円礫	-	破片	0	0	0	0	0			63-6	SX43-426
1e	礫石器	石皿	-	粘板岩	78.8	54.8	22.6	81.76	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-6	SX43-431
1f	礫石器	石皿	-	粘板岩	46.2	58.8	9.8	29.82	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-6	SX43-432
1g	礫石器	石皿	-	粘板岩	46.0	58.9	9.1	36.77	亜円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-6	S3526
2	礫石器	磨石	-	凝灰岩	39.3	31.6	19.4	22.44	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			63-2	SX43-1398
3a	礫石器	磨石	-	凝灰岩	38.1	34.6	10.6	16.97	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0	68+577+1402		63-3	SX43-68
3b	礫石器	磨石	-	凝灰岩	35.4	31.5	9.7	8.24	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-3	SX43-577
3c	礫石器	磨石	-	凝灰岩	35.9	32.4	11.5	10.17	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			63-3	SX43-1402
4	礫石器	磨石	-	安山岩	57.2	57.2	36.1	176.74	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			63-4	SX43-291
5a	礫石器	磨石	-	安山岩	12.6	42.2	29.4	18.23	超円礫	-	破片	1	0	0	1	0	1151+S3332		63-7	SX43-1151
5b	礫石器	磨石	-	安山岩	44.7	52.0	37.5	136.68	超円礫	-	欠	0	0	0	1	0			63-7	S3332
6	礫石器	磨石	-	玄武岩	71.0	51.9	47.2	130.73	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			63-8	SX43-659
7	礫石器	磨石	-	安山岩	70.8	52.5	41.2	225.07	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			63-9	SX43-246
8	礫石器	磨石	-	安山岩	53.0	63.4	32.9	154.07	超円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			63-10	SX43-271
9	礫石器	磨石	-	凝灰岩	94.7	73.0	66.0	665.00	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			63-11	SX43-34
10	礫石器	磨石	-	凝灰岩	45.2	35.0	23.2	43.56	超円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			63-12	SX43-730

第37図　SX43集石遺構　出土石器（8）

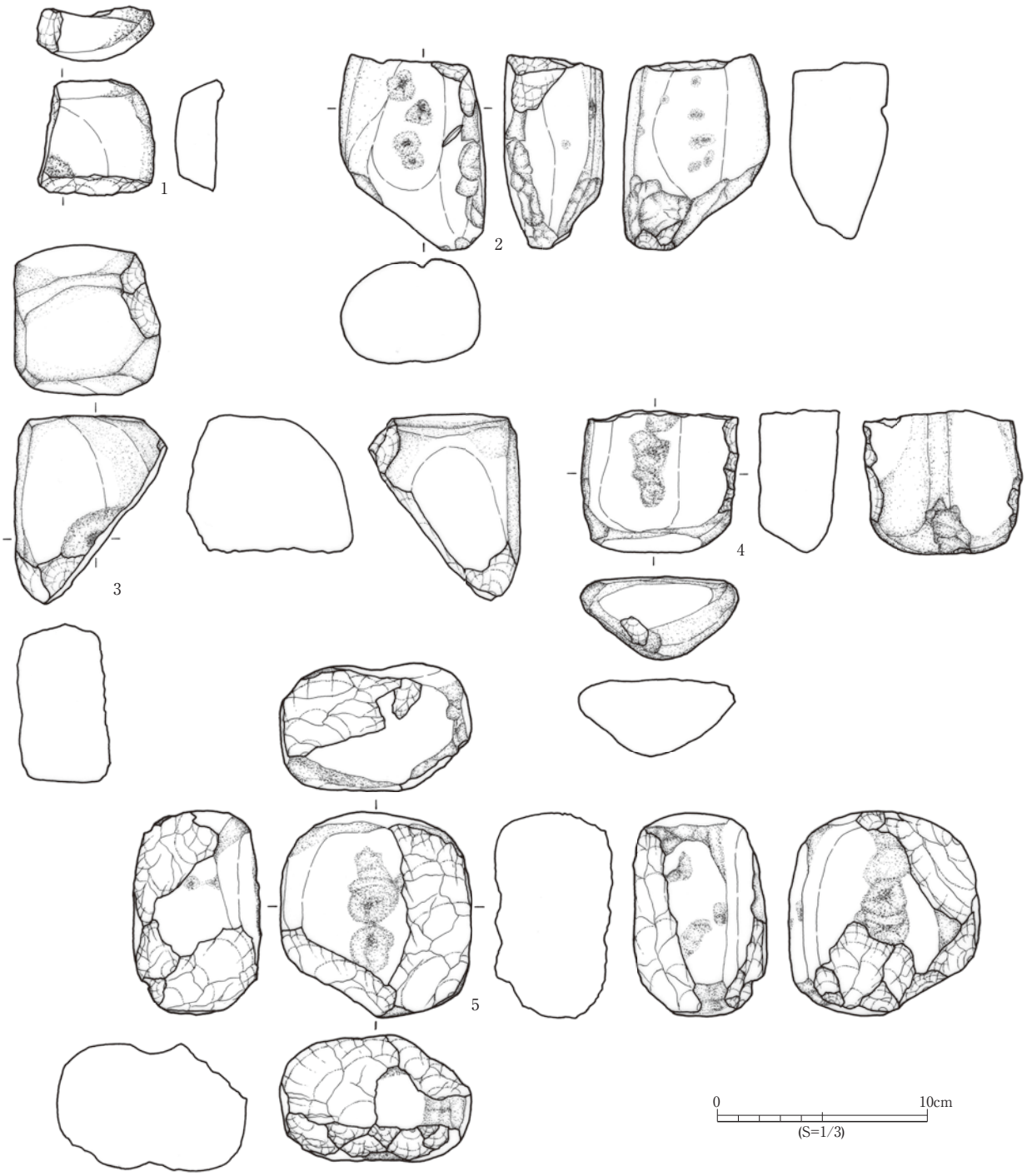
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	-	安山岩	65.8	73.8	61.8	345.01	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			64-1	SX43-207
2a	礫石器	磨石	-	凝灰岩	93.2	47.8	38.4	225.24	超円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0	1017+1403		64-4	SX43-1017
2b	礫石器	磨石	-	凝灰岩	29.0	33.8	9.7	9.25	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			64-4	SX43-1403
3	礫石器	磨石	-	安山岩	70.2	55.2	46.7	289.54	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			64-2	SX43-59
4	礫石器	磨石	-	安山岩	67.9	56.2	11.7	62.87	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-3	SX43-369
5	礫石器	磨石	-	軽石	60.9	48.7	30.4	29.97	円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-5	SX43-379
6	礫石器	磨石	-	軽石	76.5	50.5	44.0	65.97	円礫	-	完形	0	0	0	0	0			64-6	SX43-531
7	礫石器	磨石	-	安山岩	88.7	55.0	35.6	226.37	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-7	SX43-324
8	礫石器	磨石	-	安山岩	83.0	43.5	25.0	119.78	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-8	SX43-155
9	礫石器	磨石	-	安山岩	109.0	65.0	38.5	425.35	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-9	SX43-206
10	礫石器	磨石	-	安山岩	119.5	83.2	33.4	435.40	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			64-10	SX43-43

第38図　SX43集石遺構　出土石器（9）



No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	-	安山岩	147.3	62.5	29.0	479.14	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-11	SX43-763
2	礫石器	磨石	-	安山岩	65.0	119.3	24.4	278.96	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-12	SX43-425
3	礫石器	磨石	-	安山岩	132.3	45.6	21.5	184.02	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			64-13	SX43-641
4a	礫石器	磨石	-	凝灰岩	47.5	29.5	16.9	13.43	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0	719+1150+1155+1404		64-14	SX43-719
4b	礫石器	磨石	-	凝灰岩	47.9	30.9	8.0	9.48	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	0	0			64-14	SX43-1150
4c	礫石器	磨石	-	凝灰岩	34.6	21.9	7.0	2.68	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-14	SX43-1155
4d	礫石器	磨石	-	凝灰岩	44.7	28.7	9.4	8.24	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-14	SX43-1404
5	礫石器	磨石	-	安山岩	66.0	60.0	33.6	136.31	亜円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			64-15	SX43-85
6	礫石器	磨石	-	デイサイト	59.0	60.7	42.0	168.31	円礫	-	完形	0	0	凹石→	1	0			64-16	SX43-446
7	礫石器	磨石	-	玄武岩質安山岩	67.4	51.5	30.0	101.40	超円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			64-17	SX43-687
8a	礫石器	磨石	-	安山岩	72.2	59.1	41.0	200.22	超円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0	386+607		64-18	SX43-386
8b	礫石器	磨石	-	安山岩	52.7	43.9	15.0	36.93	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			64-18	SX43-607
9	礫石器	磨石	-	ホルンフェルス	58.2	57.2	71.7	213.41	超円礫	-	破片	0	0	0	1	0			64-19	SX43-552
10a	礫石器	磨石	-	凝灰岩	42.6	63.0	13.1	23.77	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0	53+449+526+562+569+1169+1277+S13772		64-20	SX43-53
10b	礫石器	磨石	-	凝灰岩	55.5	66.2	22.3	52.64	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-449
10c	礫石器	磨石	-	凝灰岩	32.0	61.0	26.5	31.49	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-526
10d	礫石器	磨石	-	凝灰岩	60.9	64.4	9.3	25.09	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-562
10e	礫石器	磨石	-	凝灰岩	32.6	44.9	8.5	8.58	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-569
10f	礫石器	磨石	-	凝灰岩	41.9	18.7	7.3	3.03	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-1169
10g	礫石器	磨石	-	凝灰岩	21.8	19.4	8.3	2.18	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	SX43-1277
10h	礫石器	磨石	-	凝灰岩	38.7	32.9	8.6	3.05	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	1	0			64-20	S13772
11	礫石器	磨石	-	安山岩	104.0	70.1	58.9	517.48	超円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			64-21	SX43-119

第39図　SX43集石遺構　出土石器（10）

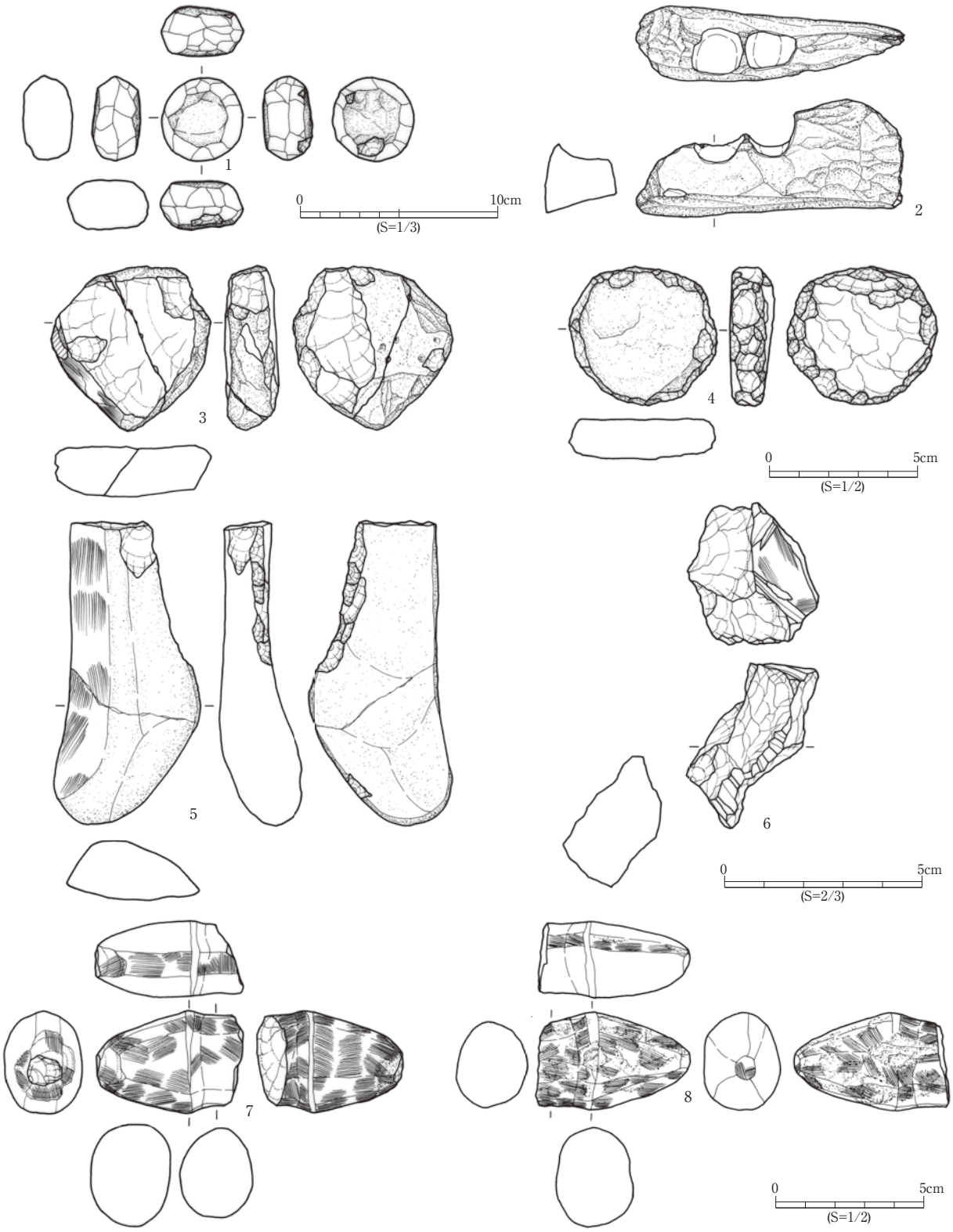


No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	-	安山岩質凝灰岩	54.0	56.8	23.4	95.22	超円礫	-	破片	0	0	凹石→	0	0			65-1	SX43-666
2	礫石器	磨石	-	安山岩	91.0	70.4	46.6	464.97	円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			65-2	SX43-74
3	礫石器	磨石	-	デイサイト	100.0	70.1	74.9	603.00	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			65-3	SX43-754
4	礫石器	磨石	-	安山岩	67.0	73.7	38.0	300.03	超円礫	-	一部欠	0	0	敲石→	1	0			65-4	SX43-330
5	礫石器	磨石	-	安山岩	96.8	90.8	59.0	759.00	超円礫	-	一部欠	0	0	凹石→	1	0			65-7	SX43-429

第40図　SX43集石遺構　出土石器（11）

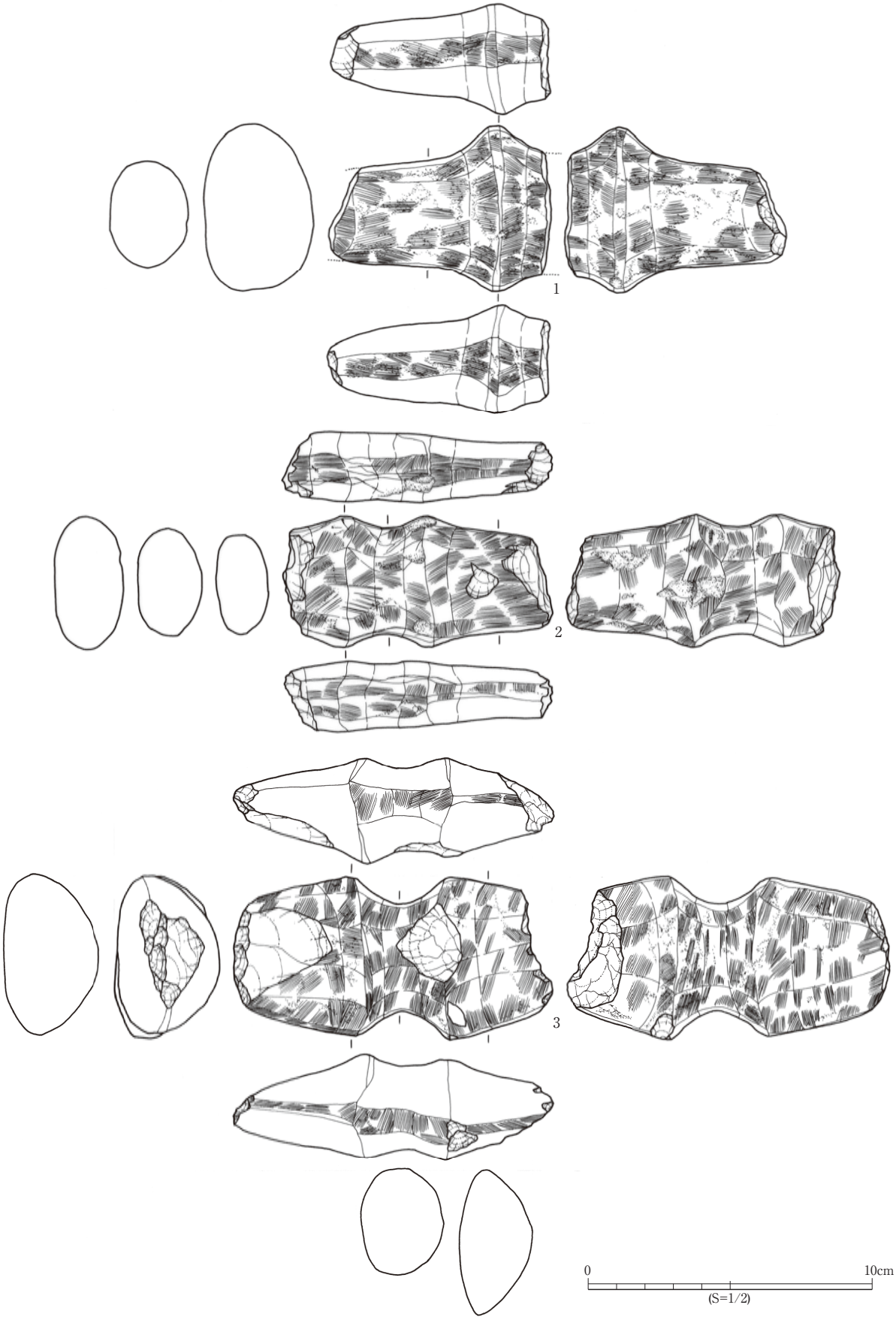
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	凹石	-	安山岩	69.5	66.2	34.3	117.95	超円礫	-	完形	0	0	0	1	0			65-5	SX43-760
2	礫石器	凹石	-	安山岩	106.7	79.0	38.0	432.15	円礫	-	破片	0	0	石皿→	1	0			65-8	SX43-127
3	礫石器	凹石	-	安山岩	83.0	63.9	61.5	353.87	超円礫	-	破片	0	0	磨石→	1	0			65-6	SX43-457
4a	礫石器	凹石	-	ホルンフェルス	116.0	89.3	41.1	473.62	亜角礫	-	一部欠	0	0	石皿→	1	0	265+341		65-9	SX43-265
4b	礫石器	凹石	-	ホルンフェルス	55.0	84.1	35.7	180.35	亜角礫	-	破片	0	0	0	1	0			65-9	SX43-341
5	礫石器	凹石	-	安山岩	95.5	41.4	48.4	158.46	亜円礫	-	破片	0	0	石皿→	1	0			65-10	SX43-105
6	礫石器	砥石	-	砂岩	49.1	39.2	17.0	40.53	円礫	-	一部欠	0	0	0	1	0			65-11	SX43-366
7	礫石器	凹石	-	デイサイト	101.7	102.3	69.2	776.00	円礫	-	一部欠	0	0	石皿→	1	0			65-13	SX43-132

第41図　SX43集石遺構　出土石器（12）



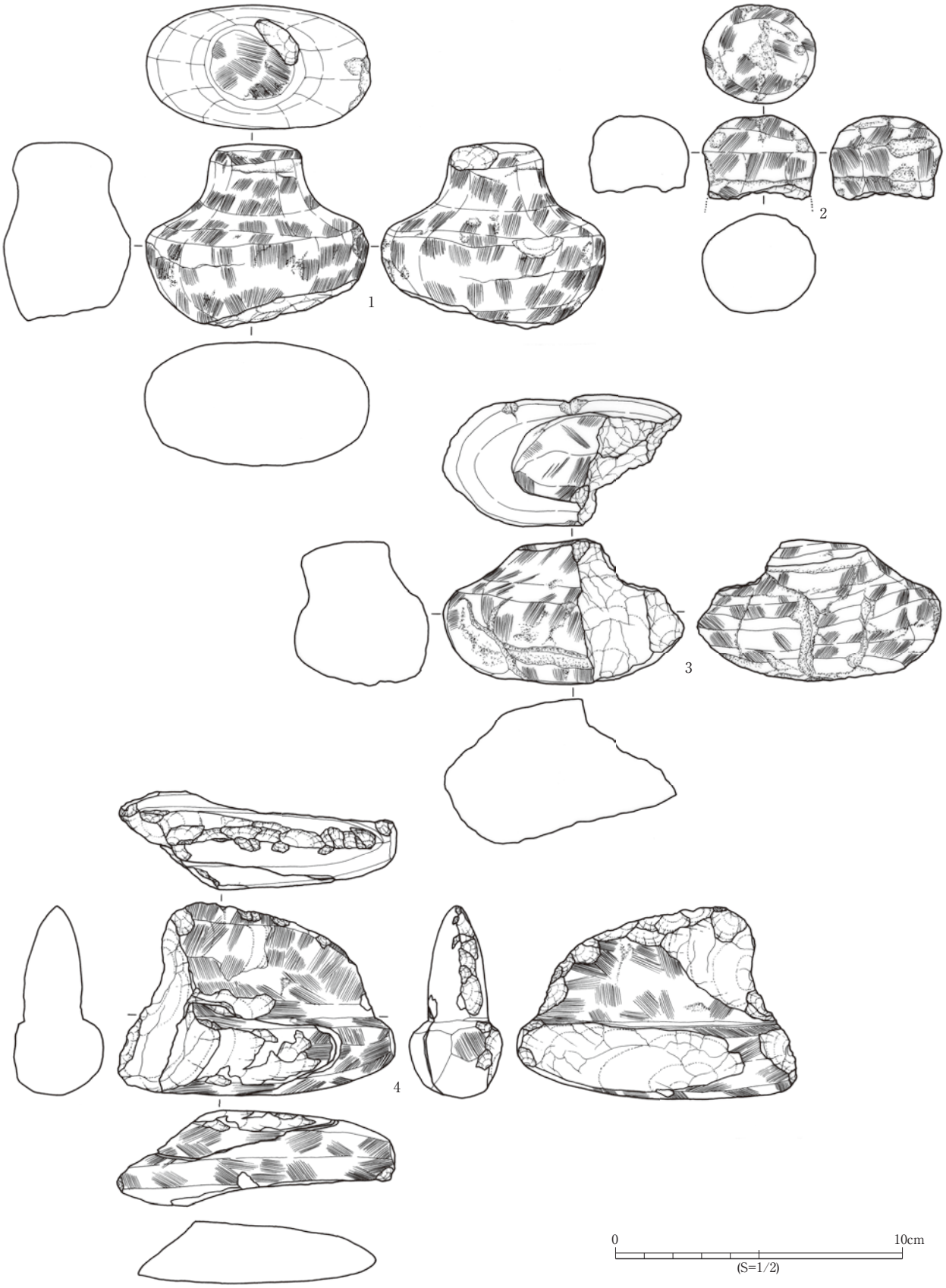
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	-	花崗岩	41.7	40.8	24.8	63.38	-	-	完形	0	0	0	1	0			65-12	SX43-700
2	礫石器	砥石	-	ホルンフェルス	133.9	54.6	36.1	197.44	亜角礫	-	完形	0	0	0	1	0			65-14	SX43-335
3a	石製品	円盤状石製品	Ⅰc	凝灰岩	49.4	39.8	15.5	30.70	-	-	一部欠	0	0	0	1	0	166+358		65-15	SX43-166
3b	石製品	円盤状石製品	Ⅰc	凝灰岩	50.4	25.0	17.9	26.53	-	-	破片	0	0	0	1	0			65-15	SX43-358
4	石製品	円盤状石製品	Ⅰa	凝灰岩	45.7	49.5	14.2	46.06	-	-	完形	0	0	0	1	0			65-16	SX43-325
5	石製品	不明石製品	-	安山岩	75.5	33.0	14.5	49.84	-	-	一部欠	0	0	0	1	0			66-10	SX43-596
6	石製品	線刻礫	-	凝灰岩	44.0	32.8	32.1	21.18	-	-	破片	0	0	0	1	0			66-11	SX43-221
7	石製品	独鈷石	-	安山岩	34.0	50.0	26.5	58.91	-	-	一部欠	0	0	0	0	0			66-1	SX43-642
8	石製品	独鈷石	-	粘板岩	32.5	52.2	24.8	50.84	-	-	一部欠	0	0	0	0	0			66-2	SX43-739

第42図　SX43集石遺構　出土石器（13）・石製品（1）



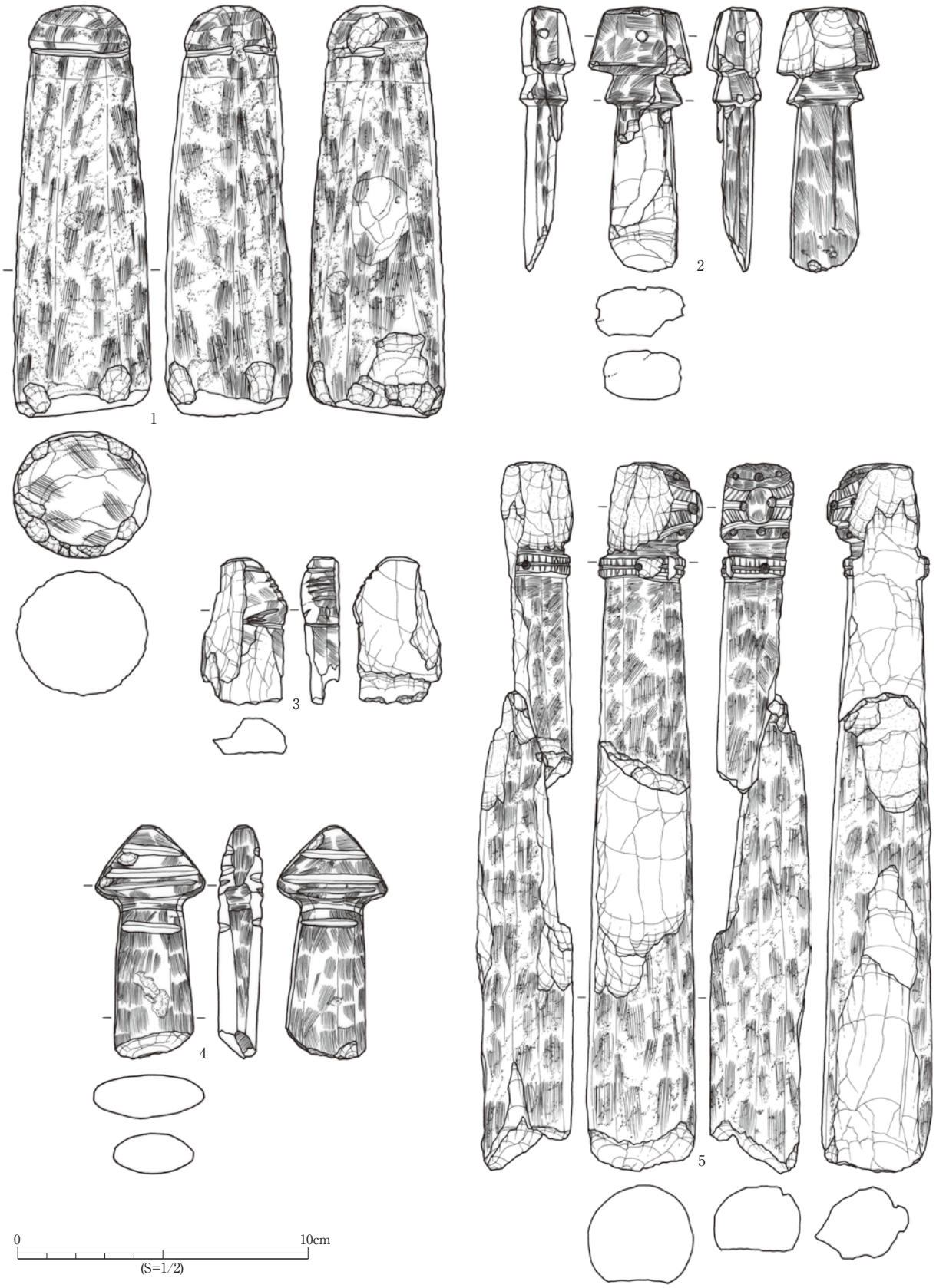
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	独鈷石	-	安山岩	57.8	76.2	37.5	192.98	-	-	破片	0	0	0	0	0			66-3	SX43-202
2	石製品	独鈷石	-	粘板岩	95.7	46.5	24.5	126.38	-	-	一部欠	0	0	0	0	0			66-4	SX43-144
3	石製品	独鈷石	-	安山岩	111.1	56.6	36.3	265.72	-	-	一部欠	0	0	0	0	0			66-5	SX43-79

第43図　SX43集石遺構　出土石製品（2）



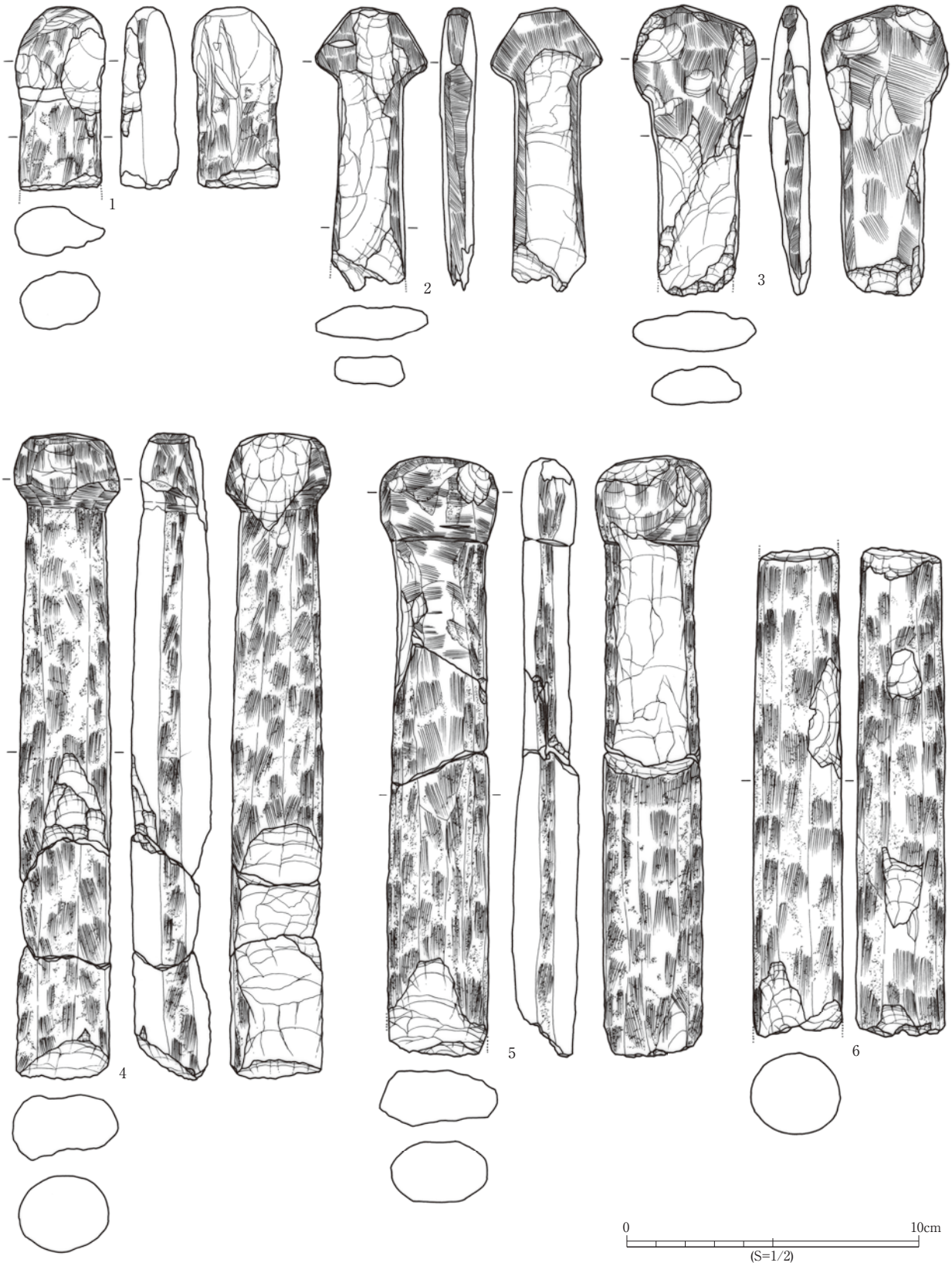
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	石冠	-	安山岩	63.7	76.6	42.5	254.06	-	-	一部欠	0	0	0	1	0			66-6	SX43-108
2	石製品	石冠	-	粘板岩	27.9	38.3	33.6	47.19	-	-	頭部	0	0	0	0	0			66-8	SX43-1147
3	石製品	石冠	-	安山岩	84.2	50.1	46.5	199.11	-	-	一部欠	0	0	0	1	0			66-7	SX43-86
4a	石製品	石冠	-	泥岩	65.3	95.2	20.9	146.11	-	-	一部欠	0	0	0	0	0	337+639		66-9	SX43-337
4b	石製品	石冠	-	泥岩	32.9	61.9	12.7	17.02	-	-	破片	0	0	0	0	0			66-9	SX43-639

第44図　SX43集石遺構　出土石製品（3）



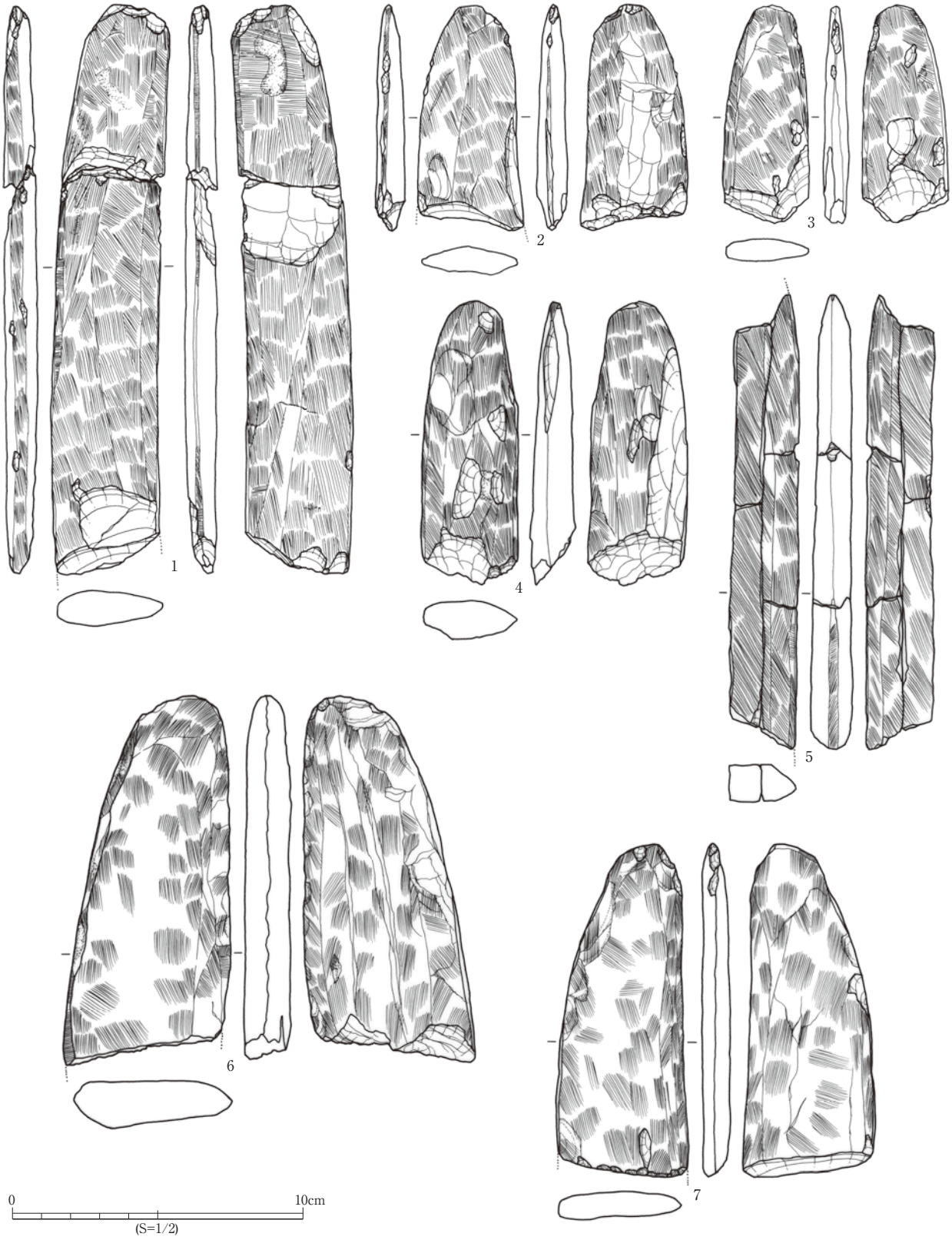
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	石棒	-	凝灰岩	140.0	45.9	42.9	342.40	-	0	完形	0	0	0	0	0			67-1	SX43-288
2a	石製品	石刀	-	粘板岩	45.5	27.6	11.9	12.36	-	1	破片	0	0	0	0	0	1122+ S3342		67-2	SX43-1122
2b	石製品	石刀	-	粘板岩	90.1	33.9	14.7	38.41	-	1	破片	0	0	0	0	0			67-2	S3342
3	石製品	石刀	-	粘板岩	49.5	28.5	12.2	19.28	-	1	頭部	0	0	0	0	0			67-4	SX43-499
4	石製品	石刀	-	粘板岩	79.2	37.3	14.9	49.86	-	0	頭部	0	0	0	0	0			67-3	SX43-1007
5a	石製品	石棒	-	粘板岩	166.0	35.6	32.1	289.55	-	1	一部欠	0	0	0	0	0	179+236		67-8	SX43-179
5b	石製品	石棒	-	粘板岩	112.3	33.6	23.3	104.40	-	1	一部欠	0	0	0	0	0		大洞 C2 ～ A 古の文様に類似	67-8	SX43-236

第45図　SX43集石遺構　出土石製品（4）



No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	石棒	-	粘板岩	62.0	30.2	19.4	38.08	-	2	頭部	0	0	0	0	0			67-5	SX43-1008
2	石製品	石棒	-	粘板岩	96.1	38.5	12.0	44.39	-	0	基部欠	0	0	0	0	0			67-6	SX43-698
3	石製品	石刀	未成品か	粘板岩	99.4	41.8	13.0	53.20	-	0	一部欠	0	0	0	0	0			67-7	SX43-130
4a	石製品	石棒	-	粘板岩	155.0	35.4	25.6	192.67	-	2	一部欠	0	0	0	0	0	57+285 +502		67-9	SX43-57
4b	石製品	石棒	-	粘板岩	46.1	30.8	16.8	25.57	-	2	破片	0	0	0	0	0			67-9	SX43-285
4c	石製品	石棒	-	粘板岩	48.9	31.1	20.4	40.01	-	2	破片	0	0	0	0	0			67-9	SX43-502
5a	石製品	石棒	-	粘板岩	105.5	39.9	18.3	96.93	-	0	一部欠	0	0	0	0	0	106+660 +1149		67-10	SX43-106
5b	石製品	石棒	-	粘板岩	105.5	33.7	22.3	135.47	-	0	破片	0	0	0	0	0			67-10	SX43-660
5c	石製品	石棒	-	粘板岩	50.5	32.2	11.3	18.59	-	0	破片	0	0	0	0	0			67-10	SX43-1149
6	石製品	石棒	-	粘板岩	167.4	30.3	27.3	217.80	-	2	一部欠	0	0	0	0	0			68-1	SX43-249

第46図　SX43集石遺構　出土石製品（5）

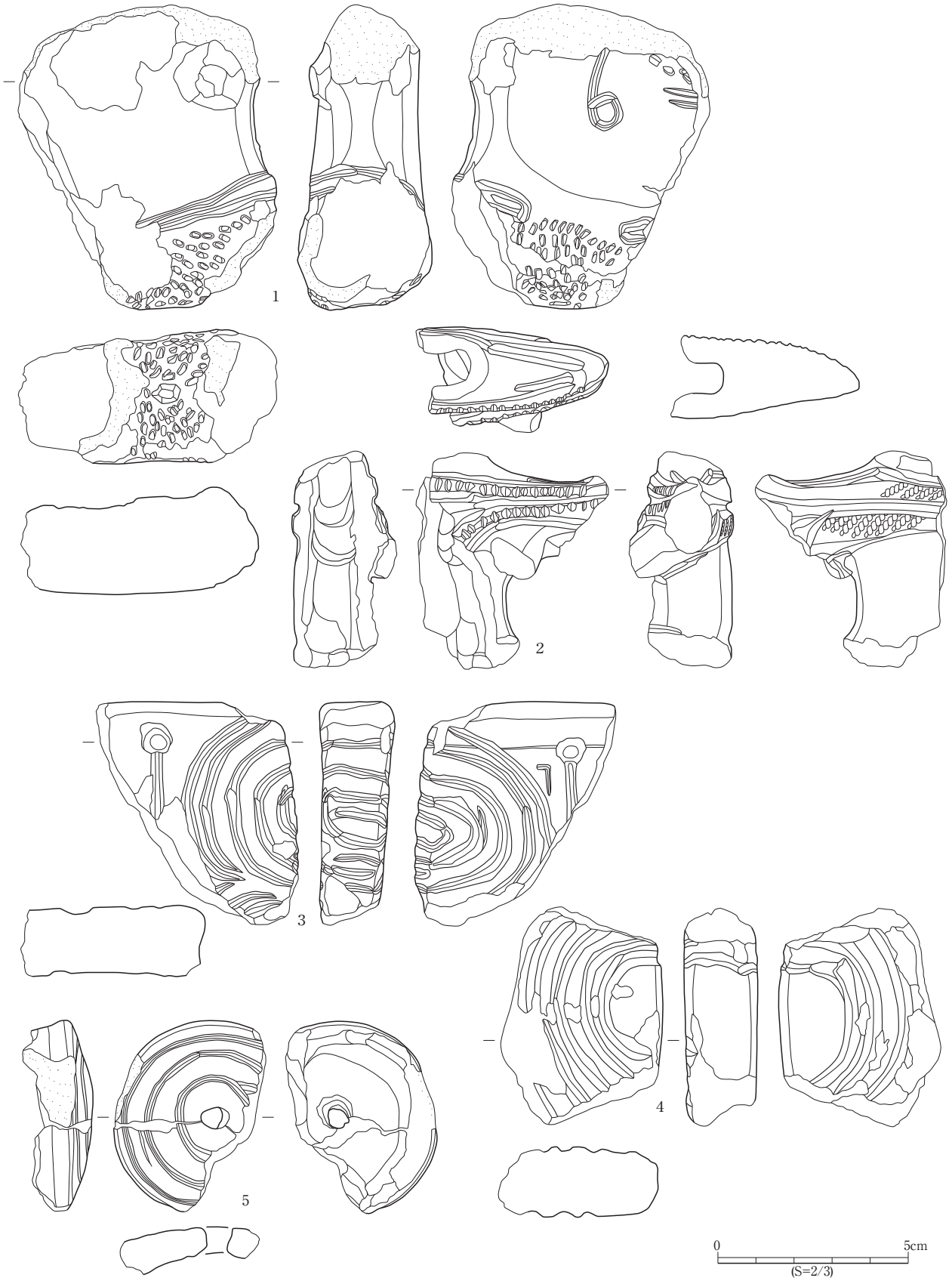


No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度区分	風化度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1a	石製品	石刀	-	粘板岩	63.9	32.3	9.2	28.99	-	0	基部	0	0	0	0	0	570+729		68-2	SX43-570
1b	石製品	石刀	-	粘板岩	140.6	37.8	11.0	90.90	-	0	一部欠	0	0	0	0	0			68-2	SX43-729
2	石製品	石刀	-	粘板岩	78.8	36.2	10.0	35.52	-	0	先端部	0	0	0	0	0			68-3	SX43-638
3	石製品	石刀	-	粘板岩	74.7	29.2	8.5	24.39	-	0	破片	0	0	0	0	0			68-4	SX43-438
4	石製品	石刀	-	粘板岩	98.0	33.0	15.0	55.68	-	2	破片	0	0	0	0	0			68-6	SX43-563
5a	石製品	石刀	-	粘板岩	52.1	14.0	13.1	12.93	-	1	破片	0	0	0	0	0	454+1299+S3346 +S13741+S13771		68-5	SX43-454
5b	石製品	石刀	-	粘板岩	54.9	12.6	11.2	8.81	-	1	破片	0	0	0	0	0			68-5	SX43-1299
5c	石製品	石刀	-	粘板岩	62.3	12.6	11.9	16.20	-	1	破片	0	0	0	0	0			68-5	S3346
5d	石製品	石刀	-	粘板岩	55.1	13.9	12.2	12.16	-	1	破片	0	0	0	0	0			68-5	S13741
5e	石製品	石刀	-	粘板岩	79.4	10.9	13.6	22.65	-	1	破片	0	0	0	0	0			68-5	S13771
6	石製品	石刀	-	粘板岩	126.7	54.5	15.5	163.05	-	0	一部欠	0	0	0	0	0			68-7	SX43-329
7	石製品	石刀	-	粘板岩	114.4	45.0	10.0	59.67	-	1	破片	0	0	0	0	0		摩滅	68-8	SX43-762

第47図　SX43集石遺構　出土石製品（6）

No.	種別	器　種	重量 (g)	摩耗度	残存	特　徴	備考	写真図版	登録
1	土器	深鉢	49.46	2	突起	沈線文。内面沈線文		69-1	SX43-1501
2	土器	深鉢	16.89	2	口縁部	渦巻状隆線文		69-2	SX43-390
3	土器	鉢	11.67	0	体部	隆帯の左右に渦巻状沈線文		69-3	SX43-1510
4	土器	深鉢	10.10	1	突起	二個一対の小突起＋弧状沈線文		69-4	SX43-1505
5	土器	鉢	6.74	0	口頸部	平縁＋ヘラ刻目（羊歯状）。羊歯状文		69-6	SX43-1507
6	土器	鉢	7.07	1	口縁～体部上半	波状縁。列点文、平行沈線文。縄文 LR。外面赤色顔料付着		69-5	SX43-1503
7	土器	鉢	22.07	1	体部下半	雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR		69-7	SX43-695
8	土器	注口土器	10.78	1	体部上半～下半	平行沈線文、波状浮線文＋ヘラ刻目、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR		69-8	SX43-1502
9	土器	注口土器	18.27	2	体部上半～下半	沈線文、二個一対の貼瘤、平行沈線文、隆帯＋ヘラ刻目、平行沈線文。縄文 LR		69-9	SX43-1504
10	土器	深鉢	30.18	0	口頸部	波状縁。沈線文、縄文 LR。口縁部内面沈線		69-10	SX43-302
11	土器	深鉢	17.56	0	口縁～体部上半	波状縁。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線		69-11	SX43-2
12	土器	浅鉢	8.27	0	口縁～体部上半	平縁。変形工字文＋刺突、平行沈線文。口縁部内面沈線		69-12	SX43-1506
13	土器	鉢	29.51	1	口縁部	平縁＋押圧＋口唇部沈線。π字文、沈線文。縄文 LR。炭化物付着。口縁部内面沈線		69-13	SX43-224
14	土器	台部	5.86	0	破片	平行沈線文、π字文＋二個一対の貼瘤		69-15	SX43-474
15	土器	鉢	8.10	0	口縁部	平縁＋二個一対の山形突起。沈線文。突起・口縁部内面沈線		69-17	SX43-685
16	土器	浅鉢	30.71	1	口縁部	平縁		69-16	SX43-478
17	土器	袖珍土器浅鉢	11.22	1	口縁～体部下半	口径（3.9mm）。平縁		69-18	SX43-547
18	土器	深鉢	310.43	0	体部下半～底部	底径 4.2mm。縄文 LR。底部木葉痕。内面炭化物付着		69-14	SX43-175
19	土器	四脚付鉢	11.81	1	体部下半～底部	底径（2.7mm）。沈線文。底部十字状沈線文。内面アスファルト状黒色物質付着		69-21	SX43-1509
20	土器	四脚付鉢か	19.91	2	底～脚部	平行沈線文。底部十字状平行沈線文＋隆帯		69-19	SX43-541
21	土器	脚部	22.80	1	破片	沈線文。端部肥厚		69-22	SX43-620
22	土器	注口土器	15.71	2	注口部	先端肥厚。浮線文		69-20	SX43-1508
23	土器	注口土器	9.67	1	注口部	先端肥厚。沈線文		69-23	SX43-407
24	土器	注口土器	28.04	2	注口部			69-24	SX43-742
25	土製品	土偶	37.38	2	左腕	残存長 53.3mm、残存幅 39.3mm、最大厚 23.4mm。中実。（表）平行沈線文。（背）円文。（内）接合孔		69-25	SX43-461
26	土製品	土偶	24.66	2	足部	残存長 30.2mm、残存幅 20.9mm、最大厚 19.3mm。中実。（表）環状沈線文、平行沈線文、櫛歯状刻目。（裏）平行沈線文。（端）刺突		69-26	SX43-626

第48図　SX43集石遺構　出土土器・土製品（1）



No.	種別	器　種	重量 (g)	摩耗度	残存	特　徴	備考	写真図版	登録
1	土製品	土偶	163.63	2	胴部	残存長 55.2mm、残存幅 50.7mm、最大厚 25.9mm。中実。（表）貼瘤、平行沈線文、刺突列。（背）平行沈線文、環状沈線文、刺突列、盲孔。（下）刺突列、盲孔		69-27	SX43-1
2	土製品	土偶	34.42	1	上半身（左）	残存長 79.5mm、残存幅 63.6mm、最大厚 31.9mm。中空。(表）隆帯 + ヘラ刻目、沈線文、貼瘤。（背）隆帯 + 縄文 LR、沈線文。（内）接合孔		69-29	SX43-686
3	土製品	土版	59.29	2	破片	残存長 56.9mm、残存幅 48.3mm、最大厚 19.5mm。盲孔 + 縦位の沈線文（正中線）、弧状の平行沈線文（2 段）		69-28	SX43-743
4	土製品	土版	51.33	2	破片	残存長 56.5mm、残存幅 41.8mm、最大厚 18.7mm。弧状の平行沈線文		69-30	SX43-1552
5	土製品	有孔土製品	21.18	2	破片	残存長 51.2mm、残存幅 36.4mm、最大厚 15.7mm。同心円文 + 貫通孔		69-31	SX43-500

第49図　SX43集石遺構　出土土製品（2）

石棒類の石材となる良質の粘板岩や赤碧玉（碧玉B1・２類）が多く出土しているのが特徴的である。また、形状が石製品に類似したり、表面の凹凸の起伏が大きいなど、珍しい形状・色調をもつ自然石（奇石）も一定量集積されている。また、土器・土製品もすべて破片であるが100点近く出土する。多くが縄文時代晩期の土器であるが、わずかに後期の土器などが見られる。

石材は、自然石や礫石器が主体となるため、安山岩や凝灰岩が多く見られる（第７表）。また、石棒類が多いため粘板岩も多い。なお、粘板岩は剥片や石器石材でもその割合が大きい。剥片石器の素材となる石材は、本遺跡で最も多く見られる珪質頁岩（A類）よりも赤碧玉が多く集積されている点が特徴的である。

【SX50集石遺構】

［位置］D-56区東側（第50・53図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

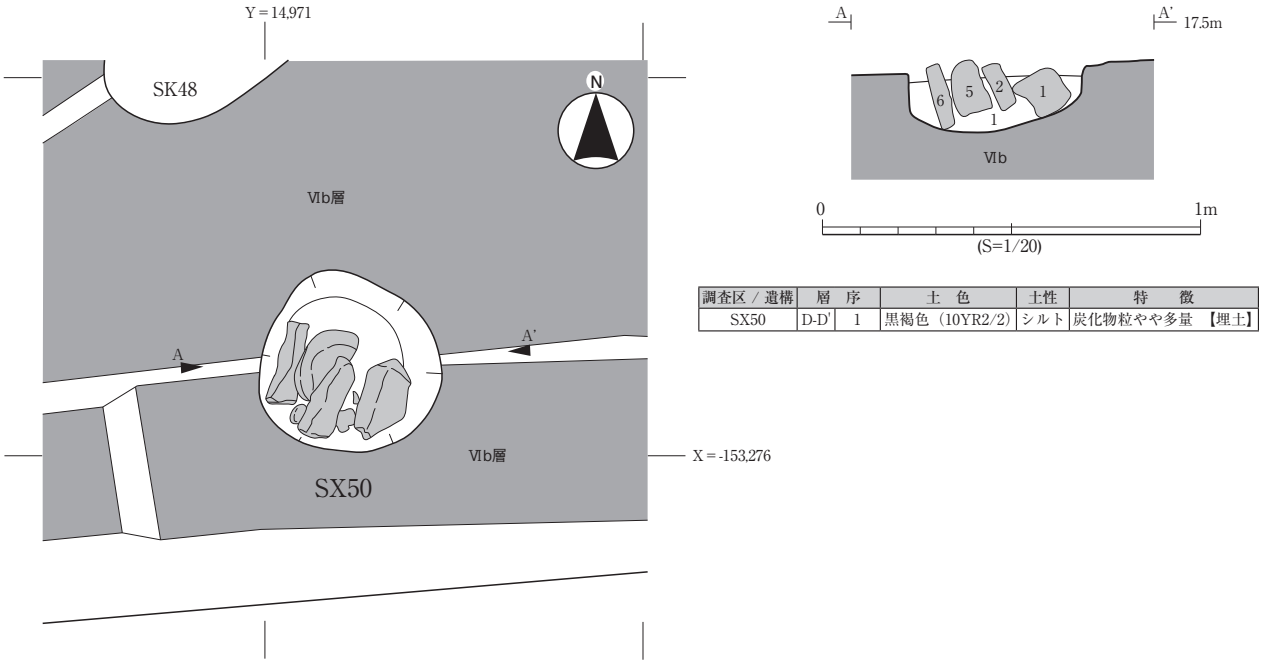
［重複］なし。

［規模・構造］直径0.5mの円形で、残存する深さが0.2mある。土坑状に掘り込まれており、底面は緩やかに窪む。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する。

［埋土］炭化物粒をやや多く含む黒褐色シルトである。

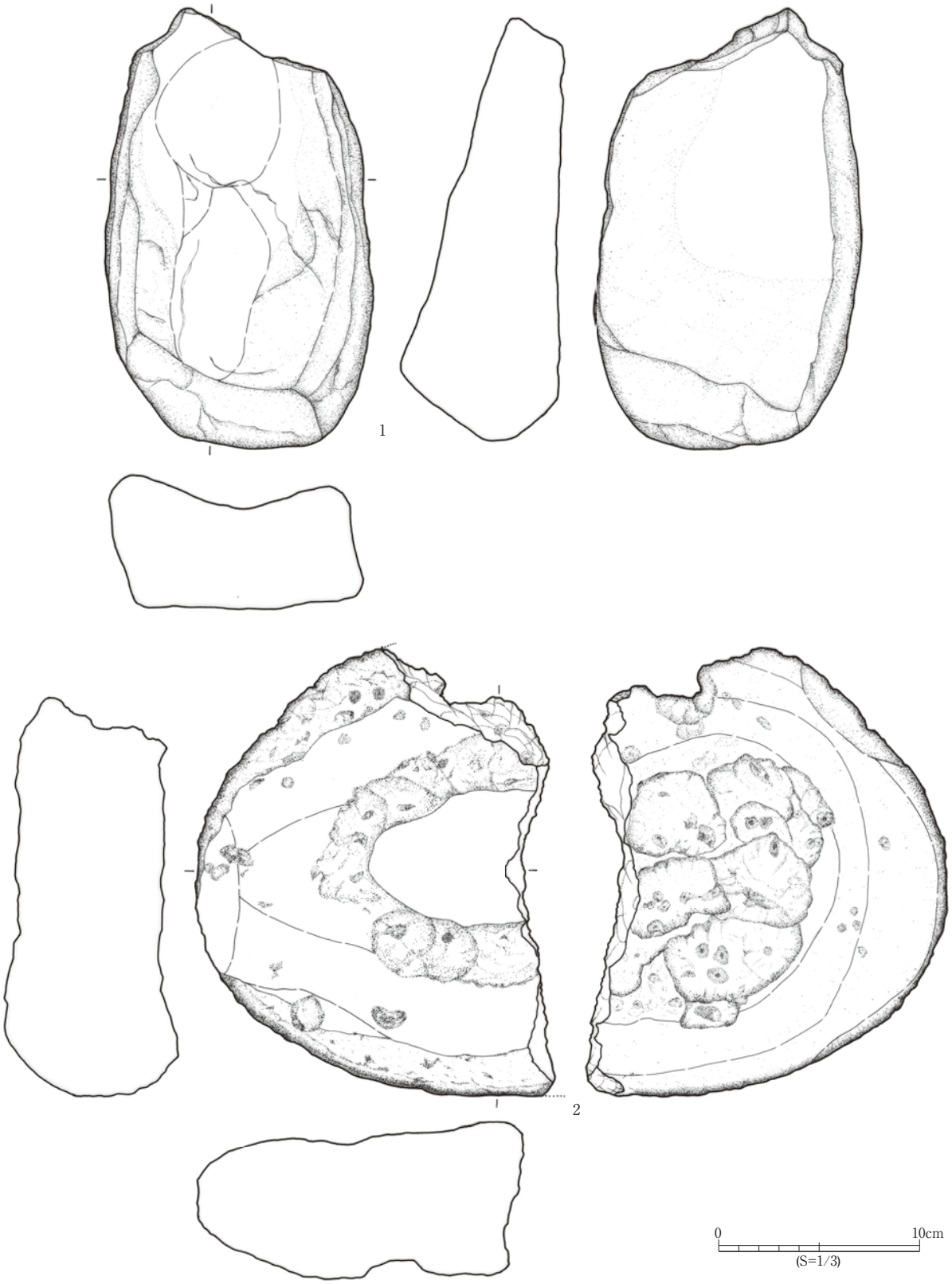
［遺物集積の状況］石皿４点を立てて並べた状態で集積（埋納）されている。

［出土遺物］埋納されているものは石皿４点であるが、うち2点が接合するため３個体分である（第51図、第52図１）。他に埋土から石皿２点、磨石１点（第52図２）、工字文と変形工字文の施された鉢（同図３）や、π字文の施された浅鉢（同図４）、円盤状土製品（同図５）が出土している。



調査区 / 遺構	層	序	土 色	土性	特 徴
SX50	D-D'	1	黒褐色（10YR2/2）	シルト	炭化物粒やや多量 【埋土】

第50図　SX50集石遺構　平面図・断面図



No.	種　別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	安山岩	210.0	130.0	84.0	3180.00	0.7	完形	0	0	0	1	0		71-1	SX50-1
2	礫石器	石皿	安山岩	215.0	161.0	76.0	2510.00	0.8	一部欠	0	0	0	1	0	凹痕あり	70-4	SX50-5

第51図　SX50集石遺構　出土遺物（1）

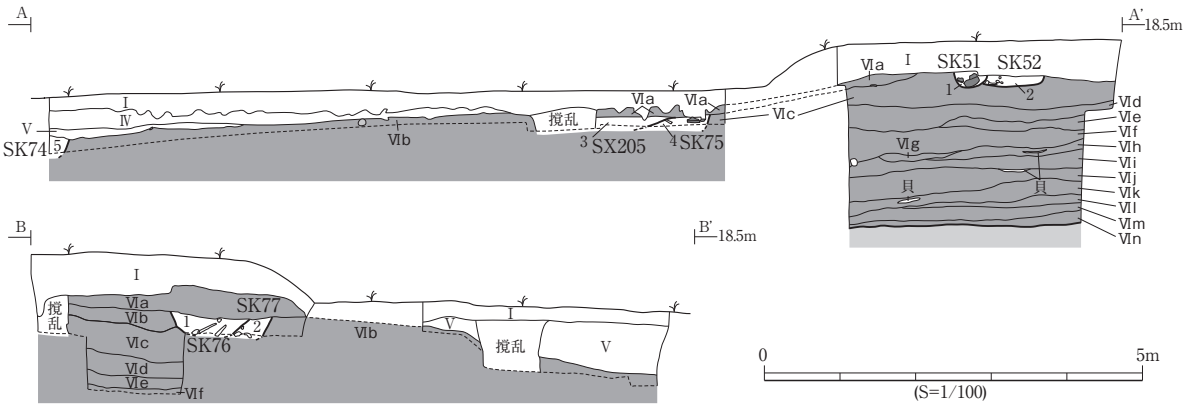
No.	種　別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	凝灰岩	165.0	245.0	48.3	2380.00	0.6	一部欠	0	0	0	1	0	2+3+6	70-5	SX50-2
2	礫石器	磨石	デイサイト	79.6	78.3	43.7	337.70	0.8	一部欠	0	0	凹石→	1	0		71-2	SX50-4

No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
3	鉢	A1c	X + X I	-	D-56 東・SX50 / 埋土	平縁 + 口縁端部沈線。沈線文、工字文 + 刺突列、変形工字文。口縁部内面平行沈線文	71-3	Po820
4	浅鉢	A1c	Ⅸ a	-	D-56 東・SX50 / 埋土	平縁 + 口唇部沈線。π字文、沈線文。縄文 L か	71-4	Po819

No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
5	円盤状土製品	遺構	D-56 東・SX50 / 堆	長さ 28.0mm、幅 27.4mm、厚さ 7.0mm。縄文 LR。剥離→研磨	71-5	CO818

第52図　SX50集石遺構　出土遺物（2）

第53図　D-56・57・74・75区　平面図



調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　　徴
D-57・74 区	A-A' B-B'	Ⅵ a	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	凝灰岩（Ⅹ層）粒・地山（Ⅸ層）粒・粗砂・炭化物粒多量
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・粗砂多量、炭化物粒少量、スクモ多量
		Ⅵ c	黒褐色（2.5Y3/2）	粘土	地山（Ⅸ層）大ブロック・粗砂・炭化物粒多量、スクモやや多量
		Ⅵ d	灰黄褐色（2.5Y4/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック多量、粗砂・炭化物粒やや多量、スクモやや多量
		Ⅵ e	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロックやや多量、粗砂多量、炭化物粒少量、スクモやや多量
		Ⅵ f	黒色（7.5Y2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック・炭化物粒少量、粗砂やや多量、貝少量
		Ⅵ g	黒色（7.5Y2/1）	粘土	地山（Ⅸ層）ブロック・炭化物粒やや多量、貝多量、火山灰？多量
		Ⅵ h	オリーブ黒色（5Y3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・炭化物粒やや多量、粗砂多量、貝少量
		Ⅵ i	黒色（2.5Y2/1）	粘土質シルト	粗砂やや多量、炭化物粒わずか、貝わずか
		Ⅵ j	オリーブ黒色（5Y3/1）	粘土質シルト	粗砂・炭化物粒やや多量、貝少量
		Ⅵ k	黒色（5Y2/1）	粘土質シルト	粗砂やや多量、炭化物粒少量、貝少量
		Ⅵ l	黒色（10YR1.7/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂多量
		Ⅵ m	褐灰色（10YR4/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、粗砂やや多量
		Ⅵ n	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロック多量、粗砂少量
SK51	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量　【埋土】
SK52		2	暗褐色（10YR3/3）	シルト	小礫（Ⅹ層）・地山（Ⅸ層）小ブロック多量　【埋土】
SX205		3	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック多量、スクモ多量、火山灰？ブロック多量　【堆積土】
SK75		4	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	砂少量　【埋土】
SK74		5	黒褐色（10YR2/3）	シルト	砂わずか　【埋土】
SK76	B-B'	1	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック多量　【埋土】
SK77		2	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量　【埋土】

第54図　D-57・74区　断面図

(3) 土坑墓

ヒトを埋葬した土坑墓は、D-56区で６基、D-57区で12基、D-74区で９基の計27基を検出した。保存のため、27基中23基については検出のみにとどめた。また、検出状況を記録した後は地表面に露出した遺物（人骨や土器）を取り上げるのみにとどめ、埋め戻した。なお、SK44は完掘し、SK46・53・60は土壌ごと切り取りを行った。

【SK44土坑墓】

［位置］D-56区東側（第53・55図）

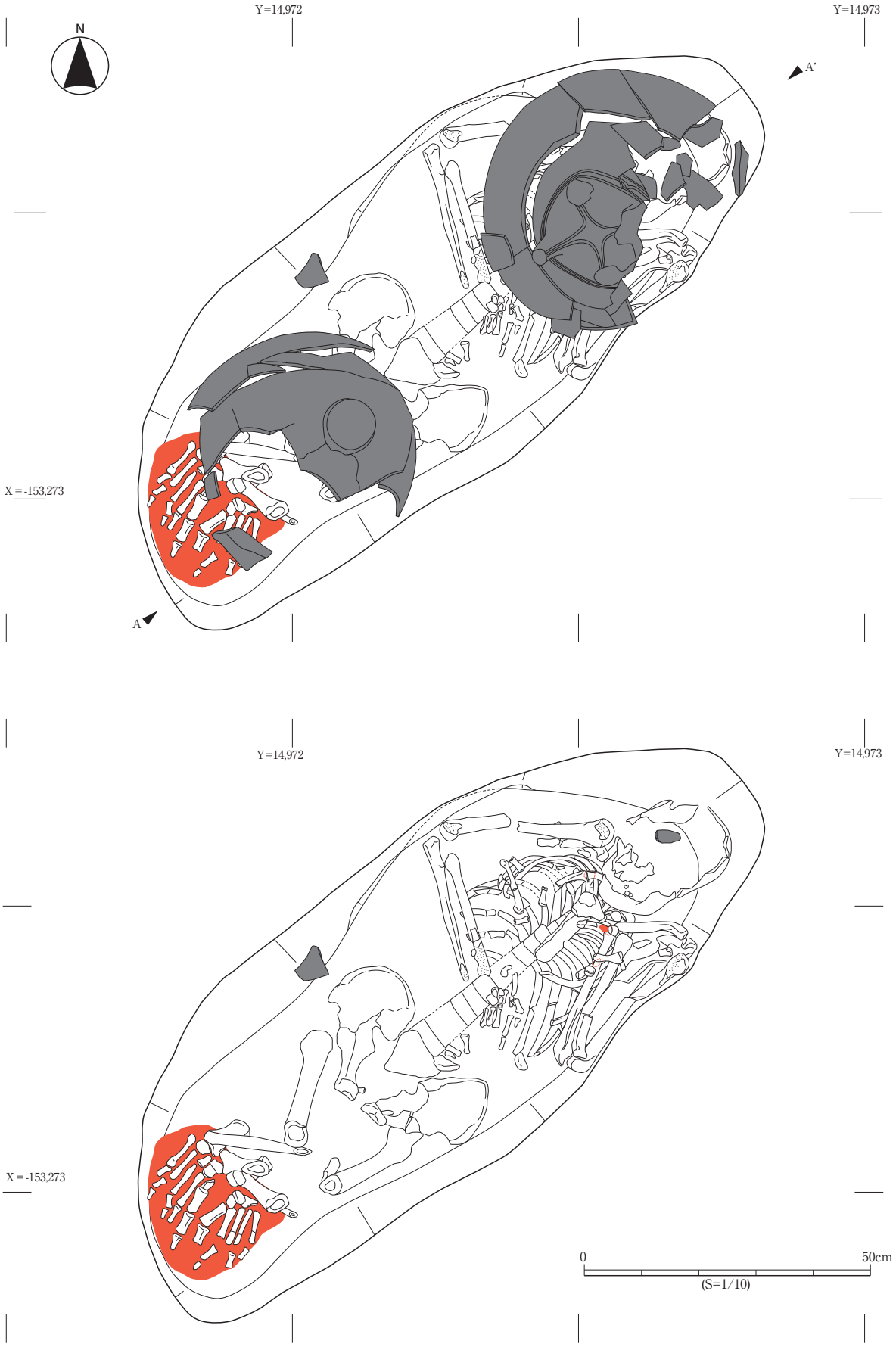
［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

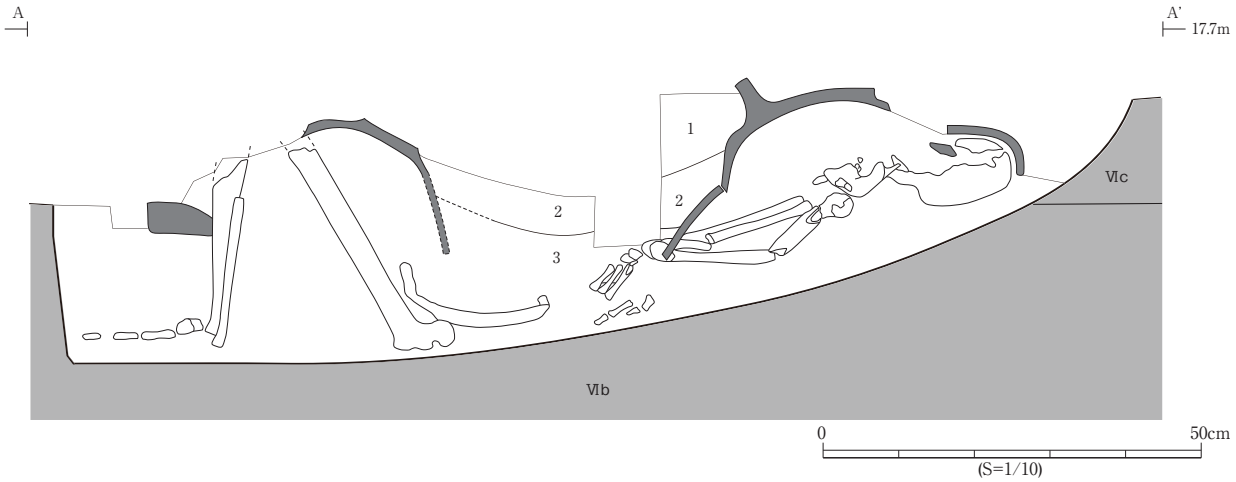
［規模］長径133cm×短径55cmの長楕円形で、残存する深さが32cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、頭部側が緩やかに立ち上がり、脚部側が急に立ち上がる。断面は皿形～逆台形を呈する。

［埋土］３層確認し、下部はⅨ層起源の地山粒を少量含む緑黒色砂質シルト、上部は地山ブロックを多く含む黒色や黒褐色を呈する粘土質シルトである（第56図）。



第55図　SK44土坑墓　平面図（上：検出時　下：埋設土器取り上げ後）



調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
SK44	A-A'	1	黒褐色（10YR2/3）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック多量 【埋土】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロックやや多量 【埋土】
		3	緑黒色（5G2/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）粒少量 【埋土】

第56図　SK44土坑墓　断面図

［埋葬遺体］成年～熟年の男性が１体埋葬されている。頭部は北東に位置し、東で36°北に偏する。体幹骨は北東から南西に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左肢は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲し、右肢は腹部に手を当てるかたちで屈曲している。下肢は左右両肢を揃えて膝を立てるかたちで屈曲する。胸部付近ではわずかに、足先では広範囲に赤色顔料が残存している。なお、埋葬骨の詳細については分析編第１章を参照のこと。

［埋設土器］頭部から胸部にかけて上下対向のπ字文が施された四脚付鉢（第57図１）、脚部にπ字文の施された鉢（第57図２）が伏せた状態で埋設されている（第55・56図）。

［出土遺物］羊歯状の突起をもつ深鉢（第58図１）や、円盤状土製品（同図２）、石錐（同図３）、石皿、磨石、石棒、剥片などが出土している。

【SK46土坑墓】

［位置］D-56区東側（第53・59図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

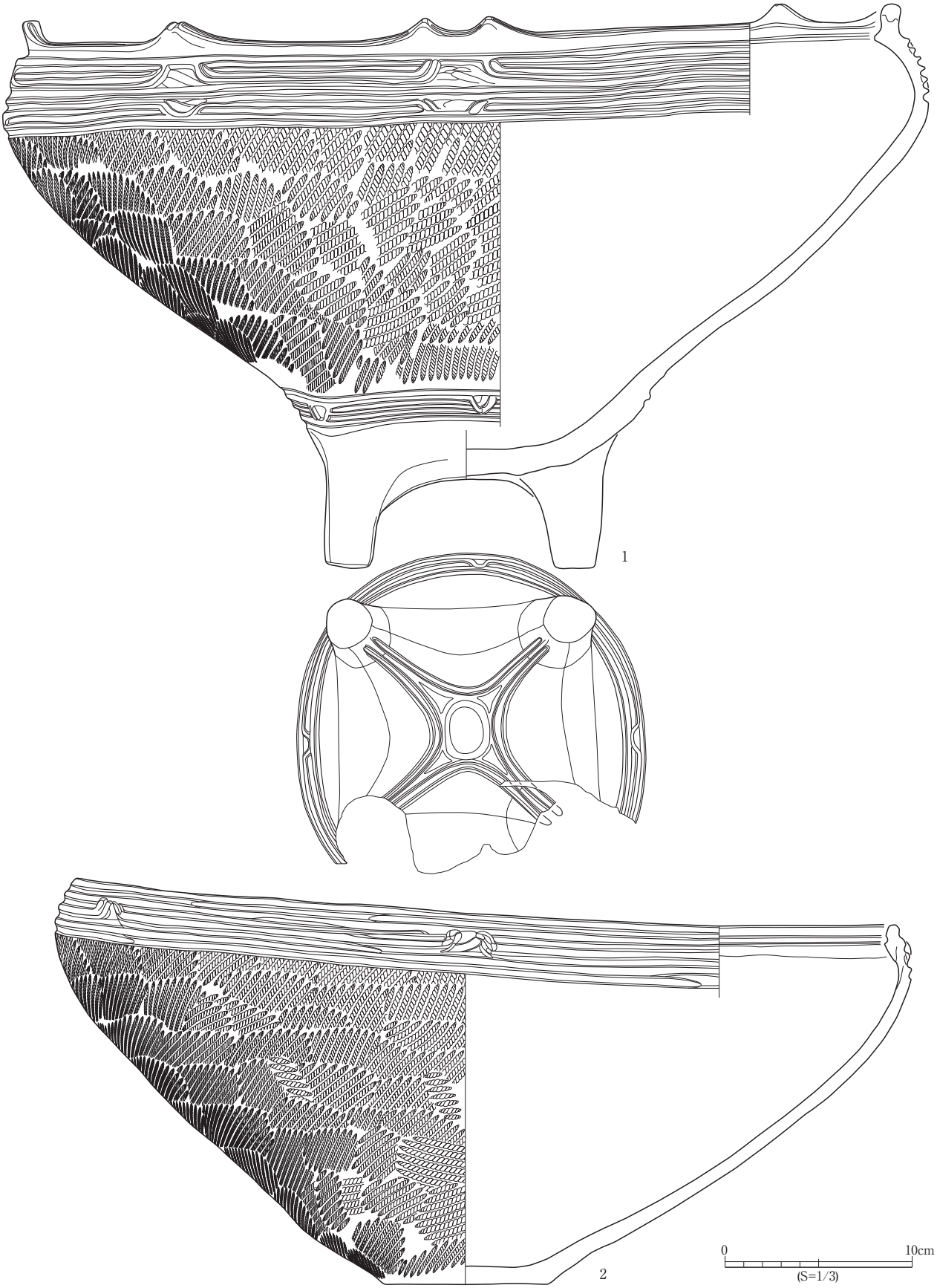
［重複］なし。

［規模］長径75cm×短径66cmの円形で、残存する深さが25cmある。

［壁・底面］底面は緩やかにくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は皿形である。

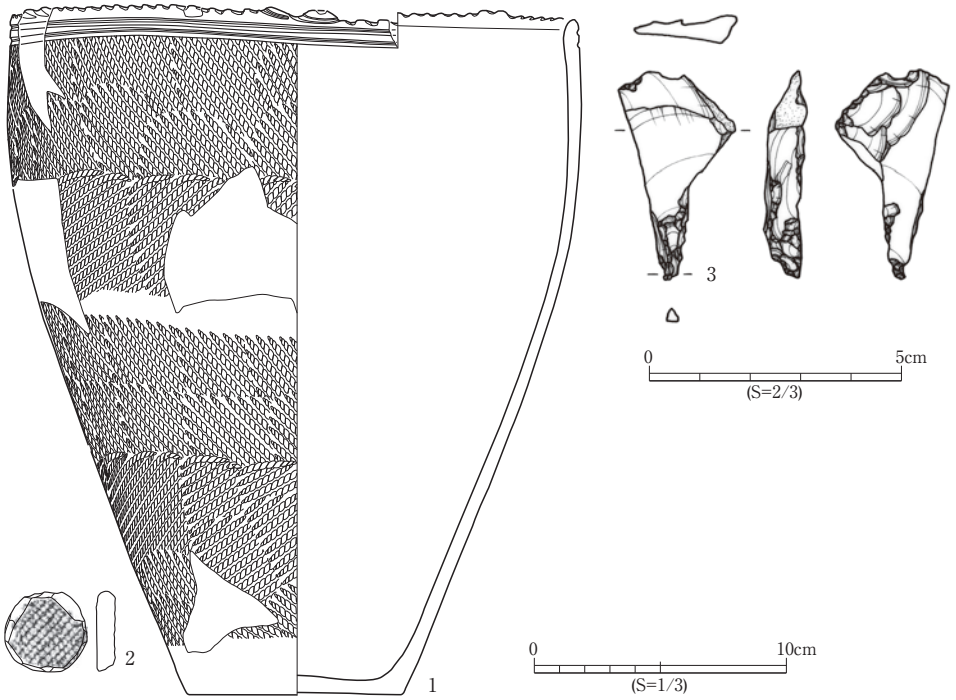
［埋土］４層確認し、下部はⅨ層起源の地山ブロックを多く含む黒青色や暗青灰色を呈する粘土質シルト、上部は地山ブロックをやや多く含む黒色やにぶい黄褐色を呈する粘土質シルトである（第59図）。

［埋葬遺体］未成人が１体埋葬されている。土坑の北側に埋葬され、頭部は東に位置し、東で24°北に偏する。体幹骨は東から西に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左右両肢は胸部の前で交差させるかたちで強く屈曲している。下肢は左右両肢を揃えて膝を立てるかたちで体幹の右側に強く屈曲する。上肢の右肢の手首付近に赤色顔料が残存している。埋葬骨の詳細については分析編第１章を参照のこと。



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	四脚付鉢	B1ce	Ⅸ a	D-56 東・SK44 / 埋設土器	口径 44.0cm、器高 28.5cm、底径 19.0cm。平縁 + 二個一対の山形突起 4 単位 + 山形突起（頂部刻み）4 単位 + 突起間沈線 + 口唇部沈線。π 字文（上下対向）8 単位。底部付近に π 字文（逆さ表現）8 単位。底部に隣り合う脚部を結ぶ弧状沈線文。縄文 LR。外面赤彩	72-1	Po807
2	鉢	A1	Ⅸ a	D-56 東・SK44 / 埋設土器	口径 42.1cm、器高 20.8cm、底径 8.3cm。平縁。π 字文 6 単位、沈線文。底部ミガキ。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面赤彩	72-2	Po808

第57図　SK44土坑墓　埋設土器



No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A2f	XⅡx	D-56 東・SK44 ／ 埋土・D-56 東／Ⅵc+Ⅵb・c+Ⅵb	口径 22.3cm、器高 27.3cm、底径 8.6cm。波状縁＋二個一対の突起（羊歯状）。平行沈線文。底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	73-1	Po772

No.	器　種	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
2	円盤状土製品	D-56 東・SK44／埋土	長さ 31.4mm、幅 31.5mm、厚さ 7.4mm。縄文 LR。剥離→研磨	73-2	CO809

No.	器種	類型	区・遺構／層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
3	石錐	Ⅲ	D-56 東・SK44／2	珪質頁岩 B	41.1	22.9	7.3	5.21	完形	0	1	0	1	0		73-3	S3763

第58図　SK44土坑墓　出土遺物

［埋設土器］なし。

［出土遺物］雲形文の施された皿（第60図３）や、π字文の施された深鉢（同図４）、円盤状土製品（同図５・６）、不定形石器、独鈷石（同図７）、剥片などが出土している。独鈷石はほぼ完形品であり、土坑の南東側に位置し埋葬遺体からやや離れているが、副葬品の可能性が考えられる。

【SK47土坑墓】

［位置］D-56区東側（第53・61図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模］長径128cm×短径67cmの長楕円形で、残存する深さが26cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦と推定され、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

［埋土］１層確認し、Ｘ層起源の小礫や軽石を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第62図）。

［埋葬遺体］遺構確認のみに止めたため、埋葬骨は確認できなかった。埋設土器が北東に位置していることから、頭部が北東に位置すると推定される。土坑の長軸は東で41°北に偏する。

［埋設土器］上下対向のπ字文が施され、方形突起に円盤状飾りの付く四脚付鉢（第63図１）が伏せた状態で埋設されている。

調査区 / 遺構	層	序	土 色	土 性	特 徴
SK46	A-A'	1	にぶい黄褐色（10YR5/4）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・砂粒やや多量、炭化物粒少量
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・砂粒やや多量、炭化物粒少量
		3	暗青灰色（5BG4/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・砂粒多量、炭化物粒少量
		4	黒青色（5BG2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック・砂粒やや多量、炭化物粒少量

第59図　SK46土坑墓　平面図・断面図

［出土遺物］縄文土器が出土している。

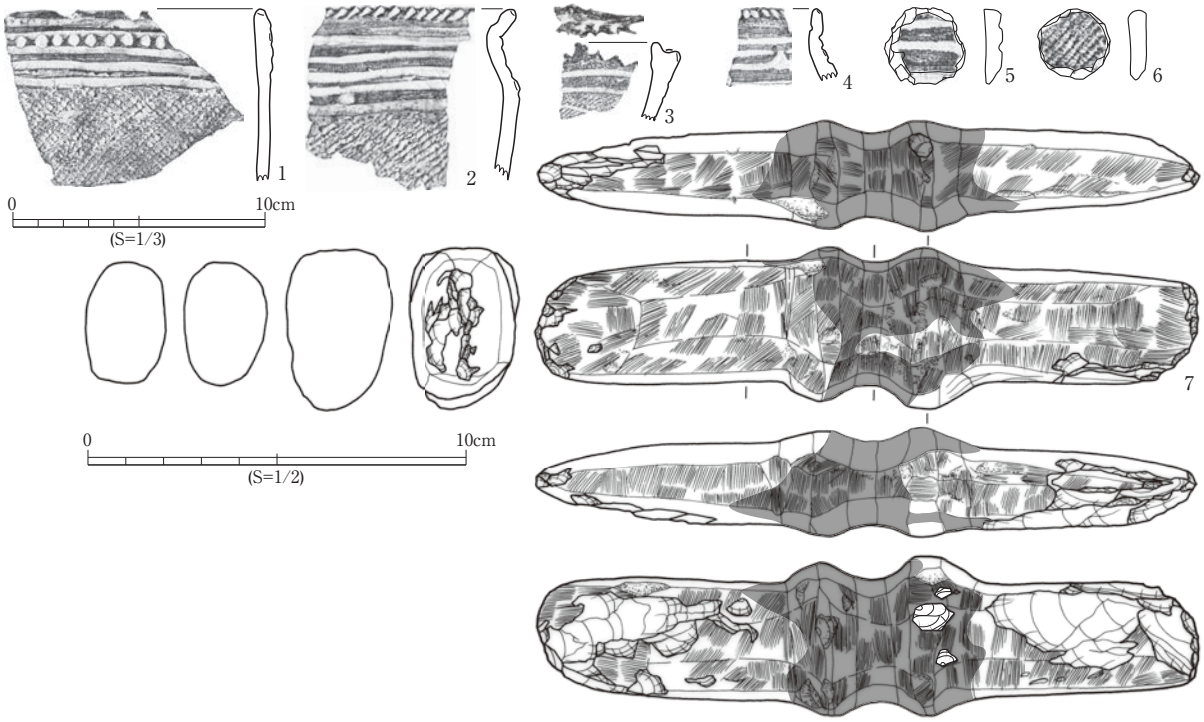
【SK48土坑墓】

［位置］D-56区東側（第53・61図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模］長径125cm×短径55cmの長楕円形で、残存する深さが17cmある。



No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	XⅡb	D-56 東・SK46／埋土	平縁＋ヘラ刻目。平行沈線文＋刺突列、平行沈線文。縄文 LR	74-2	Po810
2	深鉢	A1cd	XⅡc	D-56 東・SK46／埋土	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文＋押圧。縄文 L	74-3	Po811
3	皿	A1bdf	Ⅶ	D-56 東・SK46／2	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	74-4	Po814
4	深鉢か	A1d	Ⅸa	D-56 東・SK46／埋土	平縁＋ヘラ刻目。π字文、沈線文。口縁部内面沈線	74-5	Po812

No.	器　種	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
5	円盤状土製品	D-56 東・SK46／2・3	長さ 29.9mm、幅 30.4mm、厚さ 6.8mm。平行沈線文。剥離	74-6	CO815
6	円盤状土製品	D-56 東・SK46／埋土	長さ 27.0mm、幅 26.6mm、厚さ 6.9mm。縄文 RL。剥離→一部研磨	74-7	CO813

No.	器種	類型	区・遺構／層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
7	独鈷石	-	D-56 東・SK46／埋土	粘板岩	42.0	175.6	28.0	204.68	完形	1	0	0	0	0	副葬品	74-9	S3801

第60図　SK46土坑墓　出土遺物

［壁・底面］底面はほぼ平坦と推定され、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

［埋土］１層確認し、X層起源の小礫や炭化物粒を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第62図）。

［埋葬遺体］遺構確認に止めたため、埋葬骨はほとんど確認できなかったが、大腿骨とみられる埋葬骨を検出している。仰臥屈葬位とみられ、下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。埋設土器が北東に位置していることから、頭部が北東に位置すると推定される。土坑の長軸は北で38°東に偏する。

［埋設土器］π字文の施された鉢（第63図２）が伏せた状態で埋設されている。

［出土遺物］剥片が出土している。

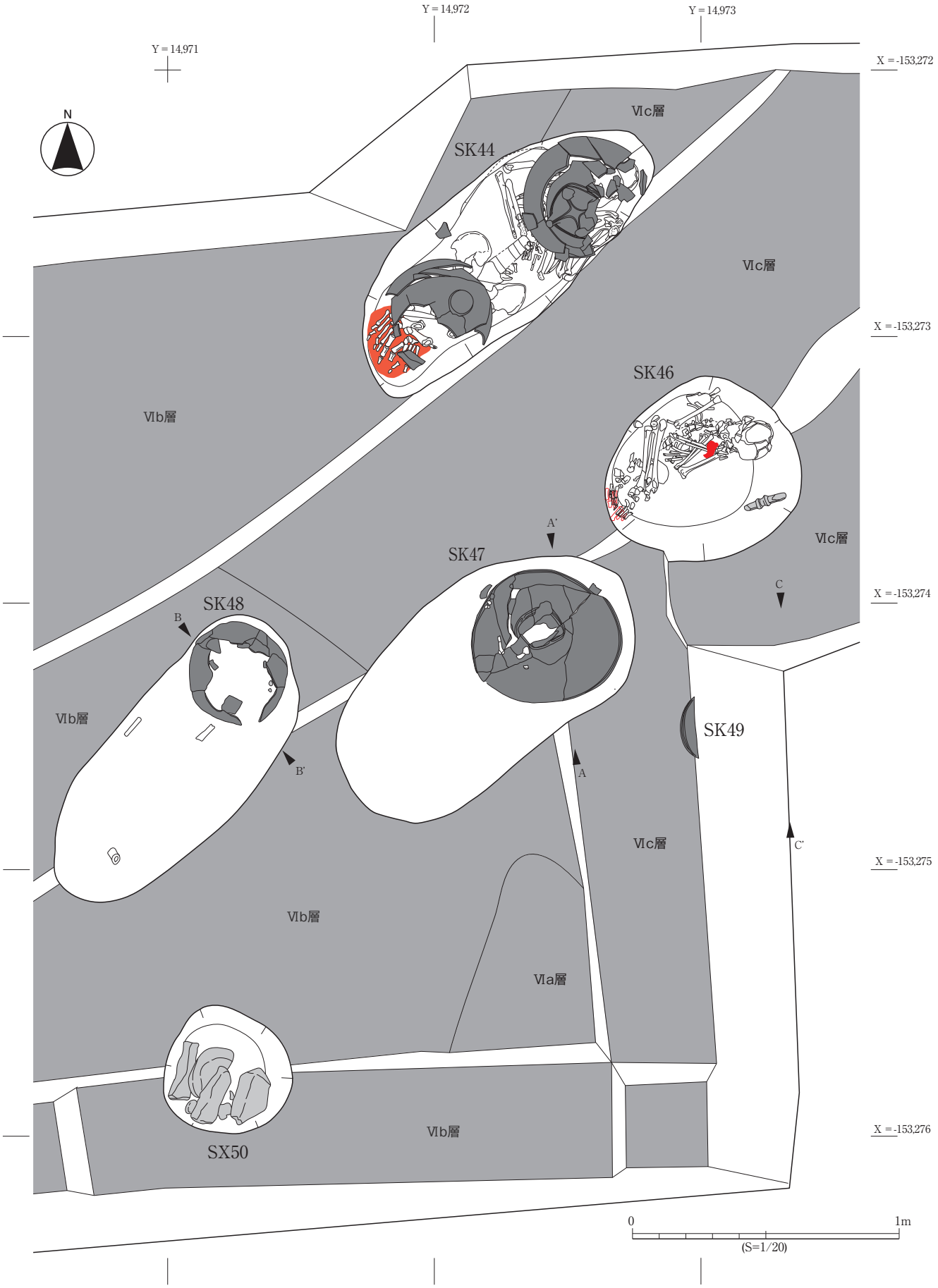
【SK49土坑墓】

［位置］D-56区東側（第53・61図）

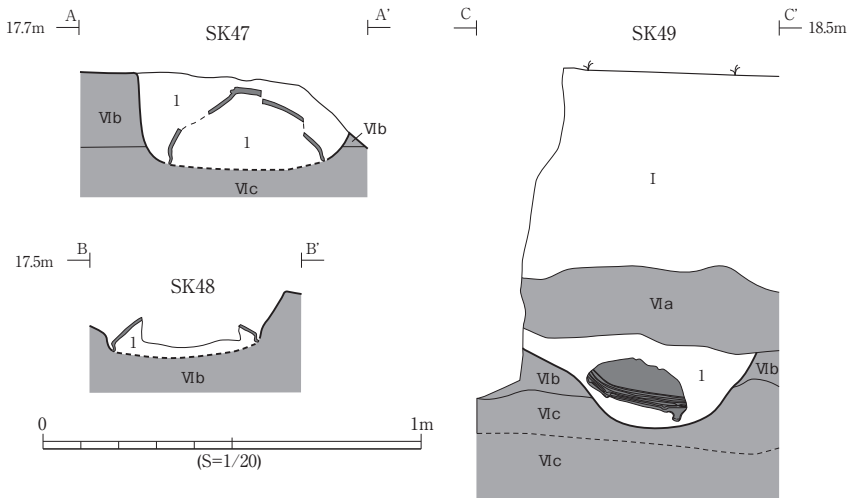
［遺構掘込面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模］断面での検出のため不明であるが、残存する幅が57cm、深さが25cmある。



第61図　SK44・46・47・48・49土坑墓、SX50集石遺構　平面図



調査区 / 遺構	層 序		土 色	土 性	特 徴
SK47	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）・軽石多量 【埋土】
SK48	B-B'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）・炭化物粒多量 【埋土】
SK49	C-C'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）多量 【埋土】

第62図　SK47・48・49土坑墓　断面図

［壁・底面］底面は緩やかにくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は逆台形である。

［埋土］１層確認し、Ⅹ層起源の小礫を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第62図）。

［埋葬遺体］断面での検出のため不明である。

［埋設土器］π字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第62図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］出土していない。

【SK51土坑墓】

［位置］D-57区西側（第53・64図）

［検出面］Ⅵc層（南３層群）

［重複］SK52土坑墓と重複し、これより新しい。

［規模］断面での検出のため不明であるが、残存する幅が38cm、深さが22cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

［埋土］１層確認し、Ⅹ層起源の小礫をやや多く含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

［埋葬遺体］断面での検出のため不明である。

［埋設土器］π字文の施された鉢（第65図１）が伏せた状態で埋設されている（第54図）。

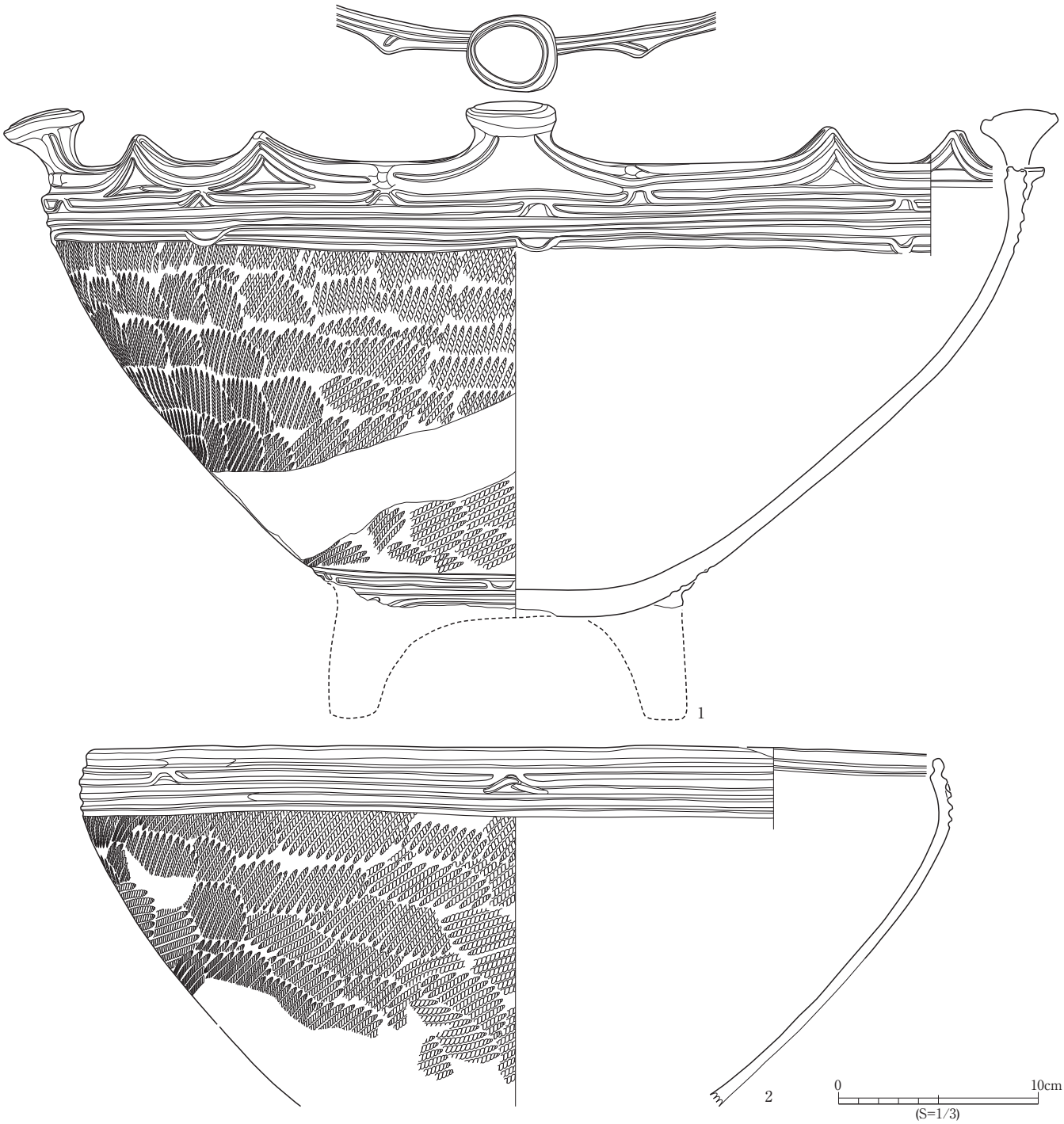
［出土遺物］出土していない。

【SK52土坑墓】

［位置］D-56区東側、D-57区西側（第53・64図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］SK51土坑墓と重複し、これよりも古い。



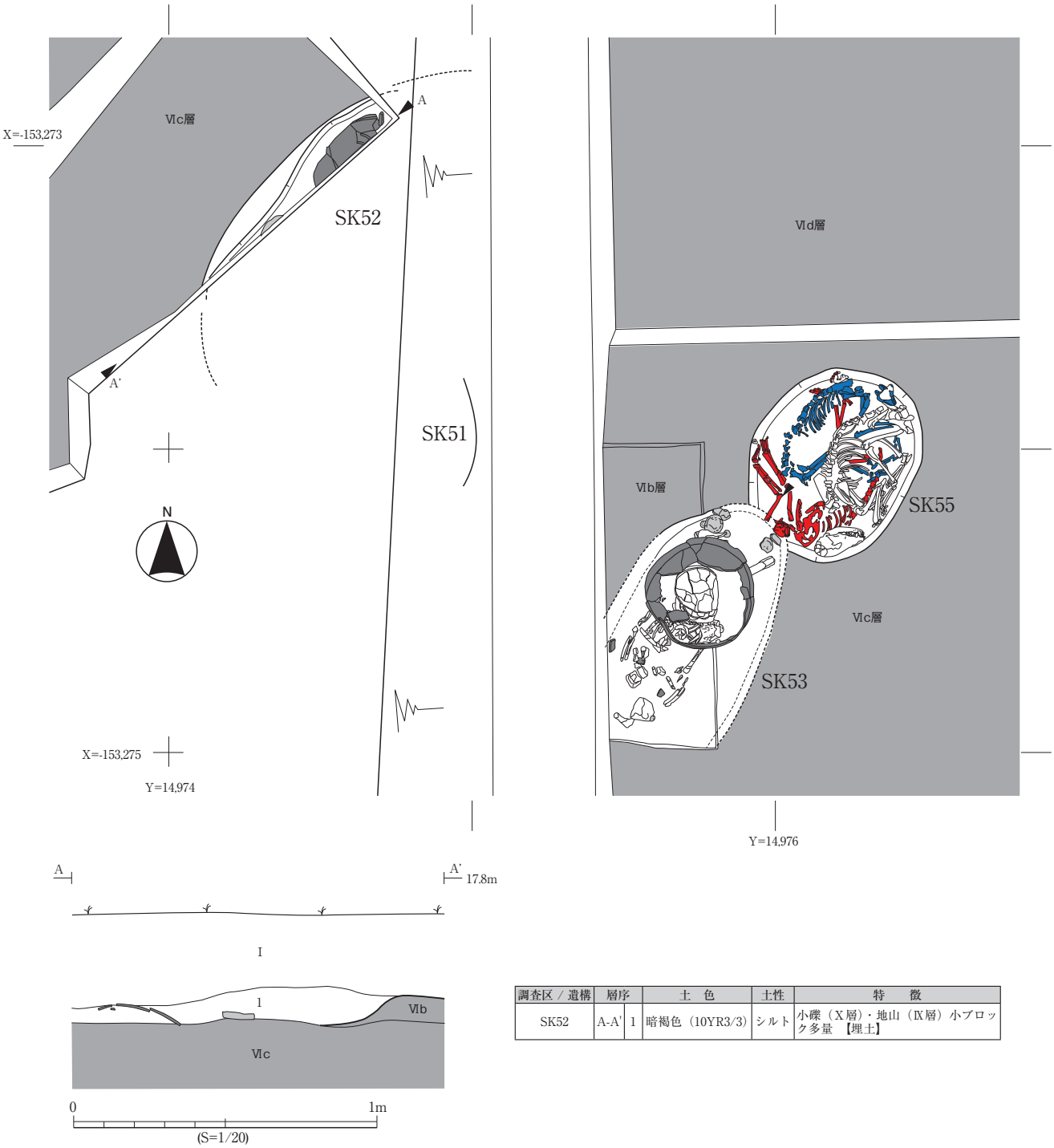
No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	四脚付鉢	A1e	Ⅸ a	D-56 東・SK47 / 埋設土器	口径 48.5cm、底径（15.3cm）。平縁＋方形突起（円盤状飾り）の両側に山形突起４単位＋二個一対の山形突起４単位。三角形浮線文、π字文（上下対向）８単位＋π字文８単位。底部付近にπ字文（逆さ表現）８単位。縄文 LR。突起・口縁部内面沈線。外面赤彩	71-6	Po816
2	鉢	A1	Ⅸ a	D-56 東・SK48 / 埋設土器	口径 42.5cm。平縁。π字文７単位、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面赤彩	73-4	Po817

第63図　SK47・48土坑墓　出土遺物

［規模］遺構確認に止めたため規模は不明であるが、残存する長さ108cm×幅19cmの楕円形で、深さが18cmある。

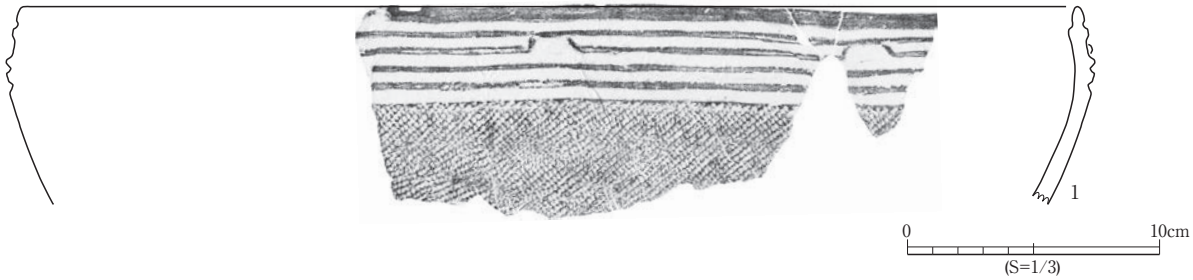
［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

［埋土］１層確認し、Ⅹ層起源の小礫やⅨ層起源の地山ブロックを多く含む暗褐色シルトである（第64図）。



調査区 / 遺構	層序		土　色	土性	特　　徴
SK52	A-A'	1	暗褐色（10YR3/3）	シルト	小礫（Ⅹ層）・地山（Ⅸ層）小ブロック多量　【埋土】

第64図　SK51・52・53・55土坑墓　平面図・断面図



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1	Ⅸ a	D-57 西・SK51 / 埋設土器	口径（42.0cm）。平縁。π字文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	74-10	Po938

第65図　SK51土坑墓　出土遺物

［埋葬遺体］D-57区西の西壁断面で人骨とみられる骨片を検出した。部位は不明である。

［埋設土器］π字文とみられる文様が施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第64図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］出土していない。

【SK53土坑墓】

［位置］D-57区西側（第53・66図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］SK55埋葬犬骨と重複し、これより新しい。

［規模］長径91cm以上×幅53cm以上の長楕円形で、残存する深さが20cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は箱形である。

［埋土］１層確認し、Ｘ層起源の小礫や炭化物粒を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第66図）。

［埋葬遺体］未成人の男性が１体埋葬されている。頭部は北東に位置し、東で43°北に偏する。体幹骨は北東から南西に並ぶ。仰臥屈葬位である。埋葬骨の遺存状態がきわめて不良であり、胸部付近や下半身は攪乱により壊されているため、上肢および下肢の姿勢は不明である。なお、埋葬骨の詳細については分析編第１章を参照のこと。

［埋設土器］頭部から胸部にかけてπ字文の施された鉢（第67図１）が伏せた状態で埋設されている。

［出土遺物］不定形石器や石皿、磨石（第67図２）、剥片などが出土している。

【SK54土坑墓】

［位置］D-57区西側（第53・68図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

［規模］長径141cm×短径61cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫を多く含み炭化物粒を少量含む黒褐色シルトを確認した。

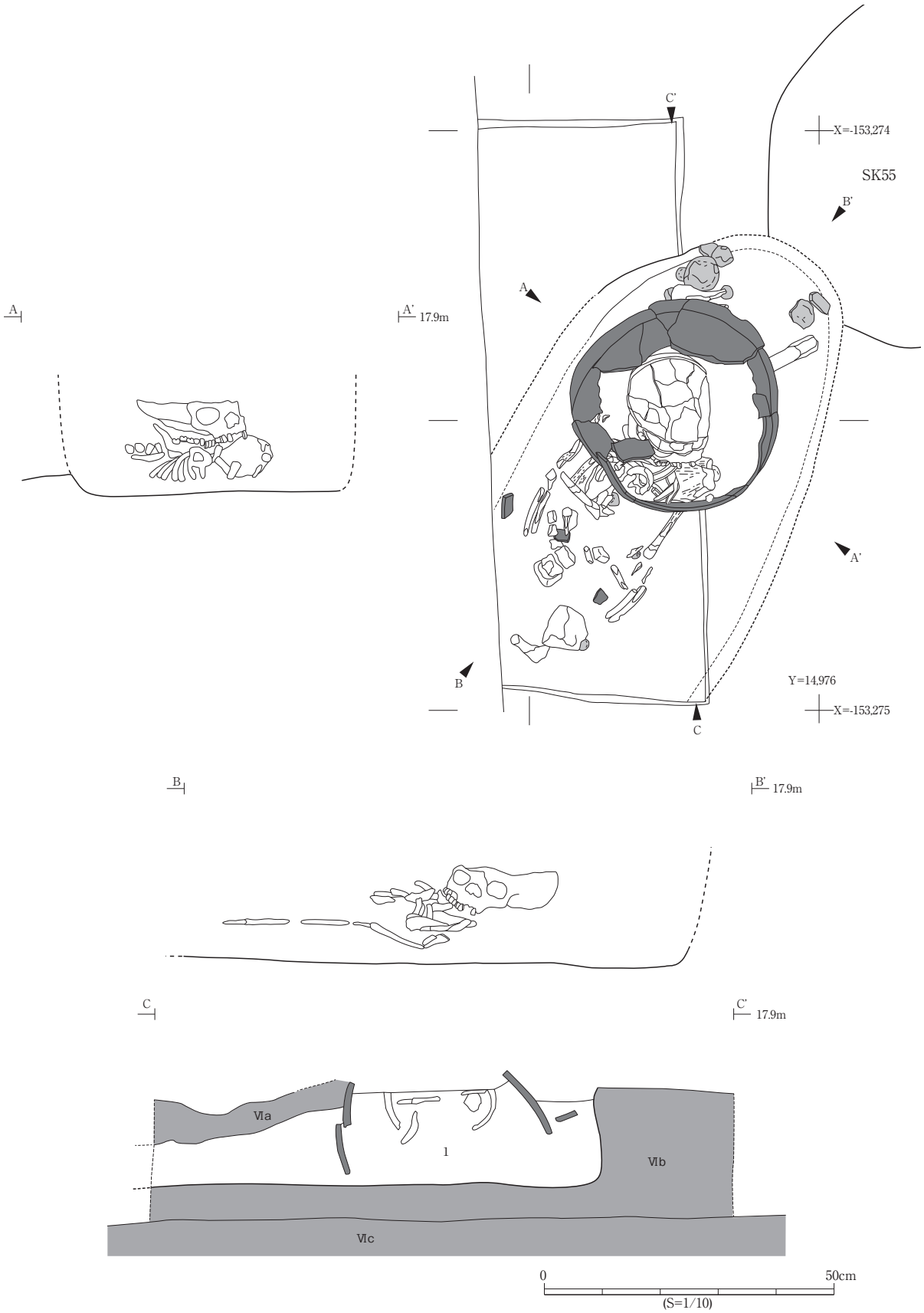
［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの肋骨と肩甲骨？、上腕骨？、尺骨・橈骨？、大腿骨、脛骨？を検出した。頭部は削平により失われているが、上肢や下肢骨の位置から西に位置すると推定される。右下側臥屈葬位とみられ、上肢は肘を曲げるかたちで強く屈曲し、下肢は膝を曲げるかたちで強く屈曲している。土坑の長軸は東で８°北に偏する。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］雲形文の施された浅鉢（第68図１）や深鉢（同図２）、磨石などが出土している。

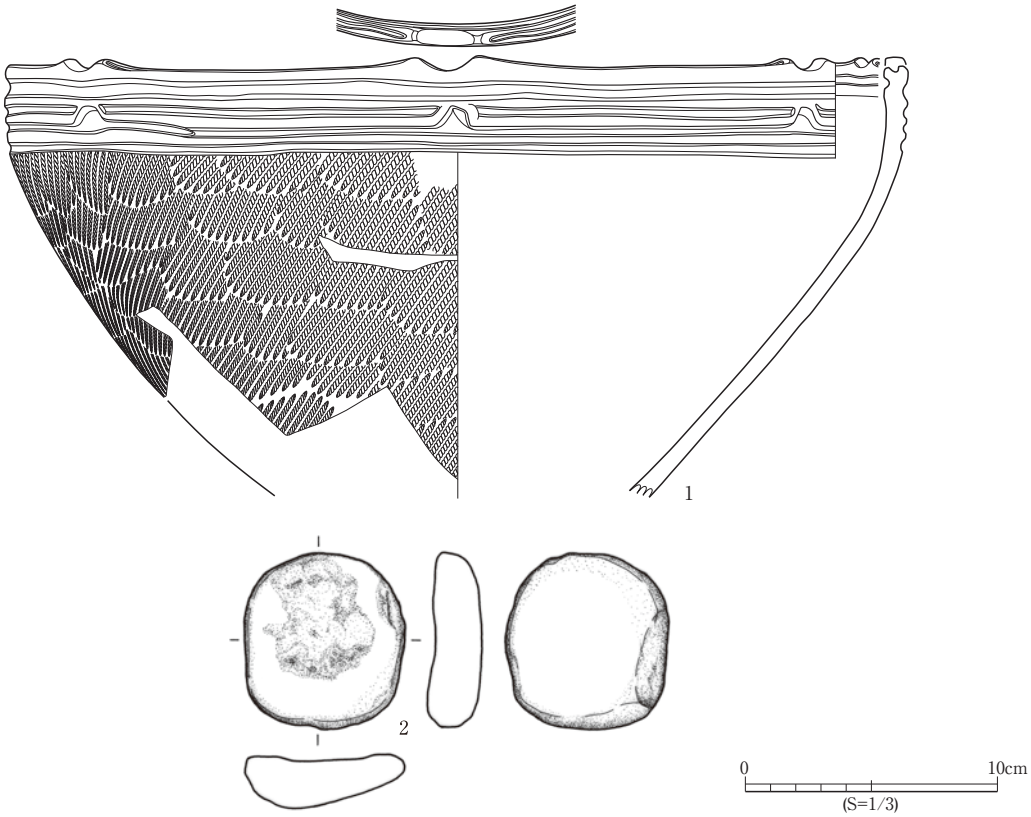
【SK56土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・69図）



調査区 / 遺構	層	序	土 色	土 性	特 徴
SK53	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（X層）・炭化物粒多量 【埋土】

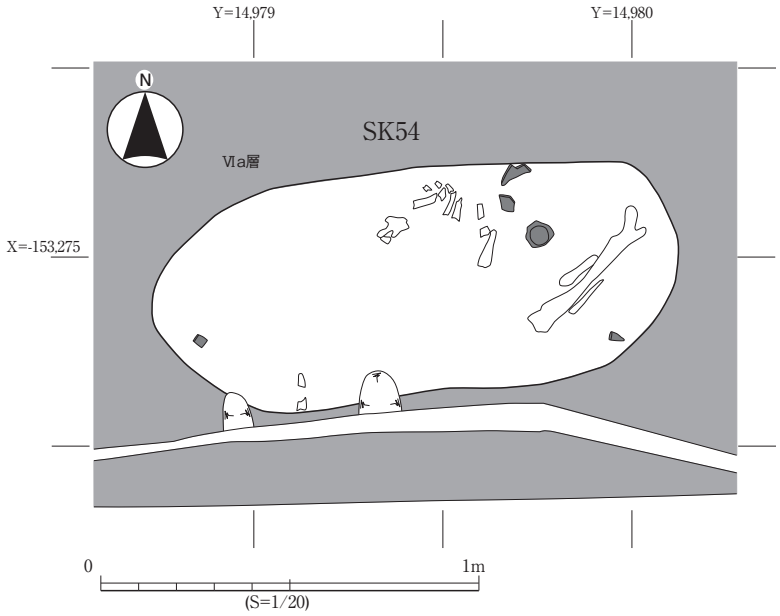
第66図　SK53土坑墓　平面図・断面図

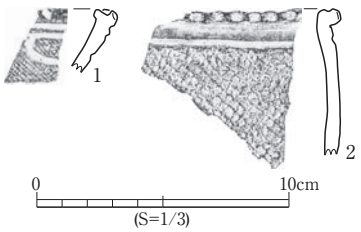


No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1cf	Ⅸ a	D-57 西・SK53 / 埋設土器	口径 35.3cm。平縁 + 二個一対の山形突起 7 単位 + 突起間沈線。π 字文 7 単位、沈線文。直前段多条縄文 LR。口縁部内面沈線	74-1	Po948

No.	器種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
2	磨石	-	D-57 西・SK53 / 埋土	安山岩質凝灰岩	70.0	64.1	20.5	106.40	完形	0	0	凹石→	1	0		74-8	S4819

第67図　SK53土坑墓　出土遺物





No	器種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1bd	Ⅶ	D-57 中央・SK54 / 埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	74-11	Po889
2	深鉢	B1cd	XⅡ x	D-57 中央・SK54 / 埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	74-12	Po888

第68図　SK54土坑墓　平面図、出土遺物

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］SK57土坑墓と重複し、これより新しい。

［規模］長径110cm×短径78cmの平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫をやや多く含み炭化物粒をわずかに含む黒褐色砂質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と下顎骨、肩甲骨、寛骨、大腿骨を検出した。頭部は西に位置する。仰臥屈葬位とみられ、下肢は体幹の右（南）に位置し、膝を曲げるかたちで強く屈曲する。土坑の長軸は東で23°北に偏する。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］縄文土器が出土している。

【SK57土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・69図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］SK56・58土坑墓とそれぞれ重複し、これらよりも古い。

［規模］長軸128cm×短軸61cm以上で平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫を多く含み炭化物粒を少量含む黒褐色シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの肋骨と上腕骨？、脛骨？を検出した。上下肢骨の出土位置から頭部は西に位置するとみられる。埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は東で８°北に偏する。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］雲形文の施された皿（第70図１）や鉢（同図２・３）などが出土している。

【SK58土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・69図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

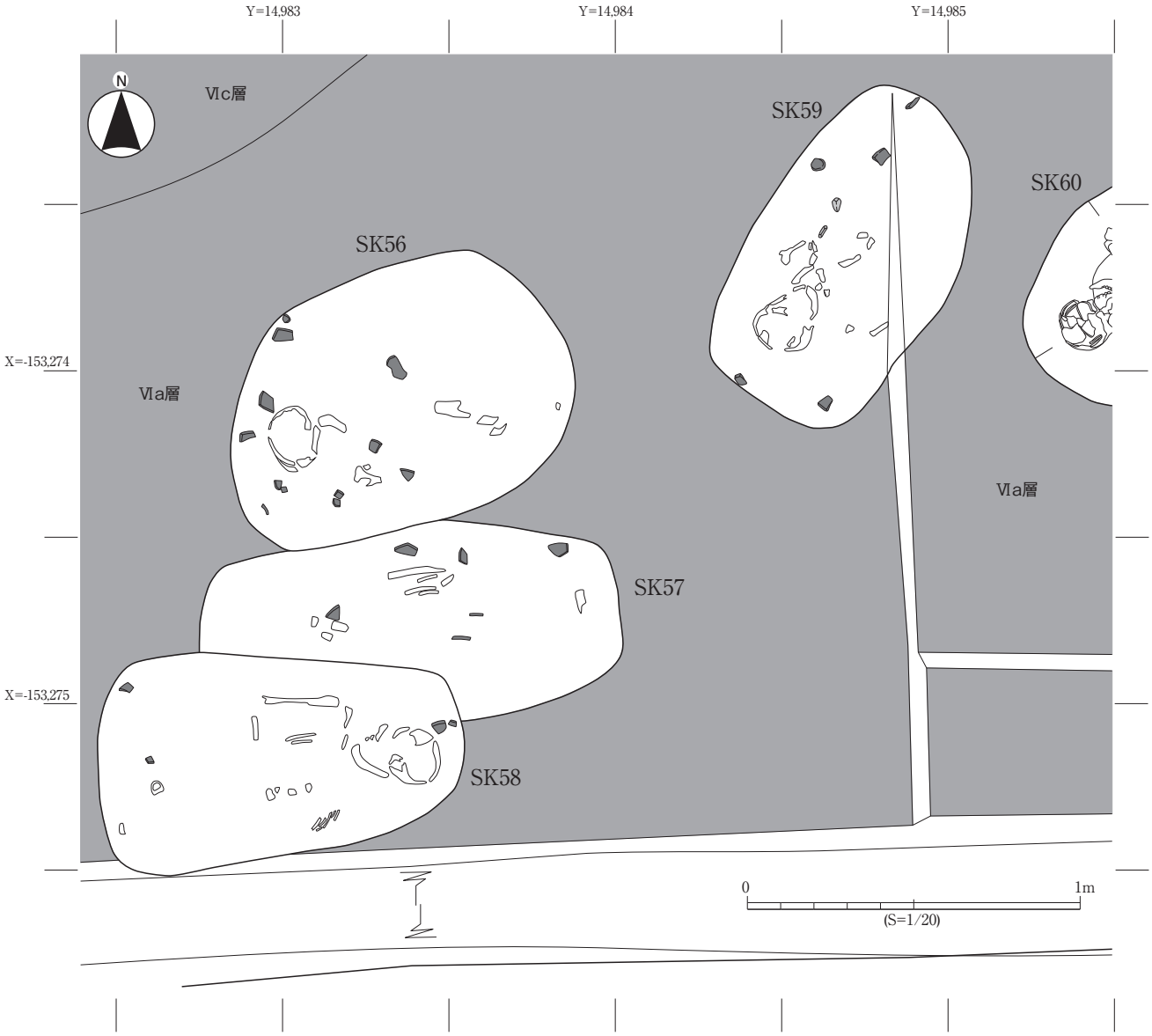
［重複］SK57土坑墓と重複し、これより新しい。

［規模］長軸111cm×短軸66cmの平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

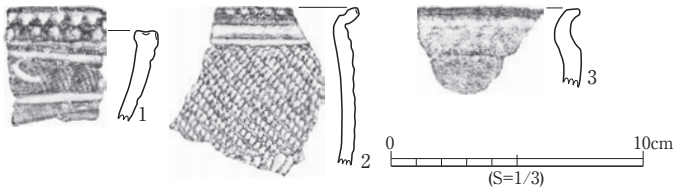
［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と下顎骨、歯、椎骨、肋骨、上腕骨、尺骨・橈骨？、大腿骨？、脛骨？を検出した。頭部は東に位置し、東で10°北に偏する。体幹骨が東から西へ並ぶ。仰臥屈葬位で、



第69図　SK56・57・58・59土坑墓　平面図



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	皿	A1d	Ⅶ	D-57 中央・SK57 / 埋土	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	74-13	Po891
2	鉢	B1cd	XⅡx	D-57 中央・SK57 / 埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	74-14	Po890
3	鉢	B1	XⅤ	D-57 中央・SK57 / 埋土	平縁	74-15	Po892

第70図　SK57土坑墓　出土遺物

右上肢は腹部に手を当てるかたちで屈曲している。下肢は膝を立てるかたちで屈曲するとみられる。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］出土していない。

【SK59土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・69図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

［規模］長径103cm×短径61cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ⅹ層起源の小礫を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨、上腕骨、尺骨・橈骨を検出した。頭部は南西に位置する。上肢は胸部に手を当てるようなかたちで強く屈曲するとみられる。下半身は不明である。土坑の長軸は北で32°東に偏する。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］出土していない。

【SK60土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・71図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

［規模］長径127cm×短径71cmの長楕円形で、残存する深さが15cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

［埋土］１層確認し、Ⅹ層起源の小礫やⅨ層起源のブロック、炭化物粒をやや多く含む黒褐色粘土質シルトである（第71図）。

［埋葬遺体］成年の男性とみられる遺体が１体埋葬されている。頭部は西に位置し、東で18°北に偏する。体幹骨は西から東に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左右両肢は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲している。下肢は左右両肢を揃えて膝を立てるかたちで強く屈曲する。なお、埋葬骨の詳細については分析編第１章を参照のこと。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］雲形文の施された鉢（第71図２）や注口土器（同図１）、深鉢（同図３・４）、石錐（同図５）、不定形石器（同図６・７）、磨石、凹石（同図８）、剥片などが出土している。

【SK61土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・72図）

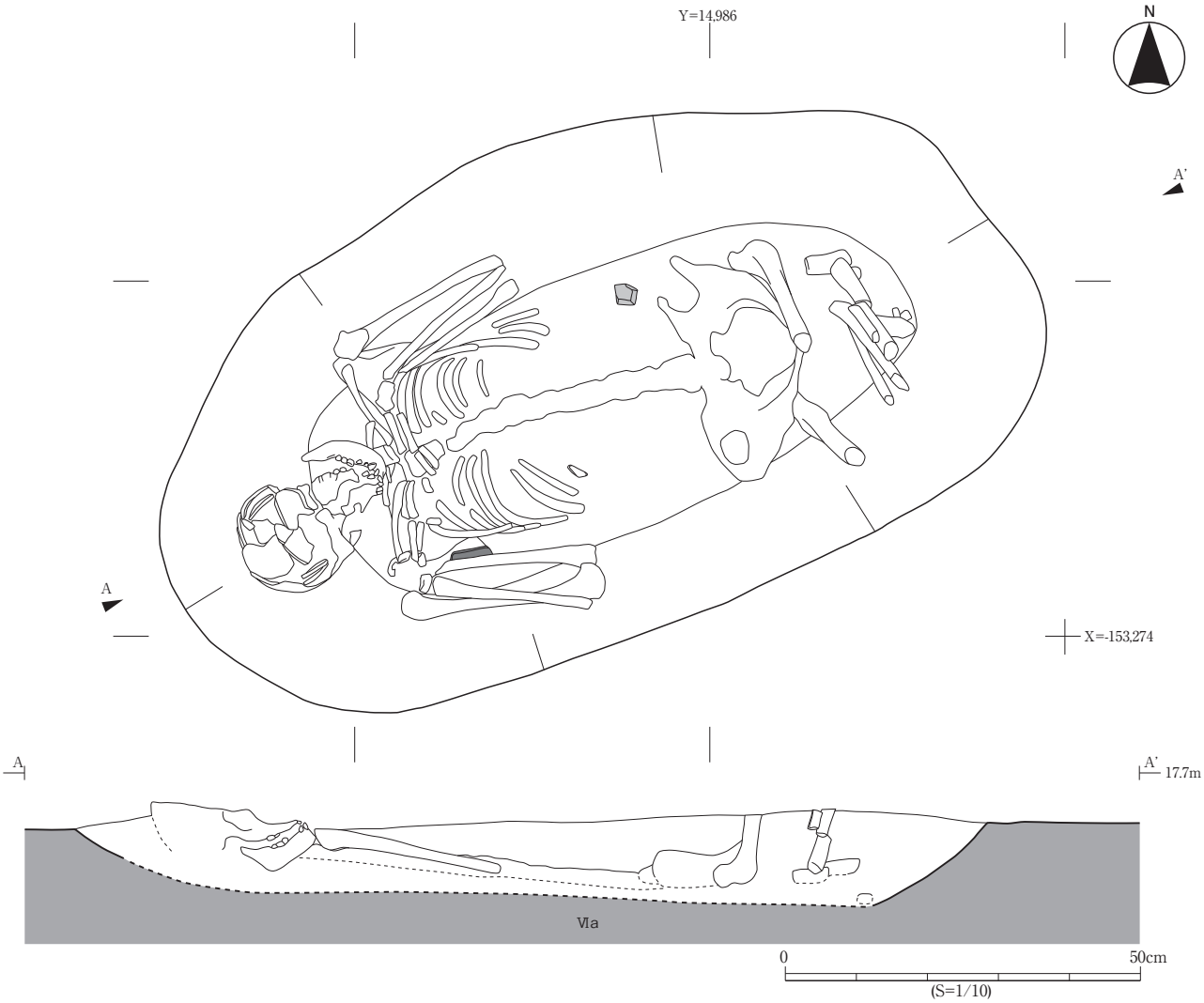
［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

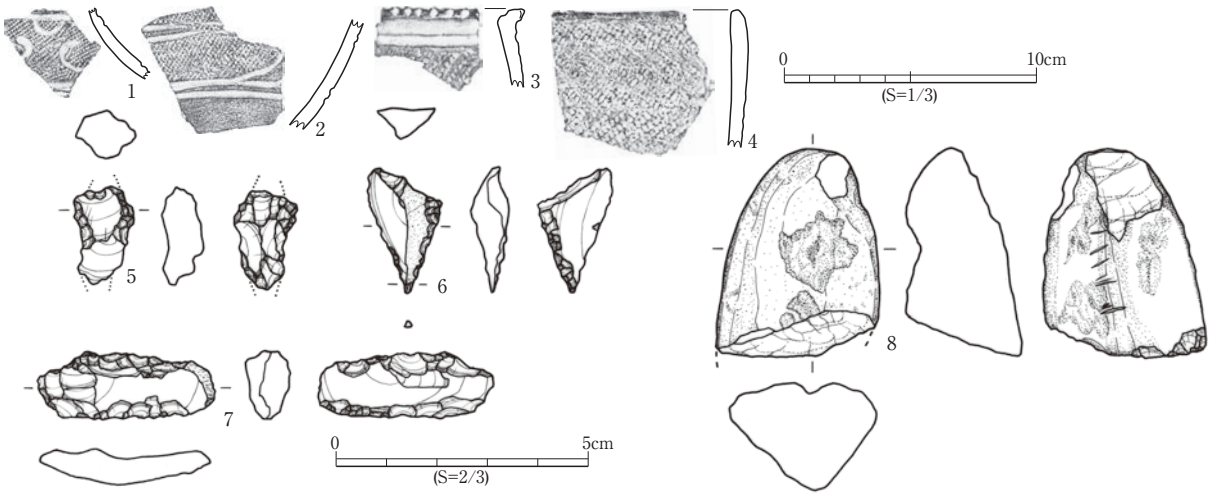
［規模］長径114cm×短径58cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ⅹ層起源の小礫をやや多く含む黒褐色シルトを確認した。



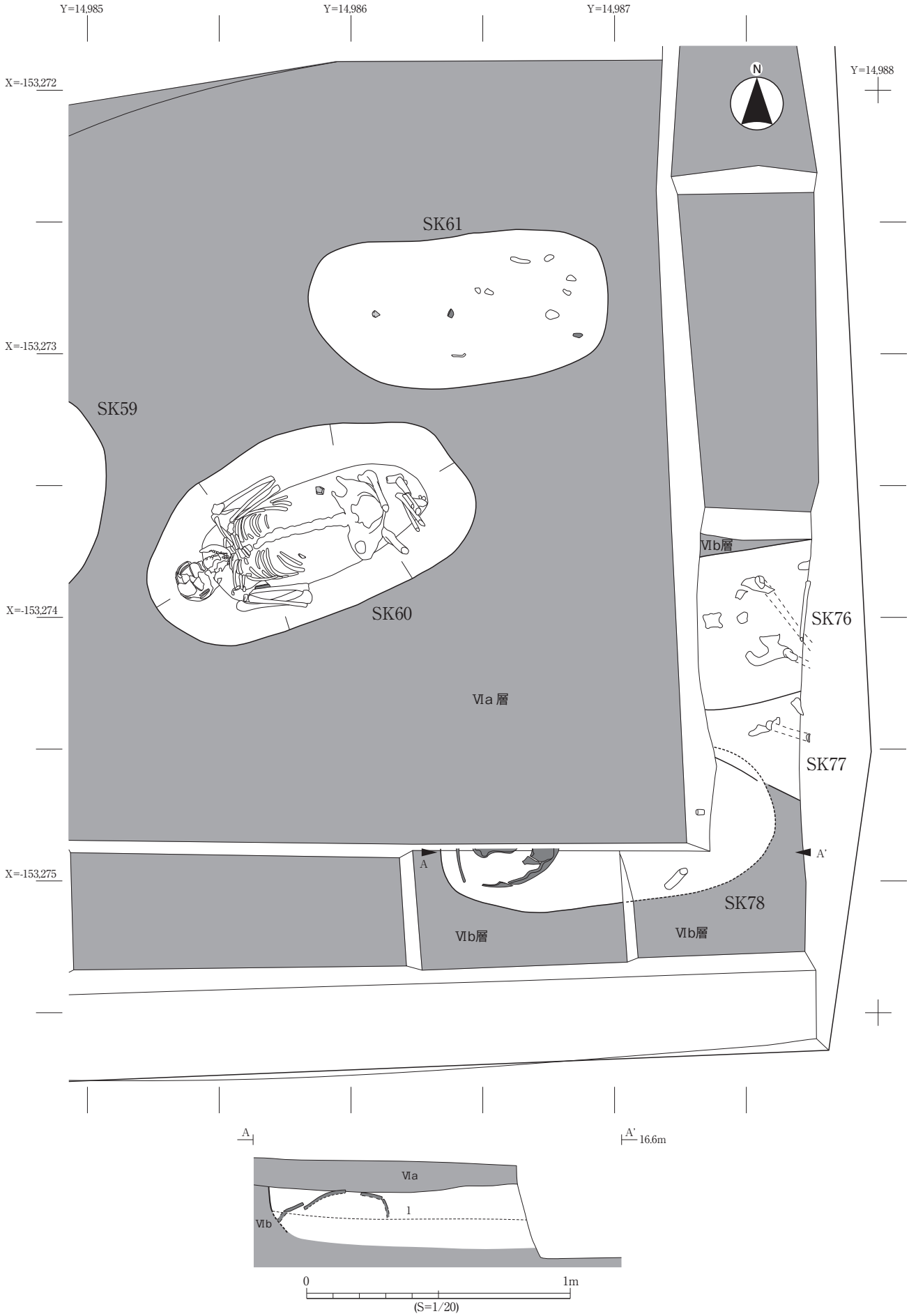
調査区 / 遺構	層	序	土 色	土 性	特 徴
SK60	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）・地山（Ⅸ層）小ブロック・炭化物粒やや多量、スクモ少量 【埋土】



No.	器 種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特 徴	写真図版	登録
1	注口土器	-	Ⅶ	D-57 東・SK60 / 埋土	雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	74-16	Po882
2	鉢	-	Ⅶ	D-57 東・SK60 / 埋土	雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	74-17	Po881
3	深鉢	B1cd	ⅩⅡx	D-57 東・SK60 / 埋土	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	74-18	Po880
4	深鉢	A1	ⅩⅣa2	D-57 東・SK60 / 埋土	平縁。羽状縄文 RL/LR	74-19	Po879

No.	器 種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	石錐	-	D-57 東・SK60 / 埋土	珪質頁岩 A	18.6	11.4	8.2	1.44	錐部	0	2	0	0	0		74-20	S4196
6	不定形石器	Ⅲd	D-57 東・SK60 / 埋土	珪質頁岩 A	24.1	14.9	6.2	1.34	破片	0	0	0	1	0		74-21	S4210
7	不定形石器	Ⅲc	D-57 東・SK60 / 埋土	珪質頁岩 A	12.8	34.9	6.8	3.34	完形	0	0	0	1	0		74-22	S4197
8	凹石	-	D-57 東・SK60 / 埋土	凝灰岩	83.0	62.0	47.1	219.70	一部欠	0	0	磨石→	0	0		74-23	S4177

第71図　SK60土坑墓　平面図・断面図、出土遺物



調査区 / 遺構	層 序		土 色	土 性	特 徴
SK78	A-A'	1	黒褐色（10YR3/3）	粘土質シルト	砂中量、炭化物粒少量 【埋土】

第72図　SK60・61・76・77・78土坑墓　平面図・断面図

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの椎骨？、上腕骨？、寛骨、大腿骨、脛骨を検出した。上下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられる。仰臥屈葬位とみられる。土坑の長軸は東で２°北に偏する。
［埋設土器］なし。
［出土遺物］出土していない。

【SK76土坑墓】
［位置］D-57区東側（第53・72図）
［遺構掘込面］Ⅵb層（南2A層群）
［重複］SK77土坑墓と重複し、これより新しい。
［規模］長軸44cm以上×短軸58cm、残存する深さが34cm以上ある。排水溝底面での遺構確認に止めたため平面形は不明である。
［壁・底面］遺構確認に止めたため底面は不明である。壁はやや緩やかに立ち上がる。断面形は逆台形とみられる。
［埋土］調査区断面で１層確認し、Ⅸ層起源の地山ブロック多く含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。
［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの椎骨、寛骨、大腿骨、脛骨、趾骨？を検出した。体幹骨や下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられ、体幹骨は西から東に並ぶ。仰臥屈葬位で、下肢は体幹のやや右（南）に位置し、膝を立てるかたちで強く屈曲する。上半身は不明である。
［埋設土器］頭部付近を検出していないため、不明である。
［出土遺物］出土していない。

【SK77土坑墓】
［位置］D-57区東側（第53・72図）
［遺構掘込面］Ⅵb層（南2A層群）
［重複］SK76・78土坑墓とそれぞれ重複し、これらよりも古い。
［規模］長軸41cm以上×短軸37cm以上で、残存する深さが25cm以上ある。排水溝底面での遺構確認に止めたため平面形は不明である。
［壁・底面］遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形とみられる。
［埋土］調査区断面で１層確認し、Ⅸ層起源の地山ブロック少量含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。
［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの寛骨や大腿骨、脛骨？を検出した。下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられる。下肢は体幹のやや右（南）に位置し、膝を立てるかたちで強く屈曲する。埋葬姿勢や上半身は不明である。
［埋設土器］頭部付近を検出していないため、不明である。
［出土遺物］縄文土器が出土している。

【SK78土坑墓】

［位置］D-57区東側（第53・72図）

［遺構掘込面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］SK77土坑墓と重複し、これより新しい。

［規模］長径68cm以上×短径44cm以上の長楕円形とみられ、残存する深さが27cm以上ある。

［壁・底面］遺構確認に止めたため底面および断面形は不明である。壁は急に立ち上がる。

［埋土］調査区断面で１層確認し、砂や炭化物粒を含む黒褐色粘土質シルトである（第72図）。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの大腿骨と脛骨？を検出した。下肢骨および埋設土器の位置から頭部は西に位置するとみられる。仰臥屈葬位とみられ、下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。上半身は不明である。

［埋設土器］頭部から胸部にかけて鉢が伏せた状態で埋設されている（第72図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］出土していない。

【SK67土坑墓】

［位置］D-74区東側（第53・73図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模］長径117cm×短径57cmの長楕円形で、残存する深さが16cm以上ある。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で１層確認し、Ⅹ層起源の小礫やⅨ層起源の地山ブロックをやや多く含む黒色粘土質シルトである（第73図）。

［埋葬遺体］遺構確認のみに止めたため、埋葬骨は確認できなかった。埋設土器が東に位置していることから、頭部が東に位置すると推定される。土坑の長軸は東で14°北に偏する。

［埋設土器］π字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第73図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］工字文の施された壺（第73図１）などが出土している。

【SK68土坑墓】

［位置］D-74区東側（第53・73図）

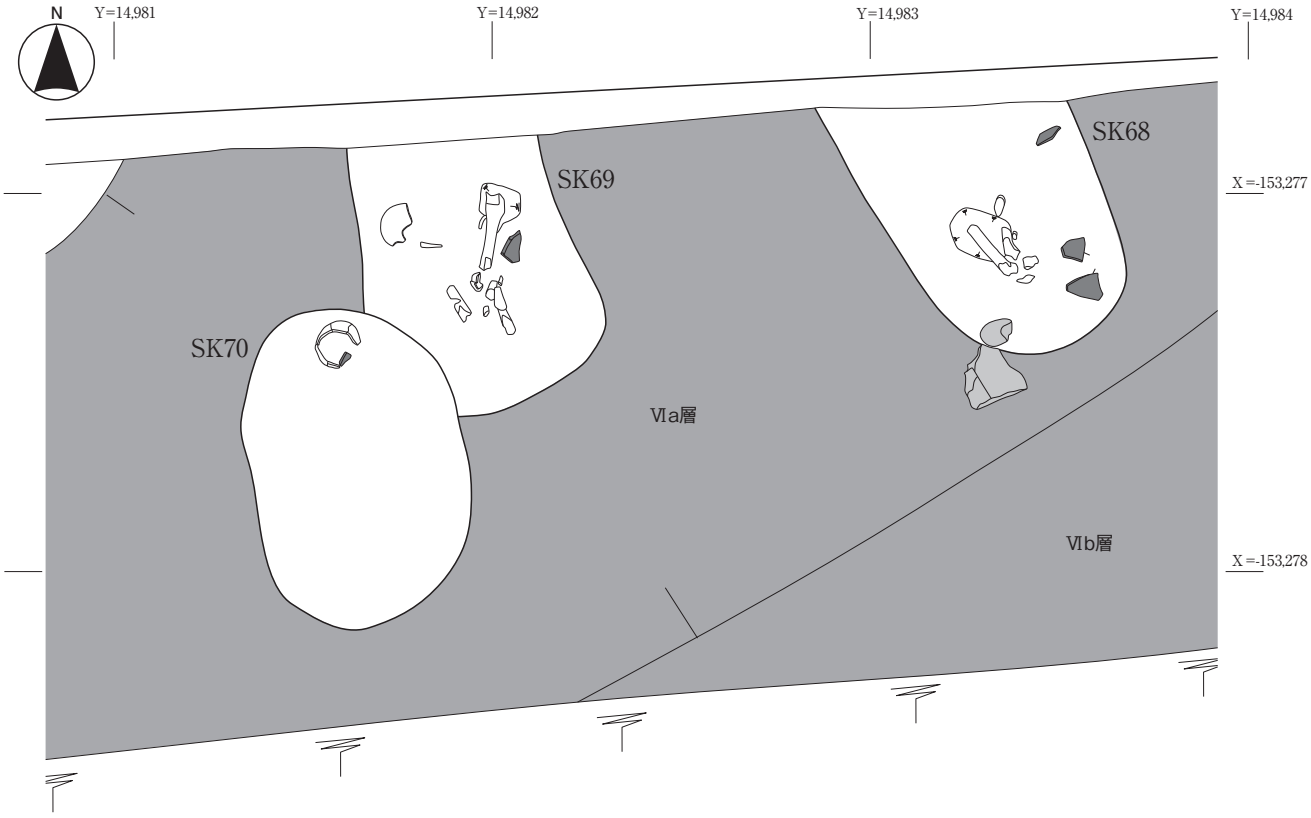
［検出面］Ⅵa層（南１層群）

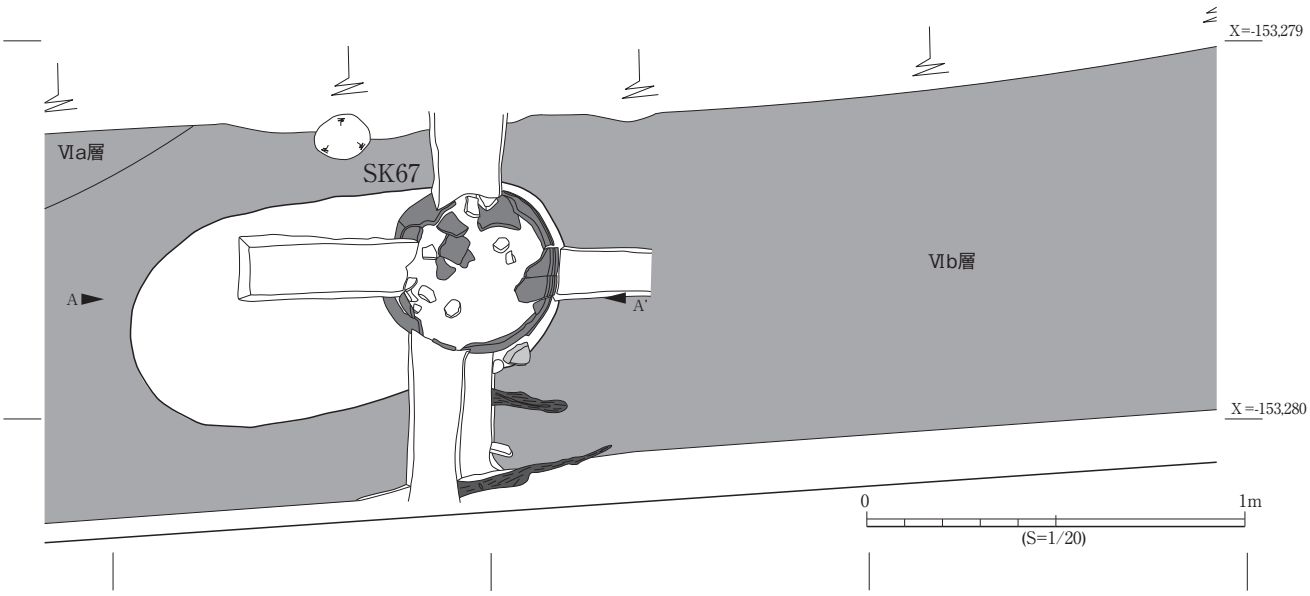
［重複］なし。

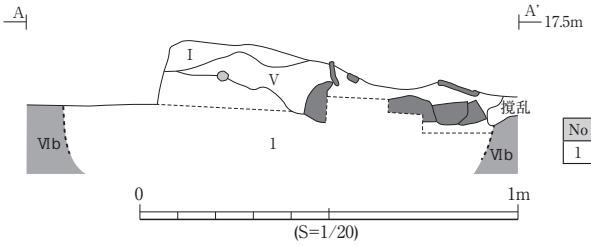
［規模］長径89cm以上×短径59cm以上の平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

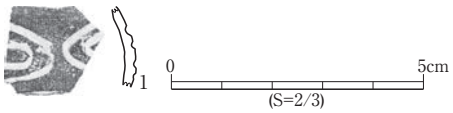
［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、砂を少量含む黒褐色粘土質シルトを確認した。









No	器種	類型1	類型2	区・遺構 / 層	特　徴	写真図版	登録
1	壺	-	X ?	D-74・SK67 / 埋土	工字文か + 縄文 LR	74-24	Po2932

調査区 / 遺構	層序		土　色	土　性	特　徴
SK67	A-A'	1	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	小礫（X層）多量、地山（Ⅸ層）ブロックやや多量　【埋土】

第73図　SK67・68・69・70土坑墓　平面図、SK67土坑墓　断面図、出土遺物

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの大腿骨や膝蓋骨？、脛骨、腓骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北西に位置する。下肢は膝を立てるかたちで強く屈曲する。上半身および埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は北で27°西に偏する。

［埋設土器］頭部付近は調査区外に位置するため不明である。

［出土遺物］出土していない。

【SK69土坑墓】

［位置］D-74区東側（第53・73図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］SK70土坑墓と重複し、これよりも古い。

［規模］長軸74cm×短軸55cm以上の平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫を多く含み、火山灰？ブロックを少量含む黒褐色砂質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの寛骨や大腿骨、脛骨、腓骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北に位置する。下肢は膝を立てるかたちで強く屈曲している。上半身や埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は北で10°西に偏する。

［埋設土器］頭部付近は調査区外に位置するため不明である。

［出土遺物］出土していない。

【SK70土坑墓】

［位置］D-74区東側（第53・73図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］SK69土坑墓と重複し、これより新しい。

［規模］長径85cm×短径58cmの平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ｘ層起源の小礫を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨を検出した。頭部は北に位置し、土坑の長軸は北で11°西に偏する。上下半身や埋葬姿勢は不明である。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］出土していない。

【SK71土坑墓】

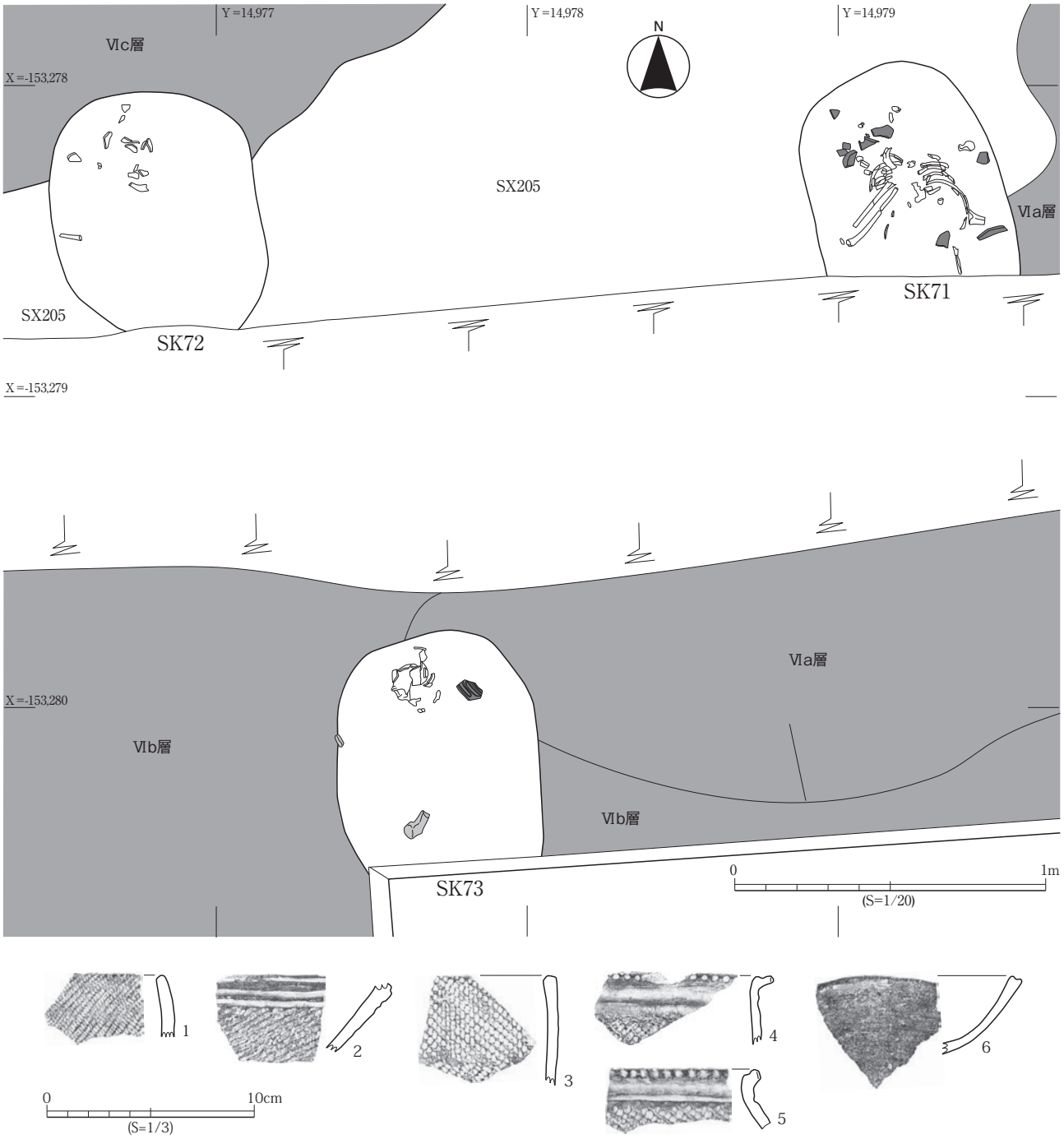
［位置］D-74区西側（第53・74図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］SX205自然流路跡と重複し、これより新しい。

［規模］長径77cm以上×短径63cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。



No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	ⅩⅣ a1	D-74・SK71／埋土	平縁。前々段多条縄文 LR	74-25	Po2925
2	浅鉢	-	ⅩⅡ x	D-74・SK72／埋土	平行沈線文。縄文 L	74-26	Po2928
3	深鉢	A1	ⅩⅣ a2	D-74・SK72／埋土	平縁。羽状縄文 RL/LR	74-27	Po2927
4	深鉢	B1cd	ⅩⅢ	D-74・SK73／埋土	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	74-28	Po2929
5	深鉢	B1cd	ⅩⅢ	D-74・SK73／埋土	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	74-29	Po2930
6	皿	A1d	ⅩⅤ	D-74・SK73／埋土	平縁＋口唇部刺突列	74-30	Po2931

第74図　SK71・72・73土坑墓　平面図、出土遺物

［埋土］遺構確認面で、砂を少量含み、火山灰？ブロックをやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、椎骨、肋骨、上腕骨、尺骨・橈骨を検出した。頭部は北西に位置し、北で30°西に編する。体幹骨が北西から南東へ並ぶ。仰臥屈葬位で、右上肢は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲している。下半身は不明である。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］縄文土器深鉢（第74図１）・浅鉢などが出土している。

【SK72土坑墓】

［位置］D-74区西側（第53・74図）

［検出面］SX205自然流路跡（Ⅵb層とⅥa層の間）

［重複］SX205自然流路跡と重複し、これより新しい。

［規模］長軸76cm以上×短径67cmの平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、砂をやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、鎖骨?、尺骨・橈骨?を検出した。頭部は北に位置する。土坑の長軸は北で７°西に偏する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］縄文土器深鉢（第74図３）・浅鉢（同図２）、磨石などが出土している。

【SK73土坑墓】

［位置］D-74区西側（第53・74図）

［検出面］Ⅵa層（南１層群）

［重複］なし。

［規模］長径74cm以上×短径66cm以上の平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、Ⅹ層起源の小礫を少量含み、砂をやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

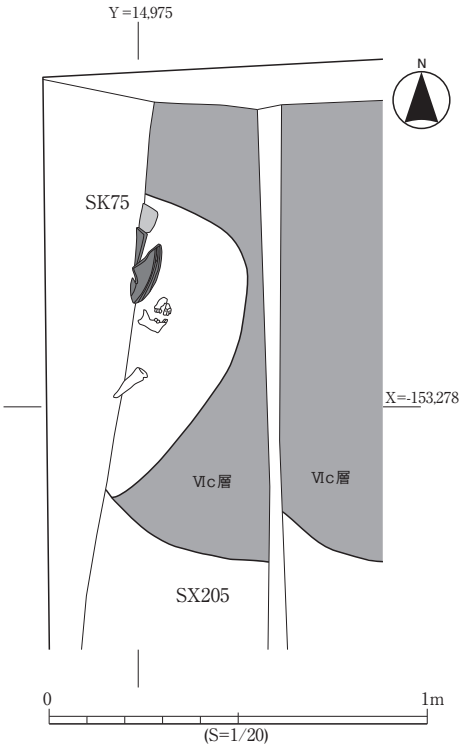
［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と歯を検出した。頭部は北に位置する。土坑の長軸は北で３°西に偏する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

［埋設土器］なし。

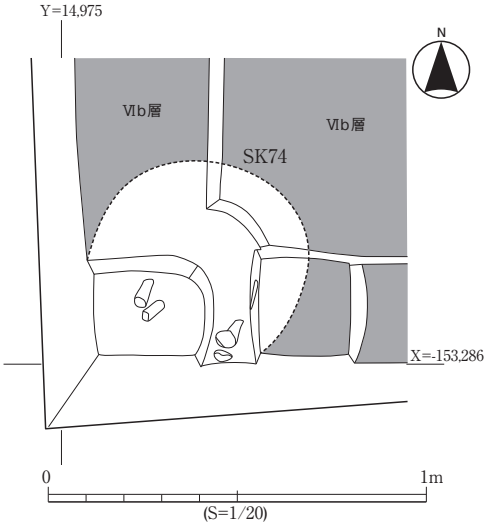
［出土遺物］縄文土器深鉢（第74図４・５）や皿（同図６）、剥片などが出土している。

【SK74土坑墓】

［位置］D-74区南側（第53・76図）



第75図　SK75土坑墓　平面図



第76図　SK74土坑墓　平面図

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模］長さ約54cm以上×幅約53cmあり、残存する深さが24cm以上ある。部分的な検出に止めたため全体の形状は不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する

［埋土］調査区断面で１層確認し、砂をわずかに含む黒褐色シルトである（第54図）。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの大腿骨や膝蓋骨、脛骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北東に位置するとみられる。土坑の長軸は北で44°東に偏する。下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。上半身および埋葬姿勢は不明である。

［埋設土器］なし。

［出土遺物］出土していない。

【SK75土坑墓】

［位置］D-74区西側（第53・75図）

［検出面］Ⅵc層（南３層群）

［重複］SX205自然流路跡と重複し、これよりも古い。

［規模］長径79cm以上×短径33cm以上の楕円形とみられ、残存する深さが16cm以上ある。

［壁・底面］遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する。

［埋土］調査区断面で１層確認し、砂を少量含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

［埋葬遺体］遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、下顎骨を検出した。頭部は北に位置する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

［埋設土器］頭部にπ字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第75図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］遺物は出土していない。

（4）埋葬犬骨

埋葬犬骨（土坑墓）はD-54区とD-55区で１基ずつ検出した。D-54区（SK80）では１体埋葬、D-57

区（SK55）では３体同時埋葬されている。SK55については土壌ごと切り取り、保存処理を東北歴史博物館に委託した。

【SK55埋葬犬骨】

［位置］D-57区西側（第53・77図）

［検出面］Ⅵc層（南３層群）

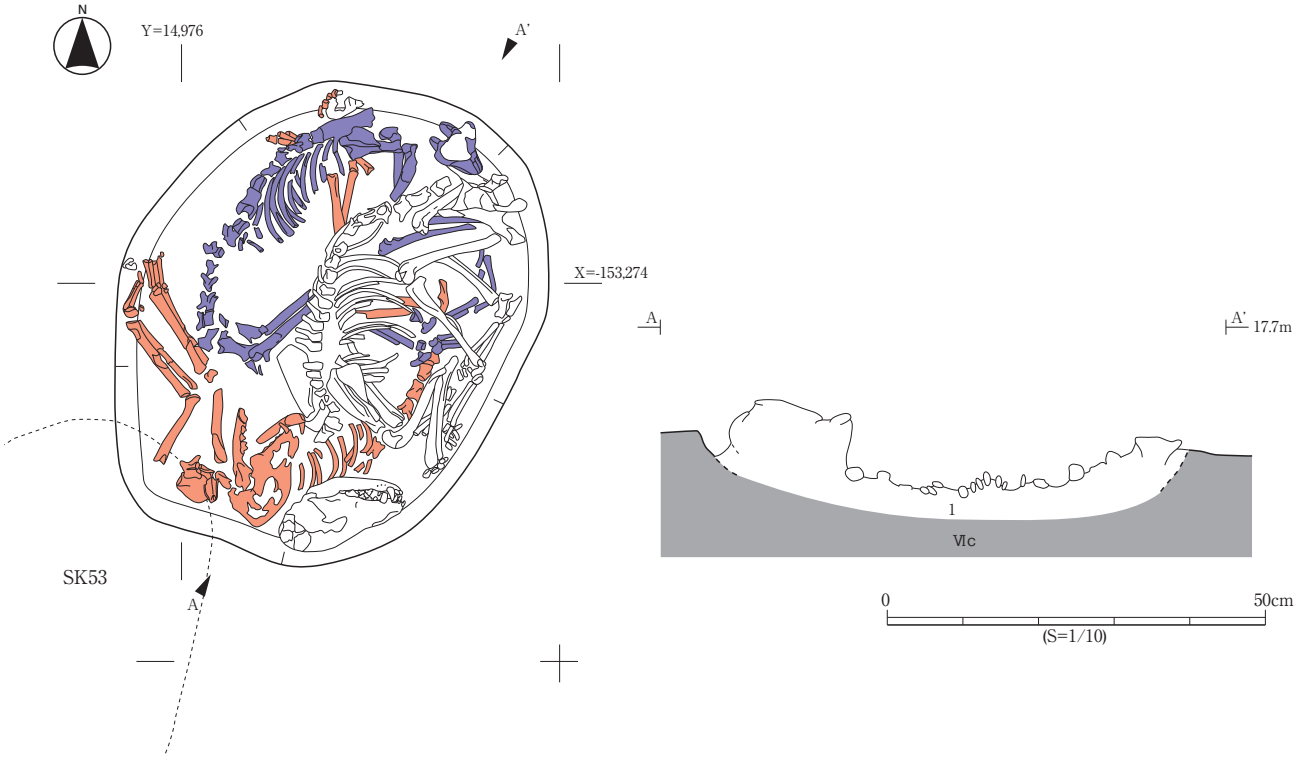
［重複］SK53土坑墓と重複し、これよりも古い。

［規模・構造］平面形は、長径67cm×短径53cmの楕円形である。残存する深さは13cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦になるとみられる。壁は緩やかに立ち上がり、断面形は浅い皿形である。

［埋土］１層確認し、Ⅹ層起源の小礫を多く含み、Ⅸ層起源の地山ブロックや炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトである（第77図）。

［埋葬遺体］若犬１体（３、第77図青）、若～成犬１体（１、同図白）、成犬１体（２、同図赤）のあわせて３体埋葬されている。埋土の差異や掘削による遺体の人為的な破損が見られないことから、ほぼ同時に埋葬されたとみられる。埋葬の順序は２→３→１である。２は右側を上にした姿勢で、頭部は南に位置し、頭部を背側に反転させて胸部へ乗せている。椎骨は南西から北東へ並ぶ。前肢・後肢ともに伸展している。３は右側を上にした姿勢で、頭部は北東に位置し、椎骨が北東から南西へ並ぶ。前肢はやや屈曲し、後肢は前肢の先に向けて伸展している。１は左側を上にした姿勢で、頭部は南に位置し、椎骨が南から北東へ屈曲するように並ぶ。前肢は強く屈曲し、後肢を胸部へ伸ばしている。なお、それぞれの埋葬骨の詳細については分析編第２章を参照のこと。



調査区 / 遺構	層	序	土 色	土 性	特 徴
SK55	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量、地山（Ⅸ層）ブロック・炭化物粒少量 【埋土】

第77図　SK55埋葬犬骨　平面図・断面図

［出土遺物］縄文土器が出土している。

【SK80埋葬犬骨】

［位置］D-54区北側（第78図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

［重複］なし。

［規模・構造］掘り方は不明である。埋葬骨は長軸48cm、短軸36cmの範囲に分布する。高さは12cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦である。

［埋土］埋葬骨の周囲にⅨ層起源の地山粒や炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトが堆積しており、埋土とみられる（第78図）。

［埋葬遺体］成～老犬が１体埋葬されている。左側を上にした姿勢で、頭部は北東に位置し、北で36°東へ偏する。椎骨が北東から南西へ並ぶ。前肢は強く屈曲し、後肢は軽く曲げた状態で前肢の方向に向く。なお、埋葬骨の詳細については分析編第２章を参照のこと。

［出土遺物］縄文土器深鉢や剥片が出土している。

（5）土坑、ピット

土坑はD-68区で２基（SK41・93）検出した（第79図）。検出面はいずれも地山（Ⅸ層）である。平面形は円形や不整円形で、直径1.4m以上ある。断面形はいずれも深さ0.2mの浅い皿形で、堆積土はすべて自然堆積土である。遺物はSK41から縄文土器深鉢などが出土している。また、SK41の周囲で直径10～14cm、深さ８～22cmの小穴を６個検出した。なお、土坑の諸属性を第９表にまとめた。

（6）自然流路跡

D-74区で１条検出した。

【SX205自然流路跡】

［位置］D-74区北西側（第53図）

［検出面］Ⅵb層（南2A層群）

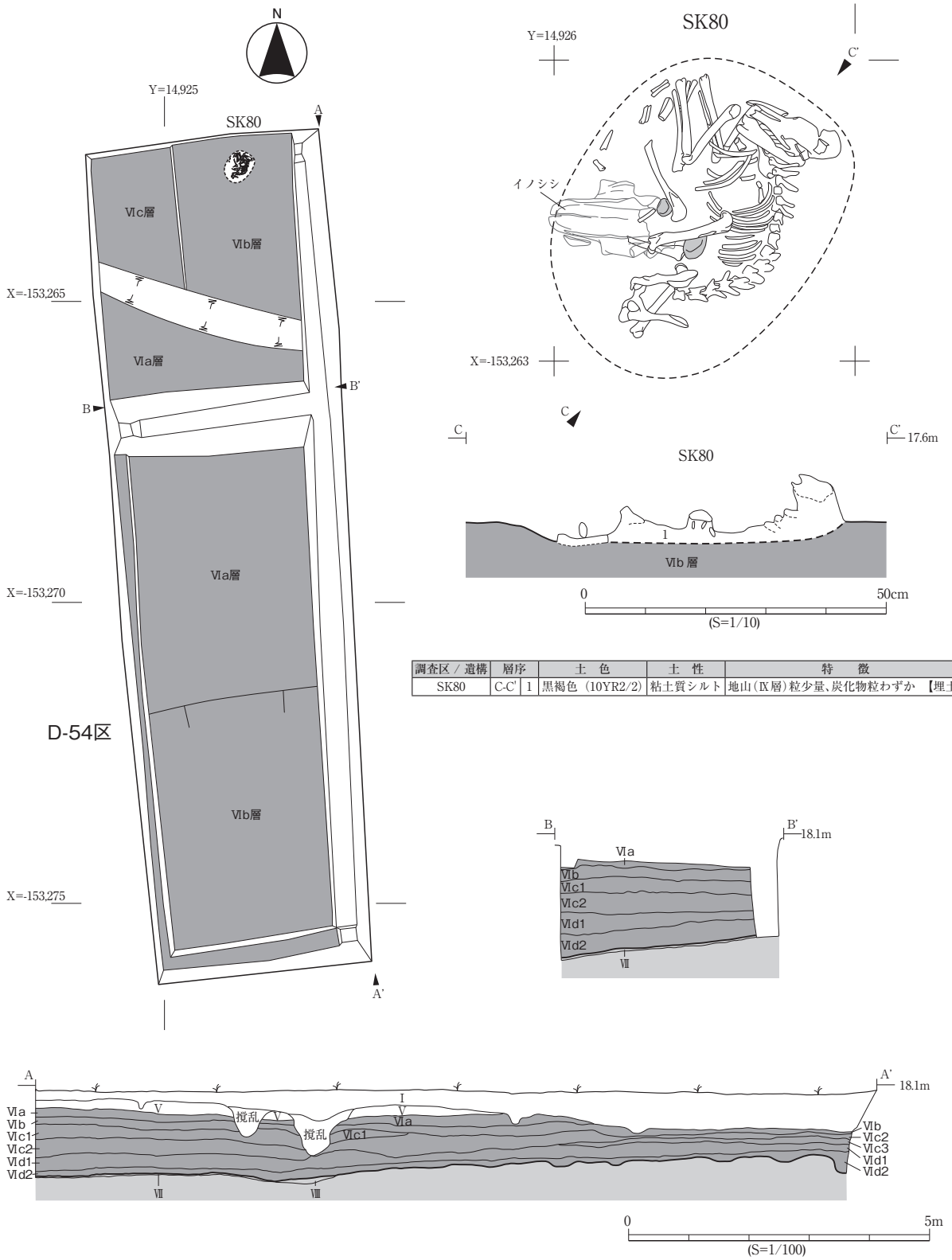
［重複］SK71・72・75土坑墓と重複し、SK75より新しく、SK71・72よりも古い。

［規模］検出長6.6m、上幅1.5m以上ある。遺構確認に止めたため、下幅や深さ、断面形は不明である。

［方向］東で北に25°偏する。

［堆積土］Ⅸ層起源の地山ブロックやスクモ、火山灰？ブロックを多く含む黒色粘土質シルトが自然堆積している。その後、SX205の窪みにⅥa層が堆積したものとみられる。

［出土遺物］Ⅵa層として認識して遺物を取り上げたため、SX205に帰属できる遺物は不明である。



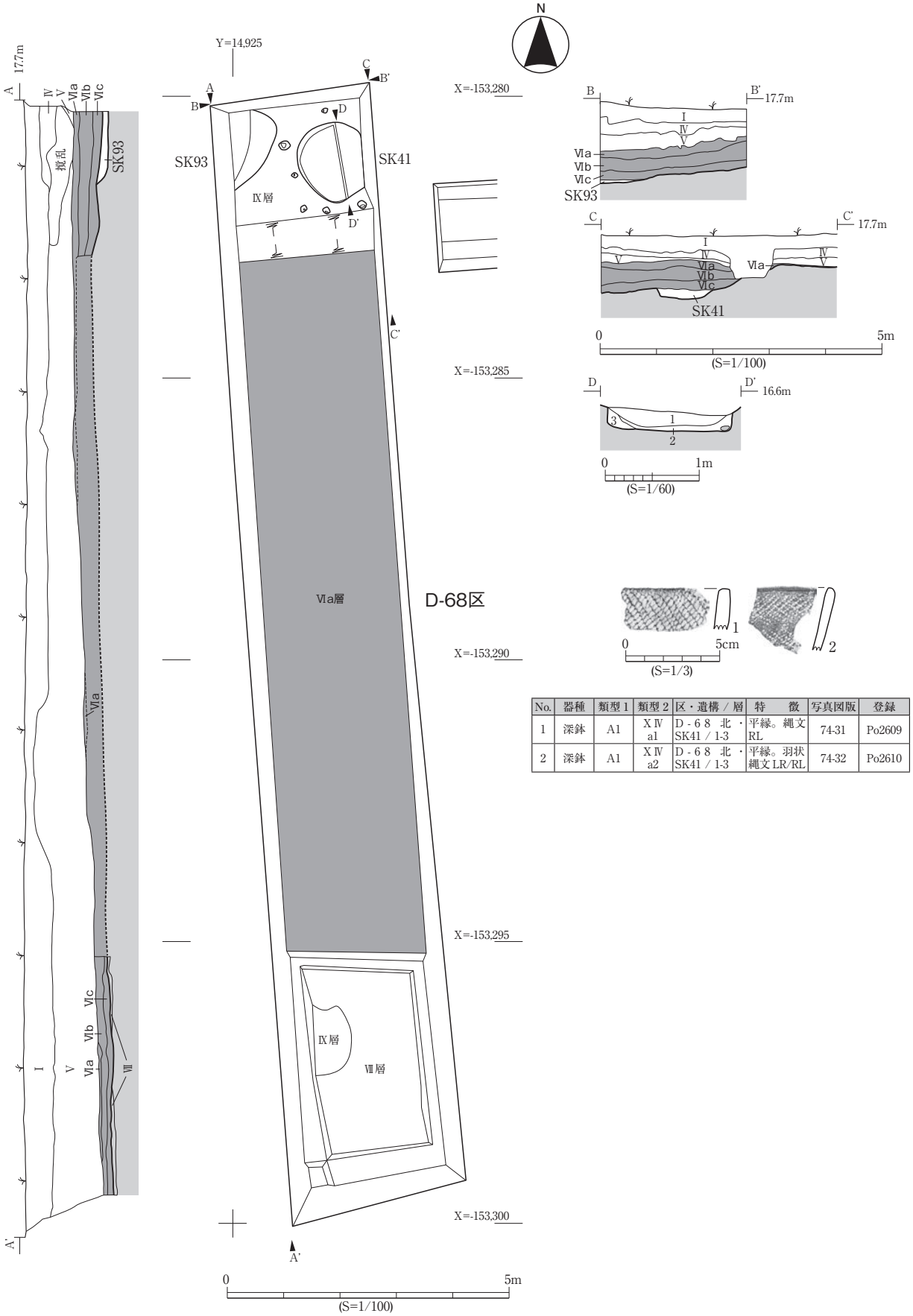
調査区 / 遺構	層序		土　色	土　性	特　　徴
SK80	C-C'	1	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒少量、炭化物粒わずか　【埋土】

調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　　徴
D-54 区	A-A' B-B'	Ⅵ a	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）大ブロック多量
		Ⅵ b	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック多量、スクモ多量
		Ⅵ c1	黒褐色（10YR3/1）	粘土	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、スクモ少量
		Ⅵ c2	黒色（10YR2/1）	砂質シルト	
		Ⅵ c3	黒色（10YR1/2）	粘土質シルト	炭化物粒やや多量
		Ⅵ d1	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	炭化物ブロックを層状に含む
		Ⅵ d2	黒色（5Y2/1）	粘土	層下部に凝灰岩（Ⅹ層）大ブロック層を層状に含む

第78図　D-54区（SK80埋葬犬骨）　平面図・断面図

第８表　C丘陵頂部・南斜面　土坑墓一覧

遺構名	検出面			埋葬遺体	埋葬姿勢（ヒトのみ）	埋設土器（位置）	平面形	断面形	大きさ (cm)	深さ (cm)	方向			出土遺物	備考	挿図番号	
	調査区	層位	大別層								土坑	遺体	頭部位置			平面	断面
SK44	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬	四脚付鉢（頭部）、鉢（脚部）	長楕円形	皿形～逆台形	133 × 55	32	N-45-E	E-36-N	NE	縄文土器四脚付鉢（埋設土器）・鉢（埋設土器）・深鉢、円盤状土製品、石錐 1、石皿 2、磨石 2、石棒 1、剥片 12		55	56
SK46	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬	なし	円形	皿形	75 × 66	25	E-30-N	E-24-N	E	縄文土器深鉢・浅鉢、円盤状土製品、不定形石器 1、独鈷石 1、剥片 4		59	59
SK47	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1 か	-	四脚付鉢（頭部か）	長楕円形	逆台形	128 × 67	26	E-41-N	-	NE か	縄文土器四脚付鉢（埋設土器）、縄文土器		61	62
SK48	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬か	鉢（頭部）	長楕円形	逆台形	125 × 55	17	N-38-E	-	NE	縄文土器鉢（埋設土器）、剥片 1		61	62
SK49	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1 か	-	鉢（不明）	-	逆台形	幅 57 以上	25	-	-	-		断面での検出	61	62
SK51	D-57 西	Ⅵ c	南 3	ヒト 1 か	-	鉢（不明）	-	逆台形	幅 38 以上	22	-	-	-	縄文土器鉢（埋設土器）	断面での検出。SK52 → SK51	64	54
SK52	D-56 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1 か	-	鉢（不明）	楕円形	皿形	108 以上× 19 以上	18	-	-	-		SK52 → SK51	64	64
SK53	D-57 西	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬	鉢（頭部）	長楕円形	箱形	91 以上× 53 以上	20	N-31-E	E-43-N	NE	縄文土器鉢（埋設土器）、不定形石器 1、石皿 1、磨石 1、剥片 5	SK55 → SK53	66	66
SK54	D-57 西	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	右下側臥屈葬	なし	長楕円形	-	141 × 61	-	E-8-N	-	W	縄文土器深鉢・浅鉢、磨石 1		68	-
SK55	D-57 西	Ⅵ c	南 3	イヌ 3	-	なし	楕円形	皿形	67 × 53	13	E-44-N	(N-34-E) → (N-27-E) → (N-26-E)	S → N → S	縄文土器	SK55 → SK53	77	77
SK56	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	仰臥屈葬	なし	楕円形	-	110 × 78	-	E-23-N	-	W	縄文土器	SK57 → SK56	69	-
SK57	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	なし	隅丸長方形	-	128 × 61 以上	-	E-8-N	-	W	縄文土器鉢・皿	SK57 → SK56 SK57 → SK58	69	-
SK58	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	仰臥屈葬	なし	隅丸長方形	-	111 × 66	-	E-5-N	E-10-N	E	なし	SK57 → SK58	69	-
SK59	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	なし	長楕円形	-	103 × 61	-	N-32-E	-	SW	なし		69	-
SK60	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	仰臥屈葬	なし	長楕円形	皿形	127 × 71	15	E-19-N	E-18-N	W	縄文土器深鉢・浅鉢・注口土器、石錐 1、不定形石器 2、磨石 1、凹石 1、剥片 9		71	71
SK61	D-57 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	仰臥屈葬か	なし	長楕円形	-	114 × 58	-	E-2-N	-	W	なし		72	-
SK63	D-59 南	Ⅵ d	南 5	イヌ 1	-	なし	円形	皿形	径 50	8	E-20-N	E-4-N	S	縄文土器深鉢、磨石 1、石核 1、剥片 2		17	17
SK67	D-74 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1 か	-	鉢（頭部か）	長楕円形	-	117 × 57	16 以上	E-14-N	-	E か	縄文土器壺		73	73
SK68	D-74 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	不明	長楕円形	-	89 以上× 59 以上	-	N-27-W	-	NW	なし		73	-
SK69	D-74 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	不明	隅丸長方形	-	74 以上× 55 以上	-	N-10-W	-	N	なし	SK69 → SK70	73	-
SK70	D-74 東	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	なし	楕円形	-	85 × 58	-	N-11-W	-	N	なし	SK69 → SK70	73	-
SK71	D-74 西	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	仰臥屈葬	なし	長楕円形	-	77 以上× 63	-	N-17-W	N-30-W	NW	縄文土器深鉢・浅鉢	SX205 → SK71	74	-
SK72	D-74 西	SX205 堆積土	-	ヒト 1	-	なし	楕円形	-	76 以上× 67	-	N-7-W	-	N	縄文土器深鉢・浅鉢、磨石 1	SX205 → SK72	74	-
SK73	D-74 西	Ⅵ a	南 1	ヒト 1	-	なし	楕円形	-	74 以上× 66	-	N-3-W	-	N	縄文土器深鉢・皿、剥片 1		74	-
SK74	D-74 南	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	-	なし	-	逆台形	54 以上× 53	24 以上	N-44-E	-	NE	なし		76	54
SK75	D-74 西	Ⅵ c	南 3	ヒト 1	-	鉢（頭部）	楕円形か	逆台形	79 以上× 33 以上	16 以上	-	-	N		SK75 → SX205	75	54
SK76	D-57 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬	不明	-	逆台形	44 以上× 58	34 以上	E-10-N	-	W	なし	SK77 → SK76	72	54
SK77	D-57 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	-	不明	-	逆台形	41 以上× 37 以上	25 以上	-	-	W	縄文土器	SK77 → SK76 SK77 → SK78	72	54
SK78	D-57 東	Ⅵ b	南 2A	ヒト 1	仰臥屈葬か	鉢（頭部）	長楕円形か	-	68 以上× 44 以上	27 以上	-	-	W	なし	SK77 → SK78	72	72
SK80	D-54 北	Ⅵ b	南 2A	イヌ 1	-	なし	-	-	-	-	-	N-36-E	NE	縄文土器深鉢、剥片 2	掘り方不明	78	78



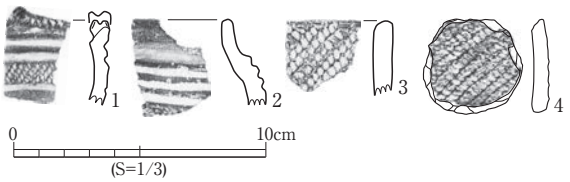
No.	器種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣ a1	D - 6 8　北 ・ SK41 / 1-3	平縁。縄文 RL	74-31	Po2609
2	深鉢	A1	XⅣ a2	D - 6 8　北 ・ SK41 / 1-3	平縁。羽状縄文 LR/RL	74-32	Po2610

調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　徴
D-68 区	A-A' B-B' C-C'	Ⅵ a	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）粒少量、スクモ多量
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）粒中量、炭化物粒・スクモ少量
		Ⅵ c	黒褐色（10YR3/1）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）大ブロック多量
SK93	A-A'	1	褐灰色（10YR4/1）	砂混じり粘土	地山（Ⅸ層）ブロック少量
SK41	D-D'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック中量、炭化物ブロックを層状に少量含む　【堆積土】
		2	黒褐色（10YR3/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、炭化物粒少量　【堆積土】
		3	褐灰色（10YR4/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロック多量　【堆積土】

第79図　D-68区（SK41・93土坑）　平面図・断面図、SK41土坑　出土遺物

第９表　土坑　一覧

遺構名	検出面			平面形	断面形	大きさ (m)	深さ (m)	堆積土	出土遺物	備考	挿図番号	
	調査区	層位	大別層								平面	断面
SK41	D-68 北	Ⅸ	-	円形	皿形	1.4 × 1.2 以上	0.2	自然	縄文土器深鉢、磨石 1		79	79
SK64	D-59 南	Ⅵ d	南 5	楕円形	皿形	0.8 以上× 0.6 以上	0.2	自然	縄文土器深鉢、磨石 2、石核 1	SK64 → SK65	17	17
SK65	D-59 南	Ⅵ d	南 5	円形	皿形	0.8 × 0.7	0.1	自然	縄文土器深鉢、石鏃 1	SK64 → SK65	17	17
SK66	D-59 南	Ⅵ d	南 5	円形	皿形	0.9 × 0.8	0.2	自然	縄文土器深鉢・壺、不定形石器 1、石皿 1、剥片 4		17	17
SK84	D-78 西	Ⅵ b	南 3	楕円形か	-	1.0 以上× 0.7 以上	-	自然			11	11
SK92	D-62	Ⅵ a	北 1A	不整円形	皿形	3.1 × 2.6 以上	0.4	自然	縄文土器深鉢・台付鉢・四脚付鉢・浅鉢・壺、円盤状土製品、土偶、石鏃 2、石箆 1、楔形石器 1、不定形石器 1、石皿 2、磨石 5、剥片 38		183	183
SK93	D-68 北	Ⅸ	-	不整円形か	皿形	1.5 以上× 0.9 以上	0.2	自然			79	-
SK94	D-59 南	Ⅵ c	南 3	楕円形か	逆台形	0.8 以上× 0.8 以上	0.5	自然			17	17
SK95	D-53 北	Ⅵ a	南 1	円形	-	径 0.4	-	自然			20	-
SK96	D-53 北	Ⅵ a	南 1	楕円形	-	0.8 × 0.4	-	自然		SK97 → SK98 → SK96	20	-
SK97	D-53 北	Ⅵ a	南 1	楕円形か	-	0.4 以上× 0.3 以上	-	自然		SK97 → SK98 → SK96	20	-
SK98	D-53 北	Ⅵ a	南 1	円形	-	径 0.3	-	自然		SK97 → SK98 → SK96	20	-
SK101	D-53 北	Ⅸ	-	円形か	-	径 0.3	-	自然			20	-
SK102	D-53 北	Ⅵ b	南 2A	不整円形か	-	径 0.4	-	自然		SK103 → SK102	20	20
SK103	D-53 北	Ⅸ	-	不整円形か	-	径 0.4 以上	-	自然		SK103 → SK102	20	-
SK104	D-79 東	Ⅸ	-	円形	皿形	0.7 × 0.6	0.2	自然	磨石 1	SK104 → SK105	12	13
SK105	D-79 東	Ⅵ b	南 2B	円形	皿形	径 0.7	0.2	自然	剥片 2	SK104 → SK105	12	13



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1cdf	Ⅶ	D-74 / 確認面	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）か。前々段多条縄文 LR	74-33	Po2934
2	鉢	C1	XⅡx	D-74 / 確認面	平縁。平行沈線文。縄文 LR か。内外面赤彩	74-34	Po2935
3	深鉢	A1	XⅣa1	D-74 / 確認面	平縁。縄文 LR	74-35	Po2933

No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
4	円盤状土製品	D-74/ 確認面	長さ 37.7mm、幅 39.5mm、厚さ 6.5mm。縄文 RL。剥離	74-36	CO2937

第80図　C丘陵南斜面遺構群　遺構確認面　出土遺物

（7）その他の出土遺物

遺構確認面出土として取り上げた遺物を第80図にまとめて提示した。

B. 遺物包含層

C丘陵突端部付近では黒色～黒褐色を呈する粘土～粘土質シルトを主体とするⅥ層が堆積している。この層に縄文時代晩期を中心とした土器や石器などの遺物が多量に含まれており、丘陵の南北斜面に広がっている状況を確認した。丘陵突端をD-58区とD-59区との間で検出し、これを境界として地形の傾斜の方向が変換することから、これより南側をC丘陵南斜面遺物包含層、北側をC丘陵北斜面遺物包含層と呼称する（第５図）。

C丘陵南斜面で検出した遺物包含層は、平成22年度の発掘調査（未報告）で検出したものも含めると２箇所となる。便宜上、丘陵の先端部からa包含層、b包含層と呼称する（第５図）。本報告ではａ包含層について記述する。

なお、本書に図を掲載した遺物の属性をすべて観察表に記しているため、本文中における遺物の個別の説明は原則として省略した。

（1）堆積状況と分布範囲

Ⅵ層をD-53・54・55・56・57・59・68・69・74・75区で検出し、縄文時代晩期を中心とした遺物が多量に含まれている状況を確認した。また、平成20年度の発掘調査ではこれらより西側のD-45区でも遺物包含層（Ⅵ層）を検出しており（宮城県教育委員会　2011）、その範囲は、東西約141m（D-45区とD-74区間の直線距離）、南北約91m（D-58区とD-69区間の直線距離）となる。なお、これらの南～西側に位置するD-44・70・73区では地表下約2.0mまでの深度でいずれもⅥ層を確認できなかった。また、D-78区東側およびD-80区北側は丘陵頂部にあたりⅥ層の堆積はなかった。

前章で記述したように、Ⅵ層は土色や土性、含有物などの特徴から各調査区で複数の層に細分され、また調査区によりⅥ層の堆積状況が異なる。これらの細分層の土性や土色、含有物などの特徴から、南斜面におけるⅥ層を南１～５層群まで７層に大別した（第３表）。さらに遺物が多く出土している範囲では、西側（D-53・54・55・59・68・69・78・79区）と東側（D-56・57・74・75・80区）でⅥ層の厚さや南4A・B層群の有無に差異が認められることから、東西２つに分けて記述する。

遺物包含層の西側では、D-78区からD-59区にかけて西に緩やかに傾斜する地形となっている。D-78区東側でⅥ層が確認される地点からD-59区南壁西端まで、直線距離で約16.0m、Ⅵ層上面での比高は約1.2m、勾配は約8%である。また、D-78区からD-69区にかけて南へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-78区東側でⅥ層が確認される地点からD-69区西壁南端まで、直線距離で約76.6m、Ⅵ層上面での比高は約2.1m、勾配は約3%である。

各調査区で検出したⅥ層は多いところで７層に細分されるが、大別層群で見ると、南４層群を除く層が堆積している。南５層群は北西部にあたるD-59区とD-53区でのみ確認し、南３・2B・2A層群は広範囲で分布が認められる。南１層群はD-53区とD-54区でのみ確認した。

東側では、D-80区でⅥ層上部が削平を受けているが、D-80区からD-74区にかけて南へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-80区南壁中央付近からD-74区西壁南端まで直線距離で約20.0m、

Ⅵ層上面での比高は約0.8m以上、勾配は約4%以上である。また、D-74区南側では東へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-74区西壁中央付近から東壁南端まで、直線距離で約13.0m、Ⅵ層上面での比高は約0.6m、勾配は約５%である。

各調査区で検出したⅥ層は多いところで14層に細分されるが、大別層群で見ると、南2B層群を除く層が堆積している。

(2) 土器

遺物包含層から出土した縄文土器は遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）換算で117箱に相当する量が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

①遺物包含層西側における土器の層位別出土状況

遺物包含層西側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で84箱に相当する量が出土している（第81～119図）。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

南５層群ではいずれの調査区も小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢がある。入組帯状文が施された瘤の付く土器（第81図５・６）が出土している。

南３層群ではいずれの調査区も中・小破片が主体であり、丘陵裾部にあたるD-59・53・54・68・55区では上層よりも出土量は少なくなる。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢・壺がある。装飾は、帯状文（第81図19・20）や入組帯状文（同図18・24）、三叉文（同図23・25～32・34、第82図５・７）、羊歯状文（第81図35、第82図１～６・８～10）、列点文（第81図14、第82図12・14・19・20・24）、雲形文（第82図21～25、第83図10～19、第84図１～10）、メガネ状浮文（第83図10・14、第84図７）、工字文（第85図13）、π字文（同図12・14）が見られる。なかでも雲形文が特に多く出土し、三叉文や羊歯状文も多く出土している。

南2B層群では、D-54区やD-55区で大破片が多く出土しているところもあるが、中・小破片が主体である。D-59区やD-68区では中・小破片が多く出土している。また、丘陵頂部に近いD-78区やD-79区では小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、帯状文に瘤の付くもの（第88図16・18）や三叉文（同図21～23）、羊歯状文（同図25・26、第89図１・２）、列点文（第89図４・５・８）、雲形文（同図２～６・12～18・21・24～27、第90図１～19・21）、メガネ状浮文（第89図３・13・15・19・20）、工字文（第93図１～３・12・13、第94図２）、π字文（第93図５～14、第94図１～５・7、第96図２・４～６）、変形工字文（第96図２・３・７）が見られる。なかでも、雲形文や工字文の施された土器が多く出土している。

南2A層群では、D-53区やD-68区北側で大破片が主体で、出土量も多い。D-54区やD-55区では中・小破片がやや多く出土し、丘陵頂部に近いD-79区でも中・小破片がやや多く出土している。丘陵裾部から離れたD-68区南側やD-69区では小破片が主体となり、丘陵から離れるにつれて出土量は少なくなる。器種は深鉢や台付深鉢、鉢、浅鉢、台付浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍

土器深鉢・鉢・浅鉢がある。また、製塩土器（深鉢）（第108図８）や漆容器（鉢）（同図18）が出土している。装飾は、列点文（第99図５）や雲形文（同図３・８～17、第100図１～８・10・12・13）、メガネ状浮文（第99図６・７・10・11）、工字文（第102図11～16）、π字文（同図17・18、第103図１～３・６～19、第104図３、第106図７～19、第107図２・３・９・10・14）、変形工字文（第103図８・11、第106図17～19、第107図１～11・13・14・16）が見られる。雲形文や工字文、π字文、変形工字文の施された土器が多く出土しているが、雲形文の割合は南2B層群に比べて小さくなり、工字文やπ字文、変形工字文の割合が大きくなる。

南１層群では、いずれの調査区でも大破片が主体となり、出土量も非常に多い。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢がある。また、製塩土器（深鉢）（第119図７）が出土している。装飾は、雲形文（第110図14、第111図１～18・20・21）やメガネ状浮文（第110図13、第111図２・14、第113図8～11）、工字文（第113図12～15、第114図１～10）、π字文（第114図８・11～19、第115図１～10、第117図７～12、第118図２）、変形工字文（第117図７～12、第118図１・２）が見られる。

②遺物包含層東側における土器の層位別出土状況

遺物包含層東側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で33箱に相当する量が出土している（第120～129図）。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

南５層群および南4A・4B層群はD-57区でのみ検出した。調査区壁沿いに掘削した幅0.3～0.7m程度の幅の狭いトレンチ調査であったため、包含状況の詳細は不明である。ただし、Ⅵm層（南５層群）からは完形の土器が複数出土している。

南５層群からは、深鉢や鉢、壺、台付壺、注口土器が出土している。装飾は、瘤の付くもの（第120図３～５・７）や帯状文（同図３～５・７・15～17）、入組帯状文（同図６・８～11）が見られる。

南4B層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、皿、台付皿、台部、注口土器が出土している。装飾は、帯状文（第121図15・16）や入組帯状文（同図９～11）、羊歯状文（同図23、第122図１）が見られる。

南4A層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、皿、注口土器が出土している。装飾は、三叉文（第122図14・15）や列点文（同図16）が見られる。

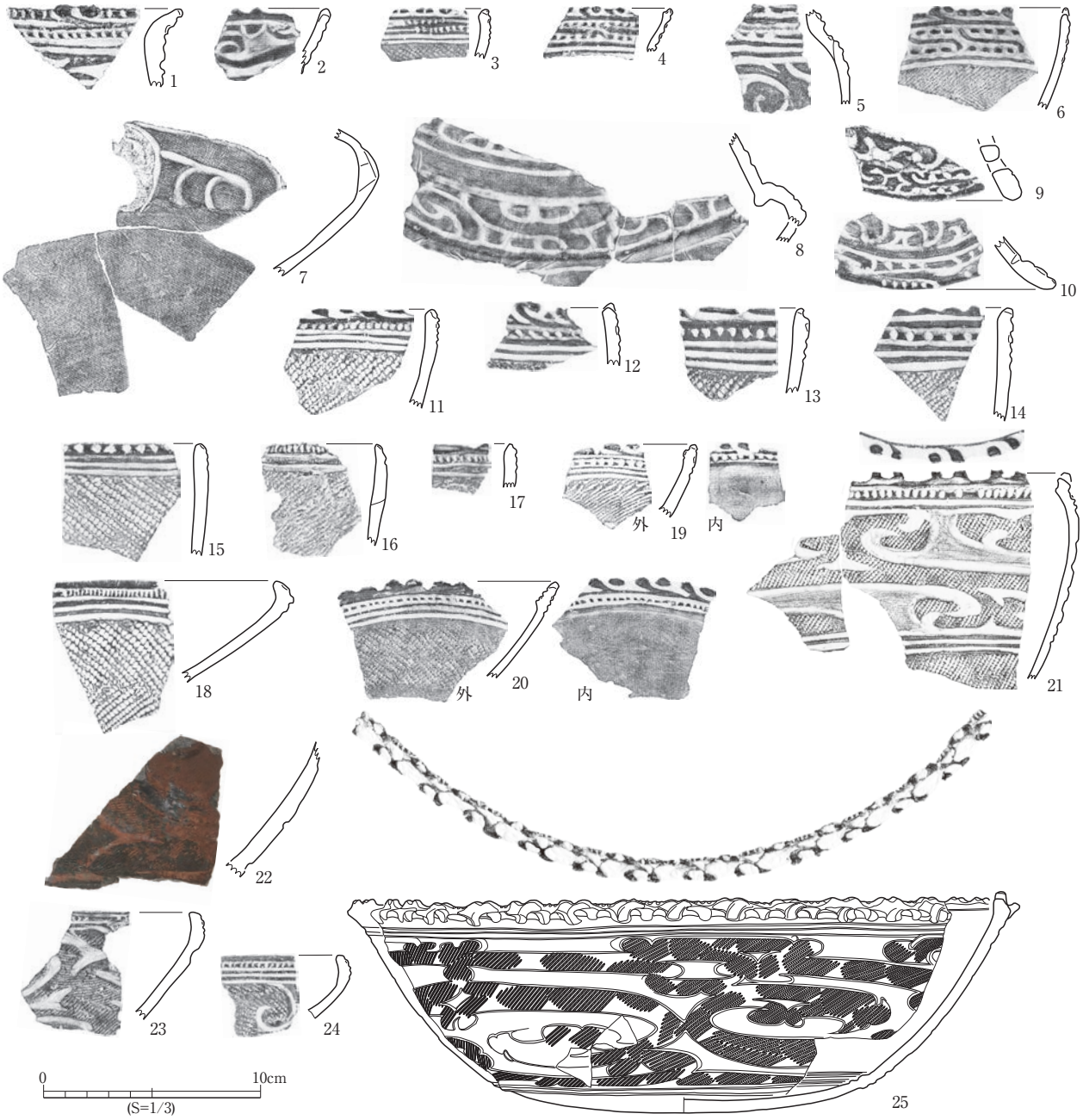
南３層群～南１層群は、西側と比べていずれの調査区においても破片が小さく、出土量も少ない。

南３層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器のほかに袖珍土器深鉢・鉢が出土している。装飾は、帯状文（第123図１）、羊歯状文（同図２・３・５・９）、列点文（同図４・６・８・10・13・14・17～20、第124図６・10）、雲形文（第123図21・22、第124図１～６・８・９、第125図３～９）が見られる。列点文や雲形文が多く出土するようになる。

南2A層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器が出土している。装飾は、羊歯状文（第126図９）、雲形文（同図10、第127図２～12）、メガネ状浮文（第127図12）、工字文（同図16、第128図３・４）、π字文（第127図14～16、第128図１・２・７・８・10・11）、変形工字文（第128図８～10）が見られる。工字文やπ字文が多く出土するようになる。

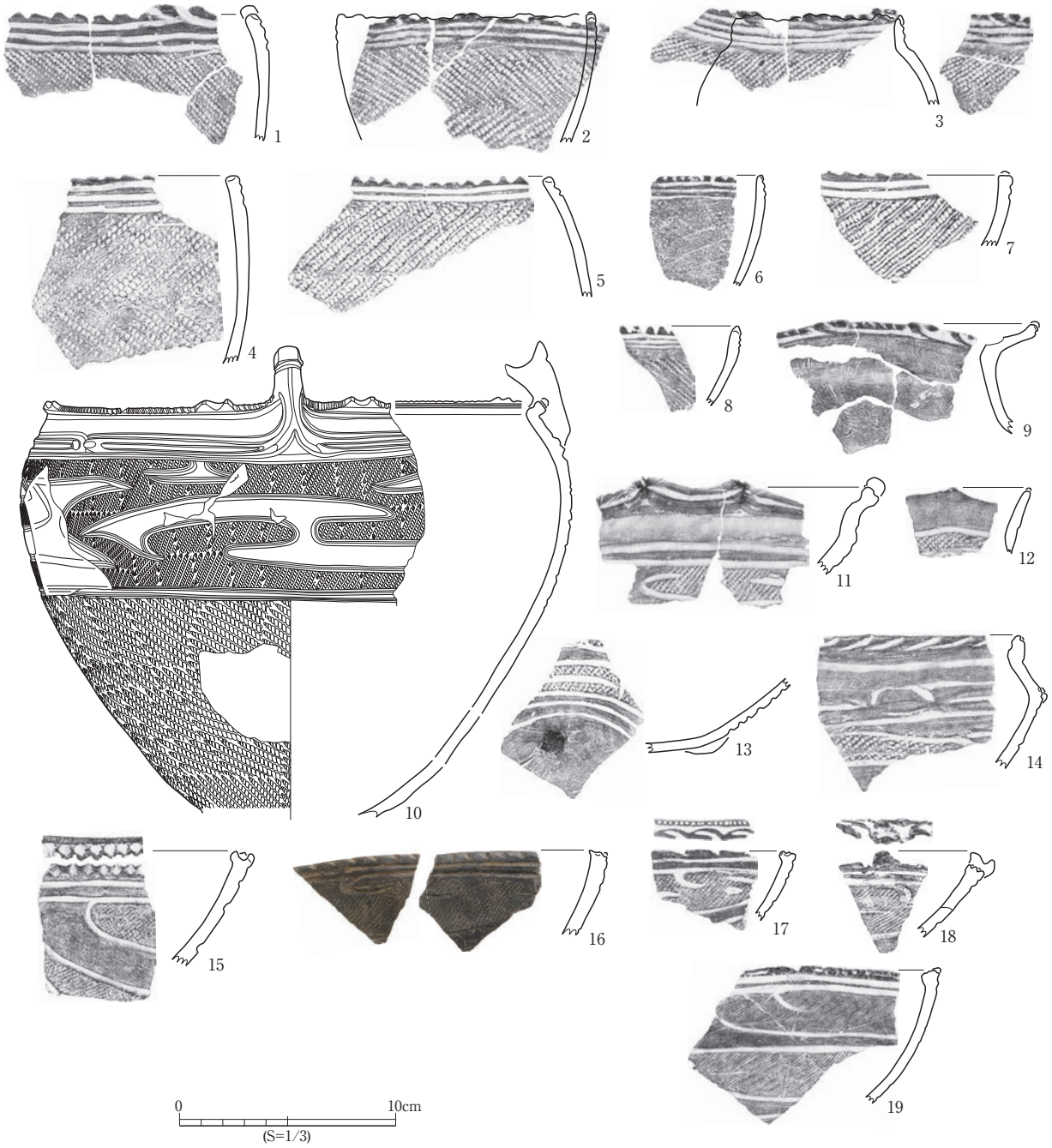
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	-	-	南 5	D-59 / Ⅵ g	粘土紐貼付 + ヘラ刻目。結節縄文 LR	75-1	Po1261
2	深鉢	A3	-	南 5	D-53 南 / Ⅵ d1・2	波状縁。沈線文。縄文 LR	75-2	Po33
3	深鉢	A2d	-	南 5	D-59 / Ⅵ f	平縁 + 円形突起。沈線文。縄文 R	75-3	Po1268
4	深鉢	-	-	南 5	D-59 / Ⅵ g	平行沈線文、平行沈線文（縦位）+ 刺突列、縄文 LR	75-4	Po1265
5	深鉢	-	Ⅱ Ba	南 5	D-59 / Ⅵ g	入組帯状文（縄文）+ 貼瘤（頂部刻み）。縄文 RL。内面炭化物付着	75-5	Po1264
6	深鉢	-	Ⅱ Ba	南 5	D-59 / Ⅵ e	入組帯状文（縄文）+ 貼瘤（頂部刻み）。縄文 L	75-6	Po1272
7	深鉢	A1	-	南 5	D-59 / Ⅵ d・e	平縁。条線文	75-7	Po1273
8	鉢	A1	X V	南 5	D-59 / Ⅵ d	平縁	75-8	Po1275
9	深鉢	A1	X Ⅲ	南 5	D-59 / Ⅵ e	平縁。沈線文	75-9	Po1271
10	深鉢	A1c	X Ⅳ a1	南 5	D-59 / Ⅵ e	平縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	75-10	Po1270
11	深鉢	A1	X Ⅳ a1	南 5	D-59 / Ⅵ g	平縁。縄文 RL	75-11	Po1263
12	鉢	A1	X Ⅳ a1	南 5	D-59 / Ⅵ d	平縁。縄文 LR	75-12	Po1274
13	深鉢	A1	X Ⅳ a2	南 5	D-59 / Ⅵ f	平縁。羽状縄文 L/RL	75-13	Po1269
14	深鉢	A1	-	南 3	D-54 北 / Ⅵ d	平縁。列点文か	75-14	Po178
15	深鉢	-	-	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	縦位の隆帯、縄文 L	75-15	Po180
16	鉢か	A3	-	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1・2	波状縁。刺突文、沈線文	75-16	Po39
17	袖珍土器壺	F2	X V	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	口径（3.2cm）、器高 3.5cm、底径 1.1cm。波状縁。底部ナデ	75-17	Po2638
18	深鉢	A1e	Ⅱ a	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。入組帯状文（磨り消し縄文）。縄文 LR	75-18	Po42
19	深鉢	A3e	Ⅰ c	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	波状縁か + 山形突起（頂部刻み）。帯状文（櫛歯状刻目）	75-19	Po1304
20	鉢	A1f	Ⅰ c	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	平縁 + 山形突起。帯状文（櫛歯状刻目）	75-20	Po189
21	鉢	A1d	X Ⅲ	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR	75-21	Po1305
22	深鉢	-	-	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	装飾的突起 + 貫通孔、縄文 LR	75-22	Po1296
23	鉢	-	Ⅲ a	南 3	D-53 北 / Ⅵ c	装飾的突起。魚眼状三叉文。縄文 LR	75-23	Po26
24	深鉢	A2	Ⅱ a?	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	波状縁。入組帯状文（縄文）か。縄文 LR	75-24	Po2611
25	鉢	A3	Ⅲ a	南 3	D-59 / Ⅵ c・e+ Ⅵ b・c	波状縁。魚眼状三叉文、沈線文。縄文 LR	75-25	Po1309
26	深鉢	A3	Ⅲ o	南 3	D-53 北 / Ⅵ c	波状縁。弧状沈線文、三叉文、沈線文。縄文 LR	75-26	Po25
27	注口土器	A	Ⅲ b	南 3	D-59 / Ⅵ c・e+ Ⅵ b・c+ Ⅵ a2+ Ⅵ a1-e	体部最大径 14.6cm。玉抱き三叉文、沈線文。底部付近に環状沈線文。底部にボタン状突帯	75-59	Po1295
28	香炉形土器か	-	Ⅲ b	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1・2	沈線文、玉抱き三叉文	75-27	Po41
29	注口土器	-	Ⅲ o	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	三叉文	75-28	Po181
30	浅鉢	A1	Ⅲ c	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	平縁。入組三叉文、平行沈線文	75-31	Po2612
31	浅鉢	A1	Ⅲ b	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	口径（23.4cm）。平縁。玉抱き三叉文、平行沈線文	75-29	Po1289
32	蓋	-	Ⅲ a	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1・2	径 2.9cm。底部に環状沈線文、魚眼状三叉文、環状沈線文	75-30	Po79
33	台部か	-	-	南 3	D-59 / Ⅵ b	透かし彫りを伴う入組文か	75-32	Po1317
34	深鉢	A1d	Ⅲ c	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁 + 押圧。入組三叉文、平行沈線文。縄文 LR	75-33	Po2781
35	鉢	A1df	Ⅳ	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。沈線文、羊歯状文、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	75-34	Po1300

第81図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（1）



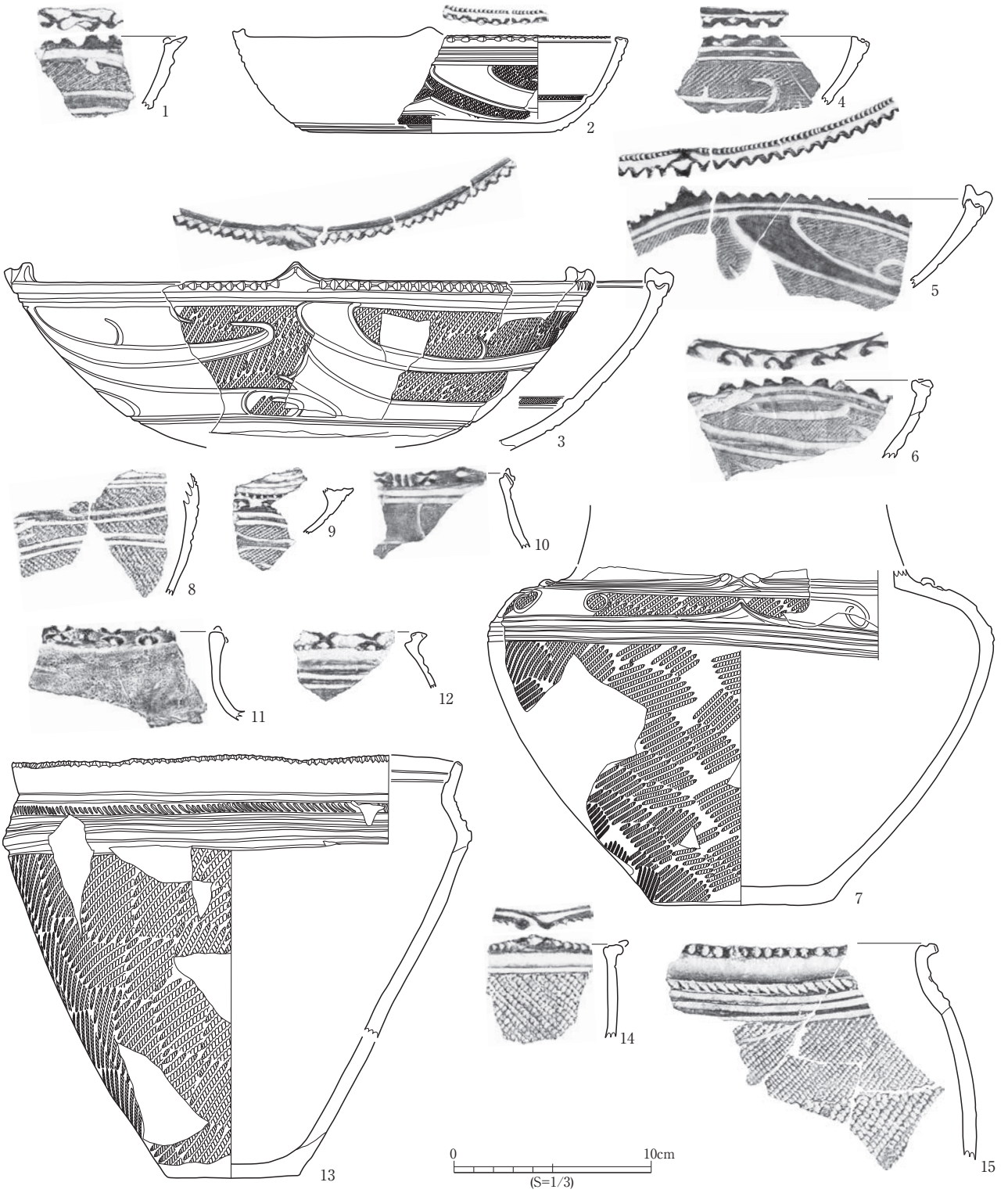
No.	器　種	類型1	類型2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	B1df	Ⅳ	南3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。平行沈線文＋ヘラ刻目、羊歯状文	75-35	Po190
2	浅鉢	A1f	Ⅳ	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋二個一対の小突起。羊歯状文	75-36	Po2777
3	鉢	A1cd	Ⅳ	南3	D-68 北 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目＋連続弧状沈線文。羊歯状文、平行沈線文。縄文 RL	75-37	Po2613
4	鉢	A1c	Ⅳ	南3	D-59 / Ⅵ b・c	平縁＋連続弧状沈線（羊歯状）。羊歯状文、平行沈線文	75-38	Po1313
5	鉢	-	Ⅲ c+ Ⅳ	南3	D-68 北 / Ⅵ c	羊歯状文か、平行沈線文、入組三叉文か	75-39	Po2617
6	鉢	A1df	Ⅳ	南3	D-59 / Ⅵ c・e	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋沈線文（羊歯状）。羊歯状文、沈線文。羽状縄文 LR/RL	75-40	Po1299
7	注口土器	-	Ⅲ c	南3	D-59 / Ⅵ c・e+ Ⅵ a1-e	入組三叉文	75-41	Po1291
8	注口土器	-	Ⅳ	南3	D-59 / Ⅵ c・e	羊歯状文、平行沈線文、羊歯状文、平行沈線文	75-43	Po1308
9	台部	-	Ⅳ	南3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	透かし彫りを伴う入組文、羊歯状文	75-42	Po182
10	台部	-	Ⅳ	南3	D-59 / Ⅵ b	透かし彫りを伴う入組文、盲孔 2、羊歯状文	75-45	Po1316
11	鉢	A1cd	Ⅹ Ⅱ b	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目＋連続弧状沈線文。刺突列、平行沈線文。縄文 LR	75-44	Po3324
12	鉢	A1df	Ⅴ	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起（羊歯状）。列点文、平行沈線文。縄文原体不明	75-46	Po2774
13	深鉢	A1cd	Ⅹ Ⅱ b	南3	D-68 北 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目＋連続弧状沈線文。刺突列、平行沈線文。縄文 LR	75-47	Po2614
14	深鉢	B1	Ⅴ	南3	D-68 北 / Ⅵ c	波状縁＋ヘラ刻目。平行沈線文＋列点文、平行沈線文。縄文 LR	75-48	Po2631
15	深鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ x	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 RL。外面炭化物付着	75-49	Po2764
16	深鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ x	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋櫛歯状刻目。平行沈線文。縄文 L	75-50	Po2765
17	鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ a	南3	D-53 北 / Ⅵ c	平縁＋押圧。ヘラ刻目、平行沈線文	75-51	Po28
18	Ⅲ	A1	Ⅹ Ⅱ a	南3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	平縁。平行沈線文＋櫛歯状刻目、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	75-53	Po195
19	鉢	A1cf	Ⅴ	南3	D-54 北 / Ⅵ d2	平縁＋弧状沈線文＋二個一対の小突起。列点文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面列点文	75-52	Po174
20	浅鉢	A1bdf	Ⅴ	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋羊歯状浮線文。列点文、平行沈線文。前々段多条縄文 RL。口縁部内面列点文	75-54	Po2784
21	鉢	A1f	Ⅶ	南3	D-53 南 / Ⅵ c1+b1・2	平縁＋二個一対の小突起。ヘラ刻目、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。内面沈線	75-55	Po43
22	Ⅲ	-	Ⅶ	南3	D-59 / Ⅵ c	雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内外面赤彩	75-56	Po1311
23	浅鉢	A1	Ⅶ	南3	D-54 南 / Ⅵ d1・2	平縁。平行沈線文＋櫛歯状刻目、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	75-57	Po202
24	Ⅲ	A1	Ⅴ＋Ⅶ	南3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁。平行沈線文＋列点文、平行沈線文、鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	75-58	Po2795
25	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南3	D-68 南 / Ⅵ c	口径(29.6cm)、器高 10.3cm、丸底。平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋羊歯状浮線文＋櫛歯状刻目。平行沈線文、雲形文(磨り消し縄文)、平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR+R 附加条。口縁部内面沈線、体部下半内面平行沈線文	75-60	Po2779

第82図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（2）



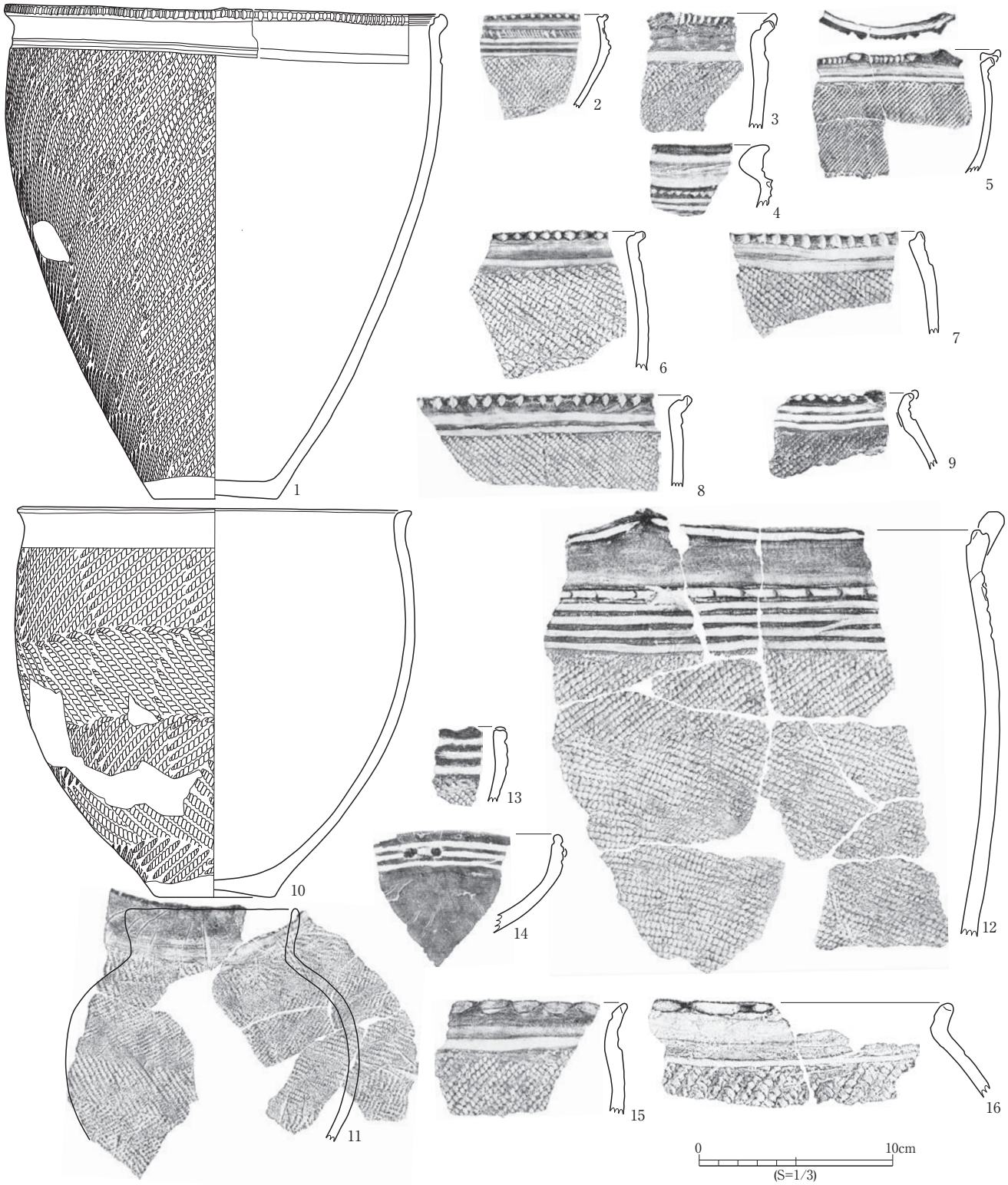
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1df	XⅡx	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の突起（羊歯状）。平行沈線文。縄文 RL	76-1	Po2632
2	鉢	A1df	XⅡx	南 3	D-68 南 / Ⅵc+ Ⅵb	口径（12.0cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	76-2	Po2803
3	深鉢	A1df	XⅡx	南 3	D-68 南 / Ⅵc	口径（7.8cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。平行沈線文。縄文 LR	76-3	Po2762
4	深鉢	A2	XⅡx	南 3	D-54 南 / Ⅵd1・2	波状縁。平行沈線文。羽状縄文 LR/RL	76-4	Po213
5	深鉢	A2	XⅡx	南 3	D-54 北 / Ⅵd 1・2	波状縁。平行沈線文。縄文 LR	76-5	Po186
6	鉢	A2	XⅡx	南 3	D-68 北 / Ⅵc	波状縁。平行沈線文。縄文 LR	76-6	Po2615
7	深鉢	A2	XⅡx	南 3	D-54 北 /　Ⅵd 1・2+ Ⅵ	波状縁。平行沈線文。縄文 LR+R 附加条	76-7	Po196
8	鉢	A2	XⅡx	南 3	D-53 北 / Ⅵc	波状縁。平行沈線文。縄文 RL	76-8	Po27
9	壺	I1df	XⅢ	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。沈線文	76-9	Po2622
10	深鉢	B1def	Ⅶ + Ⅷ	南 3	D-53 南 /　Ⅵc1・2+ Ⅵb1・2+ Ⅵa	口径(22.1 ｃｍ)。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 8 単位 + 装飾的把手 + 口唇部沈線。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤、雲形文（磨り消し縄文）3 単位、平行沈線文。底部付近ミガキによる無文帯。縄文 LR（体部上半）、縄文 RL（体部下半）	76-11	Po71
11	鉢	C2c	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵc+ Ⅵa・b	波状縁 + 波底部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	76-12	Po2758
12	深鉢	A1f	Ⅶ？	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁 + 山形突起。雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 LR	76-10	Po1294
13	四脚付鉢	-	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵd 1・2	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR+R 附加条	76-13	Po192
14	浅鉢	B1d	Ⅶ + Ⅷ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目。メガネ状浮文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	76-14	Po2769
15	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵd 1・2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR 縄文	76-15	Po191
16	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵd1・2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文 LR。内外面赤彩	76-16	Po198
17	Ⅲ	A1cd	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 連続弧状沈線文 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	76-17	Po2796
18	Ⅲ	A1bf	Ⅶ	南 3	D-55 東 / Ⅵc	平縁 + 山形突起 + 羊歯状浮線文か。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。外面赤彩、口縁端部・内面黒彩	76-22	Po665
19	Ⅲ	A1cf	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵc+ Ⅵb・c	平縁 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	76-18	Po2780

第83図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（3）



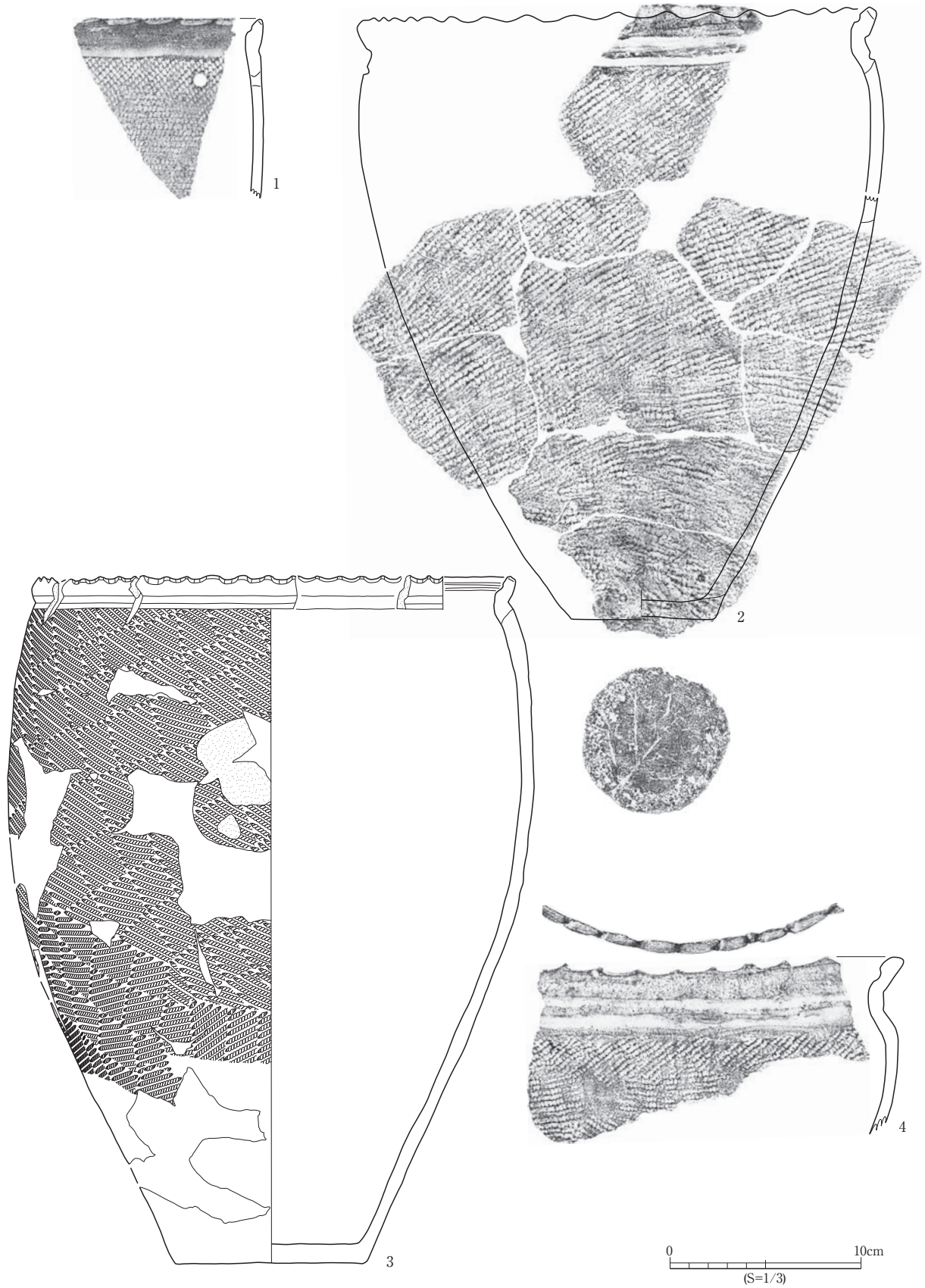
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	Ⅲ	A1b	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d2	平縁 + 羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	76-19	Po175
2	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1・2+ Ⅵ c1-d2+ Ⅵ c1・2	口径（19.0cm）、器高（4.9cm）、底径 12.6cm。平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	76-21	Po194
3	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵ c+ Ⅵ b・c+ Ⅵ b	口径(29.2cm)。平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 4 単位 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文(磨り消し縄文)4 単位、平行沈線文。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	76-29	Po2783
4	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 L。体部下半内面沈線	76-20	Po2627
5	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵ c+ Ⅵ b・c+ Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	76-23	Po2770
6	Ⅲ	A1b	Ⅶ	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1・2	平縁 + 羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内面沈線。内外面赤彩	76-25	Po36
7	壺	-	Ⅶ + Ⅷ	南 3	D-68 北 / Ⅵ c+ Ⅵ b+ Ⅵ a	体部最大径（25.6cm）、底径 9.3cm。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR	76-24	Po2629
8	壺か	-	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d2	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。前々段多条縄文 RL	76-26	Po177
9	注口土器	-	Ⅶ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	雲形文（磨り消し縄文）か、平行沈線文 + ヘラ刻目、二個一対の小突起（頂部刻み）、平行沈線文。縄文 LR	76-27	Po184
10	注口土器	B1acf	Ⅶ	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁 + 山形突起（頂部刻み）+X 字状浮文 + 縦位の平行短沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文、鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 LR	76-28	Po2797
11	注口土器か	C1a	ⅩⅤ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	平縁 +X 字状浮文	77-1	Po188
12	注口土器か	B1acd	ⅩⅡ x	南 3	D-54 北 / Ⅵ d 1・2	平縁 + ヘラ刻目 +X 字状浮文 + 口唇部沈線。平行沈線文	77-2	Po183
13	深鉢	B1d	ⅩⅡ a	南 3	D-68 南 / Ⅵ c+ Ⅵ b・c	口径 22.6cm、器高 21.4cm、底径 6.7cm。平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文 + 櫛歯状刻目、平行沈線文。底部ナデ。縄文 LR。口縁部内面沈線。内外面炭化物付着	77-12	Po2806
14	深鉢	B1df	ⅩⅢ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1・2	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。沈線文。直前段多条縄文 RL	77-7	Po199
15	深鉢	B1cd	ⅩⅡ a	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR 末端部強調	77-3	Po2760

第84図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（4）



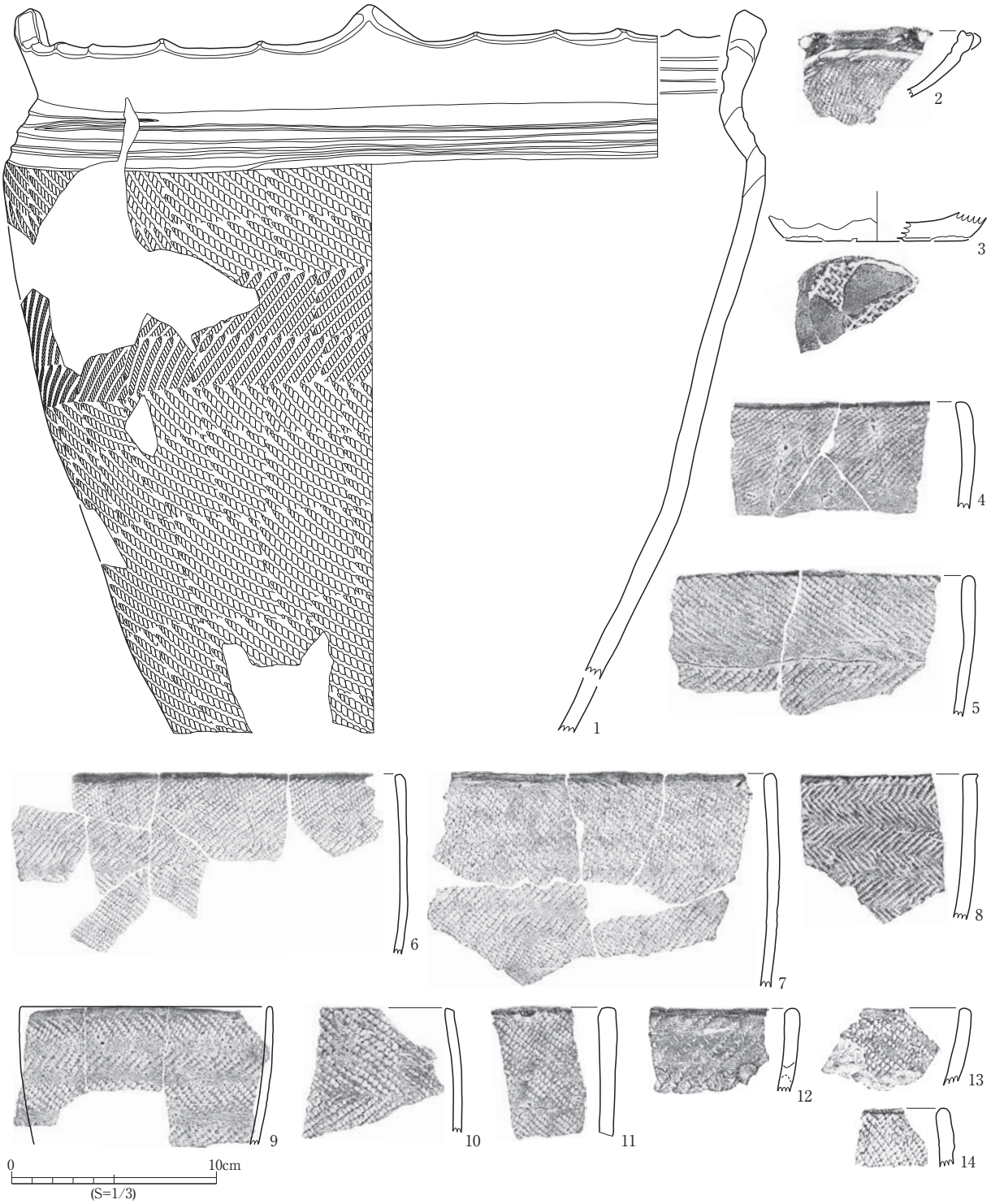
No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cd	XⅢ	南３	D-54 南／Ⅵd1・2+Ⅵc1・2	口径（22.5cm）、器高 25.3cm、底径 6.4cm。平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文。直前段多条縄文 LR	77-13	Po205
2	鉢	B1cd	XⅡa	南３	D-68 南／Ⅵc	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	77-8	Po2793
3	深鉢	B1df	XⅢ	南３	D-68 南／Ⅵc	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の山形突起。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	77-4	Po2792
4	鉢	C1	XⅡb	南３	D-54 北／Ⅵd１・2	平縁。平行沈線文＋刺突列	77-9	Po187
5	深鉢	B1cdf	XⅡx	南３	D-54 北／Ⅵd1・2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋山形突起＋口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR 末端部強調	77-6	Po200
6	深鉢	B1cd	XⅢ	南３	D-68 南／Ⅵc	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	77-5	Po2791
7	深鉢	A1cd	XⅡx	南３	D-54 北／Ⅵd1	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文。縄文 RL	77-10	Po201
8	深鉢	B1cd	XⅡx	南３	D-68 北／Ⅵc	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文。縄文 RL	77-11	Po2624
9	深鉢	B1df	XⅡx	南３	D-54 北／Ⅵd2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR	77-16	Po176
10	深鉢	C1	XⅣb2	南３	D-68 南／Ⅵc+Ⅵb	口径（20.1cm）、器高 20.2cm、底径 5.9cm。平縁。底部ナデ、かるい上げ底。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	78-1	Po2759
11	壺	A1	XⅣb2	南３	D-59／Ⅵc・e	口径（8.8cm）、体部最大径（15.0cm）。平縁。羽状縄文（前々段多条）RL/LR	77-18	Po1293
12	深鉢	B1ce	Ⅸd	南３	D-68 南／Ⅵc+Ⅵb	平縁＋山形突起＋突起間沈線。π字文＋刺突列、平行沈線文。縄文 LR	77-14	Po2801
13	鉢	A2	X？	南３	D-59／Ⅵb	波状縁。工字文か。縄文 RL	77-19	Po1387
14	浅鉢（台付か）	A1c	Ⅸb	南３	D-68 南／Ⅵc	平縁＋口唇部沈線。π字文（逆さ表現）＋二個一対の貼瘤	77-15	Po2787
15	深鉢	C2c	XⅡx	南３	D-68 南／Ⅵc	波状縁。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	77-17	Po2790
16	深鉢	B2c	XⅢ	南３	D-54 南／Ⅵd1・2+Ⅵc1・2	波状縁＋口唇部沈線。沈線文。直前段多条縄文 LR	77-20	Po206

第85図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（5）



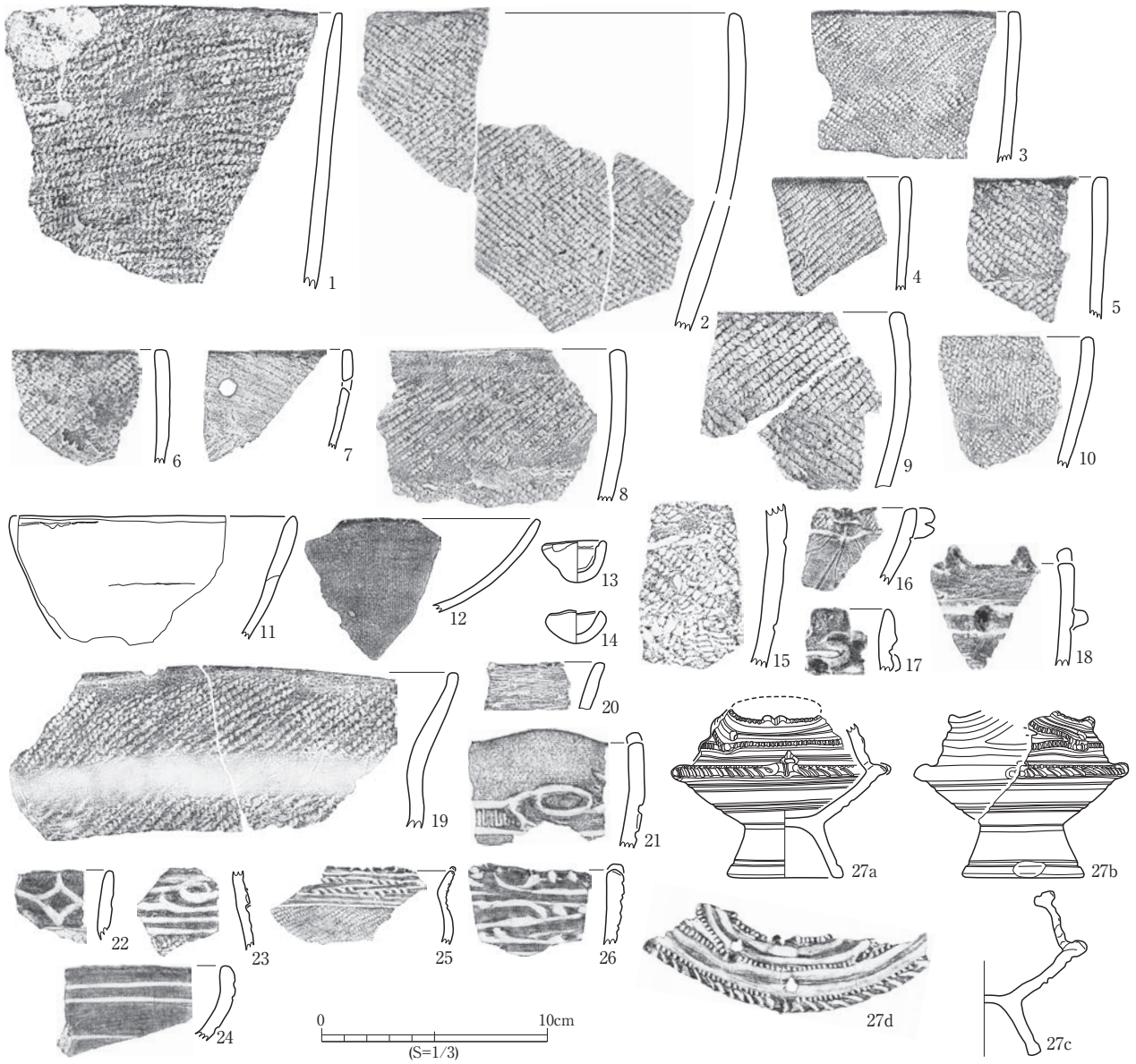
No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B2	XⅢ	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	波状縁。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。補修孔 1。外面炭化物付着	78-2	Po2789
2	深鉢	B2c	XⅢ	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1・2+ Ⅵ c1-d2+ Ⅵ c2・D-54 南 / Ⅵ b	口径（26.4cm）、器高 31.3cm、底径 7.3cm。波状縁 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR。底部木葉痕	78-8	Po197
3	深鉢	B2c	XⅢ	南 3	D-68 北 / Ⅵ c+ Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（24.6cm）、器高 36.1cm、底径（9.9cm）。波状縁 + 口唇部沈線。沈線文。底部ナデ。縄文 LR	79-1	Po2693
4	深鉢	B2	XⅣ b1	南 3	D-54 南 / Ⅵ d1・2	波状縁。縄文 LR。口縁部内面沈線	78-3	Po212

第86図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（6）



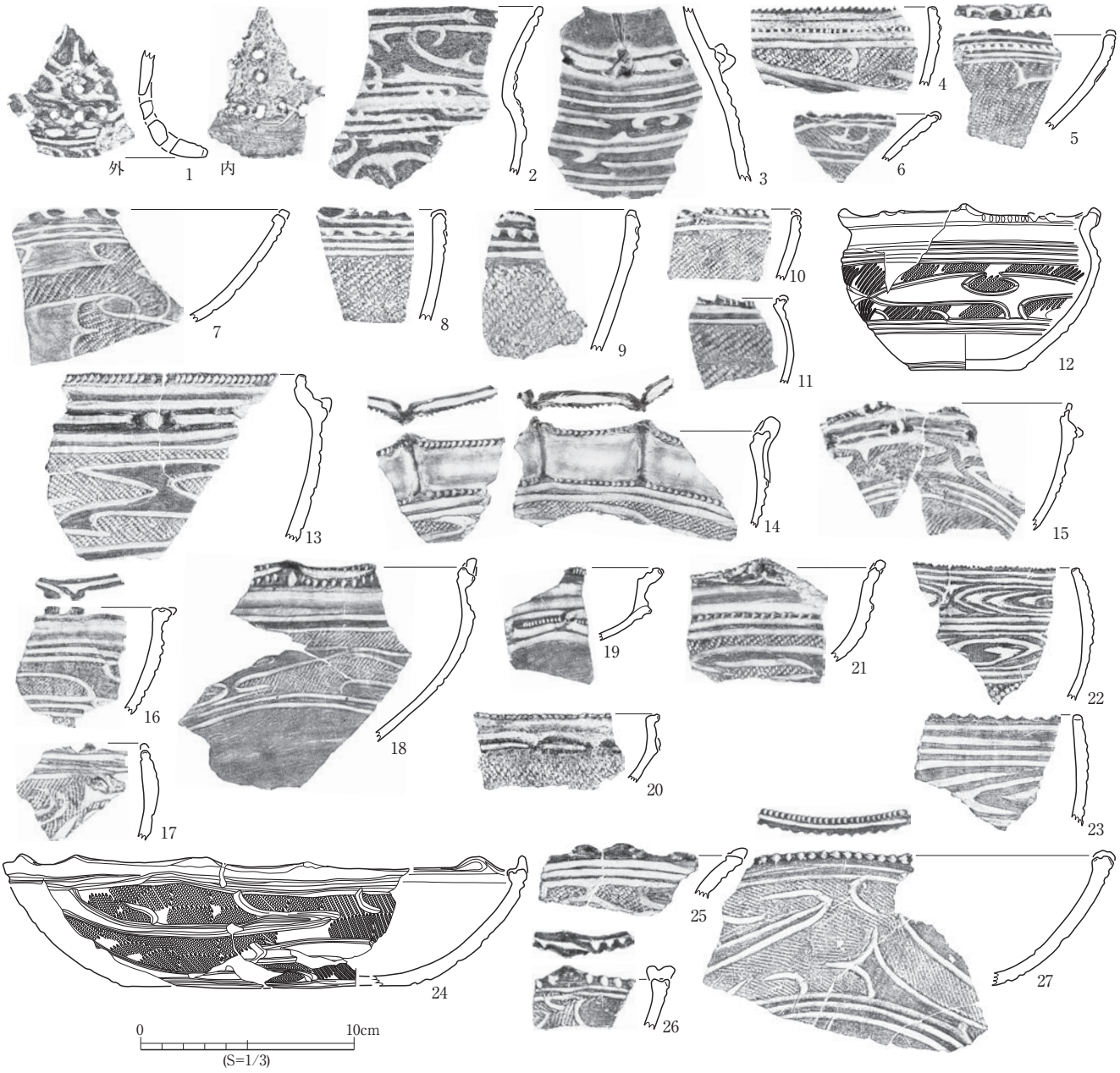
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B2ce	XⅡx	南 3	D-68 南 / Ⅵc+ Ⅵb・c+ Ⅵb	口径 34.8cm。波状縁 + 山形突起 4 単位 + 波底部沈線。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR。口縁部内面平行沈線文	80-1	Po2815
2	浅鉢	A1cf	XⅢ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	78-4	Po2804
3	底部	-	-	南 3	D-54 南 / Ⅵd1・2	底部網代痕→粘土貼付→ミガキ	78-5	Po209
4	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁。縄文 LR	78-6	Po2620
5	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 RL/LR 末端部強調。外面炭化物付着	78-7	Po2625
6	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	79-2	Po1302
7	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁。羽状縄文 RL/LR	79-3	Po1301
8	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-53 北 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 LR/RL	79-4	Po29
9	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-59 / Ⅵc・e	口径（12.2cm）。平縁。羽状縄文 RL/LR	79-5	Po1297
10	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 RL/LR	79-6	Po2767
11	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁。縄文 RL 末端部強調	79-7	Po2626
12	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁。前々段多条縄文 LR。補修孔 1	79-8	Po2633
13	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-55 東 / Ⅵc	平縁。縄文 RL	79-9	Po664
14	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-59 / Ⅵb	平縁。縄文 RL	79-10	Po1315

第87図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（7）



No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-54 北 / Ⅵd 1・2	平縁。縄文 LR	79-11	Po179
2	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 南 / Ⅵc+ Ⅵb・c	平縁。羽状縄文 RL/LR	79-12	Po2775
3	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-59 / Ⅵb	平縁。羽状縄文 LR/RL	79-13	Po1314
4	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-59 / Ⅵc	平縁。羽状縄文（前々段多条）LR/RL	79-14	Po1310
5	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 北 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	79-15	Po2616
6	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁。縄文 LR。外面炭化物付着	79-16	Po1307
7	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁。縄文 LR。補修孔 1	79-17	Po1290
8	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 LR/RL	80-2	Po2776
9	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 LR/RL	80-3	Po2778
10	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-68 南 / Ⅵc	平縁。羽状縄文 RL/LR	80-4	Po2782
11	浅鉢	A1	XⅤ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	口径（12.6cm）。平縁	80-5	Po2794
12	Ⅲ	A1	XⅤ	南 3	D-59 / Ⅵc・e	平縁	80-6	Po1303
13	袖珍土器鉢	A1	XⅤ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	口径 2.5cm、器高 1.8cm、丸底。平縁。底部ナデ	80-7	Po2768
14	袖珍土器浅鉢	A1	XⅤ	南 3	D-68 南 / Ⅵc	口径 2.2cm、器高 1.5cm、丸底。平縁。底部ナデ	80-8	Po2788
15	深鉢	-	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1-d2	前々段多条結節縄文 RL	80-9	Po221
16	鉢	A2	ⅠB	南 2B	D-55 東 / Ⅵb	波状縁。帯状文（縄文）＋貼瘤（頂部横位刻み）。縄文 LR	80-10	Po674
17	鉢か	A1	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵc2	平縁か。メガネ状浮文か＋貼瘤。	80-11	Po449
18	深鉢	A1f	ⅠBb	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1-d2	平縁＋山形突起。帯状文（未調整）＋貼瘤	80-12	Po215
19	深鉢	C1	XⅣa1	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1-d2	平縁。縄文 LR	80-13	Po216
20	鉢か	A1	-	南 2B	D-59 / Ⅵa2	平縁。条線文	80-14	Po1328
21	深鉢	A3	Ⅲc	南 2B	D-54 南 / Ⅵc1-3	波状縁。入組三叉文、櫛歯状刻目、沈線文	80-15	Po263
22	鉢	A1d	Ⅲo	南 2B	D-59 / Ⅵa2	平縁＋ヘラ刻目。三叉文	80-16	Po1359
23	深鉢	-	Ⅲc	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1	入組三叉文、平行沈線文。縄文 LR	80-17	Po511
24	浅鉢	A1	XⅡx	南 2B	D-54 南 / Ⅵc1-3	平縁。平行沈線文	80-18	Po269
25	鉢	C1df	Ⅳ	南 2B	D-59 / Ⅵa2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。羊歯状文、平行沈線文。縄文 LR	80-19	Po1344
26	鉢	A1df	Ⅳ	南 2B	D-59 / Ⅵa2	平縁＋ヘラ刻目＋突起（羊歯状）。羊歯状文、沈線文	80-20	Po1322
27	香炉形土器	-	XⅡa	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1	器高 7.4cm、体部最大径（9.4cm）、底径 5.2cm。ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文＋ヘラ刻目、短沈線による刻目＋山形突起（頂部刻み）、平行沈線文。台部平行沈線文。貫通孔 4	80-21	Po496

第88図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（8）

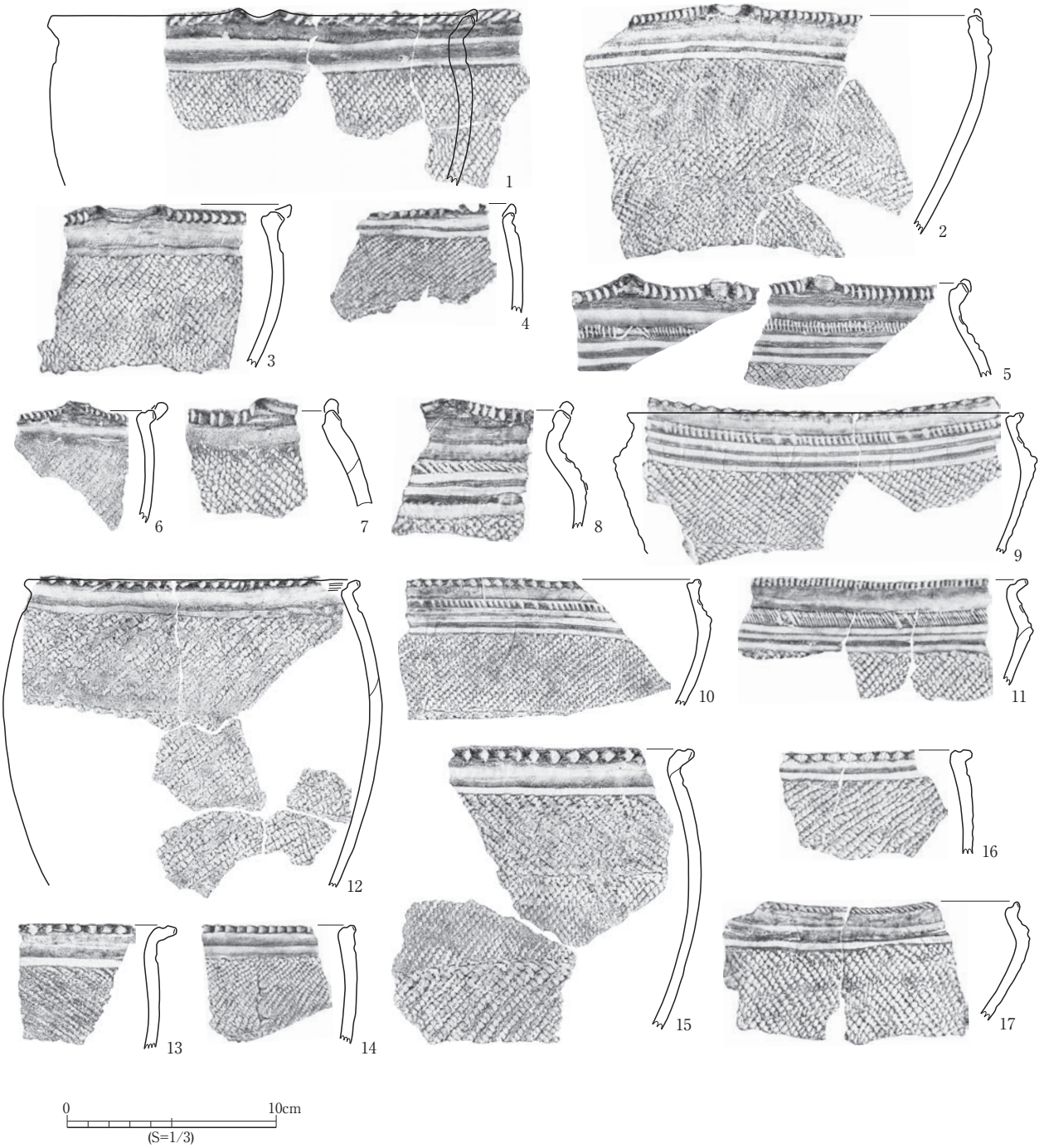


No.	器種	類型1	類型2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台部	-	Ⅳ	南2B	D-59 / Ⅵa-d	透かし彫りを伴う羊歯状文、沈線文、ヘラ刻目	80-22	Po1397
2	鉢	D1	Ⅳ＋Ⅶ	南2B	D-59 / Ⅵa2	平縁。平行沈線文。雲形文、羊歯状文（2段）、雲形文	80-23	Po1348
3	壺	-	Ⅶ＋Ⅷ	南2B	D-68南 / Ⅵb	メガネ状浮文＋二個一対の貼瘤＋装飾的貼瘤、平行沈線文、雲形文、平行沈線文	80-24	Po2837
4	深鉢	A1d	Ⅴ＋Ⅶ	南2B	D-68北 / Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目。列点文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。内外面炭化物付着	80-25	Po2668
5	鉢	A1cdf	Ⅴ＋Ⅶ	南2B	D-59 / Ⅵa2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋弧状沈線文。列点文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文LR	80-26	Po1318
6	浅鉢	A1df	Ⅶ	南2B	D-68北 / Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起（羊歯状）。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文RL。口縁部内面平行沈線文	80-27	Po2685
7	Ⅲ	A1cf	Ⅵa	南2B	D-54北 / Ⅵc1	平縁＋二個一対の小突起＋弧状沈線文。平行沈線文、Z字状文（磨り消し縄文）、縄文LR	80-28	Po501
8	鉢	A1df	Ⅴ	南2B	D-54北 / Ⅵc2	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起か。列点文、平行沈線文。縄文LR	80-29	Po450
9	深鉢	A1c	ⅩⅡb	南2B	D-68北 / Ⅵb	平縁＋連続弧状沈線文。刺突列、平行沈線文。縄文LR	80-30	Po2690
10	鉢	A1df	ⅩⅡx	南2B	D-54南 / Ⅵc1-3	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。平行沈線文。縄文LR	80-31	Po267
11	深鉢	B1cdf	ⅩⅡx	南2B	D-68北 / Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋口縁端部沈線＋口唇部沈線。平行沈線文。縄文LR	81-5	Po2642
12	鉢	B1cdf	Ⅶ	南2B	D-68北 / Ⅵb+ Ⅵa	口径11.7cm、器高7.8cm、底径5.2cm。平縁＋ヘラ刻目＋山形突起4単位＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）3単位、平行沈線文。底部付近に沈線文。底部ミガキ、かるい上げ底。縄文LR	81-3	Po2676
13	鉢	B1d	Ⅶ＋Ⅷ	南2B	D-59 / Ⅵa2+ Ⅵa1-e	平縁＋ヘラ刻目。平行沈線文、メガネ状浮文＋二個一対の貼瘤＋平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文RL。口縁部内面沈線。内面赤彩	81-4	Po1323
14	鉢	B1cdf	Ⅶ	南2B	D-54北 / Ⅵc1・2	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋突起間沈線、口唇部沈線。縦位の隆帯、平行沈線文＋ヘラ刻目、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	81-6	Po477
15	鉢	B1cdf	Ⅶ＋Ⅷ	南2B	D-54北 / Ⅵc1	平縁＋櫛歯状刻目＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。メガネ状浮文＋二個一対の貼瘤、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文LR。内外面炭化物付着	81-7	Po497
16	鉢	B1cf	Ⅶ	南2B	D-54北 / Ⅵc1	平縁＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文LR	81-15	Po490
17	鉢	A1f	Ⅶ	南2B	D-54北 / Ⅵc2	平縁＋二個一対の小突起。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。口縁部内面沈線	81-8	Po447
18	浅鉢	B2cd	Ⅶ	南2B	D-68北 / Ⅵb	波状縁＋ヘラ刻目＋波底部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文LR。突起・口縁部内面沈線	81-10	Po2644
19	浅鉢	B2d	Ⅷ	南2B	D-68北 / Ⅵb	波状縁か＋櫛歯状刻目。メガネ状浮文＋櫛歯状刻目	81-9	Po2653
20	鉢	B1cd	Ⅷ	南2B	D-54北 / Ⅵc2	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。メガネ状浮文。縄文LR	81-11	Po455
21	浅鉢	C1cdf	Ⅶ	南2B	D-68南 / Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋口縁端部沈線。平行沈線文＋ヘラ刻目、雲形文（磨り消し縄文）か。縄文LR。口縁部内面沈線	81-12	Po2835
22	鉢	A1d	-	南2B	D-54北 / Ⅵc1・2	平縁＋ヘラ刻目。平行沈線文、矢羽根状入組沈線文、平行沈線文、矢羽根状入組沈線文、平行沈線文。縄文LR	81-13	Po470
23	深鉢	A2	-	南2B	D-54北 / Ⅵc1	波状縁。平行沈線文、矢羽根状沈線文	81-14	Po513
24	Ⅲ	A1cf	Ⅶ	南2B	D-54北 / Ⅵc1-d2+ Ⅵc1-3+ Ⅵc1・2+ Ⅵ	口径(24.4cm)、器高(6.3cm)、底径(13.4cm)。平縁＋山形突起12単位＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。底部ミガキ。縄文RL	81-1	Po217
25	Ⅲ	A1f	Ⅶ	南2B	D-59 / Ⅵa2	平縁＋二個一対の小突起。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	81-19	Po1373
26	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南2B	D-54南 / Ⅵc1-3	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	81-18	Po274
27	Ⅲ	A1cd	Ⅶ	南2B	D-54北 / Ⅵc1	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文RL。体部下半内面沈線	81-16	Po534

第89図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（9）

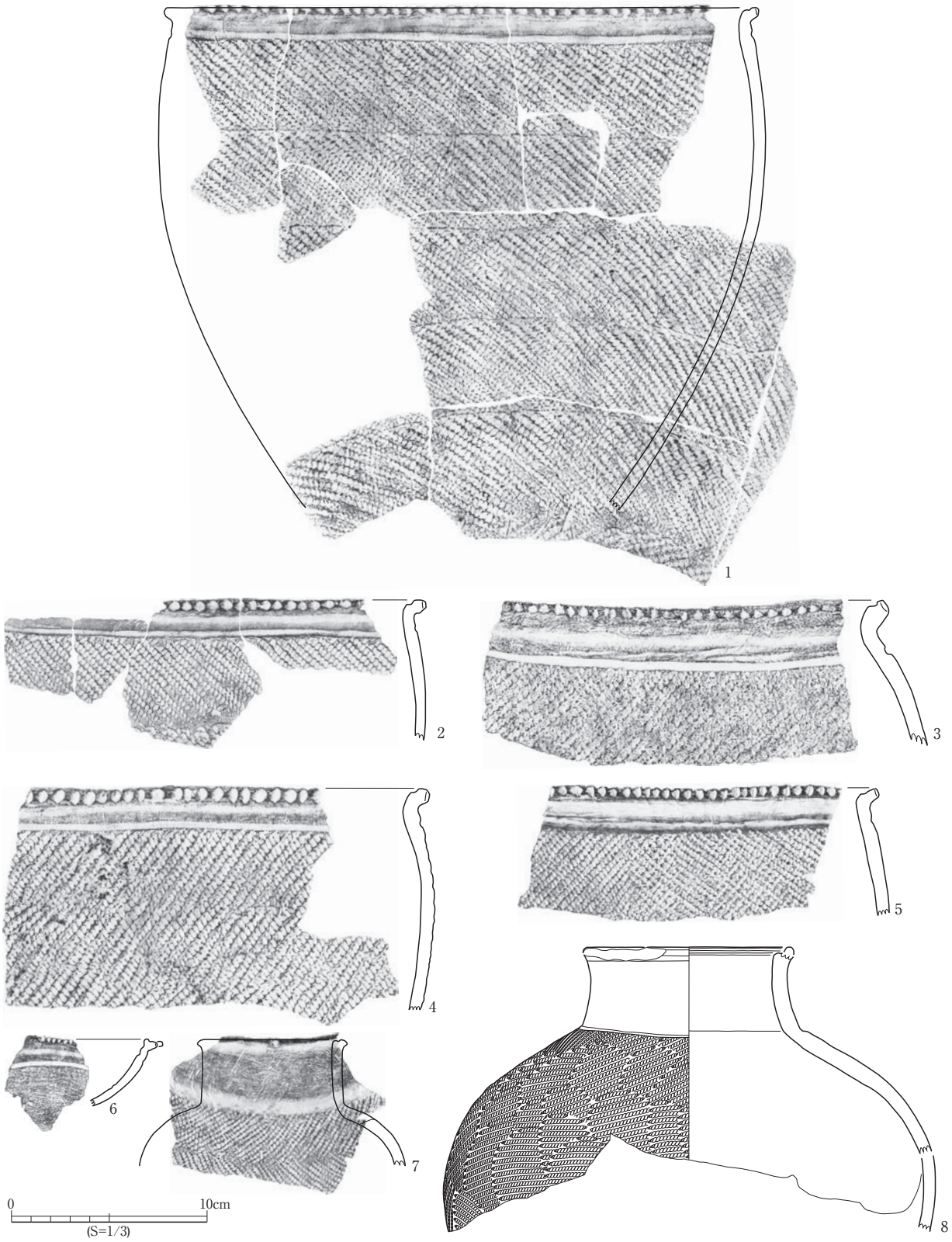
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	81-17	Po533
2	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	81-21	Po2655
3	Ⅲ	A1bcdf	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 波状浮線文 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 L	81-22	Po1374
4	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文。縄文 LR	81-23	Po1334
5	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文 LR。内外面赤彩	81-20	Po1319
6	Ⅲ	A1cdf	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2+ Ⅵ a1-c	口径（23.4cm）。平縁 + 櫛歯状刻目 + 山形突起（頂部刻み）12 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR	81-2	Po1371
7	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。体部下半内面沈線	81-25	Po2810
8	Ⅲ	A1c	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	平縁 + 口唇部沈線。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	81-24	Po451
9	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。前々段多条縄文 RL	81-26	Po1368
10	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1・2+ Ⅵ c1+ Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 RL。体部下半内面沈線	81-29	Po542
11	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。体部下半内面隆帯	81-27	Po1362
12	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	81-30	Po495
13	Ⅲ	A1cdf	Ⅶ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の山形突起 + 突起間沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR+R 附加条。突起・口縁部内面沈線	81-31	Po2677
14	浅鉢か	-	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	雲形文（磨り消し縄文）。直前段多条縄文 LR	81-32	Po528
15	注口土器	-	Ⅶ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平行沈線文、櫛歯状刻目 + 波状浮線文 + ヘラ刻目、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	81-33	Po2656
16	注口土器	-	Ⅶ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文、貼瘤、ヘラ刻目 + 連続弧状沈線文、平行沈線文。縄文 L	81-28	Po507
17	注口土器	-	Ⅶ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文、櫛歯状刻目、二個一対の小突起（羊歯状）、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	81-34	Po1357
18	注口土器	-	Ⅶ？	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-d2	雲形文（磨り消し縄文）か、隆帯 + ヘラ刻目、連続弧状沈線文、ヘラ刻目平行沈線文。縄文 LR	81-35	Po220
19	注口土器	-	Ⅶ	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-d2	平行沈線文 + 櫛歯状刻目、連続弧状沈線文、ヘラ刻目、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文 LR	81-36	Po224
20	注口土器	B1bcd	XⅡx	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 連続弧状浮線文 + 櫛歯状刻目 + 縦位の平行沈線文 + 斜行する平行沈線文 + 口唇部沈線。平行沈線文	81-41	Po530
21	注口土器	B1cdf	Ⅶ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文、雲形文	81-37	Po2678
22	深鉢	C1d	XⅡx	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 L	81-38	Po265

第90図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（10）



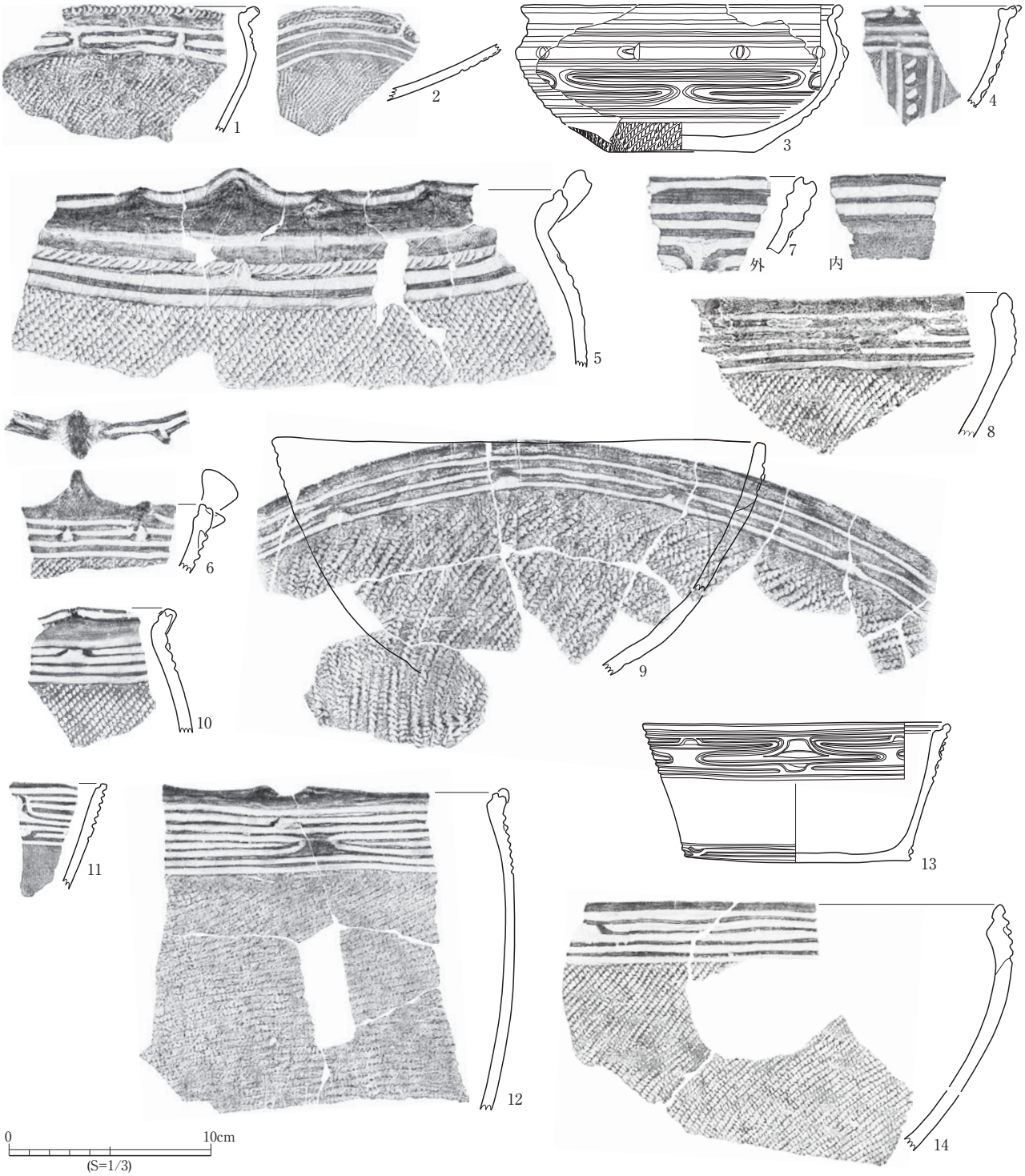
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1df	XⅡx	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	口径（19.7cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の山形突起。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	81-42	Po2682
2	鉢	A1cdf	XⅣ b1	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1・2+ Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。羽状縄文 RL/LR。炭化物付着（口縁部外面・内面）	81-40	Po261
3	深鉢	B1cdf	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL	81-43	Po502
4	深鉢	B1df	XⅡx	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR。外面炭化物付着	81-39	Po2641
5	深鉢	B1cdf	XⅡa	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 山形突起 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 RL	81-45	Po2669
6	深鉢	B1cdf	XⅣ b1	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 口唇部沈線。縄文 LR	81-44	Po2671
7	深鉢	A1cdf	XⅣ b1	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。縄文 RL	82-2	Po2816
8	深鉢	B1df	XⅡa	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の山形突起。平行沈線文 + 櫛歯状刻目 + ヘラ刻目。縄文 LR。口縁部内面沈線	82-4	Po1340
9	深鉢	B1cd	XⅡa	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1+ Ⅵ a	口径（22.2cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	82-3	Po538
10	深鉢	B1cd	XⅡa	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。縄文 LR 末端部強調。内外面炭化物付着	82-5	Po518
11	深鉢	B1cd	XⅡa	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR。	82-6	Po2670
12	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	口径（15.8cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	82-1	Po2688
13	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	82-7	Po1346
14	深鉢	B1cd	XⅡx	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	82-8	Po2833
15	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR、縄文 LR 末端部強調	82-10	Po2663
16	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	82-9	Po1355
17	鉢	B1co	XⅡx	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + 縄文 R+ 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 RL	82-11	Po1345

第91図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（11）



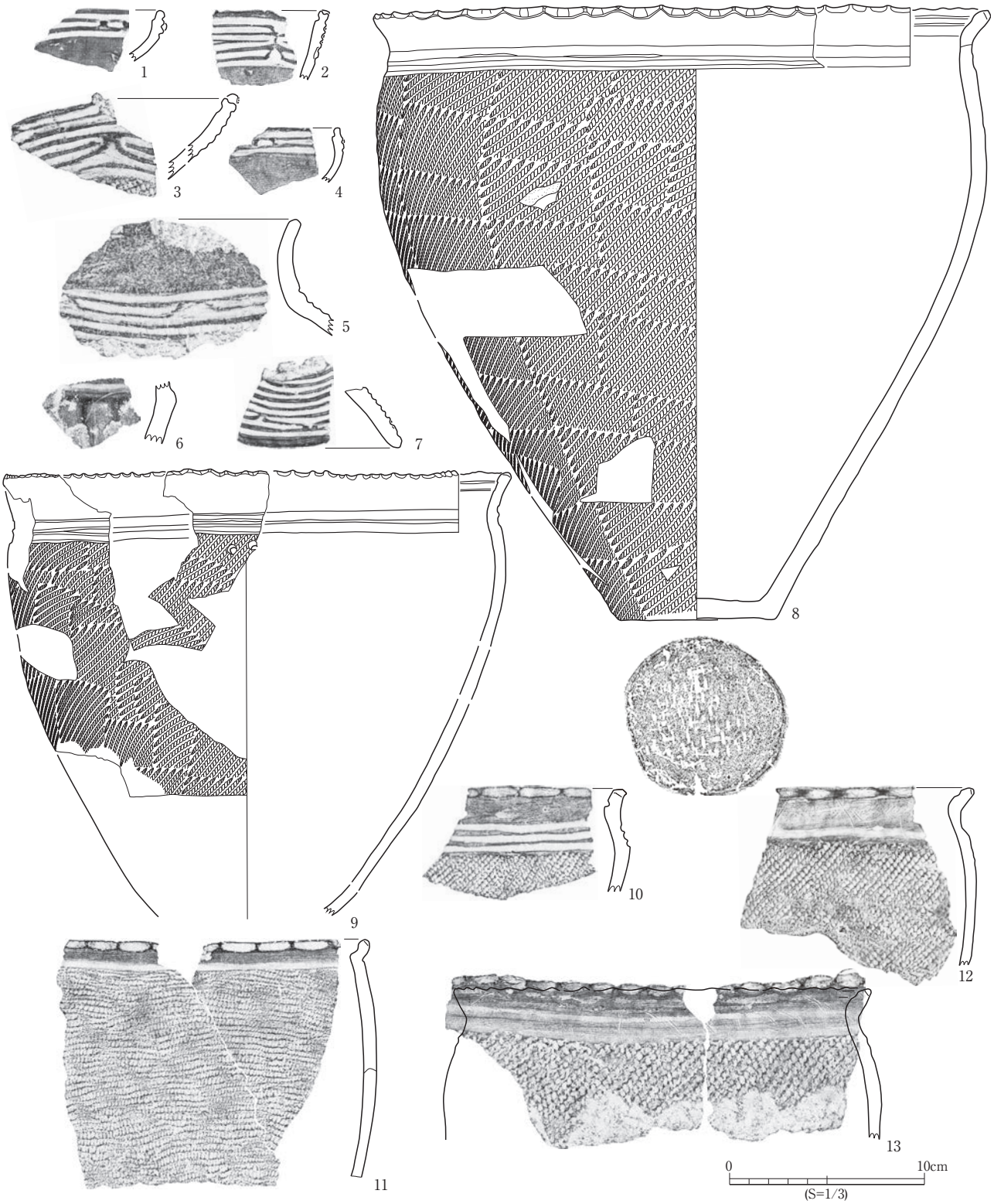
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1+ Ⅵ b	口径（29.9cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 RL 末端部強調	82-14	Po482
2	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	82-12	Po2651
3	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	82-13	Po260
4	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR 縄文	83-4	Po539
5	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-d2	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR+ 縄文 LR	83-5	Po222
6	浅鉢	B1cdf	XⅡx	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文。口縁部・体部下半内面沈線	83-6	Po1363
7	壺	E1c	XⅣ b2	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b+ Ⅵ a・b	平縁 + 口唇部沈線。羽状縄文 LR/RL	83-7	Po2836
8	壺	G1c	XⅣ b1	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c2+ Ⅵ b	口径（10.8cm）、体部最大径（25.0cm）。平縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	83-1	Po380

第92図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（12）



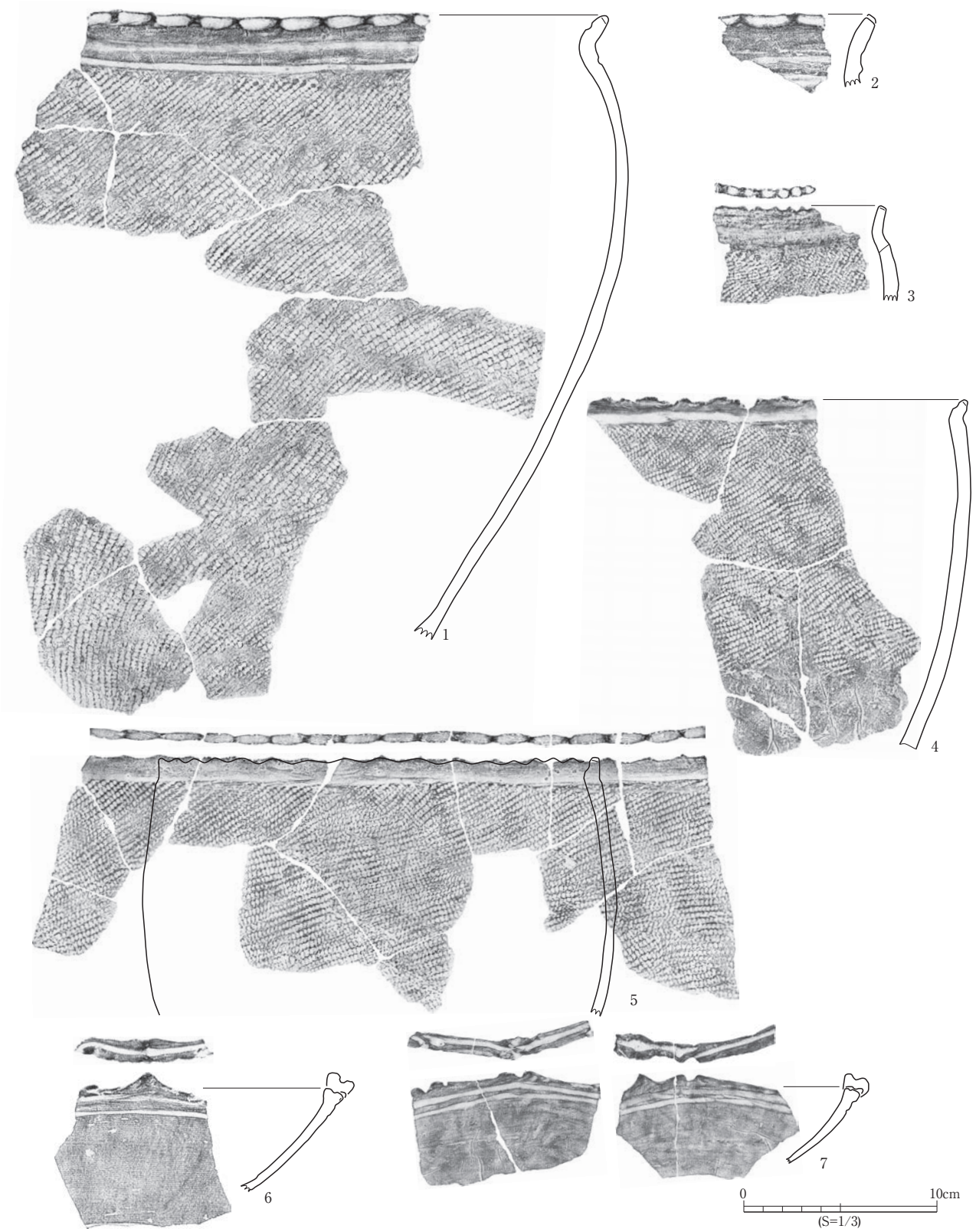
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	B1cd	X	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1・2	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。工字文（メガネ状）。縄文 LR	83-8	Po203
2	浅鉢	-	X	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	工字文（磨り消し縄文）、平行沈線文、縄文 LR	83-9	Po448
3	浅鉢	B1	X	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1・2	口径（15.6cm）、器高 7.3cm、底径 7.2cm。平縁。平行沈線文、流水工字文 4 単位。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線	83-3	Po233
4	鉢	B2cf	-	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c	波状縁か + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。平行沈線文、縦位の平行沈線文 + ヘラ刻目。縄文 RL	83-10	Po2813
5	深鉢	B2cef	Ⅸ d	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1+ Ⅵ b	波状縁 + 山形突起（大）の両側に山形突起（小）+ 突起間沈線 + 口唇部沈線。π 字文 + 櫛歯状刻目。縄文 LR	83-11	Po544
6	鉢	A1cef	Ⅸ a	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	平縁 + 球状突起 + 小突起 + 口縁端部沈線。π 字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	83-14	Po264
7	鉢	A1c	Ⅸ a	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + 口縁端部沈線。平行沈線文、π 字文（逆さ表現）か。口縁部内面平行沈線文	83-13	Po1330
8	鉢	A1	Ⅸ a	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	平縁。π 字文、平行沈線文。縄文 LR。内外面炭化物付着	83-12	Po669
9	鉢	A1	Ⅸ a	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	口径 24.6cm。平縁。π 字文 8 単位。縄文 LR+R 附加条	83-2	Po668
10	深鉢	B1cf	Ⅸ a	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + 山形突起 + 突起間沈線。π 字文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	83-15	Po2825
11	鉢	A1c	Ⅸ a	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + 口唇部沈線。π 字文、π 字文（逆さ表現）	83-16	Po2843
12	深鉢	B1cf	Ⅸ a+ X	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + 二個一対の山形突起 + 突起間沈線。π 字文、工字文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	84-2	Po2838
13	浅鉢	A1c	Ⅸ a+ X	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	口径（15.0cm）、器高 7.0cm、底径（11.1cm）。平縁 + 口唇部沈線。π 字文 4 単位 + π 字文 4 単位 + 工字文 4 単位 + π 字文（逆さ表現）4 単位。底部付近に π 字文（逆さ表現）4 単位。底部ミガキ	84-1	Po2829
14	鉢	A1	Ⅸ a	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁。π 字文、平行沈線文。縄文 LR	84-3	Po2830

第93図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（13）



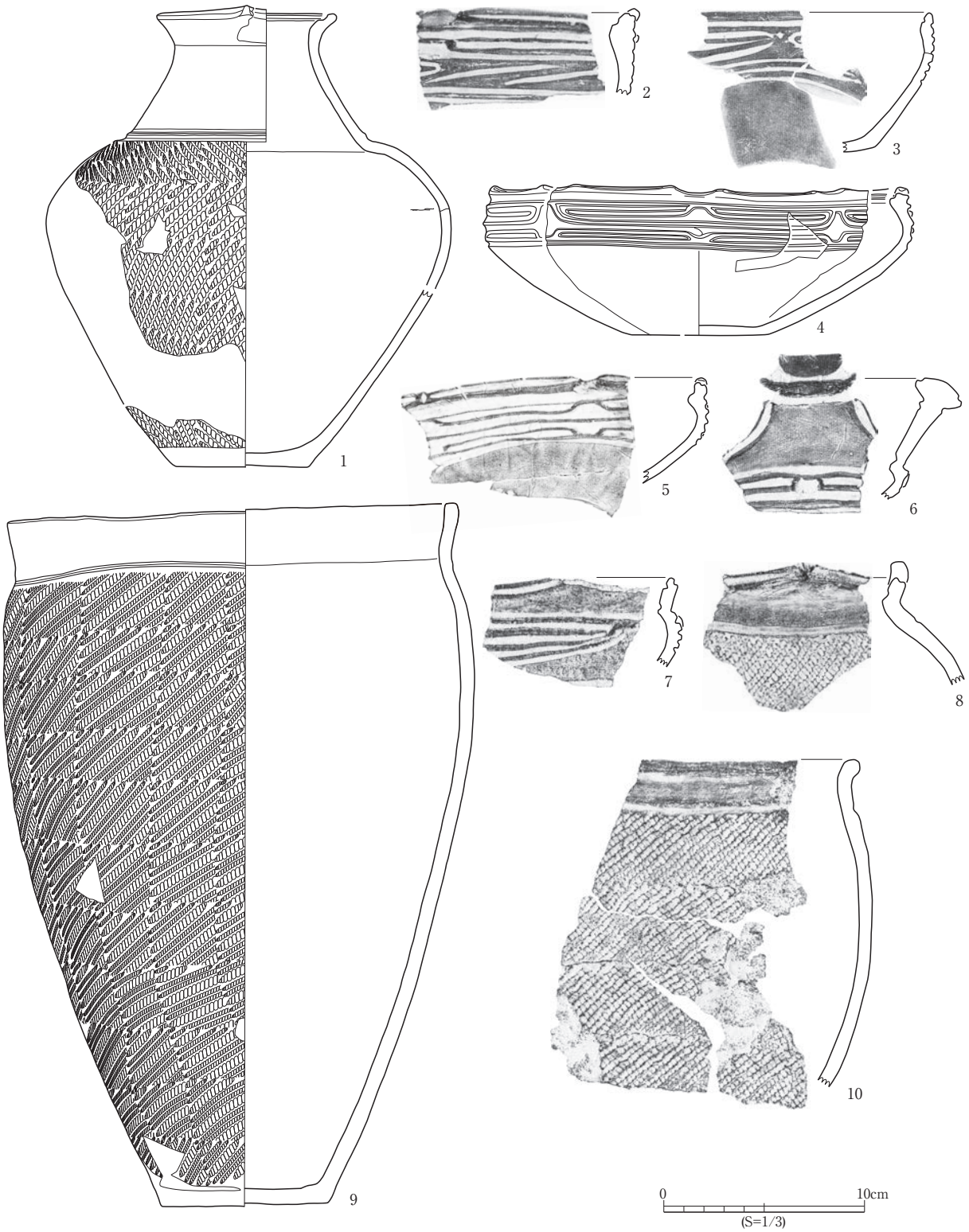
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1	Ⅸ c	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c	平縁。π字文 + 二個一対の貼瘤。口縁部内面沈線	84-4	Po2821
2	鉢	A1cd	Ⅸ a+ Ⅹ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁 + 押圧 + 口唇部沈線。π字文（逆さ表現）、工字文、π字文。口縁部内面沈線	84-5	Po2847
3	浅鉢	A1cf	Ⅸ a	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文、π字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	84-6	Po1342
4	皿	A1c	Ⅸ c	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁 + 口唇部沈線。π字文	84-7	Po1329
5	壺	G1	Ⅸ a	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁か。π字文、平行沈線文	84-8	Po1343
6	壺	-	-	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	沈線文、縦位の隆帯	84-9	Po2687
7	台部	-	Ⅸ a	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c2	平行沈線文、π字文、π字文（逆さ表現）	84-10	Po240
8	深鉢	B2	Ⅹ Ⅲ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（31.3cm）、器高 31.5cm、丸底 8.0cm。波状縁。沈線文。底部網代痕。縄文 LR。外面炭化物付着	84-13	Po2660
9	深鉢	C2	Ⅹ Ⅱ x	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（25.7cm）。波状縁。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。補修孔 1。外面炭化物付着	85-1	Po2661
10	深鉢	C2	Ⅹ Ⅱ x	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	波状縁。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	84-12	Po675
11	深鉢	B2	Ⅹ Ⅲ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c+ Ⅴ	波状縁。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	84-14	Po2808
12	深鉢	B2c	Ⅹ Ⅳ b1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	波状縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	84-15	Po467
13	深鉢	B2	Ⅹ Ⅳ b1	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c+ Ⅵ b	口径（23.6cm）。波状縁。縄文 LR。口縁部内面沈線	84-11	Po2839

第94図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（14）



No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B2	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵb+ Ⅵa+ Ⅵ	波状縁。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	85-2	Po2662
2	深鉢	C2	XⅡx	南 2B	D-55 東 / Ⅵb	波状縁。平行沈線文	85-3	Po673
3	深鉢	B2	XⅣb1	南 2B	D-59 / Ⅵa2	波状縁。縄文 LR	85-4	Po1339
4	深鉢	B2c	XⅣb1	南 2B	D-68 南 / Ⅵb+ Ⅵa・b	波状縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	85-5	Po2828
5	深鉢	A2c	XⅢ	南 2B	D-68 南 / Ⅵb・c+ Ⅵb+ Ⅵa	口径（22.2cm）。波状縁 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	85-6	Po2846
6	皿	A1cf	XⅡx	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1	平縁 + 二個一対の小突起 + 口縁端部沈線。平行沈線文、沈線文。体部下半内面沈線	86-6	Po541
7	皿	A1cf	XⅡx	南 2B	D-59 / Ⅵa2	平縁 + 山形突起 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文	86-7	Po1369

第95図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（15）

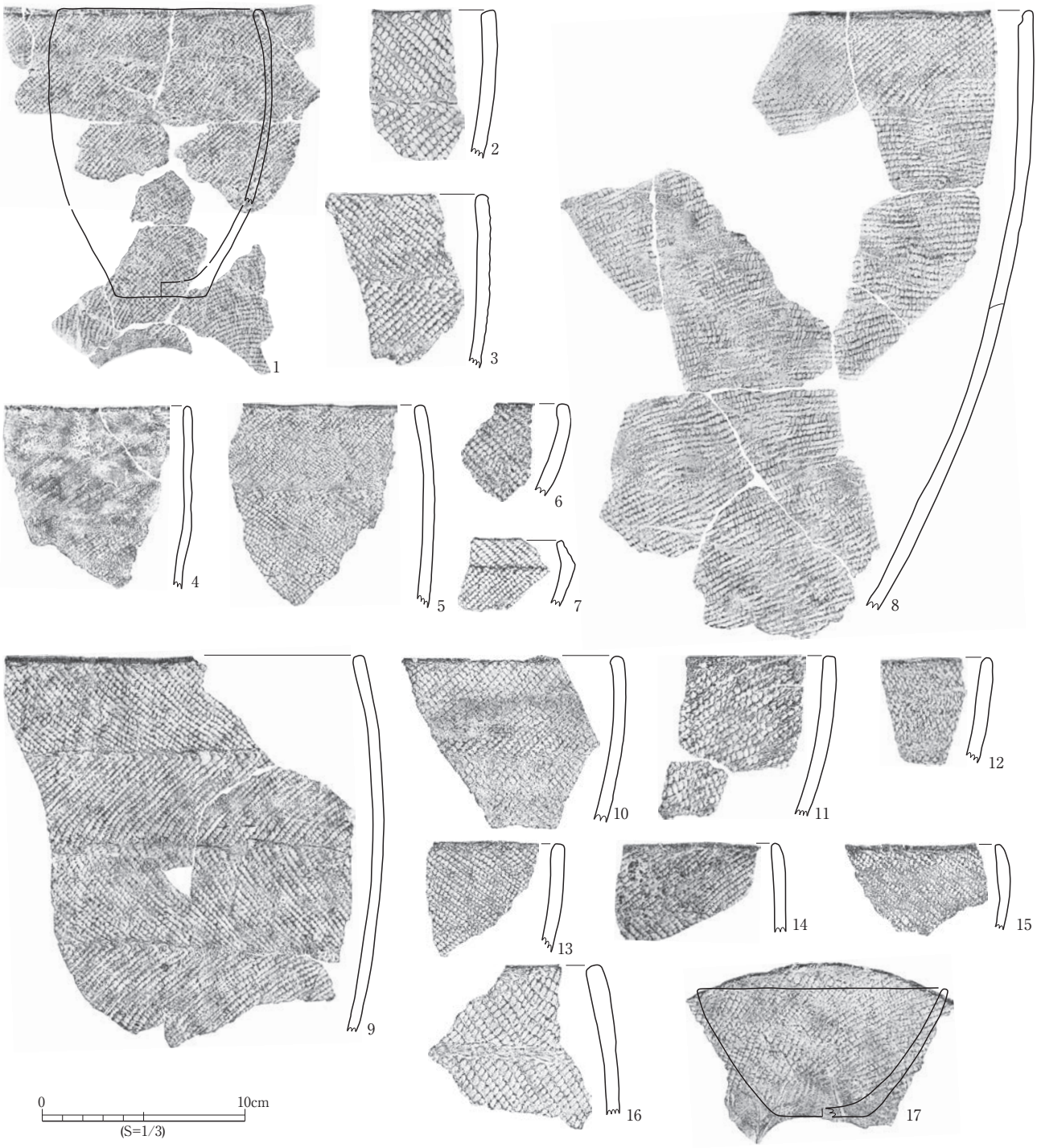


No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	壺	H1cf	XⅡx	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1・2・D-54 南 / Ⅵc1-3	口径（8.7cm）、器高（23.1cm）、底径（6.6cm）。平縁＋山形突起＋口唇部沈線。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR 末端部強調。底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ	86-3	Po465
2	鉢	A1cf	Ⅸb+ XⅠ	南 2B	D-68 南 / Ⅵb	平縁＋二個一対の小突起＋突起間沈線＋口唇部沈線。π字文＋二個一対の貼瘤か、変形工字文、平行沈線文。外面赤彩	86-11	Po2818
3	鉢	A1	XⅠ	南 2B	D-68 南 / Ⅵb・c	平縁。変形工字文＋刺突、変形工字文。口縁部内面沈線	86-8	Po2809
4	浅鉢	A1cdf	Ⅸa	南 2B	D-54 南 / Ⅵc1・2+ Ⅵb	口径(20.1cm)、器高 7.5cm、底径(7.3cm)。平縁＋押圧＋押圧間沈線。上下対向のπ字文 2 種類各 4 単位。底部ミガキ。口縁部内面沈線	86-1	Po262
5	浅鉢	A1cf	Ⅸa	南 2B	D-55 東 / Ⅵb	平縁＋山形突起（頂部刻み）＋突起間沈線＋口唇部沈線。上下対向のπ字文。外面赤彩	86-12	Po670
6	台付浅鉢	B3ce	Ⅸa	南 2B	D-59 / Ⅵa1	波状縁＋方形突起（円盤状飾り）＋突起間沈線。π字文。突起・口縁部内面沈線	86-13	Po1377
7	台付浅鉢	B3ce	XⅠ	南 2B	D-59 / Ⅵa2	波状縁＋突起＋突起間沈線。変形工字文＋二個一対の貼瘤、沈線文。突起・口縁部内面沈線	86-14	Po1347
8	壺	C3ce	XⅢ	南 2B	D-59 / Ⅵa2	波状縁＋山形突起＋突起間沈線。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	86-17	Po1338
9	深鉢	C1	XⅢ	南 2B	D-55 東 / Ⅵb+ Ⅵa	口径 22.0cm、器高 35.1cm、底径 8.4cm。平縁。沈線文。底部ナデ。縄文 LR+R 附加条	87-1	Po667
10	深鉢	C1	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1	平縁。沈線文。縄文 LR 末端部強調	86-16	Po532

第96図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（16）

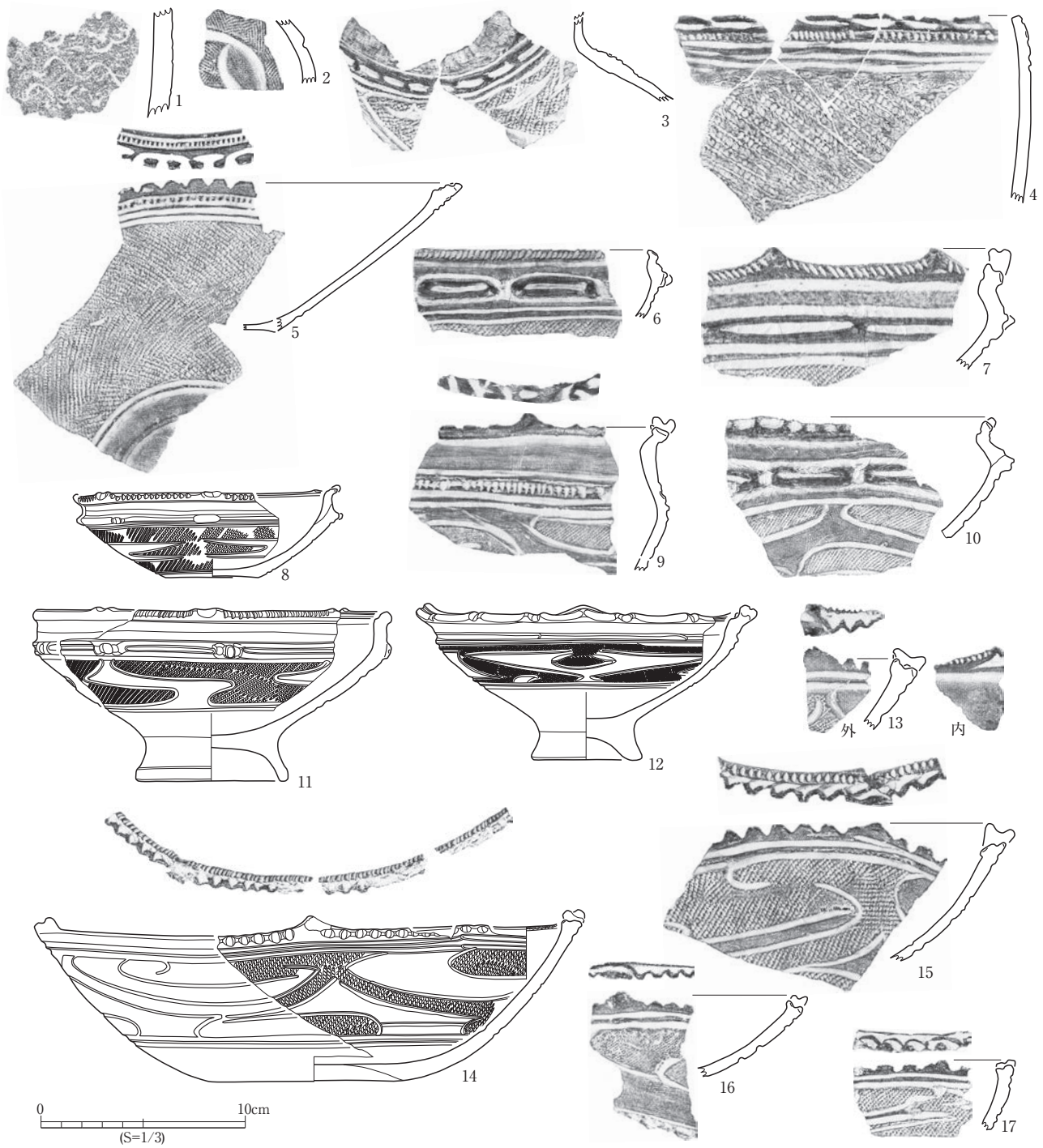
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1	XⅢ	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（16.5cm）、器高（27.1cm）、底径 9.0cm。平縁。沈線文。縄文 LR。底部木葉痕	87-2	Po701
2	深鉢	B1	XⅣ b1	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁。縄文 RL	86-18	Po1341
3	深鉢	A1cf	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁 + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	86-19	Po2672
4	鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	口径（17.3cm）。平縁。縄文 R。補修孔 2（貫通孔 1、盲孔 1）	86-21	Po1336
5	鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	平縁	86-15	Po268
6	深鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。外面炭化物付着	86-20	Po503
7	深鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（20.8cm）。平縁	86-2	Po2659
8	鉢	A1f	XⅤ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2+ Ⅵ c1・2	口径（12.7cm）。平縁 + 山形突起	86-23	Po469
9	浅鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	口径（7.5cm）、器高 4.3cm、底径 4.8cm。平縁。底部木葉痕→ナデ	86-4	Po1324
10	袖珍土器鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	口径 3.7cm、器高 2.9cm、底径（1.8cm）。平縁。底部ミガキ	86-9	Po459
11	袖珍土器皿	A2	XⅤ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	口径 2.5cm、器高 1.0cm、丸底。波状縁。底部ナデ	86-10	Po2649
12	皿	A1	XⅤ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁	86-22	Po2819
13	浅鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	平縁。二個一対の小突起	86-24	Po454
14	浅鉢	A1	XⅤ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	口径 13.7cm、器高 5.3cm、底径 1.8cm。平縁。底部ミガキ	86-5	Po453
15	深鉢	A1	-	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1	平縁。単軸絡状体か	87-4	Po259
16	皿	A1cf	XⅢ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b・c	平縁 + 二個一対の小突起 + 口縁端部沈線。沈線文。縄文 LR。口縁部内面平行沈線	87-5	Po2811
17	壺	G1	XⅢ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。沈線文。縄文 LR	87-6	Po522
18	壺	E1	XⅢ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁。沈線文。縄文 RL	87-7	Po2686
19	壺	C1	XⅣ b1	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁。縄文 LR	87-8	Po1364

第97図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（17）



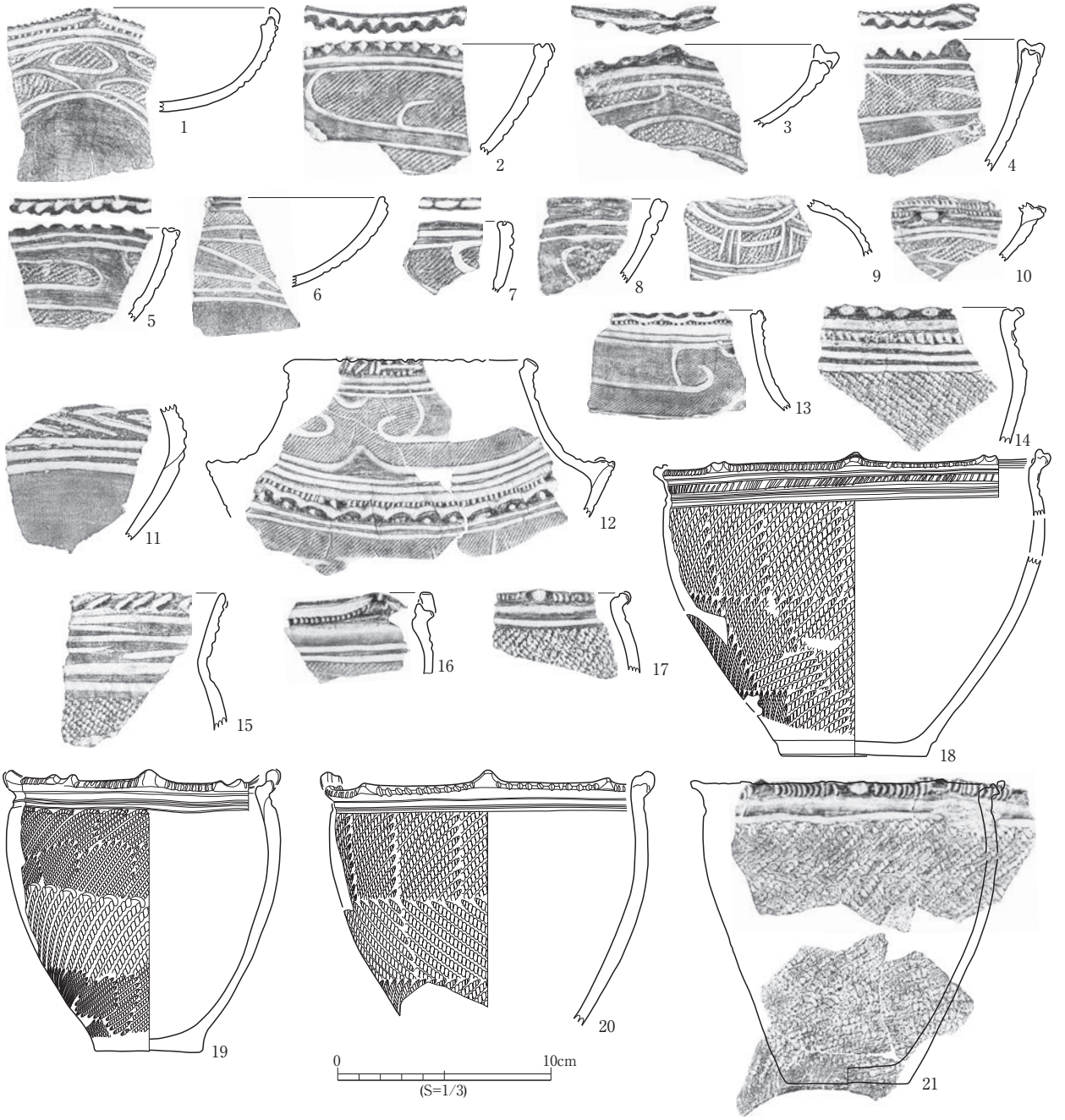
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	口径 9.8cm、器高 14.4cm、底径 4.5cm。平縁。直前段多条縄文 LR	87-3	Po483
2	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	87-9	Po2681
3	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。羽状縄文 RL/LR	87-10	Po493
4	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。縄文 LRL か	87-11	Po512
5	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	87-12	Po520
6	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁。縄文 RL	87-13	Po2643
7	鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁。羽状縄文 RL/LR	87-14	Po1375
8	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b+ Ⅵ b・c	平縁。縄文 LR。口縁部内面沈線	88-1	Po2841
9	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	平縁。羽状縄文 RL/LR	88-2	Po531
10	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	平縁。縄文 LR	87-15	Po519
11	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁。縄文 LR	87-16	Po1337
12	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁。縄文 LR	88-3	Po2689
13	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	平縁。羽状縄文 RL/LR	88-4	Po2673
14	深鉢	A1	XⅣ a2	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	平縁。羽状縄文 LR/RL。内外面炭化物付着	88-5	Po1361
15	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	平縁。縄文 RL	88-6	Po2823
16	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	平縁。縄文 RL	88-7	Po266
17	鉢	A1	XⅣ a1	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	口径（14.2cm）、器高 6.2cm、底径（5.0cm）。平縁。縄文 LR	88-8	Po1367

第98図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（18）



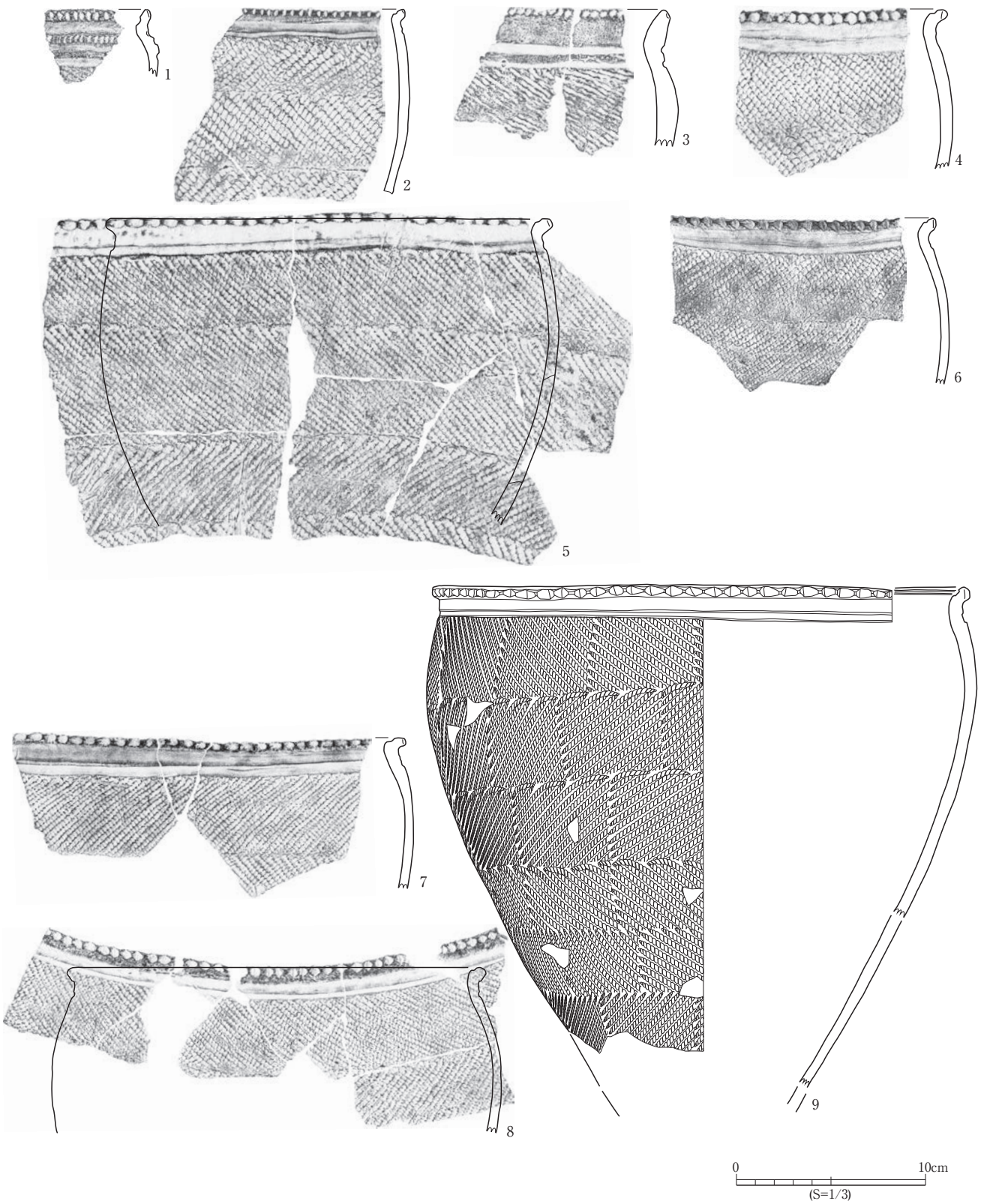
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	-	-	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	S 字状連鎖沈文。繊維土器	88-9	Po626
2	壺	-	Ⅵ a?	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	Z 字状文か。縄文 LR	88-10	Po311
3	壺	-	Ⅴ + Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	列点文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	88-11	Po72
4	深鉢	A1cd	Ⅹ Ⅱ a	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	平縁 + 弧状沈線文 + ヘラ刻目。ヘラ刻目 + 平行沈線文。直前段多条縄文 RL	88-12	Po68
5	浅鉢	A1bd	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	平縁 + 羊歯状浮線文 + ヘラ刻目。平行沈線文 + 列点文、平行沈線文、沈線文。羽状縄文 RL/LR。内面平行沈線文 + 列点文	88-13	Po63
6	鉢	A1cd	Ⅷ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤、平行沈線文。縄文 LR	88-14	Po85
7	鉢	A1cdf	Ⅷ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + 櫛歯状刻目 + 山形突起 + 口縁端部沈線。メガネ状浮文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	88-15	Po548
8	浅鉢	A1cdf	Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1+ Ⅵ a	口径 12.7cm、器高 4.5cm、底径 4.5cm。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 8 単位 + 口唇部沈線。二個一対の貼瘤、平行沈線文、雲形文 4 単位、平行沈線文。縄文 LR。底部ミガキ	88-16	Po49
9	鉢	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 羊歯状浮線文。平行沈線文 + 櫛歯状刻目、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	88-17	Po2742
10	浅鉢	A1cdf	Ⅶ + Ⅷ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。メガネ状浮文、平行沈線文、雲形文（充填縄文）。縄文 LR	88-18	Po552
11	台付浅鉢	A1df	Ⅶ + Ⅷ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径（16.4cm）、器高 8.1cm、体部高 6.0cm、台部径 6.9cm。平縁 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の小突起 8 単位か。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤 8 単位、雲形文 4 単位か、平行沈線文。台部沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	88-19	Po52
12	台付浅鉢	B1cdf	Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径 15.0cm、器高 7.3cm、体部高 5.3cm、台部径 5.0cm。波状縁 + 二個一対の小突起 12 単位 + 山形突起 4 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）3 単位、平行沈線文。縄文 R。突起・口縁部内面沈線	88-20	Po48
13	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 2A	D-79 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文 + 山形突起。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 L。突起・口縁部内面沈線	89-1	Po3072
14	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径（24.2cm）、器高 8.1cm、底径 9.8cm。平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文 + 櫛歯状刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。底部ミガキ。体部下半内面沈線	89-3	Po45
15	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	平縁 + 波状浮線文 + 山形突起 + 内面ヘラ刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。内面沈線	89-2	Po50
16	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	89-4	Po286
17	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。外面・口縁端部赤彩	89-5	Po551

第99図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（19）



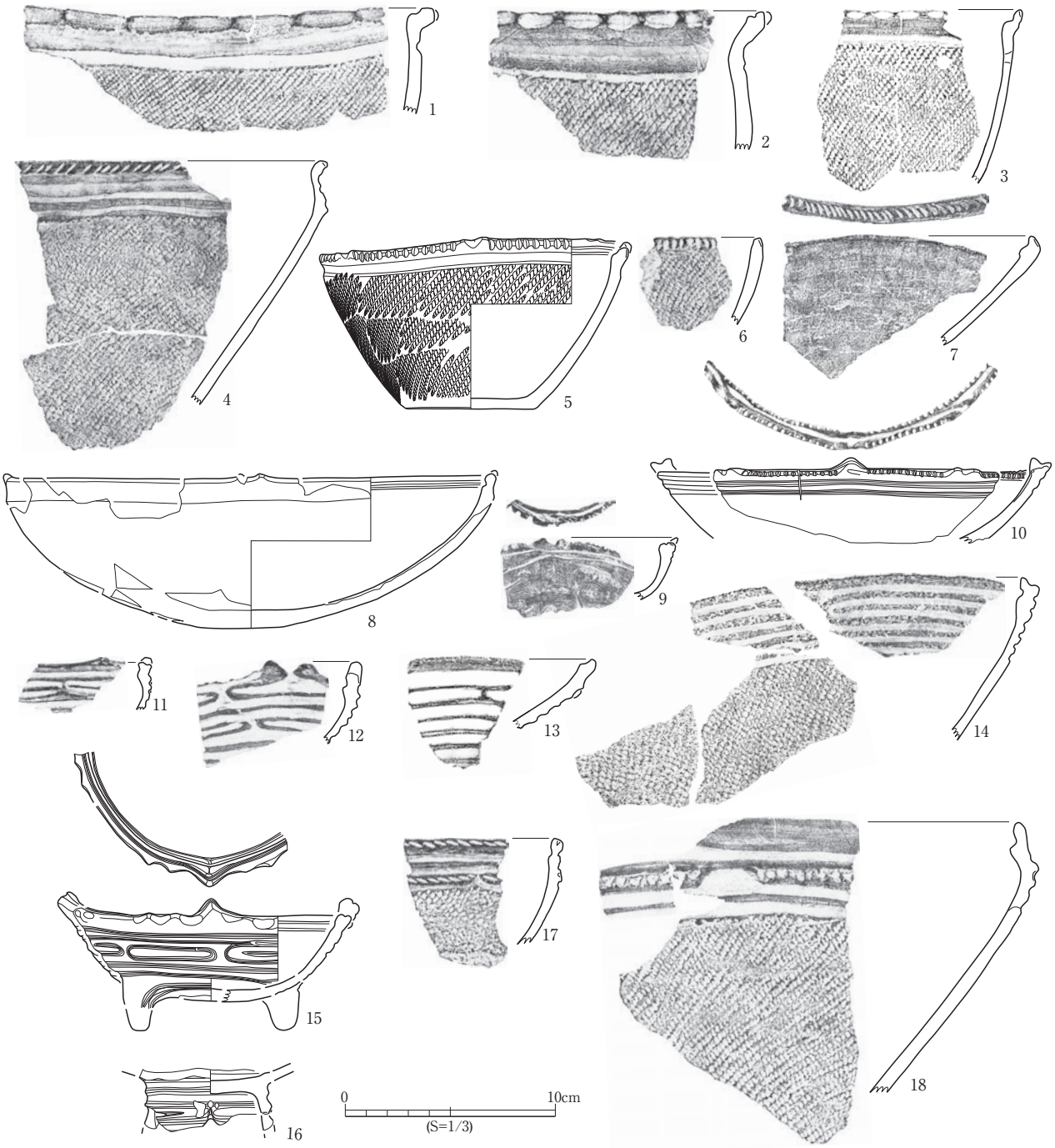
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	皿	A1cdf	Ⅶ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 口縁端部沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR	89-6	Po555
2	皿	A1bd	Ⅶ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	89-7	Po564
3	皿	A1cdf	Ⅶ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 山形突起 + 口縁端部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	89-8	Po572
4	皿	A1bdf	Ⅶ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	89-9	Po743
5	皿	A1bd	Ⅶ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯（縄文 LR）。内外面赤彩	89-10	Po2738
6	皿	A1	Ⅶ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。外面赤彩	89-11	Po574
7	皿	A1c	Ⅶ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口縁端部沈線。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯 + 充填縄文 LR	89-12	Po277
8	蓋か	A1c	Ⅶ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口縁端部沈線。雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	89-13	Po290
9	壺	-	-	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平行沈線文（磨り消し縄文）、縦位の平行沈線文。縄文 LR	89-14	Po557
10	注口土器	-	Ⅶ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平行沈線文 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の小突起、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	89-15	Po2732
11	壺	-	-	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	矢羽根状沈線文、平行沈線文	89-16	Po2704
12	注口土器	B1cd	Ⅶ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	口径（12.0cm）、体部最大径（19.1cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 沈線文 + 口唇部沈線。平行沈線文、鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文 + 櫛歯状刻目、連続弧状沈線文、ヘラ刻目、平行沈線文。縄文 LR	89-17	Po745
13	注口土器	C1bcd	Ⅶ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	平縁 + 波状浮線文 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文、鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	89-18	Po58
14	深鉢	A1cd	Ⅹ Ⅱ a	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。前々段多条縄文 RL。炭化物付着（外面・口縁端部・内面）	89-19	Po545
15	深鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ x	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 RL	89-20	Po565
16	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅱ x	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起（頂部刻み）+ 突起間沈線。平行沈線文。縄文 LR。突起・口縁部内面沈線	89-21	Po2694
17	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅲ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。沈線文。前々段多条縄文 LR	89-22	Po2710
18	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅱ a	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径（17.4cm）、器高（13.7cm）、底径 6.6cm。平縁 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の小突起 4 単位 + 山形突起 4 単位 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR。底部付近ミガキによる無文帯、底部ミガキ。突起・口縁部内面沈線	89-23	Po56
19	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅱ x	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	口径（12.4cm）、器高 13.2cm、底径 5.0cm。平縁 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の小突起 4 単位 + 山形突起 4 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文。底部木葉痕。縄文 LR 未端部強調	89-24	Po2749
20	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅱ x	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径 14.5cm。平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起（小）4 単位 + 山形突起大 4 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文。羽状縄文 LR/RL。内面炭化物付着	89-25	Po57
21	深鉢	A1cdf	Ⅹ Ⅲ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	口径（14.6cm）、器高 14.2cm、底径 5.7cm。平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	89-26	Po67

第100図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（20）



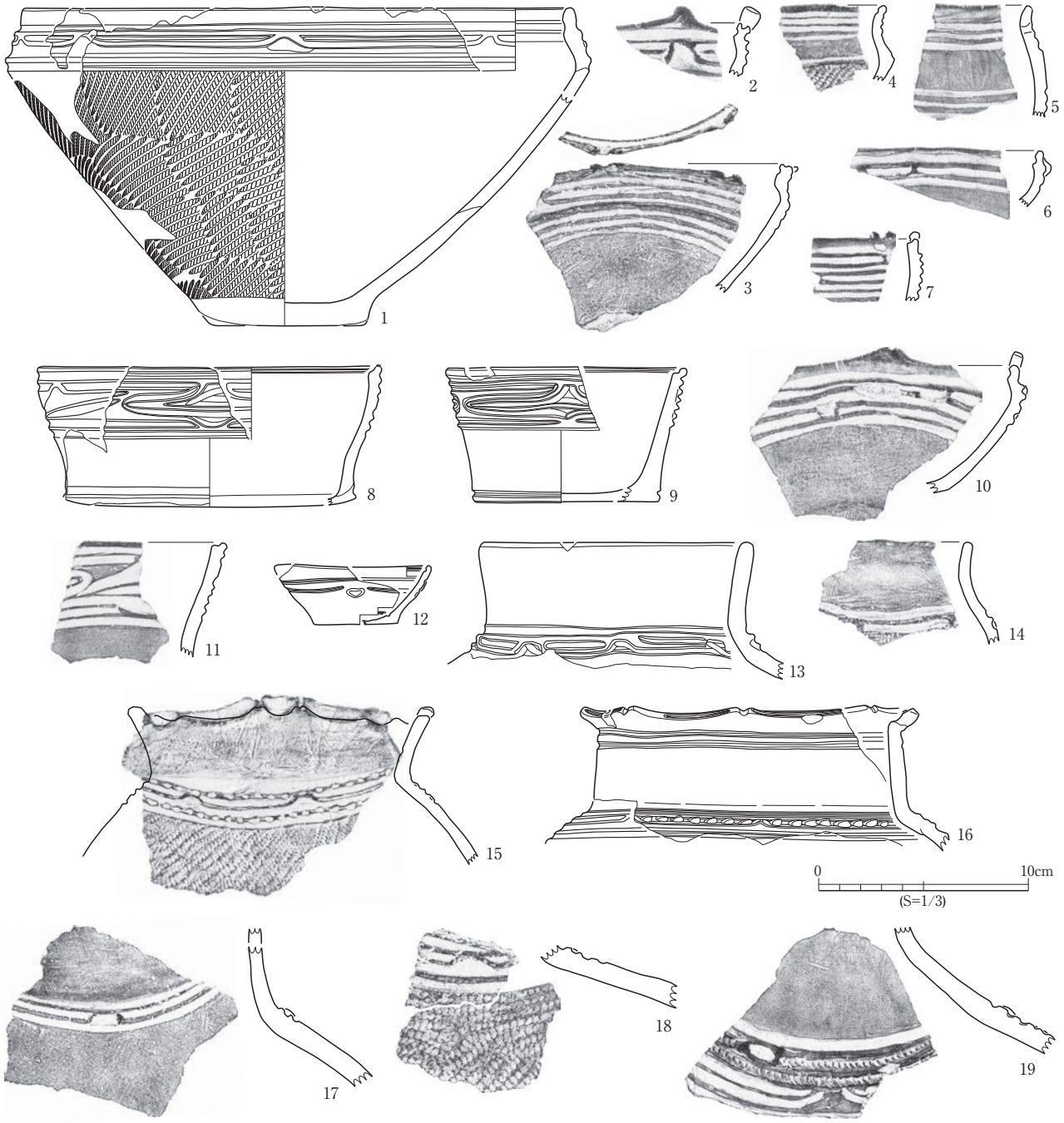
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1cd	XⅡa	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。縄文 R	90-1	Po698
2	深鉢	A1cd	XⅢ	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	90-2	Po2743
3	深鉢	A1d	XⅡx	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁 + 刺突列。平行沈線文。縄文 R。内面炭化物付着	90-3	Po676
4	深鉢	A1cd	XⅡx	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 RL	90-4	Po316
5	深鉢	A1cd	XⅢ	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1	口径（23.6cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR	90-6	Po51
6	深鉢	A1cd	XⅢ	南 2A	D-54 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR 末端部強調。外面炭化物付着	90-5	Po569
7	深鉢	A1cd	XⅢ	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL	90-7	Po128
8	深鉢	A1d	XⅢ	南 2A	D-54 北 / Ⅵb	口径（22.2cm）。平縁 + ヘラ刻目。沈線文。羽状縄文 RL/LR	90-8	Po547
9	深鉢	A1cd	XⅢ	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1+ Ⅵa	口径 28.0cm。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR 末端部強調。外面炭化物付着	90-12	Po53

第101図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（21）



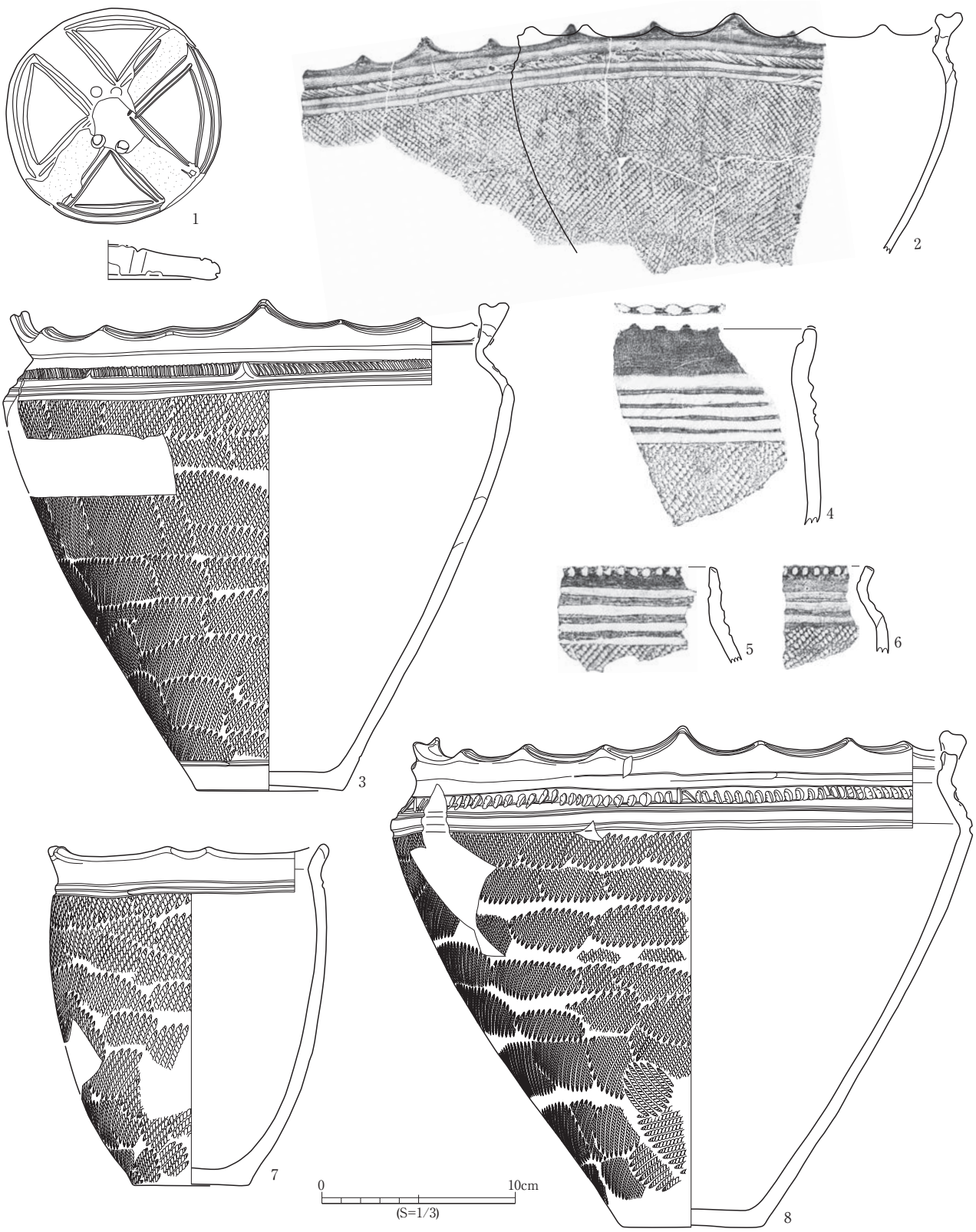
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	90-9	Po323
2	深鉢	B1cd	XⅢ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	90-10	Po315
3	深鉢	B1cd	XⅣ b1	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。縄文 LR。補修孔 1	90-11	Po314
4	鉢	B1d	XⅡ x	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + 櫛歯状刻目。平行沈線文。縄文 LR	91-6	Po567
5	鉢	B1cdf	XⅣ b1	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径 14.6cm、器高 8.2cm、底径（6.1cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 6 単位 + 口唇部沈線。縄文 LR。底部ミガキ	91-1	Po47
6	鉢	A1d	XⅣ a1	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + 櫛歯状刻目。縄文 LR	91-8	Po2698
7	皿	A1cd	XⅤ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + 櫛歯状刻目 + 口唇部沈線	91-7	Po566
8	皿	A1f	XⅤ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	口径（23.2cm）、器高 7.3cm、丸底。平縁 + 山形突起か。底部ケズリ。口縁部内面沈線	91-2	Po46
9	皿	A1cdf	XⅡ x	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文	91-9	Po577
10	皿	A1cdf	XⅡ x	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	口径（18.3cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 4 単位 + 山形突起 4 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文。外面赤彩	91-10	Po64
11	鉢	A1cf	X	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の山形突起か + 口唇部沈線。工字文、平行沈線文。口縁部内面沈線。外面赤彩	91-11	Po2731
12	浅鉢	A1cf	X	南 2A	D-79 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の突起 + 突起間沈線。流水工字文。口縁部内面沈線	91-13	Po3065
13	鉢	A1c	X	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口唇部沈線。工字文（メガネ状）、平行沈線文	91-12	Po287
14	浅鉢	A1c	X	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口縁端部沈線。工字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	91-14	Po288
15	四脚付浅鉢	A1cf	X	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（13.4cm）、器高 6.3cm、底径 8.3cm。平縁 + 山形突起の両側に二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文、工字文 6 単位、平行沈線文。突起・口縁部内面沈線	91-4	Po554
16	台部	-	X	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平行沈線文、透かし彫りを伴う流水工字文。内外面赤彩	91-24	Po309
17	鉢	A1d	Ⅸ d	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + 櫛歯状刺突列。平行沈線文、π 字文 + 櫛歯状刺突列。擬縄文 (オオバコ)。口縁部内面沈線	91-19	Po546
18	鉢	A1	Ⅸ f	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	平縁。π 字文 + 刺突列、沈線文。直前段多条縄文 LR。口縁部内面沈線	91-15	Po721

第102図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（22）



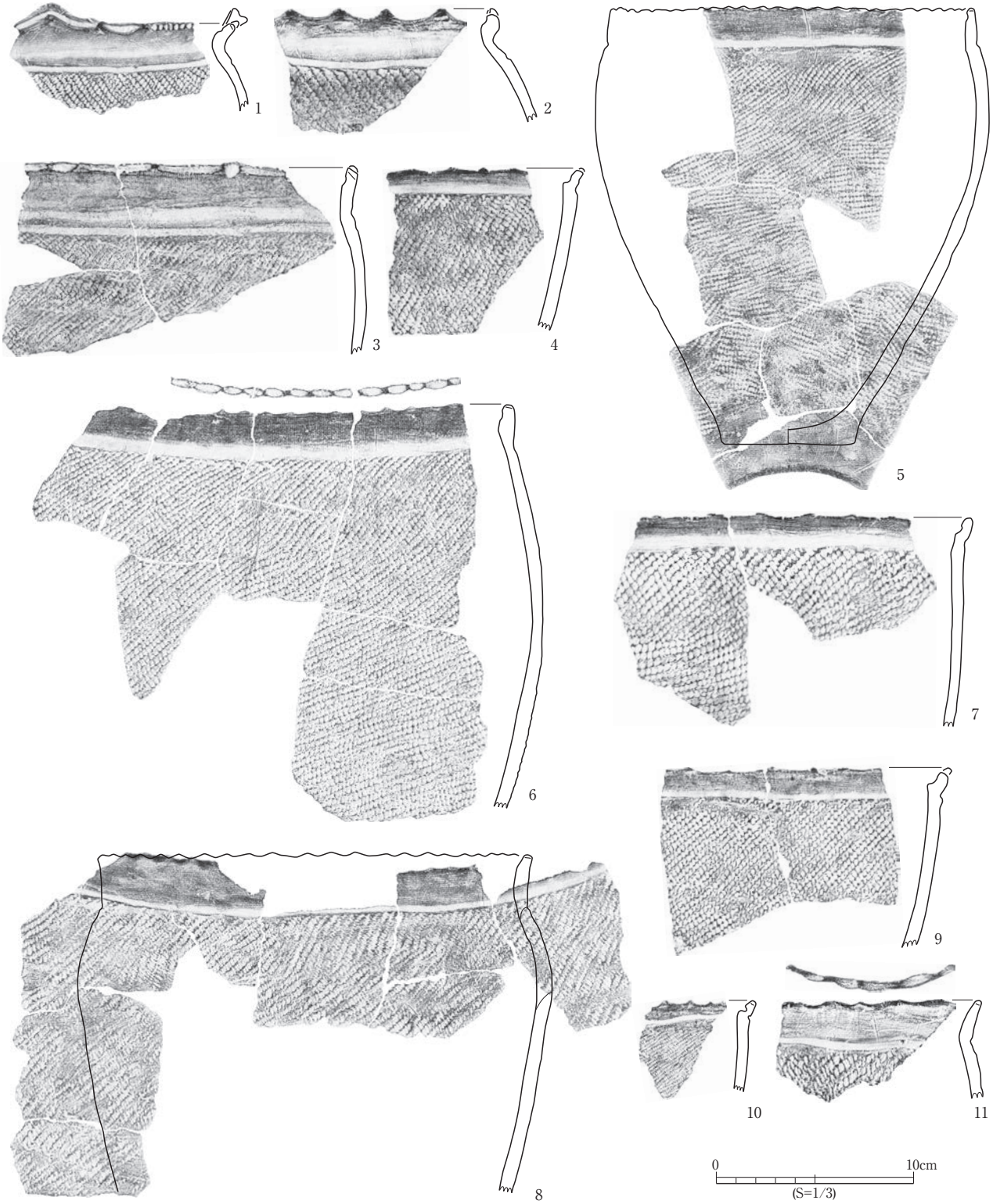
No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1	Ⅸ a	南 2A	D-55 東／Ⅵ a	口径（26.1cm）、器高 15.0cm、底径 7.0cm。平縁。π字文８単位か。縄文 LR。底部ミガキか。口縁部内面沈線	91-3	Po680
2	鉢か	B1cf	Ⅸ a	南 2A	D-68 北／Ⅵ a	平縁＋山形突起（頂部短沈線）＋突起間沈線。π字文。沈線文。口縁部内面沈線	91-17	Po2747
3	浅鉢	B1cf	Ⅸ a	南 2A	D-54 北／Ⅵ b	平縁＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。π字文、平行沈線文。口縁部内面沈線	91-16	Po549
4	鉢	C1	ⅩⅡ x	南 2A	D-68 北／Ⅵ a	平縁。平行沈線文、沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	91-18	Po2726
5	鉢	A1	ⅩⅡ x	南 2A	D-55 東／Ⅵ a	平縁。平行沈線文。補修孔１	91-20	Po682
6	浅鉢	A1	Ⅸ c	南 2A	D-68 北／Ⅵ a	平縁。π字文。口縁部内面沈線	91-26	Po2702
7	鉢	A1cf	Ⅸ a	南 2A	D-68 北／Ⅵ a	平縁＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。刺突、π字文（逆さ表現）、π字文、平行沈線文	91-27	Po2746
8	浅鉢	A1c	Ⅸ a+ ⅩⅠ	南 2A	D-54 南／Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（16.2cm）、器高（6.6cm）、底径（13.9cm）。平縁＋口唇部沈線。上下対向のπ字文、変形工字文。底部付近沈線文、底部ミガキ	91-5	Po292
9	浅鉢	A1c	Ⅸ a	南 2A	D-54 南／Ⅵ b	口径（11.4cm）、器高 6.4cm、底径（8.7cm）。平縁＋口唇部沈線。上下対向のπ字文、変形工字文。底部付近沈線文、底部ミガキ	91-21	Po306
10	浅鉢	A1cf	Ⅸ a	南 2A	D-55 西／Ⅵ a	波状縁＋二個一対の山形突起（頂部刻み）＋口唇部沈線。π字文、π字文（逆さ表現）。内外面赤彩	91-22	Po729
11	浅鉢	A1c	Ⅸ a+ ⅩⅠ	南 2A	D-68 北／Ⅵ a	平縁＋口唇部沈線。変形工字文、π字文（逆さ表現）	91-23	Po2716
12	袖珍土器浅鉢	A1	Ⅸ o	南 2A	D-54 南／Ⅵ b	口径（7.3cm）、器高 2.9cm、底径（4.0cm）。平縁。π字文。底部ミガキ。口縁部・底部付近内面沈線	91-25	Po345
13	壺	F1	Ⅸ a	南 2A	D-55 西／Ⅵ a	口径 13.0cm。平縁。π字文８単位	92-1	Po714
14	壺	C1	Ⅸ a	南 2A	D-55 東／Ⅵ a	平縁。沈線文、π字文。縄文 L か	92-5	Po696
15	壺	H2cf	Ⅸ a1	南 2A	D-55 西／Ⅵ a	口径（14.1cm）。波状縁＋二個一対の小突起＋二個一対の山形突起（頂部刻み）。π字文＋刺突列、平行沈線文＋刺突列。縄文 LR	92-6	Po724
16	壺	H2cf	Ⅸ a2	南 2A	D-54 南／Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（15.6cm）。波状縁＋山形突起（頂部刻み）＋突起間沈線＋口唇部沈線。平行沈線文、π字文＋刺突列	92-2	Po330
17	壺	-	Ⅸ a	南 2A	D-54 南／Ⅵ b	π字文＋二個一対の貼瘤	92-7	Po310
18	壺	-	Ⅸ a	南 2A	D-55 東／Ⅵ a	π字文、沈線文。縄文 LR	92-8	Po683
19	壺	-	Ⅸ o	南 2A	D-68 南／Ⅵ a	工字文＋櫛歯状刻目、櫛歯状刻目、π字文。外面赤彩	92-10	Po2852

第103図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（23）



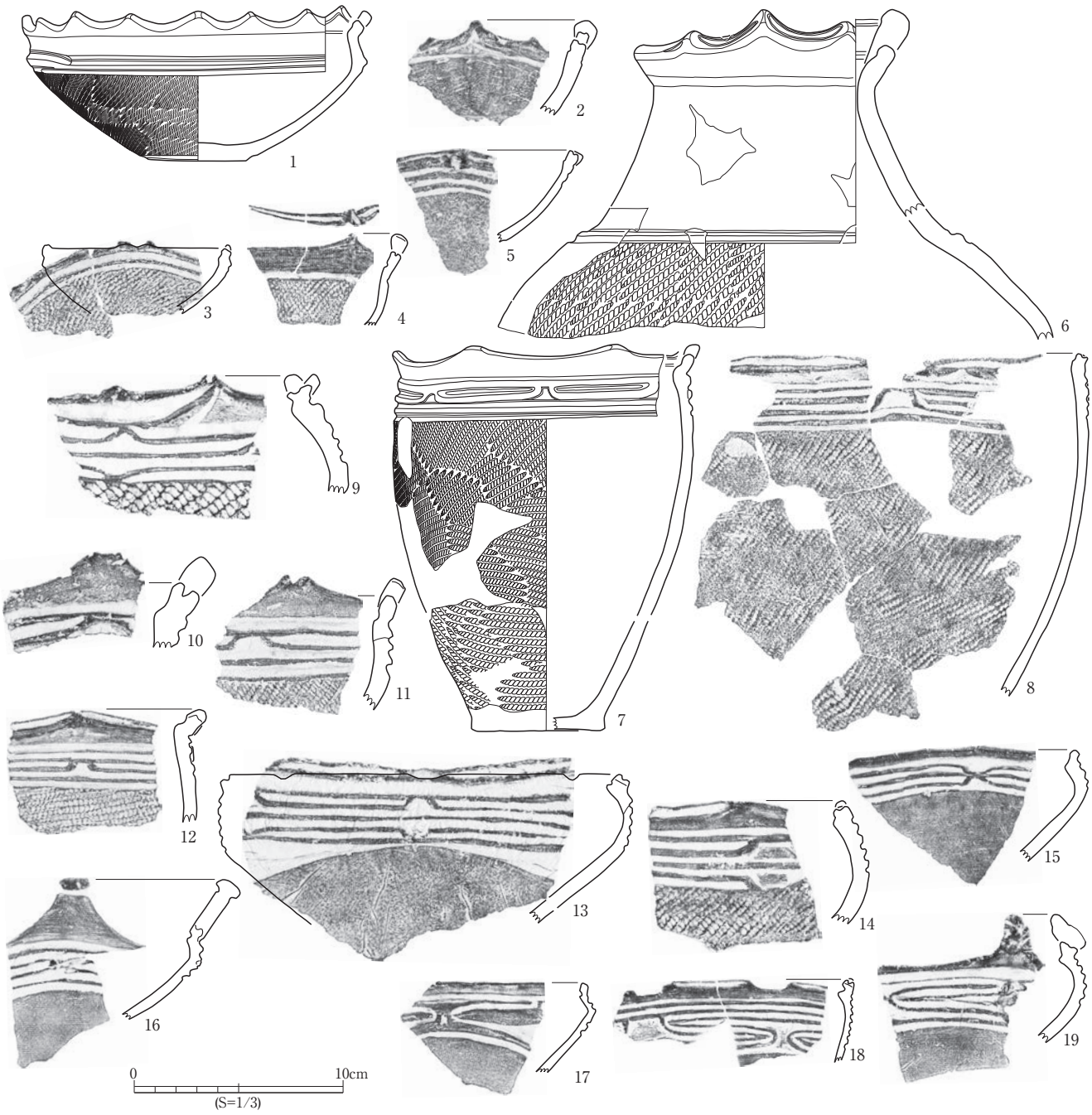
No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	蓋	-	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a+ Ⅵ	つまみ部径（11.6cm）。平行沈線文（扇形）。二個一対の貫通孔 2 組か	92-11	Po697
2	深鉢	B3cef	XⅡ a	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	口径（22.8cm）。波状縁 + 山形突起 + 口縁端部沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。羽状縄文 RL/LR。内外面炭化物付着	92-9	Po563
3	深鉢	B3cef	Ⅸ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	口径 23.8cm、器高 25.0cm、底径 7.4cm。波状縁 + 山形突起 4 単位 + 波底間沈線。櫛歯状刻目、π 字文、平行沈線文。底部付近に沈線文、ミガキによる無文帯。底部ミガキ、かるい上げ底。縄文 LR。突起・口縁部内面沈線。外面炭化物付着	92-3	Po543
4	深鉢	C2c	XⅡ x	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	波状縁 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	92-12	Po362
5	深鉢	C1d	XⅡ x	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	92-13	Po322
6	深鉢	C1d	XⅡ x	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	92-14	Po2724
7	深鉢	B3f	XⅡ x	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a+ Ⅵ	口径 13.3cm、器高 16.8cm、底径 5.8cm。波状縁 + 二個一対の山形突起。平行沈線文。縄文 LR。底部ミガキ	92-4	Po678
8	深鉢	B3cef	XⅡ a	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	口径 28.2cm、器高 26.0cm、底径 7.1cm。波状縁 + 山形突起（大）5 単位 + 山形突起（小）15 単位 + 波底部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR。突起・口縁部内面沈線	93-1	Po2725

第104図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（24）



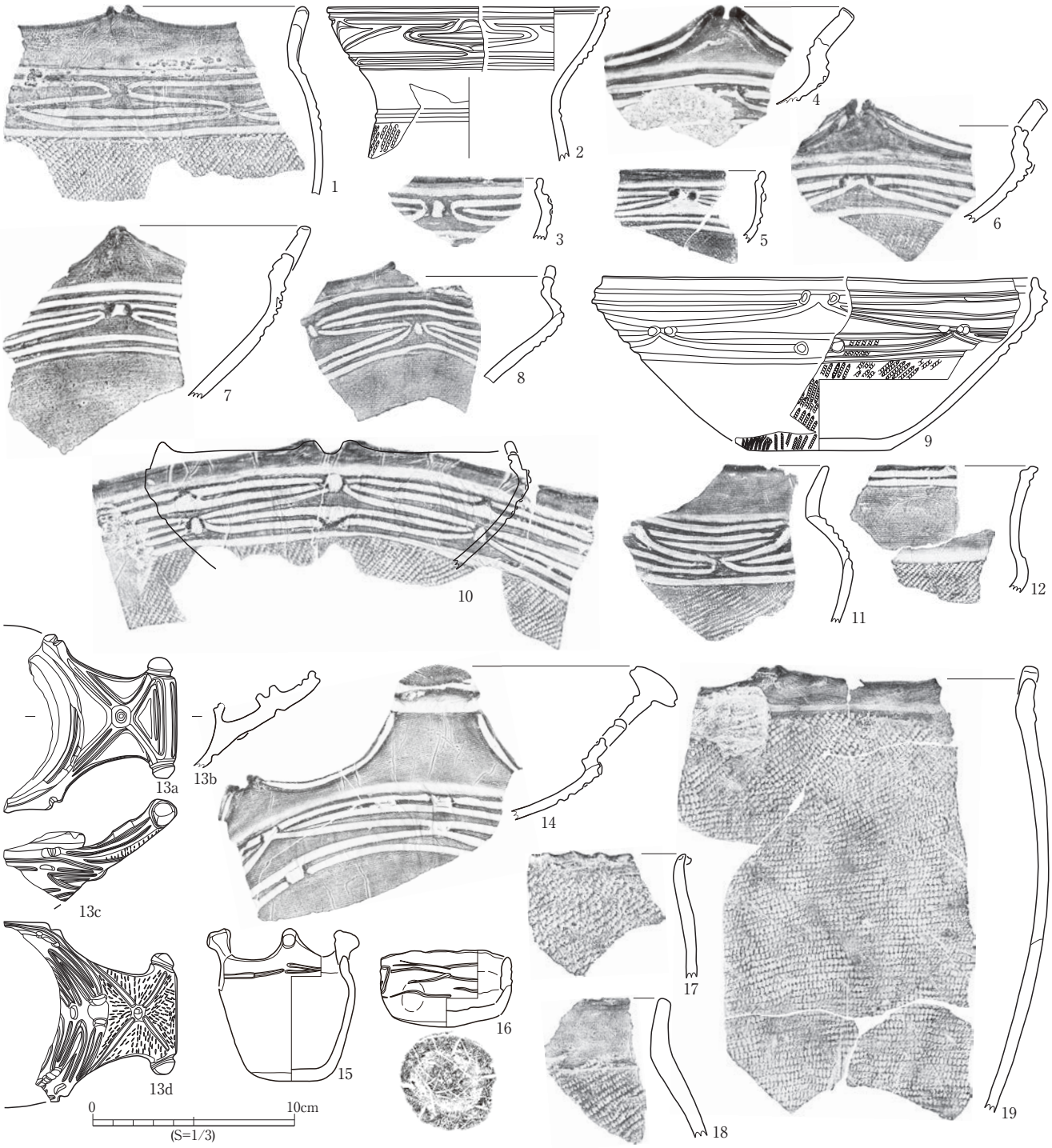
No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B3cef	XⅢ	南 2A	D-68 北／Ⅵa	波状縁＋山形突起（大）の両側に二個一対の山形突起（小）＋突起間沈線。沈線文。縄文 RL。突起・口縁部内面沈線	93-2	Po2728
2	深鉢	B2cf	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋小突起＋口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	93-3	Po324
3	深鉢	C2f	XⅡx	南 2A	D-68 北／Ⅵa	波状縁＋二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	93-6	Po2720
4	深鉢	B2c	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋口唇部沈線。沈線文。縄文 LR。炭化物付着（外面、内面）	93-4	Po350
5	深鉢	A2c	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb+Ⅵa+Ⅰ	口径（18.3cm）、器高 22.1cm、底径 6.8cm。波状縁＋口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	93-5	Po349
6	深鉢	B2c	XⅣb1	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋口唇部沈線。縄文 LR	93-7	Po361
7	深鉢	B2c	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	93-8	Po354
8	深鉢	B2	XⅢ	南 2A	D-68 中央／Ⅵa・b・D-68 北／Ⅵa	口径（21.7cm）。波状縁。沈線文。前々段多条縄文 LR	94-4	Po2741
9	深鉢	B2c	XⅣb1	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋口唇部沈線。縄文 LR	93-9	Po313
10	深鉢	B2c	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁＋口唇部沈線。沈線文。縄文 LR+R 附加条	93-10	Po280
11	深鉢	B2	XⅢ	南 2A	D-54 南／Ⅵb	波状縁。沈線文。縄文 LR	93-11	Po359

第105図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（25）



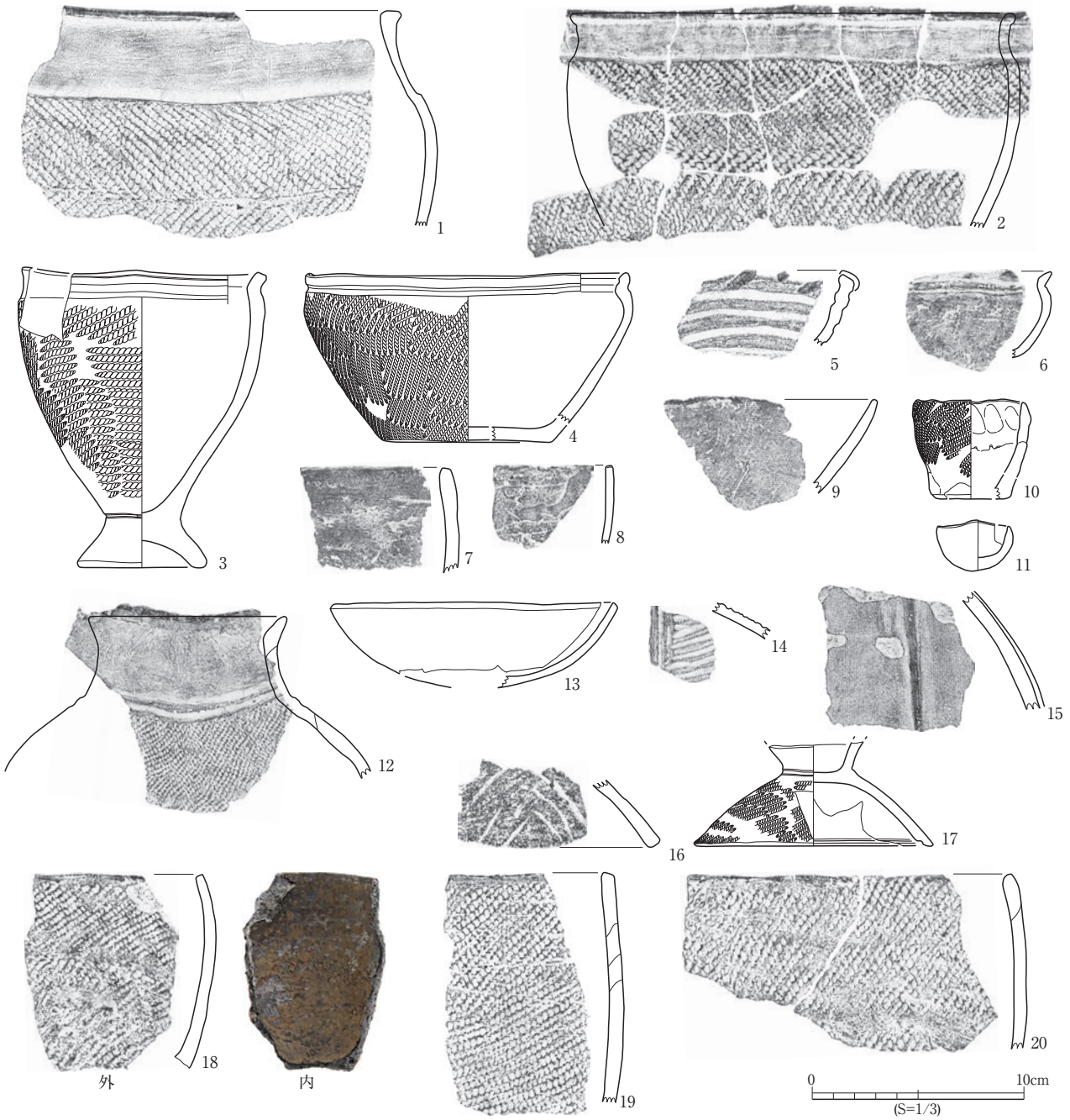
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	B3	XⅡx	南 2A	D-54 北 / Ⅵb	口径 16.1cm、器高 7.4cm、底径 4.7cm。波状縁。平行沈線文。底部付近沈線文。縄文 L。底部ミガキ。突起・口縁部内面沈線	94-3	Po571
2	浅鉢	A1f	XⅢ	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁か + 山形突起の左右に小突起。沈線文。口縁部内面沈線	94-5	Po684
3	浅鉢	A1f	XⅡx	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	口径（21.4cm）。平縁 + 二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	94-6	Po2700
4	鉢	B1cf	XⅢ	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 口縁端部沈線。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	94-7	Po320
5	Ⅲ	A1cf	XⅡx	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁 + 二個一対の小突起 + 口縁端部沈線。平行沈線文。口縁部内面沈線	94-8	Po2699
6	壺	H1cef	XⅡx	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1	口径（12.0cm）。平縁 + 山形突起（大）の両側に山形突起（小）+ 突起間沈線。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	94-1	Po54
7	深鉢	B3	Ⅸa	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	口径（14.5cm）。波状縁。π 字文 8 単位。沈線文。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線。内外面炭化物付着	94-2	Po570
8	深鉢	A1cd	Ⅸa	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁 + 押圧 + 口縁端部沈線。π 字文、沈線文。縄文 LR。外面炭化物付着	94-13	Po688
9	鉢	A1cef	Ⅸa	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + 山形突起 + 小突起 + 山形突起間沈線 + 口唇部沈線。上下対向の π 字文、π′字文。縄文 LR	94-9	Po307
10	鉢か	B3ce	Ⅸa	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	波状縁 + 山形突起 + 突起間沈線。π 字文	94-10	Po2735
11	鉢	B3e	Ⅸa	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。π 字文。前々段多条縄文 LR。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	94-11	Po2734
12	深鉢	B3c	Ⅸa	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	波状縁 + 口縁端部沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文、π 字文、沈線文。縄文 LR	94-12	Po708
13	浅鉢	A1cd	Ⅸa	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	口径（19.6cm）。平縁 + 押圧 + 突起間沈線 + 口唇部沈線。上下対向の π′字文	94-14	Po711
14	鉢	A3c	Ⅸa	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	波状縁 + 口縁端部沈線。上下対向の π′字文。縄文 LR。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	94-15	Po312
15	浅鉢	A1c	Ⅸa	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + 口唇部沈線。π 字文（メガネ状）	94-17	Po346
16	台付浅鉢	B3ce	Ⅸb	南 2A	D-79 / Ⅵa+ Ⅵ	波状縁 + 山形突起（円盤状飾り）+ 波底部沈線。平行沈線文、π 字文か + 二個一対の貼瘤。口縁部内面沈線	94-16	Po3067
17	鉢	A1	Ⅸa+ XⅠ	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。π 字文、変形工字文 + 刺突、沈線文。口縁部内面沈線	94-18	Po331
18	鉢	A1cf	Ⅸa+ XⅠ	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + 二個一対の小突起 + 突起間沈線 + 口唇部沈線。π 字文、変形工字文	94-19	Po293
19	浅鉢	A1ce	Ⅸa+ XⅠ	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁 + 球状突起 + 口唇部沈線。上下対向の π 字文、変形工字文。口縁部内面沈線	94-20	Po344

第106図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（26）



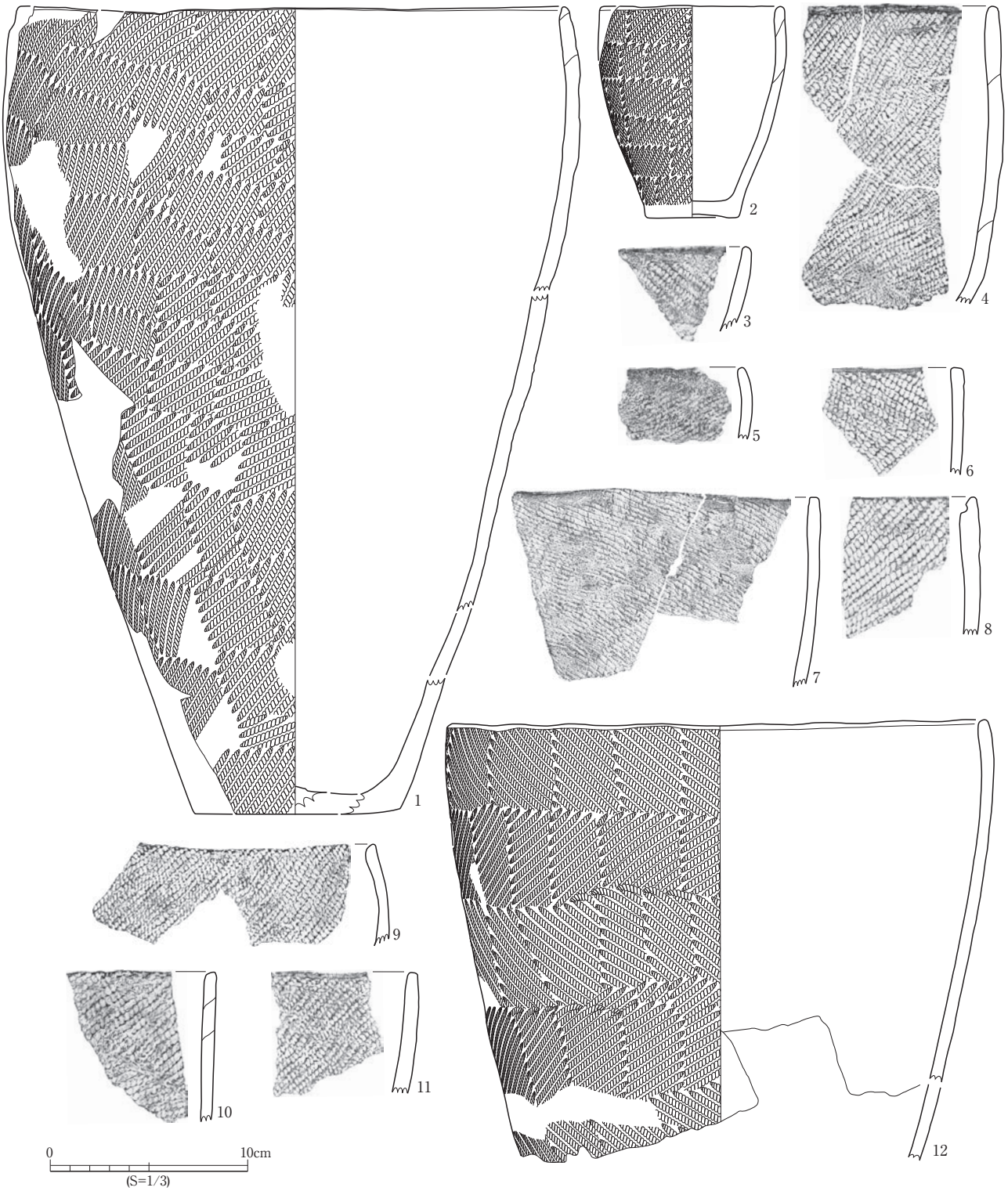
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B3f	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。変形工字文、沈線文。縄文 LR。内外面炭化物付着	94-21	Po720
2	鉢	D1	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	口径（13.7cm）。平縁。変形工字文、π字文（逆さ表現）、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	94-22	Po276
3	鉢	A1	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-79 / Ⅵ a	平縁。変形工字文 + 盲孔、π字文（逆さ表現）か。口縁部内面沈線	95-3	Po3060
4	台付浅鉢	B3ce	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 波底部沈線。変形工字文 + 刺突。突起・口縁部内面沈線	95-4	Po2744
5	浅鉢	A1c	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口唇部沈線。変形工字文 + 二個一対の貼瘤、平行沈線文。縄文 LR+R 附加条	95-5	Po284
6	浅鉢	B3ce	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	波状縁 + 山形突起（頂部沈線）+ 波底部沈線。変形工字文 + 二個一対の貼瘤。縄文 LR	95-6	Po358
7	浅鉢	B3e	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。変形工字文 + 刺突、平行沈線文。口縁部内面沈線	95-7	Po348
8	台付浅鉢	B3e	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-68 / Ⅵ	波状縁 + 山形突起か。沈線文、変形工字文 + 刺突 2 段、沈線文。口縁部内面沈線	95-8	Po2853
9	浅鉢	A1	Ⅸ b+ Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	口径（20.8cm）、器高 8.4cm、底径 7.0cm。平縁。変形工字文 + 二個一対の貼瘤 2 段、π字文（逆さ表現）+ 二個一対の貼瘤。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線	95-1	Po681
10	浅鉢	A1f	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	口径（17.6cm）。平縁 + 二個一対の山形突起。変形工字文上下各 4 単位 + π字文 4 単位 + π字文（逆さ表現）4 単位。縄文 LR。口縁部内面沈線	95-2	Po733
11	壺	C1	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁。変形工字文 2 段。前々段多条縄文 LR	95-9	Po2740
12	鉢	D1c	Ⅹ Ⅱ x	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口唇部沈線。平行沈線文、沈線文。縄文 LR。外面赤彩	95-10	Po355
13	浅鉢	A1ce	Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁 + 口唇部沈線 + 装飾的把手。変形工字文 + 二個一対の貼瘤 2 段、変形工字文 + 盲孔 2 段	95-12	Po357
14	台付浅鉢	B3ce	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 方形突起（頂部円盤状飾り）+ 突起間沈線。変形工字文、π字文、π字文（逆さ表現）。突起・口縁部内面沈線	95-11	Po726
15	袖珍土器深鉢	B1e	Ⅹ Ⅲ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	口径（5.4cm）、器高 7.3cm、底径 3.8cm。平縁 + 山形突起（頂部飾り）。沈線文。底部ミガキ	95-19	Po356
16	袖珍土器浅鉢	A1	Ⅹ Ⅰ ?	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径 6.0cm、器高 3.7cm、底径 5.0cm。平縁。変形工字文か。底部木葉痕	95-18	Po428
17	深鉢	A2	Ⅹ Ⅳ a1	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	波状縁。縄文 LR	95-16	Po318
18	深鉢	C1	Ⅹ Ⅳ b1	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	平縁。縄文 LR	95-17	Po694
19	深鉢	C3f	Ⅹ Ⅲ	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。沈線文。縄文 LR。外面炭化物付着	95-13	Po691

第107図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（27）



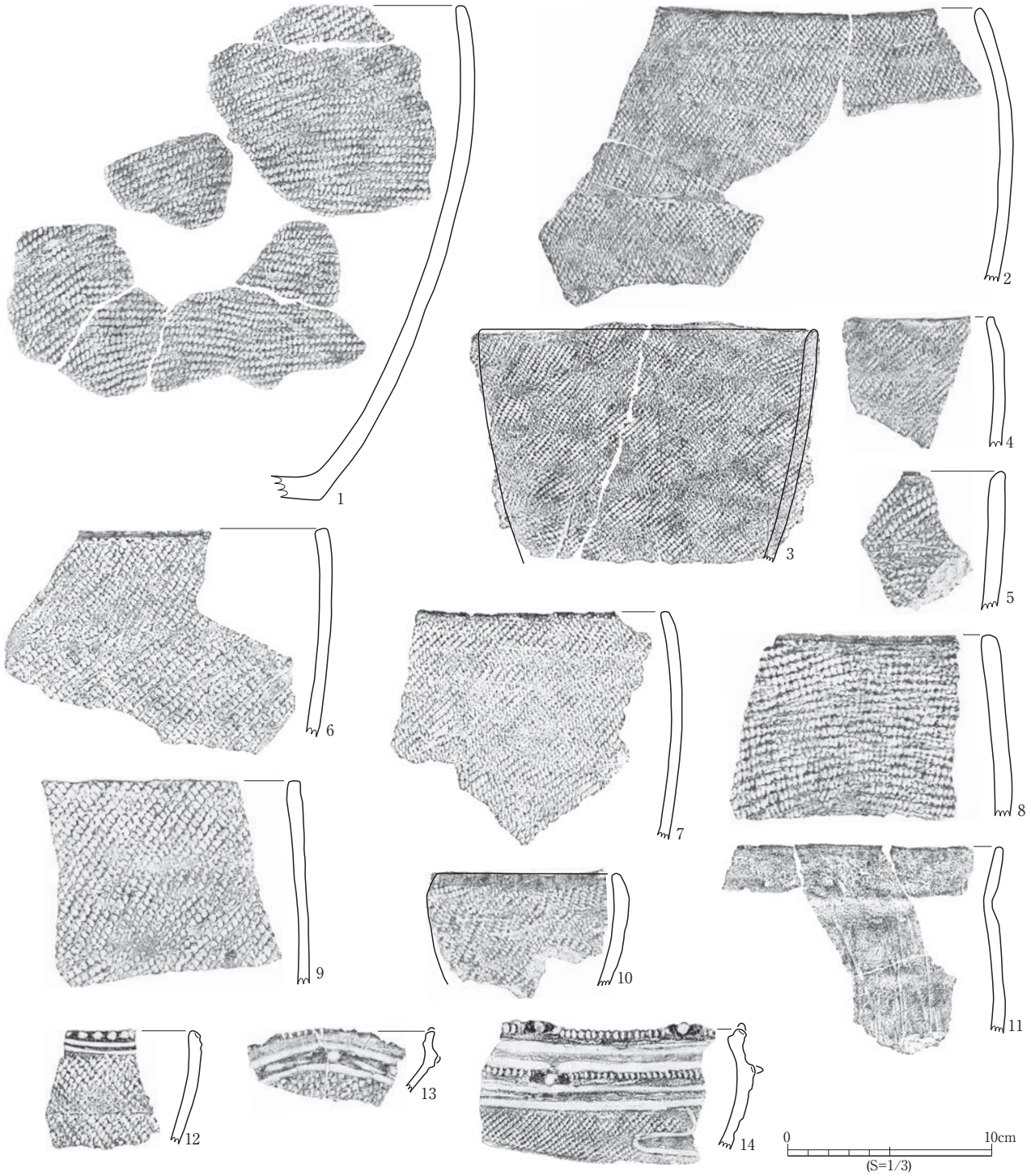
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	C1	XⅣ b2	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁。羽状縄文 RL/LR	95-15	Po553
2	深鉢	C1	XⅣ b2	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	口径（22.0cm）。平縁。羽状縄文 RL/LR	95-14	Po69
3	台付深鉢	C1	XⅣ b1	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	口径 10.7cm、器高 13.5cm、体部高 11.2cm、底径 5.6cm。平縁。縄文 LR。台部との境界に沈線文	95-21	Po685
4	鉢	B1	XⅢ	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（15.0cm）、器高 8.1cm、底径 7.6cm。平縁。沈線文。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線	95-20	Po404
5	浅鉢	A1a	XⅡ x	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁 + 粘土紐貼付。平行沈線文。口縁部内面平行沈線	96-1	Po559
6	袖珍土器浅鉢	B1f	XⅡ x	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁か + 山形突起か。平行沈線文	96-2	Po2751
7	深鉢	A1	XⅤ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁	96-3	Po2750
8	製塩土器深鉢	A1	XⅤ	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	平縁	96-4	Po579
9	鉢	A1	XⅤ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	平縁	96-5	Po2717
10	袖珍土器鉢	A1	XⅣ a1	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	口径 4.8cm、器高 4.5cm、底径 3.1cm。平縁。縄文 LR+R 附加条	96-18	Po282
11	袖珍土器鉢	C1	XⅤ	南 2A	D-68 北 / Ⅵ	口径 3.3cm、器高 2.4cm、丸底。波状縁。底部ナデ	96-19	Po2752
12	壺	G1	XⅡ x	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	口径（8.6cm）。平縁。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	96-6	Po2721
13	皿	A1	XⅤ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	口径（13.3cm）。平縁	96-20	Po73
14	壺か	-	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	縦位の平行沈線文、斜行する平行沈線文	96-7	Po699
15	壺	-	-	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	縦位の隆帯	96-9	Po2705
16	台部	-	-	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	山形沈線文	96-8	Po291
17	蓋	-	XⅣ a1	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	口径 11.7cm、蓋部高 3.7cm。平縁 + 口唇部沈線。縄文 LR。つまみ部との境界に沈線文	96-21	Po2715
18	鉢（漆容器）	A1	XⅣ a1	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁。縄文 LR。漆付着（外面口縁部・内面全体）	96-10	Po363
19	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	平縁。縄文 LR	96-11	Po689
20	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	平縁。縄文 LR	96-13	Po364

第108図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（28）



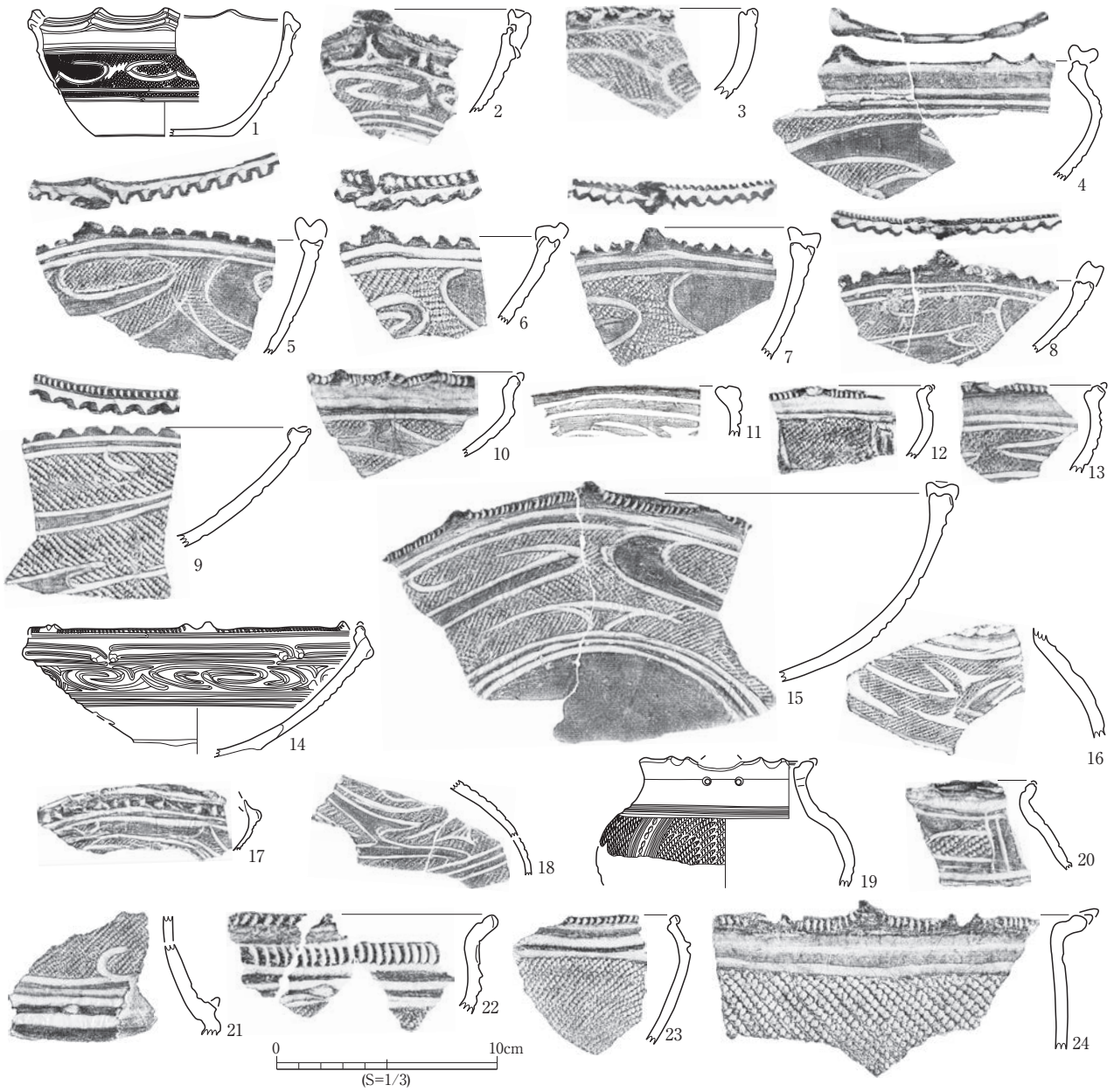
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	口径（26.9cm）、器高 41.1cm。平縁。底部ミガキ。縄文 LR	96-23	Po662
2	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1・2	口径（8.7cm）、器高 10.3cm、底径 4.4cm。平縁。底部ミガキ、かるい上げ底。縄文 LR	96-22	Po66
3	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁。縄文 RL	96-16	Po2697
4	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb+ Ⅵa	平縁。直前段多条縄文 LR	96-15	Po375
5	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁。縄文 LR	96-17	Po2712
6	深鉢	A1	XⅣa2	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	96-14	Po692
7	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 R	96-12	Po360
8	深鉢	A1c	XⅣa1	南 2A	D-68 南 / Ⅵa	平縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	97-1	Po2850
9	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 LR	97-2	Po321
10	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁。縄文 LR	97-3	Po2722
11	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁。縄文 LR	97-4	Po693
12	深鉢	A1	XⅣa2	南 2A	D-53 南 / Ⅵb1・2	口径 26.8cm。平縁。羽状縄文 RL/LR 末端部強調。外面炭化物付着	97-5	Po60

第109図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（29）



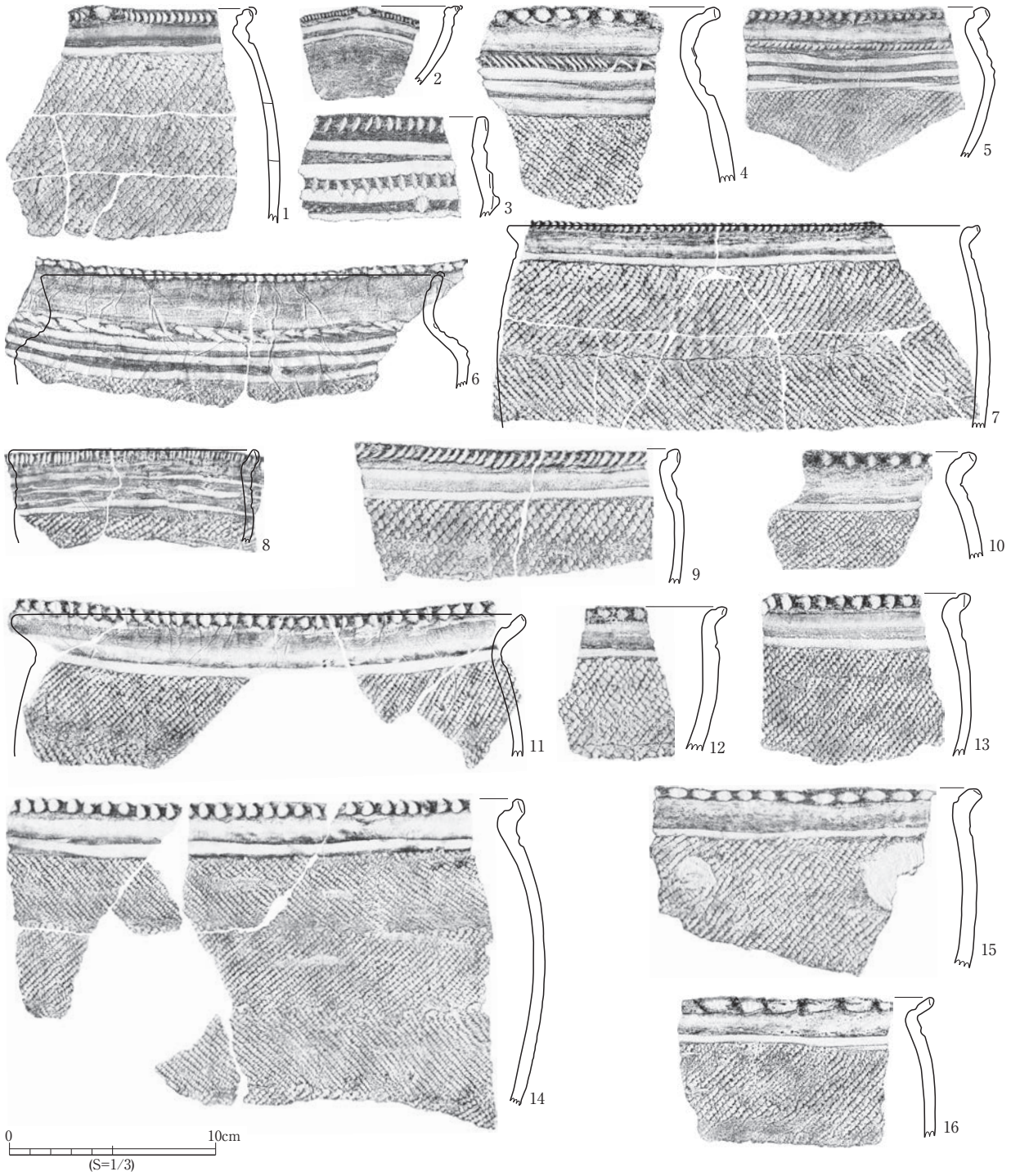
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-55 東 / Ⅵa・b+ Ⅵa	平縁。縄文 LR	97-7	Po679
2	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 LR 末端部強調	97-6	Po289
3	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	口径（16.6cm）。平縁。縄文 LR	97-8	Po304
4	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁。縄文 LR。外面炭化物付着	97-9	Po2736
5	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	平縁。縄文 LR	97-10	Po2713
6	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 北 / Ⅵb	平縁。直前段多条縄文 LR	97-12	Po568
7	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 LR	97-14	Po351
8	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 LR	97-11	Po352
9	深鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	平縁。縄文 LR	97-13	Po353
10	鉢	A1	XⅣa1	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	口径（8.8cm）。平縁。縄文 LR	97-16	Po700
11	深鉢	C1	XⅤ	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	平縁	97-15	Po677
12	鉢	A1	XⅡx	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 RL	97-17	Po131
13	浅鉢	A1cdf	Ⅷ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤。縄文 LR	97-18	Po113
14	鉢	B1cdf	Ⅶ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。ヘラ刻目 + 二個一対の小突起、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	97-19	Po143

第110図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（30）



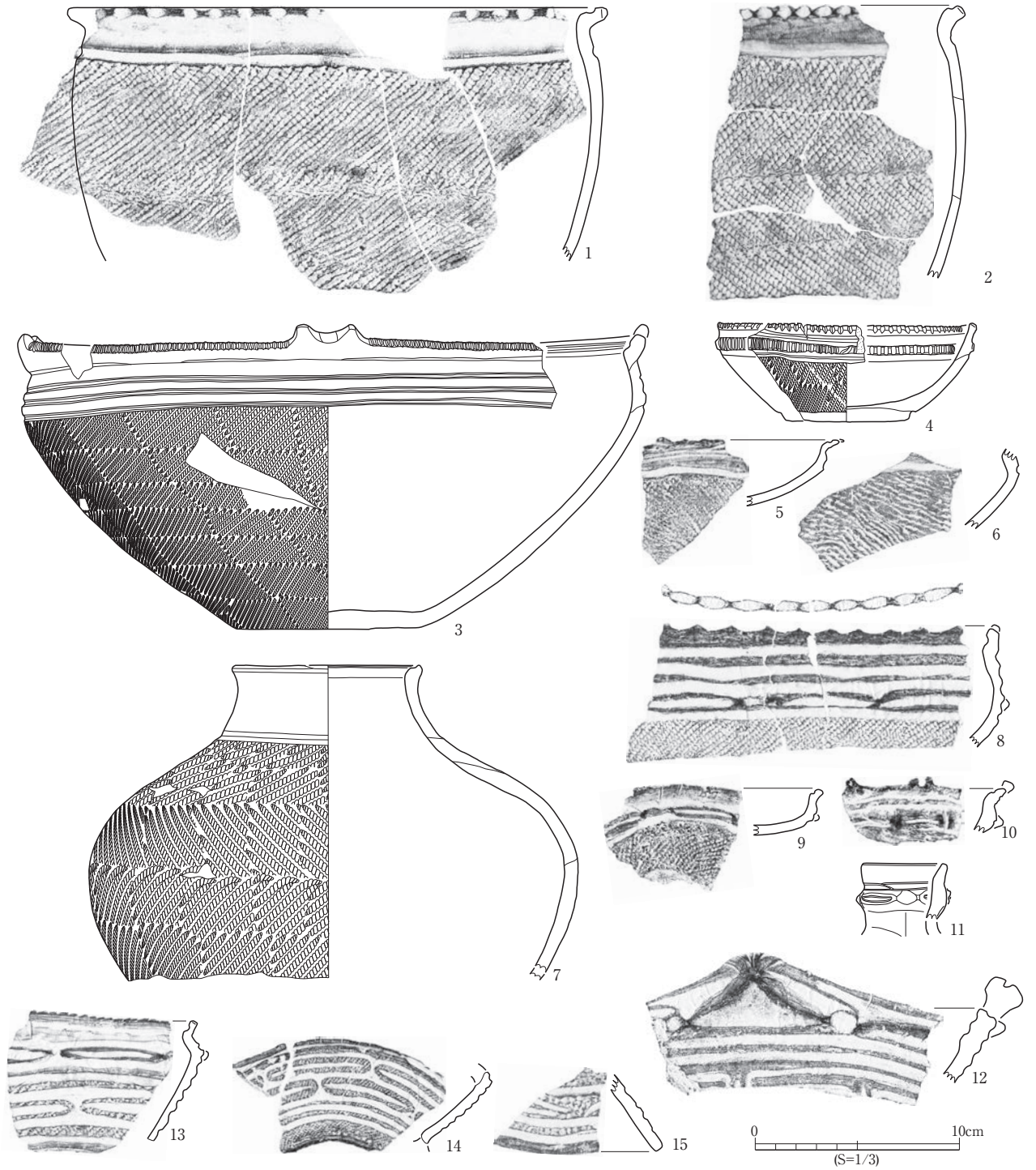
No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A3cf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	口径（11.2cm）、器高 5.3cm、底径（6.5cm）。波状縁＋山形突起＋口縁端部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。底部ケズリ。縄文 LR	98-4	Po74
2	鉢	A1cdf	Ⅶ＋Ⅷ	南１	D-54 北／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋筒状突起＋口唇部沈線。メガネ状浮文＋二個一対の貼瘤、渦巻き状雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。内外面炭化物付着	98-5	Po596
3	浅鉢	A1bc	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋波状浮線文＋口唇部沈線。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	98-6	Po110
4	浅鉢	B1cf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋山形突起＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内面沈線	98-3	Po108
5	Ⅲ	A1bf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋波状浮線文＋山形突起。平行沈線文、雲形文（充填縄文）。縄文 LR。体部下半内面隆帯＋充填縄文 LR	98-7	Po75
6	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋波状浮線文＋山形突起＋内面ヘラ刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。外面赤彩	98-9	Po160
7	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南１	D-54 北／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	98-8	Po591
8	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋波状浮線文＋山形突起＋内面ヘラ刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	98-11	Po165
9	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa・b1	平縁＋波状浮線文＋内面ヘラ刻目。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。内面沈線	98-10	Po62
10	浅鉢	C2d	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	波状縁＋ヘラ刻目。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内面沈線	98-12	Po82
11	浅鉢	A1c	Ⅶ？	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文か	98-13	Po83
12	浅鉢	B1cdf	Ⅶ？	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 LR	98-14	Po152
13	浅鉢	B1cdf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋小突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	98-15	Po107
14	台付浅鉢	A1df	Ⅶ＋Ⅷ	南１	D-53 北／Ⅵa	口径（15.1cm）。平縁＋櫛歯状刻目＋二個一対の小突起 5 単位か。沈線文、メガネ状浮文＋二個一対の貼瘤 5 単位か、渦巻状雲形文 5 単位か、平行沈線文。口縁部内面平行沈線文	98-1	Po22
15	Ⅲ	A1cdf	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋口唇部沈線。雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR、RL	98-19	Po109
16	壺	-	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、沈線文。縄文 LR	98-16	Po157
17	注口土器	-	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文、ヘラ刻目、沈線文。縄文 LR	98-17	Po159
18	壺	-	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	雲形文（磨り消し縄文）＋平行沈線文。直前段多条縄文 LR	98-18	Po158
19	壺	H1cf	-	南１	D-53 南／Ⅵa	口径 7.6cm、体部最大径（11.3cm）。平縁＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文、縦位の平行沈線文＋刺突列。縄文 LR。貫通孔 2	98-2	Po164
20	壺	H1cf	Ⅶ	南１	D-54 南／Ⅵa・b	平縁＋小突起＋突起間の沈線＋口唇部沈線。雲形文（磨り消し縄文）、沈線文、縦位の平行沈線文。縄文 LR	98-20	Po369
21	注口土器	-	Ⅶ	南１	D-53 南／Ⅵa	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文＋二個一対の貼瘤。縄文 LR	98-21	Po111
22	深鉢	B1d	XⅣa1	南１	D-53 南／Ⅵa+Ⅵ＋Ⅴ	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文＋櫛歯状刻目。平行沈線文＋押圧。縄文 LR	98-22	Po94
23	鉢	B1cd	XⅡc	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	98-23	Po115
24	深鉢	B1cdf	XⅢ	南１	D-53 南／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	98-24	Po121

第111図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（31）



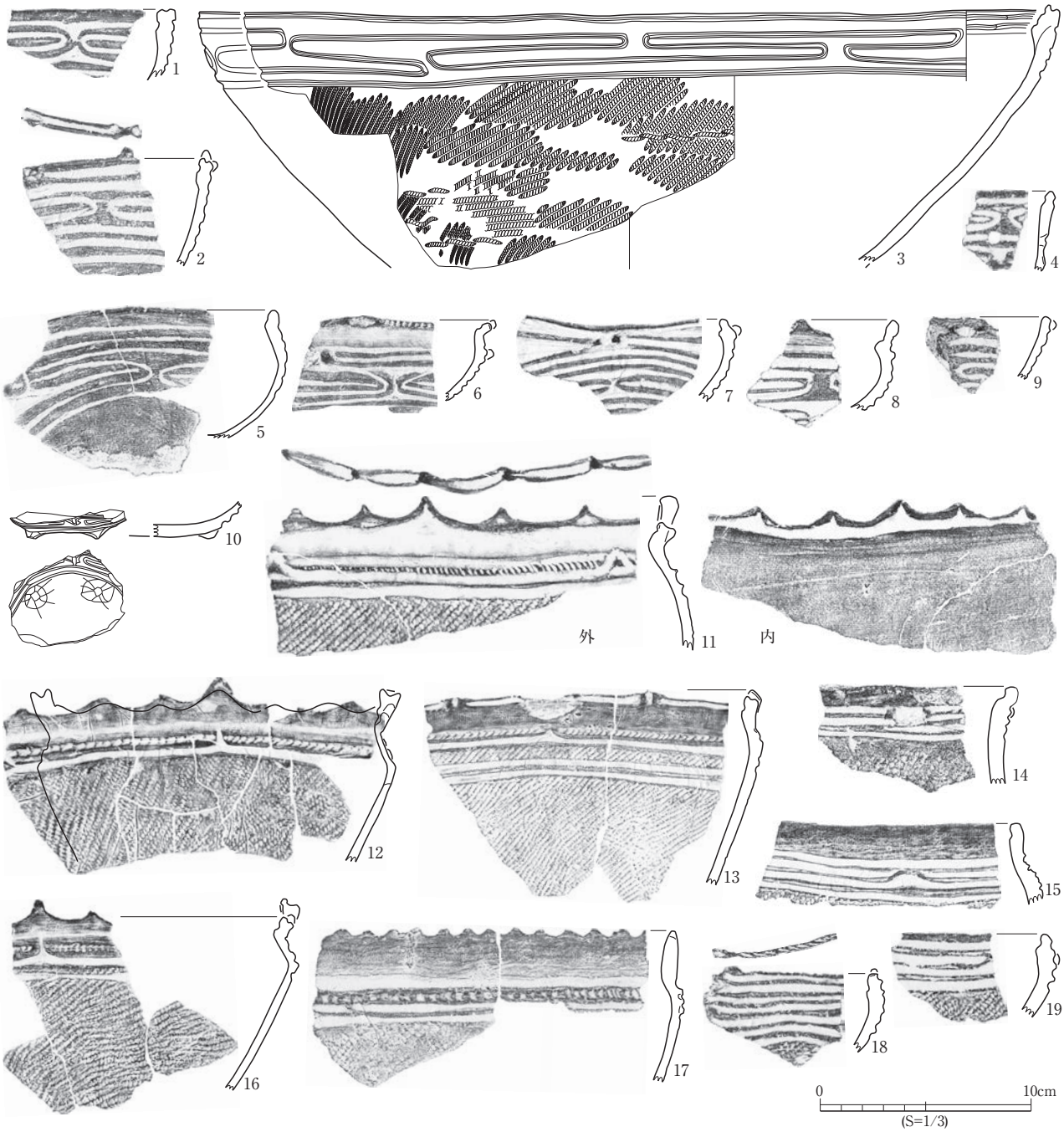
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cdf	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR。内面沈線	98-25	Po81
2	皿	B1cdf	XⅡ x	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文。内面沈線	98-26	Po138
3	深鉢	C1cd	XⅡ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 櫛歯状刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目 + ヘラ刻目。口縁部内面沈線	98-27	Po407
4	深鉢	B1cd	XⅡ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、ヘラ刻目、平行沈線文。縄文 RL	98-28	Po129
5	深鉢	B1cd	XⅡ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。ヘラ刻目、平行沈線文。縄文 LR	98-29	Po122
6	深鉢	B1d	XⅡ b	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径（19.6cm）。平縁 + ヘラ刻目。刺突列、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	98-30	Po623
7	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	口径（12.1cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL	98-31	Po155
8	鉢	B1cd	XⅡ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径（12.2cm）。平縁 + 櫛歯状刻目。平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	98-32	Po597
9	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 櫛歯状刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	98-33	Po124
10	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	98-34	Po422
11	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	口径（26.0cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL	98-35	Po139
12	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。直前段多条縄文 LR	98-36	Po410
13	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。直前段多条縄文 LR	98-37	Po126
14	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR	99-7	Po117
15	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	99-5	Po416
16	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	99-6	Po125

第112図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（32）



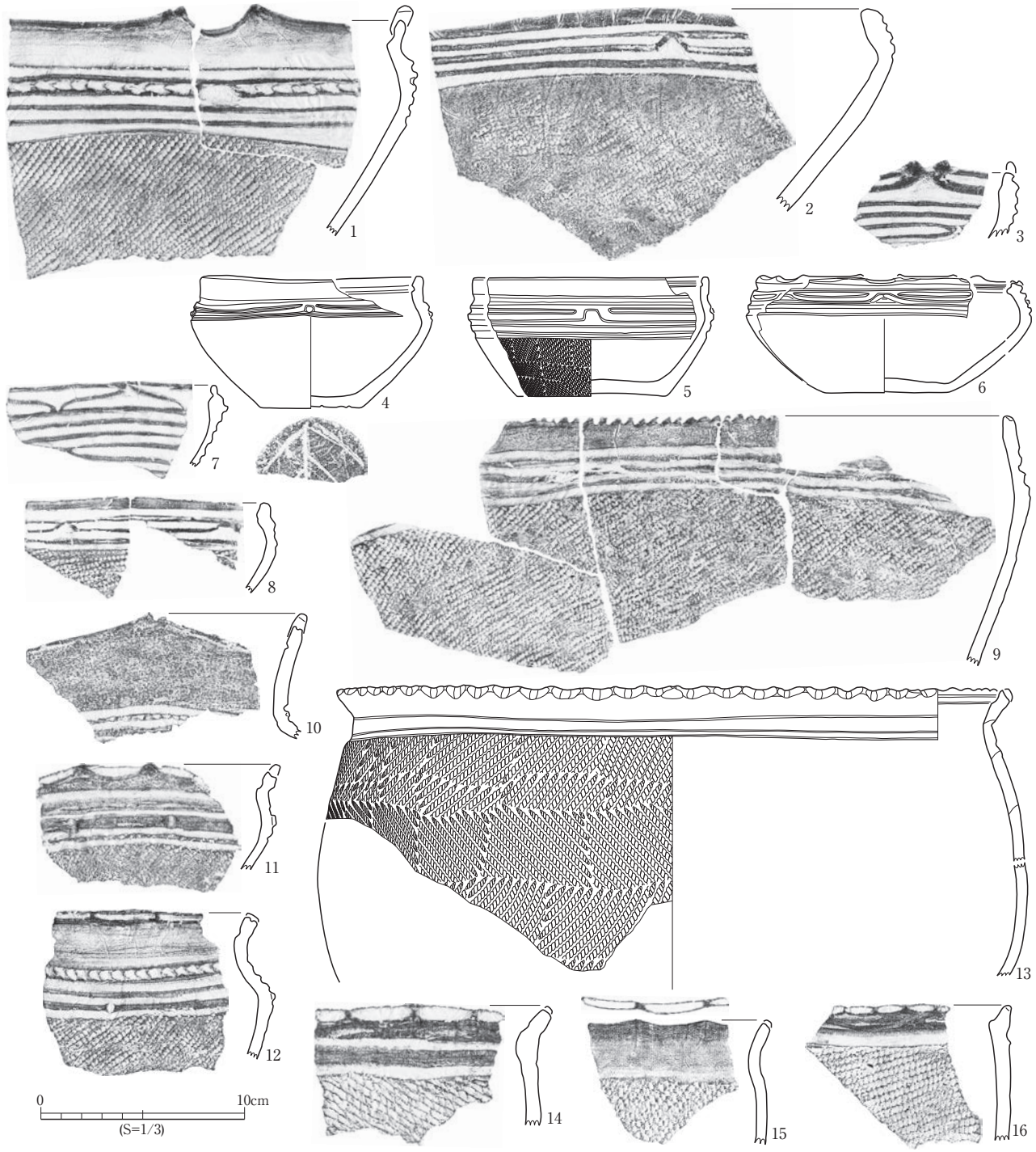
No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cd	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径（24.4cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	99-8	Po118
2	深鉢	B1cd	XⅣ b2	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。羽状縄文 LR/RL	99-9	Po76
3	浅鉢	B1cdf	XⅡ x	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径 30.1cm、器高 14.9cm、底径 4.9cm。平縁 + 櫛歯状刻目 + 二個一対の山形突起 + 口唇部沈線。平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR	99-1	Po134
4	浅鉢	A1d	XⅡ a	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径（12.5cm）、器高 4.8cm、底径（6.0cm）。平縁 + 櫛歯状刻目。平行沈線文 + 櫛歯状刻目。底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ。縄文 LR	99-2	Po98
5	皿	B1cf	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 RL	99-10	Po114
6	浅鉢	-	XⅢ	南 1	D-53 北 / Ⅵa	沈線文。直前段反撚縄文 RR	99-11	Po21
7	壺	C1c	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径 9.1cm、体部最大径 23.9cm。平縁 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	99-4	Po92
8	深鉢	C2	Ⅷ	南 1	D-54 北 / Ⅵa	波状縁。平行沈線文、メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤。縄文 LR。口縁部内面沈線	99-12	Po603
9	皿	B1c	Ⅷ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + 口唇部沈線。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤、沈線文。縄文 LR	99-13	Po156
10	鉢	B1f	Ⅷ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + 山形突起 + 二個一対の小突起。平行沈線文、メガネ状浮文 + 貼瘤 + 貼瘤（頂部刻み）	99-14	Po146
11	壺	-	Ⅷ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径 4.0cm。平縁。沈線文、メガネ状浮文	99-3	Po161
12	鉢	A1ce	X	南 1	D-54 北 / Ⅵa	平縁 + 山形突起の両側に二個一対の小突起 + 口唇部沈線。平行沈線文、工字文。突起・口縁部内面平行沈線文	99-16	Po601
13	鉢	B2	X	南 1	D-54 北 / Ⅵa	波状縁。沈線文、メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤。流水工字文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	99-15	Po595
14	鉢か	-	X	南 1	D-53 南 / Ⅵa	工字文（磨り消し縄文）、沈線文。縄文 LR	100-6	Po135
15	台部	-	X	南 1	D-54 南 / Ⅵa	工字文か、平行沈線文。縄文 LR か	100-9	Po405

第113図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（33）



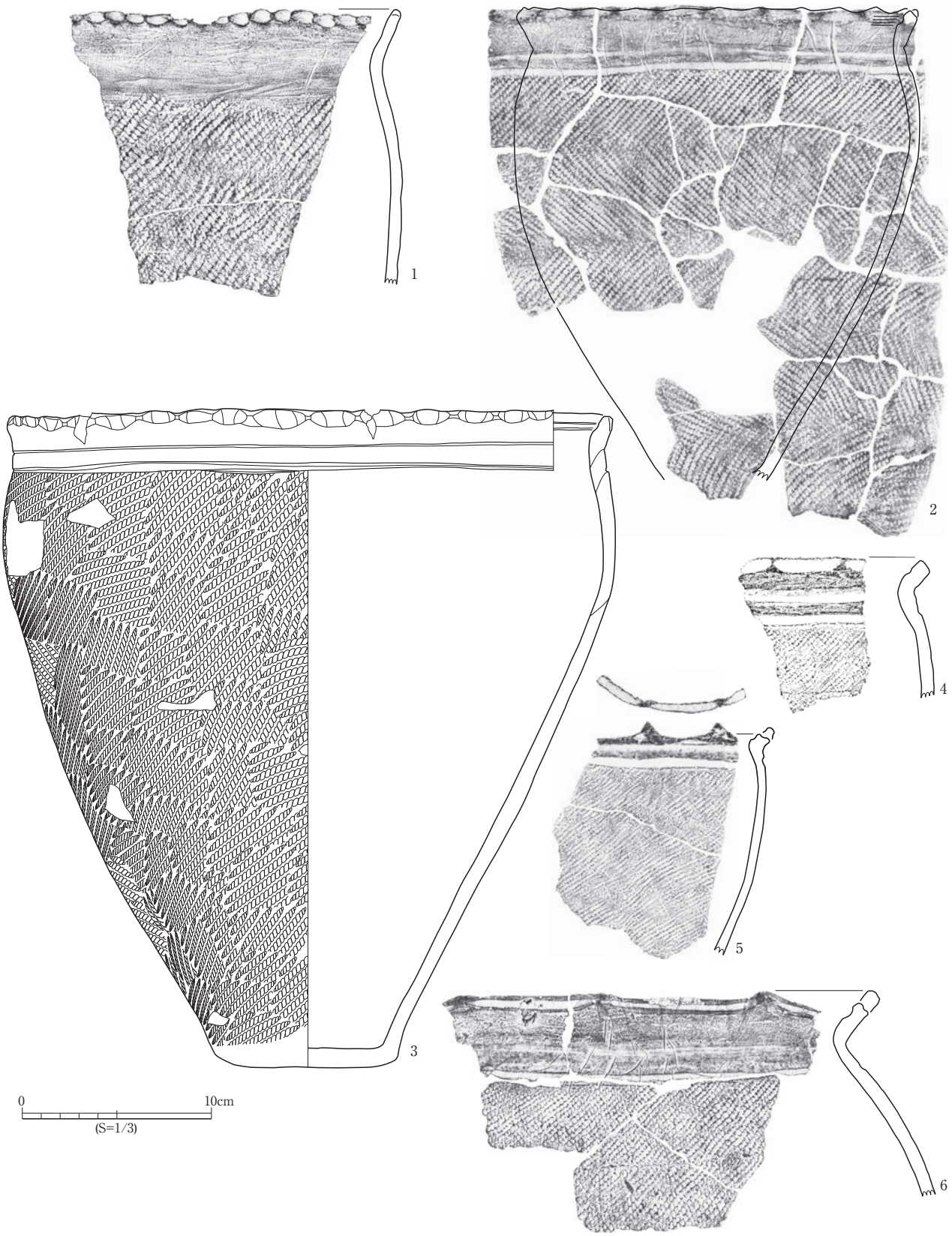
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1c	X	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。工字文（メガネ状）。内面沈線	100-7	Po90
2	鉢	A1cf	X	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の小突起 + 口縁端部沈線。平行沈線文 + 二個一対の貼瘤、工字文、平行沈線文。口縁部内面沈線	100-10	Po612
3	浅鉢	A1c	X	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径（40.2cm）。平縁 + 口縁端部沈線。工字文 6 単位。縄文 LR。口縁部内面平行沈線文	100-1	Po602
4	鉢	A1c	X	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。工字文。補修孔 1	100-11	Po418
5	四脚付浅鉢	A1c	X	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。平行沈線文、工字文	100-8	Po133
6	浅鉢	B1df	X	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。流水工字文 + 二個一対の貼瘤。口縁部内面沈線	100-13	Po589
7	浅鉢	A1	X	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	平縁。工字文 + 二個一対の貼瘤。口縁部内面沈線	100-12	Po6
8	浅鉢	B1cf	Ⅸ a+ X	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 山形突起 + 口唇部沈線。工字文、π字文（逆さ表現）	100-14	Po419
9	鉢	A1f	X	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の小突起。工字文 + 隆帯	100-15	Po145
10	四脚付鉢	-	X ?	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	底径（4.1cm）。流水工字文か	100-18	Po402
11	深鉢	B2ef	Ⅸ d	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	波状縁（二個一対の山形小突起 + 山形突起）+ 波底部内刻線。π字文 + ヘラ刻目（磨り消し）。縄文 LR。内面沈線	100-17	Po95
12	深鉢	B2cef	Ⅸ d	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	口径（16.3cm）。波状縁 + 山形突起の左右に小突起 + 小突起間に沈線。π字文 + 刺突列。縄文 LR。口縁部内面沈線	100-5	Po149
13	深鉢	C1cf	Ⅸ d	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁 + 小突起（頂部刻み）+ 山形突起か + 突起間沈線。π字文 + 刺突列、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	100-19	Po607
14	深鉢	A1c	Ⅸ b	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。π字文 + 二個一対の貼瘤、沈線文。縄文 LR	100-16	Po414
15	深鉢	A1	Ⅸ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁。π字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	100-20	Po403
16	深鉢	B2cef	Ⅸ d	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起の両側に小突起 2+ 小突起間に口唇部沈線。π字文 + 刺突列。沈線文。縄文 LR	100-21	Po148
17	深鉢	B2	Ⅸ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	波状縁。平行沈線文 + 刺突列、π字文。縄文 LR	100-22	Po609
18	鉢	A1df	Ⅸ a?	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 刻み + 二個一対の小突起 + 櫛歯状刻目。π字文か。縄文 LR。口縁部内面沈線	100-24	Po112
19	鉢	A1	Ⅸ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁。π字文、平行沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	100-25	Po141

第114図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（34）



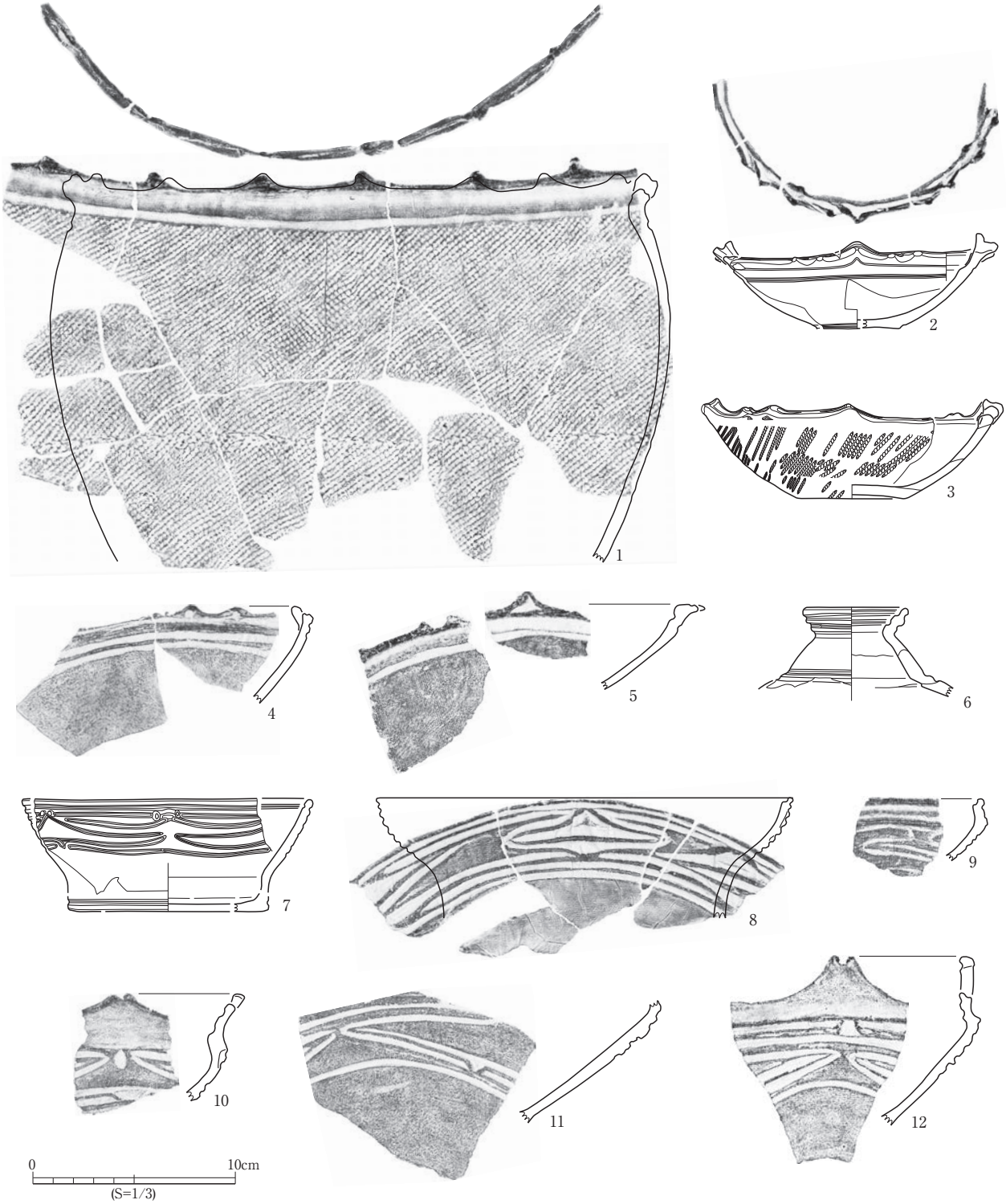
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	B1cf	Ⅸ a2	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の山形突起（頂部刻み）+ 口唇部沈線。π 字文 + 刺突列。縄文 LR。外面赤彩	100-23	Po381
2	鉢	A1	Ⅸ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁。π 字文。縄文 LR。外面黒彩	100-27	Po382
3	浅鉢	A1cf	Ⅸ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の突起 + 口縁端部沈線。π 字文。口縁部内面沈線	100-26	Po106
4	鉢	C1	Ⅸ o	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	口径（10.6cm）、器高 6.5cm、底径（5.0cm）。平縁。π 字文 5 単位。底部木葉痕。口縁部内面沈線	100-3	Po426
5	浅鉢	C1	Ⅸ a	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	口径（11.0cm）。平縁。π 字文、沈線文。縄文 LR。底部ミガキ。口縁部内面沈線	100-4	Po23
6	浅鉢	A1cd	Ⅸ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	口径（12.6cm）、器高 6.0cm、底径 6.0cm。平縁 + 押圧 + 押圧間沈線。π 字文 8 単位、沈線文。底部ミガキ。口縁部内面沈線	100-2	Po425
7	浅鉢	A1c	Ⅸ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。π 字文、π 字文（逆さ表現）、平行沈線文	101-3	Po641
8	鉢	A1	Ⅸ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a・b	平縁 + 口唇部沈線。π 字文。縄文 LR	101-2	Po278
9	深鉢	A2	Ⅸ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径（21.2cm）。波状縁。π 字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	101-10	Po604
10	壺	F3f	Ⅸ d?	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。π 字文 + 平行沈線文 + 刺突列。口縁部内面沈線	101-4	Po431
11	鉢	B2c	Ⅹ Ⅱ c	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	波状縁 + 二個一対の山形突起。平行沈線文 + 押圧。縄文 LR か。口縁部内面沈線	101-5	Po587
12	深鉢	C2c	Ⅹ Ⅱ b+ Ⅹ Ⅱ c	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	波状縁 + 波底部沈線。平行沈線文 + 刺突列 + 押圧。縄文 LR。口縁部内面沈線	101-6	Po615
13	深鉢	B2c	Ⅹ Ⅱ x	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	口径 32.4cm。波状縁 + 口唇部沈線。平行沈線文。羽状縄文 LR/RL	101-1	Po127
14	深鉢	B2	Ⅹ Ⅱ x	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁。平行沈線文。縄文 R。口縁部内面沈線	101-7	Po415
15	深鉢	C2c	Ⅹ Ⅲ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁 + 口唇部沈線。沈線文。前々段多条縄文 LRL	101-8	Po408
16	深鉢	B2	Ⅹ Ⅲ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁。沈線文。縄文 LR。外面炭化物付着	101-9	Po411

第115図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（35）



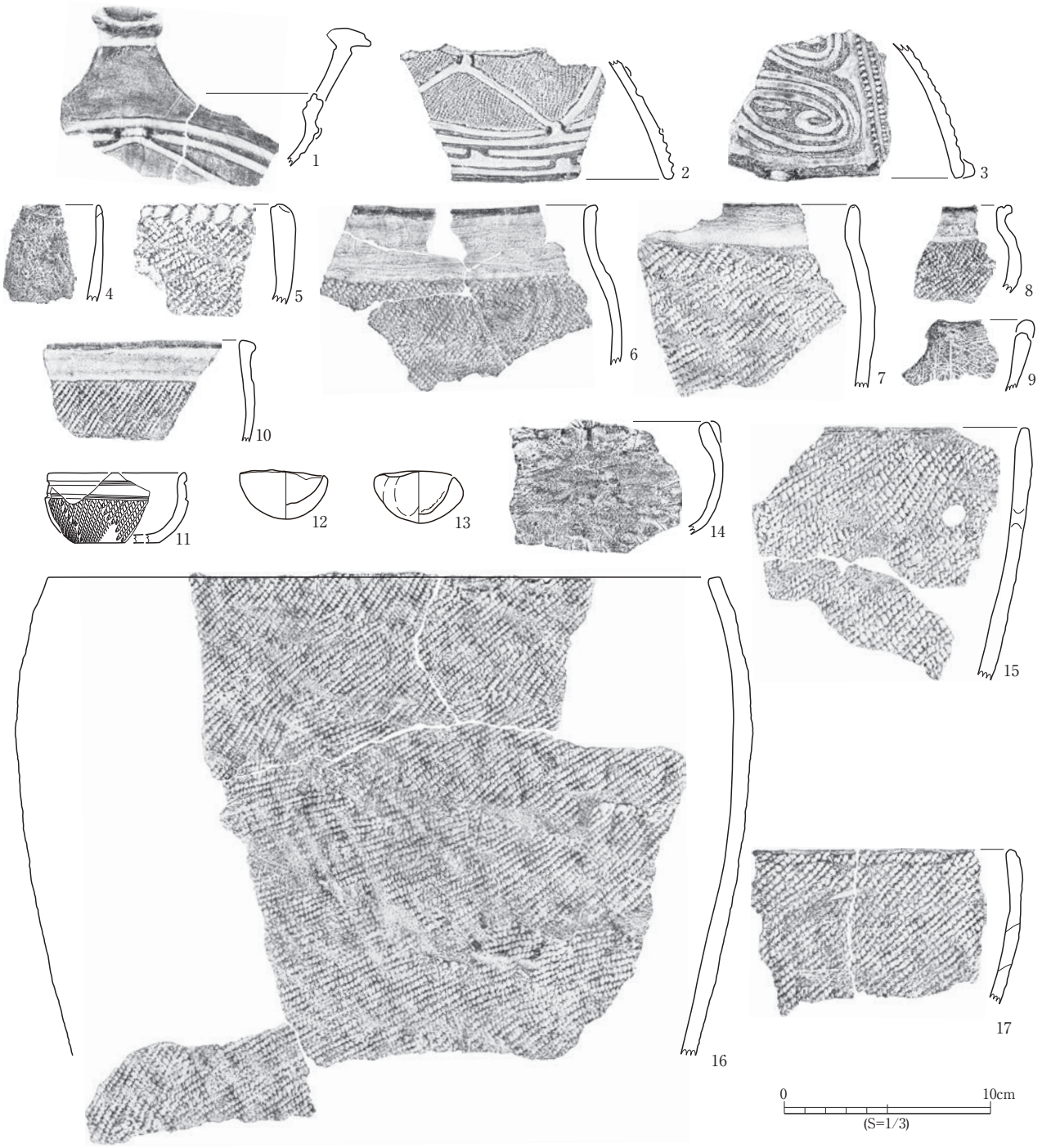
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	C2	XⅣ b1	南 1	D-54 南 / Ⅵ a・b+ Ⅵ a	波状縁。縄文 LR	101-12	Po443
2	深鉢	B2	XⅡ x	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径（21.2cm）。波状縁。平行沈線文。羽状縄文 LR/RL	101-13	Po594
3	深鉢	B2	XⅡ x	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	口径 31.3cm、器高 34.9cm、底径 9.6cm。波状縁。平行沈線文。底部木葉痕→ケズリ、ミガキ。縄文 LR。口縁部内面沈線。内外面炭化物付着	102-1	Po24
4	深鉢	B2c	XⅢ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	101-11	Po417
5	深鉢	B2cf	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	波状縁 + 山形突起 + 波底部沈線 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR	102-2	Po154
6	深鉢	B2cf	XⅢ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a+ Ⅵ	波状縁 + 山形突起 + 突起間沈線 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR 末端部強調	102-3	Po625

第116図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（36）



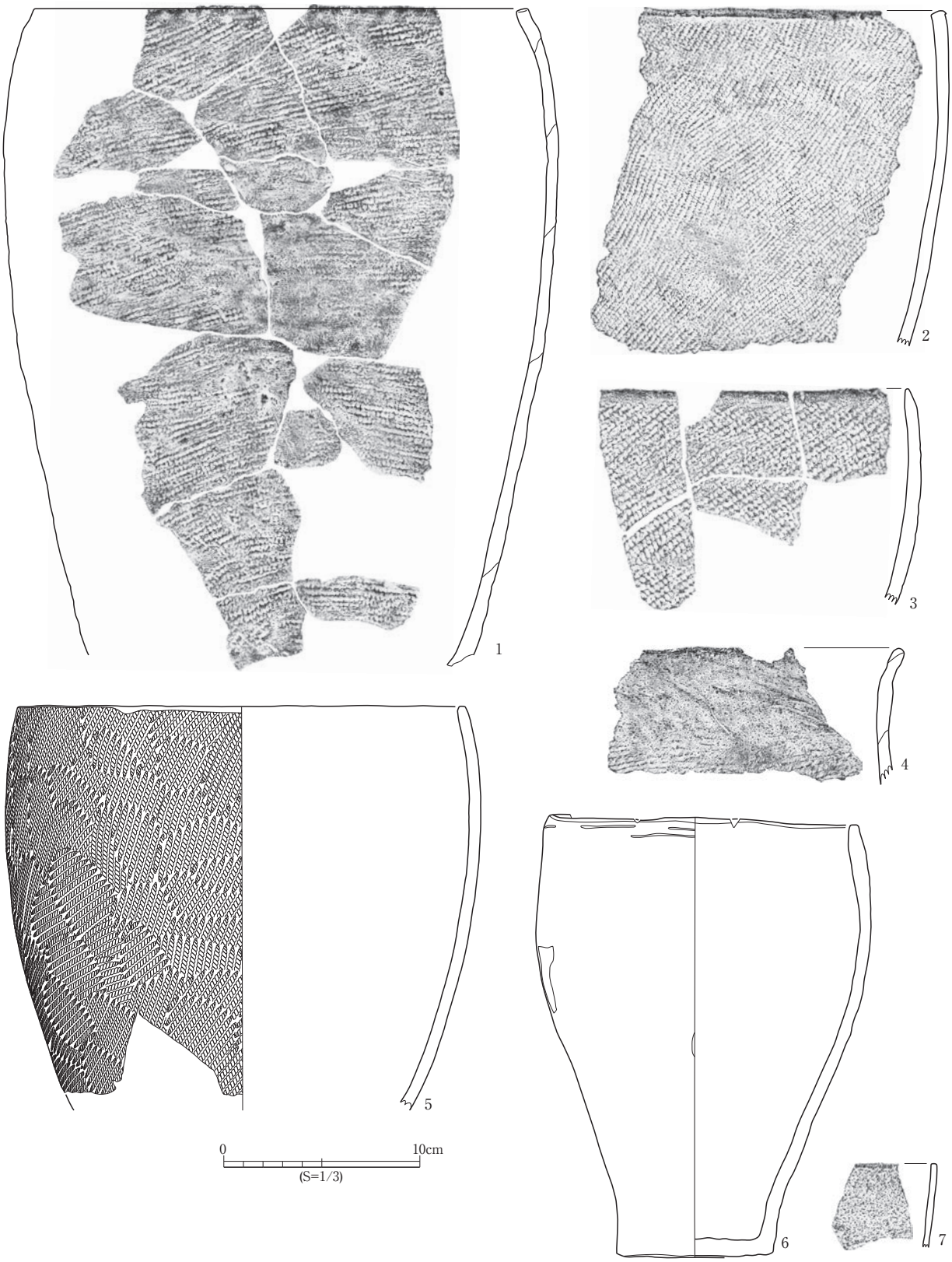
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	B1cf	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径（28.0cm）。平縁 + 小突起 + 口唇部沈線。沈線文。縄文 LR（末端部強調）。内面沈線	102-4	Po120
2	皿	A1cf	XⅡx	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径（12.3cm）、器高 4.3cm、底径（4.0cm）。平縁 + 山形突起の両側に二個一対の山形突起 4 単位 + 口唇部沈線。平行沈線文、底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ、かるい上げ底。口縁部内面沈線	102-5	Po99
3	皿	A1f	XⅣa1	南 1	D-53 南 / Ⅵa	口径（13.4cm）、器高 4.9cm、底径（5.3cm）。平縁 + 二個一対の山形突起 4 単位 + 山形突起 4 単位。縄文 L	103-1	Po140
4	皿	A1cf	XⅡx	南 1	D-54 北 / Ⅵa	平縁 + 二個一対の山形突起 + 口縁端部沈線。平行沈線文	103-5	Po598
5	浅鉢	A1cf	XⅢ	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁 + 山形突起 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文	103-4	Po153
6	壺	H1	XⅡx	南 1	D-54 北 / Ⅵa	口径（5.1cm）。平縁。平行沈線文。口縁部内面平行沈線	103-2	Po610
7	浅鉢	A1	ⅨoXⅠ	南 1	D-53 南 / Ⅵ	口径（14.2cm）、器高 5.7cm、底径（9.9cm）。平縁。変形工字文 + 二個一対の貼瘤 6 単位、変形工字文 4 単位、π 字文 4 単位、沈線文。口縁部内面沈線	103-3	Po166
8	鉢	A1c	ⅨaXⅠ	南 1	D-54 北 / Ⅵa・D-54 南 / Ⅵa	口径（20.6cm）。平縁 + 口唇部沈線。上下対向の π 字文、変形工字文、平行沈線文	103-6	Po393
9	浅鉢	B1c	ⅨoXⅠ	南 1	D-54 北 / Ⅵa	平縁 + 口唇部沈線。平行沈線文、π 字文、変形工字文	103-7	Po599
10	浅鉢	B3e	ⅨaXⅠ	南 1	D-54 北 / Ⅵa	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）。変形工字文 + 盲孔、π 字文（逆さ表現）。突起・口縁部内面沈線	103-8	Po590
11	浅鉢	-	ⅨaXⅠ	南 1	D-54 南 / Ⅵa	変形工字文、π 字文（逆さ表現）	103-9	Po420
12	台付浅鉢	B3ce	ⅨaXⅠ	南 1	D-54 北 / Ⅵa	波状縁 + 山形突起（頂部短沈線）+ 突起間沈線。π 字文、変形工字文、沈線文。突起・口縁部内面沈線	103-10	Po608

第117図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（37）



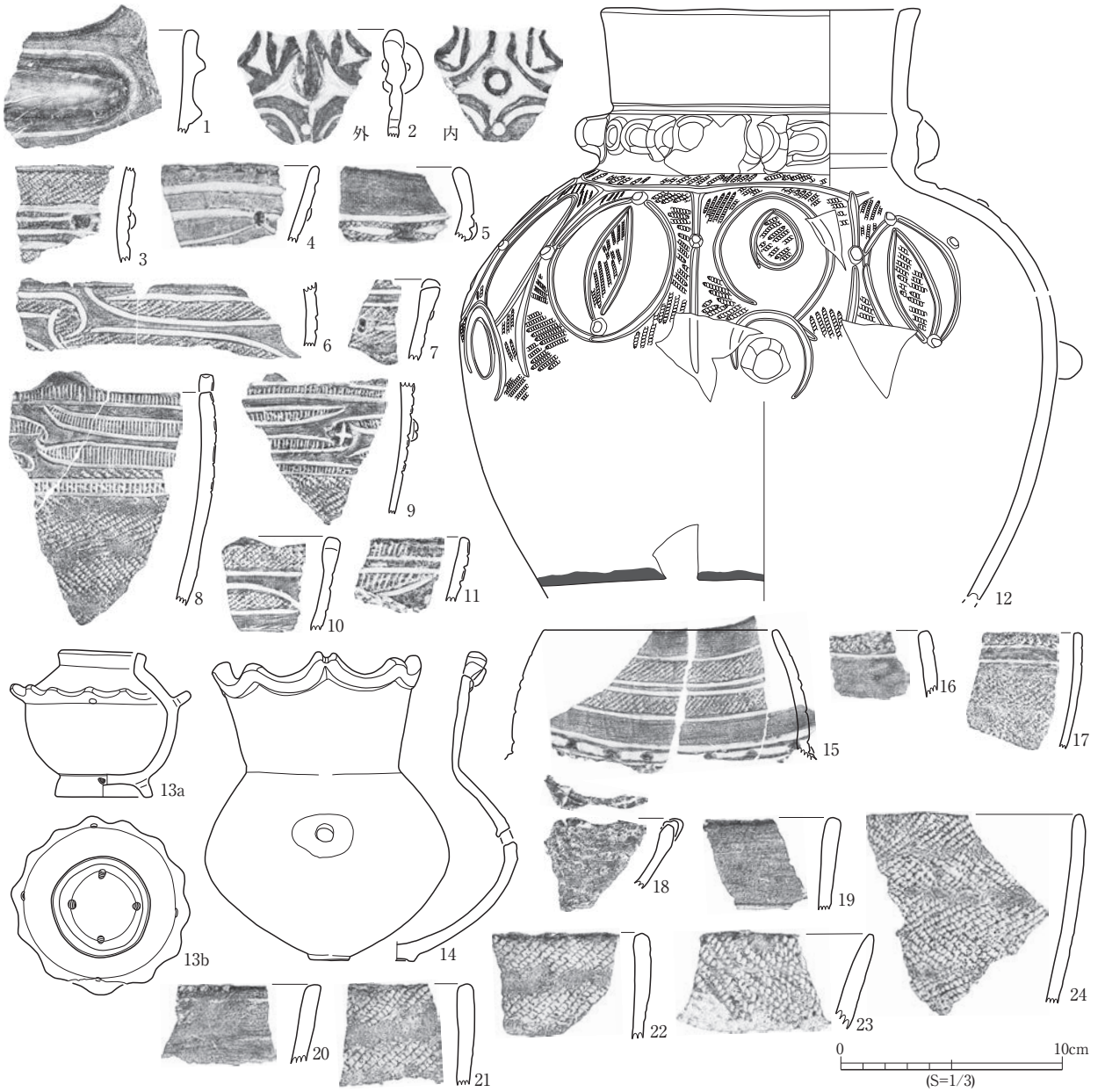
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台付浅鉢	B3ce	XⅠ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	波状縁 + 方形突起（円盤状飾り）+ 突起間沈線。変形工字文 + 二個一対の貼瘤。突起・口縁部内面沈線	103-11	Po642
2	台部	-	Ⅸ a+ XⅠ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	変形工字文 + 二個一対の貼瘤、π 字文。縄文 LR	103-12	Po427
3	蓋	-	-	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁 + 二個一対の小突起。渦巻き文か、縦位の隆帯 + 頂部沈線文 + 櫛歯状刻目	103-13	Po394
4	深鉢	A1	XⅢ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁。沈線文	103-14	Po429
5	深鉢	A1d	XⅣ a1	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目。縄文 LR	103-15	Po123
6	深鉢	C1	XⅣ b2	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁。羽状縄文 LR/RL	103-16	Po586
7	深鉢	C1	XⅣ b1	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	波状縁。縄文 LR	103-17	Po421
8	壺	C1c	XⅣ b1	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁 + 口唇部沈線。縄文 LR	103-18	Po101
9	鉢	A2f	-	南 1	D-54 南 / Ⅵ	波状縁 + 小突起。条痕文？	103-19	Po379
10	鉢	A1	XⅣ b1	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁。縄文 LR	103-20	Po130
11	袖珍土器浅鉢	C1	XⅡ x	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	口径（6.7cm）、器高 3.4cm、底径（4.2cm）。平縁。平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR	103-22	Po137
12	袖珍土器鉢	A1	XⅤ	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	口径 3.9cm、器高 2.7cm、丸底。平縁。底部ミガキ	103-23	Po398
13	袖珍土器鉢	A1	XⅤ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	口径 3.7cm、器高 2.4cm、丸底。平縁。底部ミガキ	103-24	Po585
14	鉢	A1	XⅤ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	平縁。小突起	103-21	Po97
15	深鉢	A1	XⅣ a1	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	平縁。直前段多条縄文 LR。補修孔 1	103-25	Po433
16	深鉢	A1	XⅣ a1	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	口径（32.6cm）。平縁。縄文 LR 末端部強調	103-27	Po452
17	深鉢	A1	XⅣ a1	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	平縁。縄文 LR	103-26	Po618

第118図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（38）



No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	XⅣa1	南 1	D-54 北 / Ⅵa	口径（25.2cm）。平縁＋ヘラ刻目。縄文 LR	104-3	Po614
2	深鉢	A1	XⅣa1	南 1	D-54 南 / Ⅵa	平縁。直前段多条縄文 LR	104-4	Po406
3	深鉢	A1	XⅣa1	南 1	D-53 南 / Ⅵa	平縁。縄文 LR	104-5	Po116
4	深鉢	A1	XⅣa1	南 1	D-54 南 / Ⅵa	平縁。縄文 R	104-7	Po383
5	深鉢	A1	XⅣa1	南 1	D-54 南 / Ⅵa	口径 22.5cm。平縁。縄文 LR。外面炭化物付着	104-2	Po409
6	深鉢	A1	XⅣa1	南 1	D-54 北 / Ⅵa・D-54 南 / Ⅵa	口径 15.4cm、器高 22.6cm、底径 7.9cm。平縁。底部ナデ	104-1	Po592
7	深鉢（製塩土器）	A1	XⅤ	南 1	D-54 南 / Ⅵa・b	平縁	104-6	Po373

第119図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土土器（39）

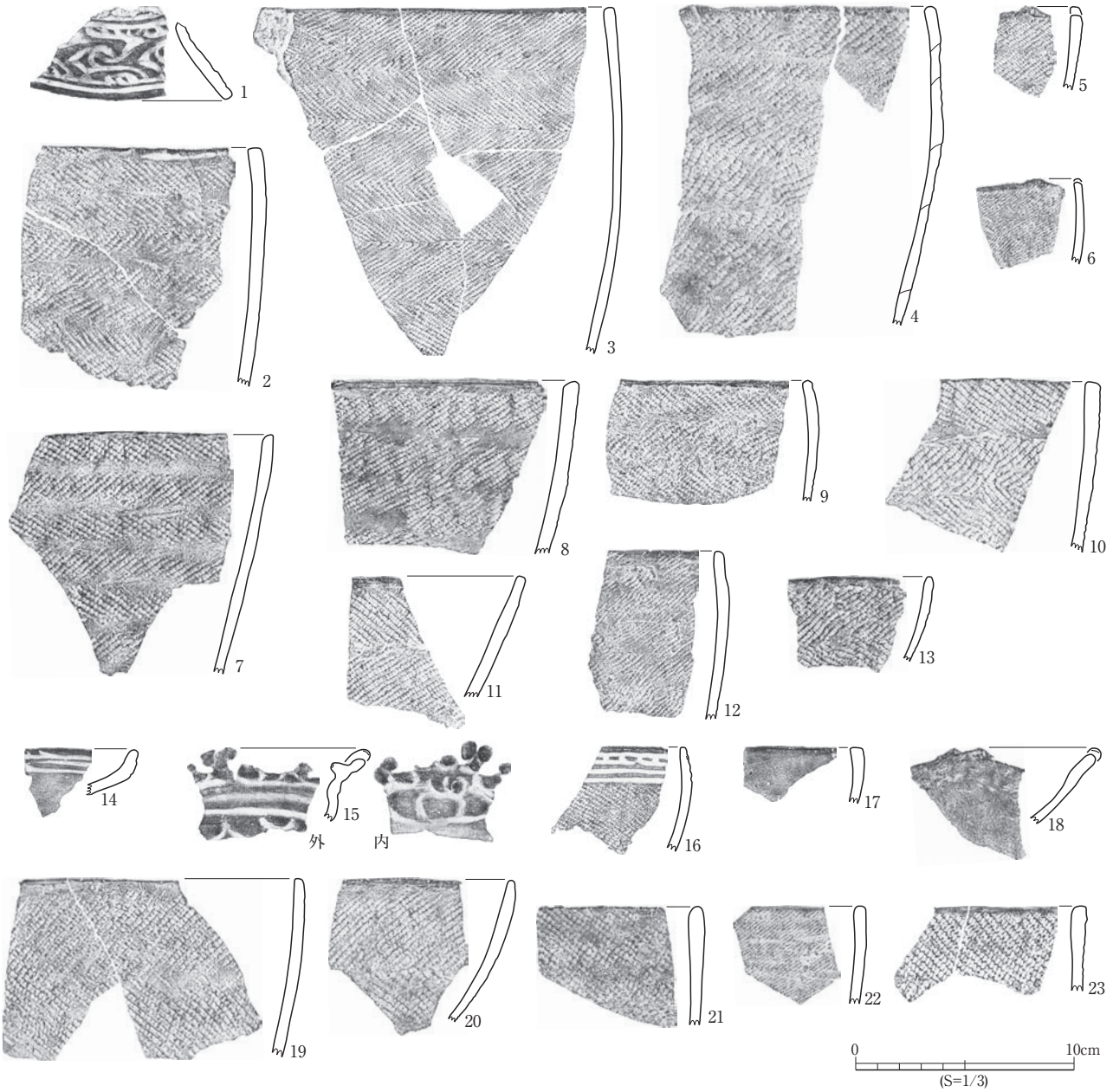


No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	-	-	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	波状縁。弧状の隆帯	105-4	Po951
2	深鉢か	-	-	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	短沈線を有する装飾的把手 + 三叉文 + 沈線文。貫通孔 1。内面三叉文、沈線文、盲孔	105-5	Po1005
3	深鉢	-	Ⅰ Ba	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	帯状文（縄文）、平行沈線文 + 貼瘤。縄文 LR	105-6	Po964
4	鉢	A1	Ⅰ Bb	南 5	D-57 西 / Ⅵ l	平縁。帯状文（沈線文）+ 貼瘤	105-7	Po1011
5	鉢か	A1	Ⅰ Ba	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。帯状文（縄文、メガネ状）+ 貼瘤。縄文 LR	105-10	Po978
6	深鉢	-	Ⅱ a	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	入組帯状文（縄文）。縄文 LR	105-11	Po975
7	深鉢	A1f	Ⅰ Ba	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁 + 山形突起。帯状文（縄文）+ 貼瘤。縄文 LR	105-12	Po973
8	深鉢	A1f	Ⅱ c	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	平縁 + 山形突起（頂部盲孔）。入組帯状文（櫛歯状刻目）。羽状縄文 LR/RL。内外面炭化物付着	105-9	Po950
9	深鉢	-	Ⅱ c	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	入組帯状文（櫛歯状刻目）+ 貼瘤（頂部十字刻み）。縄文 RL	105-8	Po976
10	深鉢	A2	Ⅱ a	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	波状縁。入組帯状文（縄文）。縄文 LR	105-13	Po972
11	鉢	A1	Ⅱ c	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。入組帯状文（櫛歯状刻目）	105-14	Po970
12	壺	E1	-	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n+ Ⅵ i-k	口径 14.0cm、体部最大径 26.6cm。平縁。沈線文、指つまみ出し状の貼瘤 + 左右対称の花弁状の隆帯、区画沈線文 + 楕円形沈線文 + 貼瘤（小）、環状沈線文 + 貼瘤（大）。縄文 RL。体部下半ミガキによる磨り消し	105-1	Po1000
13	台付壺	F1	Ⅹ V	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	口径 3.4cm、器高 6.7cm、体部最大径 6.9cm、体部高 5.7cm、台部径 4.4cm。平縁。山形突起 + 貫通孔 4。台部との境界付近に貫通孔 4	105-2	Po954
14	注口土器	B2f	Ⅹ V	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	口径 8.6cm、器高 14.0cm、底径 1.7cm。波状縁 + 山形突起 4 単位 + 山形突起（頂部刻み）4 単位。底部高台付。注口部黒色物質付着（補修）	105-3	Po959
15	注口土器	C1	Ⅰ a	南 5	D-57 西 / Ⅵ n+ Ⅵ l-n	口径（10.5cm）。平縁。帯状文（縄文）、平行沈線文 + 貼瘤。縄文 LR	105-15	Po955
16	注口土器か	A1	Ⅰ a	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	平縁。帯状文（縄文）。縄文 RL	105-16	Po952
17	深鉢	A1	Ⅰ b	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。帯状文（ミガキ）。縄文 LR	105-17	Po974
18	鉢	A2f	Ⅹ V	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	波状縁 + 突起（頂部刻み）+ 突起（頂部十字刻み）	105-18	Po962
19	深鉢	A1	Ⅹ Ⅲ	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。沈線文	105-19	Po977
20	深鉢	A1	Ⅹ V	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	平縁	105-21	Po953
21	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	南 5	D-57 西 / Ⅵ l	平縁。縄文 LR	105-22	Po1010
22	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。縄文 LR	105-23	Po961
23	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	南 5	D-57 西 / Ⅵ l	平縁。縄文 RL	105-24	Po1009
24	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a2	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。羽状縄文 LR/RL。外面炭化物付着	105-20	Po1004

第120図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（1）

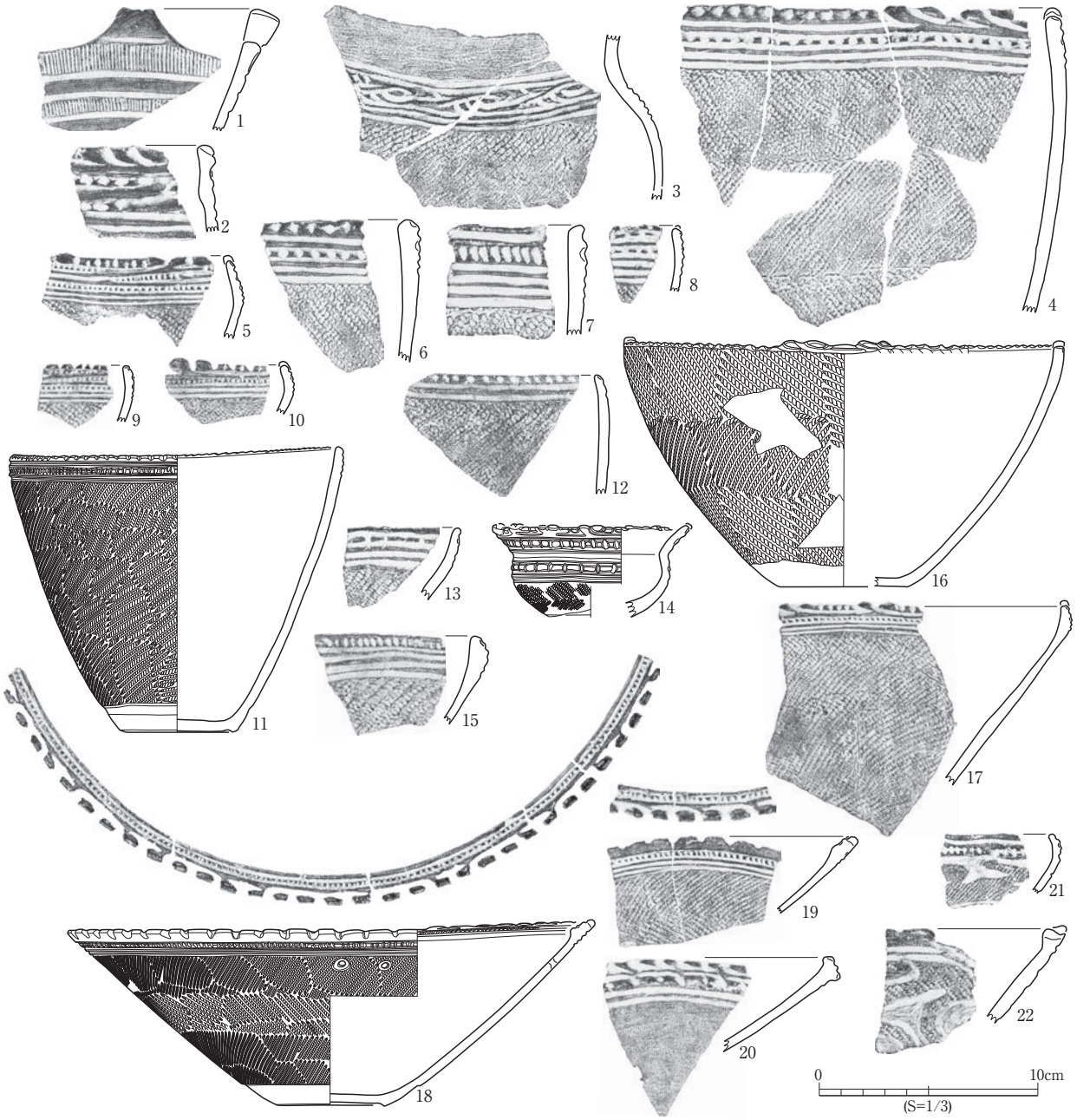
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣa1	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。縄文 LR	105-27	Po1001
2	深鉢	A1	XⅣa1	南 5	D-57 西 / Ⅵ n+ Ⅵ i-n	平縁。前々段多条羽状縄文 LR/RL。外面炭化物付着	105-26	Po949
3	深鉢	A1	XⅣa2	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	口径（12.6cm）。平縁。羽状縄文 LR/RL	105-25	Po969
4	深鉢	A1	XⅣa2	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n+ Ⅵ	平縁。羽状縄文 LR/RL	106-1	Po1008
5	深鉢	A1	XⅣa2	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁。羽状縄文 RL/LR	106-2	Po1003
6	皿	A1	XⅤ	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	平縁	106-3	Po963
7	深鉢	A1e	XⅢ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁＋方形突起（平行短沈線）。沈線文	106-4	Po1020
8	鉢	A1	XⅡa	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。櫛歯状刻目、平行沈線文＋櫛歯状刻目	106-5	Po1036
9	深鉢	A1f	Ⅱc	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁＋二個一対の突起。入組帯状文（櫛歯状刻目）	106-6	Po971
10	深鉢	A1e	Ⅱc	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁＋突起。入組帯状文（櫛歯状刻目）	106-7	Po1014
11	深鉢	A1e	Ⅱa	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	波状縁＋突起（頂部～内面刻み）。入組帯状文（縄文）。縄文 L	106-8	Po1063
12	台付皿	A1ef	XⅤ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	口径（22.2cm）。波状縁＋山形突起（小・頂部短沈線）＋山形突起（大・頂部平行短沈線）。台部との境界に沈線文	106-9	Po1015
13	深鉢	-	-	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	透かし彫りを伴う山形把手＋外周にヘラ刻目のある連環状突起（内面勾玉状浮線文）	106-10	Po1077
14	深鉢か	-	-	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	波状縁か＋突起（頂部ボタン状突帯）。三叉文か	106-11	Po1034
15	鉢	A1f	Ⅰb	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁＋山形突起。帯状文（ナデ）。羽状縄文 LR/RL	106-12	Po1035
16	浅鉢	A1	Ⅰa	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁。平行沈線文、帯状文（縄文）。縄文 LR	106-13	Po1023
17	鉢	A1	XⅢ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。沈線文	106-14	Po1062
18	浅鉢	A1	XⅢ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁。沈線文。縄文 LR+R 附加条	106-15	Po1021
19	浅鉢	A1f	XⅤ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k+ Ⅵ	平縁＋三個一組の山形突起（頂部刻み）	106-16	Po1066
20	注口土器	-	XⅤ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	注口部下に男性器を模した貼瘤	106-17	Po1039
21	皿	A1	XⅤ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁	106-18	Po1061
22	鉢	A1	XⅣa1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n+ Ⅵ i-k	口径（11.4cm）、器高 7.5cm、体部高 6.6cm、台部径 4.7cm。平縁。縄文 LR。底部高台付	106-19	Po1072
23	鉢	A1	Ⅳ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁＋ヘラ刻目。羊歯状文、平行沈線文。縄文 LR	106-20	Po1075

第121図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（2）



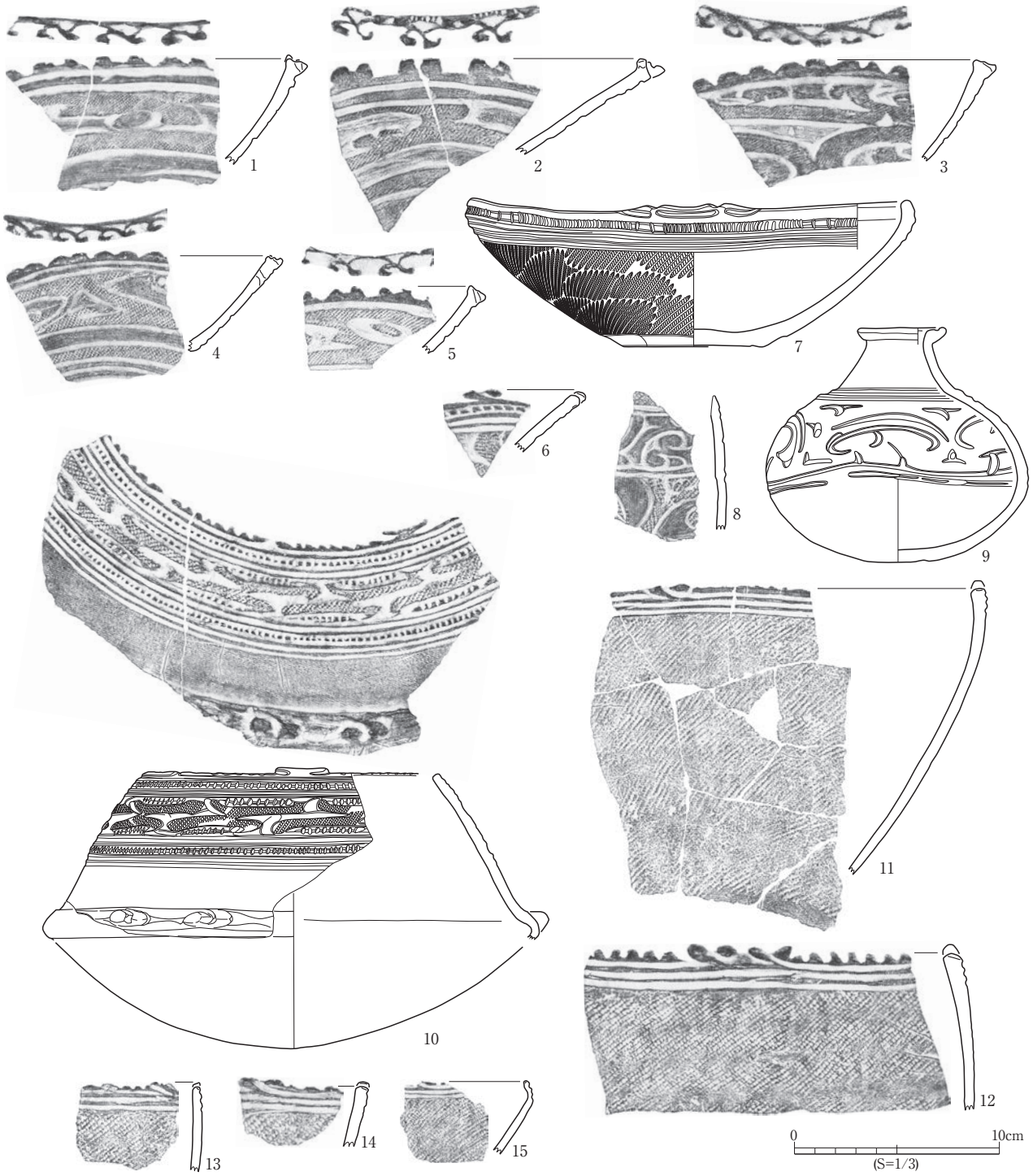
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台部	-	Ⅳ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平行沈線文、羊歯状文、平行沈線文	106-21	Po1017
2	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n+ Ⅵ i-k	平縁。羽状縄文 RL/LR	106-24	Po1071
3	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。羽状縄文 LR/RL	106-25	Po1059
4	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。縄文 LR	106-26	Po1070
5	深鉢	A1f	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁 + 小突起。縄文 LR	106-22	Po1037
6	鉢	A1f	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁 + 小突起。縄文 L	106-23	Po1065
7	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁。羽状縄文 RL/LR	106-27	Po1013
8	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。縄文 LR	106-28	Po1069
9	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。羽状縄文 RL/LR	106-29	Po1064
10	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。羽状縄文 RL/LR	106-30	Po1038
11	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	平縁。縄文 RL/LR	106-31	Po1022
12	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。縄文 LR+R 附加条	106-32	Po1076
13	鉢	A1	XⅣ a2	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	平縁。羽状縄文 LR/RL	106-33	Po1060
14	浅鉢	A1	Ⅲ？	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁。三叉文か	106-34	Po1082
15	注口土器か	C1f	Ⅲ c	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁 + 内面短沈線をもつ装飾的小突起 + 内面に二個一対の小突起。平行沈線文、入組三叉文、内面入組三叉文	106-35	Po1081
16	鉢	A1	Ⅴ	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁。列点文、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	106-36	Po1083
17	鉢	A1	XⅤ	南 4A	D-57 西 / Ⅵ f	平縁	106-37	Po1088
18	Ⅲ	A1f	XⅤ	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁 + 山形突起（頂部刻み）	106-41	Po1084
19	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h+ Ⅵ e・f	平縁。羽状縄文 LR/RL	106-42	Po1078
20	深鉢	A1	XⅣ a2	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁。羽状縄文 LR/RL	106-43	Po1089
21	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4A	D-57 西 / Ⅵ f	平縁。縄文 RL	106-38	Po1087
22	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁。縄文 LR 末端部強調	106-39	Po1080
23	深鉢	A1	XⅣ a1	南 4A	D-57 西 / Ⅵ g・h	平縁。縄文 RL	106-40	Po1079

第122図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（3）



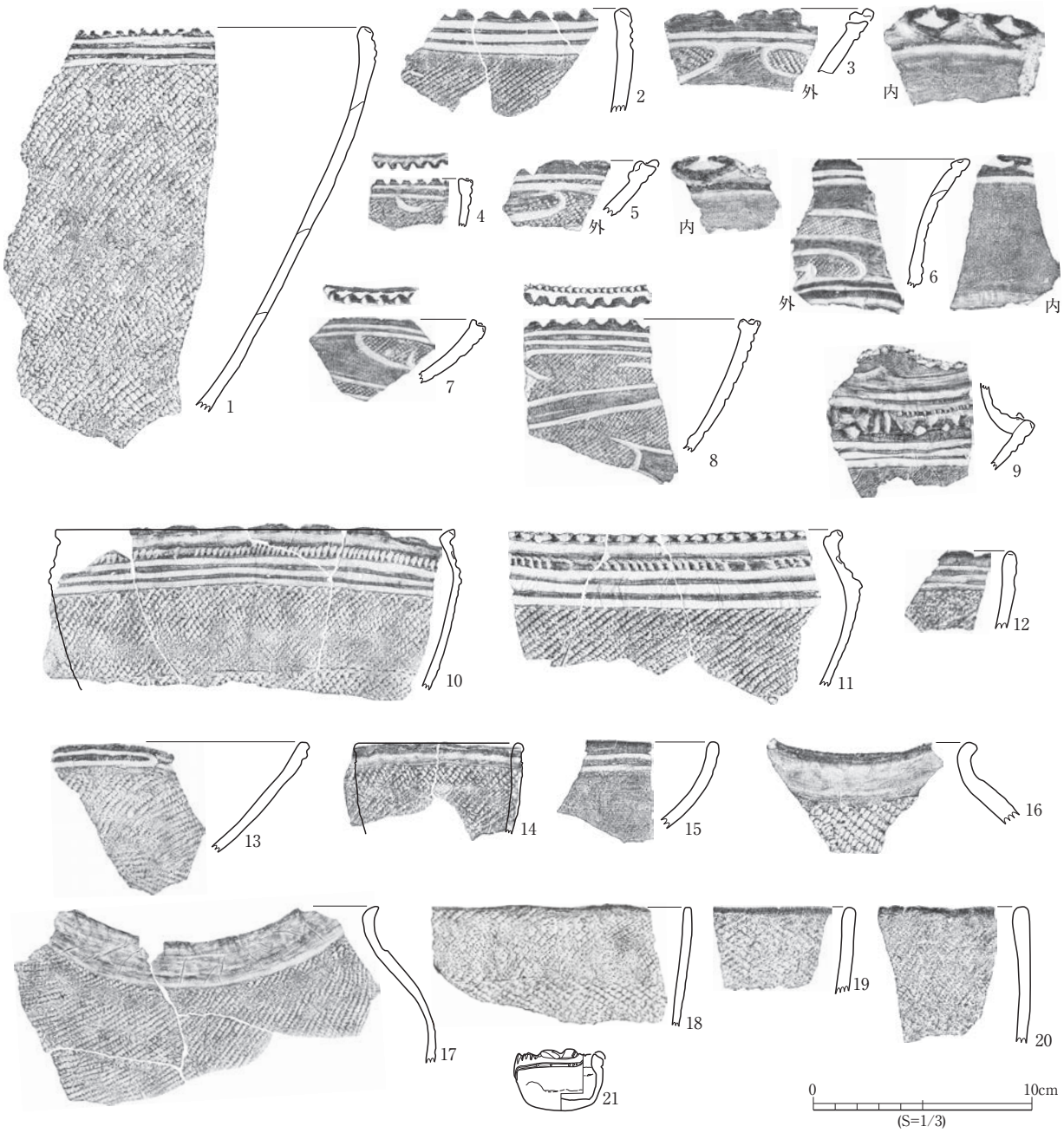
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A3f	Ⅰc	南 3	D-56 西 / Ⅵd	波状縁 + 山形突起（頂部短沈線）。帯状文（櫛歯状刻目）	107-5	Po824
2	深鉢	A1d	Ⅳ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 短沈線による刻み（羊歯状）。羊歯状文、平行沈線文	107-6	Po936
3	壺	-	Ⅳ	南 3	D-57 東 / Ⅵe・f	羊歯状文、平行沈線文。前々段多条縄文 LR	107-7	Po836
4	深鉢	A1df	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 2 組。列点文、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR 末端部強調	107-11	Po935
5	鉢	A1df	Ⅳ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 三個一組の小突起。羊歯状文、平行沈線文 + ヘラ刻目。縄文 RL	107-8	Po896
6	深鉢	A1d	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文、列点文。縄文 RL+L 附加条	107-9	Po904
7	深鉢	A1	ⅩⅡb	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。平行沈線文 + 刺突列、平行沈線文。縄文 LR	107-14	Po911
8	鉢	A1cf	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵe	平縁 + 二個一対の小突起 + 連続弧状沈線文。列点文、平行沈線文。縄文 RL。外面赤彩	107-10	Po1098
9	鉢	A1d	Ⅳ	南 3	D-57 西 / Ⅵd	平縁 + ヘラ刻目。羊歯状文、平行沈線文。縄文 RL。外面赤彩	107-12	Po1102
10	鉢	A1df	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。列点文、平行沈線文。縄文 LR	107-13	Po910
11	深鉢	A1d	ⅩⅡb	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径 14.9cm、器高 13.1cm、底径 5.0cm。平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文 + 刺突列。直前段多条縄文 LR。底部付近ミガキによる無文帯、底部ミガキ、かるい上げ底。内面炭化物付着	107-1	Po916
12	鉢	A1d	ⅩⅡx	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR	107-15	Po897
13	鉢	A1	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	平縁。列点文、平行沈線文。縄文 LR	107-17	Po1090
14	浅鉢（台付か）	C1df	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	口径（8.7cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。列点文 2 段、沈線文。羽状縄文 RL/LR	107-16	Po1096
15	鉢	A1	ⅩⅡb	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。刺突列 + 平行沈線文。縄文 LR	107-19	Po920
16	鉢	A1df	ⅩⅣ a2	南 3	D-56 東 / Ⅵc	口径（19.8cm）、器高 11.5cm、底径（5.9cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）2 組 4 単位。結束羽状縄文 RL/LR。底部ミガキ	107-3	Po773
17	鉢	A1df	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 (刻み)。平行沈線文、列点文。縄文 LR。内面炭化物付着	107-18	Po905
18	浅鉢	A1bd	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径 24.0cm、器高 8.0cm、底径 5.0cm。平縁 + ヘラ刻目 + 羊歯状浮線文。列点文、平行沈線文。羽状縄文 LR/RL 末端部強調。底部付近ミガキによる無文帯、底部ミガキ、かるい上げ底。口縁部内面列点文。補修孔 2	107-2	Po899
19	浅鉢	A1bd	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc+ Ⅵ	平縁 + ヘラ刻目 + 羊歯状浮線文 + 内面列点文。列点文、平行沈線文。羽状縄文 LR/RL	107-21	Po937
20	皿	A1b	Ⅴ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 羊歯状浮線文。列点文、平行沈線文	107-20	Po922
21	浅鉢	A1	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。平行沈線文 + 刺突列。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	107-22	Po898
22	浅鉢	A1b	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	107-23	Po928

第123図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（4）



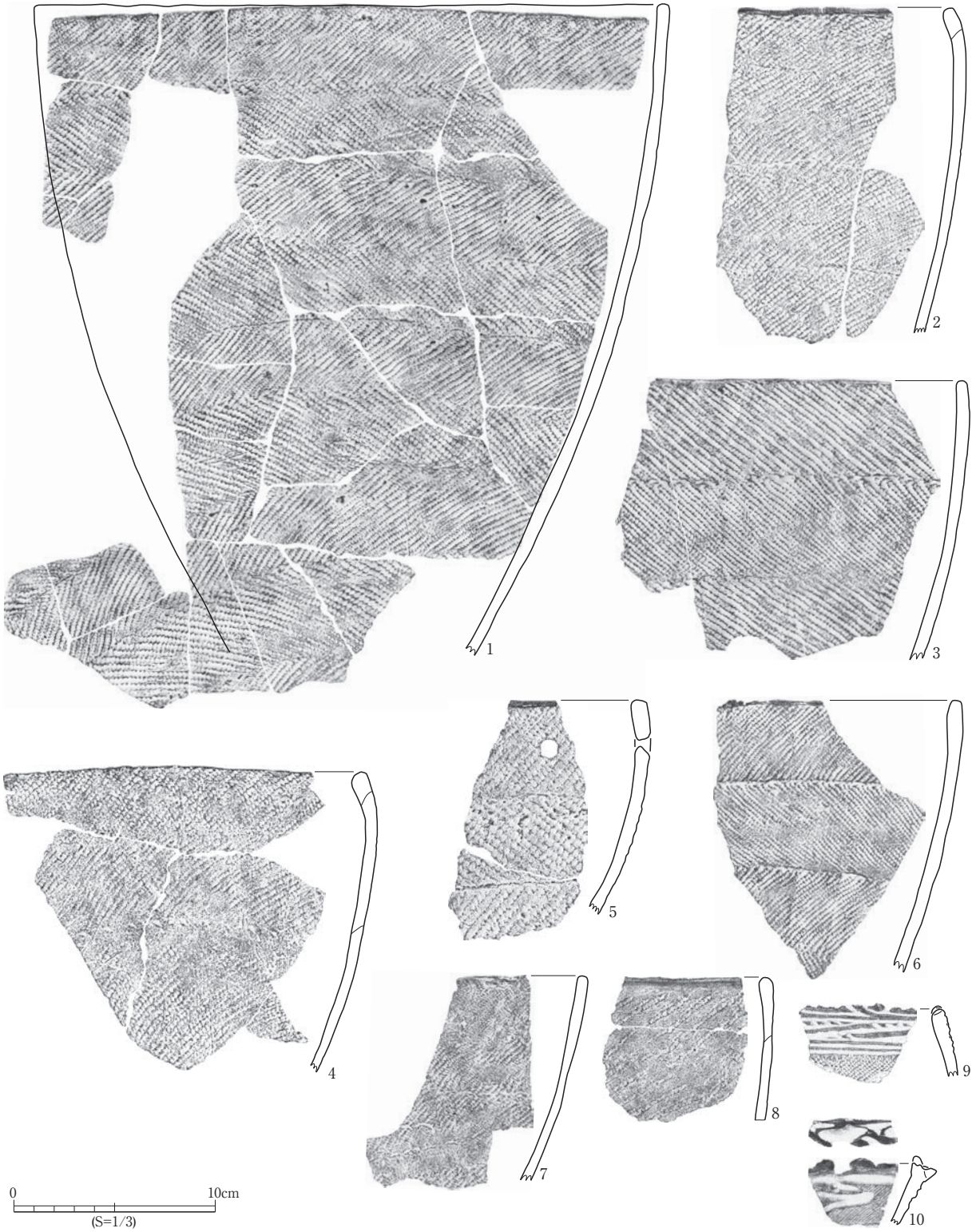
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	皿	A1bd	Ⅶ	南 3	D-74 / Ⅵ c+ Ⅵ	平縁 + ヘラ刻目 + 羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	107-25	Po2875
2	皿	A1bdf	Ⅶ	南 3	D-57 東 / Ⅵ e・f	平縁 + 二個一対の突起 + 羊歯状浮線文 + ヘラ刻目。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。赤彩（口縁端部・口縁部内面）	107-24	Po835
3	皿	A1bf	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平縁 + 二個一対の小突起 + 羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	107-26	Po924
4	皿	A1bdf	Ⅶ	南 3	D-74 / Ⅵ c	平縁 + 短沈線による刻目 + 二個一対の小突起 + 羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。口縁部・体部下半内面沈線。補修孔 1	107-27	Po2879
5	皿	A1bf	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平縁 + 二個一対の小突起 + 羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内外面赤彩	107-28	Po913
6	皿	A1bf	Ⅴ + Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵ d	平縁 + 二個一対の小突起 + 羊歯状浮線文。列点文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	107-29	Po1106
7	皿	A1f	Ⅹ Ⅱ a	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	口径 21.3cm、器高 7.2cm、底径 7.0cm。平縁 + 二個一対の小突起 2 組 1 単位。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR。底部付近ミガキによる無文帯、底部ミガキ、かるい上げ底	107-4	Po906
8	壺	-	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平行沈線文、雲形文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	108-5	Po903
9	壺	I1	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	口径 4.2cm、器高 11.5cm、体部最大径 12.8cm、底径 3.6cm。平縁。平行沈線文、雲形文 5 単位、平行沈線文。底部付近沈線文。外面赤彩	108-1	Po894
10	注口土器	C1df	Ⅴ + Ⅵ a	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	口径（14.2cm）、体部最大径（24.5cm）。平縁 + ヘラ刻目 + 羊歯状の突起。平行沈線文 + 列点文、Z 字状文（磨り消し縄文）、平行沈線文 + 列点文、平行沈線文、二個一対の突起（羊歯状）。体部上半内面沈線	108-2	Po934
11	深鉢	A1df	Ⅹ Ⅱ x	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 L	108-3	Po902
12	深鉢	A1df	Ⅹ Ⅱ x	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 2 組。平行沈線文。直前段多条縄文 LR	108-4	Po932
13	鉢	A1df	Ⅹ Ⅱ x	南 3	D-57 東 / Ⅵ e・f	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR	108-7	Po841
14	鉢	A1df	Ⅹ Ⅱ x	南 3	D-57 西 / Ⅵ d	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。平行沈線文。縄文 LR	108-8	Po1103
15	鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ x	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR+R 附加条	108-9	Po914

第124図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（5）



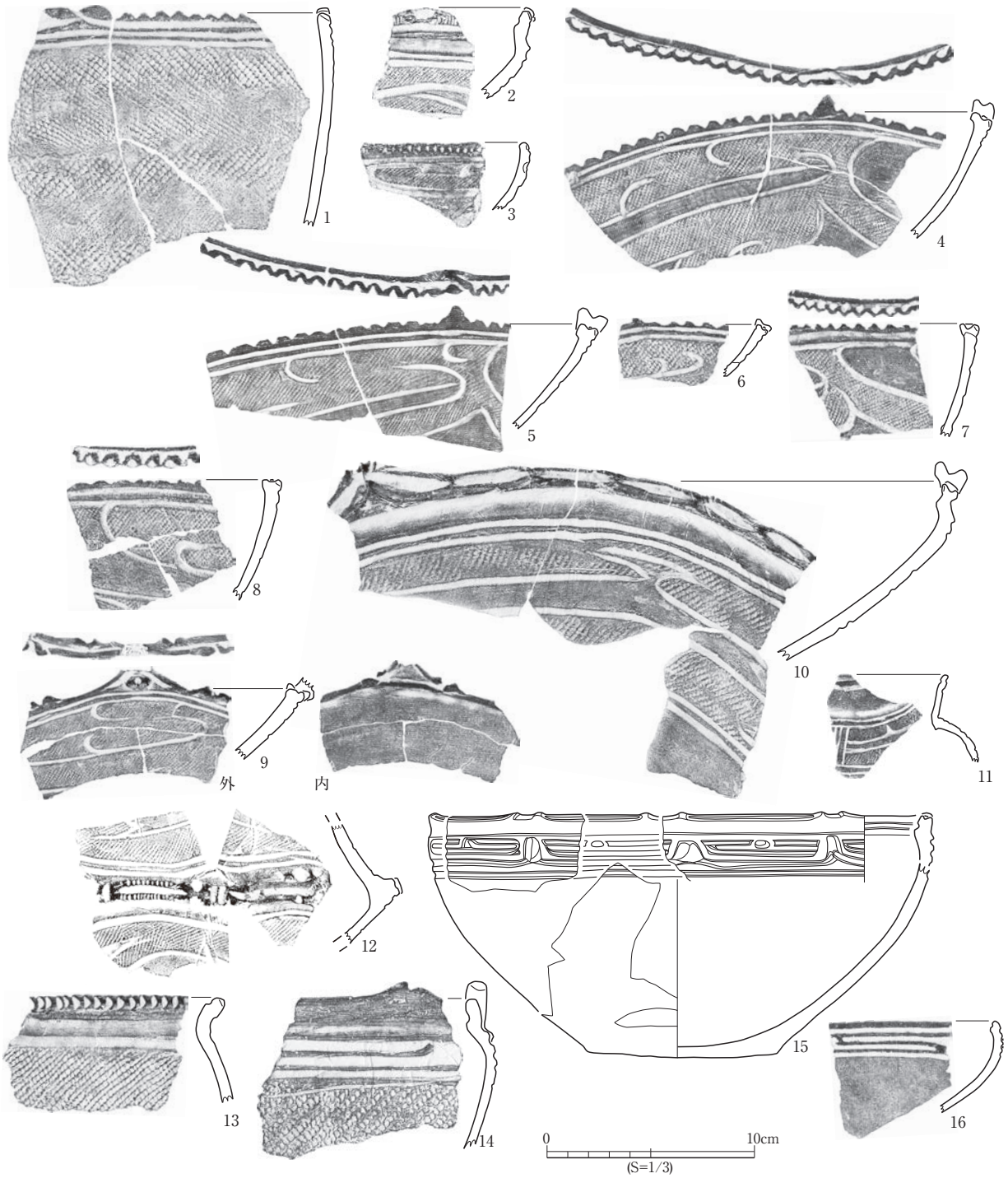
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	XⅡx	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR	108-10	Po908
2	深鉢	A1d	XⅡx	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR	108-6	Po926
3	浅鉢	A1bf	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 二個一対の小突起 + 羊歯状浮線文。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	108-11	Po927
4	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	108-12	Po930
5	Ⅲ	A1b	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	108-13	Po921
6	Ⅲ	A1b	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + 羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	108-14	Po923
7	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-74 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部・体部下半内面沈線	108-15	Po2880
8	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南 3	D-57 東 / Ⅵc-e	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半隆帯 + 充填縄文 LR	108-16	Po846
9	注口土器	-	Ⅶ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起、ヘラ刻目 + 連続弧状沈線文、平行沈線文、縄文 L	108-17	Po931
10	深鉢	B1c	XⅡa	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径（18.2cm）。平縁 + 連続弧状沈線文。櫛歯状刻目 + 平行沈線文。縄文 LR 末端部強調	108-18	Po909
11	鉢	B1cd	XⅡa	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。平行沈線文 + 櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR。内面炭化物付着	108-19	Po929
12	鉢	B1d	XⅡx	南 3	D-57 西 / Ⅵd	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 LR	108-20	Po1101
13	浅鉢	A1	XⅡb	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。平行沈線文 + 二個一対の刺突。縄文 LR	108-21	Po919
14	袖珍土器深鉢	A1	XⅢ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径（7.6cm）。平縁。沈線文。縄文 LR	108-22	Po912
15	浅鉢	A1	XⅡb	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	平縁。平行沈線文	108-23	Po1095
16	壺	C1	XⅣb1	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。縄文 RL	108-24	Po915
17	壺	C1	XⅣb1	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径（10.8c m）、体部最大径（16.2cm）。平縁。縄文 LR	108-27	Po933
18	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵd	平縁。羽状縄文 LR/RL	108-25	Po1104
19	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵe	平縁。羽状縄文 LR/RL	108-26	Po1099
20	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵd	平縁。羽状縄文 LR/RL	108-28	Po1105
21	袖珍土器鉢	A1df	XⅢ	南 3	D-57 西 / Ⅵc	口径 3.7cm、器高 2.8cm、底径 2.6cm。平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 4 単位。沈線文。底部ナデ	108-29	Po901

第125図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（6）



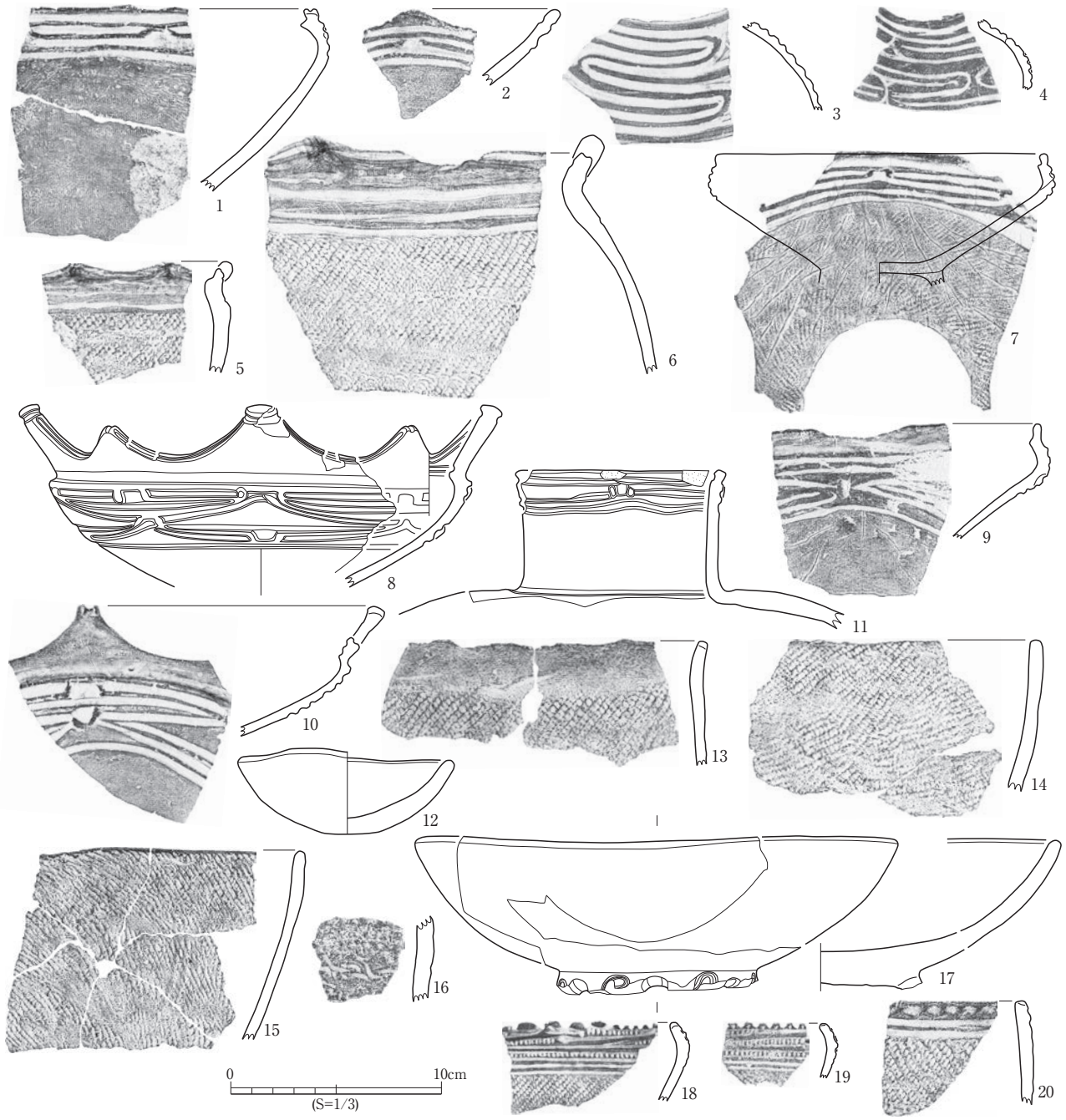
No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f+ Ⅵe+ Ⅵd	口径（32.2cm）。平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	109-1	Po1100
2	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。縄文 LR	109-7	Po917
3	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	平縁。縄文 RL 末端部強調	109-2	Po1092
4	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。縄文 LR	109-4	Po895
5	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵc+ Ⅵa	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調。補修孔 1	109-3	Po918
6	深鉢	A1	XⅣa2	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	109-5	Po1093
7	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-57 西 / Ⅵe・f	平縁。結節縄文 LR。内面炭化物付着	109-6	Po1094
8	深鉢	A1	XⅣa1	南 3	D-57 西 / Ⅵc	平縁。縄文 LR+R 附加条	109-8	Po907
9	鉢	A1df	Ⅳ	南 2A	D-56 東 / Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。羊歯状文、平行沈線文。縄文 LR	109-10	Po795
10	皿	A1bf	Ⅶ	南 2A	D-74 / Ⅵb	平縁＋短沈線による刻目＋二個一対の小突起＋羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内外面赤彩	109-11	Po2888

第126図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（7）



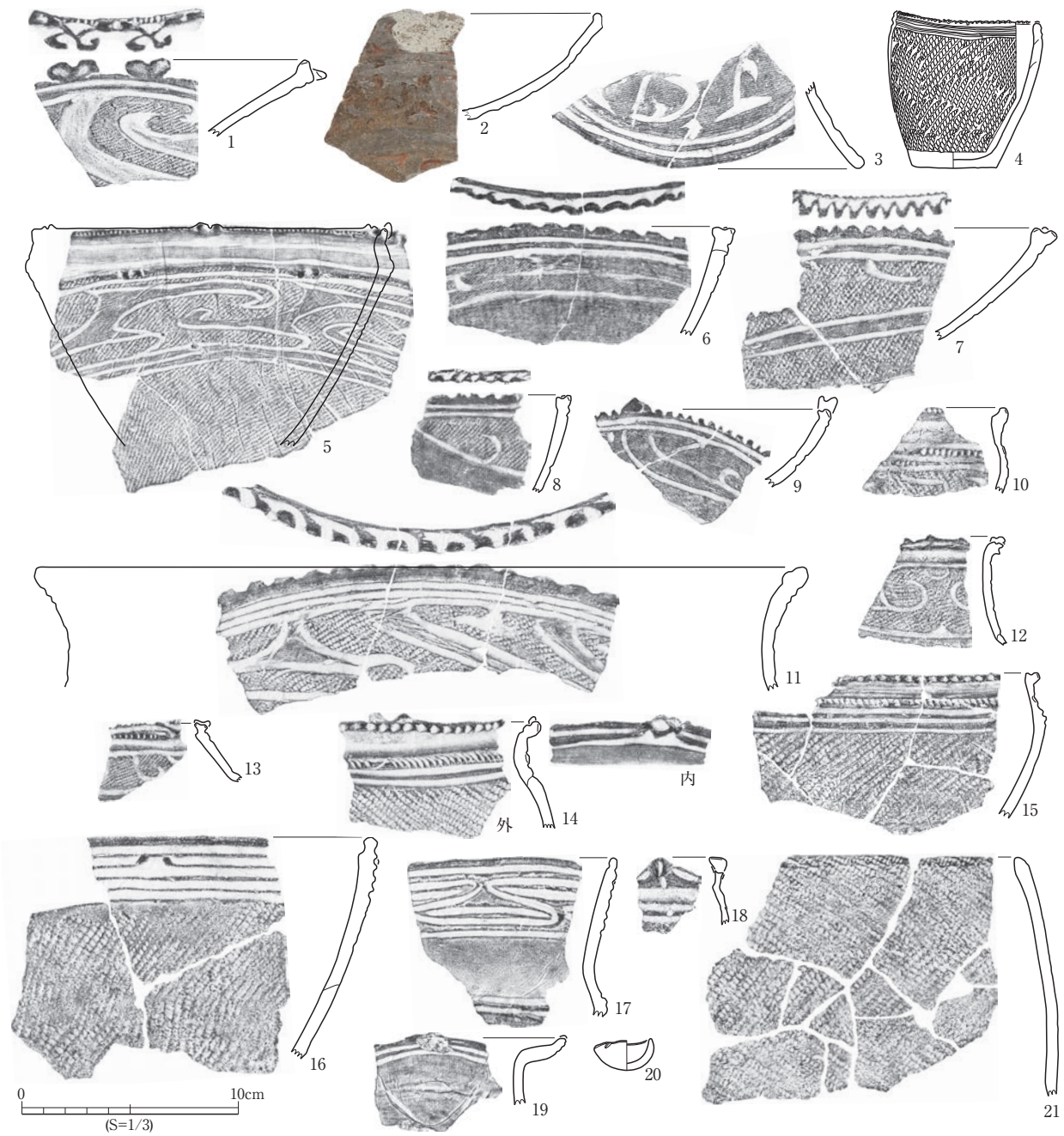
No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1cf	XⅡx	南2A	D-56東／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の突起。平行沈線文。羽状縄文RL/LR	109-9	Po798
2	浅鉢	C1df	Ⅶ	南2A	D-56東／Ⅵb	平縁＋櫛歯状刻目＋二個一対の小突起。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	109-12	Po783
3	浅鉢	A1d	Ⅶ	南2A	D-56東／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縄文LR	109-13	Po790
4	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	109-15	Po2984
5	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。口縁部内面沈線	109-16	Po2967
6	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	南2A	D-74／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。口縁部・体部下半内面沈線	109-14	Po2902
7	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南2A	D-74／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。口縁部内面沈線、体部下半内面隆帯＋充填縄文LR	109-17	Po2903
8	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	南2A	D-57東／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR。体部下半内面隆帯＋充填縄文LR。外面赤彩	109-18	Po850
9	Ⅲ	A1cf	Ⅶ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	平縁＋二個一対の小突起＋山形突起（二個一対の貼瘤＋短沈線）の両側（内面側）に二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	109-19	Po2979
10	Ⅲ	B2cf	Ⅶ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	波状縁＋山形突起＋波底部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文LR。突起・口縁部内面沈線	110-3	Po2957
11	壺	F1	Ⅶ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	平縁。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、縦位の平行沈線文、平行沈線文。縄文LR。口縁部内面沈線	110-4	Po2973
12	注口土器	-	Ⅶ＋Ⅷ	南2A	D-74／Ⅵb・c	雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文、メガネ状浮文＋櫛歯状刻目、注口部付近ヘラ刻目＋縦位の平行短沈線文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文LR	110-6	Po2885
13	深鉢	B1cd	XⅢ	南2A	D-74拡張／Ⅵb	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文。縄文LR	110-7	Po2978
14	鉢	B1f	Ⅸa	南2A	D-56東／Ⅵb	平縁＋山形突起（頂部刻み）。π字文。縄文LR。口縁部内面沈線	110-8	Po780
15	鉢	A1cd	Ⅸa	南2A	D-74／Ⅵb+Ⅵa・b	口径（23.6cm）、器高11.8cm、底径9.2cm。平縁＋押圧8単位＋押圧間沈線。π字文8単位＋π字文8単位、沈線文。底部ミガキ。口縁部内面沈線	110-1	Po2899
16	浅鉢	A1c	Ⅸa+X	南2A	D-74／Ⅵb	平縁＋口唇部沈線。π字文、工字文＋二個一対の貼瘤	110-9	Po2892

第127図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（8）



No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台付浅鉢	A1cd	Ⅸ a	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	平縁 + 押圧 + 口縁端部沈線。π 字文。口縁部内面沈線	110-11	Po2951
2	皿	A2cf	Ⅸ a	南 2A	D-56 西 / Ⅵ b	波状縁か + 山形突起 + 波底部沈線。π 字文。口縁部内面沈線。外面炭化物付着	110-10	Po830
3	壺	-	X	南 2A	D-75 / Ⅵ b	流水工字文	110-12	Po3009
4	壺	-	X	南 2A	D-74 / Ⅵ b・c	流水工字文。縄文 LR か	110-13	Po2883
5	深鉢	B2c	XⅡ x	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b	波状縁 + 波底部沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR	110-14	Po796
6	深鉢	B2cf	XⅡ x	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b+ Ⅵ a-c	波状縁 + 山形突起 + 波底部沈線 + 口唇部沈線。平行沈線文。縄文 LR 末端部強調	110-16	Po799
7	台付浅鉢	A1	Ⅸ a	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b	口径（15.3cm）。平縁。π 字文（2 段）。縄文 LR。口縁部内面沈線	110-5	Po781
8	台付浅鉢	B3ce	Ⅸ a+ XⅠ	南 2A	D-75 / Ⅵ b	口径（21.5cm）。波状縁 + 山形突起（頂部刻み）4 単位 + 山形突起（ボタン状突帯）4 単位 + 波底部沈線。π 字文 + 二個一対の貼瘤 4 単位、変形工字文 + 二個一対の貼瘤 2 段 4 単位、π 字文（逆さ表現）+ 二個一対の貼瘤 4 単位、沈線文。突起・口縁部内面沈線	110-17	Po3047
9	浅鉢	A1	XⅠ	南 2A	D-56 西 / Ⅵ b	平縁。平行沈線文、変形工字文 + 刺突。口縁部内面沈線	110-15	Po828
10	台付浅鉢	B3ce	Ⅸ a+ XⅠ	南 2A	D-75 / Ⅵ b	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 波底部沈線。π 字文、変形工字文。突起・口縁部内面沈線	110-18	Po3014
11	壺	E1	Ⅸ b	南 2A	D-75 / Ⅵ b+ Ⅵ a・b	口径（9.5cm）。平縁。π 字文、沈線文。口縁部内面沈線	110-2	Po3003
12	皿	A1	XⅤ	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b	口径 10.3cm、器高 4.1cm、底径 3.9cm。平縁	111-1	Po794
13	深鉢	C1	XⅣ b1	南 2A	D-56 西 / Ⅵ b	波状縁。縄文 LR。外面炭化物付着	111-4	Po827
14	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b+ Ⅵ a・b	平縁。縄文 LR	111-5	Po800
15	深鉢	A1	XⅣ a1	南 2A	D-56 西 / Ⅵ b	平縁。縄文 R	111-6	Po826
16	深鉢	-	-	南 1	D-56 東 / Ⅵ a・b	S 字状沈文か。繊維土器	111-7	Po804
17	台付浅鉢	A1	-	南 1	D-80 / Ⅵ	口径（23.0cm）、体部高（96.4cm）。平縁。台部透かし彫りの入組文か	111-3	Po3100
18	鉢	A1df	Ⅳ + Ⅴ	南 1	D-57 西 / Ⅵ a・c	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 2 組。羊歯状文、列点文、平行沈線文。縄文 LR	111-8	Po939
19	鉢	A1d	Ⅳ + Ⅴ	南 1	D-56 東 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目。羊歯状文、列点文、平行沈線文。縄文 RL	111-9	Po803
20	深鉢	A1d	XⅡ x	南 1	D-57 西 / Ⅵ a	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文。縄文 RL	111-10	Po946

第128図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（9）



No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	皿	A1bf	Ⅶ	南１	D-57 西／Ⅵa・c	平縁＋二個一対の小突起＋羊歯状浮線文＋内面二個一対の小突起＋ヘラ刻目。平行沈線文。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。外面・口縁端部赤彩	111-12	Po942
2	皿	A1b	Ⅶ	南１	D-57 西／Ⅵa・c	平縁＋羊歯状浮線文。雲形文（磨り消し縄文）３段、平行沈線文２段。縄文 LR。内外面赤彩	111-11	Po941
3	台部	-	Ⅶ	南１	D-56 東／Ⅵa-c	雲形文、平行沈線文	111-17	Po806
4	深鉢	A1d	ⅩⅡx	南１	D-57 西／Ⅵa・c	口径（6.6cm）、器高 7.3cm、底径 3.9cm。平縁＋櫛歯状刻目。平行沈線文。縄文 LR。底部ミガキ	111-2	Po940
5	鉢	B1cdf	Ⅶ	南１	D-57 東／Ⅵa	口径（16.4cm）。平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起＋口唇部沈線。平行沈線文（磨り消し縄文）＋二個一対の小突起、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。内面炭化物付着	111-13	Po860
6	皿	A1bd	Ⅶ	南１	D-74／Ⅵa・b	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。内外面赤彩	111-14	Po2909
7	皿	A1bd	Ⅶ	南１	D-57 東／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。体部下半内面沈線	111-15	Po874
8	皿	A1bd	Ⅶ	南１	D-74／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	111-16	Po2919
9	皿	A1cdf	Ⅶ	南１	D-74／Ⅵa・b	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文。口縁部・体部下半内面沈線	111-18	Po2904
10	鉢	C1cd	Ⅶ	南１	D-57 東／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文＋ヘラ刻目（２段）雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 RL。外面赤彩か	111-19	Po871
11	皿	A1b	Ⅶ	南１	D-57 西／Ⅵa・c	口径（35.6cm）。平縁＋羊歯状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	111-20	Po943
12	注口土器	B1cf	Ⅶ	南１	D-57 中央／Ⅵa	平縁か＋山形突起の両側に小突起＋口縁端部沈線。鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	111-21	Po886
13	注口土器	B1cdf	Ⅶ	南１	D-74／Ⅵa・b	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起か＋口縁端部沈線＋口唇部沈線。隆帯＋ヘラ刻目、平行沈線文、鉢巻状雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 LR	111-22	Po2908
14	深鉢	B1df	ⅩⅡa	南１	D-74／Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起（浮線文）。平行沈線文＋櫛歯状刻目。縄文 RL。口縁部内面平行沈線	111-23	Po2916
15	深鉢	B1cd	ⅩⅡa	南１	D-57 中央／Ⅵa・c	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。平行沈線文＋櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR	111-24	Po885
16	鉢	A1c	ⅨⅩa	南１	D-57 東／Ⅵa+Ⅰ	平縁＋口唇部沈線。π字文、平行沈線文。縄文 LR	111-25	Po876
17	鉢	A1	ⅩⅠ	南１	D-56 東／Ⅵa	平縁。変形工字文２段、平行沈線文。口縁部内面沈線。外面赤彩	111-26	Po801
18	深鉢	B2cf	ⅩⅡb	南１	D-56 東／Ⅵa	波状縁＋突起（頂部刻み）＋波底部沈線。平行沈線文＋浅い刺突。口唇部沈線	111-27	Po802
19	注口土器か	B1f	ⅩⅡx	南１	D-57 西／Ⅵa・c	平縁＋二個一対の小突起。平行沈線文	111-28	Po944
20	袖珍土器浅鉢	A1	ⅩⅤ	南１	D-57 東／Ⅵa	口径 2.6cm、器高 1.4cm、丸底。平縁。底部ナデ	111-29	Po868
21	深鉢	A1	ⅩⅣa2	南１	D-57 西／Ⅵa	平縁。羽状縄文 RL/LR	111-30	Po945

第129図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土土器（10）

南１層群からは、深鉢や鉢、台付浅鉢、台部、皿、注口土器のほかに袖珍土器浅鉢が出土している。装飾は、羊歯状文（第128図18・19）や列点文（同図18・19）、雲形文（第129図１～３・５～13）、π字文（同図16）、変形工字文（同図17）が見られる。

(3) 土製品

土製品は南4A層群を除く大別層群から出土している。土器や石器・石製品に比べて少なく、南斜面の東西で遺物の出土状況や内容等に大きな差異は認められないいため、東西に分けずに記述する。

南５層群からは、土偶（胴部＋両脚や下半身）（第130図２・３）、環状の耳飾り（同図４・５、第131図１～６）、円盤状土製品（第130図１）などが出土している。環状の耳飾りはそのほとんどが東側の遺物包含層からの出土である。

南4B層群からは、三角形を呈する土版（第132図１）や環状の耳飾り（同図２～５）などが出土している。

南３層群からは、土偶顔（第132図６）、土偶頭部（同図７、第133図１）や環状の耳飾り（第133図２）、円盤状土製品（同図３～７）が出土している。

南2B層群からは、土偶（第134図１～４、第135図１）や土面（第133図８）、土版（第135図３・４）、円盤状土製品（同図５～15）などが出土している。出土した土偶には頭部や上半身、胴部がある。また、円盤状土製品のうち15は破損した土版を再加工している。なお、第135図２は環状土製品の可能性が考えられる。

南2A層群からは、土偶（第135図16、第136図１～４）や動物形土製品（クマ顔）（第137図１）、土版（同図２）、環状土製品（同図３）、ボタン状土製品（同図４・５）、キノコ状の耳飾り（同図６）、円盤状土製品（同図７～11）などが出土している。土偶には上半身、頭部、胸部、腹部がある。また、円盤状土製品の一部には赤～黒色物質が付着している（分析編第７章）。

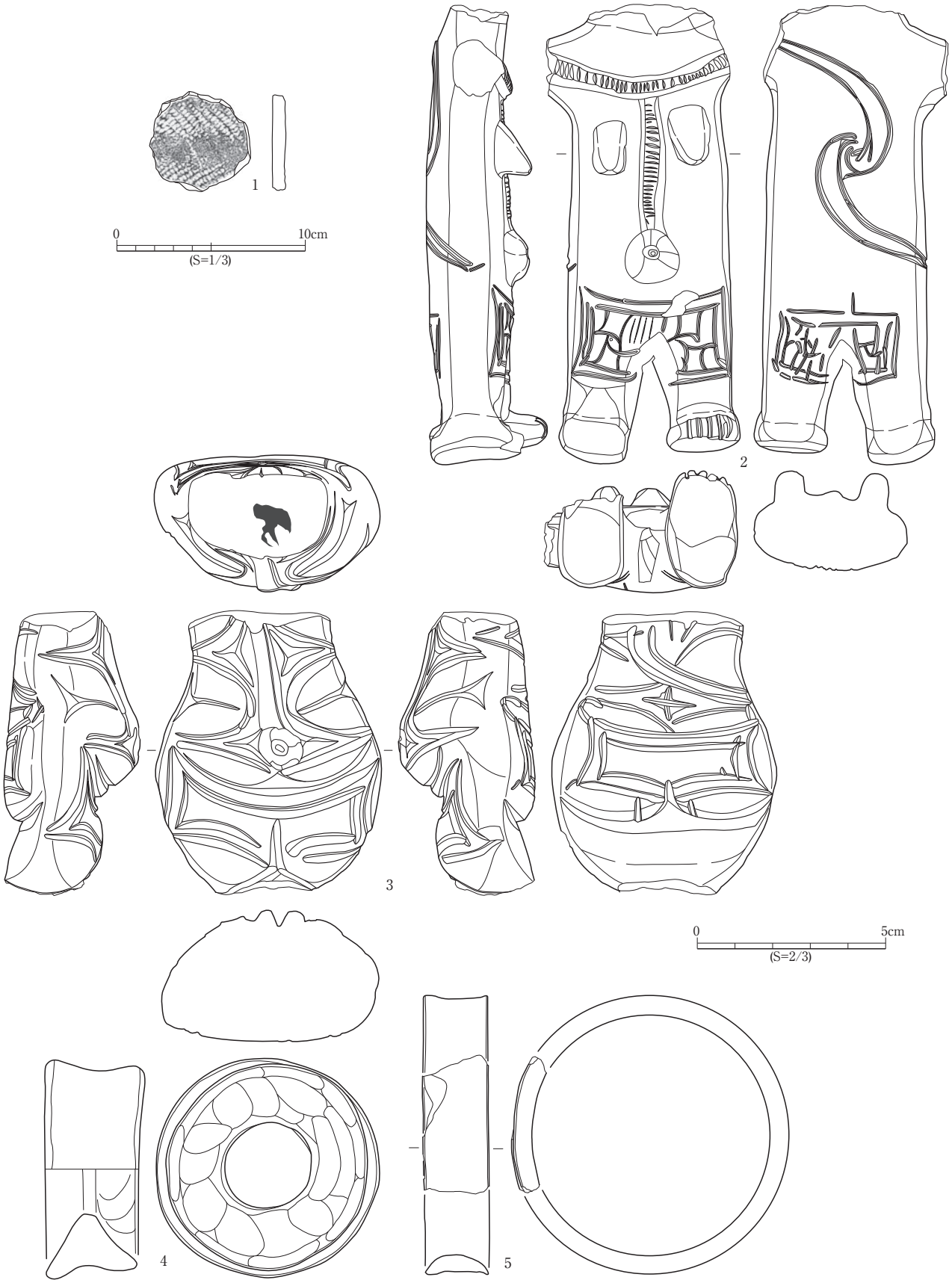
南１層群からは、土偶右脚（第137図12）や動物形土製品（クマ顔）（同図13）、土版（同図１・２）、環状の耳飾り（第138図３）、円盤状土製品（同図４～10）などが出土している。

(4) 石器・石製品

C丘陵南斜面a包含層からは、石鏃105点、尖頭器13点、石錐38点、石匙９点、石篦15点、打製石斧１点、磨製石斧32点、板状石器１点、楔形石器111点、不定形石器326点、石皿139点、磨石462点、凹石14点、砥石６点、敲石２点といったトゥール類や剥片2,801点、石核232点、また、円盤状石製品19点、石錘２点、独鈷石２点、石棒43点、石刀48点、異形石器１点、小玉１点、イモガイ形石製品１点、岩版４点、線刻礫２点、有孔石製品３点、不明石製品15点といった石製品、あわせて4,458点が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

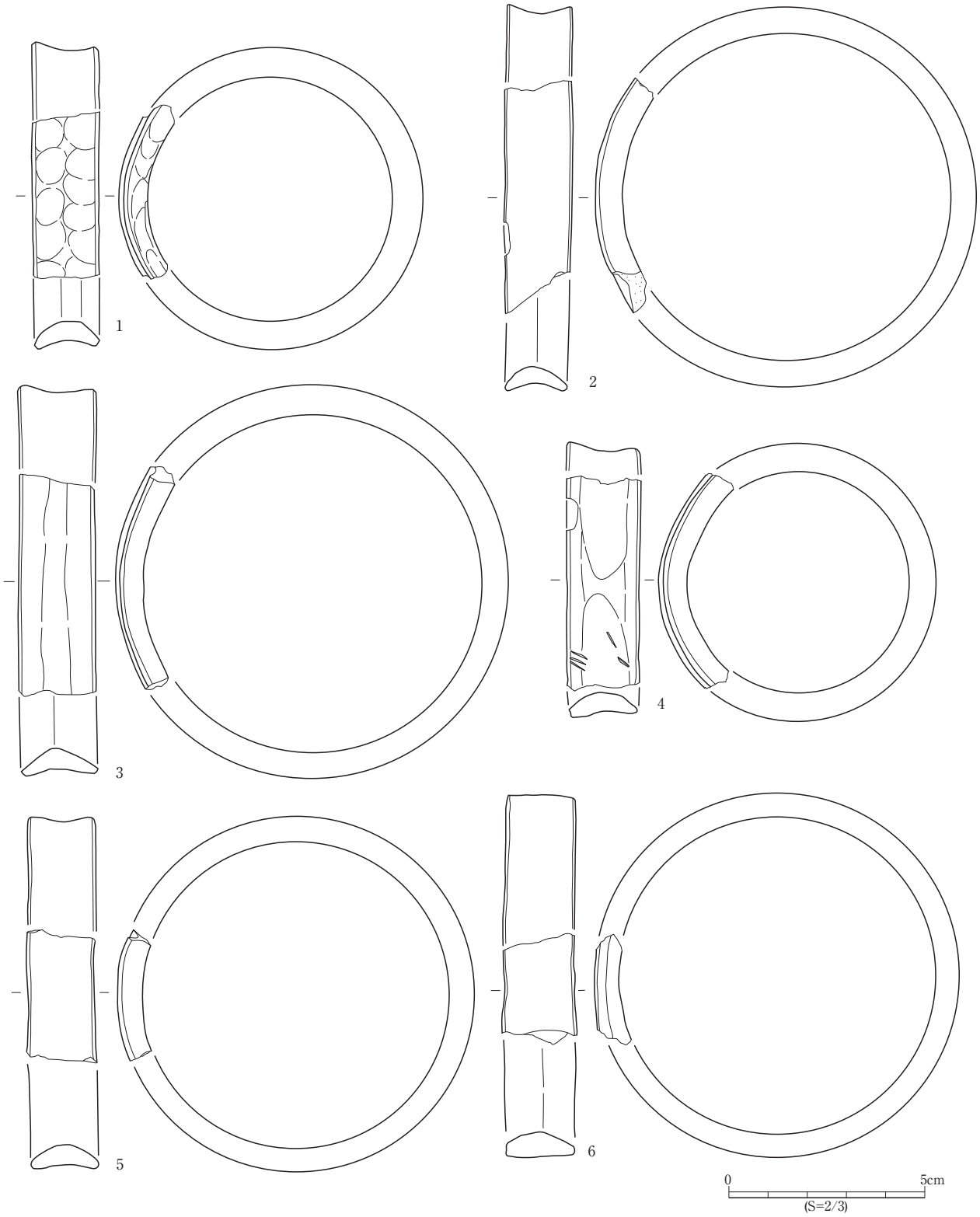
①遺物包含層西側における石器の層位別出土状況

包含層西側では石器・石製品が3,235点出土している。うち、トゥール953点、剥片2,007点、石核



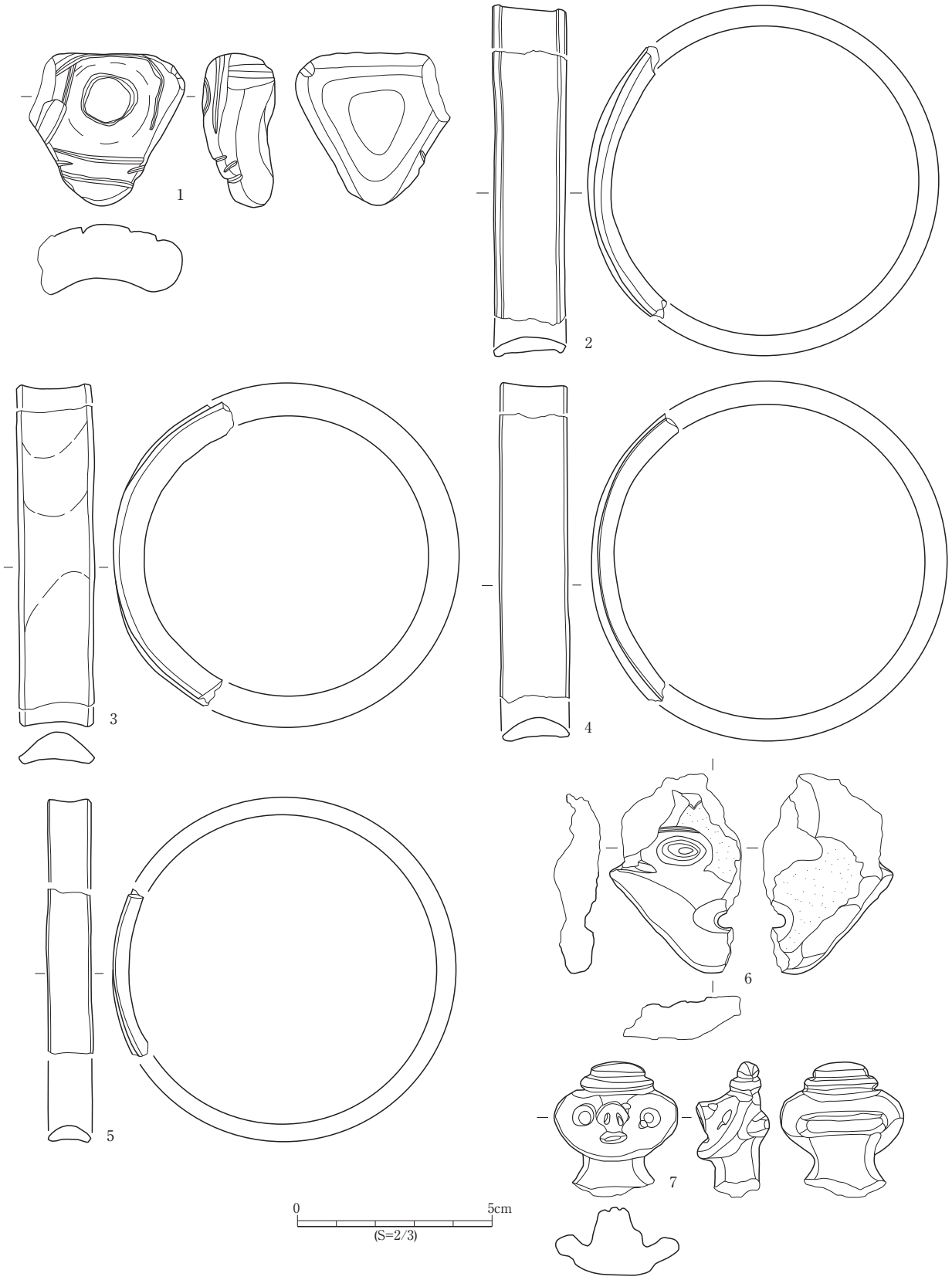
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	円盤状土製品	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	長さ 51.7mm、幅 52.7mm、厚さ 7.1mm。羽状縄文 RL / LR。剥離	112-2	CO968
2	土偶胴部・両脚	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	残存長 120.0mm、残存幅 48.7mm、最大厚 30.2mm。中実。胴部：両腕を結ぶ隆帯：櫛歯状刻目、隆帯 + 櫛歯状刻目（正中線）、臍の位置に貼瘤（頂部刺突）、貼瘤 2（乳房）。腰部から両脚上半にかけて矩形の平行沈線文 + 矩形の沈線文（腰巻か）。足先が 6 叉に分かれている。背面：胴部に入組む弧状の平行沈線文、腰部から両脚上半にかけて矩形の平行沈線文 + 矩形の沈線文（腰巻か）	112-3	CO965
3	土偶下半身	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	残存長 75.0mm、残存幅 59.2mm、最大厚 35.0mm。中実。胴部：隆帯 + 沈線（正中線）、左右対称の三叉文 + 弧状沈線文。刺突（臍）。脚部：四角形の平行沈線文 + 沈線。背面：三叉文、弧状の平行沈線文、沈線文、四角形の平行沈線文、沈線 + 刻み（臀部）。割れ口に漆付着。妊婦の表現	112-1	CO979
4	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	最大径 58.5mm、長さ 25.8mm。環状	112-4	CO960
5	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	残存長 36.4mm、残存幅 17.4mm、最大厚 4.3mm。環状	112-10	CO956

第130図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（1）



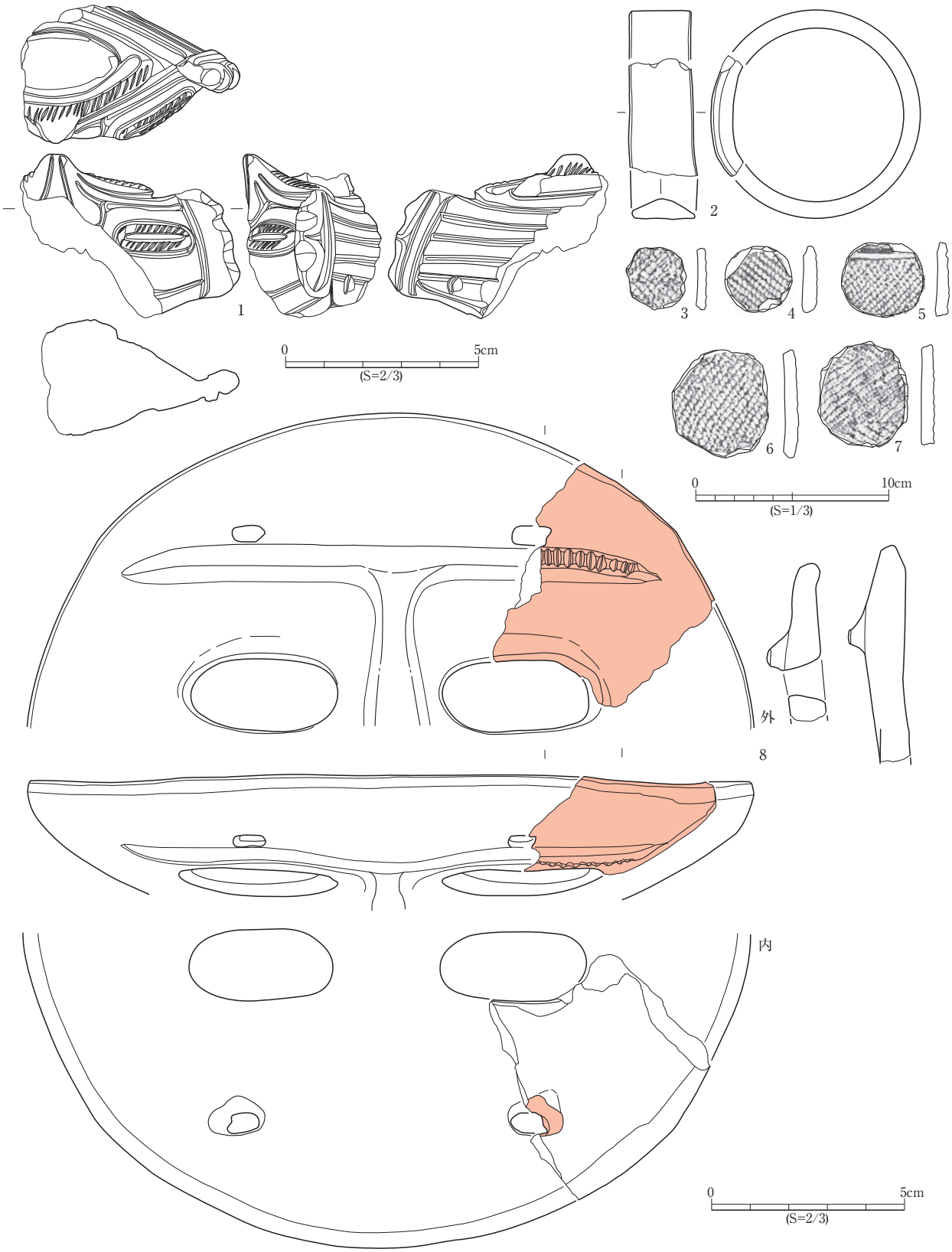
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	残存長 43.1mm、残存幅 17.5mm、最大厚 5.0mm、外径（7.8cm）。環状	112-11	CO1006
2	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	残存長 59.6mm、残存幅 17.1mm、最大厚 4.5mm、外径（9.7cm）。環状	112-5	CO984
3	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ l	残存長 56.9mm、残存幅 19.4mm、最大厚 5.4mm、外径（10.0cm）。環状	112-6	CO1012
4	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ l-n	残存長 54.5mm、残存幅 18.9mm、最大厚 5.2mm、外径（7.0cm）。環状	112-7	CO987
5	耳飾	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	残存長 34.5mm、残存幅 17.2mm、最大厚 4.9mm。環状	112-8	CO957
6	耳飾	南 5	D-59 / Ⅵ g	残存長 26.7mm、残存幅 18.7mm、最大厚 7.0mm。環状	112-9	CO1266

第131図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（2）



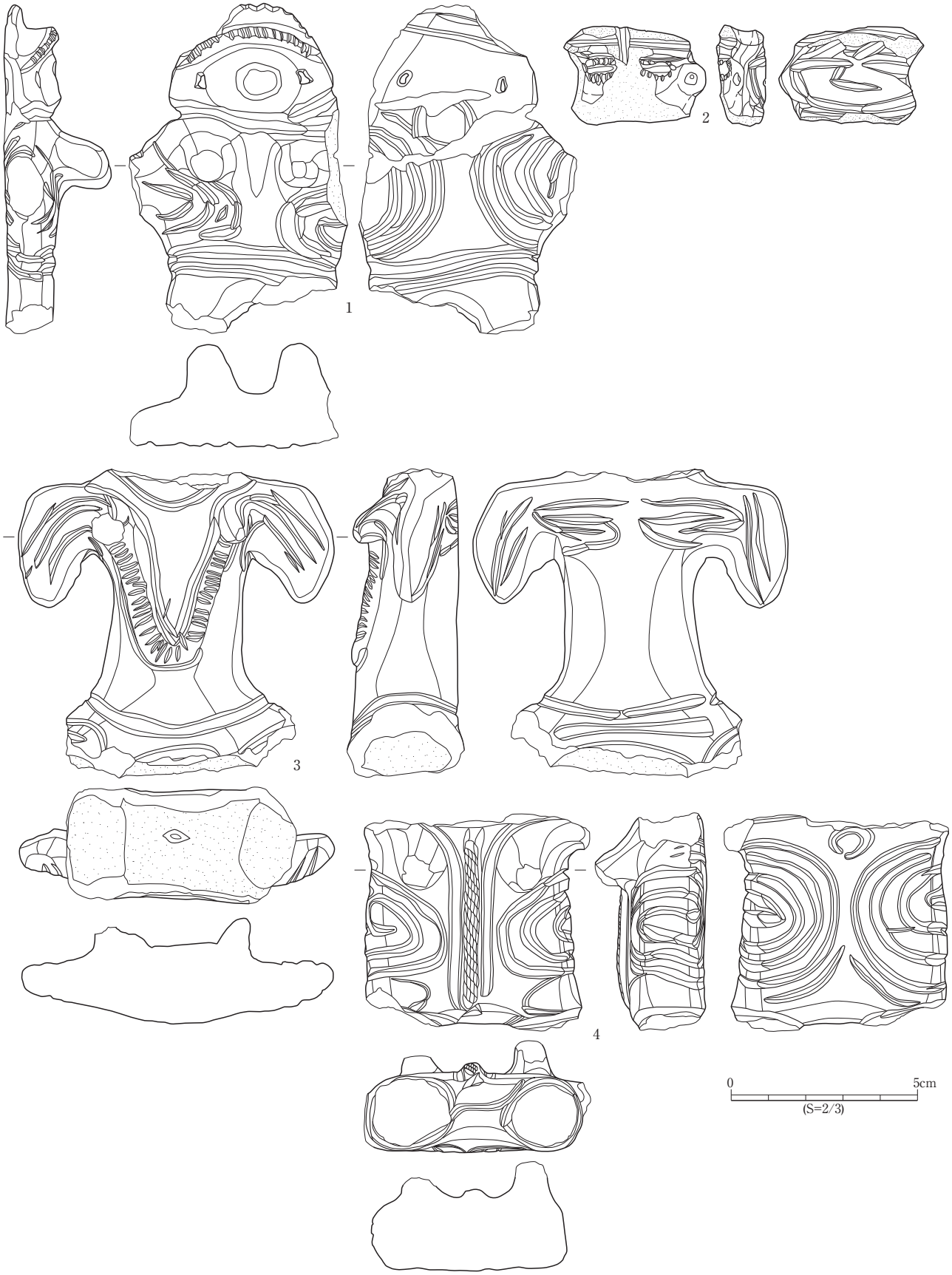
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土版	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	長さ 39.7mm、残存幅 39.4mm、最大厚 14.5mm。平行沈線文、弧状の沈線文、環状沈線文。裏面に押圧。頂部（1 箇所）に短沈線	112-12	CO1019
2	耳飾	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	残存長 70.5mm、残存幅 18.4mm、最大厚 5.1mm、外径（9.0cm）。環状	112-13	CO1024
3	耳飾	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	残存長 76.9mm、残存幅 20.0mm、最大厚 6.9mm、外径（8.8cm）。環状	112-14	CO1044
4	耳飾	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	残存長 73.8mm、残存幅 17.6mm、最大厚 4.1mm、外径（9.2cm）。環状	112-15	CO1025
5	耳飾	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	残存長 41.8mm、残存幅 11.2mm、最大厚 3.5mm。環状	112-16	CO1051
6	土偶顔	南 3	D-57 西 / Ⅵ e・f	残存長 50.7mm、残存幅 34.0mm、最大厚 10.3mm。中実。環状沈線文（目）、貫通孔（口）、短沈線による刻み（耳飾り）。眉・鼻剥落	112-17	CO1091
7	土偶頭部	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	残存長 34.0mm、残存幅 21.4mm、最大厚 18.9mm。中実。平行沈線文（結髪）、盲孔 2（目）、ヘラによる刺突（口）、貼瘤 + ヘラ刻み（鼻）。背面：弧状沈線文 + 隆帯	112-18	CO2639

第132図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（3）



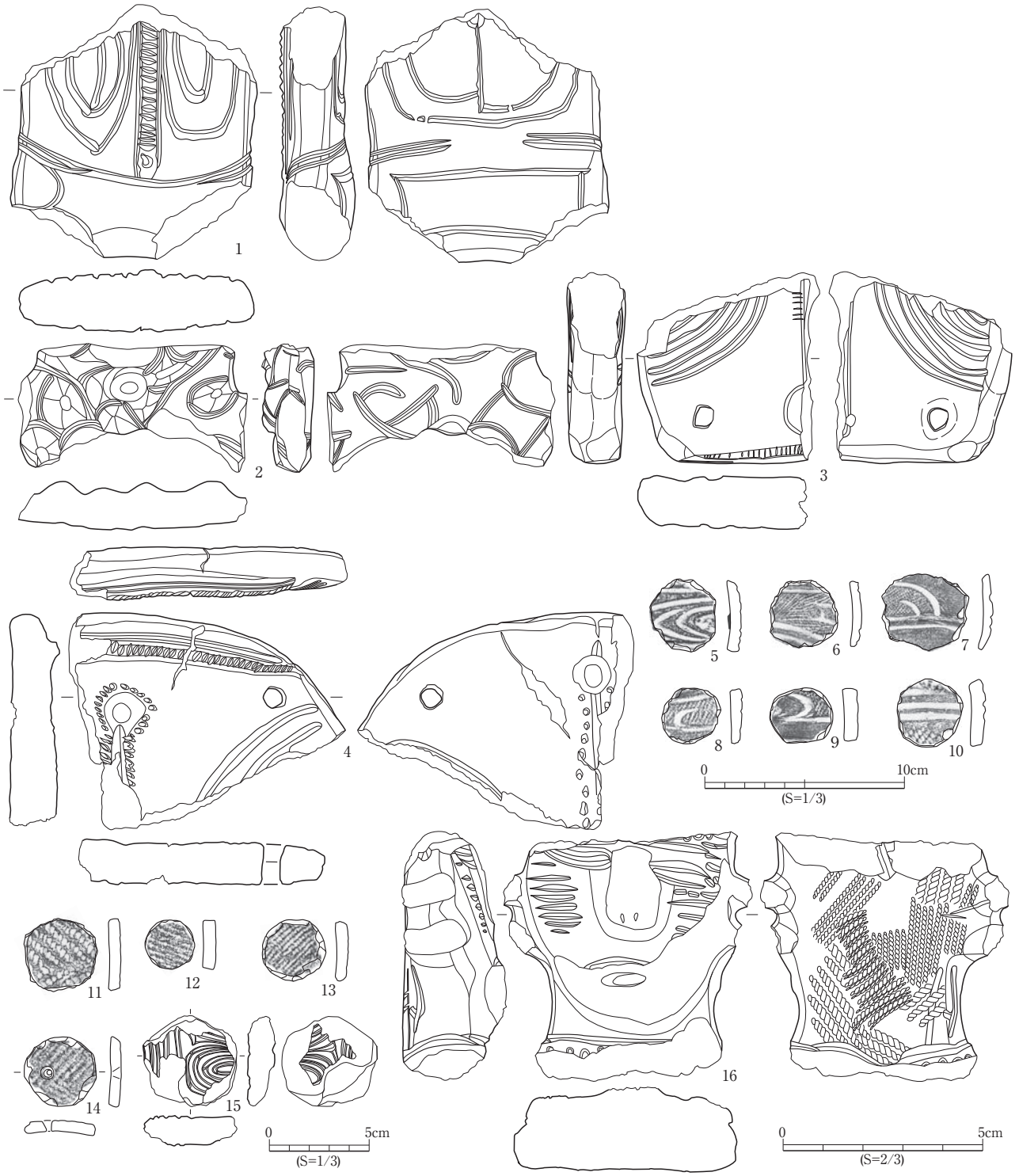
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土偶頭部	南 3	D-54 南 / Ⅵ d1・2	残存長 44.2mm、残存幅 56.3mm、最大厚 35.4mm。中空。平行沈線文：櫛歯状刻目、角状の突起 + 突起頂部から延びる沈線文、環状沈線文 + 櫛歯状刻目 + 短沈線（目）、平行沈線文、耳にヘラ刻目。背面：平行沈線文、耳に縦位の平行沈線文	112-19	CO204
2	耳飾	南 3	D-56 西 / Ⅵ d	残存長 31.1mm、残存幅 17.1mm、最大厚 5.2mm、外径（5.8cm）。環状	112-20	CO855
3	円盤状土製品	南 3	D-59 / Ⅵ c・e	長さ 31.7mm、幅 20.9mm、厚さ 5.2mm。羽状縄文 LR/RL。剥離	112-21	CO1298
4	円盤状土製品	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	長さ 34.1mm、幅 35.0mm、厚さ 7.2mm。縄文 RL。剥離→研磨	112-22	CO2773
5	円盤状土製品	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	長さ 38.2mm、幅 43.2mm、厚さ 6.0mm。平行沈線文。縄文 LR。剥離→研磨	112-23	CO2635
6	円盤状土製品	南 3	D-55 東 / Ⅵ d	長さ 55.2mm、幅 48.1mm、厚さ 7.1mm。縄文 LR。剥離	112-24	CO663
7	円盤状土製品	南 3	D-57 西 / Ⅵ e・f	長さ 53.5mm、幅 45.8mm、厚さ 7.0mm。羽状縄文 RL/LR 末端部強調。剥離	112-25	CO1097
8	土面	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	残存長 65.7mm、残存幅 60.1mm、最大厚 13.7mm。隆帯 + ヘラ刻目。貫通孔 1。外面・孔内面赤彩	112-26	CO484

第133図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（4）



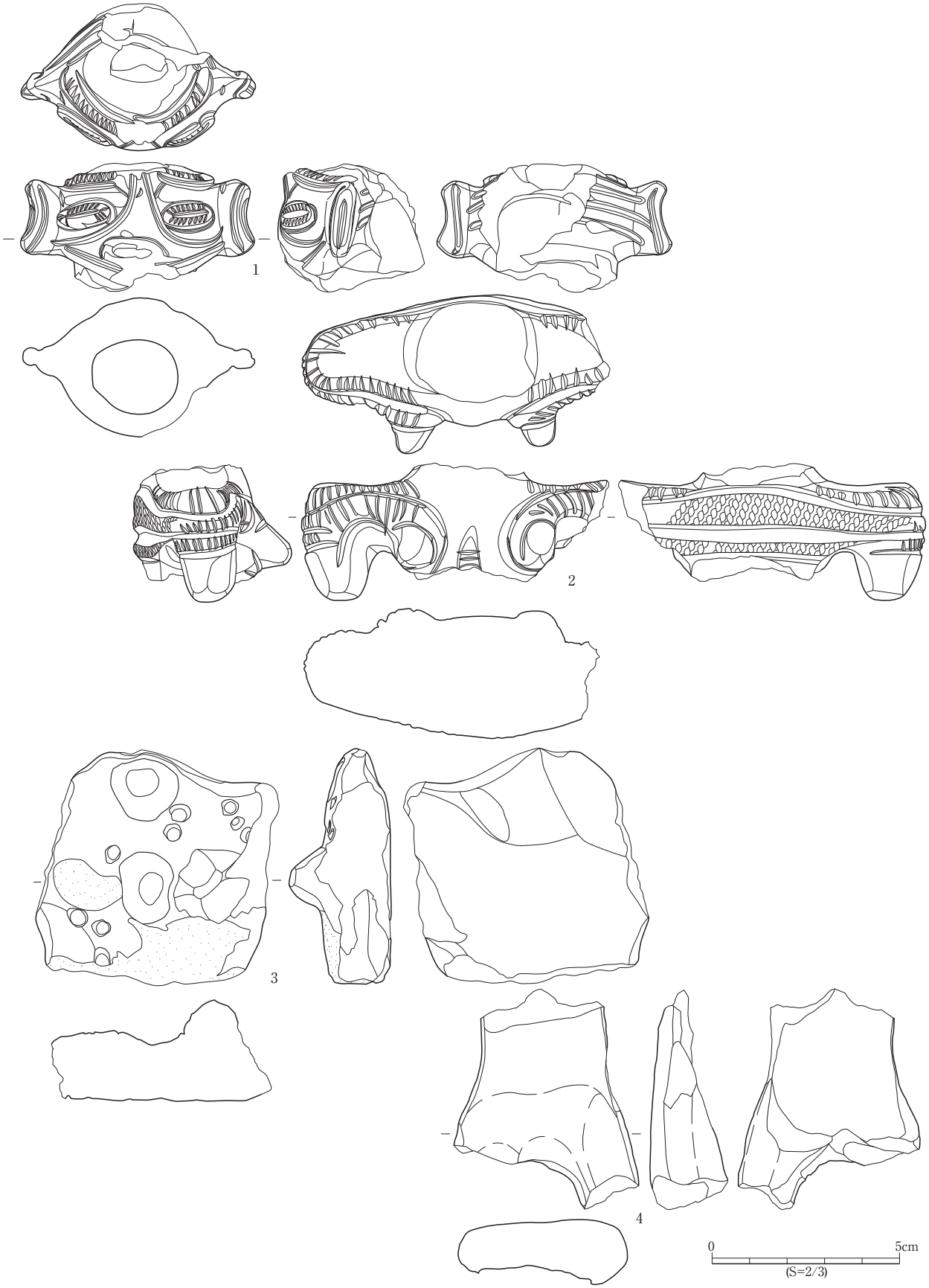
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土偶頭部・胴部	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	残存長 67.4mm、残存幅 55.3mm、最大厚 29.5mm。中実。頭部：ヘラ刻目（頭頂部）、隆帯 + ヘラ刻目、貫通孔 2（耳飾り）、盲孔（顔）。首部に沈線文。腕が横に張り出す。胴部：貼瘤 2（乳房）、左右対称の半円形の平行沈線文、平行沈線文。背面：頭部に平行沈線文、首部に弧状沈線文、胴部に左右対称の半円形の平行沈線文、平行沈線文	113-1	CO1358
2	土偶頭部	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	残存長 27.0mm、残存幅 38.0mm、最大厚 13.2mm。中実。隆帯 + 十字状の沈線文（眉・鼻梁）、刺突（目）、目の周りにヘラ刻目。刺突（耳飾り）。背面：弧状沈線文、短沈線	113-2	CO2844
3	土偶胴部・両腕	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	残存長 83.0mm、残存幅 83.7mm、最大厚 27.6mm。中実。首部に沈線文。貼瘤 2（乳房）、乳房から腹部にかけて平行沈線文 + 隆帯 + 櫛歯状刻目、乳房から腕にかけて弧状の平行沈線文。腰部に平行沈線文。背面：工字文か、腕部に平行沈線文、腰部に平行沈線文。両脚間に刺突 1	113-5	CO2691
4	土偶胴部	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	残存長 58.5mm、残存幅 60.0mm、最大厚 29.0mm。中実。貼瘤 2（乳房）、平行沈線文 + 隆帯 + 縄文 LR（正中線）、腹部から背中にかけて渦巻状沈線文、弧状沈線文、両脚の付け根に沈線文。両脚間に刺突。背面：両腕を結ぶ沈線文、環状沈線文、腹部からの渦巻状沈線文、弧状沈線文	113-3	CO2845

第134図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（5）



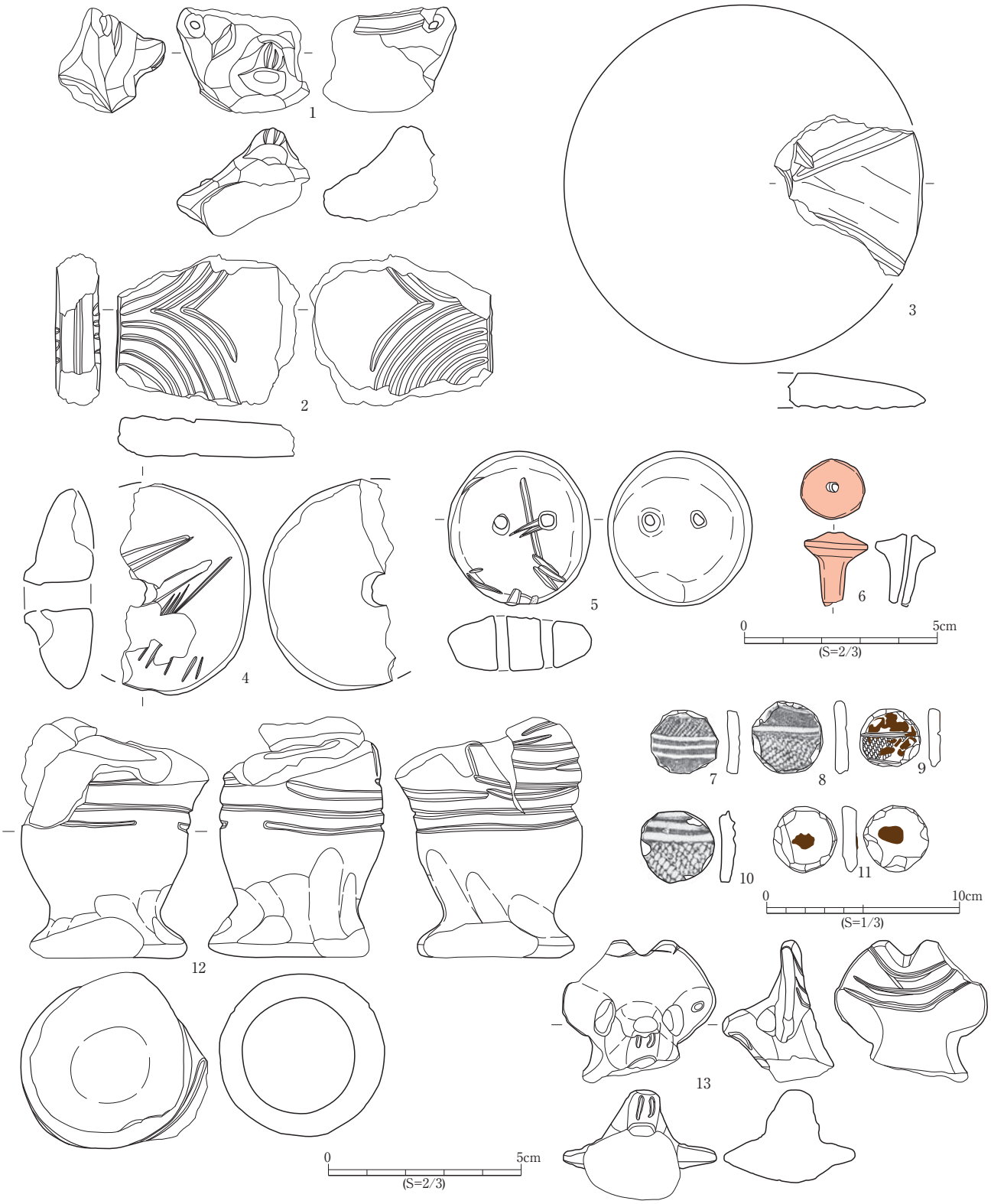
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土偶胴部	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	残存長 62.6mm、残存幅 59.4mm、最大厚 17.9mm。中実。平行沈線文 + 隆帯 + 櫛歯状刻目(下端に刺突)、弧状の平行沈線文、臍下に沈線文、弧状の沈線文。円文 + 縦位の沈線文（正中線）、弧状の平行沈線文、矩形の沈線文	113-4	CO2824
2	環状土製品か	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	残存長 32.0mm、残存幅 56.8mm、最大厚 12.5mm。入組三叉文 + 貼瘤。裏面：入組三叉文	113-6	CO1327
3	土版	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	残存長 46.9mm、残存幅 46.2mm、最大厚 13.6mm。円文 + 縦位の沈線文（正中線）+ 櫛歯状刻目。櫛歯状刻目、弧状の平行沈線文。裏面：縦位の沈線文（正中線）、弧状の平行沈線文。貫通孔 1	113-7	CO671
4	土版	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	残存長 54.9mm、残存幅 70.5mm、最大厚 12.3mm。円文 + 縦位の沈線文（正中線）の周囲に刺突列 + 櫛歯状刻目、沈線文 + 隆帯 + 櫛歯状刻目、弧状の平行沈線文。裏面:円文 + 縦位の沈線文（正中線）、正中線の両側に刺突列、弧状の平行沈線文。貫通孔 1。両面に赤彩	113-8	CO1351
5	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-d2	長さ 36.6mm、幅 32.0mm、厚さ 5.9mm。平行沈線文、矢羽根状沈線文。剥離。内外面炭化物付着	113-9	CO219
6	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1・2	長さ 32.9mm、幅 34.3mm、厚さ 4.5mm。雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR。剥離	113-10	CO463
7	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	長さ 37.8mm、幅 43.6mm、厚さ 4.6mm。雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。底部ミガキ。縄文 LR。剥離	113-11	CO492
8	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	長さ 27.4mm、幅 28.9mm、厚さ 5.8mm。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。剥離→一部研磨	113-12	CO537
9	円盤状土製品	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	長さ 26.7mm、幅 31.1mm、厚さ 7.2mm。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。剥離→研磨	113-13	CO1352
10	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	長さ 33.7mm、幅 33.0mm、厚さ 7.2mm。平行沈線文。縄文 LR。剥離→研磨	113-14	CO498
11	円盤状土製品	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	長さ 36.5mm、幅 35.8mm、厚さ 5.8mm。羽状縄文 LR/RL。剥離	113-15	CO2647
12	円盤状土製品	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	長さ 24.3mm、幅 24.1mm、厚さ 6.4mm。縄文 LR（前々段多条か）。剥離→研磨	113-16	CO1335
13	円盤状土製品	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	長さ 29.6mm、幅 30.9mm、厚さ 5.9mm。縄文 LR。剥離→一部研磨	113-17	CO672
14	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	長さ 34.3mm、幅 35.6mm、厚さ 5.9mm。羽状縄文 LR/RL。補修孔 1+ 割れ口に赤漆？付着。剥離→一部研磨	113-18	CO460
15	円盤状土製品	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	長さ 45.2mm、幅 46.7mm、厚さ 14.2mm。平行沈線文、弧状の平行沈線文 2 段。土版を剥離して円盤状に成形したもの	113-19	CO517
16	土偶頭部	南 2A	D-75 / Ⅵ b	残存長 59.8mm、残存幅 61.6mm、最大厚 25.4mm。中実。沈線文（眉）、環状沈線文 2（目）、平行短沈線文（刺青か）、環状沈線文（口）、貫通孔 2（耳飾り）、鼻剥落。首部に沈線文。背面：首部に沈線文、縄文 RL、LR、LR+R 附加条	113-20	CO2999

第135図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（6）



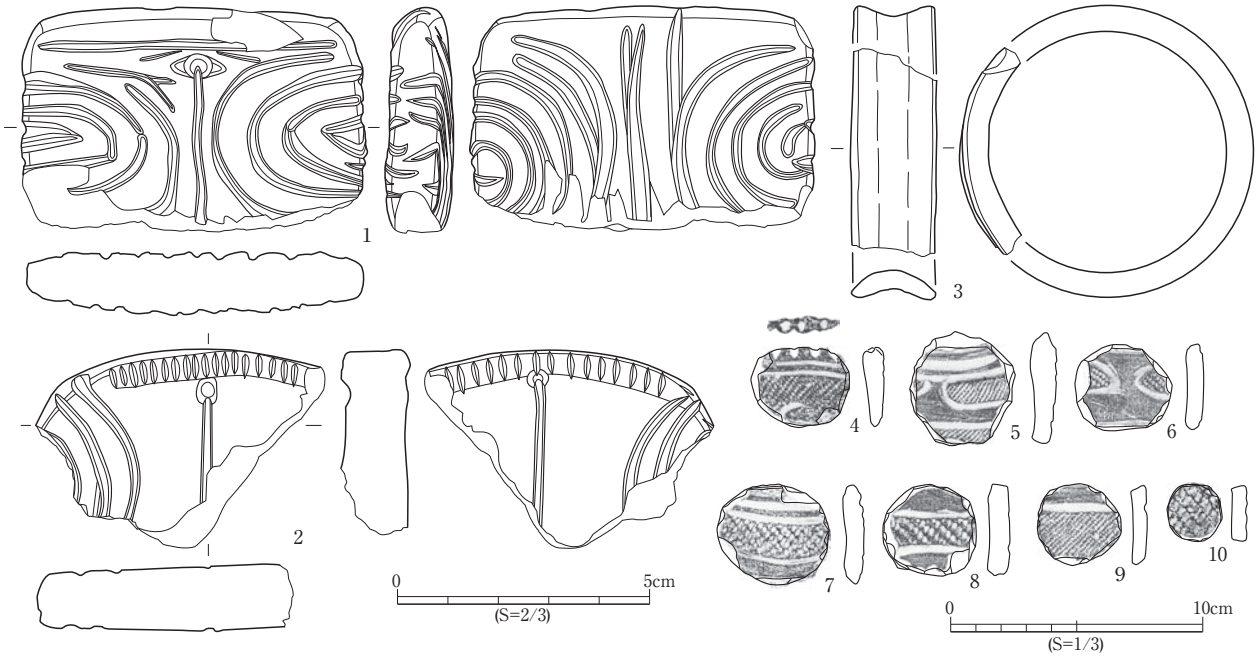
No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土偶頭部	南 2A	D-54 南 / Ⅵb	残存長 32.6mm、残存幅 62.1mm、最大厚 37.9mm。中空。平行沈線文 + 隆帯 + 櫛歯状刻目（眉）、弧状沈線文（鼻・頬）、環状沈線文 + 貼瘤（頂部短沈線）+ 櫛歯状刻目 2（目）、環状沈線文（口）、耳に弧状沈線文、側縁に沈線文。背面：平行沈線文、耳に沈線文	114-1	CO298
2	土偶胸部・右腕	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵb	残存長 35.5mm、残存幅 82.9mm、最大厚 39.4mm。中実。腕が横に張り出す。貼瘤 2（乳房）。乳房から腕・背中にかけて平行沈線文 + 隆帯 + 櫛歯状刻目（背中にのみ縄文 LR）	114-2	CO2987
3	土偶上半身	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	残存長 68.4mm、残存幅 76.1mm、最大厚 27.7mm。中実。盲孔 2（顔・心臓か）。貼瘤（乳房）。刺突列。胎土に繊維を含む	114-5	CO748
4	土偶腹部	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵb	残存長 58.8mm、残存幅 47.5mm、中実。両脚間に棒状工具による穿孔 1	114-3	CO2964

第136図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（7）



No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	動物形土製品（クマ顔）	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	残存長 37.1mm、残存幅 29.0mm、最大厚 21.6mm。中実。ヘラ刻み（目）、貼瘤＋ヘラ刻目（鼻）、盲孔（口）、貫通孔（耳飾り）	114-4	CO562
2	土版	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	残存長 39.4mm、残存幅 47.1mm、最大厚 10.9mm。縦位の沈線文（正中線）、両面に弧状の平行沈線文。側縁に沈線文	114-6	CO301
3	環状土製品	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	残存長 44.9mm、残存幅 38.9mm、最大厚 9.4mm。放射状に交差する沈線文。裏面：網代痕。貫通孔 1	114-7	CO2947
4	ボタン状土製品	南 2A	D-55 東 / Ⅵ	残存長 53.8mm、残存幅 34.1mm、最大厚 17.2mm。貫通孔 1	114-8	CO703
5	ボタン状土製品	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	長さ 39.8mm、幅 37.1mm、厚さ 13.7mm。貫通孔 2	114-9	CO2718
6	耳飾	南 2A	D-75 / Ⅵ b	最大径 15.8mm、残存長 18.5mm。キノコ状。貫通孔 1。表面全体に赤彩	114-10	CO3013
7	円盤状土製品	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	長さ 32.6mm、幅 34.0mm、厚さ 6.5mm。平行沈線文。縄文 LR。剥離	114-11	CO580
8	円盤状土製品	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	長さ 37.5mm、幅 36.8mm、厚さ 7.1mm。雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 LR。剥離→一部研磨	114-12	CO2719
9	円盤状土製品	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	長さ 29.5mm、幅 30.7mm、厚さ 5.9mm。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。外面赤～黒色物質付着。剥離→研磨	114-13	CO560
10	円盤状土製品	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1・2	長さ 36.5mm、幅 37.9mm、厚さ 7.5mm。平行沈線文。縄文 RL。剥離→一部研磨	114-14	CO70
11	円盤状土製品	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	長さ 33.7mm、幅 33.1mm、厚さ 7.0mm。剥離→研磨。両面赤～黒色物質付着	114-15	CO86
12	土偶右脚	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	残存長 61.6mm、残存幅 43.0mm、最大厚 41.8mm。中空。腿部に平行沈線文	114-17	CO621
13	動物形土製品（クマ頭）	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	残存長 36.4mm、残存幅 39.5mm、最大厚 27.6mm。中実。頭頂部刻み、盲孔 2（目）、貼瘤＋ヘラによる刺突（鼻）、盲孔 1（口）、左耳に刺突（飾り）。背面：弧状の平行沈線文	114-16	CO162

第137図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（8）



No.	器　種	大別層	区・遺構／層	特　　徴	写真図版	登録
1	土版	南１	D-54 南／Ⅵa	残存長 34.0mm、幅 67.8mm、厚さ 12.2mm。沈線文、刺突＋縦位の沈線文（正中線）。左右対称の半円形平行沈線文。裏面：縦位の平行沈線文、左右対称の半円形の平行沈線文	114-18	CO397
2	土版	南１	D-54 北／Ⅵ	残存長 38.9mm、残存幅 56.8mm、最大厚 13.0mm。両面：円文＋縦位の沈線文（正中線）、櫛歯状刻目、弧状の平行沈線文	114-19	CO652
3	耳飾	南１	D-53 北／Ⅵa	残存長 39.9mm、残存幅 16.6mm、最大厚 3.9mm、外径（5.4cm）。環状	114-20	CO32
4	円盤状土製品	南１	D-53 南／Ⅵa	長さ 38.5mm、幅 31.2mm、厚さ 7.6mm。平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線。剥離→一部研磨	114-21	CO87
5	円盤状土製品	南１	D-53 南／Ⅵa	長さ 44.5mm、幅 39.9mm、厚さ 10.4mm。メガネ状浮文か、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。剥離	114-22	CO102
6	円盤状土製品	南１	D-53 南／Ⅵa	長さ 32.9mm、幅 38.2mm、厚さ 6.8mm。雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。剥離→研磨	114-23	CO104
7	円盤状土製品	南１	D-53 南／Ⅵa	長さ 44.2mm、幅 44.2mm、厚さ 7.7mm。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。剥離→一部研磨	114-24	CO132
8	円盤状土製品	南１	D-57 西／Ⅵa	長さ 35.0mm、幅 36.4mm、厚さ 8.5mm。雲形文（磨り消し縄文）か。縄文 RL。剥離→一部研磨	114-25	CO947
9	円盤状土製品	南１	D-53 南／Ⅵa	長さ 31.9mm、幅 32.9mm、厚さ 5.8mm。平行沈線文。縄文 LR。剥離→研磨	114-26	CO103
10	円盤状土製品	南１	D-54 南／Ⅵa	長さ 21.6mm、幅 21.1mm、厚さ 6.7mm。縄文 RL。剥離→研磨	114-27	CO387

第138図　C丘陵南斜面a包含層　出土土製品（9）

162点、石製品113点ある。層位別の器種および石材組成を第15・17～20表に示した。

南５層群からは44点出土し、石鏃22点（第139図１・２）、楔形石器１点、不定形石器２点、石皿３点、磨石10点、砥石１点（同図３）、剥片18点、石核５点、石棒１点、小玉１点（同図４）がある。石材は珪質頁岩（A類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、碧玉（A・B1類）などが多く見られる。

南３層群からは525点出土し、石鏃11点（第139図５～12）、尖頭器２点、石錐３点（同図13・15・16）、石匙１点（同図14）、石箆２点（同図17）、磨製石斧２点、楔形石器12点（同図18・19、第140図１～３）、不定形石器31点（第140図４～８）、石皿11点（同図９）、磨石70点（同図10・11、第141図１～４）、凹石１点（第141図５）、剥片334点、石核35点、円盤状石製品１点（同図６）、石棒５点、石刀１点（同図８）、岩版１点（同図９）、有孔石製品１点（同図７）、不明石製品1点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、黒曜石、安山岩、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南2B層群からは803点出土し、石鏃11点（第142図１～６）、尖頭器２点（同図７）、石錐８点（同図８～12）、石匙２点（同図13・14）、石箆２点（同図15）、打製石斧１点（第144図１）、磨製石斧12点（第142図16、第143図１～５）、楔形石器18点（第144図２・３）、不定形石器62点（同図４～11）、石皿40点（第145図１・９）、磨石109点（同図２～８・10）、凹石３点、砥石１点、剥片456点、石核

39点、円盤状石製品７点（第146図１～３）、石棒10点（第146図５、第147図１）、石刀16点（第147図２）、線刻礫１点、不明石製品３点（第146図４）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、黒曜石、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南2A層群からは852点出土し、石鏃32点（第148図１～17）、尖頭器４点（同図19・20）、石錐４点（同図18・21・22）、石匙１点（同図23）、石箆２点（第149図１・２）、磨製石斧６点（同図３・４）、楔形石器23点（同図５～９）、不定形石器55点（同図10～12）、石皿32点、磨石99点（第150図１～10）、凹石３点（同図11、第151図１・２）、剥片516点、石核35点、円盤状石製品５点（第151図３～５）、独鈷石１点（同図６）、石棒16点（同図７・８）、石刀15点（同図９）、岩版１点（第152図１）、不明石製品２点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪化木、凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南１層群からは1,011点出土し、石鏃20点（第152図２～９）、尖頭器１点（同図10）、石錐13点（同図11～19）、石匙２点（第153図１・２）、石箆４点（同図３・４）、磨製石斧４点、板状石器１点（同図５）、楔形石器22点（同図６～10）、不定形石器91点（同図11～13、第154図１～10）、石皿20点（第154図11）、磨石72点（第155図１～８）、凹石３点（同図９）、砥石１点（第156図１）、敲石２点（同図２）、剥片683点、石核48点、円盤状石製品２点（同図３・４）、石錘１点（同図７）、石棒４点、石刀８点、異形石器１点（同図６）、岩版１点（同図８）、有孔石製品１点（同図９）、不明石製品６点（同図５）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、黒曜石、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

②遺物包含層東側における石器の層位別出土状況

包含層東側では石器・石製品が1,223点出土している。うち、トゥール321点、剥片794点、石核80点、石製品28点ある。層位別の器種および石材組成を第15・17～20表に示した。

南５層群からは76点出土し、楔形石器２点、不定形石器６点、石皿２点、磨石６点（第157図１）、凹石１点、剥片55点、石核３点、有孔石製品１点（同図２）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、碧玉（A・B1類）などが多く見られる。

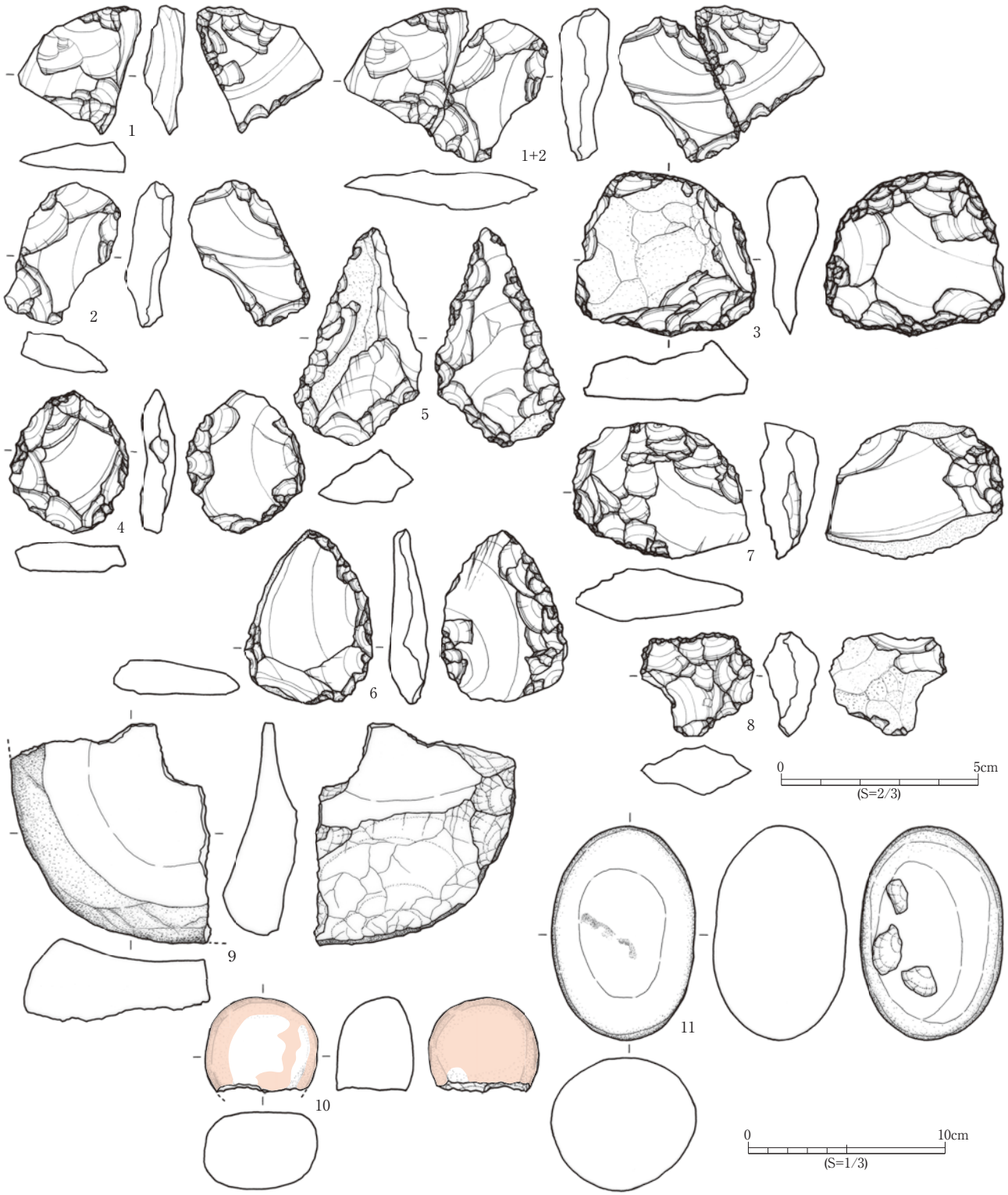
南4B層群からは119点出土し、石鏃１点（第157図３）、尖頭器３点（同図４・５）、楔形石器３点（同図６・７）、不定形石器12点（同図８）、石皿３点（同図９）、磨石９点（同図10）、剥片83点、石核４点、線刻礫１点（同図11）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南4A層群からは５点出土し、石鏃１点（第157図12）、不定形石器１点、石皿１点、剥片２点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）やデイサイト、碧玉（B1類）が見られる。

南３層群からは198点出土し、石鏃２点（第158図１・２）、石錐３点（同図３・４）、石匙１点（同図５）、石箆１点（同図６）、楔形石器３点、不定形石器12点（同図７）、石皿３点（同図８）、磨石24点（同図９）、砥石１点、剥片131点、石核11点、独鈷石１点（第159図１）、石棒２点、イモガイ形石

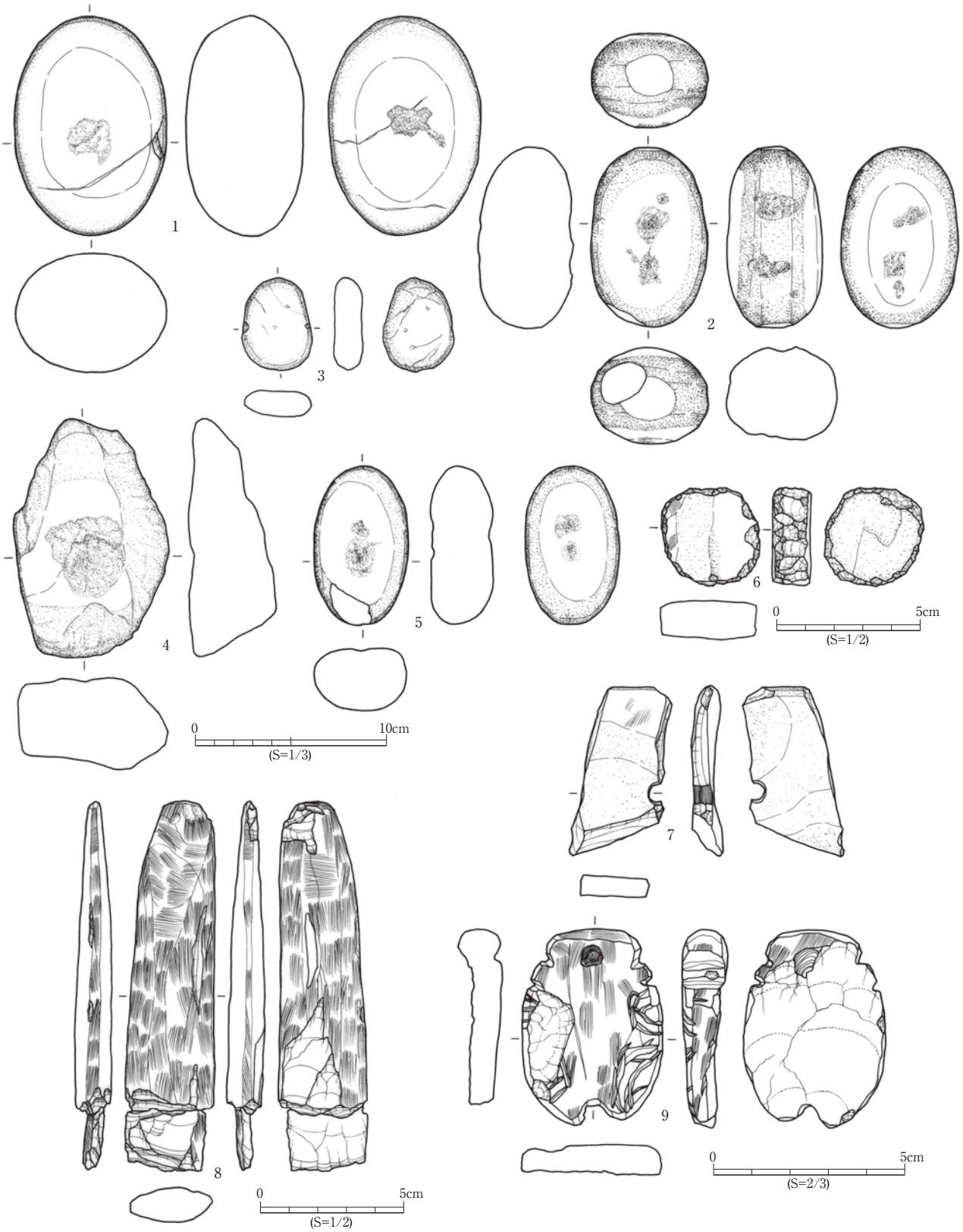
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ a2C	南 5	D-59 / Ⅵ g	珪質頁岩 B	24.5	15.8	3.0	0.69	完形	0	0	0	0	0	4mm 篩	115-1	S13435
2	石鏃	Ⅰ b2A	南 5	D-59 / Ⅵ g	珪質頁岩 B	26.1	10.5	3.5	0.75	完形	0	2	0	0	B	4mm 篩	115-2	S13434
3	砥石	-	南 5	D-59 / Ⅵ f	安山岩	44.1	54.7	50.4	94.22	破片	0	0	0	1	0		115-3	S6215
4	小玉	-	南 5	D-59 / Ⅵ g	珪質凝灰岩 B	9.3	7.2	3.8	0.33	完形	0	0	0	1	0	4mm 篩	115-4	S13441
5	石鏃	Ⅰ a2A	南 3	D-54 南 / Ⅵ d1-2	碧玉 B1	13.5	9.6	2.3	0.31	完形	0	1	0	0	0		115-5	S2689
6	石鏃	Ⅰ a2B	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1-2	珪質凝灰岩 A	19.4	11.9	3.7	0.64	茎欠	0	0	0	0	B		115-6	S0756
7	石鏃	Ⅰ a2B	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1-2	珪質頁岩 A	25.3	12.8	4.2	1.06	茎欠	0	2	0	0	B		115-7	S0755
8	石鏃	Ⅰ a2C	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1	珪質凝灰岩 A	19.1	14.5	3.6	0.54	完形	0	2	0	0	0		115-8	S1917
9	石鏃	Ⅱ A	南 3	D-54 南 / Ⅵ d1-2	珪質凝灰岩 A	23.9	16.6	4.7	1.54	完形	0	0	0	0	B		115-10	S2688
10	石鏃	Ⅱ B	南 3	D-59 / Ⅵ c-e	珪質頁岩 A	23.1	16.6	6.5	1.73	完形	0	2	0	0	0		115-11	S6093
11	石鏃	Ⅱ A	南 3	D-55 東 / Ⅵ c1	碧玉 A	28.6	21.5	6.6	4.28	完形	0	1	0	0	0		115-9	S3207
12	石鏃	Ⅳ aB	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	珪質頁岩 A	24.3	18.2	3.0	0.73	逆刺欠	0	0	0	0	0		115-12	S11819
13	石錐	Ⅱ a2	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1-2	珪質頁岩 A	22.8	18.0	3.8	1.80	完形	0	0	0	0	0		115-13	S1938
14	石匙	Ⅱ b	南 3	D-55 東 / Ⅵ c1	珪質頁岩 A	46.9	60.6	13.3	28.74	刃部欠	0	0	不定形石器→	1	B		115-14	S3209
15	石錐	Ⅱ c2	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	碧玉 C	36.6	23.8	4.7	3.93	完形	0	0	0	0	0	錘部摩滅	115-15	S11837
16	石錐	Ⅱ b2	南 3	D-54 北 / Ⅵ d2	珪質頁岩 A	18.8	12.9	3.7	0.67	完形	1	0	0	0	0		115-16	S2116
17	石箆	Ⅰ a1	南 3	D-53 南 / Ⅵ c2	珪質頁岩 A	62.0	30.5	14.9	25.44	完形	0	0	0	0	0		115-17	S0754
18	楔形石器	Ⅱ bb	南 3	D-59 / Ⅵ c	碧玉 B1	28.6	32.9	10.5	10.03	完形	0	1	0	0	0		115-18	S6082
19	楔形石器	Ⅰ a	南 3	D-68 南 / Ⅵ c	頁岩	17.1	45.6	8.0	6.75	完形	0	0	0	1	0		115-19	S13712

第139図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（1）



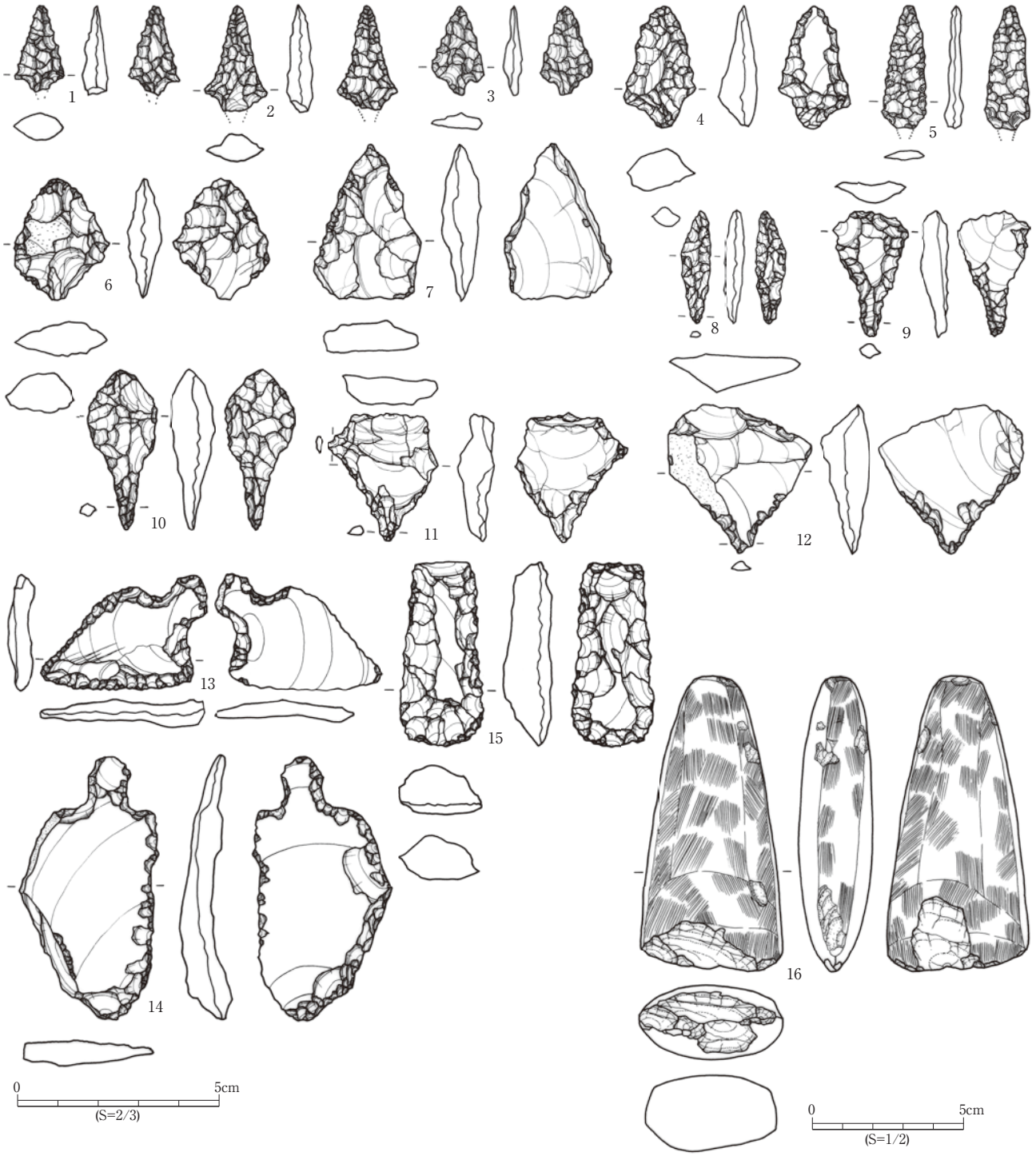
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	楔形石器	Ⅰb	南3	D-68 南 / Ⅵc	碧玉 B2	32.6	31.7	9.2	7.58	一部欠	0	1	0	0	0	12159-60: 接合	115-20	S12159
2	楔形石器	Ⅰb	南3	D-68 南 / Ⅵc	碧玉 B2	36.3	26.4	9.3	7.96	一部欠	0	1	0	0	0	12159-60: 接合	115-21	S12160
3	楔形石器	Ⅱaa	南3	D-53 北 / Ⅵc	珪質頁岩 B	40.1	46.5	15.1	32.16	完形	0	0	0	1	0		115-22	S0086
4	不定形石器	Ⅰ	南3	D-53 南 / Ⅵc1-2	珪質頁岩 A	36.1	29.9	7.2	9.61	完形	0	0	0	0	0		115-23	S0758
5	不定形石器	Ⅰ	南3	D-68 北 / Ⅵc	玉髄	55.4	32.8	13.3	18.39	完形	0	0	0	1	0		115-24	S11823
6	不定形石器	Ⅰ	南3	D-53 南 / Ⅵc1-2	珪質頁岩 A	44.1	32.1	8.1	12.40	完形	0	0	0	1	0		115-25	S0808
7	不定形石器	Ⅲd	南3	D-53 南 / Ⅵc2	頁岩	34.8	45.2	13.3	21.03	完形	0	0	0	1	0		115-26	S0752
8	不定形石器	Ⅱc	南3	D-53 南 / Ⅵc1-2	黒曜石	25.6	28.9	13.0	7.45	完形	0	0	0	1	0		115-27	S0807
9	石皿	-	南3	D-54 北 / Ⅵd1	安山岩	107.0	95.0	41.0	405.90	破片	0	0	0	1	0		115-28	S1919
10	磨石	-	南3	D-53 北 / Ⅵc	安山岩質凝灰岩	47.1	56.2	38.3	144.59	一部欠	0	0	0	1	R		115-29	S0081
11	磨石	-	南3	D-68 北 / Ⅵc	安山岩	107.1	72.6	65.0	728.00	完形	0	0	0	1	0		116-1	S11909

第140図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（2）



No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨石	-	南 3	D-68 北 / Ⅵ c	安山岩	113.0	79.5	61.3	638.00	完形	0	0	敲石→	1	0		116-2	S11908
2	磨石	-	南 3	D-54 南 / Ⅵ d1-2	安山岩	94.7	62.0	50.1	464.00	完形	0	0	凹石→	1	0		116-3	S2693
3	磨石	-	南 3	D-54 北 / Ⅵ d1-2	安山岩	47.8	36.4	16.0	46.38	完形	0	0	0	1	0	磨石か？	116-4	S1949
4	磨石	-	南 3	D-59 / Ⅵ b-c	安山岩	125.9	80.0	50.7	589.76	完形	0	0	凹石→	1	0		116-5	S6080
5	凹石	-	南 3	D-53 南 / Ⅵ c2	凝灰岩	85.5	50.4	34.5	159.30	完形	0	0	磨石→	1	0		116-6	S0753
6	円盤状石製品	Ⅰ a	南 3	D-54 北 / Ⅵ d2	凝灰質安山岩	33.5	33.3	13.2	25.29	完形	0	0	0	1	0		116-7	S2119
7	有孔石製品	-	南 3	D-59 / Ⅵ c	凝灰岩	44.5	23.0	7.2	5.24	破片	0	0	0	1	0		116-8	S6084
8	石刀	-	南 3	D-55 東 / Ⅵ c1	粘板岩	128.9	30.7	12.1	57.15	頭部	1	0	0	0	0		116-9	S3215
9	岩版	-	南 3	D-53 南 / Ⅵ c1-2	凝灰岩	50.5	36.3	11.3	10.65	一部欠	0	0	0	0	0		116-10	S0764

第141図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（3）

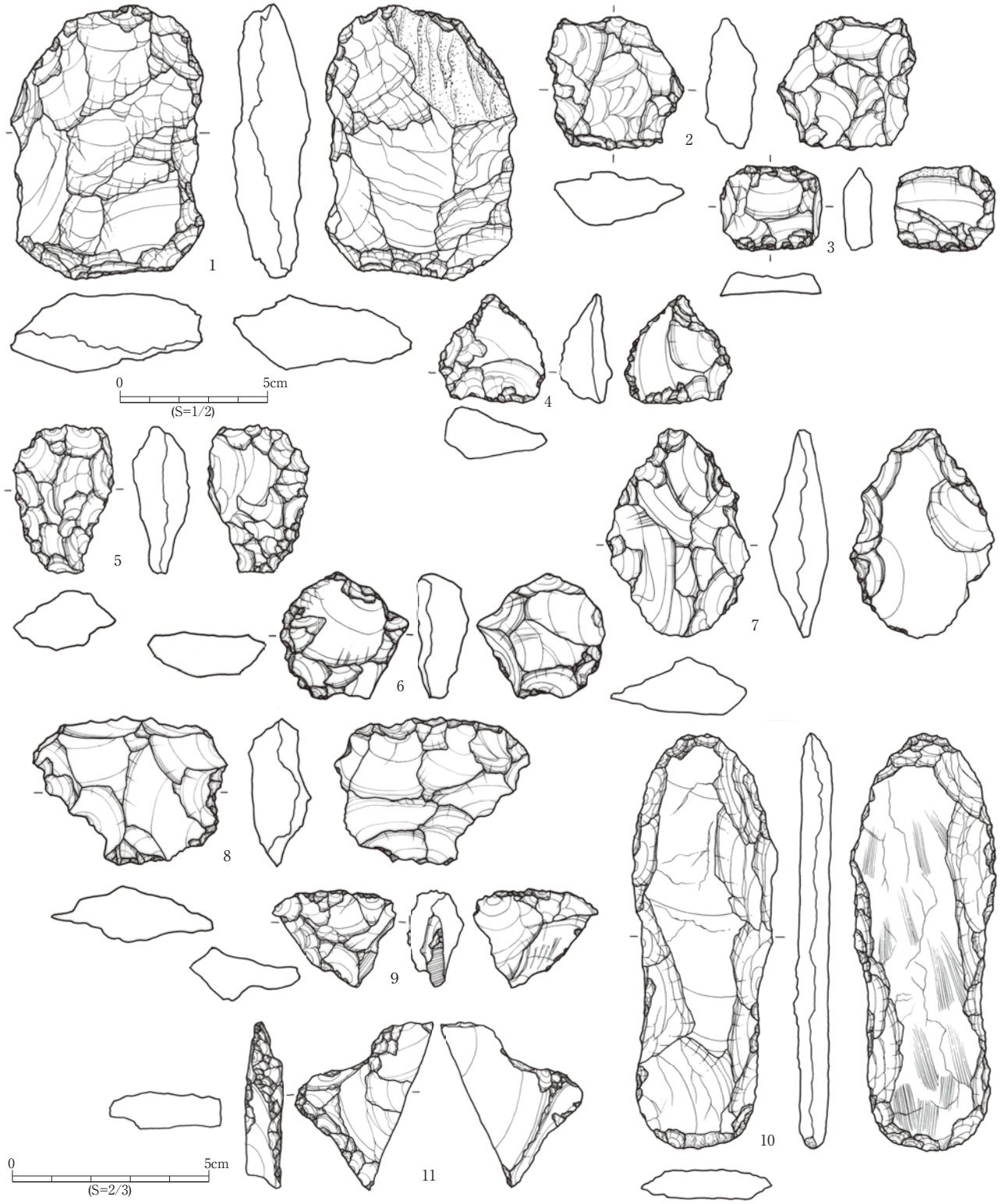


No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ a2B	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	珪質頁岩 A	21.9	12.0	6.0	1.11	茎欠	0	1	0	0	0		116-11	S1657
2	石鏃	Ⅰ a2C	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-2	玉髄	25.6	15.0	6.4	1.51	茎欠	0	2	0	0	0		116-12	S1769
3	石鏃	Ⅰ a2B	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-2	碧玉 B1	21.6	12.6	3.8	0.66	茎欠	0	0	0	0	0		116-13	S1770
4	石鏃	Ⅰ a2B	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	碧玉 A	29.3	16.7	9.0	3.41	完形	0	0	0	0	0		116-14	S5808
5	石鏃	Ⅰ a2A	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	碧玉 B1	30.4	10.7	3.2	1.05	尖頭部・茎欠	0	2	0	0	B		116-15	S13871
6	石鏃	Ⅰ b2A	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c2-3	珪質頁岩 A	29.9	23.3	7.7	4.11	完形	0	0	0	1	0		116-16	S2683
7	尖頭器	Ⅲ B	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	珪質頁岩 A	38.4	26.4	9.2	7.46	完形	0	0	0	0	0		116-17	S5813
8	石錐	Ⅰ a	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	珪質頁岩 A	27.6	7.0	5.0	0.94	完形	0	2	0	0	0		116-18	S13872
9	石錐	Ⅱ a1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-2	珪質頁岩 A	30.6	18.0	6.2	2.63	完形	0	1	0	1	0		116-19	S1771
10	石錐	Ⅱ a1	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	珪質凝灰岩 A	39.5	17.1	10.2	4.75	完形	0	0	0	0	0		116-20	S1880
11	石錐	Ⅱ b2	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	碧玉 C	31.6	27.1	6.9	4.95	完形	0	1	0	0	0	錐部 2 箇所	116-21	S12025
12	石錐	Ⅱ c1	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	碧玉 B1	32.7	31.9	11.9	10.86	完形	0	0	0	1	0		116-22	S2608
13	石匙	Ⅱ b	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	珪質頁岩 A	44.3	26.3	5.1	4.63	完形	0	0	刃部再	1	0		116-23	S5880
14	石匙	Ⅰ a2	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	65.1	34.2	9.3	15.86	完形	0	0	0	1	0		116-24	S11671
15	石篦	Ⅰ a1	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	珪質頁岩 A	45.1	20.5	11.5	11.71	完形	0	0	基部再	0	0		116-25	S5810
16	磨製石斧	Ⅰ a2	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	砂岩	98.7	46.9	24.2	171.00	刃部欠	0	0	0	0	0		116-26	S11803

第142図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（4）

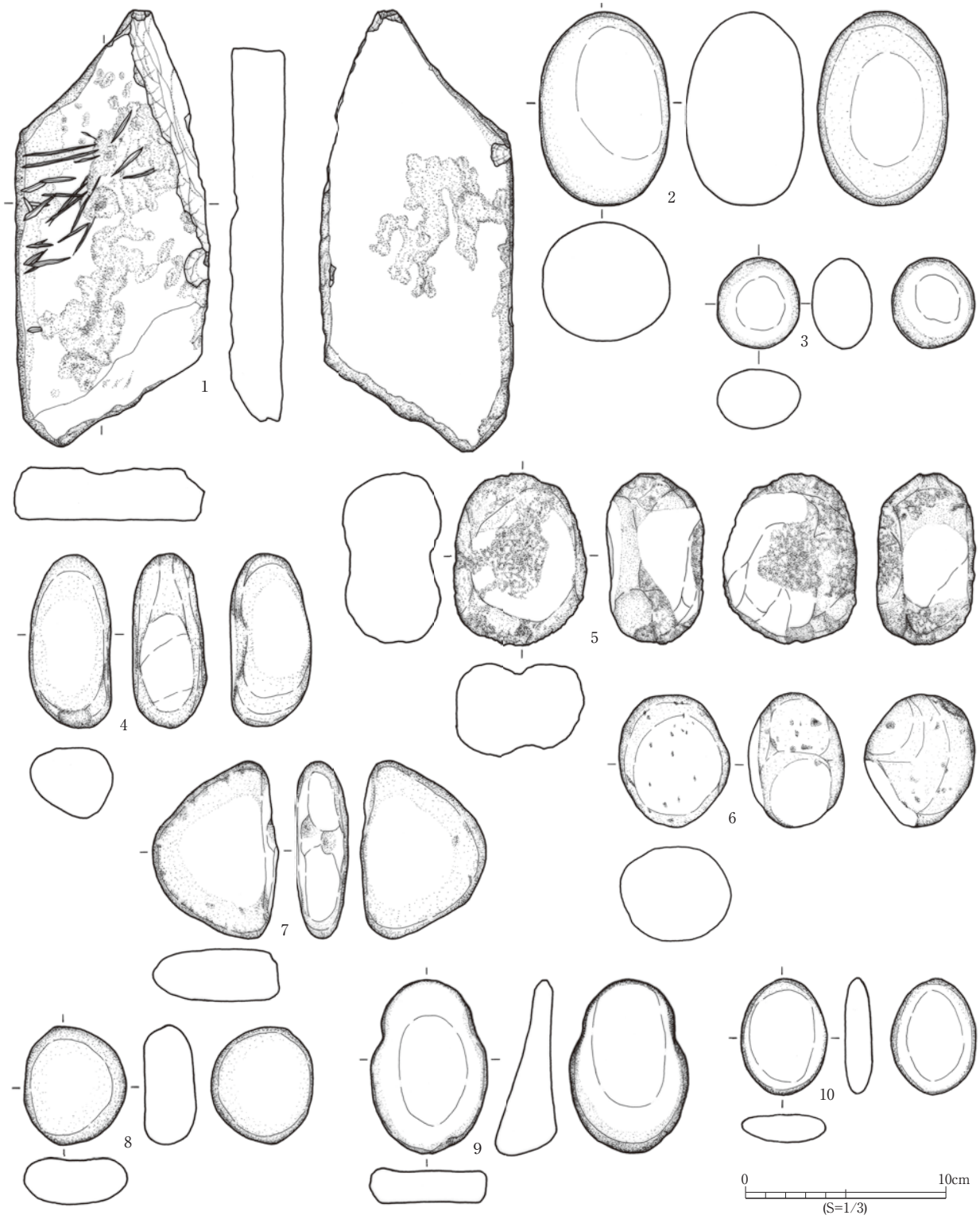
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨製石斧	Ⅱ	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-d2	安山岩	216.7	84.8	40.7	931.00	完形	0	0	0	1	0		117-1	S2656
2	磨製石斧	Ⅲ	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	安山岩	41.8	28.5	12.4	20.99	基部欠	0	0	0	0	0		117-2	S11804
3	磨製石斧	Ⅰ a2	南 2B	D-79 / Ⅵ b	安山岩	91.8	44.8	26.7	169.49	刃部欠	0	0	0	0	0		117-3	S13144
4	磨製石斧	Ⅰ b2	南 2B	D-79 / Ⅵ b	安山岩	103.0	47.8	29.5	232.59	完形	0	0	0	0	0		117-4	S13143
5	磨製石斧	Ⅰ	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	礫質砂岩	83.6	44.1	26.9	159.16	基部欠	0	0	刃部再	0	0		117-5	S2584

第143図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（5）



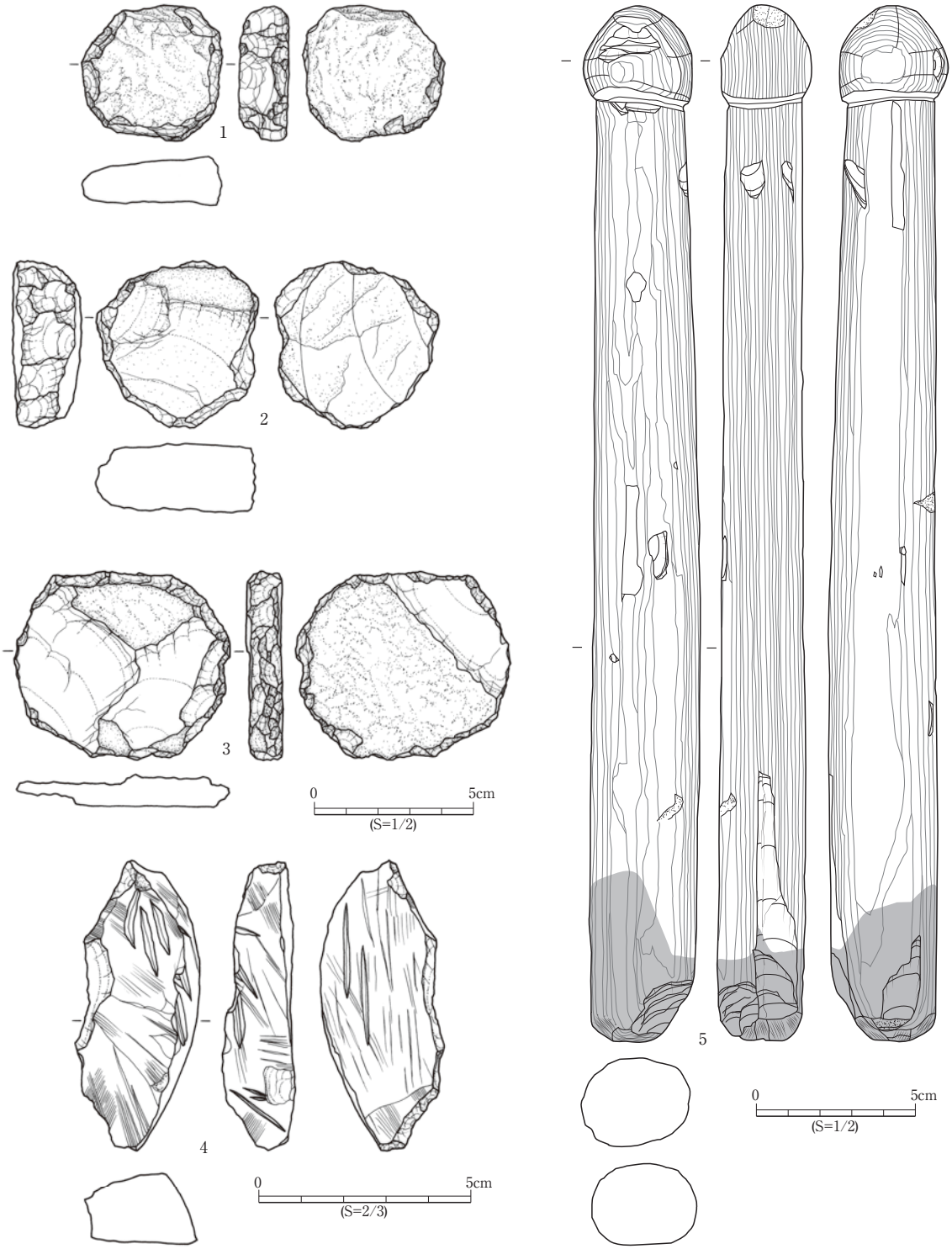
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	打製石斧	-	南 2B	D-68 北 / Ⅵ b	粘板岩	89.5	63.4	25.0	136.64	完形	0	0	0	1	0		117-6	S11813
2	楔形石器	Ⅱ aa	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	碧玉 A	34.6	35.6	16.2	15.31	完形	0	1	0	1	0		117-7	S1659
3	楔形石器	Ⅰ a	南 2B	D-59 / Ⅵ a-e	珪質頁岩 B	21.2	25.6	7.5	5.50	完形	0	0	0	1	0		117-8	S5679
4	不定形石器	Ⅰ	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	26.9	25.2	12.1	6.33	完形	0	0	0	1	0		117-9	S12020
5	不定形石器	Ⅱ a	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	碧玉 A	37.8	25.6	13.4	11.31	完形	0	0	0	0	0		117-10	S5882
6	不定形石器	Ⅱ a	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c2-3	黒曜石	30.8	29.4	11.0	11.48	完形	0	0	0	0	0		117-11	S2686
7	不定形石器	Ⅰ	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	珪質頁岩 A	52.6	36.4	14.1	22.10	完形	0	0	0	0	0		117-12	S1881
8	不定形石器	Ⅱ b	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	36.4	49.9	14.6	19.44	完形	0	0	0	0	0		117-13	S3123
9	不定形石器	Ⅱ c	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	珪質頁岩 A	24.2	32.1	11.9	6.46	完形	0	0	0	0	0		117-14	S5928
10	不定形石器	Ⅲ c	南 2B	D-68 南 / Ⅵ b	粘板岩	105.1	37.2	7.4	34.59	完形	0	0	不明石製品→	1	0		118-1	S12139
11	不定形石器	Ⅲ b	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-3	珪質頁岩 A	41.4	37.4	9.1	9.50	一部欠	0	0	0	0	0		118-3	S2594

第144図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（6）



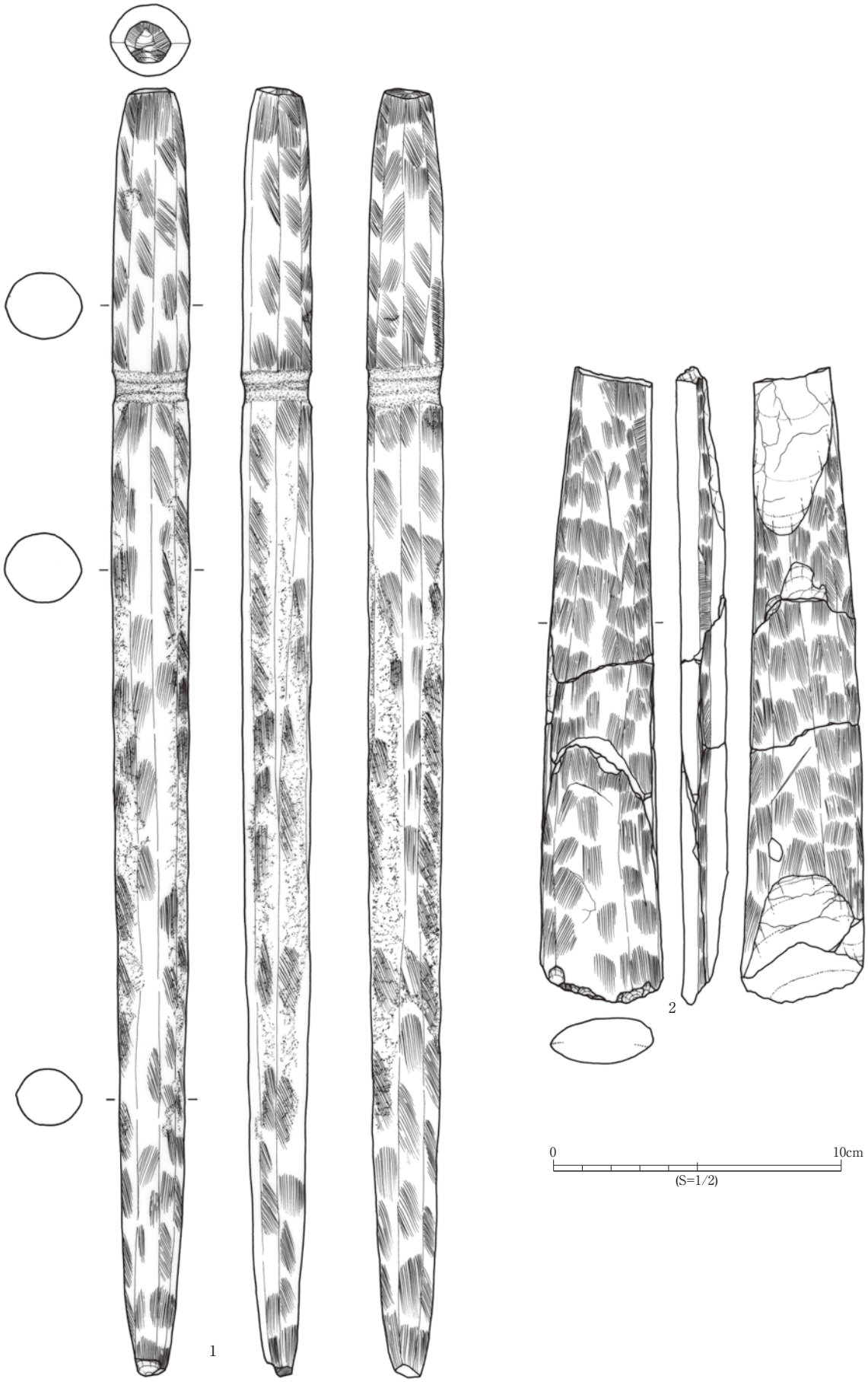
No.	器種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石皿	-	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	粘板岩	199.0	97.6	27.0	885.00	一部欠	0	0	0	1	0	凹痕あり	118-2	S5879
2	磨石	-	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	安山岩	96.4	65.1	58.0	519.94	完形	0	0	0	1	0		118-4	S5878
3	磨石	-	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-e	安山岩	45.0	40.7	30.1	82.41	完形	0	0	0	1	0		118-9	S5686
4	磨石	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1-d2	凝灰岩	87.5	40.2	37.2	108.75	完形	0	0	0	1	0		118-5	S1867
5	磨石	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c2	流紋岩（真珠岩）	87.1	67.4	48.1	402.56	完形	0	0	凹石→	1	0		118-6	S1887
6	磨石	-	南 2B	D-79 / Ⅵ b	凝灰岩	65.8	54.2	48.0	103.97	完形	0	0	0	1	0		118-7	S13142
7	磨石	-	南 2B	D-54 南 / Ⅵ c1-d2	安山岩	88.6	62.8	25.7	167.55	完形	0	0	0	1	0		118-8	S2660
8	磨石	-	南 2B	D-59 / Ⅵ a1-2	デイサイト	57.6	49.6	22.3	89.40	完形	0	0	0	1	0		118-10	S5818
9	石皿	-	南 2B	D-79 / Ⅵ b	凝灰岩	87.9	58.5	27.5	88.44	完形	0	0	0	1	0		118-11	S13145
10	磨石	-	南 2B	D-59 / Ⅵ a2	安山岩	57.2	41.9	12.5	41.81	完形	0	0	0	1	0		118-12	S5900

第145図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（7）



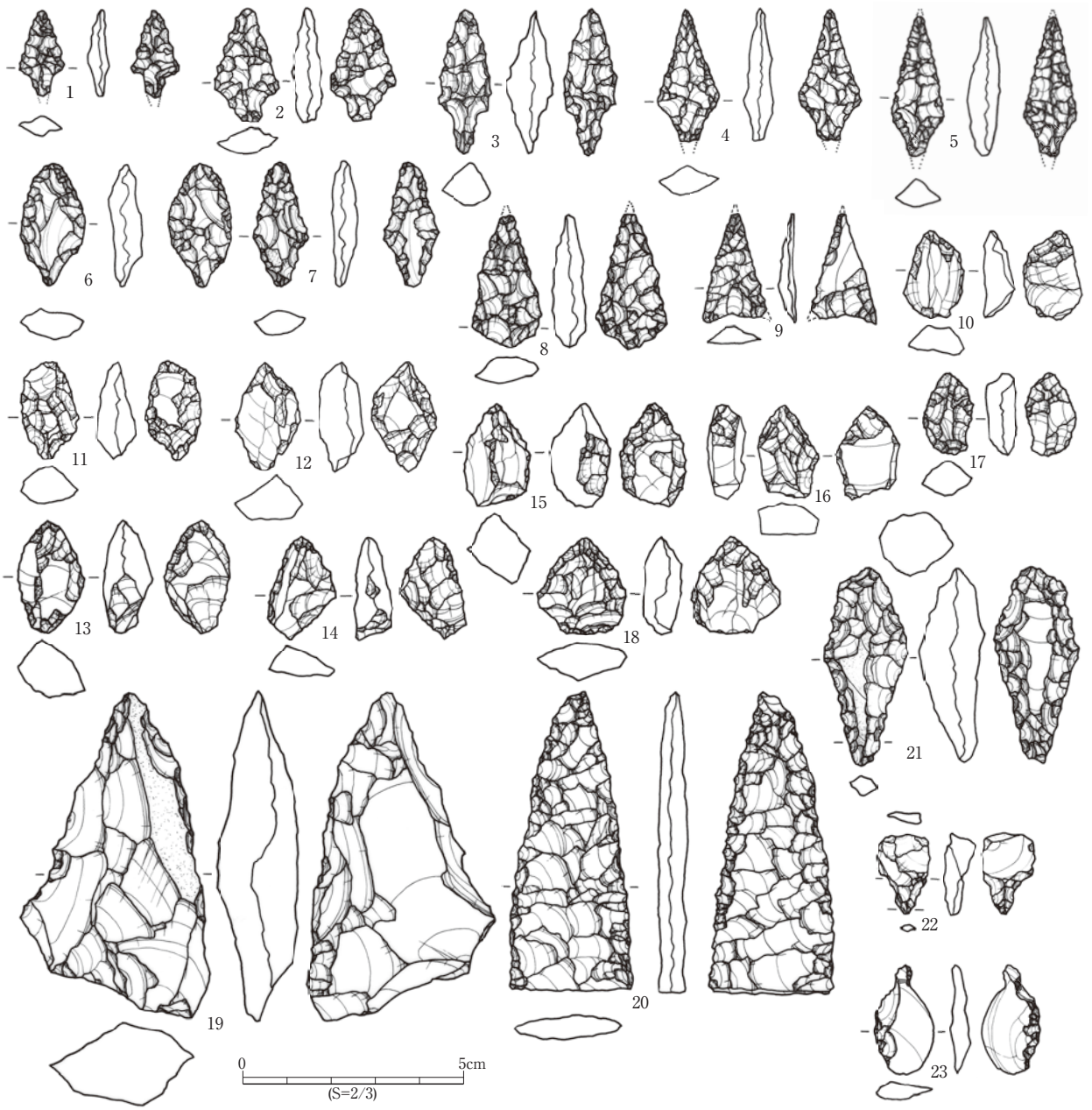
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	円盤状石製品	Ⅰa	南 2B	D-59 / Ⅵa2	安山岩	41.5	43.6	15.4	41.07	完形	0	0	0	1	0		118-13	S5889
2	円盤状石製品	Ⅰa	南 2B	D-78 拡張 / Ⅵa	安山岩質凝灰岩	51.7	50.8	21.4	76.92	完形	0	0	0	1	0		118-14	S13086
3	円盤状石製品	Ⅱ	南 2B	D-54 南 / Ⅵc1-d2	凝灰岩	58.2	67.4	10.1	36.64	一部欠	0	0	0	1	0		118-15	S2666
4	不明石製品	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵc1	安山岩	27.8	68.5	17.1	21.40	一部欠	0	0	0	0	0		118-16	S1672
5	石棒	-	南 2B	D-59 / Ⅵa1-2	珪化木	326.7	34.4	27.2	383.67	完形	0	0	0	0	0		119-2	S5829

第146図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（8）



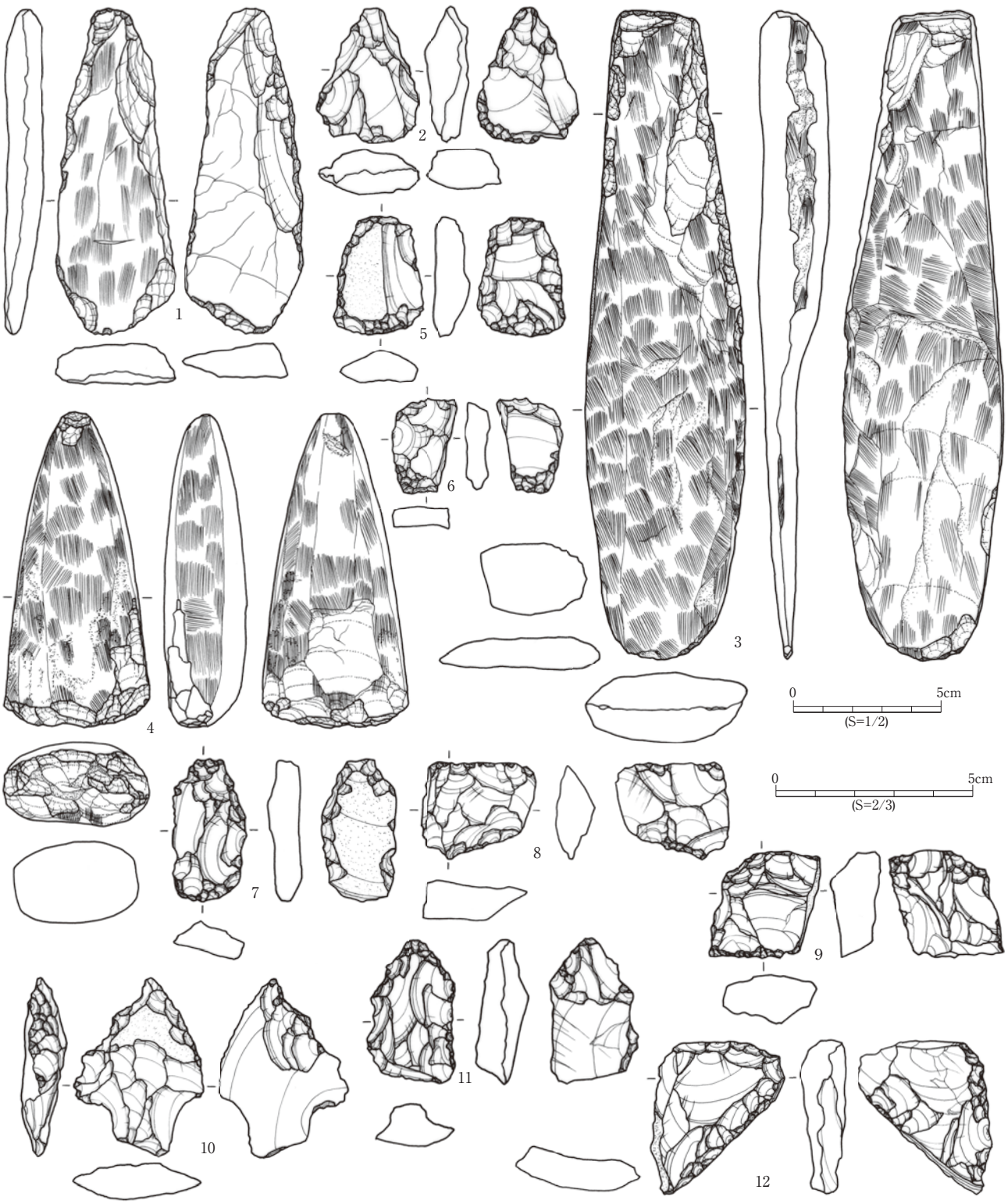
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石棒	-	南 2B	D-54 北 / Ⅵ c1	粘板岩	447.6	26.5	23.5	469.30	完形	0	0	0	0	0		119-1	S1670
2	石刀	-	南 2B	D-55 東 / Ⅵ b	粘板岩	221.3	42.0	15.6	194.13	一部欠	0	0	0	0	0		119-3	S3137

第147図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（9）



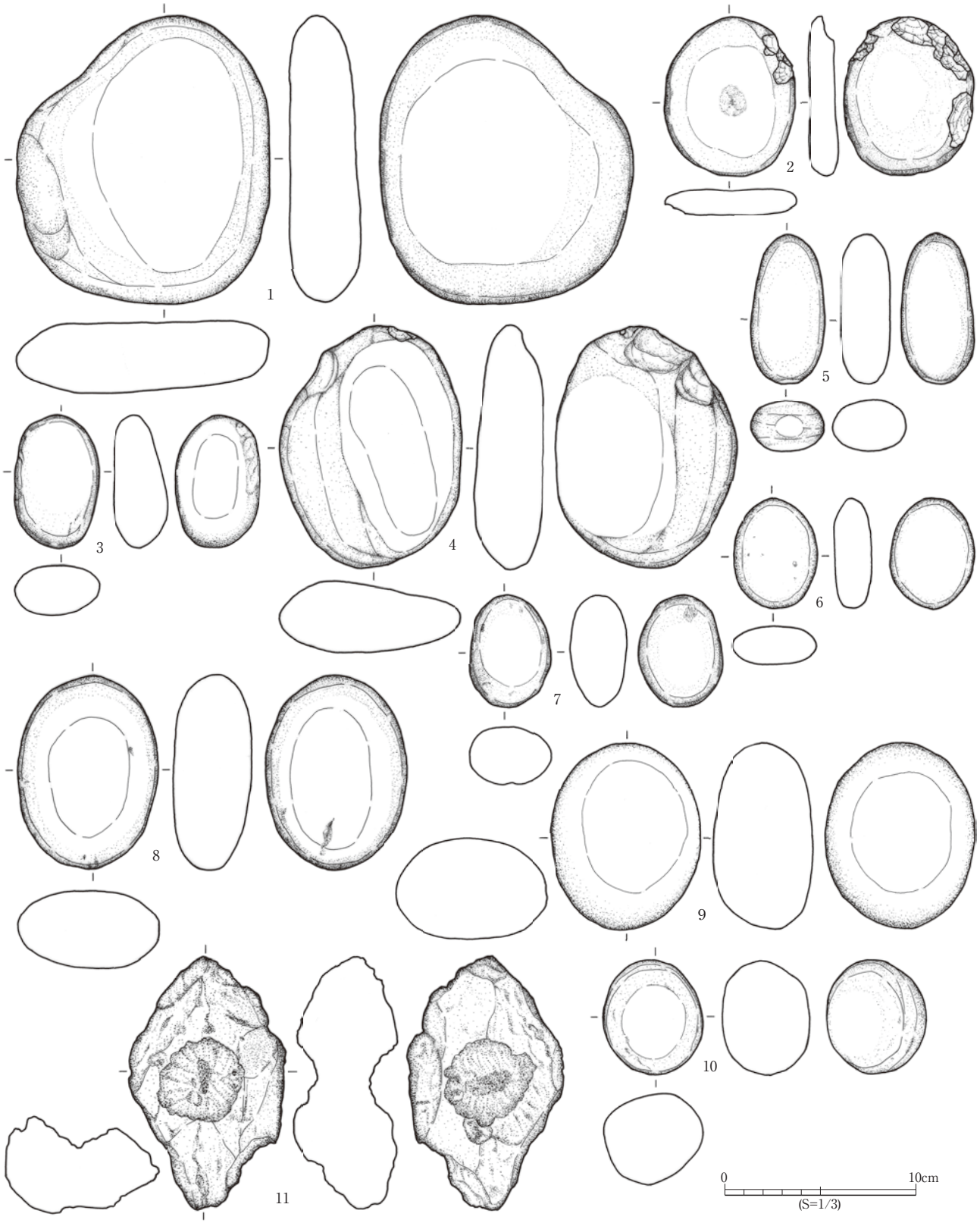
No.	器種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	玉髄	18.6	10.1	4.0	0.53	尖頭部欠	0	2	0	0	0		119-4	S1444
2	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-68 南 / Ⅵ a-b	珪質頁岩 A	25.6	14.0	6.2	1.75	尖頭部欠	0	0	0	0	0		119-5	S13693
3	石鏃	Ⅰ a2A	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	31.6	11.2	10.0	2.18	完形	0	0	0	0	0		119-6	S1443
4	石鏃	Ⅰ a2C	南 2A	D-79 / Ⅵ	流紋岩	29.8	13.7	6.3	1.56	完形	0	0	0	0	0		119-7	S13120
5	石鏃	Ⅰ b2B	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	碧玉 B1	30.9	11.7	6.5	1.78	茎欠	0	2	0	0	B		119-8	S3326
6	石鏃	Ⅰ b2A	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	27.4	14.4	6.4	2.43	完形	0	0	0	0	0		119-9	S11556
7	石鏃	Ⅰ b2B	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	碧玉 A	27.7	12.0	5.2	1.44	完形	0	2	0	1	0		119-10	S11561
8	石鏃	Ⅰ c1B	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	碧玉 B1	29.5	15.4	6.9	2.98	尖頭部欠	0	1	0	0	0		119-11	S0748
9	石鏃	Ⅳ bB	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	珪質凝灰岩 A	23.7	14.2	3.5	0.82	尖頭部・逆刺欠	0	1	0	0	0		119-12	S0747
10	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	12.3	19.0	16.2	1.53	完形	0	0	0	0	0		119-13	S0679
11	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	21.7	12.6	8.8	2.05	完形	0	0	0	0	0		119-14	S0634
12	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	24.1	14.5	9.5	2.89	完形	0	0	0	0	0		119-15	S0674
13	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	24.8	13.7	10.1	3.74	完形	0	0	0	0	0		119-16	S0669
14	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	22.0	13.1	7.2	2.41	完形	0	0	0	0	0		119-17	S0672
15	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	22.8	14.1	10.6	3.97	完形	0	0	0	0	0		119-20	S0630
16	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	10.5	13.8	7.4	2.52	完形	0	0	0	0	0		119-19	S0682
17	石鏃	Ⅴ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	18.3	10.7	6.8	1.52	完形	0	0	0	0	0		119-21	S0665
18	石錐	Ⅱ b2	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	玉髄	21.7	20.0	8.3	3.65	基部欠	0	0	0	0	0		119-18	S0629
19	尖頭器	Ⅳ	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	珪質頁岩 A	75.1	42.9	18.5	39.19	完形	0	0	0	1	0		119-22	S0602
20	尖頭器	-	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	67.8	27.5	5.4	10.99	基部欠	0	0	0	0	0		119-23	S3327
21	石錐	Ⅰ b	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	碧玉 A	43.1	18.6	12.8	9.52	錐部欠	0	1	0	1	0		120-1	S2373
22	石錐	Ⅱ a1	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	17.8	11.8	5.2	0.98	完形	0	0	0	1	0	摩滅	120-2	S11614
23	石匙	Ⅰ a2	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	碧玉 B1	24.3	13.4	3.4	0.88	完形	0	1	0	0	B		120-3	S2959

第148図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（10）



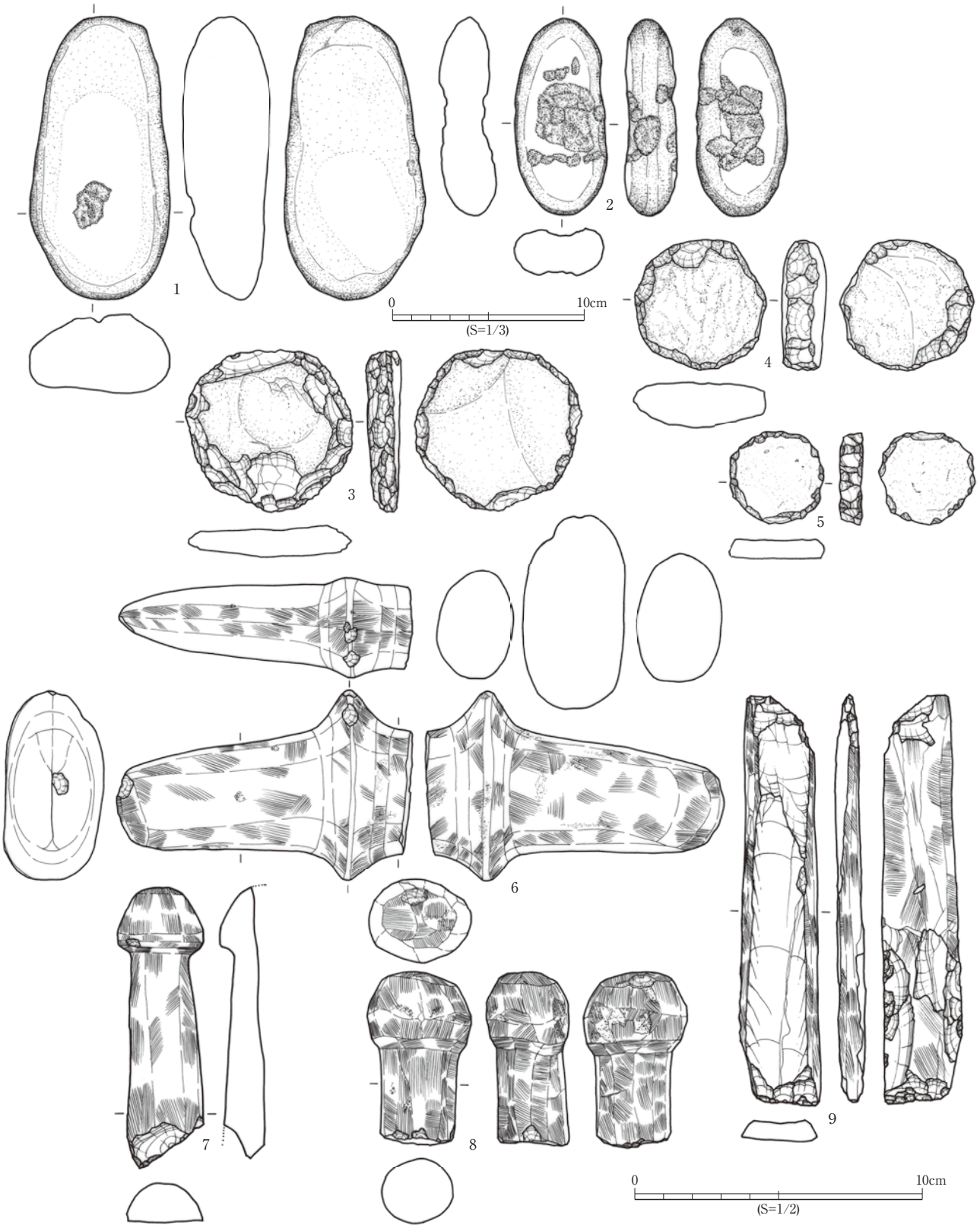
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石箆	Ⅱ	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	粘板岩	82.0	30.0	8.7	21.42	完形	0	0	石刀→	1	0	全体摩滅	120-4	S13836
2	石箆	Ⅰ a2	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 B	34.2	26.1	10.1	7.44	完形	0	0	0	0	0		120-5	S11742
3	磨製石斧	Ⅰ b2	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	粘板岩	221.0	54.8	22.7	268.01	完形	0	0	0	1	0		120-6	S2962
4	磨製石斧	Ⅰ a1	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	凝灰質砂岩	106.9	49.0	27.5	211.70	完形	0	0	刃部再	0	0		120-7	S0603
5	楔形石器	Ⅱ aa	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	碧玉 A	29.6	21.9	9.2	6.88	完形	0	0	0	0	0		120-8	S3329
6	楔形石器	Ⅰ b	南 2A	D-68 北 / Ⅵ a	碧玉 D	25.6	15.7	6.6	3.15	完形	0	1	0	0	0		120-9	S11651
7	楔形石器	Ⅰ b	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	35.4	19.0	8.6	6.34	完形	0	0	0	1	0		120-10	S3373
8	楔形石器	Ⅰ a	南 2A	D-54 南 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	24.5	29.1	10.1	6.55	完形	0	0	0	0	0		120-11	S2461
9	楔形石器	Ⅰ b	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	27.5	25.6	12.8	8.64	完形	0	0	0	1	0		120-12	S3007
10	不定形石器	Ⅰ	南 2A	D-55 東 / Ⅵ	頁岩	44.8	32.9	10.2	12.11	完形	0	0	0	1	0		120-13	S2900
11	不定形石器	Ⅱ a	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	珪質頁岩 A	22.3	35.4	11.2	8.22	完形	0	0	0	0	0		120-14	S0627
12	不定形石器	Ⅲ c	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	36.8	35.4	8.5	11.95	完形	0	0	0	1	0		120-15	S1594

第149図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（11）



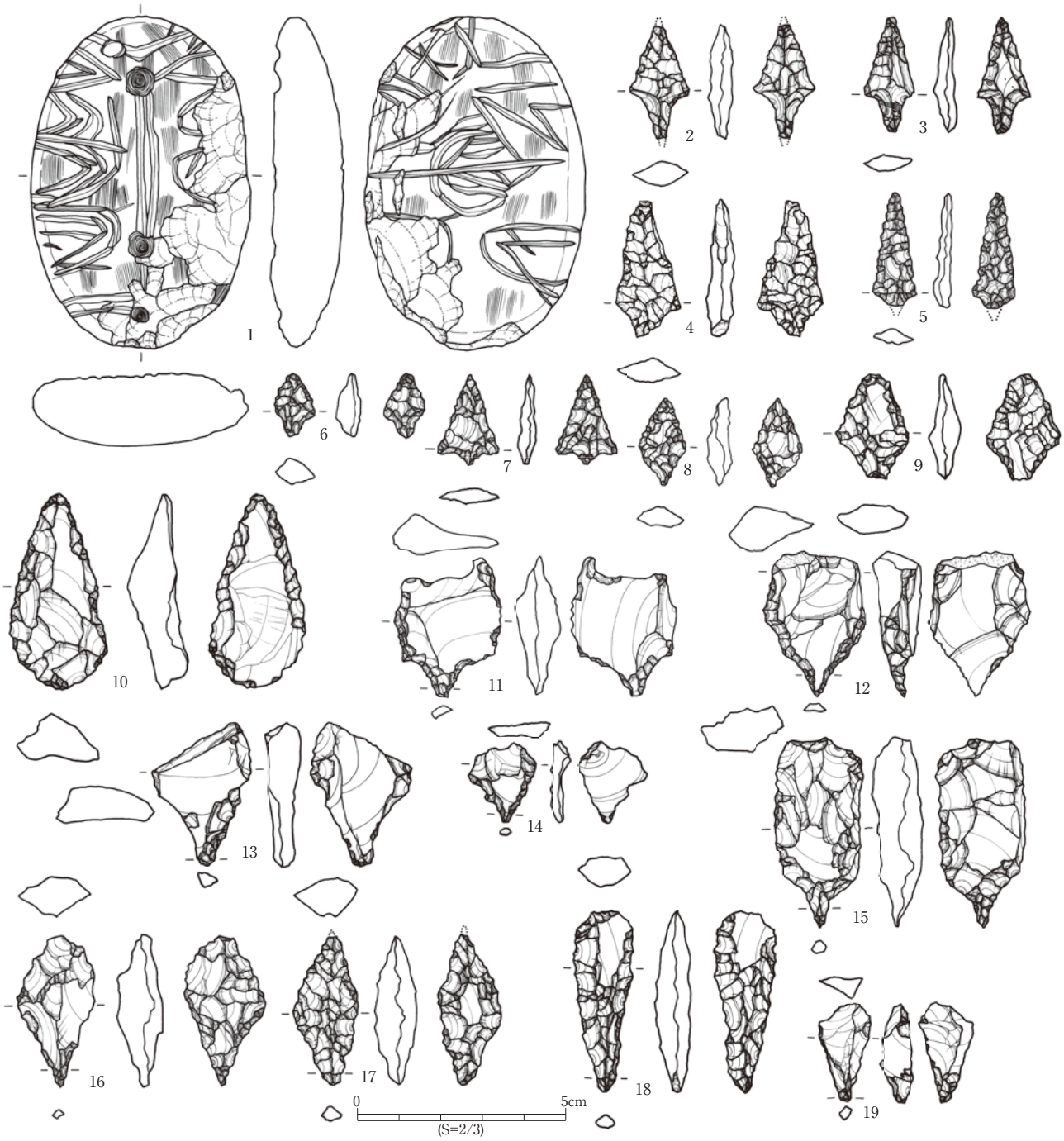
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨石	-	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	安山岩	150.5	133.3	38.3	1,260.00	完形	0	0	0	1	0		120-16	S0607
2	磨石	-	南 2A	D-54 / Ⅵ b	安山岩質凝灰岩	83.0	68.0	13.7	115.47	一部欠	0	0	凹石→	1	0		120-17	S2803
3	磨石	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	安山岩	70.0	43.7	28.8	113.04	完形	0	0	0	1	0		120-18	S2968
4	磨石	-	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1-2	安山岩	127.4	95.4	37.6	557.34	完形	0	0	0	1	0		120-19	S0625
5	磨石	-	南 2A	D-53 南 / Ⅵ b1	安山岩質凝灰岩	77.8	38.5	26.2	74.40	完形	0	0	0	1	0		121-1	S0608
6	磨石	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	安山岩	57.4	43.3	19.3	79.37	完形	0	0	0	1	0		121-2	S2966
7	磨石	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	安山岩	59.0	43.3	30.5	70.44	完形	0	0	0	1	0		121-3	S2979
8	磨石	-	南 2A	D-79 / Ⅵ	安山岩	101.0	74.0	41.3	518.80	完形	0	0	0	1	0		121-4	S13124
9	磨石	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ	安山岩	96.4	78.7	50.7	488.02	完形	0	0	0	1	0		121-5	S2901
10	磨石	-	南 2A	D-55 西 / Ⅵ a	安山岩	59.2	52.1	46.0	186.31	完形	0	0	0	0	0		121-7	S3331
11	凹石	-	南 2A	D-55 東 / Ⅵ a	軽石	132.0	80.0	52.0	164.18	一部欠	0	0	0	1	0		121-6	S3093

第150図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（12）



No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	凹石	-	南 2A	D-55 拡張 / Ⅵa	安山岩	148.0	74.0	45.5	616.00	完形	0	0	磨石→	1	0		121-8	S3552
2	凹石	-	南 2A	D-55 / Ⅵa	凝灰岩	102.4	46.7	25.0	86.04	完形	0	0	磨石→	1	0		121-9	S3516
3	円盤状石製品	Ⅱ	南 2A	D-55 東 / Ⅵa	安山岩	56.5	55.5	10.6	43.37	完形	0	0	0	1	0		121-10	S2961
4	円盤状石製品	Ⅰa	南 2A	D-55 東 / Ⅵ	安山岩質凝灰岩	44.0	44.5	15.1	43.36	完形	0	0	0	1	0		121-12	S2905
5	円盤状石製品	Ⅰa	南 2A	D-68 北 / Ⅵa	安山岩	30.8	32.7	7.2	12.95	完形	0	0	0	1	0		121-11	S11656
6	独鈷石	-	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	安山岩	65.9	103.5	34.1	236.14	一部欠	0	0	0	0	0		121-13	S3350
7	石棒	-	南 2A	D-54 北 / Ⅵb	粘板岩	97.9	30.7	13.4	43.61	破片	0	0	0	0	0		121-14	S1470
8	石棒	-	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	粘板岩	57.7	35.8	27.8	80.12	頭部	0	0	0	0	0		121-15	S3345
9	石刀	-	南 2A	D-55 西 / Ⅵa	粘板岩	140.9	27.3	8.9	48.58	一部欠	0	0	石棒→	0	0		121-16	S3348

第151図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（13）

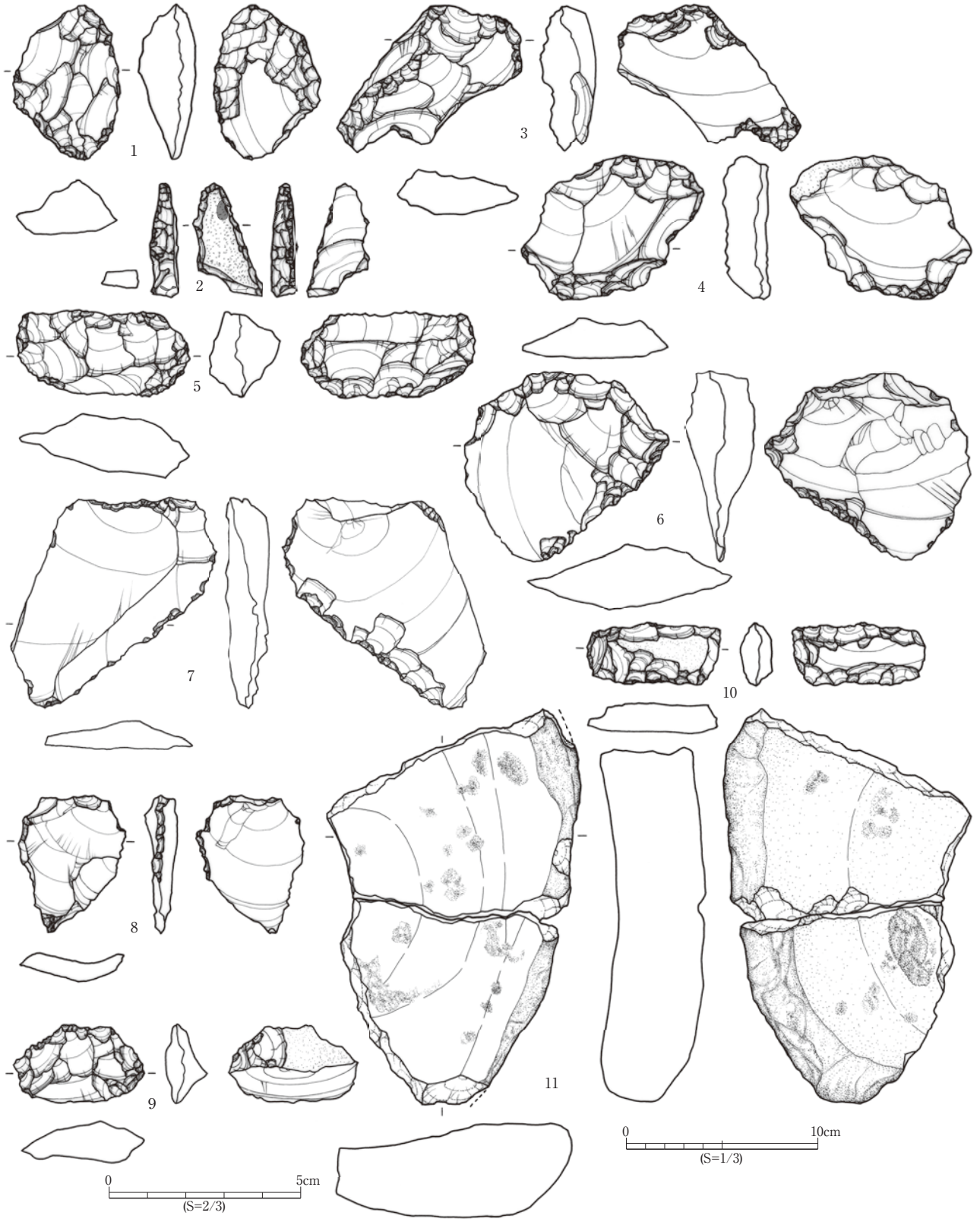


No.	器種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	岩版	-	南 2A	D-54 北 / Ⅵ b	凝灰岩	79.4	52.4	16.7	56.01	一部欠	0	0	0	0	0		121-17	S1471
2	石鏃	Ⅰ a2C	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	26.6	14.3	5.6	1.36	尖頭部欠	0	0	0	0	0		122-1	S0532
3	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 B1	27.0	12.0	4.2	0.91	完形	0	0	0	0	B		122-2	S1388
4	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-53 北 / Ⅵ	珪質頁岩 A	31.8	15.4	5.5	1.97	尖頭部・茎欠	0	0	0	0	B	衝撃剥離	122-3	S0007
5	石鏃	Ⅰ a2C	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	玉髄	27.2	9.9	2.9	0.58	茎欠	0	2	0	0	0		122-4	S0530
6	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	14.9	9.4	5.4	0.43	完形	0	2	0	0	0		122-5	S1389
7	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	20.7	15.2	2.9	0.65	完形	0	2	0	0	0		122-6	S0938
8	石鏃	Ⅰ b2B	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 B2	21.0	11.4	5.7	1.07	完形	0	1	0	0	0		122-7	S1387
9	石鏃	Ⅰ b2B	南 1	D-53 北 / Ⅵ	珪質頁岩 A	24.6	16.9	5.9	1.95	尖頭部欠	0	1	0	0	0		122-8	S0006
10	尖頭器	Ⅳ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	46.2	23.3	10.6	9.23	完形	0	0	0	0	0		122-9	S1393
11	石錐	Ⅱ a2	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	凝灰岩	31.9	25.3	9.8	4.70	完形	0	0	0	0	0	基部にノッチ状の加工	122-10	S0055
12	石錐	Ⅱ a2	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	33.6	23.9	10.2	7.46	完形	0	0	0	0	0		122-11	S0534
13	石錐	Ⅱ c2	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	34.3	23.1	7.4	4.72	完形	0	0	0	0	0		122-12	S1274
14	石錐	Ⅱ b2	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	玉髄	18.4	16.1	3.2	0.75	完形	0	0	0	0	0	先端摩滅	122-13	S1090
15	石錐	Ⅱ a2	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	45.1	20.1	11.0	10.78	完形	0	0	0	1	0		122-14	S0535
16	石錐	Ⅱ b2	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	碧玉 B1	35.4	18.4	10.8	4.83	完形	0	1	0	0	0		122-15	S0529
17	石錐	Ⅰ b	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	35.5	15.3	9.8	4.32	完形	0	0	0	0	0		122-16	S0428
18	石錐	Ⅱ b1	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	42.8	13.7	8.3	4.62	完形	0	0	0	0	0		122-17	S0937
19	石錐	Ⅱ b1	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	玉髄	23.3	12.5	7.0	1.45	完形	0	0	0	0	0		122-18	S1367

第152図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（14）

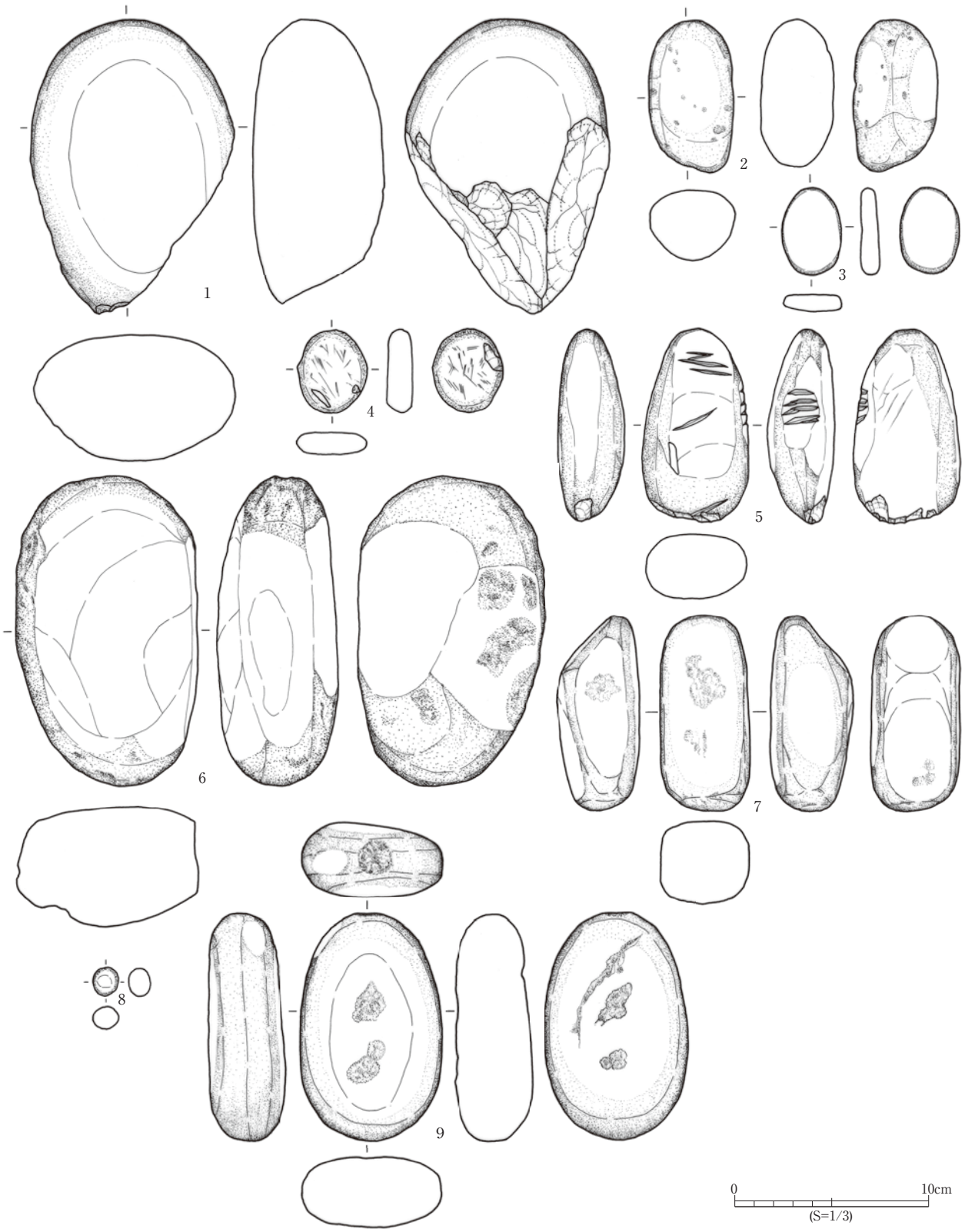
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石匙	Ⅰ b2	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	41.9	57.3	8.5	18.39	完形	0	0	0	1	B		122-19	S0942
2	石匙	Ⅲ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	44.8	49.3	9.1	12.15	完形	0	0	0	0	0	未成品か	122-20	S0429
3	石篦	Ⅱ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	61.2	38.0	19.3	20.92	完形	0	0	0	0	0		122-21	S0943
4	石篦	Ⅲ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	71.8	46.9	21.4	58.17	完形	0	0	0	1	0		122-22	S1394
5	板状石器	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	粘板岩	78.8	47.2	5.0	20.44	破片	0	0	0	0	0	石庖丁か	122-23	S1415
6	楔形石器	Ⅰ b	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	26.5	34.2	10.9	11.35	完形	0	0	0	0	0		122-24	S1060
7	楔形石器	Ⅰ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	18.1	16.8	7.5	2.75	完形	0	0	0	0	0		122-26	S0392
8	楔形石器	Ⅰ c	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	23.7	17.6	6.4	2.35	完形	0	0	0	0	0		122-25	S0053
9	楔形石器	Ⅰ b	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	37.7	24.8	8.0	8.66	完形	0	0	0	0	0		122-27	S1399
10	楔形石器	Ⅰ a	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	玉髄	15.8	20.5	8.5	3.14	完形	0	0	0	0	0		122-28	S0415
11	不定形石器	Ⅰ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	43.1	19.6	8.5	7.98	完形	0	1	多	0	0		123-1	S1395
12	不定形石器	Ⅰ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	34.5	21.5	8.9	6.64	完形	0	0	0	1	0		123-2	S1396
13	不定形石器	Ⅰ	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	42.6	42.7	11.9	20.40	完形	0	0	0	0	0		123-3	S1398

第153図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（15）



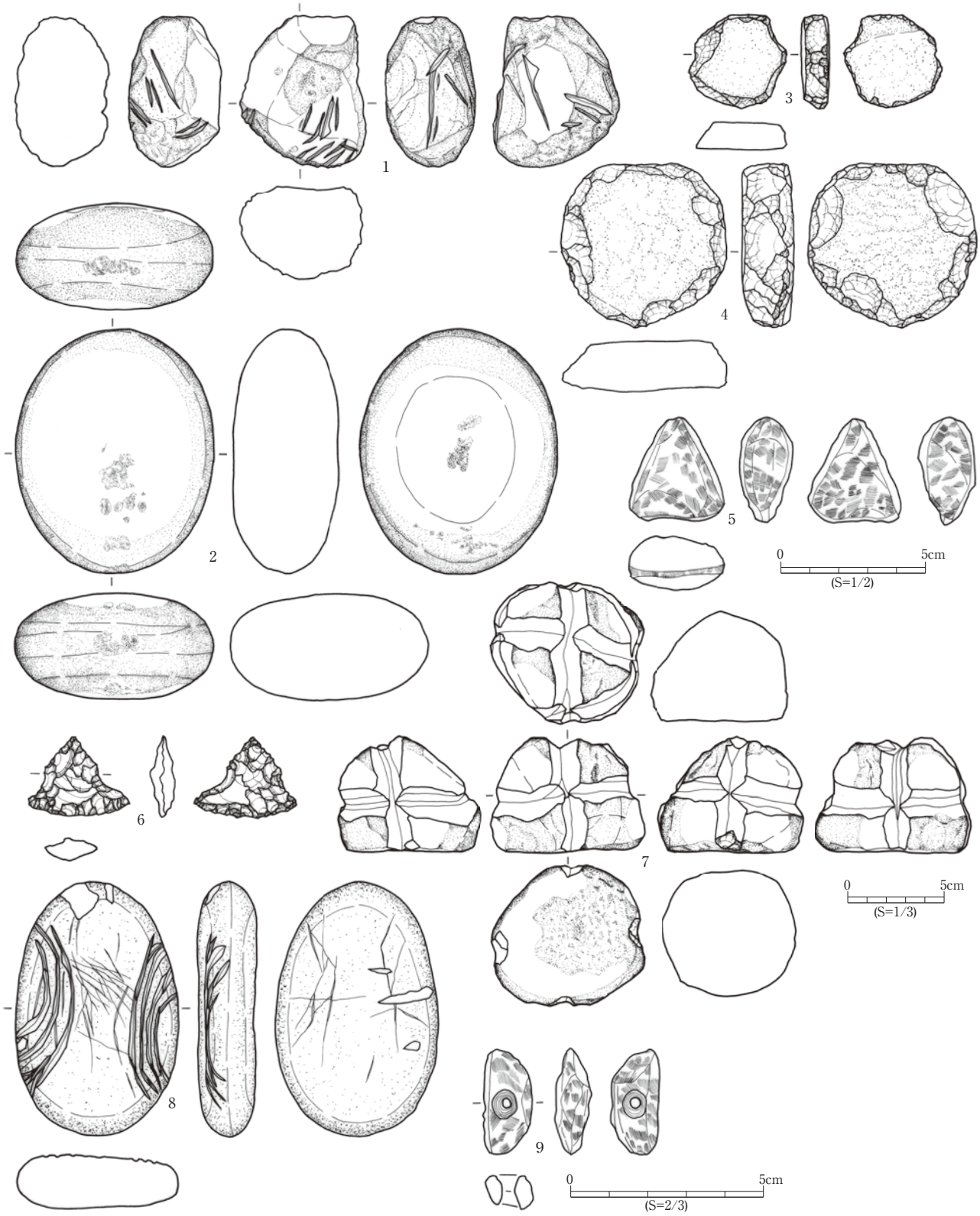
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	不定形石器	Ⅰ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	28.2	39.6	14.0	13.23	完形	0	1	0	0	0		123-4	S0541
2	不定形石器	Ⅰ	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	30.2	15.7	6.8	3.40	完形	0	0	多	0	B		123-5	S0485
3	不定形石器	Ⅲ b	南 1	D-54 北 / Ⅵ	珪質頁岩 A	39.7	47.8	13.2	16.19	一部欠	0	0	0	1	0		123-6	S0889
4	不定形石器	Ⅲ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	37.5	48.2	10.7	20.54	完形	0	0	0	1	0		123-7	S1397
5	不定形石器	Ⅱ b	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	45.5	22.4	17.0	16.45	完形	0	0	0	0	0		123-8	S1054
6	不定形石器	Ⅲ d	南 1	D-54 北 / Ⅵ	珪質頁岩 B	48.6	52.9	16.8	33.11	完形	0	0	0	0	0		123-9	S0850
7	不定形石器	Ⅲ d	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	珪質頁岩 B	51.6	53.3	9.7	22.94	完形	0	0	0	1	0		123-10	S1400
8	不定形石器	Ⅲ d	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	36.0	23.3	6.8	4.50	完形	0	0	0	0	0		123-11	S0212
9	不定形石器	Ⅱ c	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 A	19.0	33.8	10.6	5.74	完形	0	0	0	1	0		123-12	S1288
10	不定形石器	Ⅲ c	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	粘板岩	34.5	16.1	7.7	5.45	一部欠	0	0	0	1	0		123-13	S0539
11	石皿	-	南 1	D-53 / Ⅵ a	玄武岩質安山岩	205.0	132.1	49.2	518.34	破片	0	0	0	1	0	凹痕あり	123-14	S0831

第154図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（16）



No.	器種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨石	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	安山岩	153.5	107.0	65.6	1,389.00	一部欠	1	0	0	1	0		123-15	S0548
2	磨石	-	南 1	D-53 北 / Ⅵ a	安山岩	77.8	43.8	36.7	126.47	完形	0	0	0	1	0		124-1	S0072
3	磨石	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	安山岩質凝灰岩	45.1	30.8	8.8	94.30	完形	0	0	0	1	0		124-2	S0229
4	磨石	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	凝灰岩	42.7	35.5	12.5	15.82	完形	0	0	0	1	0		124-3	S0549
5	磨石	-	南 1	D-54 / Ⅵ a	凝灰岩	100.0	54.5	33.8	176.64	完形	0	0	0	1	0		124-4	S2799
6	磨石	-	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	安山岩	157.0	97.1	60.7	1,287.00	完形	0	0	0	1	0		124-5	S2258
7	磨石	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a-c1	安山岩	100.9	46.1	42.2	332.40	完形	0	0	凹石→	1	0		124-6	S1440
8	磨石	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	凝灰岩	13.3	13.1	11.1	1.56	完形	0	0	0	1	0		124-7	S1417
9	凹石	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	安山岩	118.5	75.2	39.6	593.00	完形	0	0	磨石→、敲石→	1	0		124-8	S0955

第155図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（17）

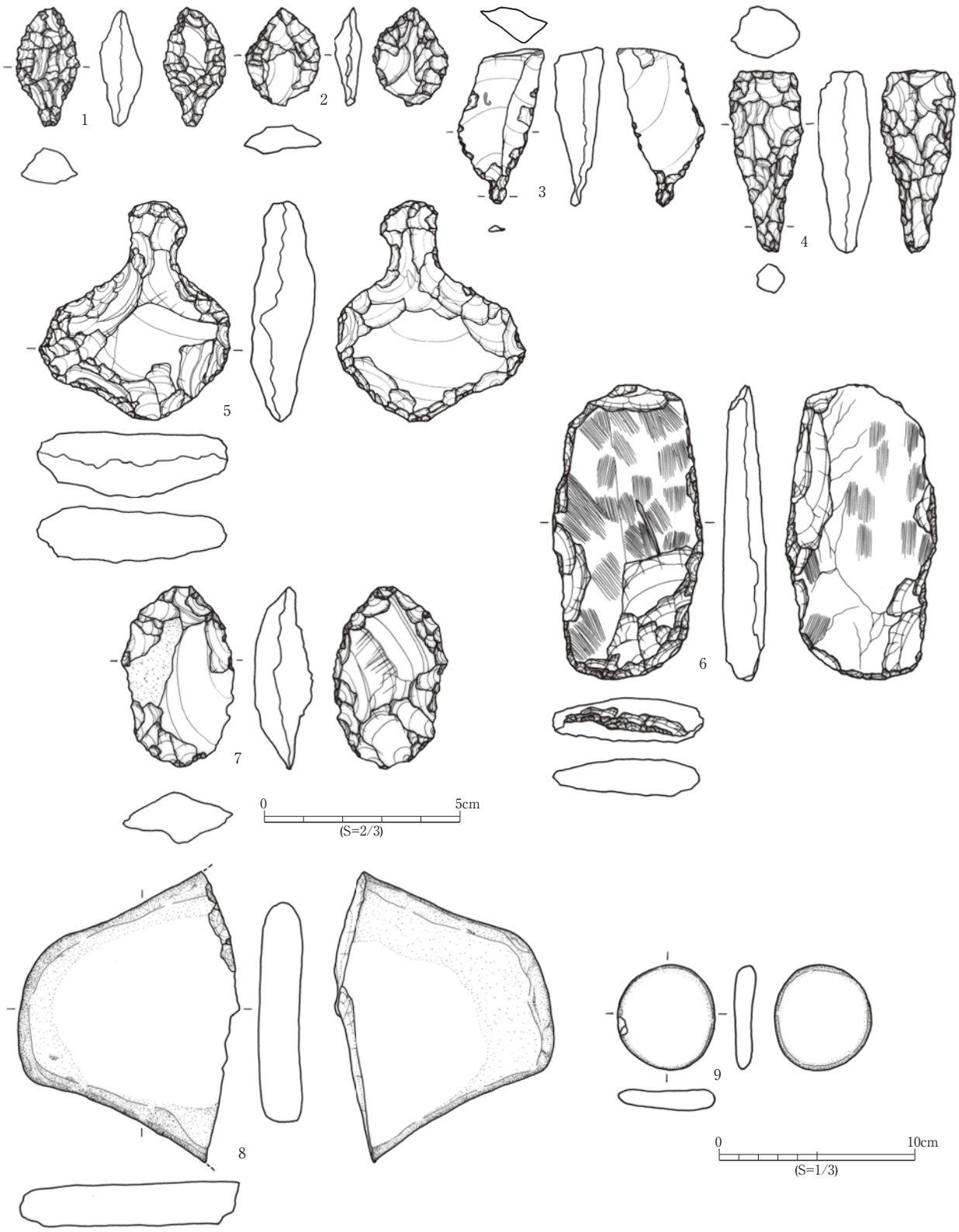


No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	砥石	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	軽石	82.5	64.5	47.6	61.80	一部欠	0	0	0	1	0		124-9	S0949
2	敲石	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	安山岩	128.0	102.7	54.5	1,091.00	完形	0	0	磨石→	1	0		124-10	S0956
3	円盤状石製品	Ⅰ a	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	凝灰質砂岩	32.5	31.1	9.2	11.88	一部欠	0	0	0	0	0		124-12	S0947
4	円盤状石製品	Ⅰ a	南 1	D-54 南 / Ⅵ a	凝灰岩	55.9	56.4	16.8	72.74	完形	0	0	0	1	0		124-11	S2262
5	不明石製品	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a-b2	石灰岩	36.8	31.7	18.0	26.63	完形	0	0	0	1	0	磨製石斧模造品	124-13	S0599
6	異形石器	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	碧玉 B1	20.4	26.6	5.8	2.01	完形	0	1	0	0	0	サメ歯状か	124-14	S0940
7	石錘	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	礫岩	58.9	79.9	71.6	363.00	完形	0	0	0	1	0	磨面あり	124-15	S0556
8	岩版	-	南 1	D-53 南 / Ⅵ a	凝灰岩	65.0	42.0	15.1	31.89	完形	0	0	0	1	0		124-16	S0555
9	有孔石製品	-	南 1	D-54 北 / Ⅵ a	凝灰岩	26.9	12.5	8.3	2.91	完形	0	0	0	0	0		124-17	S13877

第156図　C丘陵南斜面a包含層（西側）　出土石器・石製品（18）

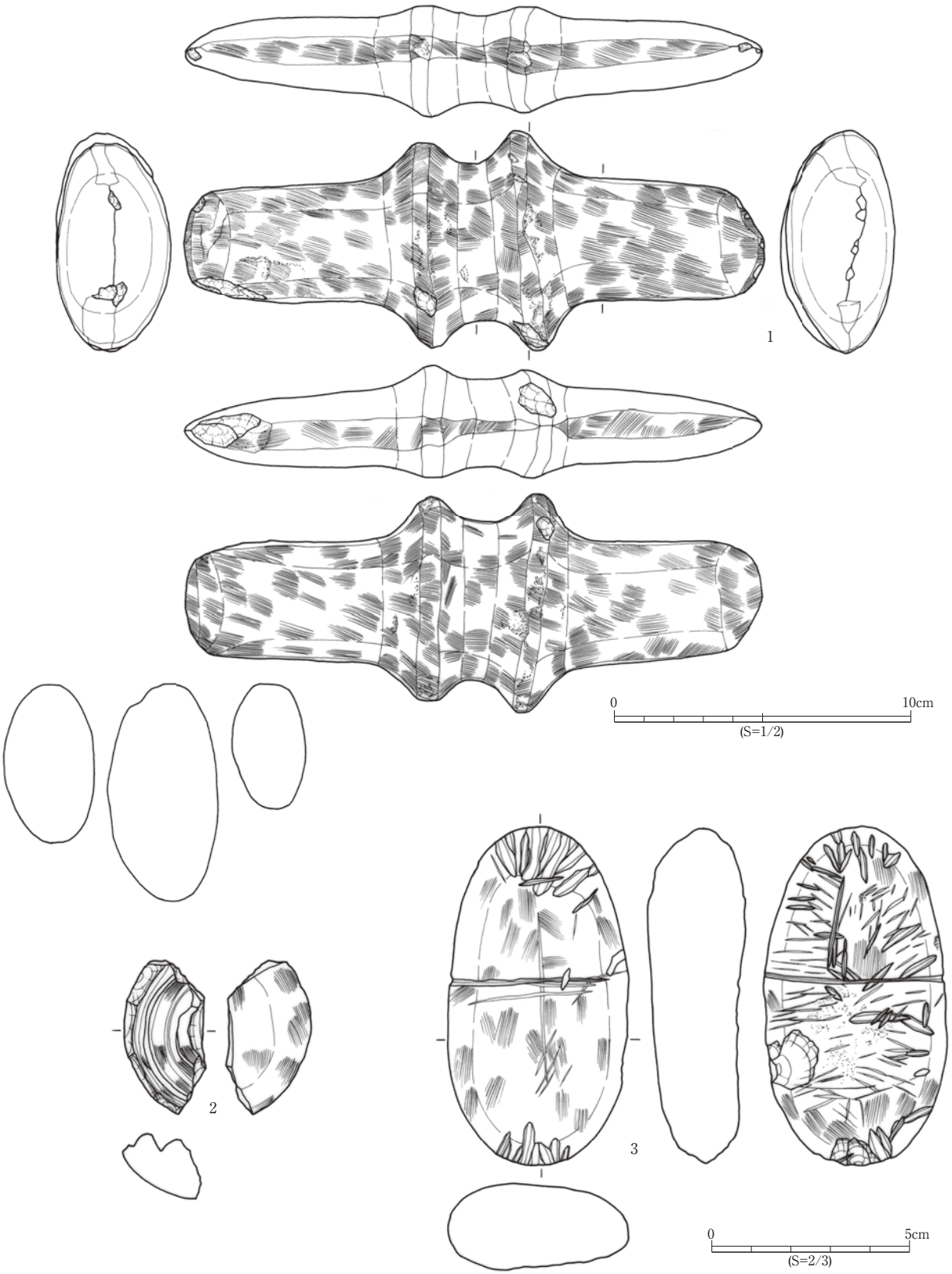
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨石	-	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	凝灰岩	132.3	85.5	60.0	674.00	完形	0	0	凹石→	1	0		125-1	S4798
2	有孔石製品	-	南 5	D-57 西 / Ⅵ n	凝灰岩	33.4	52.7	9.2	8.33	破片	0	0	0	1	0		125-2	S4710
3	石鏃	Ⅲ A	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	珪質頁岩 A	19.4	12.1	2.0	0.50	基部欠	0	2	0	0	0		125-3	S4686
4	尖頭器	Ⅳ	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	珪質頁岩 A	40.4	24.5	13.7	10.43	完形	0	0	0	1	0		125-4	S4643
5	尖頭器	Ⅰ b1A	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	珪質頁岩 A	45.7	25.3	10.4	9.01	完形	0	0	0	0	0		125-5	S4513
6	楔形石器	Ⅰ a	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	珪質頁岩 A	40.5	17.0	15.1	10.78	完形	0	0	0	0	0		125-6	S4681
7	楔形石器	Ⅰ a	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	珪質頁岩 B	25.5	26.7	7.4	5.35	完形	0	0	0	1	0		125-7	S4680
8	不定形石器	Ⅲ d	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	珪質頁岩 A	30.0	26.0	6.3	5.59	完形	0	0	0	0	0		125-8	S4586
9	石皿	-	南 4B	D-57 西 / Ⅵ j-n	安山岩	50.5	54.6	23.5	61.25	完形	0	0	0	1	0		125-9	S4709
10	磨石	-	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-k	凝灰岩	53.4	45.3	31.2	65.44	完形	0	0	0	1	0		125-10	S4555
11	線刻礫	-	南 4B	D-57 西 / Ⅵ i-n	凝灰岩	76.4	45.2	21.7	58.43	完形	0	0	0	0	0		125-11	S4676
12	石鏃	Ⅳ bA	南 4A	D-57 西 / Ⅵ f	碧玉 B1	37.0	18.7	8.8	5.82	完形	0	1	0	0	0		125-12	S4544

第157図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（1）



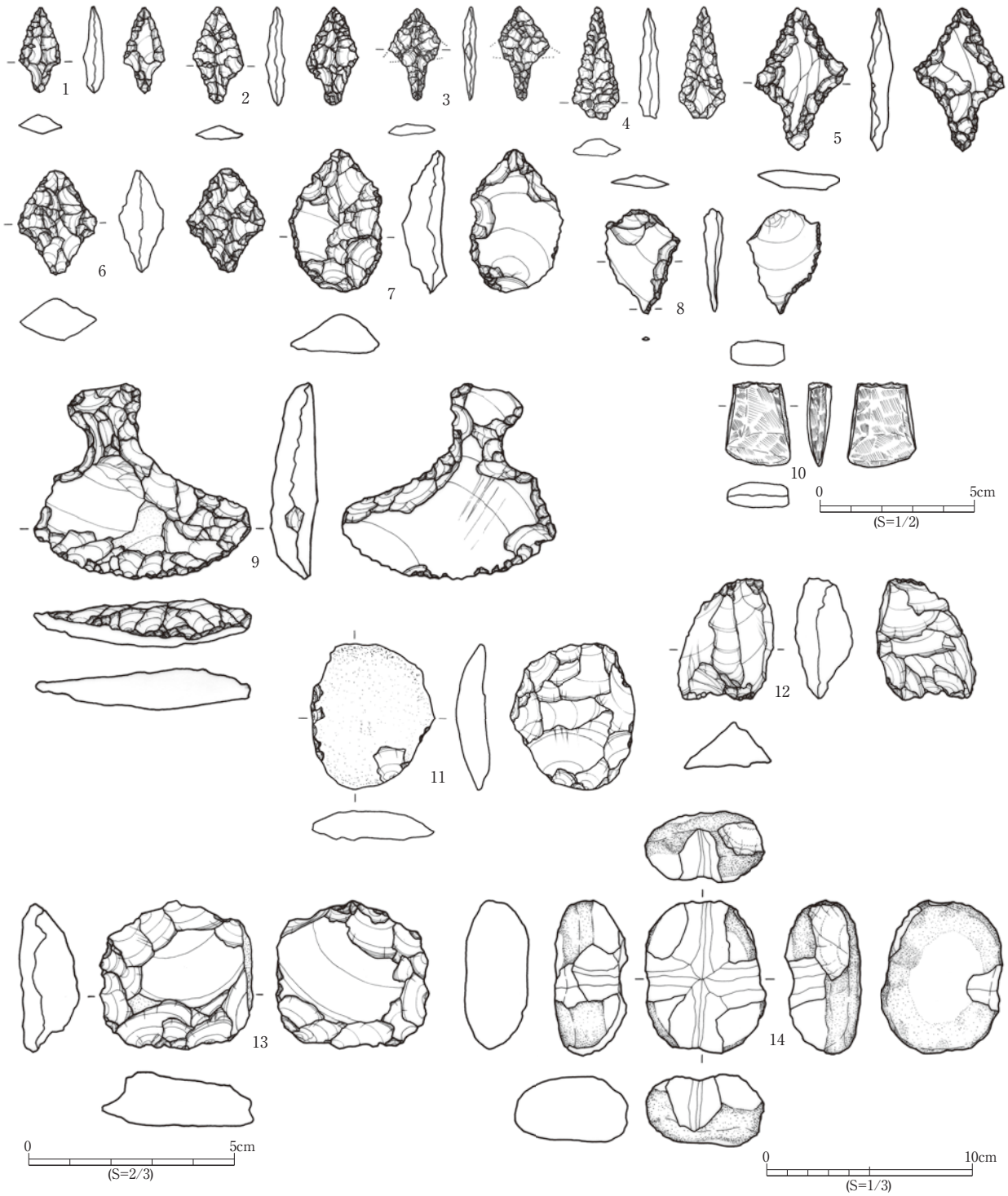
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	I b2A	南 3	D-57 東 / Ⅵ e-f	碧玉 A	30.0	15.7	10.7	3.87	尖頭部欠	0	0	0	0	0		125-13	S4123
2	石鏃	V	南 3	D-57 東 / Ⅵ c	珪質頁岩 A	23.8	18.8	6.1	1.96	完形	0	1	0	1	0		125-14	S4035
3	石錐	Ⅱ c1	南 3	D-57 西 / Ⅵ e-n	珪質頁岩 A	40.5	21.0	13.7	6.57	完形	0	0	0	1	B		125-15	S4723
4	石錐	Ⅱ b2	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	珪質頁岩 B	45.6	18.5	13.0	10.13	錐部欠	0	1	0	0	0		125-16	S4332
5	石匙	Ⅱ a	南 3	D-56 東 / Ⅵ c	珪質頁岩 A	55.7	47.5	16.0	35.39	完形	0	0	0	0	B		125-17	S3742
6	石箆	Ⅰ b	南 3	D-57 東 / Ⅵ c-e	粘板岩	74.9	38.2	10.2	37.04	完形	0	0	石刀→	0	0		125-18	S4078
7	不定形石器	I	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	珪質頁岩 A	29.0	46.0	14.7	14.73	完形	0	0	0	1	0		125-19	S4336
8	石皿	-	南 3	D-57 西 / Ⅵ c	安山岩質凝灰岩	112.0	148.0	23.2	495.02	破片	0	0	0	1	0		125-20	S4337
9	磨石	-	南 3	D-57 西 / Ⅵ e-f	凝灰岩	52.4	49.2	10.6	18.59	完形	0	0	0	1	0		125-21	S4515

第158図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（2）



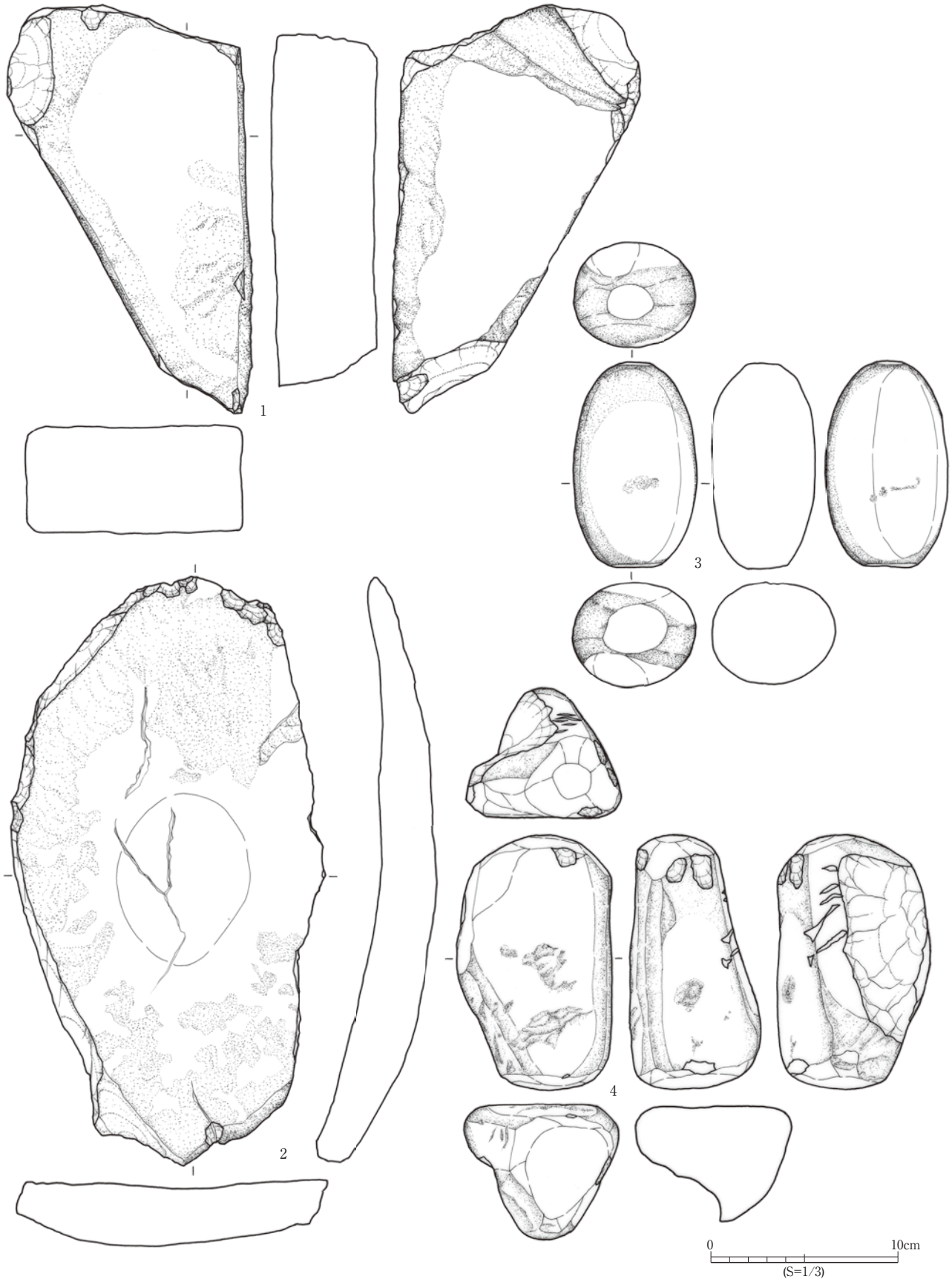
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	独鈷石	-	南 3	D-56 西 / Ⅵ d	安山岩	73.2	199.0	37.4	499.34	完形	0	0	0	0	0		126-1	S3923
2	イモガイ形石製品	-	南 3	D-57 東 / Ⅵ e-f	凝灰岩	22.8	38.9	12.9	7.18	破片	0	0	0	0	0		125-22	S13396
3	岩版	-	南 3	D-57 東 / Ⅵ c-f	凝灰岩	84.7	45.5	25.1	60.30	完形	0	0	0	0	0		125-23	S4086

第159図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（3）



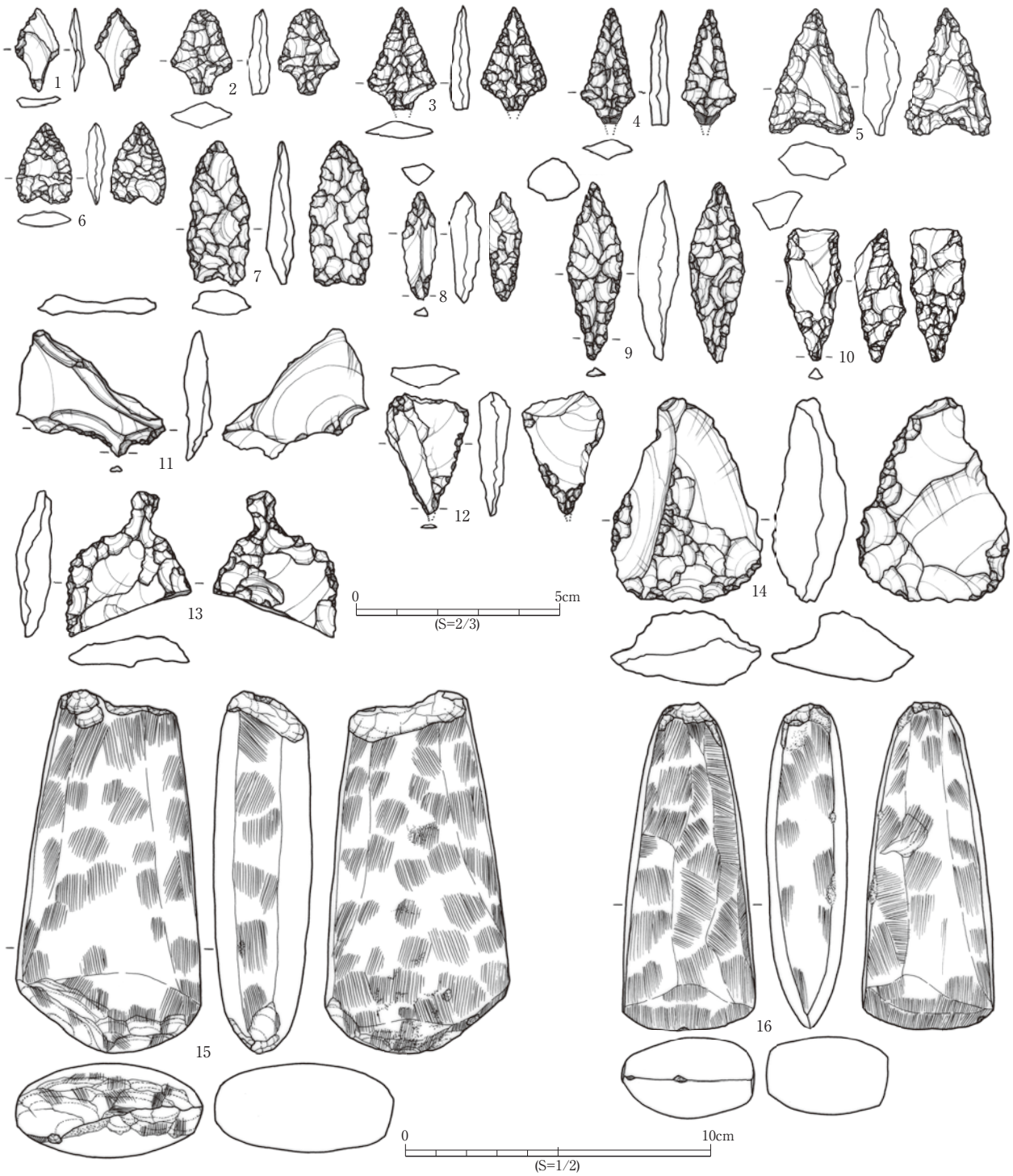
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-75 / Ⅵ b	碧玉 B1	20.4	9.7	4.3	0.66	完形	0	0	0	0	0		126-2	S12968
2	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	碧玉 A	22.9	12.0	3.8	0.82	完形	0	2	0	0	0		126-3	S12658
3	石鏃	Ⅰ a1A	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	碧玉 B1	22.3	12.1	2.7	0.55	基部欠	0	2	0	0	0		126-4	S12659
4	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-74 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	26.7	9.8	3.7	0.90	茎欠	0	2	0	0	B		126-5	S12544
5	石鏃	Ⅰ a2B	南 2A	D-75 / Ⅵ b	碧玉 B1	34.7	21.6	4.6	2.81	尖頭部欠	0	1	0	0	0		126-6	S12969
6	石鏃	Ⅰ b1B	南 2A	D-74 / Ⅵ b	碧玉 C	24.2	18.6	10.0	2.97	尖頭部欠	0	2	0	0	0		126-8	S12545
7	尖頭器	Ⅱ A	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	34.3	22.5	8.9	6.12	完形	0	0	0	0	0		126-7	S12715
8	石錐	Ⅱ b2	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	24.8	17.9	3.9	1.34	完形	0	0	0	1	0		126-9	S12763
9	石匙	Ⅱ a	南 2A	D-74 / Ⅵ b	珪質頁岩 A	47.4	51.5	11.1	18.13	完形	0	0	刃部再	0	0		126-10	S12546
10	磨製石斧	Ⅲ	南 2A	D-74 / Ⅵ b	蛇紋岩	26.2	20.9	7.1	7.15	基部欠	0	0	0	0	0		126-11	S12547
11	楔形石器	Ⅱ aa	南 2A	D-75 / Ⅵ b	珪質凝灰岩 A	29.7	35.5	7.5	9.51	完形	0	0	0	1	0		126-12	S12985
12	楔形石器	Ⅰ a	南 2A	D-75 / Ⅵ b	碧玉 C	29.6	21.9	11.1	6.22	完形	0	0	0	0	0		126-13	S12981
13	不定形石器	Ⅲ c	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	頁岩	35.2	37.0	13.7	19.25	完形	0	0	0	1	0		126-14	S12783
14	石錘	-	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	玄武岩	73.5	57.8	35.2	157.22	完形	0	0	0	1	0		126-15	S12832

第160図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（4）



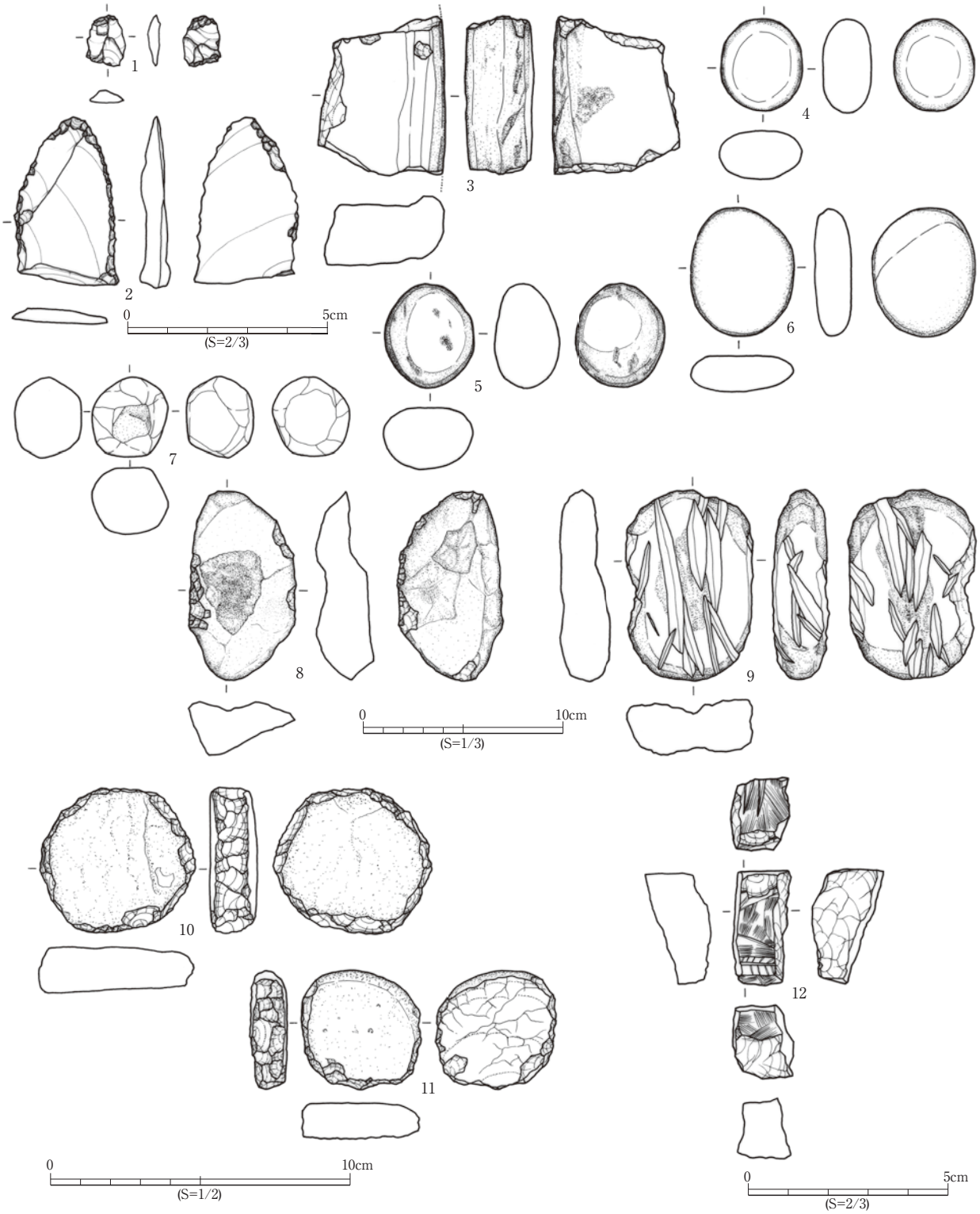
No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石皿	-	南 2A	D-75 / Ⅵ b	安山岩	220.0	126.5	55.0	1987.00	一部欠	0	0	0	1	0		126-16	S13007
2	石皿	-	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b	安山岩	314.0	166.0	30.0	2,420.00	破片	0	0	0	1	0		126-18	S3706
3	磨石	-	南 2A	D-56 東 / Ⅵ b	安山岩	111.6	66.7	56.4	645.00	完形	0	0	0	1	0		126-17	S3709
4	磨石	-	南 2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	安山岩	134.8	82.5	70.1	966.00	一部欠	0	0	凹石→	1	0		127-1	S12838

第161図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（5）



No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ b1A	南 1	D-74 / Ⅵ	珪質頁岩 A	19.8	10.3	2.0	0.42	完形	0	1	0	0	0		127-2	S12288
2	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-74 / Ⅵ	碧玉 B1	20.3	14.7	5.6	1.24	完形	0	2	尖頭部再	0	B		127-3	S12249
3	石鏃	Ⅰ a2B	南 1	D-74 / Ⅵ	碧玉 B1	24.5	15.7	4.0	1.12	完形	0	1	0	0	0		127-4	S12245
4	石鏃	Ⅰ a2C	南 1	D-56 東 / Ⅵ a	珪質凝灰岩 A	28.0	13.2	4.1	0.81	茎欠	0	1	0	0	B		127-5	S3581
5	石鏃	Ⅳ bB	南 1	D-57 東 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	31.3	20.6	8.3	4.32	完形	0	0	0	0	0		127-6	S3947
6	石鏃	Ⅳ bA	南 1	D-74 / Ⅵ	珪質凝灰岩 A	19.7	12.9	3.7	0.92	完形	1	2	0	0	0		127-7	S12248
7	石鏃	Ⅳ bA	南 1	D-57 / Ⅵ a	珪質頁岩 A	35.2	15.2	6.3	2.84	完形	0	0	0	0	0		127-8	S4865
8	石錐	Ⅰ b	南 1	D-74 / Ⅵ	珪質頁岩 A	26.2	7.9	7.0	1.21	完形	0	0	0	0	0		127-10	S12359
9	石錐	Ⅰ b	南 1	D-74 / Ⅵ	珪質頁岩 A	43.6	13.2	10.2	4.39	完形	0	0	0	0	0		127-11	S12247
10	石錐	Ⅱ b2	南 1	D-74 / Ⅵ a-b	珪質頁岩 A	31.7	12.8	10.7	4.10	完形	0	2	0	0	0		127-12	S12517
11	石錐	Ⅱ c1	南 1	D-57 西 / Ⅵ	珪質頁岩 A	22.4	37.2	5.4	3.80	完形	0	0	0	0	0		127-9	S4272
12	石錐	Ⅱ c2	南 1	D-74 / Ⅵ	玉髄	29.4	19.5	7.3	3.58	完形	0	0	0	0	0		127-13	S12360
13	石匙	-	南 1	D-57 西 / Ⅵ	珪質頁岩 A	28.0	31.7	8.2	6.20	完形	0	1	刃部再	0	0		127-14	S4235
14	石篦	Ⅰ a2	南 1	D-56 東 / Ⅵ	珪質頁岩 A	50.2	37.1	16.0	23.77	完形	0	0	0	1	0		127-15	S3554
15	磨製石斧	Ⅰ	南 1	D-80 / Ⅵ	安山岩	118.7	60.4	31.3	371.16	基部欠	0	0	刃部再	0	0		127-16	S13189
16	磨製石斧	Ⅰ a1	南 1	D-57 東 / Ⅵ	安山岩	106.5	43.0	26.6	196.59	完形	0	0	0	0	0		127-17	S3935

第162図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（6）



No.	器　種	類型	大別層	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	楔形石器	Ⅰa	南1	D-74 / Ⅵa-b	珪質頁岩A	12.0	9.1	2.9	0.33	完形	0	0	0	0	0		127-18	S12473
2	不定形石器	Ⅲc	南1	D-57 東 / Ⅵa	珪質頁岩A	42.5	23.6	6.1	6.89	完形	0	0	0	0	0		127-19	S3948
3	石皿	-	南1	D-80 / Ⅵ	安山岩	78.2	60.0	30.6	203.61	破片	0	0	0	1	0		127-20	S13194
4	磨石	-	南1	D-74 / Ⅵa	安山岩	45.6	40.7	24.2	70.62	完形	0	0	0	1	0		127-21	S12469
5	磨石	-	南1	D-57 西 / Ⅵa	軽石	51.7	44.8	32.4	26.45	完形	0	0	0	1	0		127-22	S4301
6	磨石	-	南1	D-57 西 / Ⅵ	凝灰質安山岩	64.5	51.5	18.2	90.36	完形	0	0	0	1	0		127-23	S4237
7	磨石	-	南1	D-57 西 / Ⅵa	凝灰岩	39.1	36.8	33.9	83.54	完形	0	0	0	1	0		127-24	S4300
8	凹石	-	南1	D-74 / Ⅵa-b	安山岩	94.3	53.5	26.1	135.63	完形	0	0	0	1	0		127-25	S12612
9	砥石	-	南1	D-57 西 / Ⅵ	流紋岩（真珠岩）	94.2	62.5	26.2	225.15	一部欠	0	0	磨石→	1	0		127-26	S4239
10	円盤状石製品	Ⅰa	南1	D-74 / Ⅵa-b	安山岩	47.2	51.8	15.4	52.39	完形	0	0	0	1	0		127-27	S12536
11	円盤状石製品	Ⅰa	南1	D-74 / Ⅵ	凝灰岩	37.9	41.5	12.3	25.84	完形	0	0	0	1	0		127-28	S12446
12	不明石製品	-	南1	D-57 東 / Ⅵa	凝灰岩質シルト岩	29.0	12.9	15.2	7.65	破片	0	0	0	0	0		127-29	S4065

第163図　C丘陵南斜面a包含層（東側）　出土石器・石製品（7）

製品１点（同図２）、岩版１点（同図３）、不明石製品１点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、安山岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C類）などが多く見られる。

南2A層群からは311点出土し、石鏃11点（第160図１～６）、尖頭器１点（同図７）、石錐１点（同図８）、石匙１点（同図９）、石箆２点、磨製石斧４点（同図10）、楔形石器14点（同図11・12）、不定形石器15点（同図13）、石皿９点（第161図１・２）、磨石23点（同図３・４）、凹石１点、砥石１点、剥片199点、石核22点、石錘１点（第160図14）、石棒２点、石刀４点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南１層群からは514点出土し、石鏃14点（第162図１～７）、石錐６点（同図８～12）、石匙１点（同図13）、石箆２点（同図14）、磨製石斧４点（同図15・16）、楔形石器13点（第163図１）、不定形石器39点（同図２）、石皿15点（同図３）、磨石40点（同図４～７）、凹石２点（同図８）、砥石１点（同図９）、剥片325点、石核39点、円盤状石製品４点（同図10・11）、石棒３点、石刀４点、不明石製品２点（同図12）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、粘板岩、玉髄、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

(5) 骨角牙製品

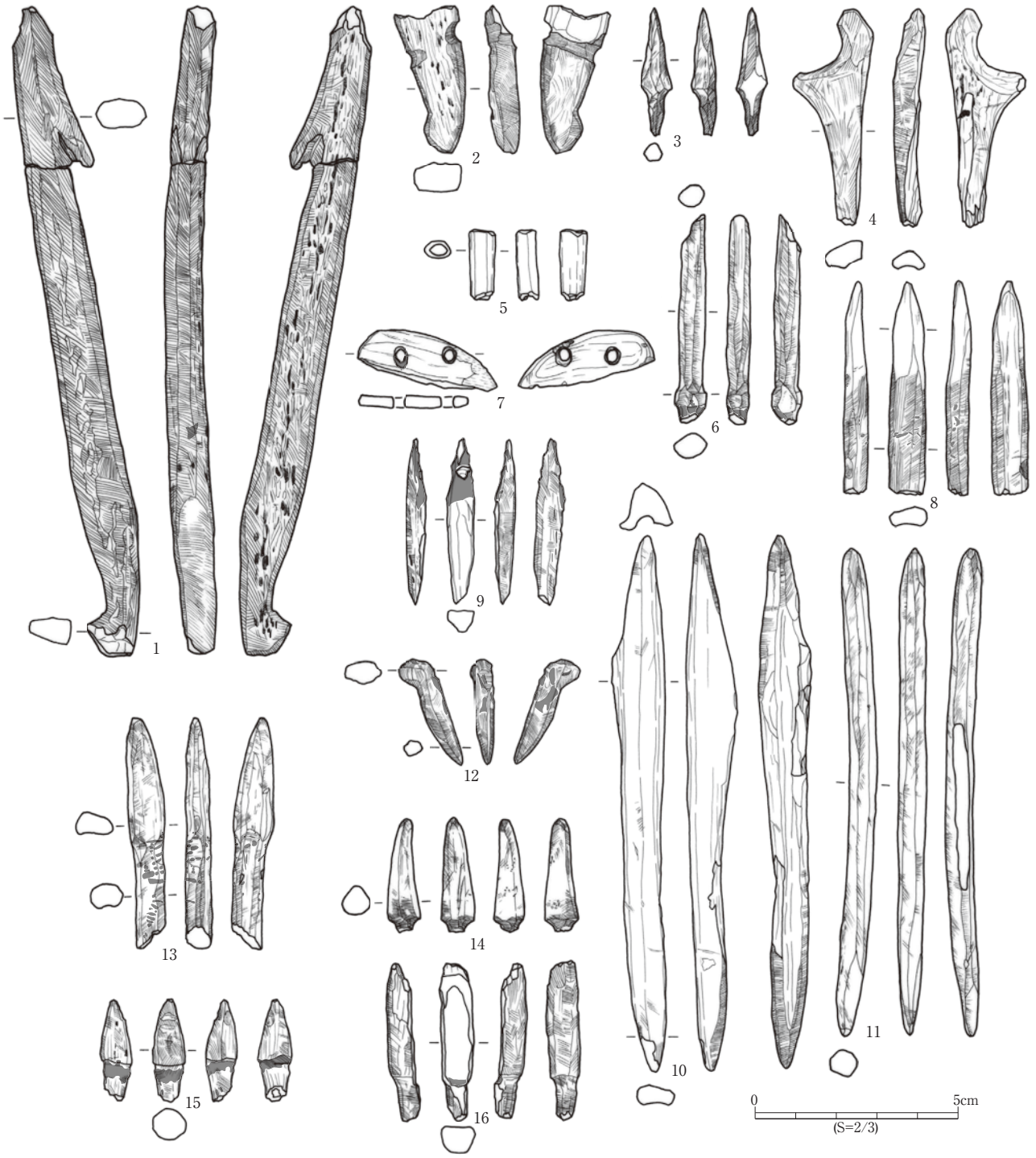
骨角牙製品はすべての大別層群から出土している。土器や石器・石製品に比べて少なく、南斜面の東西で遺物の出土状況や内容等に大きな差異は認められないため、東西に分けずに記述する。

南５層群からは、ヤス（第164図１・２）や鏃（同図３）、刺突具（同図４）、管玉（同図５）が出土している。ヤスは２点とも鹿角を素材とし、組み合わせ式である。鏃は哺乳綱骨製で、わずかにアスファルト状の黒色物質が残る。刺突具はいずれも鹿角を素材としている。

南4B層群からは、銛頭（第164図６）や刺突具（同図８・10・11）、垂飾（同図７）が出土している。銛頭は哺乳綱骨製で、基部にアスファルト状の黒色物質が残る。刺突具は鹿角を素材とするものとシカ骨を素材とするものがある。垂飾は２点とも哺乳綱骨製で、７は孔にアスファルト状の黒色物質が残る。

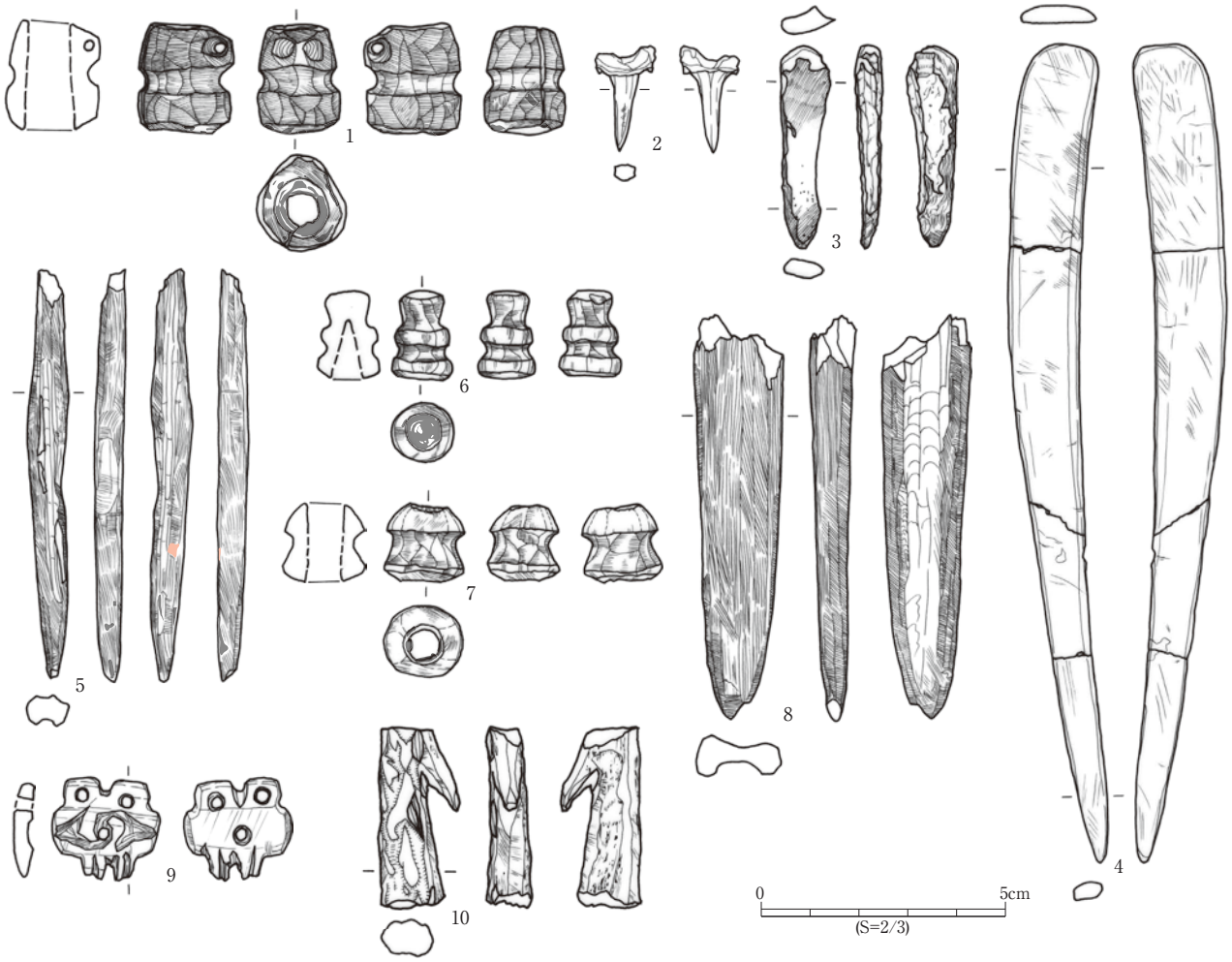
南4A層群からは、根挟（第164図９）が出土している。鹿角を素材とし、縦に破損しているが、根挟み部にアスファルト状の黒色物質が付着し、珪質頁岩（A類）製石器（石鏃か）の破片が残されている。

南３層群からは、ヤス（第164図12）やヤスまたは鉤先（同図13）、鏃（同図14）、根挟（同図15・16）、刺突具、弭（第165図１）、垂飾（同図２）、加工痕ある骨片（同図３）などが出土している。ヤスは鹿角を素材とし、「狭み込み式」（金子・牛沢　1979）のカエシとみられる。ヤスまたは鉤先は鹿角を素材とし、基部にアスファルト状の黒色物質が紐状に残る。鏃や根挟はいずれも鹿角を素材としている。第164図15は縦に大きく破損した後に再加工を施し、尖頭状に成形している。弭はいずれも鹿角を素材としている。垂飾はアオザメ類の歯を素材としているが、加工はほとんど見られない。



No.	器　種	大別層	区・遺構／層	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	素材（部位）	特　　徴	写真図版	登録
1	ヤス（組み合わせ式）	南 5	D-57 西／Ⅵ l-n	140.4	14.7	8.5	12.5	ほぼ完形	シカ（角）	尖頭部に衝撃剥離。上部に逆刺。基部に黒色付着物	128-1	B033
2	ヤス（組み合わせ式）	南 5	D-57 西／Ⅵ n	36.2	15.7	7.3	2.8	基部	シカ（角）		128-2	B135
3	鏃	南 5	D-57 西／Ⅵ l-n	30.9	6.9	5.5	0.7	ほぼ完形	哺乳綱（長管骨）	自然面一部残存。基部に黒色付着物わずか	128-3	B032
4	刺突具	南 5	D-57 西／Ⅵ l-n	53.4	18.2	6.8	3.2	先端部欠	シカ（角）		128-4	B134
5	管玉	南 5	D-57 西／Ⅵ l-n	17.4	6.8	5.1	0.4	ほぼ完形	鳥綱 or 哺乳綱（長管骨）		128-5	B036
6	銛頭	南 4B	D-57 西／Ⅵ i-k	51.0	7.5	5.3	2.3	先端部欠	哺乳綱（長管骨）	基部に黒色付着物	128-6	B040
7	垂飾か	南 4B	D-57 西／Ⅵ i	15.8	34.3	2.1	0.9	一部欠	哺乳綱（不明）	貫通孔 2。孔に黒色付着物	128-7	B063
8	刺突具	南 4B	D-57 西／Ⅵ i-k	52.3	8.8	4.2	2.5	先端部	シカか（不明）	固定具（繊維）の痕跡あり。黒色付着物	127-8	B039
9	根挟	南 4A	D-57 西／Ⅵ g-h	40.8	6.8	4.5	0.7	先端部欠	シカ（角幹部）	組み合わせ部に黒色付着物＋珪質頁岩製石器（石鏃か）の破片	128-9	B051
10	刺突具	南 4B	D-57 西／Ⅵ i-k	131.8	11.4	4.3	10.8	完形	シカ（中足骨）	両端に尖頭部。剥離による器体成形。尖頭部のみ研磨	128-10	B044
11	刺突具	南 4B	D-57 西／Ⅵ i-k	120.0	6.4	6.7	6.1	完形	シカ（角）	両端に尖頭部。研磨による器体成形	128-11	B045
12	ヤス（組み合わせ式）	南 3	D-54 北／Ⅵ d1・2	26.7	7.9	4.3	0.7	完形	シカ（角）	挟み込み式ヤスの逆刺部。黒色付着物	128-12	B004
13	ヤス or 鉤先	南 3	D-57 東／Ⅵ e-f	56.8	9.4	5.5	2.1	先端部	シカ（角）	黒色付着物（紐状の固定具の痕跡）	128-13	B025
14	鏃	南 3	D-57 西／Ⅵ c	27.4	7.8	8.1	0.9	基部欠	シカ（角）	被熱による白色化	128-14	B060
15	根挟	南 3	D-57 西／Ⅵ c	25.2	8.3	7.7	0.8	基部欠	シカ（角）	組み合わせ部の破損後に研磨による再加工。基部に黒色付着物	128-15	B061
16	根挟	南 3	D-59／Ⅵ c-e	38.5	8.1	5.7	1.3	縦割れ	シカ（角）	組み合わせ部が平坦に加工。器体に衝撃剥離痕。基部に黒色付着物	128-16	B068

第164図　C丘陵南斜面a包含層　出土骨角牙製品（1）



No.	器　種	大別層	区・遺構 / 層	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	素材（部位）	特　　徴	写真図版	登録
1	弭	南３	D-57 西 / Ⅵ c	21.3	16.9	19.1	4.1	完形	シカ（角）	側面に貫通孔のある突起。内面に黒色付着物	128-17	B062
2	垂飾	南３	D-54 北 / Ⅵ d1・2	21.7	11.9	4.8	0.4	完形	アオザメ類（歯）	加工痕はほとんどみられない。エナメル質の歯冠裏面に７条の細かいカットマークあり	128-18	B005
3	加工痕ある骨片	南３	D-57 東 / Ⅵ e・f	41.1	9.9	3.9	1.2	ほぼ完形	哺乳綱（不明）		128-19	B028
4	刺突具	南2B	D-54 北 / Ⅵ c1	168.0	15.4	3.2	8.6	完形	哺乳綱（不明）		128-20	B009
5	刺突具	南2B	D-54 北 / Ⅵ c1	84.8	8.3	4.5	3.7	基部欠	シカ（中足骨）	漆（赤彩）状の膠着材？付着	128-21	B008
6	弭	南2B	D-54 北 / Ⅵ c1-d2	17.7	12.5	11.5	1.3	完形	シカ（角）	内面に黒色付着物	128-22	B006
7	弭	南2B	D-54 北 / Ⅵ c1	15.1	15.7	14.2	1.8	先端部欠	シカ（角）	貫通孔。内面に黒色付着物	128-23	B012
8	匙	南2A	D-74 拡張 / Ⅵ b	82.8	18.2	8.8	8.8	先端部	シカ（中足骨）		128-24	B120
9	垂飾 or 簪	南2A	D-74 / Ⅵ b	20.7	22.0	3.6	1.9	ほぼ完形	イノシシ（牙）	玉抱き三叉文。貫通孔３	128-25	B123
10	銛頭	南１	D-74 / Ⅵ a・b	31.3	13.4	7.5	2.7	両端欠	シカ（角）	被熱による白色化	128-26	B127

第165図　C丘陵南斜面a包含層　出土骨角牙製品（2）

南2B層群からは、鏃や刺突具（第165図４・５）、匙、弭（同図６・７）、垂飾などが出土している。刺突具は２点とも骨製で、５には塗装材とみられる漆状の赤色顔料が残されている。弭はいずれも鹿角製である。

南2A層群からは、ヤスや刺突具、匙（第165図８）、垂飾または簪（同図９）などが出土している。垂飾または簪は猪牙製で、器体中央に穿たれた貫通孔を利用して「玉抱き三叉文」が施されている。

南１層群からは、銛頭（第165図10）や弭などが出土している。銛頭は鹿角を素材としており、被熱による白色化が見られる。

（6）木製品

木製品は、遺物包含層の南３層群（D-54区南Ⅵd層）と南１層群（D-57区東Ⅵa層）からそれぞれ、籃胎漆器が１点ずつ出土したのみである。いずれも小破片であったため図化しなかった。なお、南３層群出土のものについては写真図版10-6に出土状況を掲載している。

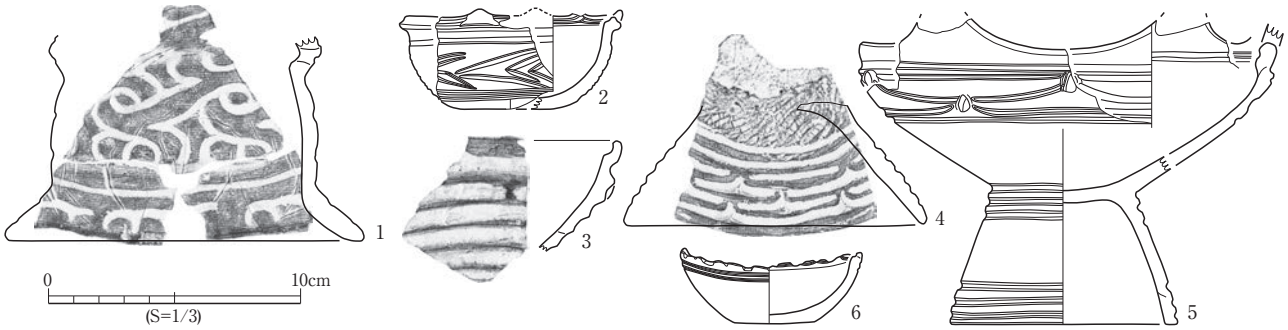
C. Ⅴ層～Ⅰ層ほかから出土した縄文時代の遺物

C丘陵南斜面a包含層が検出された調査区で、Ⅴ層～Ⅰ層ほかで出土した土器を第166図、土製品を第167図、石器・石製品を第168・169図に示した。

土器は、透かし彫りを伴う羊歯状文の施された台部（第166図１）やπ字文の施された台部（同図４）、変形工字文の施された台付浅鉢（同図５）などが出土している。

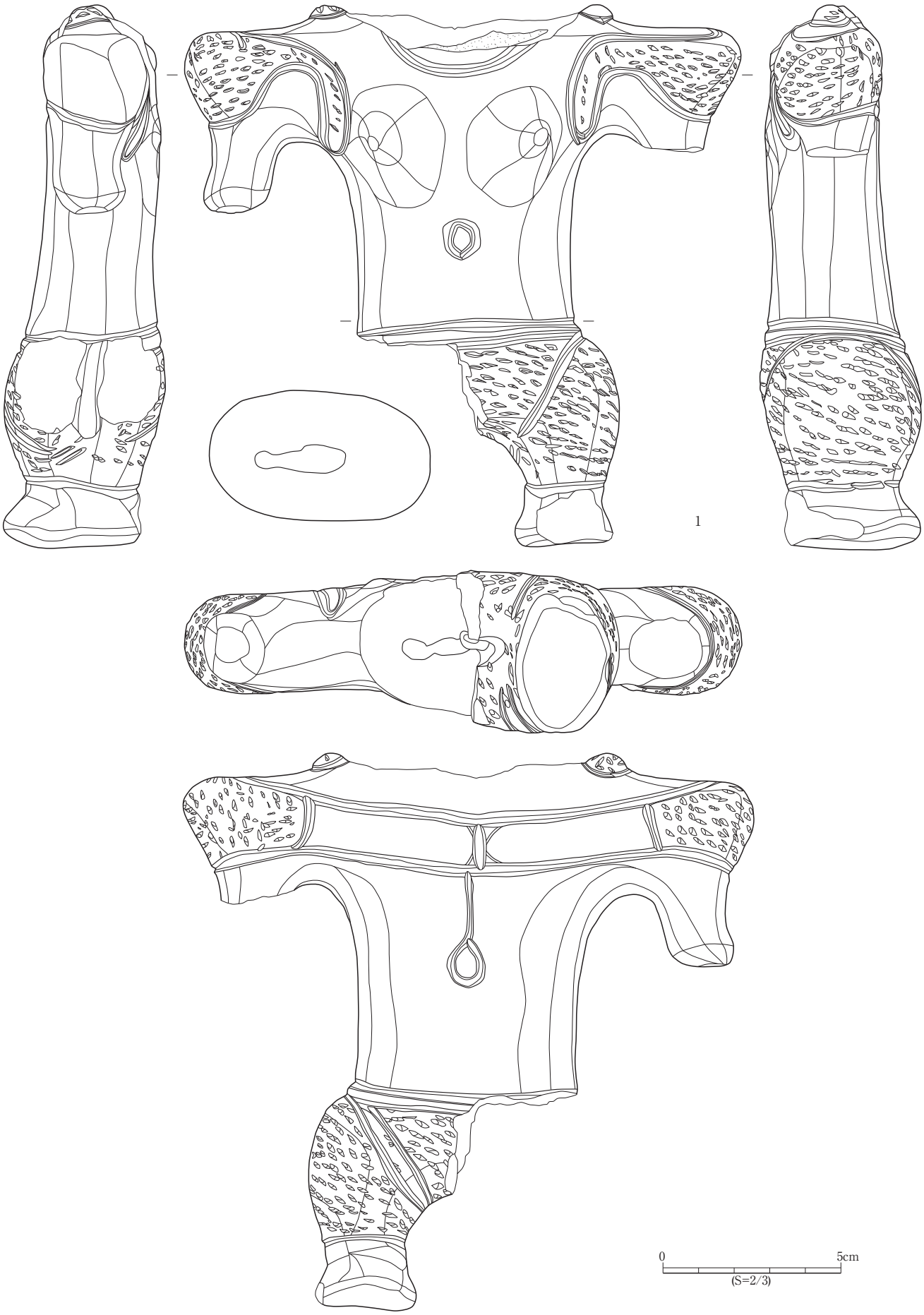
土製品は、大型の中空土偶（第167図１）などが出土している。肩部と脚が横に張り出す形状で、両肩や下半身に多数の刺突が施される。頭部と右脚が欠損している。

石器・石製品は、粘板岩製の環状石斧（第168図５）や粘板岩製の独鈷石（第169図２）、異形石器（同図３）、岩版（同図４）などが出土している。環状石斧は、貫通孔を剥離後に回転穿孔、平坦面を研磨、周縁を剥離により成形している。独鈷石は良質の粘板岩を素材としており、敲打後に研磨により成形が見られる。異形石器は碧玉B1類製で、石鏃と大きさや加工が類似する。線刻礫は凝灰岩製で、穿孔や沈線による擬人化の表現が見られる。



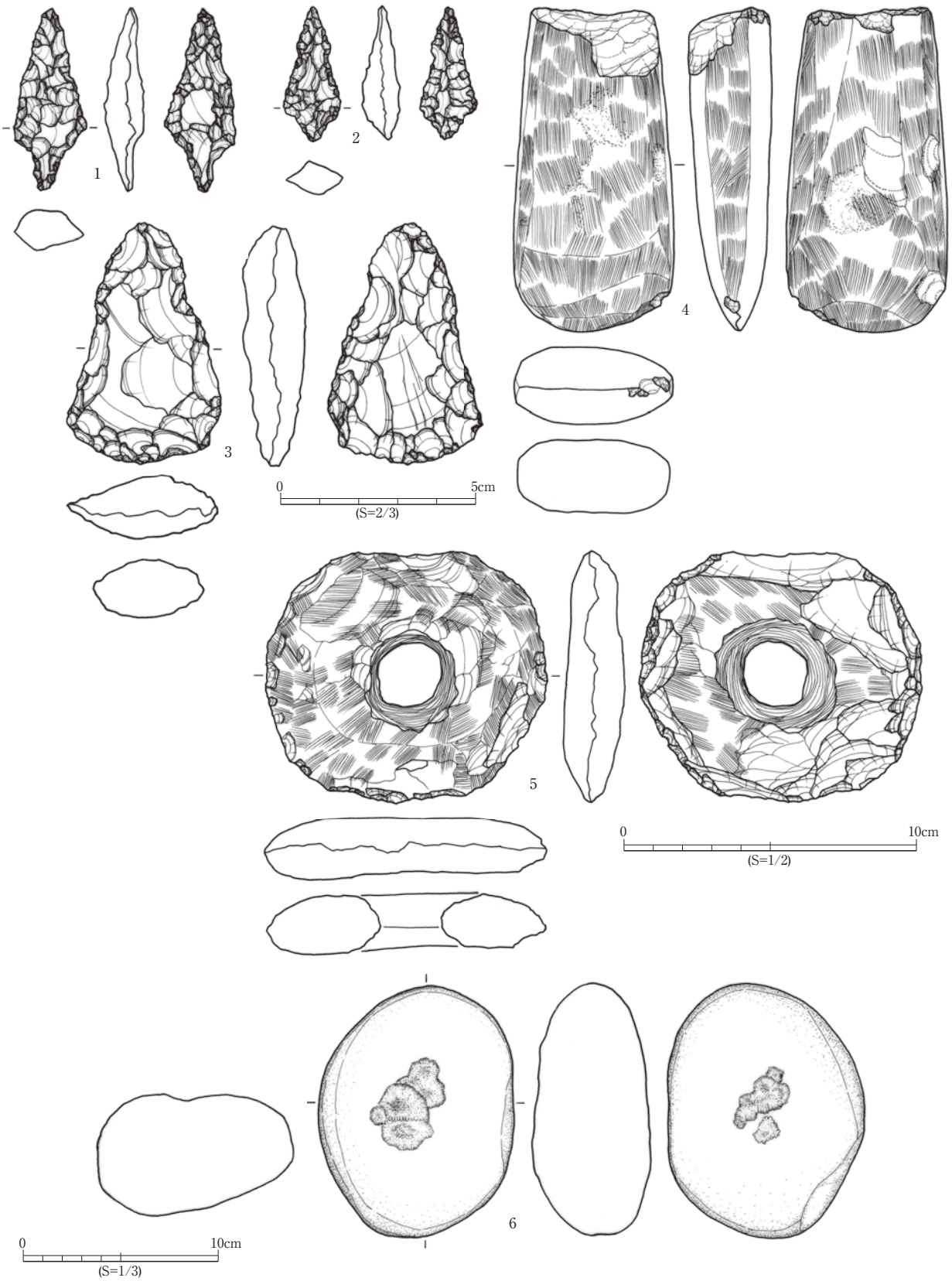
No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台部	-	Ⅳ	D-55 西 / 攪乱	台部径（14.3cm）。透かし彫りを伴う羊歯状文、沈線文、羊歯状文	129-1	Po764
2	浅鉢	B1cf	-	D-54 北 / 攪乱	口径（8.5cm）、器高 3.9cm、底径 4.3cm。平縁＋口縁端部沈線＋口唇部沈線＋山形突起。沈線文、矢羽根状沈線文、平行沈線文	129-2	Po633
3	浅鉢	A1c	Ⅷ	D-68 / Ⅰ	平縁＋口唇部沈線。メガネ状浮文、平行沈線文。内外面赤彩	129-3	Po2855
4	台部	-	Ⅸ a	D-68 / Ⅴ	口径（11.9cm）。平行沈線文、π字文３段。縄文Ｌ	129-4	Po2854
5	台付浅鉢	A3e	ＸⅠ	D-54 北 / Ⅰ	口径 16.0cm、器高 12.1cm、体部高 6.6cm、台部径 9.1cm。波状縁＋山形突起５単位か。変形工字文＋刺突２段５単位か、沈線文、平行沈線文。口縁部内面沈線	129-5	Po657
6	袖珍土器浅鉢	A1f	ＸⅡ x	D-59 / Ⅰ	口径（7.0cm）、器高 3.0cm、底径（3.2cm）。平縁＋二個一対の小突起＋連続弧状沈線文（羊歯状）。平行沈線文。底部ナデ。縄文 LR	129-6	Po1396

第166図　C丘陵突端部南斜面Ⅴ層、Ⅰ層ほか　出土土器



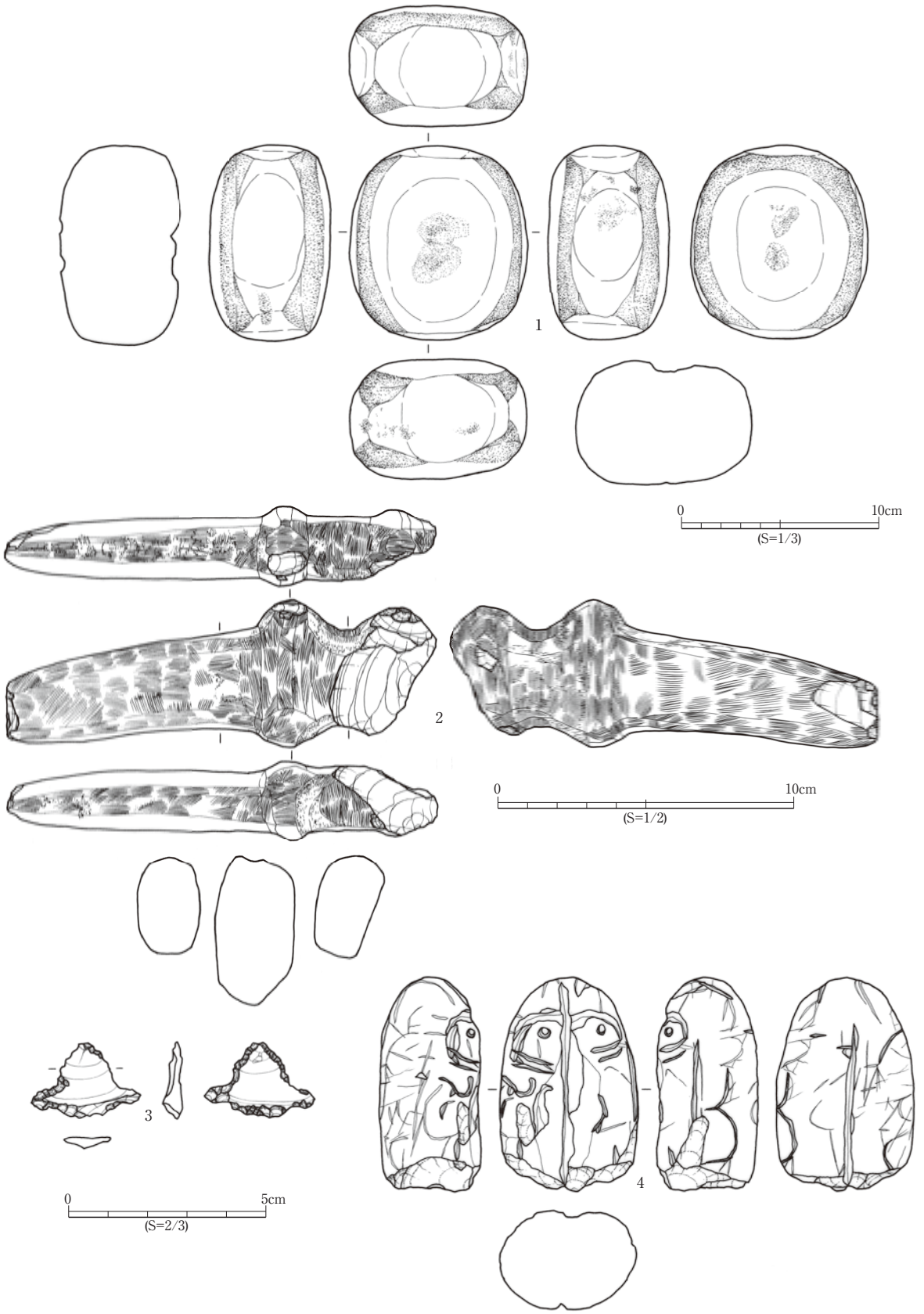
No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	土偶（頭部・右脚欠）	D-56 東 / Ⅰ	残存長 140.9mm、残存幅 153.5mm、最大厚 43.6mm。中空。胴部：首部に弧状沈線文、貼瘤 2（乳房）、環状沈線文（臍）、腰部に平行沈線文、刺突列。腕部：腋から肩・背中にかけて弧状の平行沈線文、両肩に刺突列、首の左右に貼瘤＋刺突。脚部：脚の付け根に沈線文、沈線文（足首）。背面：両肩を結ぶ平行沈線文＋縦位の沈線文、雨垂れ状の沈線文、腰部に平行沈線文、臀部から脚にかけて刺突列、脚の付け根に平行沈線文、沈線文（足首）	129-7	CO821

第167図　C丘陵突端部南斜面Ⅰ層　出土土製品



No.	器　種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏃	Ⅰ b2B	D-54 北 / 表土	碧玉 B2	46.7	17.1	8.7	5.46	完形	0	1	0	0	0		130-1	S2122
2	石鏃	Ⅰ b2B	D-56 東 / 排土	珪質凝灰岩 B	34.3	14.2	9.0	2.51	完形	0	0	0	0	0	両側辺に抉りが入る	130-2	S3869
3	石箆	Ⅱ	D-56 東 / 撹乱	玉髄	61.5	37.6	15.5	31.37	完形	0	0	0	0	0		130-3	S3813
4	磨製石斧	Ⅰ	D-54 北 / 撹乱	緑泥片岩	109.6	53.5	28.1	278.61	基部欠	0	0	刃部再	0	0		130-4	S2197
5	環状石斧	-	D-55 / 排土	粘板岩	95.6	84.8	20.2	194.34	完形	0	0	0	1	0		130-5	S3544
6	凹石	-	D-59 / 崩落土	安山岩質凝灰岩	129.9	101.4	62.2	978.00	完形	0	0	磨石→	1	0		130-6	S6301

第168図　C丘陵突端部南斜面Ⅰ層ほか　出土石器・石製品（1）



No.	器　種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	凹石	-	D-54 北 / 表土	安山岩	99.0	90.7	61.5	933.00	完形	0	0	磨石→	1	0		130-7	S2140
2	独鈷石	-	D-56 東 / 表土	粘板岩	48.1	144.0	26.6	198.31	一部欠	0	0	0	0	0		130-8	S3876
3	異形石器	-	D-59 / 崩落土	碧玉 B1	18.2	27.1	3.6	1.31	完形	0	2	0	0	0		130-9	S6300
4	岩版	-	D-55 / 表土	凝灰岩	53.6	34.7	25.9	35.30	一部欠	0	0	0	1	0		130-10	S13737

第169図　C丘陵突端部南斜面Ⅰ層ほか　出土石器・石製品（2）

3. C丘陵北斜面の遺構と遺物包含層

C丘陵突端部付近の北斜面は、南斜面と同様に遺物包含層（Ⅵ層）が広がっており、丘陵裾部には微高地が形成される。周囲に広がる湖沼の水位の上昇・下降に伴い、この微高地上に遺構が形成される時期が存在する。微高地上の遺構は、D-58区とD-62区で検出し、柱列跡１条、集石遺構１基、土器埋設遺構５基、土坑１基の他に、ピットが７個ある（第170図）。これらは、遺構検出面の層準や堆積土の特徴および出土遺物から、すべて縄文時代晩期の遺構とみられる。

ここでは、C丘陵北斜面で検出した遺構と、これらの遺構が形成される遺物包含層について記述する。

A. 遺　構

(1) 柱列跡

柱列跡はD-58区の１箇所で確認した。

【SA206柱列跡】

［位置］D-58区北側（第173図）

［検出面］Ⅵb層（北４層群）

［重複］なし。

［規模・構造］南北３間以上の柱列跡である。総長4.0mあり、柱間寸法は南から1.4m、1.3m、1.3mある。

［方向］北で18°東に偏する。

［柱穴］４箇所で確認した。直径17～38cmの円形や楕円形で、残存する深さが19～63cmある。埋土はＸ層起源の凝灰岩小礫を含む黒色～褐灰色シルト質粘土や粘土質シルトで（第173図）、柱痕跡を４箇所で確認した。柱痕跡は直径７～15cmの円形を呈し、１箇所（P2）で柱材が残存する。

［出土遺物］縄文土器深鉢やπ字文の施された浅鉢、石鏃などが出土している（第173図）。

(2) 集石遺構

集石遺構はD-58区で１基確認した。

【SX91集石遺構】

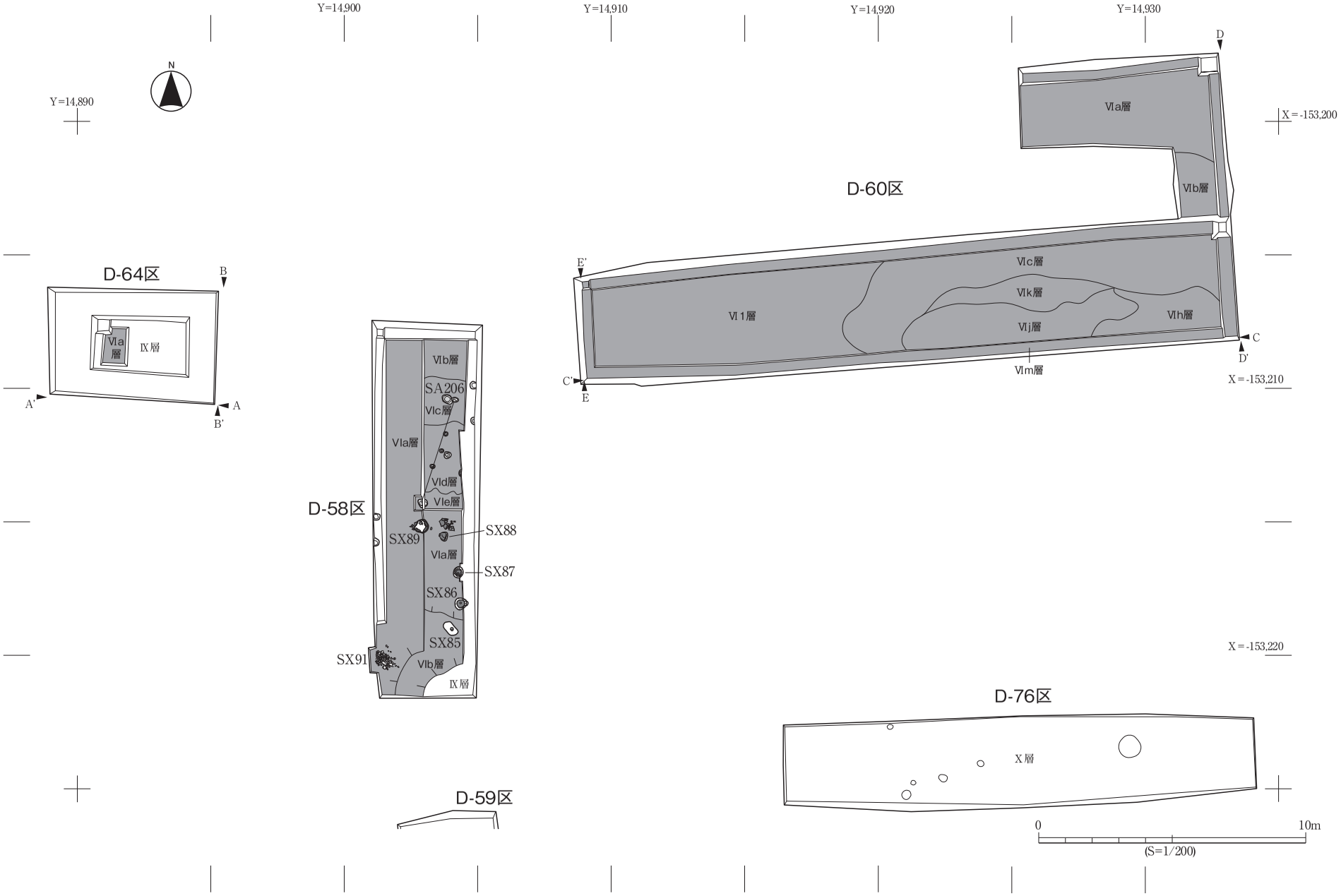
［位置］D-58区南側（第173図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

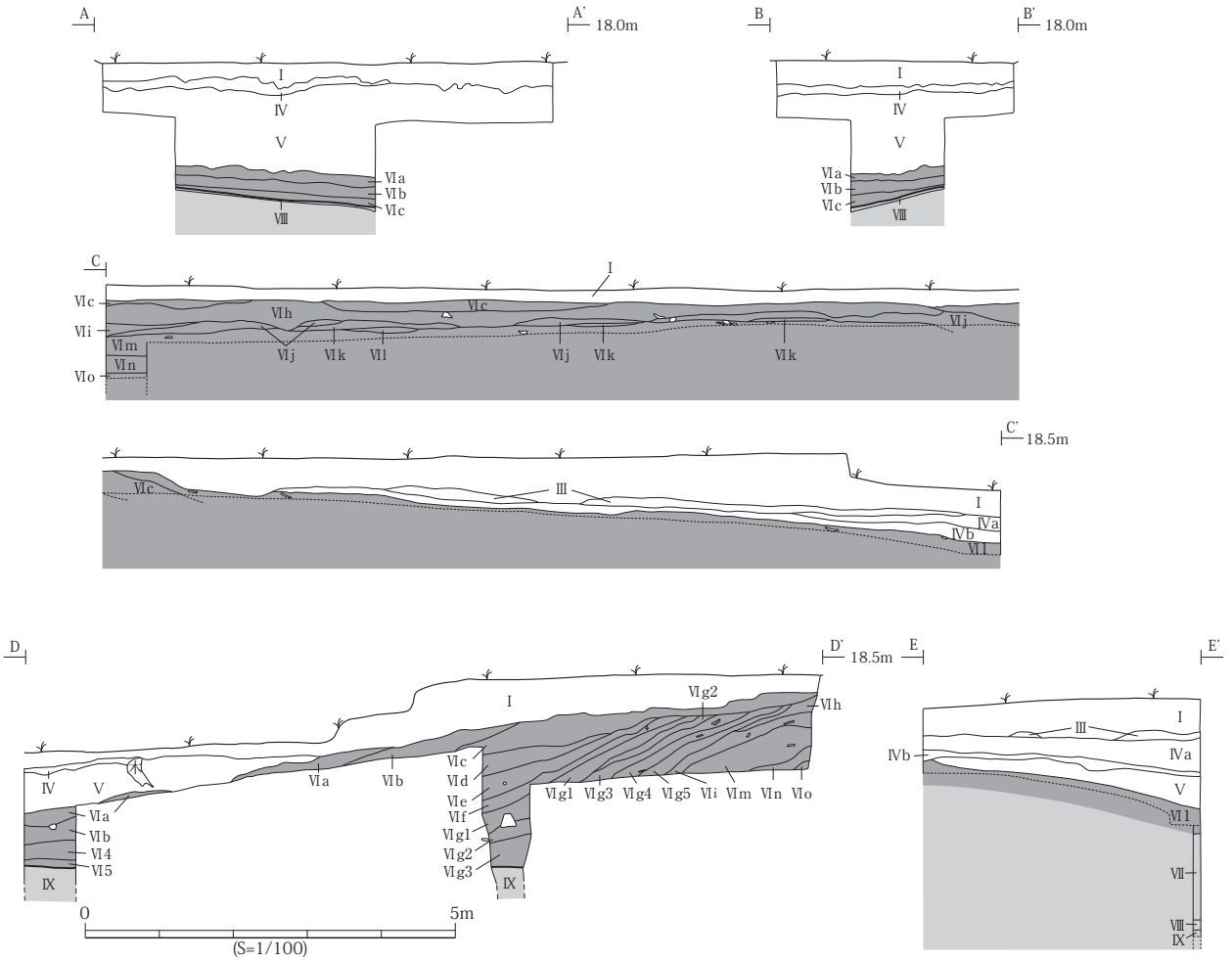
［重複］なし。

［規模・構造］掘り込みはない。遺物の分布は、長径約0.8m、短径約0.7mの円形を呈する。後世の洪水等の影響により一部の遺物が原位置から移動しているため、本来の範囲よりもやや広がっているとものと推定される。

［遺物集積の特徴］遺物はⅥa層上部（北1A層群）に分布する。大形の礫石器や自然石が主体であり、

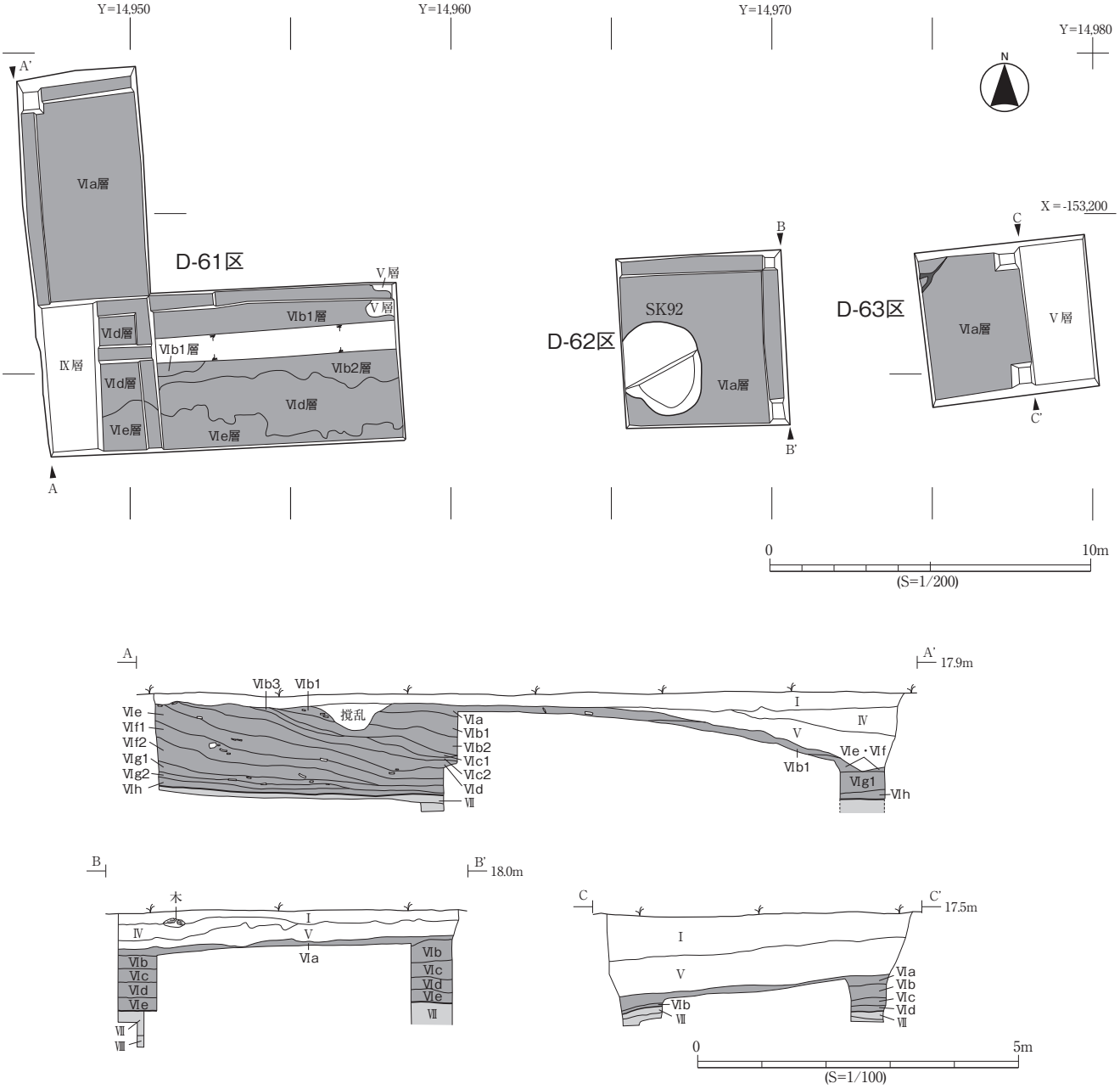


第170図　C丘陵北斜面調査区（西側）　平面図



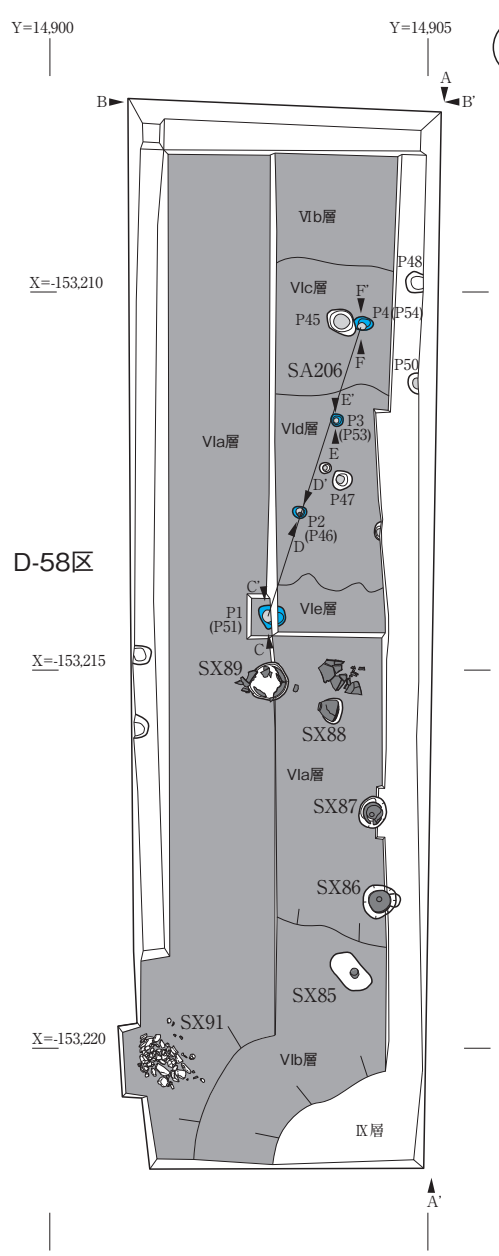
調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　　徴
D-64 区	A-A" B-B'	Ⅵ a	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモ多量
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモわずか
		Ⅵ c	灰黄褐色（10YR4/2）	シルト	
D-60 区	C-C' D-D' E-E'	Ⅵ 1	黒色（10YR2/1）	シルト質粘土	砂多量、スクモわずか　※Ⅵ a より上位か
		Ⅵ a	黒褐色（10YR2/2）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量
		Ⅵ b	黒褐色（10YR2/2）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、砂・炭化物粒少量
		Ⅵ c	黒褐色（10YR3/2）	シルト	小礫（Ⅹ層）多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ d	黒色（10YR2/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂やや多量
		Ⅵ e	黒色（10YR1.7/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂少量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ f	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）小ブロックやや多量
		Ⅵ g1	黒色（10YR2/1）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、炭化物粒少量
		Ⅵ g2	黒褐色（10YR3/1）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）ブロック多量、砂少量
		Ⅵ g3	黒褐色（10YR2/3）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）ブロック少量、砂少量
		Ⅵ g4	黒褐色（10YR3/2）	砂	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、砂やや多量
		Ⅵ g5	黒褐色（10YR2/2）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）小ブロック少量、炭化物粒わずか
		Ⅵ h	褐灰色（10YR4/1）	シルト	小礫（Ⅹ層）多量、地山（Ⅸ層）粒多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ i	黒褐色（10YR3/2）	シルト質砂	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、炭化物粒やや多量
		Ⅵ j	褐灰色（10YR4/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロック多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ k	黒色（10YR2/1）	シルト質粘土	炭化物粒やや多量
		Ⅵ l	褐灰色（10YR4/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック多量、炭化物粒少量
		Ⅵ m	黒褐色（10YR3/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）粒少量、炭化物粒少量
		Ⅵ n	黒褐色（10YR3/1）	シルト質砂	砂やや多量
		Ⅵ o	黒褐色（10YR2/2）	砂質シルト	砂少量
		Ⅵ 2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	砂やや多量　※Ⅵ g2 以下相当
		Ⅵ 3	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモ少量　※Ⅵ g2 以下相当
		Ⅵ 4	暗褐色（10YR3/3）	粘土	スクモ多量　※Ⅵ c 以下相当
		Ⅵ 5	黒褐色（10YR3/1）	粘土	※Ⅵ c 以下相当

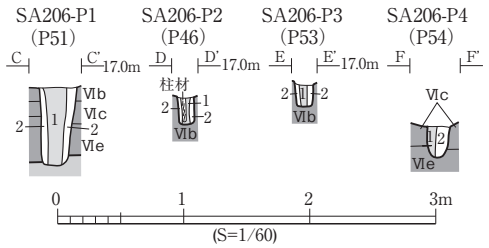
第171図　C丘陵北斜面調査区（西側）　断面図

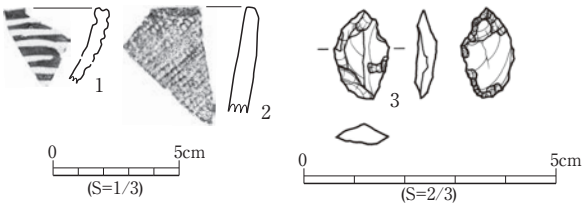


調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
D-61 区	A-A'	Ⅵ a	黒褐色（10YR2/3）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒多量、スクモ少量
		Ⅵ b1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒多量、スクモやや多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ b2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、砂やや多量、スクモやや多量、炭化物少量
		Ⅵ b3	黒褐色（10YR3/1）	砂質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロックやや多量、砂粒多量、スクモわずか
		Ⅵ c1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモやや多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ c2	黒褐色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、炭化物粒やや多量
		Ⅵ d	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、砂やや多量
		Ⅵ e	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロックやや多量、砂わずか、植物やや多量
		Ⅵ f1	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）大ブロック少量、スクモやや多量
		Ⅵ f2	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	粗砂やや多量
		Ⅵ g1	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	地山（Ⅸ層）大ブロック少量、スクモ・粗砂少量
		Ⅵ g2	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	スクモ多量、貝多量
		Ⅵ h	黒色（10YR2/1）	粘土	
D-62 区	B-B'	Ⅵ a	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	スクモやや多量、炭化物粒やや多量
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	砂・炭化物粒少量
		Ⅵ c	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	砂わずか、炭化物粒少量
		Ⅵ d	黒褐色（10YR2/1）	粘土質シルト	粗砂多量、炭化物粒少量
		Ⅵ e	黒褐色（10YR2/3）	シルト質粘土	スクモ少量
D-63 区	C-C'	Ⅵ a	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）ブロック少量、スクモ多量
		Ⅵ b	黒色（10YR2/1）	粘土	スクモ少量
		Ⅵ c	黒褐色（10YR2/2）	粘土	スクモ多量
		Ⅵ d	黒褐色（10YR2/3）	粘土	スクモわずか

第172図　C丘陵北斜面調査区（東側）　平面図・断面図



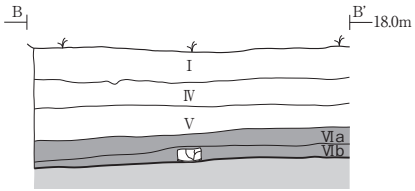


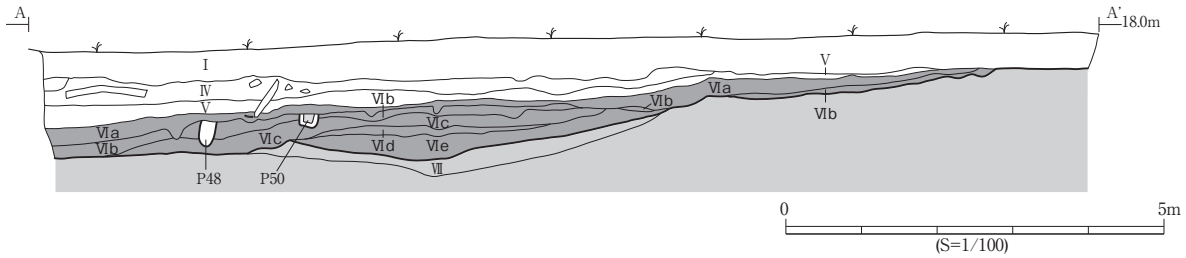


No.	器種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	A1c	Ⅸ a	D-58 北・SA206-P4 (P54) / 柱痕跡	平縁＋口縁端部沈線。平行沈線文、π字文（逆さ表現）、平行沈線文。口縁部内面沈線	134-4	Po1253
2	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	D-58 北・SA206-P3 (P53) / 堆積土	平縁。縄文 LR。外面炭化物付着	134-5	Po1252

No.	器種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)
3	石鏃	Ⅰ c1A	D58 北・SA206-P2 (P46) / 堆積土	碧玉 B1	17.3	9.8	3.2	0.63

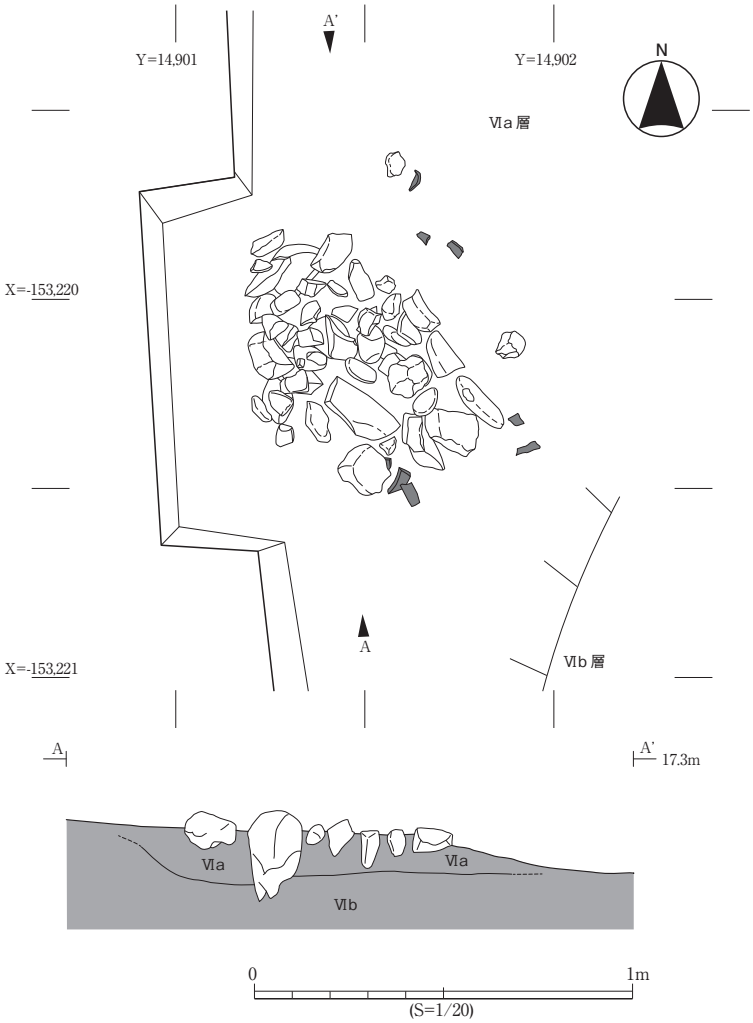
残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
完形	0	0	0	0	0		134-6	S5233





調査区 / 遺構	層　序		土　色	土　性	特　徴
D-58 区	A-A' B-B'	Ⅵ a	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒・砂少量
		Ⅵ b	灰黄褐色（10YR4/2）	シルト	砂やや多量
		Ⅵ c	灰黄褐色（10YR5/2）	砂質シルト	粗砂多量
		Ⅵ d	灰黄褐色（10YR4/2）	砂質シルト	砂やや多量
		Ⅵ e	黒褐色（10YR3/2）	粘土	砂少量、炭化物粒少量
P48	A-A'	1	黒褐色（10YR2/3）	粘土質シルト	砂やや多量
P50		2	黒色（10YR2/1）	シルト質粘土	砂わずか　【柱痕跡】
		3	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）小ブロックわずか、砂やや多量　【掘方埋土】
SA206-P1 (P51)	C-C'	1	黒色（2.5Y2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量　【柱痕跡】
		2	黒色（2.5Y2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量、砂やや多量　【掘方埋土】
SA206-P2 (P46)	D-D'	1	黒褐色（10YR3/1）	シルト質粘土	柱材あり　【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR2/2）	シルト	小礫（Ⅹ層）少量　【掘方埋土】
SA206-P3 (P53)	E-E'	1	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	小礫（Ⅹ層）少量　【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR2/3）	シルト質粘土	小礫（Ⅹ層）多量　【掘方埋土】
SA206-P4 (P54)	F-F'	1	黒褐色（10YR2/2）	シルト質粘土	小礫（Ⅹ層）少量　【柱痕跡】
		2	黒褐色（10YR2/2）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）多量　【掘方埋土】

第173図　D-58区（SA206柱列跡ほか）　平面図・断面図、出土遺物



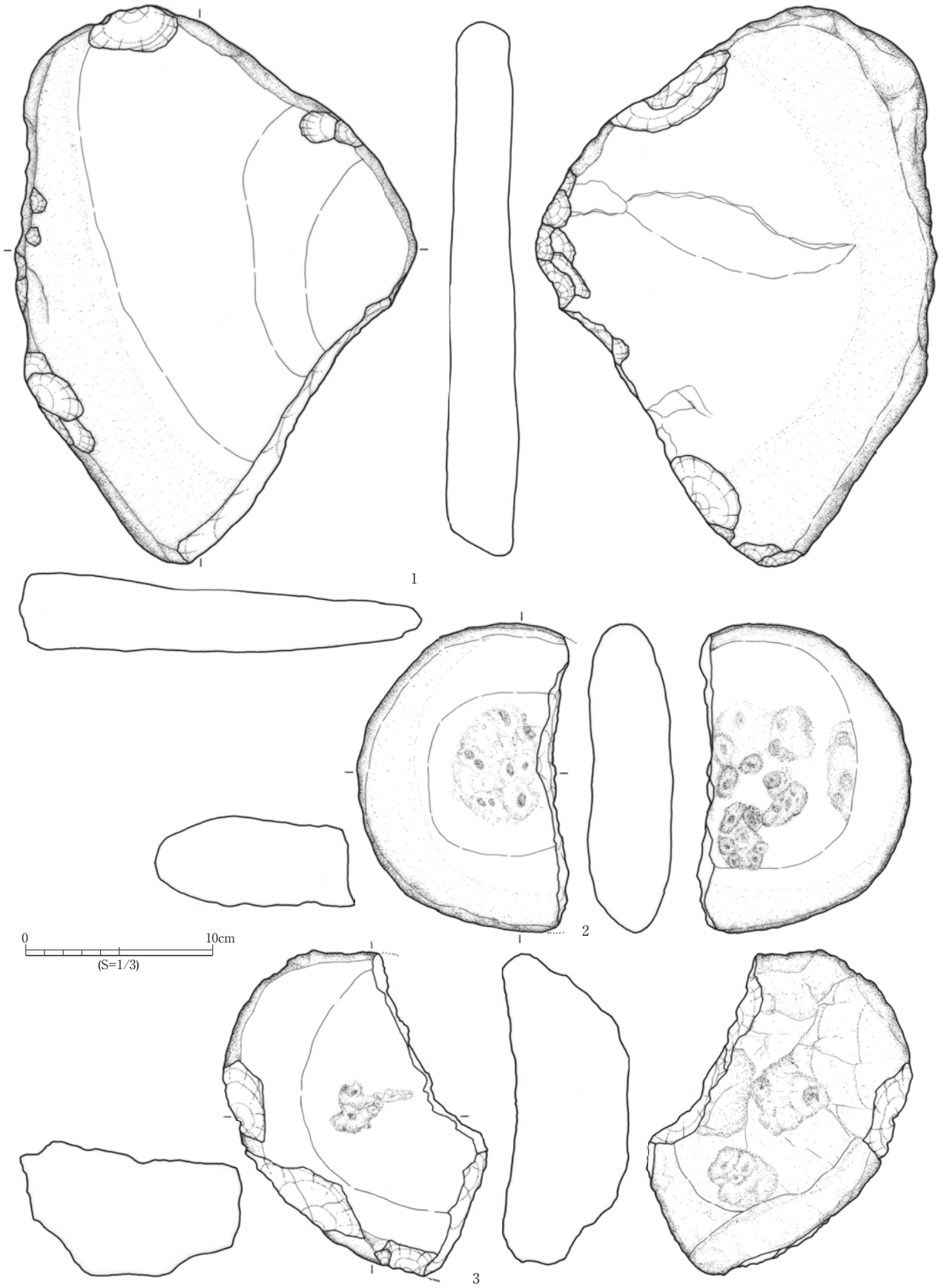
種別	器種	珪質頁岩B	頁岩	珪質凝灰岩B	凝灰岩	安山岩質凝灰岩	デイサイト質凝灰岩	粘板岩	安山岩	玄武岩質安山岩	デイサイト	ホルンフェルス	軽石	総計
石器	剥片	1						1						2
	計	1						1						2
礫石器	石皿				2		1		23	2	3			31
	磨石				2				7		1			10
	凹石											1		1
	砥石								1					1
	計				4		1		31	2	4	1		43
石製品	円盤状石製品								1					1
	計								1					1
自然石	石材							1						1
	礫		1	1		4			4		3		3	16
	計		1	1		4		1	4		3		3	17
総計		1	1	1	4	4	1	2	36	2	7	1	3	63

第174図　SX91集石遺構　平面図・断面図、遺物組成表

北西側では遺物が重なり合うように集積されているが、南西側になると重なりが見られなくなる。

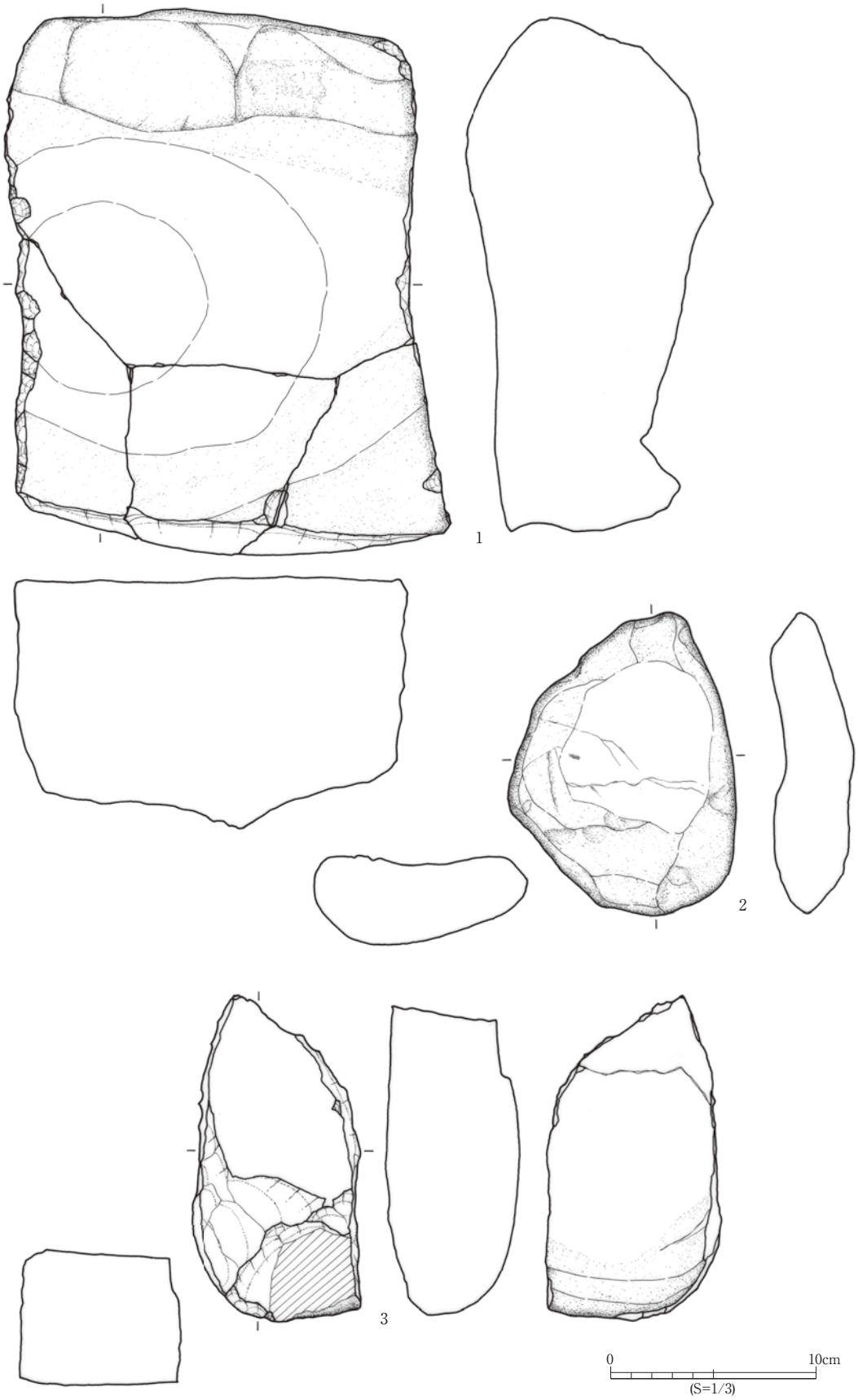
［出土遺物］出土した位置を三次元で記録して取り上げた遺物は、No.1～62（うち欠番10点）の52点あり、その他に、Ⅴ層中に包含され原位置を移動しとみられる遺物が11点ある。

集積された遺物には、石器、礫石器、石製品、自然石がある（第175～178図）。これらの内訳を第174図に示した。全体の約2/3が礫石器で構成され、なかでも石皿が31点と大部分を占める。次いで磨石が10点と多く出土している。自然石も17点あり、一定量が集積されている。剥片石器や石製



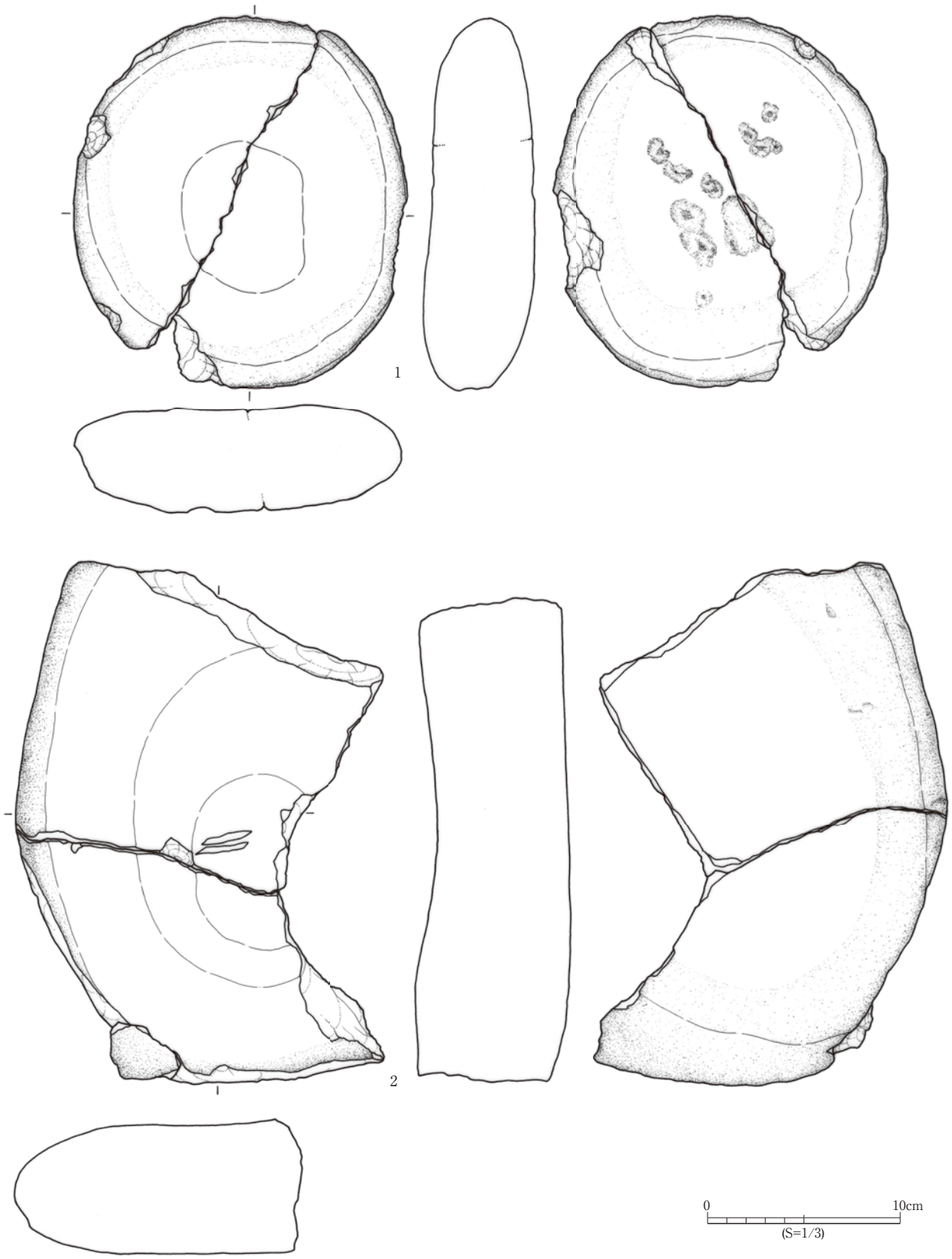
No.	種　別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	礫石器	石皿	安山岩	285.0	214.0	39.0	3120.00	0.7	完形	0	0	0	1	0		131-1	SX91-108
2	礫石器	石皿	安山岩	166.0	106.0	48.1	1296.00	0.9	一部欠	0	0	0	1	0	凹痕あり	131-2	SX91-8
3	礫石器	石皿	玄武岩質安山岩	181.0	102.0	62.0	1379.00	0.7	一部欠	0	0	0	1	0	凹痕あり	131-4	SX91-7

第175図　SX91集石遺構　出土石器（1）



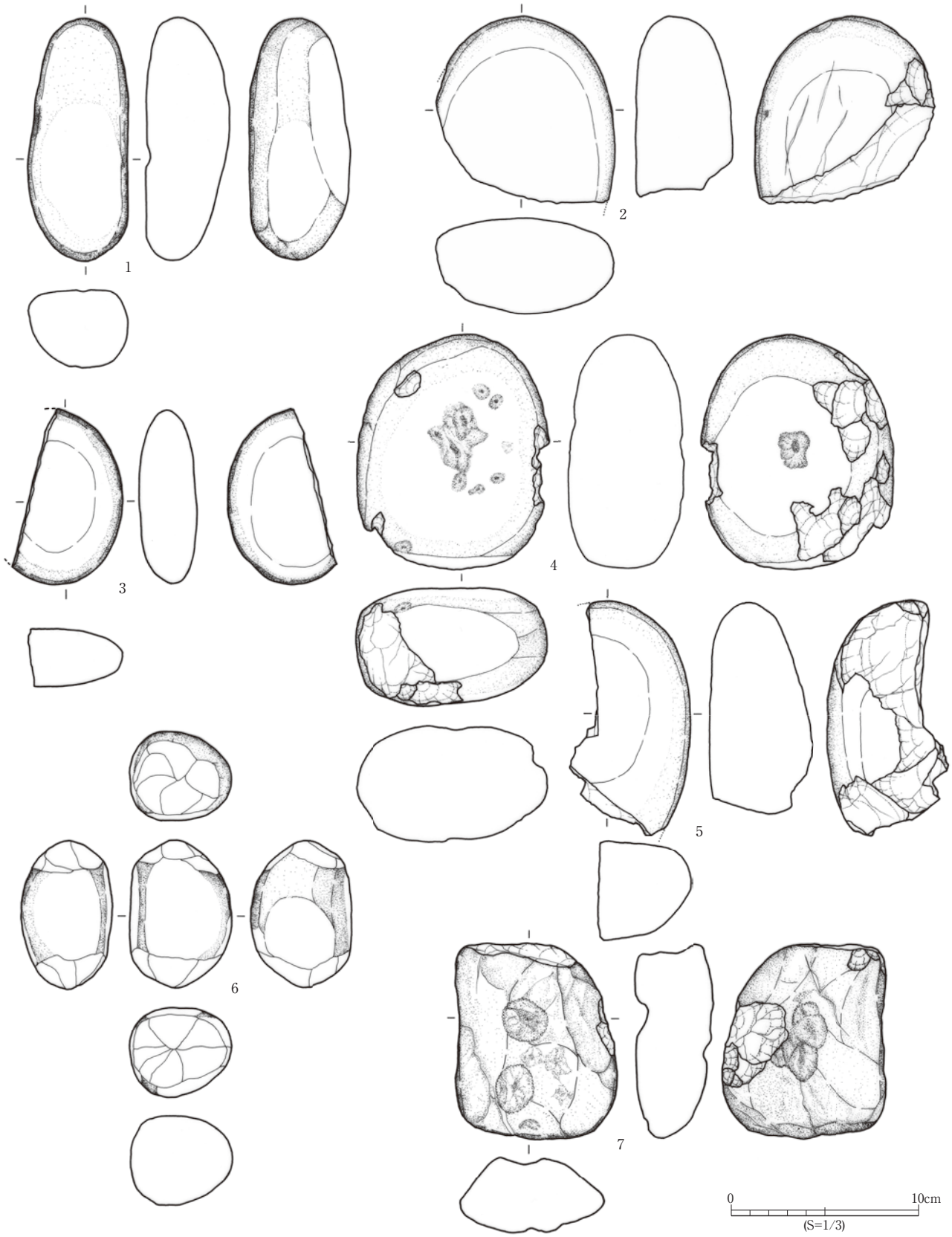
No.	種別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1a	礫石器	石皿	安山岩	102.6	94.2	71.6	797.00	不明	破片	1	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-20
1 b	礫石器	石皿	安山岩	90.0	99.9	79.1	761.00	不明	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-22
1c	礫石器	石皿	安山岩	131.2	58.0	91.2	871.00	0.6	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-27
1d	礫石器	石皿	安山岩	257.0	203.0	137.0	9650.00	0.7	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-32
2	礫石器	石皿	安山岩	147.0	110.0	41.0	783.00	0.7	完形	1	0	0	1	0		132-1	SX91-10
3	礫石器	石皿	安山岩	155.5	81.2	65.3	1331.00	不明	破片	1	0	0	1	0		132-2	SX91-12

第176図　SX91集石遺構　出土石器（2）



No.	種　別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1a	礫石器	石皿	安山岩	178.0	131.2	56.3	1437.00	0.8	一部欠	1	0	0	1	0	凹痕あり。3+60	132-3	SX91-3
1b	礫石器	石皿	安山岩	174.0	111.7	55.2	1151.00	0.8	一部欠	1	0	0	1	0	3+60	132-3	SX91-60
2a	礫石器	石皿	安山岩	155.0	172.0	85.3	2640.00	不明	破片	0	0	0	1	0	28+110	132-4	SX91-28
2b	礫石器	石皿	安山岩	177.0	188.0	84.7	3190.00	不明	破片	0	0	0	1	0	28+110	132-4	SX91-110

第177図　SX91集石遺構　出土石器（3）



No.	種　別	器　種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円磨度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	礫石器	磨石	デイサイト	129.9	53.8	41.9	370.83	0.9	完形	0	0	0	1	0		133-1	SX91-23
2	礫石器	磨石	安山岩	99.0	93.0	51.0	671.00	0.9	一部欠	0	0	0	1	0		133-2	SX91-51
3	礫石器	磨石	安山岩	93.2	54.0	32.0	248.05	0.9	一部欠	1	0	0	1	0		133-3	SX91-25
4	礫石器	磨石	安山岩	124.0	100.0	62.0	1156.00	0.9	一部欠	0	0	凹石→	1	0		133-4	SX91-58
5	礫石器	磨石	凝灰岩	125.0	60.0	55.6	522.25	0.9	一部欠	1	0	0	1	0		133-5	SX91-39
6	礫石器	砥石	安山岩	79.5	54.7	47.8	300.28	0.9	完形	0	0	磨石→	1	0		133-6	SX91-104
7	礫石器	凹石	ホルンフェルス	105.1	86.0	43.6	488.53	0.7	一部欠	0	0	0	1	0	全体摩滅	133-7	SX91-106

第178図　SX91集石遺構　出土石器（4）

品はそれぞれ剥片２点、円盤状石製品１点と少ない。本来は包含層中にあった遺物が埋没後に移動した可能性もある。石材は礫石器が多いため、安山岩が最も多く出土している。自然石では安山岩や安山岩質凝灰岩、デイサイト、軽石が多く見られ、礫石器の素材となりうる石材が主体となる。

(3) 土器埋設遺構

土器埋設遺構は、D-58区で５基確認した。うち４基は、出土状況を記録した後に完掘し、遺物を取り上げた。１基（SX85）は検出状況のみの記録にとどめ、保存のため埋め戻した。

【SX85土器埋設遺構】

［位置］D-58区南側（第173・179図）

［検出面］Ⅵb層（北４層群）

［重複］なし。

［規模・構造］長径59cm×短径34cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

［壁・底面］遺構確認に止めたため不明である。

［埋土］遺構確認面で、地山（Ⅸ層）小ブロックを多く含む褐灰色シルト質粘土を確認した。

［埋設土器］遺構確認にとどめたため底部のみの確認であるが、縄文土器が伏せた状態で埋設されている（第179図）。埋設土器は取り上げていない。

［出土遺物］埋設土器以外の遺物は出土していない。

【SX86土器埋設遺構】

［位置］D-58区南側（第173・179図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

［重複］P300と重複し、これよりも新しい。

［規模・構造］長径46cm×短径44cmの円形で、残存する深さが29cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

［埋土］１層確認し、地山（Ⅸ層）粒を少量含む黒色粘土質シルトである。また、土器内の土壌はX層起源の凝灰岩小礫をやや多く含む黒褐色粘土質シルトで、埋没後に自然に流入したものとみられる（第180図）。

［埋設土器］π字文の施された鉢（第181図１）が伏せた状態で埋設されている（第179・180図）。

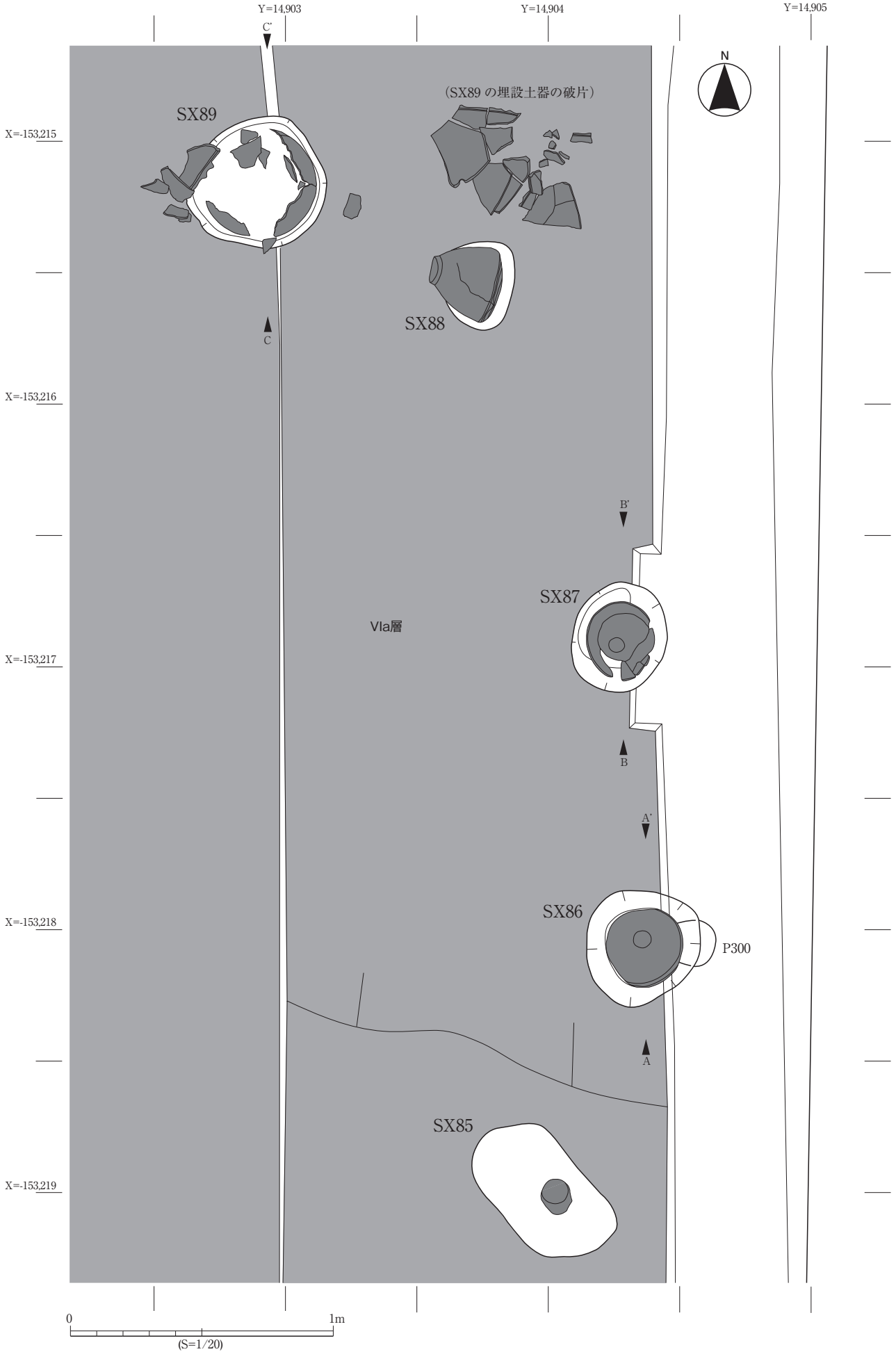
［出土遺物］埋設土器以外の遺物は出土していない。

【SX87土器埋設遺構】

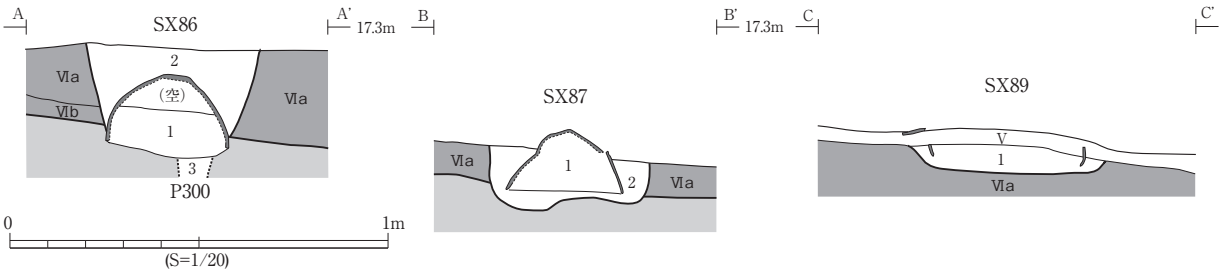
［位置］D-58区南側（第173・179図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

［重複］なし。

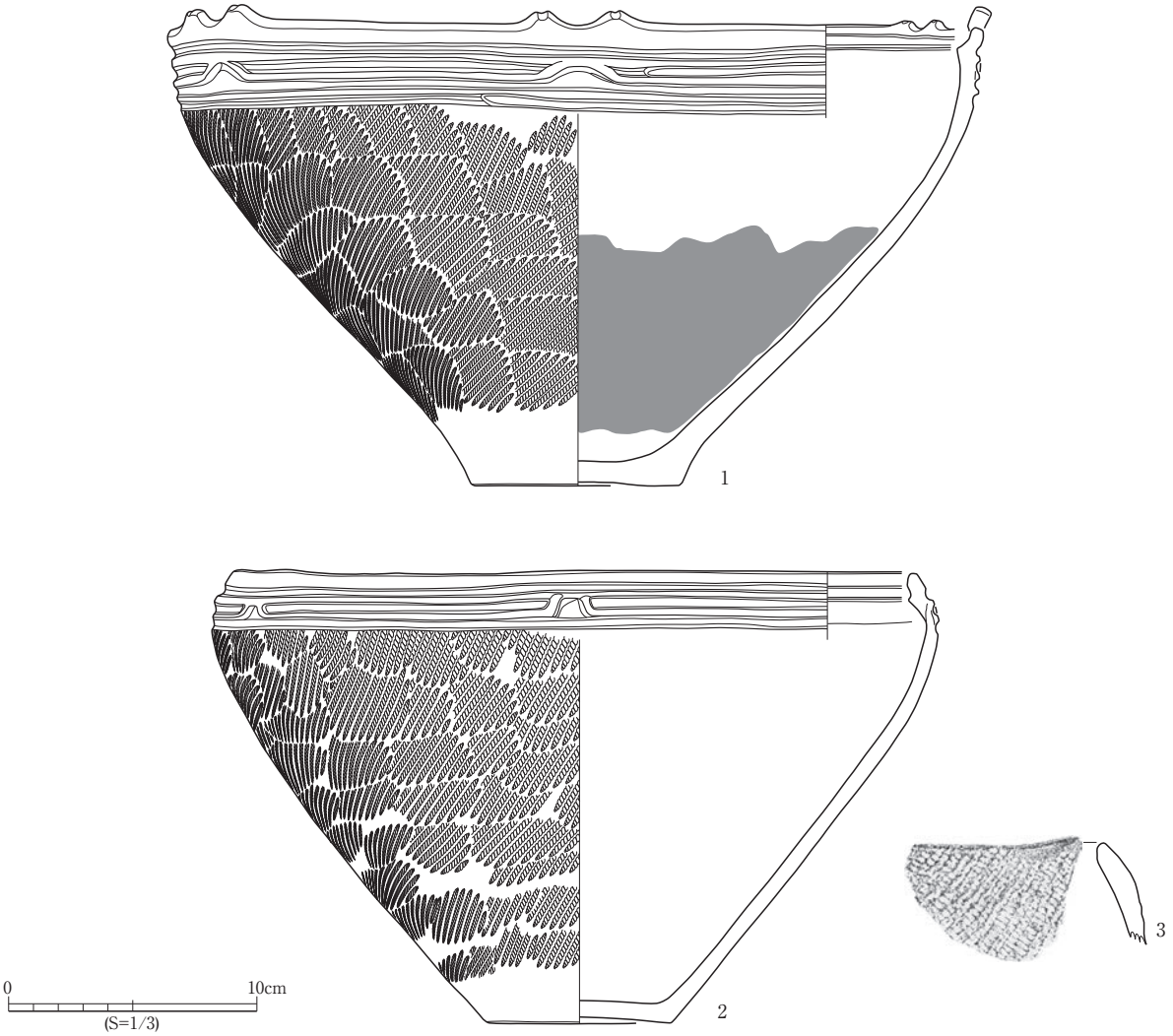


第179図　SX85・86・87・88・89土器埋設遺構　平面図



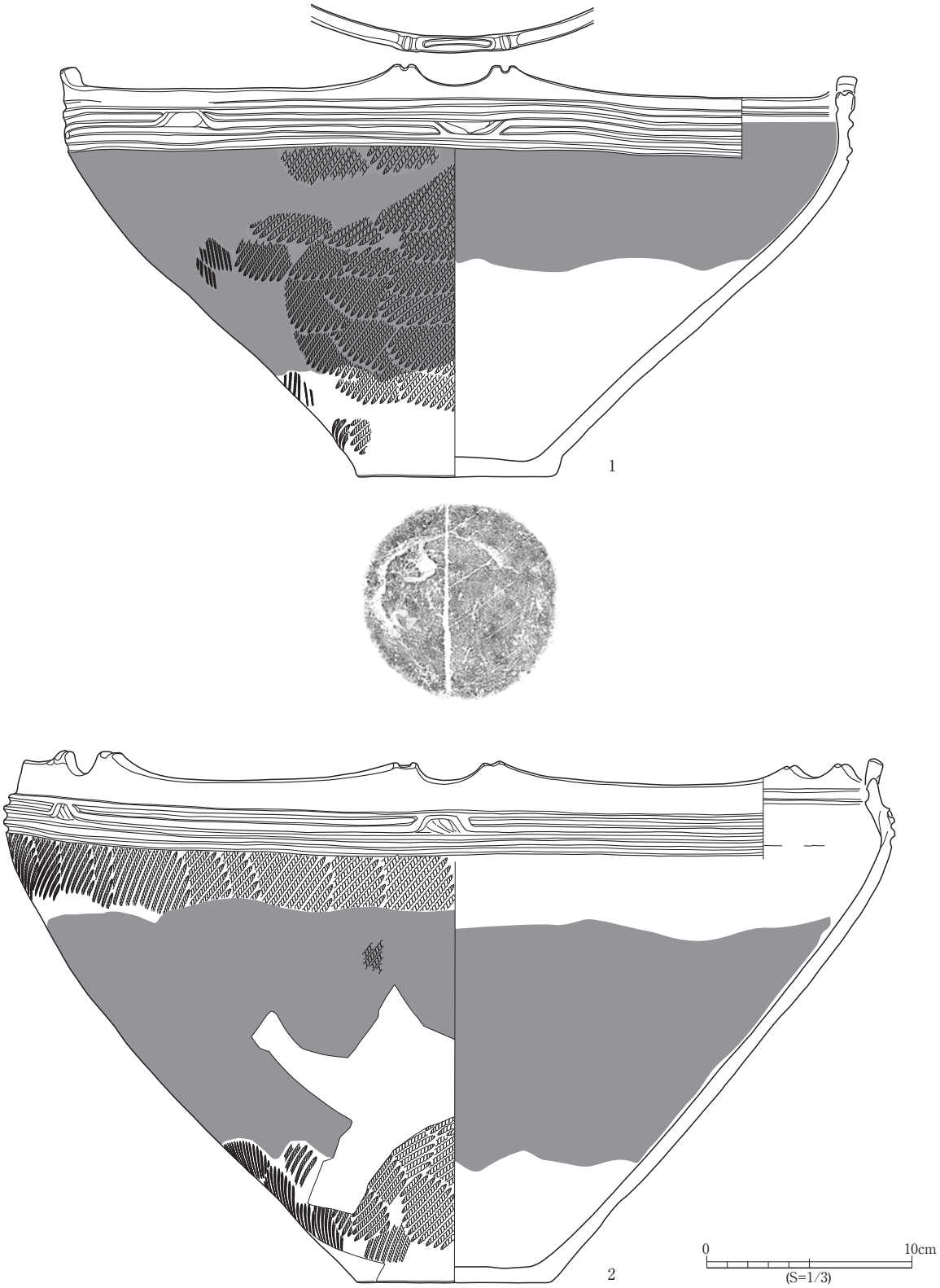
調査区 / 遺構	層序		土色	土性	特徴
SX86	A-A'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）やや多量 【混入土】
		2	黒色（2.5Y2/1）	粘土質シルト	地山（Ⅸ層）粒少量 【埋土】
P300		3	黒褐色（2.5Y3/1）	シルト	地山（Ⅸ層）粒中量
SX87	B-B'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）少量 【混入土】
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	小礫（Ⅹ層）多量 【埋土】
SX89	C-C'	1	黒褐色（10YR3/1）	粘土	小礫（Ⅹ層）多量、地山（Ⅸ層）粒少量 【埋土】

第180図　SX86・87・89土器埋設遺構　断面図



No.	器種	類型1	類型2	区・遺構 / 層	特徴	写真図版	登録
1	鉢	B1f	Ⅸa	D-58南・SX86 / 埋設土器	口径 32.6cm、器高 19.4cm、底径 8.2cm。平縁＋二個一対の山形突起（頂部刻み）6単位。π字文6単位、沈線文。縄文LR。底部木葉痕→ナデ。口縁部内面沈線。内面炭化物付着	134-1	Po1242
2	鉢	A1	Ⅸa	D-58南・SX87 / 埋設土器	口径 26.9cm、器高 18.3cm、底径 7.5cm。平縁。π字文6単位。縄文LR。底部ナデ、かるい上げ底。口縁部内面沈線。内面炭化物付着	134-2	Po1244
3	深鉢	A1	ⅩⅣa1	D-58南・SX87 / 掘方埋土	平縁。縄文LR	134-3	Po1243

第181図　SX86・87土器埋設遺構　埋設土器、出土遺物



No.	器種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1ce	Ⅸ a	D-58 南・SX88 / 埋設土器	口径 37.7cm、器高 20.1cm、底径 9.4cm。平縁 + 二個一対の山形突起（頂部刻み）+ 突起間沈線（一部）。π 字文 4 単位 + π 字文（逆さ表現）4 単位。底部木葉痕。縄文 LR。内外面炭化物付着	135-1	Po1245
2	鉢	B1e	Ⅸ a	D-58 南・SX89 / 埋設土器	口径 41.5cm、器高 25.9cm、底径 9.3cm。平縁 + 二個一対の山形突起（頂部刻み）6 単位。π 字文 6 単位、沈線文。底部ミガキ。縄文 LR。口縁部内面沈線。内外面炭化物付着	135-2	Po1246

第182図　SX88・89土器埋設遺構　埋設土器

［規模・構造］長径42cm×短径36cmの楕円形で、残存する深さが17cmある。

［壁・底面］底面は南側がやや深く掘りくぼめられており、壁は急に立ち上がる。断面形は不整な逆台形である。

［埋土］１層確認し、Ｘ層起源の凝灰岩小礫を多く含む黒色粘土質シルトである。また、土器内の土壌はＸ層起源の凝灰岩小礫を少量含む黒褐色粘土質シルトで、埋没後に自然に流入したものとみられる（第180図）。

［埋設土器］π字文の施された鉢（第181図２）が伏せた状態で埋設されている（第179・180図）。

［出土遺物］埋土から粗製の縄文土器深鉢（第181図３）が出土している。

【SX88土器埋設遺構】

［位置］D-58区南側（第173・179図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

［重複］なし。

［規模・構造］長径34cm×短径27cm以上の楕円形である。

［埋設土器］π字文の施された鉢（第182図１）が横に倒れた形で出土している（第179図）。斜面部に位置するため、後世の土壌堆積の影響により倒れたものとみられる。

［出土遺物］埋設土器内堆積土から人骨（臼歯歯冠部、指骨（手）末節骨）が出土している（分析編第２章）。

【SX89土器埋設遺構】

［位置］D-58区南側（第173・179図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

［重複］なし。

［規模・構造］長径54cm×短径50cmの円形で、残存する深さが８cmある。

［壁・底面］底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は皿形である。

［埋土］１層確認し、Ｘ層起源の凝灰岩小礫を多く含み、地山（Ⅸ層）粒を少量含む黒褐色粘土である（第180図）。

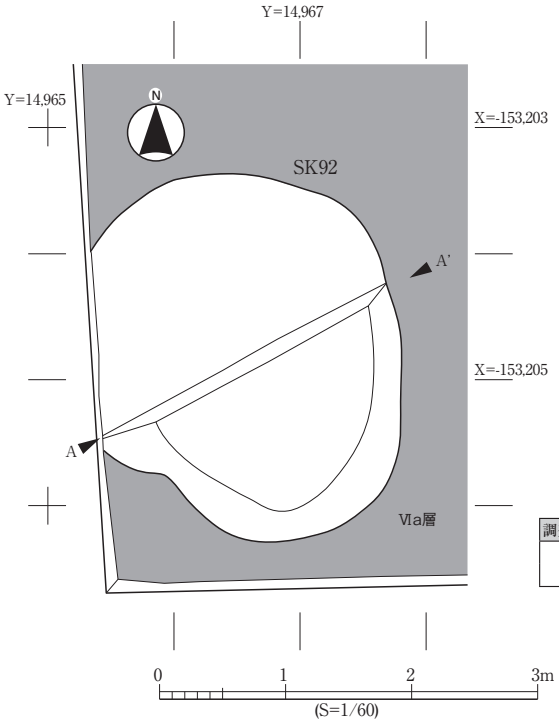
［埋設土器］π字文の施された鉢（第182図２）が伏せた状態で埋設されている（第179図）。遺構上部が後世の洪水の影響により攪乱を受けており、体部下半から底部の破片が東側に散布した状況で出土した。

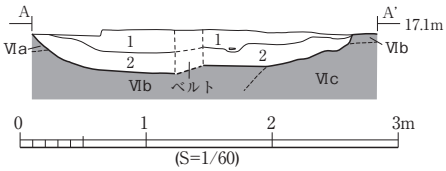
［出土遺物］埋設土器以外の遺物は出土していない。

（4）土坑

土坑はD-62区で１基検出した。

【SK92土坑】





調査区 / 遺構	層序		土　色	土　性	特　　徴
SK92	A-A'	1	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモ多量、炭化物粒・軽石やや多量
		2	黒色（10YR2/1）	粘土質シルト	スクモ少量、炭化物粒やや多量、軽石少量

第183図　SK92土坑　平面図・断面図

［位置］D-62区（第172・183図）

［検出面］Ⅵa層（北1A層群）

［重複］なし。

［規模・構造］長径3.1m、短径2.6m以上の不整な円形で、残存する深さが0.4mある。

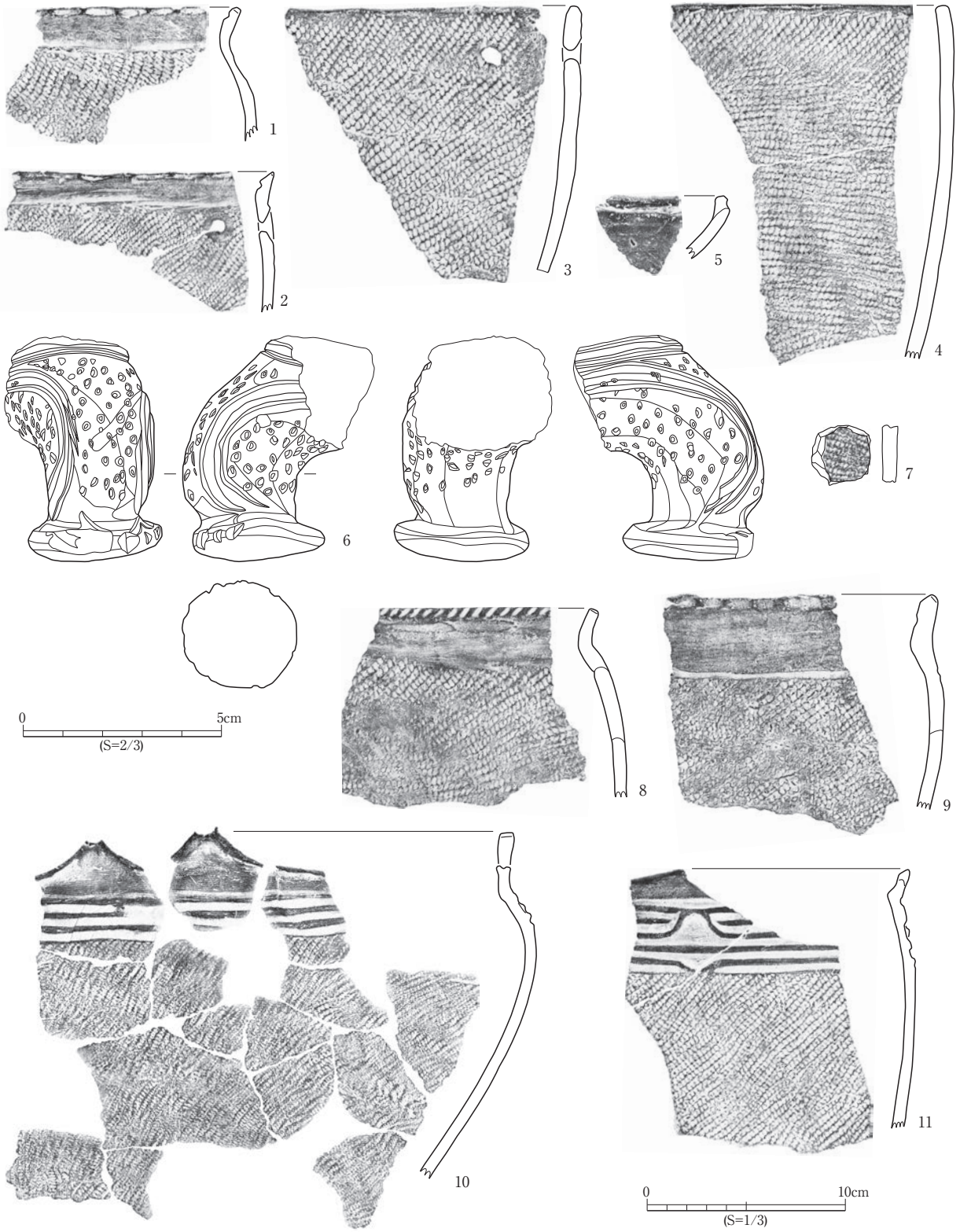
［壁・底面］底面は南西側がやや深く掘りくぼめられ、北東側は若干の凹凸を有する。壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

［堆積土］２層確認し、スクモや炭化物粒、軽石を含む黒色粘土質シルトが自然堆積している（第183図）。

［出土遺物］下層から、縄文土器深鉢（第184図１・２）や粗製深鉢（同図３・４）、浅鉢（同図５）、全体に刺突が施された土偶右脚（同図６）、円盤状土製品（同図７）、楔形石器、剥片などが出土している。上層からは、π字文の施された深鉢・鉢・浅鉢・台付浅鉢・壺（第184図10・11、第185図１～７）、変形工字文の施された浅鉢・台付浅鉢（第185図１・３・５～８）、石鏃（同図18・19）、石箆（同図20）、不定形石器、石皿、磨石、剥片などが出土している。

（5）その他の遺構等から出土した遺物

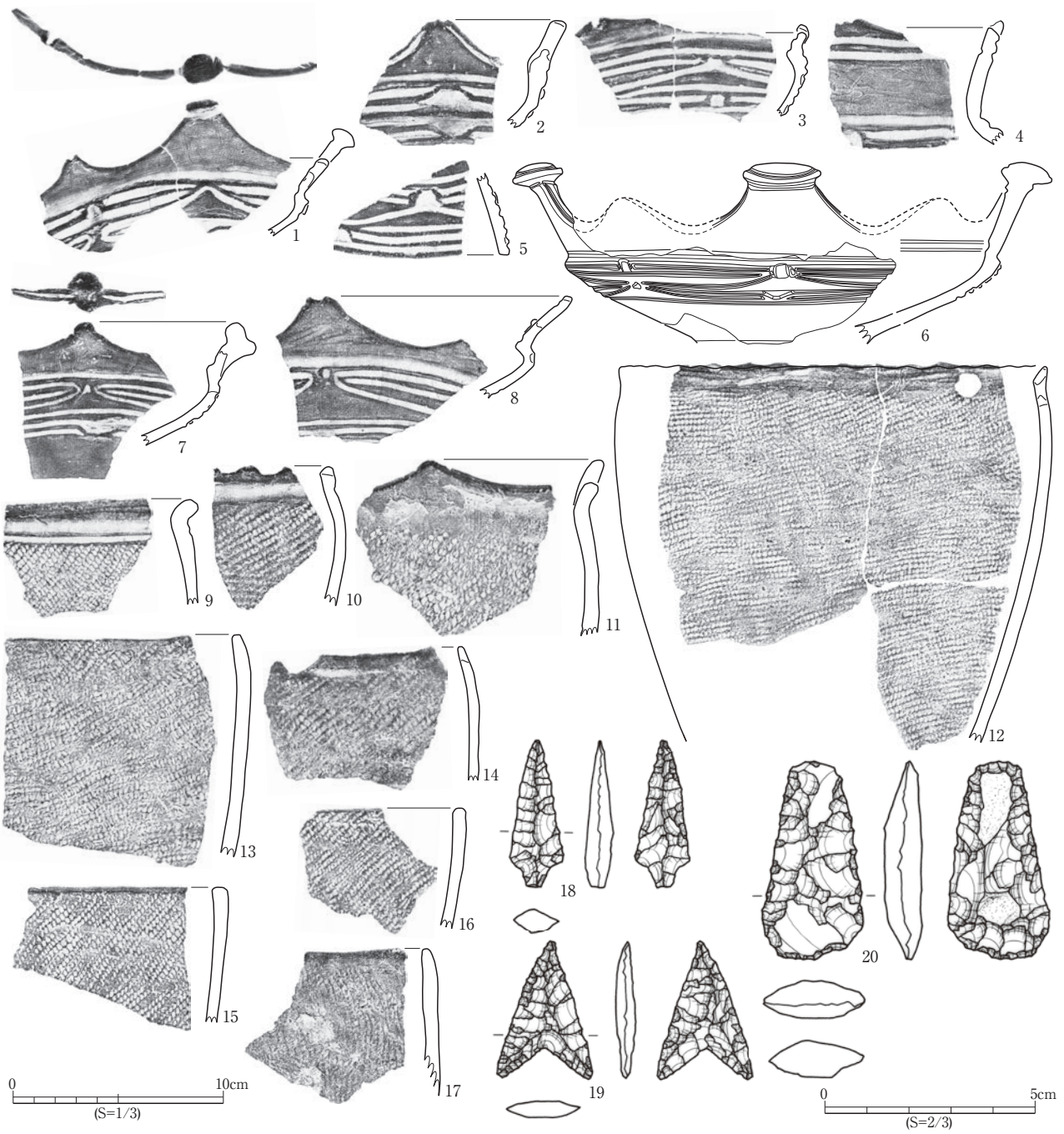
C丘陵突端部北斜面で確認したピットで、建物や柱列の柱穴として捉えられなかったものから出土した遺物を第186図にまとめて提示した。遺物が出土したピットの位置については第173図に示している。おもなものを取り上げると、P45の柱痕跡からπ字文の施された鉢が、P47の掘方埋土から平行沈線文の施された浅鉢が出土している。



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	深鉢	C2	XⅣ b1	D-62・SK92 / 2	波状縁。縄文 LR。口縁部内面沈線	136-2	Po2447
2	深鉢	C2	XⅣ b1	D-62・SK92 / 2	波状縁。縄文 LR。貫通孔 1。内外面炭化物付着	136-1	Po2448
3	深鉢	A1	XⅣ a1	D-62・SK92 / 2	平縁。縄文 LR	136-3	Po2445
4	深鉢	A1	XⅣ a1	D-62・SK92 / 2	平縁。結節縄文 LR。内外面炭化物付着	136-4	Po2444
5	浅鉢	A1	XⅢ	D-62・SK92 / 2	平縁。沈線文	136-6	Po2442
8	深鉢	B1	XⅣ b1	D-62・SK92 / 1	平縁 + 櫛歯状刻目。縄文 LR。外面炭化物付着	136-8	Po2472
9	深鉢	C2	XⅢ	D-62・SK92 / 1	波状縁。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	136-9	Po2455
10	鉢	C1ce	Ⅸ a	D-62・SK92 / 1	平縁 + 二個一対の山形突起（頂部刻み）+ 突起間沈線。π 字文、沈線文。前々段多条縄文 LR	136-10	Po2453
11	深鉢	B3c	Ⅸ a	D-62・SK92 / 1	波状縁か + 口唇部沈線。π 字文（上下対向）。縄文 LR。外面炭化物付着	136-11	Po2459

No.	器　種	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
6	土偶右脚	D-62・SK92 / 2	残存長 57.0mm、残存幅 45.0mm、最大厚 27.7mm。中実。胴部との境界に平行沈線文。弧状の平行沈線文、刺突列。足先が 4 叉以上に分かれる。背面：弧状の平行沈線文、刺突列	136-5	CO2452
7	円盤状土製品	D-62・SK92 / 2	長さ 30.1mm、幅 29.9mm、厚さ 7.6mm。縄文 LR。剥離	136-7	CO2443

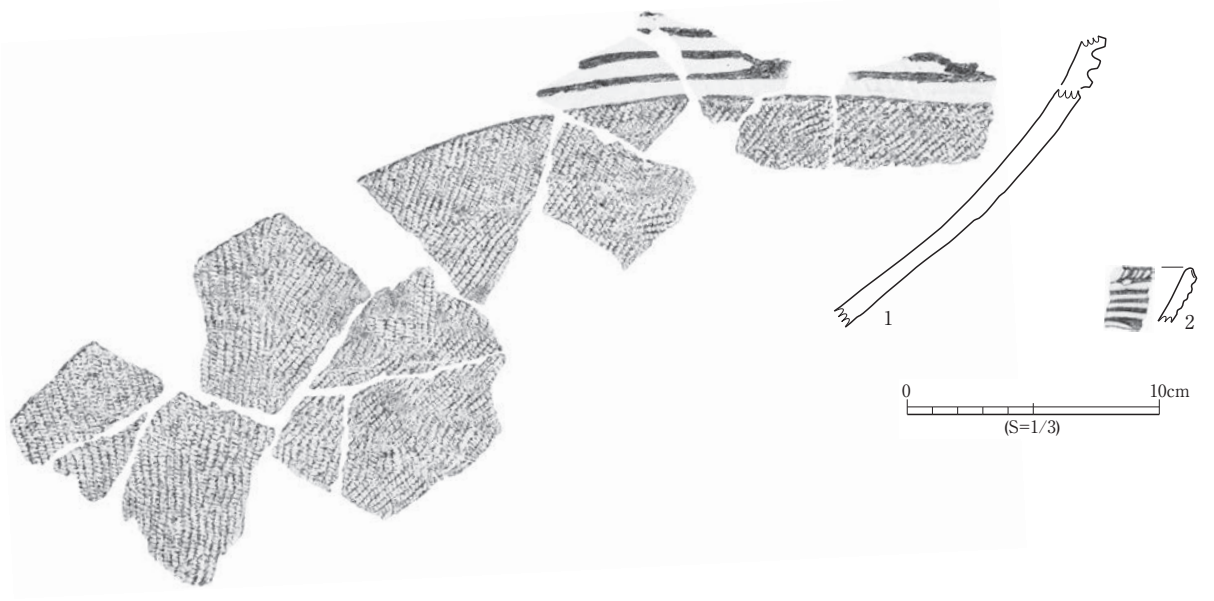
第184図　SK92土坑　出土遺物 1



No.	器　種	類型 1	類型 2	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	台付浅鉢	B3e	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 山形突起（円盤状飾り）。π字文、変形工字文 2 段、π字文（逆さ表現）。突起・口縁部内面沈線	136-12	Po2478
2	台付浅鉢	A3ce	Ⅸ a	D-62・SK92 / 1	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 突起間沈線 + 口唇部沈線。π字文（上下対向）	136-13	Po2463
3	浅鉢	B1cf	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1	平縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 口唇部沈線。変形工字文 + 刺突。π字文	136-14	Po2458
4	壺	F2?	Ⅸ a	D-62・SK92 / 1	波状縁か。平行沈線文、π字文。口縁部内面沈線	136-15	Po2467
5	台部	-	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1	変形工字文、π字文	136-16	Po2464
6	台付浅鉢	B3ce	Ⅸ b+ Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1・D-62 / Ⅵ a	口径（25.6cm）。波状縁 + 方形突起（円盤状飾り）+ 波底部沈線。π字文 + 二個一対の貼瘤 4 単位、変形工字文 + 二個一対の貼瘤 4 単位、変形工字文 + 刺突 4 単位、π字文（逆さ表現）4 単位。突起・口縁部内面沈線	136-17	Po2457
7	台付浅鉢	B1ce	Ⅸ a+ Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1	平縁 + 山形突起（装飾的飾り）+ 突起間沈線。変形工字文、π字文。突起・口縁部内面沈線	136-18	Po2474
8	台付浅鉢	B3ce	Ⅹ Ⅰ	D-62・SK92 / 1	波状縁 + 山形突起（頂部刻み）+ 突起間沈線。変形工字文 + 刺突、平行沈線文、変形工字文か。突起・口縁部内面沈線	136-19	Po2466
9	深鉢	B1	Ⅹ Ⅲ	D-62・SK92 / 1	平縁。沈線文。縄文 LR	136-20	Po2462
10	深鉢	B2	Ⅹ Ⅲ	D-62・SK92 / 1	波状縁。沈線文。縄文 LR	136-21	Po2468
11	深鉢	B3	Ⅹ Ⅳ b1	D-62・SK92 / 1	波状縁 + 山形突起。縄文 LRL	136-24	Po2460
12	深鉢	A2	Ⅹ Ⅳ b1	D-62・SK92 / 1	口径（20.4cm）。波状縁。縄文 LR。補修孔 1。外面炭化物付着	136-22	Po2454
13	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	D-62・SK92 / 1	平縁。直前段多条縄文 LR。内外面炭化物付着	136-23	Po2479
14	深鉢	A1df	Ⅹ Ⅲ	D-62・SK92 / 1	平縁 + 押圧 + 二個一対の小突起か。沈線文。縄文 LR。内外面炭化物付着	136-25	Po2480
15	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	D-62・SK92 / 1	平縁。直前段多条縄文 LR	137-1	Po2473
16	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	D-62・SK92 / 1	平縁。縄文 LR	137-2	Po2456
17	深鉢	A1	Ⅹ Ⅳ a1	D-62・SK92 / 1	平縁。縄文 R	137-3	Po2465

No.	器　種	類型	区・遺構 / 層	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
18	石鏃	Ⅰ a2B	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩 A	34.8	12.9	6.1	1.80	完形	0	0	0	0	B		137-4	S11227
19	石鏃	Ⅳ aB	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩 A	32.4	22.6	4.4	2.08	完形	0	0	尖頭部再	0	0		137-5	S11222
20	石篦	Ⅰ a1	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩 A	46.7	24.2	8.7	10.39	完形	0	0	0	1	0		137-6	S11223

第185図　SK92土坑　出土遺物２



No.	器　種	類型１	類型２	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	-	Ⅸ a	D-58 北・P45 / 柱痕跡 + Ⅵ a+ Ⅳ b	π字文（逆さ表現）。前々段多条縄文 LR。外面赤彩	137-8	Po1250
2	浅鉢	A1d	Ⅹ Ⅱ x	D-58 北・P47 / 掘方埋土	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文	137-7	Po1251

第186図　C丘陵突端部北斜面　ピット出土遺物

B. 遺物包含層

C丘陵北斜面における遺物包含層は、今回の発掘調査で３箇所検出した。便宜上、丘陵の先端部からa包含層、b包含層、c包含層と呼称する（第５図）。本項ではa包含層について記述する。

なお、本書に図を掲載した遺物の属性や特徴はすべて観察表に記しているため、本文中における遺物の個別の説明は原則として省略した。

（1）堆積状況と分布範囲

Ⅵ層をD-58・60・61・62・63・64区で検出し、縄文時代晩期を中心とした遺物が多量に含まれている状況を確認した。また、平成20年度の発掘調査ではこれらより西側のD-50区でも遺物包含層（Ⅵ層）を検出しており（宮城県教育委員会　2011）、その範囲は、東西約123m（D-50区とD-63区間の直線距離）、南北約23m（D-58区南西隅から、D-58区西壁の北延長線とD-61区北壁の西延長線の交点までの距離）となる。また、平成16年度に宮城県教育委員会が実施した確認調査（宮城県教育委員会　2005）では、D-60区の約50m北側で遺物包含層を検出しているため、南北は70m程度の長さである。なお、これらの北～東に位置するD-43・67区およびG-５・６区では地表下約2.0mまでの深度でいずれもⅥ層を確認できなかった。また、D-58区南東隅部およびD-76・77区は丘陵頂部にあたり、Ⅵ層の堆積はなかった。

前章で記述したように、Ⅵ層は土色や土性、含有物などの特徴から各調査区で複数の層に細分され、また調査区によりⅥ層の堆積状況が異なる。これらの細分層の土性や土色、含有物などの特徴から、北斜面におけるⅥ層を北1A～６層群まで８層に大別した（第3表）。さらに遺物が多く出土している範囲では、西側（D-58・60西側・64区）と東側（D-60東側・61・62・63区）でⅥ層の層厚や大別層群の有無に明瞭な差異が認められることから、２つに分けて記述する。

遺物包含層の西側では、D-60区からD-64区にかけて西に緩やかに傾斜する地形になっている。D-60区西側でⅥ層の傾斜が始まる地点からD-64区南壁西端まで、直線距離で約26.0m、Ⅵ層上面での比高は約1.9m、勾配は約7%である。南北の傾斜については、D-58区東壁で見ると北へ緩やかに傾斜する地形となっている。南側でⅥ層の傾斜が確認される地点から北壁まで、直線距離で約11.8m、Ⅵ層上面での比高は約0.8m、勾配は約８％である。また、D-60区西側では北西へ急傾斜する地形となっており、南壁から北壁まで直線距離で約3.8m、Ⅵ層上面での比高は約0.8m、勾配は約22%である。

西側各調査区で検出したⅥ層は多いところで５層に細分されるが、大別層群で見ると、北６層群と北４層群、北1A層群が堆積している。北６層群は西側のD-64区とD-58区でのみ確認し、北1A層群は広範囲に分布が認められる。

東側では、D-60区東側やD-61区ではⅥ層上部が削平されているため当時の地形は不明であるが、D-62区からD-63区にかけて東へ緩やかに傾斜する地形となっており、D-62区東壁南端からD-63区東壁南端まで、直線距離で約9.8m、Ⅵ層上面での比高は約0.5m、勾配は約５％である。南北の傾斜

については、D-60・61区の丘陵頂部に近い部分でⅥ層上部が削平されているため当時の地形は不明であるが、D-60・61区の北側では北に急傾斜する地形となっている。D-60区東壁で見ると、Ⅵ層直上のⅤ層の堆積が確認される地点から北壁まで、直線距離で約4.0m、Ⅵ層上面での比高は約0.8m、勾配は20%である。

東側各調査区で検出したⅥ層は最大で15層に細分されるが、大別層群で見ると、北６層群を除く層が堆積している。北５～2A層群は西側のD-60区およびD-61区のみで検出し、北1B・1A層群は東側のD-62区およびD-63区のみで検出した。

(2) 土器

遺物包含層から出土した縄文土器は遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）換算で95箱に相当する量が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

①遺物包含層西側における土器の層位別出土状況

遺物包含層西側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で25箱に相当する量が出土している。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

北６層群ではいずれの調査区でも小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢、注口土器がある。装飾は、三叉文（第187図３）、羊歯状文（同図４～６・８～11）が見られる。なかでも羊歯状文が多く出土している。

北４層群ではいずれの調査区でも中・小破片が主体で、出土量は少ない。器種は深鉢や鉢、浅鉢、皿、壺がある。装飾は、雲形文（第188図２～６）やメガネ状浮文（同図７）、工字文（同図12・13）、π字文（同図14）が見られる。

北1A層群では、丘陵裾部にあたるD-58区では中・小破片が多く出土し、大破片も出土する。D-64区では丘陵頂部から離れるにつれて遺物の出土は少なくなる傾向が見られる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、帯状文（第189図５）や列点文（同図６）、雲形文（同図７～14）、メガネ状浮文（同図９、第194図７）、工字文（第190図６）、π字文（同図７・９～13、第191図７～12、第192図１～４、第193図１～７、第194図１）、変形工字文（第193図３・５～７、第194図１～４）が見られる。なかでも、π字文や変形工字文が多く出土するようになる。

②遺物包含層東側における土器の層位別出土状況

遺物包含層東側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で70箱に相当する量が出土している。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

北５層群では大破片が多く出土し、ほぼ完形の個体も出土している。層下部では小破片が多く見られる。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、三叉文（第195図１～３・10）や羊歯状文（同図５～10）、列点文（同

図６・７・12・13・16)、雲形文（同図15～17、第196図１～３、第197図９～18、第198図１～２・４～18、第199図１～11、第200図１～10、第201図１・４～10、第202図１）、メガネ状浮文（第197図12・13・18、第198図１・２）、π字文（第206図１・２）が見られる。なかでも、雲形文が多く出土している。

北４層群では中・小破片が非常に多く出土し、大破片の出土は少なくなる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、台部、袖珍土器壺がある。装飾は、雲形文（第210図12～14・16・17・19～21、第211図３・４）やメガネ状浮文（第210図12・14～16)、工字文（第212図７）、π字文（第211図４、第212図６・８・９）が見られる。なかでも、雲形文が多く出土している。

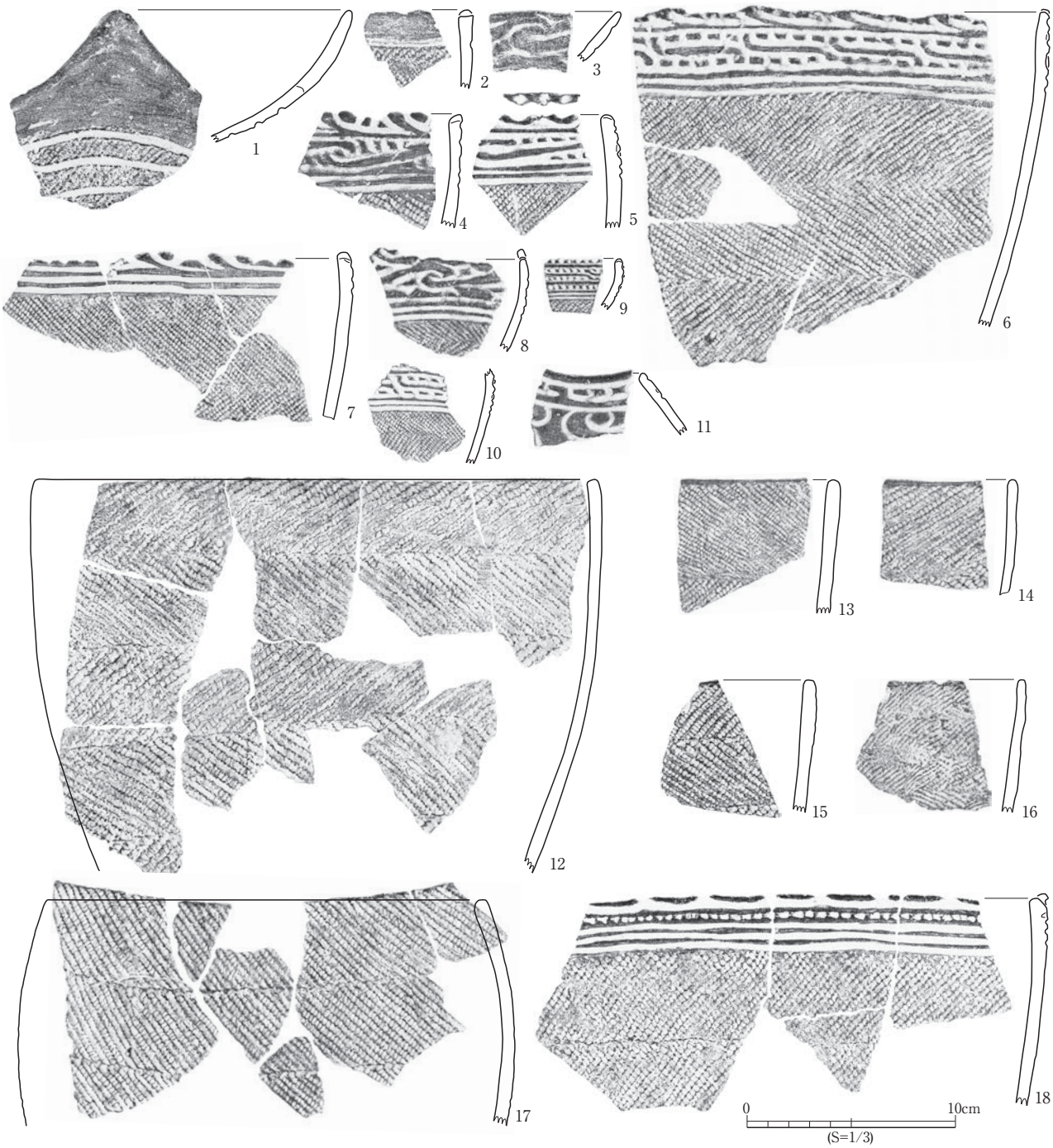
北３層群では大～小破片が多く出土している。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、四脚付壺、注口土器のほかに袖珍土器鉢・台付浅鉢・皿がある。また製塩土器（深鉢）が出土している。装飾は、帯状文（第214図１)、雲形文（同図２～６・９～11）やメガネ状浮文（同図２～４)、工字文（第216図１～３・９～11)、π字文（第215図７～10、第216図１・４～７・10・11・14)、変形工字文（第216図８・11）が見られる。なかでも、工字文やπ字文が多く出土するようになる。

北2B層群では小破片が主体で、大破片は少量見られる程度である。器種は深鉢や鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器深鉢・鉢・浅鉢・皿がある。また製塩土器（深鉢・鉢）が出土している。装飾は、羊歯状文（第220図１）や雲形文（同図３～９)、メガネ状浮文（同図２・３・５、第221図７)、工字文（第221図５・６、第222図６・８・12、第223図１)、π字文（第221図４、第222図１～11・13・17・18、第223図１)、変形工字文（第222図17・18、第223図１）が見られる。なかでも、工字文やπ字文、変形工字文が多く出土するようになる。

北2A層群では小破片が主体で、大破片は少量出土する程度である。器種は深鉢や鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、四脚付皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢がある。装飾は、雲形文（第224図４・８）やメガネ状浮文（同図２・３・15、第225図19)、工字文（第224図12・16～18、第225図５)、π字文（第224図19・20、第225図１～18、第226図３・６)、変形工字文（第225図12・18～21、第226図１～６）が見られる。なかでも、π字文や変形工字文が多く出土するようになる。

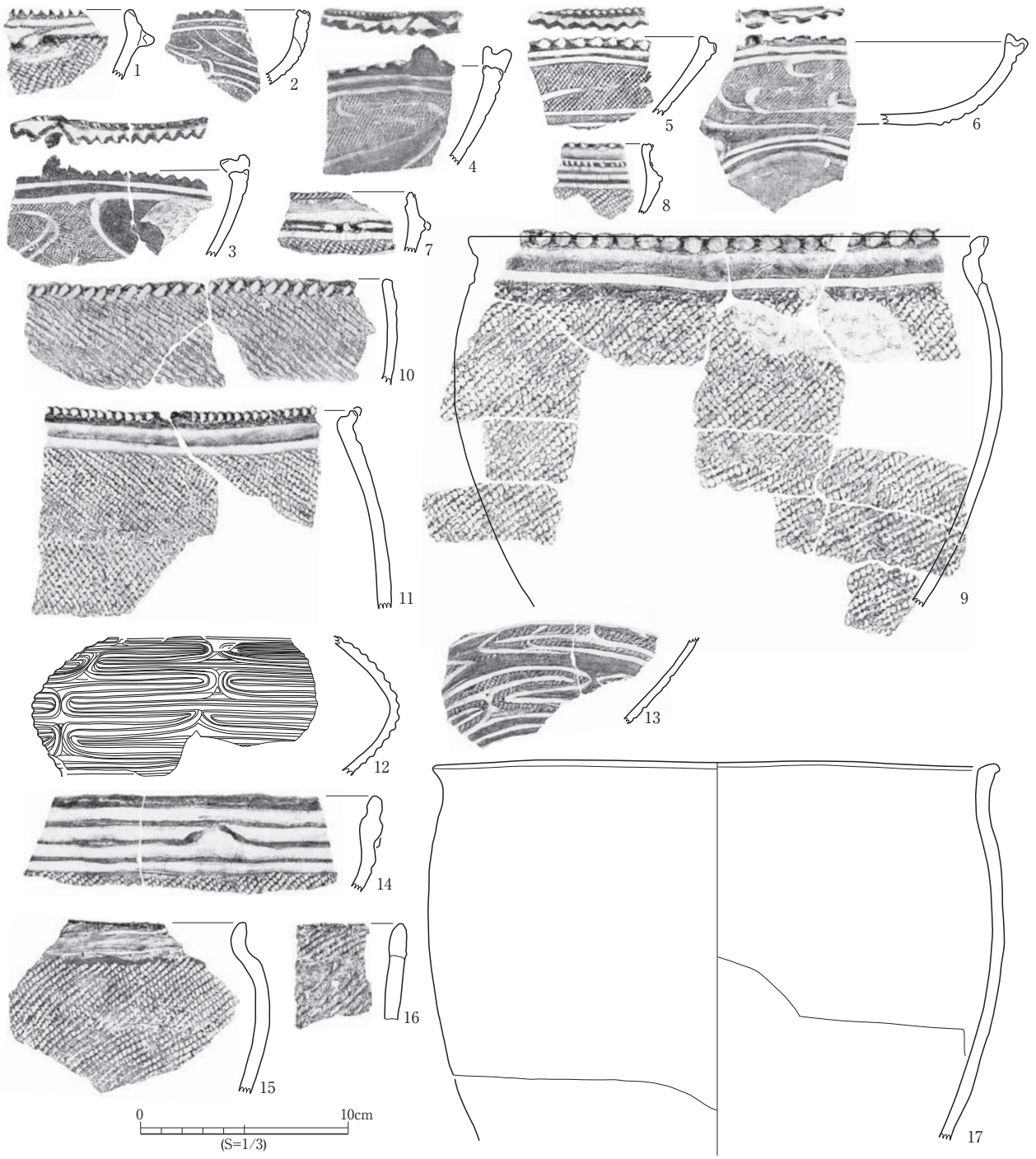
北1B層群では中・小破片がやや多く出土している。器種は深鉢や鉢、浅鉢、壺のほかに袖珍土器四脚付鉢がある。装飾は、メガネ状浮文（第228図８）や工字文（同図９)、π字文（同図９・10)、変形工字文（同図10・11）が見られる。

北1A層群は、D-62区では大・中破片が主体であるが、丘陵頂部からやや離れたD-63区では小破片が主体となる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、壺のほかに袖珍土器浅鉢・皿がある。また製塩土器（深鉢）が出土している。装飾は、工字文（第229図１）やπ字文（同図１～21、第230図１・２・６・７・９～11、第231図３)、変形工字文（第229図10・16～19・21、第230図１～13、第231図１～４）が見られる。なかでも変形工字文が多く出土するようになる。



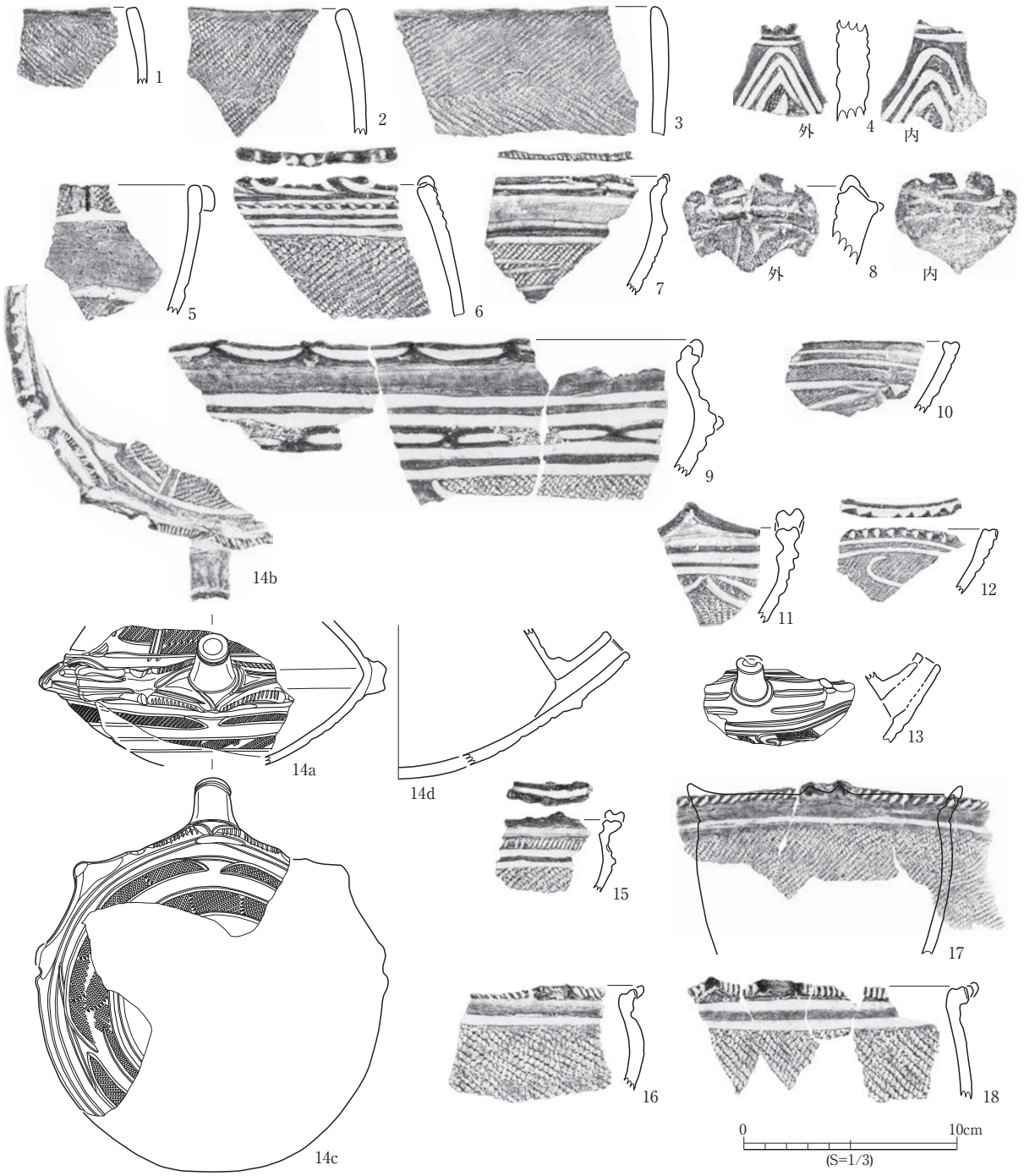
No.	器　種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	浅鉢	-	-	北 6	D-58 北 / Ⅵ c-e	波状縁。沈線文。縄文 LR	138-1	Po1120
2	深鉢	A1cdf	XⅢ	北 6	D-58 北 / Ⅵ d・e	平縁 + 押圧 + 小突起 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 LR/RL	138-2	Po1119
3	鉢	A1	Ⅲ c	北 6	D-58 北 / Ⅵ e	平縁。入組三叉文	138-3	Po1110
4	深鉢	A1df	Ⅳ	北 6	D-64 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。羊歯状文、平行沈線文。縄文 RL	138-4	Po2556
5	深鉢	A1cd	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 連続弧状沈線文。羊歯状文、平行沈線文。縄文 LR	138-5	Po1126
6	深鉢	A1df	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ e	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。羊歯状文、平行沈線文。羽状縄文 LR/RL。内面炭化物付着	138-12	Po1108
7	深鉢	A1df	XⅡx	北 6	D-58 北 / Ⅵ c+ Ⅵ b	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起（羊歯状）。平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	138-8	Po1123
8	鉢	A1f	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	平縁 + 突起（羊歯状）。羊歯状文、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	138-6	Po1113
9	鉢	A1df	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ c	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起。羊歯状文、平行沈線文。縄文 LR	138-7	Po1122
10	鉢	-	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	羊歯状文、平行沈線文。羽状縄文 RL/LR	138-9	Po1114
11	注口土器	C1	Ⅳ	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	平縁。羊歯状文	138-10	Po1117
12	深鉢	A1	XⅣa2	北 6	D-58 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	口径（27.0cm）。平縁。羽状縄文 LR/RL。内外面焼けハジケ	138-13	Po1125
13	深鉢	A1	XⅣa2	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	平縁。羽状縄文 RL/LR。外面炭化物付着	138-11	Po1111
14	深鉢	A1	XⅣa2	北 6	D-58 北 / Ⅵ e	平縁。羽状縄文 LR/RL	138-14	Po1109
15	深鉢	A1	XⅣa2	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	平縁。羽状縄文 LR/RL 末端部強調	138-15	Po1116
16	深鉢	A1	XⅣa2	北 6	D-58 北 / Ⅵ d	平縁。羽状縄文 LR/R	138-16	Po1115
17	深鉢	A1	XⅣa1	北 6	D-58 北 / Ⅵ c+ Ⅵ b	口径（19.7cm）。平縁。縄文 RL 末端部強調	138-17	Po1127
18	深鉢	A1c	XⅡb	北 4	D-58 北 / Ⅵ b+ Ⅵ a	平縁 + 連続弧状沈線文。刺突列、平行沈線文。縄文 LR 末端部強調	138-18	Po1162

第187図　C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（1）



No.	器種	類型 1	類型 2	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1d	XⅡx	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目。平行沈線文 + 二個一対の小突起。縄文 LR	138-19	Po1154
2	浅鉢	A1bd	Ⅶ	北 4	D-64 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文。雲形文。内外面赤彩	138-20	Po2564
3	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	138-21	Po1170
4	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	北 4	D-64 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	138-22	Po2561
5	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。直前段多条縄文 LR	138-23	Po1160
6	Ⅲ	A1bdf	Ⅶ	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 山形突起 + 羊歯状浮線文 (刻み)。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）、平行沈線文。縄文 LR	138-24	Po1128
7	鉢	A1d	Ⅷ	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目。メガネ状浮文 + 二個一対の貼瘤。縄文 LR	138-25	Po1153
8	鉢	B1cd	XⅡa	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁 + ヘラ刻目 + 口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR	138-26	Po1152
9	深鉢	B1d	XⅢ	北 4	D-58 北 / Ⅵb+ Ⅵa	口径（25.0cm）。平縁 + ヘラ刻目。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	138-29	Po1161
10	深鉢	A1d	XⅣa1	北 4	D-64 / Ⅵb+ Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目。縄文 R。外面炭化物付着	138-27	Po2559
11	深鉢	B1cdf	XⅢ	北 4	D-58 北 / Ⅵb+ Ⅵa	平縁 + ヘラ刻目 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈線。沈線文。羽状縄文 RL/LR。外面炭化物付着	138-28	Po1163
12	壺	-	X	北 4	D-58 北 / Ⅵb	体部最大径（17.6cm）。流水工字文	139-3	Po1157
13	浅鉢	-	X	北 4	D-58 北 / Ⅵb+ Ⅵa	流水工字文（磨り消し縄文）。縄文 LR	139-4	Po1167
14	鉢	A1	Ⅸa	北 4	D-58 北 / Ⅵb+ Ⅵ + Ⅳb	平縁。π 字文。縄文 LR。口縁部内面沈線	139-5	Po1155
15	深鉢	C1	XⅣb1	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁。縄文 LR 末端部強調	139-6	Po1156
16	深鉢	A1	XⅣa1	北 4	D-58 北 / Ⅵb	平縁。縄文 L	139-7	Po1149
17	深鉢	C1	XⅤ	北 4	D-58 北 / Ⅵb	口径 26.9cm。平縁	139-1	Po1129

第188図　C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（2）



No.	器　種	類型１	類型２	大別層	区・遺構 / 層	特　　徴	写真図版	登録
1	鉢	A1	XⅣa1	北４	D-58 北 / Ⅵb	平縁。前々段多条縄文 RL	139-8	Po1150
2	深鉢	A1	XⅣa1	北４	D-58 北 / Ⅵb	平縁。縄文 LR	139-9	Po1151
3	深鉢	A1	XⅣa2	北４	D-64 / Ⅵb	平縁。羽状縄文 LR/RL	139-10	Po2558
4	深鉢	-	-	北 1A	D-58 南 / Ⅵa	波状縁か＋山形突起＋突起間沈線。平行沈線文、平行沈線文（山形・磨り消し縄文）。縄文 LR。突起内面も外面と同じ装飾	139-11	Po1213
5	鉢	A1	ⅠBa	北 1A	D-58 北 / Ⅵ	平縁。帯状文（縄文）＋貼瘤。縄文 LR	139-12	Po1205
6	鉢	A1df	Ⅴ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起（羊歯状）。列点文。平行沈線文。縄文 LR	139-13	Po1179
7	鉢	A1cd	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋口唇部沈線。沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。直前段多条縄文 LR	139-14	Po1132
8	深鉢か	-	Ⅶ？	北 1A	D-58 南 / Ⅵ	装飾的突起。雲形文か	139-15	Po1208
9	鉢	B2c	Ⅶ＋Ⅷ	北 1A	D-58 南 / Ⅵa＋Ⅳb	波状縁＋波底部沈線。平行沈線文、メガネ状浮文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。口縁部内面沈線	139-16	Po1227
10	浅鉢	A1c	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	平縁＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR+R 附加条か。外面赤彩	139-21	Po1194
11	浅鉢	A3cf	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	波状縁＋山形突起＋口唇部沈線。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL。口縁部内面沈線	139-20	Po1136
12	Ⅲ	A1bd	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋波状浮線文。平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR。口縁部内面沈線	139-17	Po1184
13	注口土器	-	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	注口部先端肥厚。山形突起＋平行沈線文、平行沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 RL	139-18	Po1175
14	注口土器	-	Ⅶ	北 1A	D-58 北 / Ⅵa	体部最大径（16.3cm）。注口部先端肥厚。縦位の平行沈線文、平行沈線文、山形突起＋二個一対の小突起＋平行沈線文＋櫛歯状刻目、連続弧状沈線文、雲形文（磨り消し縄文）。縄文 LR	139-2	Po1190
15	鉢	B1cf	XⅡa	北 1A	D-58 南 / Ⅵa	平縁＋山形突起＋口唇部沈線。櫛歯状刻目、平行沈線文。縄文 LR	139-19	Po1224
16	深鉢	B1df	XⅢ	北 1A	D-58 南 / Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。沈線文。縄文 RL	139-22	Po1231
17	深鉢	B1df	XⅢ	北 1A	D-58 南 / Ⅵa	口径（12.7cm）。平縁＋ヘラ刻目＋二個一対の小突起。沈線文。縄文 LR。口縁部内面沈線	139-29	Po1237
18	深鉢	B1cdf	XⅢ	北 1A	D-58 南 / Ⅵa	平縁＋ヘラ刻目＋山形突起の両側に二個一対の小突起＋口唇部沈線。沈線文。前々段多条縄文 RL	139-24	Po1218

第189図　C丘陵北斜面a包含層（西側）　出土土器（3）